

The Japan Foundation

平成18年度(2006年度)事業実績



国際交流基金

平成18年度（2006年度）事業実績

平成18年度（2006年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成18年度（2006年度）国際交流基金 事業実績	
目次	3
注	6
地域分類・国名表記一覧	7
事項別事業費一覧	8
＜文化芸術交流事業に必要な経費＞	11
文化協力事業費	11
人物交流事業費	12
1. 文化協力（派遣）	12
2. 文化協力（招へい）	13
催し等事業費	14
1. 文化協力（助成）	14
2. 文化協力（助成）（AC）	14
文化事業費	16
人物交流事業費	16
1. 文化人短期招へい	16
催し等事業費	20
1. 日本紹介のための文化人派遣（主催）	20
2. 日本紹介のための文化人派遣（助成）	24
市民青少年交流事業費	35
人物交流事業費	36
1. 中学高校教員交流（招へい）	36
2. 中学高校教員交流（派遣）	37
3. 市民青少年交流（指導者交流）（派遣）	38
4. 市民青少年交流（指導者交流）（招へい）	39
5. アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）（AC）	39
6. 開高健記念アジア作家招へい（AC）	40
7. 文化交流企画運営補助（JFボランティア）	40
催し等事業費	41
1. 市民青少年交流（主催）	41
2. 市民青少年交流（主催）（中東）	41
3. 市民青少年交流（助成）	41
4. 市民青少年交流（助成）（AC）	45
5. 市民青少年交流（助成）（中東）	52
6. 異文化理解ワークショップ（中東）	53
7. 異文化理解ワークショップ（AC）	54
8. 異文化理解ワークショップ	56
造形美術事業費	57
人物交流事業費	58
1. 造形美術情報交流（招へい）	58
催し等事業費	58
1. 国際展（国際展参加）	58
2. 海外展（企画展）	59
3. 海外展（巡回展）	61
4. 国内展（企画展）	70
5. 海外展（助成）	71
6. 国内展（助成）	77
7. 造形美術情報交流（催し）	78
催し等事業費（トリエンナーレ）	79
1. 国際展（横浜トリエンナーレ）	79
舞台芸術事業費	80
人物交流事業費	81
1. 舞台芸術情報交流（派遣）	81
2. 舞台芸術情報交流（招へい）	82
3. 内田奨学金フェローシップ	82
催し等事業費	83
1. 海外公演（主催）	83
2. 海外公演（助成）	90
3. 海外公演（PAJ北米・助成）	104
4. 海外公演（PAJ欧州・助成）	106
5. 国際舞台芸術共同制作	107
6. 国内公演（主催）	108
7. 国内公演（助成）	108
8. 国内公演（主催）（中東）	110
9. 舞台芸術情報交流（催し）	110
映像出版事業費	112
人物交流事業費	113
1. 映像出版情報交流（招へい）	113
催し等事業費	113
1. 海外日本映画祭（主催）	113
2. 海外日本映画祭（助成）	118
3. 国内映画祭（主催）	123
4. 国内映画祭（助成）	124
5. 国内映画祭（主催）（AC）	125
6. 国内映画祭（主催）（中東）	126
7. 映画出版情報交流（催し）	126
文化資料事業費	127
1. テレビ番組交流促進	127
2. フィルムライブラリー充実（本部）	130
3. フィルムライブラリー充実（海外）	132
4. 映画・テレビ番組制作協力	134
5. 出版・翻訳協力（特別）	135
6. 出版・翻訳協力（一般）	135
7. 国際図書展参加	139
8. 映像出版情報交流（文化資料）	140
＜日本語普及事業に必要な経費＞	141
日本語事業費	141
日本語企画調整費	142
1. 海外日本語教育機関等調査	142
2. 日本語教育情報交流	142
3. 海外日本語教育支援NGO助成	143
4. 日本語教育企画開発型事業	143
日本語派遣・助成費	144
1. 日本語教育専門家派遣（専門家）	144

2. 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）	155
3. 日本語教育学会助成	158
4. 日本語教育機関支援（専任講師給与助成）	159
5. 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）	159
6. 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）	161
7. 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）	166
8. 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・指導助手派遣）	168
9. 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・シニア客員教授派遣）	170
日本語能力試験費	171
1. 日本語能力試験実施	171
2. 評価開発	172
附属機関日本語国際センター事業費	173
研修事業費	174
1. 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）	174
2. 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）	175
3. 海外日本語教師研修（長期）	175
4. 海外日本語教師研修（短期）	176
5. 海外日本語教師研修（在外邦人）	177
6. 海外日本語教師研修（国別）	178
7. 受託研修（日）	178
8. 地域交流研修（日）	179
制作事業費	179
1. 日本語教材制作支援（日本語教育フェローシップ）	179
2. 日本語教材自主制作・普及	180
3. 日本語教材制作支援（助成）	181
4. 日本語教材寄贈	184
5. 図書館運営（日）	185
附属機関関西国際センター事業費	186
研修事業費	187
1. 図書館運営（関）	187
2. 専門日本語研修（外交官）	187
3. 専門日本語研修（公務員）	188
4. 専門日本語研修（司書）	189
5. 専門日本語研修（研究者・大学院生）	189
6. 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	191
7. 日本語学習者訪日研修（大学生）	192
8. 日本語学習者訪日研修（高校生）	194
9. アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修	195
10. 地域交流研修（関）	195
11. 受託研修（関）	196
12. 日本語教育協力事業	196
<日本研究・知的交流事業に必要な経費>	197
企画開発費	197
日本研究事業費	198
1. 日本研究ウェブサイト運営	198
文化資料事業費	198
1. 図書寄贈〔企〕	198
米州交流事業費	199
日本研究事業費	200
1. 日米研究調査〔米〕	200
2. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米〕	200
3. 日本研究拠点機関助成〔米〕	200
4. 日本研究スタッフ拡充助成〔米〕	201
5. 日本研究リサーチ・会議（助成）〔米〕	201
6. 日本研究組織強化支援（助成）〔米〕	202
人物交流事業費	203
1. 小渕フェローシップ（派遣）	203
2. 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米〕	203
3. 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米〕	205
4. 日本研究フェローシップ（短期）〔米〕	207
5. 知的交流フェローシップ（派遣）〔米〕	208
催し等事業費	208
1. 知的交流会議（主催）〔米〕	208
2. 知的交流会議（助成）〔米〕	209
文化資料事業費	210
1. 図書寄贈〔米〕	210
アジア・大洋州交流事業費	212
日本研究事業費	213
1. 日米研究調査〔ア〕	213
2. 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔ア〕	213
3. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔ア〕	213
4. 日本研究客員教授派遣（JFボランティア）〔ア〕	214
5. 日本研究拠点機関助成〔ア〕	214
6. 日本研究リサーチ・会議（助成）〔ア〕	216
7. 東南アジア元日本留学生活動支援（AC）	219
8. 北京日本学研究中心派遣（北外）	220
9. 北京日本学研究中心派遣（北大）	221
10. 北京日本学研究中心招へい（北外）	222
11. 北京日本学研究中心招へい（北大）	223
12. 北京日本学研究中心（研究協力）	223
人物交流事業費	224
1. 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔ア〕	224
2. 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔ア〕	229
3. 日本研究フェローシップ（社会科学院研究生院）	231
4. 日本研究フェローシップ（短期）〔ア〕	231
5. 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）	232
6. 知的交流フェローシップ（次世代）（AC）〔ア〕	233
7. 知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔ア〕	235
8. 知的交流フェローシップ（招へい）〔ア〕	236
催し等事業費	236
1. 知的交流会議（助成）（AC）〔ア〕	236
2. 知的交流会議（企画参画助成）（AC）〔ア〕	242
3. 知的交流会議（主催）（AC）〔ア〕	243
4. アジア地域研究センター支援（催し等）（AC）	244
文化資料事業費	245
1. 図書寄贈〔ア〕	245
欧州・中東・アフリカ交流事業費	248
日本研究事業費	249
1. 日本研究調査〔欧〕	249
2. 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧〕	249

3. 日本研究客員教授派遣 (JFボランティア) [欧] ……	250	<調査研究および情報提供事業等に必要経費> ……	293
4. 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧] ……	250	情報センター事業費 ……	293
5. 日本研究拠点機関助成 [欧] ……	251	催し等事業費 ……	294
6. 日本研究スタッフ拡充助成 [欧] ……	251	1. 国内連携促進 ……	294
7. 日本研究リサーチ・会議 (助成) [欧] ……	251	文化資料事業費 ……	294
8. 日本研究リサーチ・会議 (主催) [欧] ……	253	1. 定期刊行物 ……	294
9. 日本研究組織強化支援 (助成) [欧] ……	253	2. 年次報告 ……	295
人物交流事業費 ……	254	3. インターネットによる情報発信 ……	295
1. 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧] ……	254	4. JFサポーターズクラブ ……	296
2. 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧] ……	256	調査研究費 ……	296
3. 日本研究フェローシップ (短期) [欧] ……	258	1. 情報センター (JFIC) 事業 ……	296
4. 知的リーダー交流 (招へい) [欧] ……	259	2. 国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞) ……	296
5. 知的リーダー交流 (派遣) [欧] ……	259	3. 国際交流顕彰事業 (地球市民賞) ……	297
6. 知的交流フェローシップ (派遣) [欧] ……	260	企画・評価費 ……	298
7. 知的交流フェローシップ (招へい) [欧] ……	260	調査研究費 ……	299
8. 知的交流フェローシップ (派遣) (中東) [欧] ……	261	1. 調査研究 ……	299
9. 知的交流フェローシップ (招へい) (中東) [欧] ……	262	2. 事業評価 (企) ……	299
催し等事業費 ……	262	文化事情調査費 ……	300
1. 知的交流会議 (主催) [欧] ……	262	調査研究費 ……	301
2. 知的交流会議 (助成) [欧] ……	263	1. 文化事情調査 ……	301
3. 知的交流会議等開催 (助成) (中東) [欧] ……	265	<在外事業に必要な経費> ……	303
文化資料事業費 ……	266	<文化交流施設等協力事業に必要な経費> ……	445
1. 図書寄贈 [欧] ……	266	文化交流施設等協力事業費 ……	445
日米知的交流推進費 ……	270	文化交流施設等協力事業費 ……	446
人物交流事業費 ……	271	1. 人物交流特定寄附 ……	446
1. 安倍フェローシップ ……	271	2. 日本研究特定寄附 ……	446
催し等事業費 ……	272	3. 日本語特定寄附 ……	447
1. 知的交流支援 (助成) ……	272	4. 催し等特定寄附 ……	447
2. 知的交流支援 (主催) ……	275	5. 文化交流施設等特定寄附 ……	448
日米市民対話推進費 ……	279	プログラム名索引 (50音順) ……	450
人物交流事業費 ……	280		
1. 日米センターNPOフェローシップ ……	280		
2. 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI) ……	280		
催し等事業費 ……	281		
1. 市民交流支援 (日米市民交流・助成) ……	281		
2. 市民交流支援 (教育を通じた相手国理解促進・助成) ……	284		
3. 市民交流支援 (日米市民交流・小規模助成) ……	285		
4. 市民交流支援 (教育を通じた相手国理解促進・小規模助成) ……	286		
文化資料事業費 ……	288		
1. 市民交流支援 (日米市民交流・文化資料) ……	288		
日中交流事業費 ……	289		
人物交流事業費 ……	290		
1. 高校生等招へい事業 ……	290		
2. ネットワーク整備事業 (招へい) ……	290		
催し等事業費 ……	290		
1. ネットワーク整備事業 (催し・主催) ……	290		
2. ネットワーク整備事業 (催し・助成) ……	291		
3. 交流拠点設置運営事業 (催し) ……	291		
文化資料事業費 ……	292		
1. ネットワーク整備事業 (文化資料) ……	292		

(注)

1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が2006事業年度（2006年4月1日～2007年3月31日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
 - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
 - ・展覧会／公演／映画祭／セミナー等の実施：開催期間（開催日）または総巡回期間
 - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
 - ・調査：調査実施期間
 - ・出版物の刊行：発行日

2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおりである。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
 - ・人物の派遣：派遣先国
 - ・人物の招へい：被招へい者の居住国
 - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
 - 海外で実施される場合：実施国
 - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
 - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
 - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国
 - 助成事業の場合：助成対象者（団体）所在国
 - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
 - ・出版物の刊行：配布先国
 - ・上記を除く助成事業：助成対象者（団体）所在国

3. 海外事務所の事業

海外事務所の経費は、支出時のレートで円換算し、小数点以下は切り捨てた。

※2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

(別表) 地域分類・国名表記一覧(2006年度事業用)

(平成19年11月現在)

大 地 域 区 分	小 地 域 区 分	国 名 (通 称、五 十 音 順)
アジア地域	東アジア地域	韓国、中国、日本、モンゴル
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト

事項別事業費一覧

(円)

文化芸術交流事業に必要な経費	3,022,931,684
-----------------------	----------------------

文化協力事業費	47,419,095
1. 人物交流事業費	31,660,738
2. 催し等事業費	12,243,953
共通経費等	3,514,404
文化事業費	216,048,505
1. 人物交流事業費	71,459,908
2. 催し等事業費	89,344,570
共通経費等	55,244,027
市民青少年交流事業費	278,997,746
1. 人物交流事業費	172,733,100
2. 催し等事業費	97,237,111
共通経費	9,027,535
造形美術事業費	652,157,635
1. 人物交流事業費	1,923,206
2. 催し等事業費	453,887,054
3. 催し等事業費（トリエンナーレ）	108,128,450
共通経費	88,218,925
舞台芸術事業費	728,199,431
1. 人物交流事業費	14,815,800
2. 催し等事業費	689,935,602
共通経費等	23,448,029
映像出版事業費	747,582,488
1. 人物交流事業費	7,522,624
2. 催し等事業費	139,250,498
3. 文化資料事業費	595,232,140
共通経費等	5,577,226
国際交流フォーラム運営事業費	352,526,784

日本語普及事業に必要な経費	3,948,315,364
----------------------	----------------------

日本語事業費	1,684,047,286
1. 日本語企画調整費	90,382,147
2. 日本語派遣・助成費	1,250,624,120
3. 日本語能力試験費	264,323,954
共通経費等	78,717,065

附属機関日本語国際センター事業費1,335,794,110
 1. 研修事業費 310,406,182
 2. 制作事業費 442,053,480
 共通経費等 583,334,448

附属機関関西国際センター事業費928,473,968
 1. 研修事業費 330,107,362
 共通経費 598,366,606

日本研究・知的交流事業に必要な経費	2,506,221,268
-------------------	---------------

企画開発費102,373,582
 1. 日本研究事業費 1,979,100
 2. 文化資料事業費 2,302,111
 共通経費等 98,092,371

日中交流センター事業費175,206,567
 1. 人物交流事業費 78,704,194
 2. 催し等事業費 33,809,540
 3. 文化資料事業費 20,995,938
 共通経費等 41,696,895

米州交流事業費254,143,404
 1. 日本研究事業費 94,440,090
 2. 人物交流事業費 125,432,817
 3. 催し等事業費 18,363,609
 4. 文化資料事業費 15,906,888

アジア・大洋州交流事業費782,609,169
 1. 日本研究事業費 257,344,970
 2. 人物交流事業費 285,921,576
 3. 催し等事業費 163,010,131
 4. 文化資料事業費 30,279,865
 共通経費等 46,052,627

欧州・中東・アフリカ交流事業費416,289,717
 1. 日本研究事業費 117,979,572
 2. 人物交流事業費 184,859,423
 3. 催し等事業費 63,389,427
 4. 文化資料事業費 31,739,020
 共通経費等 18,322,275

日米センター運営管理費132,051,207

日米知的交流推進費	419,968,323
1. 人物交流事業費	203,705,713
2. 催し等事業費	212,072,161
共通経費等	4,190,449
日米市民対話推進費	223,579,299
1. 人物交流事業費	52,350,750
2. 催し等事業費	165,439,750
3. 文化資料事業費	423,150
共通経費等	5,365,649

調査研究及び情報提供事業等に必要な経費	759,297,006
----------------------------	--------------------

情報センター事業費	676,502,048
1. 催し等事業費	8,289,189
2. 文化資料事業費	94,802,555
3. 調査研究費	99,981,591
共通経費等	473,428,713
企画・評価費	31,421,639
1. 調査研究費	14,562,087
文化事情調査費	51,373,319
1. 調査研究費	10,765,755
2. 調査研究費（人事）	33,626,727
共通経費等	6,980,837

在外事業に必要な経費	2,403,103,707
-------------------	----------------------

在外事業費	2,403,103,707
1. 在外事業費	2,165,004,869
共通経費等	238,098,838

文化交流施設等協力事業に必要な経費	696,005,398
--------------------------	--------------------

文化交流施設等協力事業費	696,005,398
1. 文化交流施設等協力事業費	694,936,810
共通経費等	1,068,588

事業費総計	13,335,874,427
-------	----------------

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 人物交流事業費
 - (1) 文化協力（派遣）
 - (2) 文化協力（招へい）
2. 催し等事業費
 - (1) 文化協力（助成）
 - (2) 文化協力（助成）（AC）

文化協力事業費

1. 人物交流事業費 (1)文化協力（派遣）

主にODA対象国における現代の文化・芸術・スポーツなどの活動を振興し、諸分野の人材育成を支援するために、専門家の派遣および招へいを行なう。

合計額 29,151,097円

事業名	対象国	人物	所属機関	現職	期間	事業内容
1 タンロン遺跡保存修復支援	ベトナム	上野 邦一	奈良女子大学	教授	06.09.18～ 07.03.29	ハノイ近郊に残るタンロン遺跡の保存・修復支援のため、外務省、文化庁、(独)国立文化財機構との共催により専門家からなる支援チームを派遣、遺跡の構造精査や測量実測等を行った。
		西村 康	奈良文化財研究所	客員研究員		
		西村 昌也	ベトナム考古学院	客員研究員		
		坪井 善明 桃木 至朗	早稲田大学 大阪大学大学院	教授 教授		
2 舞台美術ワークショップ	インドネシア マレーシア	杉山 至	アゴラ企画	舞台美術家	07.02.24～ 07.03.05	舞台美術及び舞台衣装製作指導のために、杉山至氏及び畑野一恵氏を派遣、現地舞台関係者を対象にワークショップを行った。
		畑野 一恵	日本美術家ギルド	事務局長		
3 米百俵演劇指導フォーアッパ	バングラデシュ	木村 進次 木村 活也	すわらじ劇園	代表 園員	06.08.08～ 06.08.22	バングラデシュ国立芸術院において、戯曲『米百俵』の上演指導を行うため、木村進次氏及び木村活也氏を派遣、平成18年3月の第1回指導に続き、9月に予定された公演の直前最終指導を行った。
4 ティカル・キリグア遺跡遺跡保存修復調査	グアテマラ	中村 誠一	ホンジュラス国立人類学歴史学研究所	研究員	06.06.20～ 07.09.19	世界遺産に指定されているティカル及びキリグア遺跡（マヤ古代文明遺跡群）の保存・修復のため、中村誠一氏を派遣、ティカル遺跡内の「北のアクロポリス建造物」を飾る漆喰マスク保存のための環境観測やキリグア遺跡保存マスタープラン作成等を行った。
5 古文書修復調査及び指導	サウジアラビア	安田 智子 児島聡	東京修復保存センター	紙保存専門家	06.09.10～ 07.03.22	リヤドにある学術・文化機関キングファイサルセンター所蔵の古文書の保存・修復のため、安田智子氏・児島聡氏を再派遣、リーフキャスト作業等の指導を行った。
6 古文書修復調査及び指導	トルコ	水村恵 安田 智子 児島 聡	東京修復保存センター	紙保存専門家	06.09.10～ 07.02.24	イスタンブールにある国立スレイマニエ図書館所蔵の古文書（オスマン朝時代の歴史書等）の保存・修復のため、安田智子氏・児島聡氏による予備調査の結果を踏まえ、水村恵氏を派遣、インクしみ止めや金彩色劣化防止作業等の指導を行った。

	事業名	対象国	人物	所属機関	現職	期間	事業内容
7	女子バレーボール指導	ケニア	菅原 貞敬	バレーボール協会	女子強化副委員長	06.07.01～ 06.09.30	11月に東京で開催される世界バレー選手権に出場するケニア女子ナショナルチームの強化指導のため、菅原貞敬氏を派遣した。同選手権では、結局勝利することはできなかったが、数年前に比べて確実にレベルアップしているという報道がなされた。
8	ジャワ中部地震復興支援	インドネシア				06.07.20～ 06.07.27	ジャワ中部で発生した大地震によって被害を受けたプランバナン寺院を始めとする文化遺産の復興に向けた調査団派遣に伴う携行機材費等、経費の一部を負担した。

1. 人物交流事業費	(2)文化協力 (招へい)
------------	---------------

主にODA対象国における現代の文化・芸術・スポーツなどの活動を振興し、諸分野の人材育成を支援するために、専門家の派遣および招へいを行なう。

合計額 2,509,641円

	事業名	対象国	人物	所属機関	現職	期間	事業内容
1	空手指導者招聘 (フィジー)	フィジー	Netani Koto Tadulala Beato Lenoa Emosi Cagi	全日本空手道連盟 (全空連)	空手指導者	07.01.20～ 07.02.05	フィジー空手協会推薦の空手指導者3名を日本に招聘し、代々木の空手道場及び帝京大空手部での空手技術トレーニング及び指導法研修を行うと同時に、東京都空手指導者研修会において審判技術のレベルアップを図った。会場、指導者、指導日程の調整に際し、全日本空手道連盟の全面的な協力を得たおかげで効果的な実施が可能になった。

文化協力事業費

2. 催し等事業費 (1)文化協力 (助成)

海外の無形および有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施するため、国際共同事業に対し経費の一部を助成する。
合計額 576,894円

	事業名	対象国	所属機関	期間	事業内容
1	チェコ刀剣研究者招聘及び指導・研究 (チェコ)	チェコ	つくし剣工会 日本刀研究会	06.05.16～ 06.06.15	チェコ日本刀研究会会長である研究者 PLANKA Bohumil氏を日本に招聘し、チェコと日本の刀剣文化の比較を念頭に入れつつ、東京、関西、福岡において日本刀に関する共同研究、フィールドワークを実施する事業に対して、経費の一部を助成した。

2. 催し等事業費 (2)文化協力 (助成) (AC)

アジア各国の文化振興支援を目的とした国際共同作業に基づく会議・ワークショップ・セミナー・研修などに対し助成を行なう。

合計額 11,667,059円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	アジア21世紀オーケストラプロジェクト2006	アジア地域区分 困難	ハノイ音楽院 慶南大学 上海音楽院 名古屋フィル ハーモニー交響 楽団	06.08.20～ 06.08.30	ベトナム、中国、韓国より音楽学生と若手プロ奏者約25名を招聘し、名古屋フィルハーモニー交響楽団員による個別技術指導、グループレッスン、合同コンサート「アジア21世紀オーケストラ」開催する事業に対して、経費の一部を助成した。
2	バヤットの斜めロクロの文化を守る事業	インドネシア	NGO斜めロクロの文化を守る会 斜めロクロ産業振興センター	06.07.01～ 07.03.31	日本から陶芸技術者を派遣し、「斜めロクロ産業振興センター」において地域産業の発展のための新商品のデザイン指導、技術指導、釉薬指導、ガス窯焼成指導を行う事業に対して、経費の一部を助成した。
3	ドンラム村農集落保存修復技術向上計画	ベトナム	ベトナム文化情報省 国立文化財修復設計センター 昭和女子大学	06.07.01～ 07.03.31	日本文化庁とベトナム文化情報省の間で締結されたドンラム村農集落保存国際協力協定に則って、農集落全体の保存・修復のための技術援助を行う事業に対して、経費の一部を助成した。
4	インド洋大津波被災地における市民における市民による歴史遺産復興活動の支援事業	インドネシア	アチェヘリテージコミュニティ基金 財団法人奈良まちづくりセンター	06.04.01～ 07.03.31	インド洋大津波により大きな被害を受けたインドネシア・バンダアチェの市民による歴史的遺産の調査修復活動を支援するため、アチェの市民グループを日本に招聘し日本の町並み保存の経験や災害復興経験を紹介するとともに、日本側の専門家がアチェを訪問し、被害の調査と歴史的遺産の実態調査を行う経費の一部を助成した。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
5	アンコール・トム バイヨン寺院保存（カンボジア）	カンボジア	アプサラ機構 早稲田大学総合研究機構・ユネスコ世界遺産研究所	06.10.25～ 07.03.31	2005年4月に終了した修復保存プロジェクト第2フェーズ内で完成した「バイヨン寺院保存修復マスタープラン」を基に、日本から修復専門家を派遣して①南経蔵の修復（修復計画の策定、部分的解体及び再構築）②バスレリーフ（劣化原因調査、保存計画の策定等）③中央塔（地盤調査、保存計画の策定等）を中心に修復を実施する事業に対して、経費の一部を助成した。
6	アサ古文書所蔵ネパール貴重文献「泥封印付巻物型貝葉写本」修復・保存・デジタル化プロジェクト（ネパール）	ネパール	アサ古文書館 アジア文化財保存修復会	06.11.03～ 06.12.23	アサ古文書館所蔵の歴史貴重文献で、その形態が他に類を見ない泥封印付巻物型貝葉写本コレクションのデジタル化とそれに伴う保存修復協力援助を行う事業に対して、経費の一部を助成した。

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

(1) 文化人短期招へい

2. 催し等事業費

(1) 日本紹介のための文化人派遣（主催）

(2) 日本紹介のための文化人派遣（助成）

1. 人物交流事業費 (1)文化人短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家との意見交換などの機会を提供する。

合計額 71,459,908円

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
1	PELEVIN, Viktor	ロシア	作家	06.03.20～ 06.04.03	日本の文化全般に触れることにより日本理解を深める。日本の作家、関係者との意見交換を通じ日ロ文学交流を拡大する。
2	OTA, Simadri Bihari	インド	インド考古学調査庁主任調査官	06.03.31～ 06.04.13	日本の文化遺産保護、考古学研究の事情視察及び関係者との意見交換。
3	WHITE, Te Taru	ニュージーランド	ニュージーランド博物館テパパ副館長	06.03.26～ 06.04.02	日本の博物館事情及び日本文化事情の視察。
4	YU, Hua	中国	作家	06.08.18～ 06.09.01	日本文化及び歴史について見識を深めるとともに、日本の文化人や著名人との協力関係を構築する。
5	ANWAR, Dewi Fortuna	インドネシア	インドネシア科学院社会科学・人権研究副代表	06.09.21～ 06.10.05	日本の外交政策に関する研究者や実務者との意見交換、東南アジア研究者との面談。また、日本各地を視察する機会を提供し、日本への理解を深める機会を提供する。
6	BAAN, Laszlo	ハンガリー	ブタペスト国立西洋美術館館長	07.03.25～ 07.04.01	日本の美術関係者との面談及び関係機関訪問の機会を提供する。また同国立美術館での日本関連展覧会企画具現化に向けたネットワーク構築を行う。
7	HAJI TAHA, Adi Bin	マレーシア	マレーシア文化芸術遺産省博物館・文化財局局長	06.11.23～ 06.12.03	マレーシア国内の文化財保存・修復についてヒントを得るための日本国内の博物館等文化財保護の現場を視察、さらに関係者との意見交換を行い人物形成を図る。
8	POGACNIK, Miha	スロベニア	バイオリニスト	06.06.26～ 06.07.06	音楽・芸術の現代社会への役割・貢献について、より多くの理解を求める。また、同様のコンセプトを持って活動している組織との交流、人脈形成の促進を行う。
9	AL-KHALIFA, Shaikha Mai Bent Mohammed	バーレーン	バーレーン情報省芸術文化局文化・国家遺産次官補	07.03.31～ 07.04.08	著名な作家、政治史研究者、芸術家、遺産保護団体等との意見交換、および日本の文化施設・文化遺産等の視察。
10	ZOUGBI, Saleem G.	パレスチナ	ベツレヘム大学コンピューターセンター所長兼音楽アカデミー会長	06.07.24～ 06.08.07	同氏は日本の伝統音楽を長年にわたって研究しており、日本の伝統芸術、文化の視察を行う。

文化事業費

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
11	ABDUL-HADI HASSAN, Hassan	イラク	ムサンナTV局 ニュース・プロデューサー兼キャスター	06.07.12～ 06.07.26	日本の政治、経済、社会、文化情勢の視察を行うとともに、日本のTV局、新聞社、及び文学・芸術界との交流を行う。
12	MOTABAGANI, Mazin	サウジアラビア	キングサウド大学准教授	06.11.13～ 06.11.27	日本における地域研究（西洋研究、中東研究）の現状について、関連大学・研究者と意見交換を行う。また日本文化や社会に対する認識を深める。
13	EL SAWY, Mohamed Abdel Monem	エジプト	サーウィー文化センター館長	06.09.03～ 06.09.13	日本国内の文化複合施設見学、企画運営方法について関係者との面談、日本の伝統及び現代の芸術文化鑑賞。
14	PANSITTIVORAKUL, Thansaka	タイ	映像作家、映画監督、映画批評家	06.07.07～ 06.07.21	自作映画の題材を得るため、日本各地を視察するほか、映画関係者との面談、人脈形成を図る。
15	HOSSAIN, Nisar	バングラデシュ	ダッカ大学準教授、画家	06.08.21～ 06.09.04	日本の美術大学視察、関係者との面談の機会を提供し、今後の日・バ芸術交流の人脈形成に役立てる。
16	TASHI, Khenpo Phuntsok	ブータン	ブータン国立博物館館長	06.07.11～ 06.07.25	日本の仏教研究者・宗教家との面談、博物館運営に役立てるため日本の国内の博物館見学及び関係者との面談を行なう。
17	HERNANDEZ, Aguilar Luis Federico	エルサルバドル	エルサルバドル国家文化芸術審議会総裁	06.09.19～ 06.10.03	文化行政関係者との面談、美術館・博物館・劇場等の文化施設訪問、伝統芸能や展覧会の鑑賞を通して、日本の文化に対する知見を深めるとともに、今後のエルサルバドルにおける文化行政・文化事業の参考にする。
18	DE OLIVEIRA, Rosane	ブラジル	ゼロオーラ紙政治部編集長	06.06.18～ 06.07.02	日本の平和政策、アジア近隣諸国との関係について知識を得るための関係者との面談、伝統及び現代文化の視察。
19	NISKIER, Arnaldo	ブラジル	リオデジャネイロ州教育長官	07.03.17～ 07.03.28	日本の社会・歴史・文化・教育について知識を得るための関係機関視察、及び関係者（児童文学者等）との面談。
20	RODRIGUEZ, Andres	チリ	サンチアゴ市立劇場総芸術監督	06.09.21～ 06.10.01	日本国内の文化・芸術機関往訪・関係構築、伝統から現代までの日本の文化芸術活動視察
21	GARCIA DE CURZ, Maria Victoria	コロンビア	カリ文化協会会長	06.10.26～ 06.11.09	日本の伝統文化・芸能と現代の文化全般の視察、劇場・美術館視察、2008年日本・コロンビア外交樹立100周年事業に向けた準備。
22	SCHERER, Bernd	ドイツ	世界文化の家館長	07.03.01～ 07.03.14	舞台芸術を中心とする日本の芸術界の現状視察、芸術関係団体・アーティスト等の面談、人脈形成。

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
23	KELLY, Jude	英国	サウスバンクセンター芸術監督	07.03.04～ 07.03.11	日本の芸術状況の視察、文化関係者有識者、プロデューサー、アーティスト等との面談を通じた人脈構築。
24	DIMITROV, Yavor	ブルガリア	ソフィアフィルハーモニー理事長	06.10.16～ 06.10.30	日本国内の音楽大学・オーケストラ関係者や演奏家との面談、人脈形成。日本の伝統文化への認識を深める。
25	SHAAM, Mahmood	パキスタン	『デイリー・ジャング・カラチ』紙 編集長	06.06.16～ 06.06.23	日本文化及び歴史について見識を深めるとともに、日本の諸政策について関係者との面談、及び関係施設の視察を行う。
26	BELTRAN, Myra Victoria C.	フィリピン	振付家、ダンスフォーラム代表	06.07.27～ 06.08.07	コンテンポラリーダンスを中心とした日本の舞台芸術の視察、振付家やプロデューサーとのネットワーク形成を図る。
27	McDONALD, John	オーストラリア	美術評論家、キュレーター	06.08.21～ 06.09.05	日本の近・現代美術館を中心に訪問し、同氏がかねてより関心を持っている日本の現代美術の動向について取材を行う。
28	(アジア若手デザイナーグループ) ACHAVASMIT, Jarupatcha LAWALATA, Oscar LLOREN, Jojie NOOR, Nazleen SHARMA, Anuj	インド インドネシア タイ フィリピン マレーシア	テキスタイル・デザイナー ファッション・デザイナー 〃 〃 〃	06.12.06～ 06.12.17	アジア5カ国より若手デザイナー5名を招聘し、日本のファッション事情等に関するスタディツアーを実施し、将来の同分野におけるアジア域内相互交流の基礎となるネットワーク構築を行う。また、杉野学園ドレスメーカー学院と共催でファッションショーを開催する。
29	ESHUN, Ekow	英国	インスティテュート・オブ・コンテンポラリー・アーツ 芸術部長	07.01.04～ 07.01.13	日本のポップ・カルチャーや社会の現状に対する理解を深める機会を提供する。
30	AGUILERA SOCORRO, Orangel Antonio	ベネズエラ	ベネズエラ国立自然科学博物館館長	07.01.18～ 07.02.01	日本の博物館関係者との意見交換、及び今後の学術交流・共同展企画等の実施の可能性を探る。
31	VAN BERGEN, Joris E.J.	オランダ	シーボルトハウス理事長	07.01.28～ 07.02.06	日蘭の文化交流促進のため、関係者との意見交換を行う。また、日本の伝統と現代文化に接し認識を深める。

文化事業費

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
32	(米国舞台芸術 専門家グルー プ) HELM, Charles R. TAUB, Peter WAGAN, Sixto WEGMANN, MK WOLLESEN, Martin ZIETSMAN, Johann	米国	オハイオ州立大 学ウェクスナー 芸術センター舞 台芸術課長 シカゴ現代美術 館舞台芸術課長 ダイヴァース ワークス・アー トスペース共同 代表兼舞台芸術 学芸員 全米パフォーマ ンス・ネット ワーク事務局長 カリフォルニア 大学サンディエ ゴ校イベント室 長 国際舞台芸術協 会事務局長	07.02.28～ 07.03.11	第11回東京芸術見本市が開かれる機会を捉え、 訪日経験のないパフォーシング・アーツ・ジャ パン委員5名及び国際舞台芸術協会(ISPA)事務 局長を日本に招聘し、日本文化と社会に対する 知見を蓄積してもらうとともに、日本の舞台芸 術関係者とのネットワークを構築する。

2. 催し等事業費 (1) 日本紹介のための文化人派遣 (主催)

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう(音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く)。

合計額 62,014,054円

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
1	高畑 勲	アニメ映画監 督・プロデュー サー	チュニジア モロッコ	06.05.01～ 06.05.11	高畑勲(アニメ映画監督・プロデューサー)を メクネス、チュニスに巡回派遣し、アニメに関 するレクチャーとアニメ上映会を実施
2	梶野 俊明	曹洞宗徳雄山徳 攻寺住職・庭園 デザイナー	カナダ	06.04.04～ 06.04.04	梶野俊明(曹洞宗徳雄山徳攻寺住職・庭園デザ イナー)をカルガリーに派遣し、禅と庭園に関 する講演会、「日本庭園の美、謎及びデザイン」 を実施
3	伊藤 尚子 福島 加寿美	草月文化事業株 式会社アトリエ 制作部 草月流師範、財 団法人草月会理 事	カナダ	06.05.17～ 06.06.02	福島光加(加寿美)(草月流師範、財団法人草月 会理事)及び伊藤尚子(草月文化事業株式会社 アトリエ制作部)を、バンクーバー、モントリ オール、オタワに巡回派遣し、デモンストレー ション及びワークショップを実施

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
4	黛 まどか	俳人	バーレーン	06.04.02～ 06.04.07	黛まどか(俳人)をマナーマに派遣し、シェイク・イブラヒム文化研究センター主催・同国皇太子後援事業「詩の家」オープニングイベントにおいて詩を朗読
5	山形 季央	株式会社資生堂 デザイン制作室 長	韓国 中国	06.09.05～ 06.10.23	山形季央(株式会社資生堂デザイン制作室長)をソウル、上海、広州に巡回派遣し、デザインに関する講演会を実施。
6	寺澤 大介 畑 耕一郎 川本 徹也 岡本 建二 鈴木 照美 上田 径	漫画家、スタ ジオシド代表 辻調理師専門学 校 日本料理主 任教授 辻調理技術研究 所 教授 辻調理師専門学 校 職員 辻調理師専門学 校 職員 株式会社講談社 編集者	韓国	07.02.01～ 07.02.05	寺澤大介(漫画家)、畑耕一郎(辻調理師専門学校日本料理主任教授)、川本徹也(辻調理技術研究所日本料理教授)ほか計6名の漫画と日本料理の専門家をソウルに派遣し、料理漫画原作アニメーション上映会、原画展、韓国の料理漫画家ホ・ヨンマン氏との対談及び日本の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
7	菊川 顕 赤木 勇 大谷 高正 竹内 藤一郎 坪井 弘光	柔道三段、岡山 商業大学 居合道無双直伝 英信流教士七 段、タックコン サルタント株式 会社 柔道六段 岡山 大学教授 柔術竹内流宗家 柔道六段 岡山 理科大学附属高 等学校教諭	フィリピン ブルネイ マレーシア	06.08.13～ 06.08.22	竹内藤一郎(竹之内流宗家)ほか計5名の柔道、居合道、武術の専門家をクアラ Lumpur、マラッカ、バンドルセリブガワン、マニラに巡回派遣し、古武術のレクチャー・デモンストレーションを実施
8	魚住 一郎 高橋 範 小畑 紘一 飯島 正大	弓道範士八段、 国際弓道連盟副 会長、財団法人 全日本弓道連盟 理事 弓道範士八段、 財団法人全日本 弓道連盟評議員 弓道二段、財団 法人全日本弓道 連盟国際委員 弓道範士八段 全日本弓道連盟 評議員	インド ブータン	06.10.20～ 06.10.30	魚住一郎(弓道範士八段・国際弓道連盟副会長)ほか計4名の弓術専門家をムンバイ、デリー、ティンブーに巡回派遣し、弓術の指導及びレクチャー・デモンストレーションを実施

文化事業費

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
9	松本 實 加藤 英子 山本 千春 小暮 慶子	有限会社ウエスト企画	米国	06.11.01～ 06.11.15	松本實(有限会社ウエスト企画代表)ほか計4名の着物専門家をアトランタ、マイアミ、ニューオリンズ、ヒューストンに巡回派遣し、日本の着物に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
10	坂本 一水	漫画家	米国	06.09.16～ 06.09.24	坂本一水(祥世)(漫画家)をデトロイト、シカゴに巡回派遣し、漫画に関するレクチャー及びワークショップを実施。
11	吉増 剛造 吉増 コルボット・マリリア	詩人 パフォーマー	ブラジル	06.08.06～ 06.08.23	吉増剛造(詩人)及び吉増コルボット・マリリア(パフォーマー)を、パラチ、サンパウロ、ブラジリア、カンピナスに巡回派遣し、日本の文学(詩)に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
12	酒井 邦男 酒井 栄美子 上田 真吾	日本浮世絵博物館学芸員 有限会社酒井好古堂代表 有限会社酒井好古堂 浮世絵摺師	コロンビア パラグアイ ボリビア	06.10.02～ 06.10.14	酒井邦男(有限会社酒井好古堂代表、日本浮世絵博物館学芸員)ほか計3名の浮世絵専門家を、アスンシオン、ラパス、ボゴダに巡回派遣し、浮世絵に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
13	陶山 恵	講師	エクアドル ペルー	07.02.27～ 07.03.10	陶山恵(東京工芸大学芸術学部アニメーション学科講師)をリマ、キト、クエンカに巡回派遣し、アニメに関するレクチャー及びアニメ上映会を実施
14	菱川 パトリシア	3D CGクリエイター	グアテマラ ドミニカ共和国 ニカラグア	06.10.05～ 06.10.16	菱川パトリシア(3D CGクリエイター)をサントドミンゴ、マナグア、グアテマラシティに巡回派遣し、アニメに関するレクチャー及び作画ワークショップを実施
15	山下 泰裕 中西 英敏	柔道八段、東海大学教授、特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティ理事長 東海大学助教授 柔道七段	フランス	07.02.02～ 07.02.10	山下泰裕(柔道八段、東海大学教授、特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティ理事長)及び中西英敏(柔道七段、東海大学助教授)を、パリ、マルセイユ、ボルドーに巡回派遣し、柔道に関するレクチャー及びデモンストレーションを実施。パリ日本文化会館開館10周年記念
16	川澄 健 西田 徹	東京すしアカデミー東京校 校長 東京すしアカデミー 講師	スウェーデン デンマーク ノルウェー フィンランド	07.02.24～ 07.03.07	東京すしアカデミー東京校校長・川澄健氏、同アカデミー講師・西田徹氏を、オスロ、ヘルシンキ、コペンハーゲン、ストックホルムに巡回派遣し、寿司に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
17	山口 真 松浦 英子	おりがみはうす代表 おりがみはうすデザイナー	ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン	06.10.06～ 06.10.20	山口真(おりがみはうす代表)及び松浦英子(おりがみはうすデザイナー)を、タシケント、サマルカンド、アルマトゥイ、アスタナ、キエフに巡回派遣し、折り紙に関するレクチャー・デモンストレーションとワークショップを実施

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
18	高橋 政男 上原 英樹 竹村 典久 本田 俊朗	柔道八段 北海道警察 柔道五段 長野県警察 柔道六段 広島県警察 柔道四段 栃木県警察	ロシア	06.11.10～ 06.11.24	高橋政男(柔道八段)ほか柔道家計4名をウラジオストク、ハバロフスク、ユジノサハリンスクに巡回派遣し、柔道の指導及びレクチャー・デモンストレーションを実施
19	溝渕 括也 小山 裕久	平成調理師専門学校 教頭 特定非営利活動法人日本料理文化交流協会 理事長	ギリシャ フランス	07.02.20～ 07.03.01	小山裕久(特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長)及び溝渕括也(平成調理師専門学校教頭)をパリ、アテネに巡回派遣し、日本料理に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
20	島田 雅彦	作家 法政大学教授	イラン	06.11.23～ 06.11.28	島田雅彦(作家)をテヘラン、イスファハンに巡回派遣し、日本文学に関する講演を実施
21	笹山 安文 石渡 雅彦	財団法人池坊華道会教授	イエメン トルコ	06.09.01～ 06.09.14	石渡雅史(財団法人池坊華道会教授)及び笹山安文(財団法人池坊華道会教授)をサヌア、アンカラ、イスタンブールに巡回派遣し、生け花に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
22	大橋 栄二 大橋 瑛子	日本の風の会 世話人 日本の風の会	ウガンダ ケニア	07.02.26～ 07.03.08	大橋栄二(日本風の会世話人)及び大橋瑛子(日本風の会)をナイロビ及びエンテベに巡回派遣し、和風に関するレクチャー・デモンストレーション及び制作ワークショップを実施
23	秋山 真和	綾の手紬染色工房 主宰	セネガル	07.01.12～ 07.01.25	秋山真和(綾の手紬染色工房 主宰)をダカールに派遣し、藍染に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
24	森本 公誠	東大寺 別当	インド	07.01.21～ 07.01.26	森本公誠(東大寺別当)をデリー、コルカタに巡回派遣し、日印仏教交流史に関する講演を実施
25	中村 義明 北山 安夫	中村外二工務店 代表 有限会社北山造園 代表	インド	06.11.25～ 06.12.01	中村義明(中村外二工務店代表)及び北山安夫(有限会社北山造園代表)をデリーに派遣し、日本庭園・建築に関する講演を実施。
26	村上 春樹	作家	チェコ	06.10.29～ 06.11.07	村上春樹(作家)をプラハに派遣し、文学に関する講演を実施
27	長谷川 貴彦 渡辺 坂司 藤田 由仁 藤田 博子	株式会社ディップ オアシス・ガーナ友の会代表 日本独楽博物館 館長 日本独楽博物館	インドネシア	07.03.17～ 07.03.24	渡辺坂司(オアシス・ガーナ友の会代表)並びに、独楽やヨーヨーの専門家の藤田由仁(日本独楽博物館館長)、藤田博子(日本独楽博物館)、及び長谷川貴彦(株式会社ディップス)をジョグジャカルタに派遣し、地震で被災したジャワ島の子供たちを対象に演劇他のワークショップを実施

文化事業費

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
28	多和田 葉子	作家	ヨルダン	06.12.03～ 06.12.06	作家・多和田葉子氏をアンマンに派遣し、文学に関する講演を実施
29	石黒 育	アニメーター・ 演出家、株式会社 動画工房代表 取締役	チリ ベネズエラ	07.03.11～ 07.03.21	石黒育(アニメーター・演出家、株式会社動画工房代表取締役)をカラカス、サンティアゴに巡回派遣し、アニメに関する講演を実施。

2. 催し等事業費 (2) 日本紹介のための文化人派遣 (助成)

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう事業に対し、助成を行なう（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。
合計額 27,330,516円

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	佐藤 ミチヒロ	ジュエリー作家 伊丹ジュエリーカレッジ講師	韓国	慶星大学芸術大学	06.04.27～ 06.04.30	慶星大学(韓国・プサン)美術学部において行われる、日本・韓国・ドイツ合同クラフト展の中のプログラムで、紙のジュエリー作品をスライドで紹介する講演会である。作品という視覚表現を通じて日本人としての感性を紹介すると共に日韓の工芸分野に関わる人々との友好を深めることを目的とする。
2	野田 暉行	東京芸術大学音楽学部 教授、副学長	中国	雲南芸術学院	06.09.18～ 06.09.26	中国において現在日本音楽創作についてのレクチャー及び公演を行う。上海では新作が上海の演奏家によって上演され、日本現代音楽の状況と21Cの動向に関するレクチャーを行うと共に音楽界の専門家や学者と交流を行う。
3	武安 義光	(財)全日本剣道連盟会長	中国 モンゴル	北京剣道同好会 上海剣道愛好会 モンゴル剣道連盟	06.06.16～ 06.06.26	剣道人口の急成長している中国、特に北京、上海で週末を利用して剣道指導と現地からの要望が強い審査会を開催する。週末の間にはモンゴルで剣道指導をする。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
4	富岡 三智	ジャワ舞踏家 インドネシア 語通訳 東南アジア史 学会,比較舞 踊学会,東洋 音楽学会,民 俗芸術学会会 員	インドネシア	インドネシア 大学	07.02.05～ 07.02.15	能のワークショップ、公演、講演、記録ビデオ上映。単なる紹介ではなく、催しにディスカッションを設け、日本とインドネシアに共通／相違する文化背景や直面する問題について対話・交流を促し、数年後には共同制作あるいは同一テーマで競作した公演を日本とインドネシアで実施することを目標とした。実技だけではなく、伝統芸術を取り巻く環境、研究や映像記録と上演と連携など、共通する諸問題について話合うことを重視し実施した。
5	熊谷 真由美	La Crema des Crema主 宰 料理研究家	ベトナム	ベトナム文化 情報省	06.08.20～ 06.08.25	Japan Festival2006 In Vietnamにて日本料理の中でも家庭料理に絞り、現地の食材を存分に使用した交流型ワークショップを行う。そこで、日本料理の味や作法を親しみやすくベトナムの市民に伝え、日本料理の素晴らしさを感じてもらい、日本文化の理解を深める。
6	熊谷 雅	日本美術家連 盟	インド	SIR JJ SCHOOL OF ART	06.11.01～ 06.12.15	インドの大学、ギャラリー、学校で生徒、一般の方を対象にした「KATAZOME WORKSHOP」を実施した。日本伝統である「染と織」それにまつわる伝統・文化をスライド・写真・見本資料などを通じて紹介すると共に沖縄を中心とする一枚型多色刷りの型染技法をWorkshopを実施した。また、ギャラリーではインド人作家とのコラボレーションによる現代美術、特に和紙、インドの紙を中心とした作品の展覧会とワークショップで交流した。
7	曾根 博義	日本大学教授	オーストラリア	シドニー大学	06.04.29～ 06.05.06	シドニー大学に対して、井上靖の遺族から井上靖全集を寄贈するとともに日本文学研究の奨励を目的とする井上靖賞を設立するに当たり、井上靖紹介のための講演会を開催する。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
8	田中 義弘	江戸の伝統工芸共同組合理事長	オーストラリア	シドニー日本文化センター	06.09.20～ 06.10.04	台東区と姉妹都市であるマンリー市の「マンリー芸術祭」の参加。江戸すだれ、江戸刺繍、江戸提灯、江戸宝飾、江戸刃物、江戸おろし金から成る江戸伝統工芸職人が一同にデモンストレーションを実施。歌舞伎や能のような舞台芸術とは異なり、実演者と対象者の距離が近く「ものづくり」を対象者にも参加可能。寄贈品を家の中に持ち込むことにより常に日本を身近に感じさせることが可能。製作に参加してもらい交流と日本生活文化への理解を図る。
9	細野 葉霞	(財)草月会いけばな師範	オーストラリア	いけばなインターナショナルメルボルンチャプター草月ビクトリア支部	06.08.24～ 06.09.09	2006年日豪交流年の民間記念行事として、いけばなインターナショナルメルボルンチャプターと草月ビクトリア支部が共同開催する、いけばな紹介事業であった。 いけばな愛好家および一般オーストラリア人に対して、いけばなデモンストレーションを実施すると共にワークショップを実施した。また、インターレーションを制作した。
10	山口 毘堂	能面師、桑沢デザイン研究所非常勤講師	米国	アジア美術館	06.05.28～ 06.07.05	サンフランシスコ、アジア美術館において2006.6.1～6.30まで日本の伝統的な能面制作についてスライドレクチャー、デモンストレーション、ワーク・ショップ（参加者に実際お面造りを体験してもらい完成させる）を行った。
11	金子 マサ	ぬりえ美術館館長	米国	ニューヨーク日系人会	06.09.22～ 06.10.23	ぬりえを通して日本文化の表現をニューヨークにて体現した。ぬりえの展示とデモンストレーションを通じ、それぞれの技法と芸術性を説明、さらに日本書店での講演を行い、より深く日本文化とその表現を伝えた。
12	武田 良甫	華道未生流笹岡京都支部講師	グアテマラ	グアテマラ花協会	06.06.24～ 06.06.30	日本の華道全般を概要説明するとともに、未生流笹岡のデモンストレーションおよびワークショップを行った。展示においては、同じ花材を用いて、グアテマラ花協会会員の作品と比較。表現の違いを鑑賞。講義後は立礼式のお点前を実施。希望者には体験してもらった。在グアテマラ日本大使館が平成18年度主催・実行する日本文化紹介月間の一環。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
13	吉田 晃良	大阪成蹊大学 芸術学部 教授	メキシコ	グアナファト プエブロ美術 館	06.08.03～ 06.09.16	昨年実施された「メキシコ・日本inグアナファト現代版画交流展」の一環として2006年メキシコ・グアナファト美術館文化プログラム事業を行う。内容としては、京都の伝統的工芸技法による繊維造形（ファイバーアート）作品の展示。日本の繊維造形をスライドによる紹介。金彩友禅技法による染色、型紙による染色。
14	藤田 由仁	日本独楽博物 館 館長	コロンビア	路上昔遊び大 会実行委員会	06.05.25～ 06.06.10	コロンビアで行われる「路上昔遊び大会」へ参加し、同国で遊ばれている多くの昔遊びのルールである日本の昔遊びをデモンストレーションした。2日間のイベントで2万5000人の観客を集める大規模なイベントであり、今回は25周年を記念して日本で遊ばれている昔遊びを披露し、日本とコロンビアの文化交流を昔遊びを通じて広げていった。
15	多木 浩二	評論家	イタリア	ローマ日本文 化会館	06.04.24～ 06.05.31	講演においては倒幕、開国した日本がどのように近代化の道をたどったか、その際、近代天皇制がどのように成立したかを論じた。その象徴として「天皇の象徴」がいかなる政治空間を成立させ、人々がそのなかで生きる国家が形成されるプロセスについて論じた。セミナーでは歴史の方法、図像史学の可能性などを討論した。
16	中嶋 宏行	(有)墨のアトリ エ代表取締役	フランス	アヴィニオン・フェ スティバル実行 委員会	06.07.04～ 06.07.28	第30回アヴィニオン・フェスティバル（フランス）の公式プログラムに参加した。申請者は日本からの書家・現代美術作家として、作品の展示とデモンストレーションを行った。書道で「月」の文字を毎夜一点つづ、その夜に浮かんだ月の姿、フェスティバルの雰囲気を感じながら毎夜制作し、制作現場はデモンストレーションとして公開した。
17	まつい のり こ	紙芝居文化の 会・代表 絵本・紙芝居 作家	フランス	バニユー市	06.04.01～ 06.04.10	フランスの地方自治体が取り組む、本格的な紙芝居事業に全面協力した。2002年度に日仏共催で「日仏紙芝居文化講座」を開催した。前回の成功を受け今回も紙芝居の活性化を図る目的で地元幼児教育関係者を対象に紙芝居を学ぶ講座を開いた。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	松山 由維子	映像作家	フランス	パリ日本文化会館	06.06.21～ 06.06.26	日本の映像作品の上映・講演を通じて映像芸術の辿って来た歴史と今日的意義をパリで紹介した。60～70年代の代表的な実験映画と現代の映像作品を3つのカテゴリーに分けて併置し、その歴史を越えて通底する問いかけを試みた。
19	山口 朋子	山口能装束研究所主幹染織研究家	オーストリア フランス	Amities Tissees	07.03.07～ 07.03.23	「能装束の世界展」ではパリで、能装束の展覧と近世の日本の染織の技と内在する深い世界を紹介した。
20	太田 曜	実験映画作家、東京造形大学非常勤講師	フランス	Des`ka	07.02.24～ 07.03.30	日本で製作された実験映画の短編作品を2つのプログラムにして、フランスを中心とするヨーロッパ各地で上映し、上映と同時に会場でレクチャーを行った。
21	桃谷 好英	折り紙専門家、国際交流折り紙の会会長	フランス	M.F.P.P	06.05.23～ 06.06.06	フランス折り紙協会、国際折り紙会議にて、折り紙文化についてのレクチャー、ワークショップ、折り紙作品の展示と作品解説した。
22	渡邊 坂司	特定非営利活動法人 オアシス	クロアチア セルビア・モンテネグロ	SOS子供村 ノピサド	06.04.03～ 06.04.24	セルビア・モンテネグロ及びクロアチア二カ国で慈善マジック公演を実施した。公演後「オリガミ教室」「誰にでも出来る簡単手品」のレクチャーを行った。
23	沢 則行	チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部教諭 人形劇作家、人形・舞台芸術家	チェコ	オープンアート・ノバーク・パカ	06.07.16～ 06.08.26	2006年7月～8月にかけて、チェコ共和国のスタラー・パカ市ロシュコポフ村で開催される「子供のためのカルチャー・キャンプ」においてチェコの子供たちとその指導者のための特別セミナーおよび舞台作品、人形作りなどのワークショップを指導した。また、他セミナーも含めてカルチャー・キャンプ全体の芸術監修、企画アドバイスも行い、今までに試みられたことのない方法によるチェコ人のための日本文化紹介を実施。
24	藤本 トモエ	NPO国際珠算普及基金理事	ブダペスト チュニジア モロッコ	ハンガリー珠算協会 チュニジア教育省 ヤッサミン小学校 アッサビル小学校	06.10.29～ 06.11.08	珠算教育」の効果と意義を日本の独自の文化として世界各国の数学者や教育関係者に紹介。教育関係者を対象とする珠算教育の効果による講演とそろばんの実技指導、暗算技術の紹介、現地小学校での子供たちを対象とするそろばん使い方指導、教育省初等教育担当者に対するそろばん教育のワークショップ。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
25	新井 庸弘	(財) 少林寺 拳法連盟	タンザニア	少林寺拳法 ダルエスサ ラームシティ 支部	06.09.19～ 06.10.04	ケニア・タンザニア両国の少林寺拳法 会員により要請を受け、現地における 日本文化の振興と少林寺拳法の普及を 促進するために技術・学科に関する指 導並びに一般公開デモンストレーション を実施した。
26	長谷川 貴彦	株式会社 ディップ	コロンビア	路上昔遊び大 会実行委員会	06.05.25～ 06.06.10	コロンビアで行なわれる「路上昔遊び 大会」へ参加した。ヨーヨーのレクデ モを実施した。本大会は同国で遊ばれ ている多くの昔遊びのルールである日 本の昔遊びをデモンストレーションする 2日間のイベントで2万5000人の観客 を集めた。
27	隈 研吾	隈研吾建築都 市設計事務所 代表取締役社 長 慶応義塾大学 理工学部教授	セルビア・モ ンテネグロ	応用美術館	06.04.22～ 06.04.30	ベオグラードで開催される第28回建築 サロンにおいて、日本の現代建築に関 する講義を行なった。
28	二階堂 考	尚美学園大学 芸術情報学部 兼任講師 日本合唱指揮 者協会実行委 員	グアテマラ	日本合唱指揮 者協会	06.06.23～ 06.07.04	合唱を指揮・指導する人のための講習 会と歌う人のための講習会を行なう。 短期間の練習で現地グアテマラの合唱 団をコンサートまで導く。講習会では 発声法、指揮法、アンサンブル、楽曲 分析等の理論と実践を行なう。実際の 日本作品にも取り組むがその中で日本 文化・音楽のレクチャー、日本の作曲 家の作品紹介が中心となる。
29	中川 茂昭	シゲ・ナカガ ワ切絵工房	韓国	在韩国日本大 使館	06.07.24～ 06.07.28	実際に切り絵を制作してもらい日本文 化を直に体験できる参加型の文化行 事。関心の高い韓国の子供達の参加を 考慮して夏休みに実施した。韓国の若 年層の日本文化普及に努めた。
30	清水 敬介	NPO国際 ホースバッ ク・アーチェ リー協会理事 長	モンゴル	International Horseback Archery Association Head Office	06.09.06～ 06.09.11	日本古来の騎射技術を披露、指導する。 モンゴル帝国建国800周年を記念する 行事「国際ホースバック・アーチェリー 競技大会」の成功を収めた。
31	杉本 準一郎	愛知県立常滑 高等学校教 諭、彫刻家	ネパール	ARAMBHA Contemporary Nepali Sculpture Group	06.07.26～ 06.08.20	日本・ネパール国交樹立50周年 カ トマンズにて日本で活躍する彫刻家と ネパールで活躍する多くの彫刻家が参 加するイベント。貴重なネパール産 大理石を使い友情と信頼 (Harmony) をテーマに公開制作を行なった。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
32	杉本 洋	NPO法人文化交流機構円座	カナダ	ヴィクトリア美術館	06.07.11～ 06.07.21	日本文化紹介のためのワークショップ・レクチャー・公開制作。「ペント・イン」に展示を行なう日本人アーティストのレクチャー（漆、鍛金）ワークショップ（扇面制作、木版画）公開制作（彫刻）を行なうことにより、日本の伝統文化や制作技術の紹介及び美術館所蔵の日本美術の修復のアドバイスをする。美術を媒介とした国際文化交流の礎を築く。
33	BAKU 斎藤	スタジオバク代表取締役、CultureMotion "APPASIONATO" 代表、(社)日本写真家協会会員、(社)日本広告写真家協会会員	米国	国連本部	06.06.19～ 06.08.18	ニューヨーク国連本部にて写真展、セミナー、ギャラリートークを開催。各専門家からクメール文化を背景とした日本との関わりや日本の活動、写真文化等を世界各国の人々に伝える。
34	原 すがね	東北芸術工科大学芸術学部美術科工芸コース助教授、日本テキスタイルカウンシル監事、日本テキスタイルデザイン協会会員	コスタリカ	コスタリカ北米文化センター	06.09.07～ 06.09.21	アメリカ・マイアミにあるWomen in Textile Orgaqnizationが主催する国際イベントに参加。染織に関するレクチャー、ワークショップ、展示などが行なわれた。レクチャーでは「日本の現代染織」をテーマに講演を行なった。
35	田島 栄次	NGO折り紙外交の会代表	ドイツ マケドニア	ミュンヘン折り紙愛好会独日協会	06.07.05～ 06.07.21	ドイツ、マケドニアにおける病院、教育施設を中心に折り紙交流、指導、支援を行なった。折り紙をリハビリ治療に活用する小児病院での指導と折り紙の寄付を実施。マケドニアの教育施設での交流、指導及び折り紙の寄付を行った。
36	坂上 弘	日本文藝協会	ドイツ	ベルリン国際文学祭事務局	06.09.03～ 06.09.15	世界から小説家・詩人120名の参加を見込まれる国際文学祭に参加。自作のテキストの朗読を通じて文化の相互理解を深める他、劇場、図書館、学校等における発表に参加して交流を深めた。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
37	円田 秀樹	(財)日本棋院	アイスランド	在アイスランド日本国大使館	06.09.28～ 06.10.10	アイスランドとトルコの囲碁文化普及促進。首都レイキャビクにて囲碁のデモストレーションと囲碁講座を開催。トルコ囲碁協会の協力を得てアンカラ・ブルサにて囲碁のデモストレーションと囲碁教室、イスタンブールの囲碁大会にて多面打ち指導碁・解説を行なった。
38	那須 幸雄	東京(江戸)友禪染教室代表	英国	マンチェスター・メトロポリタン文学	07.02.02～ 07.02.25	英国マンチェスターメトロポリタン大学内にて伝統工芸である着物染手法友禪を通じ文様、日本のモードの素晴らしさを教えることから相互理解、文化交流を深めた。日本文化入門として、着物の歴史、現況を説明するとともに着物が染められる工程を实际学んで頂いた。
39	藤田 賢二	東京大学名誉教授、W.K.バルトン生誕150年記念事業企画実行委員会委員長	英国	マンチェスターメトロポリタン大学	07.02.02～ 07.02.25	明治に来日し日本の上下水道技術を育成したWKバルトン氏の生誕150年を記念して祖国スコットランドで彼の存在を伝え両国の友好親善も兼ねた記念事業を行なう。講演会ではスコットランド人が日本の近代化に果たした役割について講演。また、両国の上下水道及び環境に関するシンポジウムを実施。
40	岡部 マリー	フルーティスト	ザンビア	エヴリンホーン大学	06.07.15～ 06.08.14	吹奏楽に関わる全ての楽器の取り扱いと演奏方法を教授しザンビアでのヨーロッパ音楽に対する認識と演奏技術の向上を計った。練習結果発表のためのコンサートを行なった。
41	股野 容子	茶道表千家	ベトナム	ベトナム文化情報省	06.08.19～ 06.08.24	日本の和菓子、現地の花財、菓子を使用した現地文化と融合したお茶会を開催。そこで茶道の日本における役割、和菓子の美やいただきかたの作法を親しみやすくベトナムの市民に伝え茶道の奥ゆかしさ、おもてなしの心を伝える。
42	日高 充宣	表千家悠久会会長	中国	江西財經大学	06.10.12～ 06.10.17	日本の生活文化の典型である華道、茶道、を具体的にデモストレーションで紹介したことにより、日本人そのものについて理解を深めた。
43	森谷 洋至	写真家	ブータン	在インド日本国大使館	06.10.24～ 06.11.06	ブータンでの日本週間の期間中、森谷洋氏の写真作品展及び講演会・ワークショップを開催した。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
44	大谷 俊介	電気通信大学 教授	オーストラリア	ヴィクトリア 州芸術省	06.11.22～ 06.11.29	豪州メルボルンでの日本画25点の展覧会に併設してシンポジウムを開き、そこに日本画・日本文化についての講演を行う文化人3名を派遣した。
45	山本 宏子	岡山大学教育学部教授、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教授	米国	ウィスコンシン大学マディソン校	06.11.24～ 06.12.03	アメリカ地方都市の青少年を対象にしたセミナーで日本音楽の美に共感してもらうために演奏会、解説つきデモンストレーション、実際に楽器に触れてもらう参加型のワークショップを組み合わせたもの。
46	高橋 泰三	(株)染の聚楽代表取締役社長	米国	Japan EXPO	06.11.16～ 06.11.21	Japan EXPOに参加し、衣装展示、解説、キモノ文化についての講演した。日本の歴史伝統を正しく理解してもらう事を目指した。
47	糸井 紫雲	小原流特別認定専門教授者 一級家元教授 府中市カルチャー講座講師	アルジェリア	在アルジェリア日本大使館	06.09.15～ 06.09.23	アルジェリア市で一般市民を対象とするいけ花デモンストレーションを実施した。アルジェリア日本大使館が主催する「2006年アルジェリア日本文化週間」の中核をなす行事となった。
48	北島 忠雄	日本将棋連盟	米国	アメリカ将棋連盟	06.10.08～ 06.10.13	将棋専門棋士を海外に派遣し日本の伝統文化、将棋を外国に紹介した。プロ将棋界最高棋戦である竜王戦をサンフランシスコで実施する機会に、地元将棋ファンとの交流を行った。
49	二戸 正友	(有)二戸砂子工房代表取締役	エジプト	エジプト文化省	06.11.13～ 06.12.01	平家納経や源氏物語絵巻等に見られる金箔銀箔を用い襖・屏風など和風建具に加飾する事業。自らの作品を美術館に展示する他、大学での講演を実施。
50	奥村 恵美子	クリエイティブハウスおくむら代表	フランス	パリ日本文化会館	06.11.20～ 06.11.30	日本の原風景と原家屋の映像を通して日本人の根本的な精神風土を発信する。日本の風景が集約されているといわれている兵庫県但馬地方の風景映像誌を中心に構成した映像プログラムをパリ日本文化会館のドキュメンタリーシリーズ、オートサボア建築会館の映像展等を実施。
51	中保 佐和子	ファクトリアル代表、詩人、翻訳家	米国	ベラドンナ	06.11.14～ 06.11.20	東京とニューヨーク共同開催により日本の女性詩人をニューヨークに派遣。朗読会、国際現代詩パネル、ワークショップ、また代表的現代詩人の朗読会収録ビデオの上映会を開催。実践と研究報告の両面から日本の現代詩を紹介。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
52	遠藤 敦司	群馬県・前橋朗読研究会「プレス」	韓国	同徳女子大学	07.02.20～ 07.03.10	日本文化への関心を日本語による音声表現という形で伝えた。韓国日本言語文化学会の研究者を対象に朗読会を開いた。大学で日本語を学ぶ学生に朗読を聞かせた。近代を代表する作家の作品を取り上げ日本語の魅力、美しさ、独創性を伝えた。
53	梅野 重俊	(株)梅の花代表取締役社長	インド	在インド日本大使館	07.01.25～ 07.02.04	2007年「日印交流年」事業の一環として、在日本インド日本大使公邸において日本料理の紹介を行った。豆腐と湯葉を中心とした精進料理を紹介することを通じて、禅を仲介とした日本とインドとの関係の深さを認識させた。インド人知識層に対する日本理解の促進を図った。
54	森田 美穂	京都造形大学	インド	アクション・ミッションスクール ワットシーンズスクール	07.03.21～ 07.04.01	日本文化造形ワークショップは日本風和室や関連する空間構成を参加者と事業が共に造形的に制作することで参加者が日本文化の本質に触れることができるように考案した。日本の生活文化に関する講演や造形実践指導を実施した。
55	ティム クロス	福岡大学人文学部助教授	オーストラリア	AIDA	07.03.07～ 07.03.12	シドニー近郊の大学やシアターで現代舞踊を専攻する学生を対象に、能を紹介した。日本から宝生流能楽師2名を招聘し、比類なき抽象テクニクを現地の学生と学んだ。単に能を披露する事業ではなく、能の動きがどのような意味をなし、その表現力を放つかなど、ワークショップを通じて、現地の学生に伝承した。能の伝統技術がオーストラリアの現代舞踊の向上に貢献した。
56	伊藤 行也	劇団影法師代表取締役舞台美術家	オーストラリア	シアター オブ イメージ	07.02.22～ 07.03.18	小学校の児童とオーストラリア国内で児童青少年演劇に携わる関係者を対象として、簡単な日本の影絵人形の作り方、操作方法、演技方法を学ぶ影絵ワークショップを実施する。ワークショップ参加者には日本の影絵技術と海外のデジタル技術が融合した舞台作品を鑑賞する。その上で、実際の影絵技術がどのように使われるのかと、今後の影絵世界の創造性と可能性を感じた。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
57	増井 一平	東京芸術大学 大学院美術研 究科非常勤講 師 型彫師	フランス	パリ日本文化 会館 パリ装飾美術 館	07.01.08～ 07.01.13	パリ日本文化会館で開催される「型紙展」に赴き、またパリ装飾美術館所蔵の型紙の質・時代・技術と保存状態、また日本からパリに伝来した型紙のルーツを明らかにした。装飾美術館では、型紙を彫る実演、型紙の用具、用材の歴史について講じた。
58	片岡 正二郎	俳優、ミュー ジシャン	フランス	パリ日本文化 会館	07.02.26～ 07.03.05	小津安二郎監督「生まれてはみたけれど」「東京の合唱」を、かつての日本独自の上映形態である弁士・楽士付きで上映した。音楽と台本はオリジナルのものを公演した。
59	曾根 将郎	曾根造園取締 役、日本庭園 技術研究所所 長	オランダ	ライデン大学	06.10.15～ 06.10.21	オランダ・ハーグ市所在のクリンゲンダール日本庭園においてオランダの庭園専門家に対し、日本庭園における剪定等の実技指導を行った。オランダの庭園専門家に対し日本庭園を中心とした日本文化についての講義を行った。
60	渡辺 孝史	一保堂代表取 締役社長	フランス	パリ日本文化 会館	07.02.02～ 07.02.12	日本茶の歴史、製造法、栄養価、飲み方などを解説し、参加者の日本茶、ひいては日本の食文化に対する理解を深めるレク・デモを実施した。

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 中学高校教員交流（招へい）
- (2) 中学高校教員交流（派遣）
- (3) 市民青少年交流（指導者交流）（派遣）
- (4) 市民青少年交流（指導者交流）（招へい）
- (5) アジア青年文化奨学金（中等教育プログラム）（AC）
- (6) 開高健記念アジア作家招へい（AC）
- (7) 文化交流企画運営補助（JFボランティア）

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催）
- (2) 市民青少年交流（主催）（中東）
- (3) 市民青少年交流（助成）
- (4) 市民青少年交流（助成）（AC）
- (5) 市民青少年交流（助成）（中東）
- (6) 異文化理解ワークショップ（中東）
- (7) 異文化理解ワークショップ（AC）
- (8) 異文化理解ワークショップ

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (1) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで招へいし、研修・視察の機会を提供する。

合計額 143,889,202円

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容				
1	中高教員グループ (第1)	アフガニスタン	2	06.06.22～ 06.07.05	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供				
		アラブ首長国連邦	3						
		イラク	3						
		イラン	3						
		インドネシア	3						
		エジプト	3						
		カナダ	3						
		コンゴ民主共和国	3						
		ジンバブエ	3						
		スイス	3						
		トルコ	3						
		ネパール	4						
		ノルウェー	4						
		パキスタン	5						
		マレーシア	5						
		2	中高教員グループ (第2)			ウクライナ	1	06.09.07～ 06.09.20	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
						クロアチア	1		
コートジボワール	2								
コロンビア	3								
ザンビア	3								
ジャマイカ	3								
スロバキア	3								
セネガル	3								
セルビア	3								
タンザニア	3								
チェコ	3								
チリ	3								
ドミニカ共和国	3								
トリニダード・トバゴ共和国	3								
ニカラグア	3								
パラグアイ	3								
ブラジル	3								
ベラルーシ	3								
メキシコ	5								
モンテネグロ	5								
ロシア	5								

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
3	中高教員グループ(第3)	イタリア インド オーストラリア スウェーデン スペイン タイ チュニジア デンマーク ドイツ バヌアツ パプアニューギニア ハンガリー フィリピン フランス ブルガリア ベトナム モロッコ 英国	3 3 3 3 3 3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5	06.11.02～ 06.11.15	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供
4	中高教員グループ(韓国)	韓国	25	06.09.28～ 06.10.11	韓国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に対する理解を深め、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、韓国の中等教育に携わる教員(主として社会科、国際理解教育)等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供

1. 人物交流事業費 (2) 中学高校教員交流(派遣)

諸外国の中学校・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わっている者をグループで派遣する。

合計額 726,960円

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
1	韓日教育者交流事前研修	韓国	24	06.10.24～ 06.11.07	韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環として、日本の中学・高校の社会科教員の韓国研修の渡航前オリエンテーションを実施

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (3)市民青少年交流（指導者交流）（派遣）

市民青少年交流分野で指導的立場にある内外の専門家を少人数のグループで派遣し、調査・視察・意見交換などにより関係者間のネットワーク形成と、同分野の新たな交流を促進する。

合計額 8,513,471円

	事業名	対象国	人物	現職	期間	事業内容
1	環境教育関係者中南米派遣	コスタリカ メキシコ	朝岡幸彦 大島順子 小栗有子 久高将和 小松幸子 浜本奈鼓 三好直子	東京農工大学 准教授 琉球大学法文 学部観光学科 准教授 鹿児島大学生 涯学習教育研 究センター 准教授 特定非営利活 動法人 国頭 ツーリズム協 会 顧問 特定非営利活 動法人 グラ ウンドワーク 三島 理事 特定非営利活 動法人 くす の木自然館 専務理事 社団法人ネイ チャーゲーム 協会 職員	07.03.27～ 07.04.07	日本と中南米諸国との市民交流を促進するため、持続可能な開発のための環境教育（ESD）に携わる日本の市民団体に指導的立場にある人物や専門家を、メキシコ、コスタリカへ派遣し、各国で同分野に係わる市民団体関係者や専門家との情報・意見交換を実施

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (4)市民青少年交流(指導者交流)(招へい)

市民青少年交流分野で指導的立場にある内外の専門家を少人数のグループで招へいし、調査・視察・意見交換などにより関係者間のネットワーク形成と、同分野の新たな交流を促進する。

合計額 6,845,906円

事業名	対象国	人物	現職	期間	事業内容
1 豪州多文化共生・異文化理解グループ招へい	オーストラリア	Stepan Kerkyasharian Richard Acheson Violet Roumeliotis Jihad Dib	ニューサウスウエールズ州多文化地域社会関係委員会委員長 ニューサウスウエールズ州多文化地域社会関係委員会多文化関係サービス部長 カンタベリー・バンクスタウン移住者資料センター・マネージャー パンチボウル男子高等学校副校長	07.01.18～ 07.01.30	新たな市民青少年交流事業の発展に資することを主たる目的として、多文化共生・異文化理解事業分野で指導的立場にあるオーストラリアの専門家(若手・中堅の指導者・担い手を優先)を複合分野の構成により招へいし、日本側の同様な分野に係わる専門家(指導者・担い手)との情報・意見公開の機会を提供。また、オーストラリアにおける多文化共生・異文化理解事業等の実績を紹介するためのフォーラムを東京で、関係者との意見交換会を仙台で、シンポジウムを名古屋で実施

1. 人物交流事業費 (5)アジア青年文化奨学金(中等教育プログラム)(AC)

アジア域内の将来を担う人材育成を促進するため、アジア各国と日本の高校生の交換留学事業を行なう。

合計額 111,200円

事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
1 アジア青年文化奨学金〔中等教育プログラム〕	インドネシア	2	06.04.01～ 06.07.31	アジア各国の青少年同士の相互理解のため、日本人高校生2名を第9期生として、平成17年8月、インドネシアに派遣。平成18年度は派遣残存期間となる4月から7月帰国までの4カ月を引き続き派遣。留学生はインドネシアの一般家庭にホームステイしつつ高校に通学

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 (6)開高健記念アジア作家招へい (AC)

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会などを実施する。

合計額 4,819,121円

	事業名	対象国	場所名	関連機関名称	都市	期間	事業内容
1	第16回「丁雲（ディン・ユン）」	シンガポール	国際交流基金国際会議場 仙台文学館 大阪国際交流センター会議室 函館市中央図書館	財団法人 仙台市市民文化事業団 財団法人 大阪国際交流センター 財団法人 北海道国際交流センター	東京 仙台市 大阪市 函館市	06.10.25～ 06.11.07	作家の故開高健氏の遺族からの寄付金により、シンガポールの作家・丁雲（ディン・ユン）氏を招へいし日本国内4ヵ所にて講演会を実施。東京大学の藤井省三教授や作家の佐伯一麦氏との対談も実施
2	第17回「李鋭（リ・ルエイ）」	中国				06.04.01～ 07.03.31	作家の故開高健氏の遺族からの寄付金により、19年度に中国の作家を招へいし日本国内にて講演会を実施する準備作業

1. 人物交流事業費 (7)文化交流企画運営補助 (JFボランティア)

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 7,827,240円

	人物	対象国	受入機関	期間
1	山崎夕佳	エジプト	エジプト日本語教育振興会	05.05.10～ 06.05.09
2	兼崎妙	マレーシア	マレーシア日本語協会	05.05.17～ 06.05.16
3	河嶋佳子	ドイツ	ベルリン日独センター	06.09.01～ 07.08.31
4	塩沢祥子	エジプト	エジプト日本語教育振興会	06.11.09～ 07.11.08
5	尾上智子	フィリピン	フィリピン日系人互助財団付属研修センター	07.02.02～ 08.03.04

2. 催し等事業費 (1)市民青少年交流 (主催)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と国際交流を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本から派遣または招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 3,278,656円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	韓国青少年教育グループ (招へい)	韓国	07.03.13～ 07.03.21	韓国で青少年問題 (就労支援) に携わる市民団体の実務家をグループで招へいし、日本の状況への理解を深めるため、日本の同分野の団体を訪問し、関係者と意見交換を実施

2. 催し等事業費 (2)市民青少年交流 (主催) (中東)

中東地域を対象として、文化分野における市民・青少年レベルでの国際交流を促進し、相互理解を深めるため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家をグループで派遣または招へいし、意見交換、セミナー、シンポジウム、ワークショップなどを実施する。

合計額 3,585,233円

	事業名	対象国名	期間	事業内容
1	中東青少年交流グループ派遣	アラブ首長国連邦 エジプト シリア	07.02.26～ 07.03.06	青少年交流や育成をおこなっている指導者及び担い手をグループで中東に派遣し、意見交換を実施

2. 催し等事業費 (3)市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 18,731,065円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	第5回北九州・オーストラリア子どもふれあいキャンプ	オーストラリア	北九州日豪協会	06.07.27～ 06.07.31	北九州市域の小中学生約100名を対象に、オーストラリアにおいて、草の根レベルでの青少年交流事業や福祉施設見学、ファームでの体験学習を実施し、雄大な自然の中での異文化交流を通じた青少年の国際感覚醸成と国際理解促進を図る事業
2	「シドニー日本伝統文化祭2006」	オーストラリア	日本生活文化交流協会 (JLC)	06.09.20～ 06.09.27	シドニー大学等で日本の伝統文化、生活文化を紹介 (津軽三味線、香道、茶道、書道、きもの、折り紙等の展示・実演)。実際の体験から交流を進め、日本人の素顔を伝える。訪問先の歴史と文化も学ぶ事業

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	子ども中心の教育に関する調査と交流	オーストラリア	特定非営利活動法人 東京シュレー	06.07.10～ 06.07.16	日本のフリースクール生がオーストラリアの市民社会、子ども中心の教育を軸に世界のオルタナティブ教育の実践状況、公的支援状況を視察および意見交換を実施。また日本の教育、文化、フリースクールの状況を伝えるワークショップを開催
4	札幌・ジュニア・ジャズスクールによる豪州演奏会及び両国青少年国際文化交流事業	オーストラリア	財団法人 札幌市芸術文化財団	06.08.24～ 06.08.29	札幌・ジュニア・ジャズスクール第7期生中学生クラス20名が、2006日豪交流年プログラムにおいて実施されるジャパンフェスティバルにおいて演奏を実施。また、現地の同世代の学生等との交流として現地学校を訪問しての演奏会及び両国文化等についての意見交換会を実施
5	インターナショナルリーダーシップアカデミー	米国	財団法人 長岡市国際交流協会	06.07.15～ 06.07.31	姉妹都市であるテキサス州フォートワース市が世界8カ国から高校生を集めて毎年開催している国際交流プログラムへ、長岡市より高校生22名及び引率者3名を2週間派遣。特定のテーマに関しリサーチを実施するほか、ホームステイ、市議会・施設訪問、文化紹介等を実施
6	アントレプレナー教育発展を目指す国際交流事業	フィンランド 英国	特定非営利活動法人 アントレプレナーシップ開発センター	06.04.01～ 06.08.31	アントレプレナー教育で先進的事例を持つフィンランドと英国との連携事業実施に向けて、現地機関を訪問し、2007年度実施事業の具体的な概要と今後の展望について議論し決定
7	ウィーン音楽学校教授の学生向け講習交流会	オーストリア	メトロ国際交流協会・日唄音楽交流会	06.07.21～ 06.07.31	ウィーンの音楽学校教授5名が栃木県内各地で開催される音楽講習会にてオーケストラ・吹奏楽・専門分野の個人レッスンをを行い、青少年音楽育成ならびに指導者との意見交換を実施。日本にて本場音楽の都の芸術指導を多くの学生が体験し、レッスンの成果を各地のホールにて発表
8	ブルガリア・カザンラク市における第九回現代アート国際展	ブルガリア	特定非営利活動法人 福山ブルガリア協会	06.06.02～ 06.06.08	福山ブルガリア協会とグローバル・カルチャー・センターが協働してブルガリア・カザンラク市で開催する日本のアーティストと世界各国のアーティストが集う国際アート展
9	2006アジア太平洋ユースフェスティバル	全世界区分困難	財団法人 日本ユースホステル協会	06.10.12～ 06.10.18	20世紀に欧州で発展したユースホステル運動が21世紀アジアで盛んになったことを受け、世界各国の青年30名を招へい、日本の青年10名と「平和と国際理解のためのユースホステル」フォーラム（東京）、自然・環境問題実地研修（長野）を実施
10	「地域の宝」をテーマとした国際青少年交流	全世界区分困難	特定非営利活動法人 ECOPLUS	07.02.08～ 07.02.16	韓国、米国、イスラエル、パレスチナ、ケニアの小中学生と指導者を招へいし、日本の小中学生と「地域の宝探し」共同プロジェクトを行うことで、異なる文化・伝統・価値にふれあい、自身の地域への認識を深める事業

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
11	平和で持続可能なまちづくりの日欧市民交流	ボスニア・ヘルツェゴビナ	特定非営利活動法人 NPO birth	06.08.20～ 06.08.28	畑や広場などの活用により町の再生を進める「緑のまちづくり活動」を行なう日本とボスニア・ヘルツェゴビナのNPOスタッフが、互いの交流を通して、平和で持続可能な社会づくりの方策について話し合うワークショップを開催。
12	日豪交流年ウィロビー市親善訪問	オーストラリア	NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会	06.09.07～ 06.09.11	2005年5月、杉並区との友好提携15周年記念式典に来日したウィロビー市長からの直接の要請により、日豪交流年となる2006年9月の現地スプリングフェスティバルにおいて、杉並区民による東京高円寺阿波おどり披露及び日本の伝統文化紹介とワークショップ等を行い、ウィロビー市民・杉並区民の相互理解・市民間交流を促進する事業
13	KIAアカデミー in Australia	オーストラリア	小松市国際交流協会	07.03.24～ 07.04.02	小松市内の小中学生をオーストラリア・ロックハンプトン市に派遣し、授業やホームステイ体験・地元学生との交流を通じて、生活や文化の違いを実際に肌で感じ、青少年の真の国際理解の芽を育成する。同時に、長年にわたり同市で教育実習生を受け入れているセントラルクイーンズ大学の学生と交流を行う事業
14	日豪交流年 記念イベント「日本のまつり」	オーストラリア	阿波おどり振興協会	06.10.11～ 06.10.16	2006「日豪交流年」のイベントとして「日本のまつり」が開催され、同まつりに阿波おどりが出演。阿波おどり振興協会の選抜連30名が、埼玉県越谷市の選抜連80名とともにおどりを披露。その他、関係機関を訪問し、交流事業を実施
15	青少年のサケ学習国際交流事業	カナダ	北海道サーモン協会	07.03.24～ 07.03.31	サケを介して環境保全の大切さを学習する国際交流派遣事業。今回は札幌市の小学生（教員他随行）がカナダB.C州#83学校区（教員委員会主管）を訪問し、現地の児童と共に環境センターなどでの野外カリキュラムやホームステイを体験し交流を深める事業
16	ニューヨーク・シティークラウンズ ワークショップ	米国	特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク	06.12.08～ 06.12.17	ニューヨークで活動するクラウン・パフォーマー（専門家）を招いて、市民対象のクラウン芸のワークショップと発表公演を実施。千葉県市川市と神奈川県鎌倉市の市民文化団体とが連携して、国際交流を目的とし連続して開催。参加対象者は小学生から大人までの、障害を抱えた人々を含む三世代市民
17	「海から豚がやってきた！」	米国	海から豚がやってきた実行委員会	06.10.12～ 06.10.15	ミュージカル「海から豚がやってきた！」は、去る大戦で破滅的被害を受けた沖縄を救おうとハワイの沖縄移民が550頭の豚を軍用船で沖縄へ輸送した実話をもとに制作され、ハワイ、ロス公演を行ったが、本年世界の沖縄移民が参集する「世界のウチナーンチュ大会」にて海外の移民3、4世らを招聘して共演を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	パラグアイのアルパのコンサート及び交流会	パラグアイ	ありあけ国際交流協会	06.11.14～ 06.11.30	パラグアイの民族楽器アルパ（小型ハープ）の代表的な演奏家で当該国外でも幅広く活躍しているマルティン・ポルティエリヨ氏を招へいし、地域でのコンサートを開催する中で、特に学齢期の子どもたちの国際感覚を育てる。また、同行通訳者を介して市民青少年との相互交流の機会を設ける事業
19	日独学生フェアトレード会議	ドイツ	社団法人 日本カール・デュイスベルグ協会	07.02.19～ 07.02.27	2007年2月に開催される「日独学生フェアトレード会議」においてドイツのフェアトレード機関・学生グループとの情報交換・意見交換を通じて、両国における学生のフェアトレード活動の可能性を探る事業
20	第4回 日伊文化交流祭「KONNICHWA 2006	イタリア	日伊文化センター ラ・クチーナディミツヨ	06.09.09～ 06.09.10	日本の伝統芸能・文化及び食文化をイタリアに紹介する事業
21	日英「いじめ問題ワークショップ」創造交流事業	英国	特定非営利活動法人ZUTTO	06.09.01～ 07.03.31	日本と英国で若者同士のピア・エドゥケーターを養成し、いじめ問題を考え解決するワークショップを開発。日英の若者が相互訪問してワークショップを実施し、主体的な問題解決能力と創造的な関係構築力の獲得を支援する事業
22	日英市民青少年協働事業『市民協働塾』	英国	特定非営利活動法人 地球市民の会	07.02.12～ 07.02.21	日本と英国に在住する市民・青少年を対象として、各種取り組みを行うNPO、企業、行政担当者等との円卓会議形式によるフォーラム（市民協働塾）を開催し、地域NPOの新たな役割を見据えた協働型の市民青少年交流プロジェクトの企画提案と実践及び交流による人材育成を目指す事業
23	国際ユースフォーラム青少年交流プログラム	全世界区分困難	財団法人 五井平和財団	06.11.18～ 06.11.26	高校生から30代を中心とする、日本を含む世界各国の若者たちがユースフォーラムの場を集結し、新しい意識と価値観のもと、地球規模で人類が直面する諸問題の解決に向けて意見交換を重ね、世界に向けた提言を実施。また、異文化交流を通じて相互理解を深めると共に「新しい文明を築く」ためのネットワーク形成を促進
24	ストリートダンスによる青少年国際交流事業	全世界区分困難	ストリートダンス全国大会実行委員会	07.03.23～ 07.03.26	日本と海外の市民レベルにおける交流を活発にするため、海外からストリートダンスに取り組む青少年を招聘し、日本全国から集まった青少年との交流、ワークショップなどを実施
25	市民協働による地域再生・環境再生 国際（日英アジア）フォーラム	全世界区分困難	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島	06.09.01～ 07.03.31	市民・NPO・企業・行政のパートナーシップによるまちづくりを進める日英のNPO（グラウンドワーク）、韓国で環境保全活動を進めるNPO（韓国ナショナルトラスト）、アジア諸国で地域再生活動を展開するNPO等、NPOの国際的なネットワーク形成を推進するための国際交流事業（フォーラム開催等）を実施

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
26	国際ボランティア地球ネットワーク設立会議	全世界区分困難	特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)	06.10.17～ 06.10.23	世界各地で主に青少年が活動する国際ボランティアNGOの協力網を担うリーダー20名が集結し、ワークショップ、事業訪問、フォーラムを実施。市民参加と官民共同を進めながら、「地域協力網の地球協力網」を創設。開催後も行動と協力を発展させ、世界中の事業の改善・発展に画期的な成果を創出することを企図した事業
27	青少年のための「地球市民講座」	全世界区分困難	財団法人 横浜市国際交流協会	06.10.15～ 07.03.04	横浜市内の国際機関や大学と連携し、青少年を対象とした、地球的規模の課題（地球環境、食糧問題、飢餓、異文化理解等）を学ぶ講座を実施し、地域で活動する人材の育成をめざす事業
28	絵本で出会う世界～展示とミニレクチャー～	全世界区分困難	財団法人大阪国際交流センター	07.02.09～ 07.02.10	異文化理解を深めるうえで効果的な題材である外国語絵本を通して広く世界各国の文化を紹介する事業を開催。世界の絵本展示に加えて、国際理解のためのミニレクチャー、絵本の読み聞かせなど、参加型プログラムにより、楽しく知り、学ぶ異文化理解促進のための場を、将来の国際交流を担う児童・生徒を含む市民に提供
29	日本の伝統及び現代建築 訪日調査研究	フランス	建築専門学院	07.02.16～ 07.03.04	フランス有数の建築学校の学生と教授等が約2週間訪日し、日本の伝統及び現代建築を訪ねるとともに、日本の著名建築家と会い、日本の建築についての調査・研究を行う。帰国後、訪日時に撮影した写真やフィルム、デッサンによる一般向けの展示事業も実施

2. 催し等事業費 (4)市民青少年交流（助成）(AC)

日本とアジア諸国との市民・青少年の相互理解と友好親善を促進するため、同趣旨の文化交流事業を行なう団体に事業実施経費の一部を助成する。

合計額 30,942,561円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	第7回・第8回 日韓高校生交流キャンプ	韓国	社団法人 日韓経済協会	06.04.01～ 07.02.28	日韓の高校生各50名計100名を集め、日韓混成チームを作り、合宿形態で日韓それぞれでのビジネス企画を立てて発表する「キャンプ」をソウルと東京で各1回実施。共同作業を通じて密度の濃い交流を促進
2	第21回 日韓学生会議 東京－京都大会	韓国	第21回 日韓学生会議 東京－京都大会 実行委員会	06.08.03～ 06.08.17	日韓両国の学生各21名が7名の学生ボランティア通訳とともに、学術討論を中心に9つの分科会とシンポジウム、講演会を実施。相互理解を深め、生涯にわたる信頼関係を築くことを目的とする。今大会は京都で開催し、伝統芸能職人訪問等も実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	第9回日韓環境ギャザリング	韓国	日韓環境ギャザリング実行委員会	06.08.07～ 06.08.15	8月に日韓両国の学生・青年計40名が、工場見学・農場見学等、東京近郊で環境問題に関するフィールドワークを実施。両国の更なる友好関係を築き、問題の解決に向け交流を深めるため、環境問題や歴史問題に関するディスカッション等も実施
4	南北 코리아 と日本のともだち展	韓国	南北 코리아 と日本のともだち展実行委員会	06.05.16～ 06.12.31	日本（在日コリアンを含む）、韓国、北朝鮮の子供達が描いた絵約170点と写真パネルの展示会を渋谷、平壤、ソウルでそれぞれ実施。日本（在日コリアンを含む）、韓国の子供達の参加するワークショップも併せて開催し、北朝鮮の子供達のビデオ等も紹介
5	日韓海峡圏学生サミット2006	韓国	日韓海峡圏学生サミット実行委員会	06.07.01～ 06.10.29	日韓の大学生が福岡、釜山を訪問し、互いの文化を学び、日韓の問題について討議。韓国群山市でオーラル・ヒストリー共同調査を行う。日韓海峡圏共同体構築を目指し「日韓海峡圏学生サミット共同宣言書2006」を作成
6	21世紀の日韓子ども通信使派遣事業	韓国	21世紀の日韓子ども通信使実行委員会	06.08.05～ 06.08.12	日韓双方で小中学生各50名、引率者として教育関係者計10名を募集し、マスコミ関係者等10名を併せて、朝鮮通信史ゆかりの地を各4日間、計8日間相互訪問。現地での文化交流と併せて韓国双方の先端・産業等を視察・体験し、朝鮮通信使が残した「誠信の交わり」の思想を両国の未来を担う子どもたちに根づかせることを目的
7	野外伝承遊び 日中会議・日中大会	中国	社団法人 青少年交友協会	06.07.28～ 06.08.04	日本より講師を派遣し、日中の学者・専門家約13名による「野外伝承遊び 日中会議」を北京にて開催。同時に、日中両国の子ども達約20～30名が共に「野外伝承遊び 日中大会」に参加
8	学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL Tokyo 2006	韓国 中国	学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL Tokyo 2006	06.08.01～ 06.08.09	日本、中国、韓国の大学生それぞれ一人ずつで構成された3人1チームで、ケースメソッドを採用した問題に沿って英語でビジネスプランを作成し、社会人からコンサルティング、審査を受けるという国際ビジネスコンテストを開催。日中韓の大学生約100名が参加
9	JAPAN TRIP 2006	中国	日中交流団体 freebird	06.07.01～ 06.07.02	助成対象団体は、関東、関西、上海の3都市に支部を持ち、日中関係に興味を持つ学生で構成される。8月1日から約1ヶ月、中国から約20名の学生を招聘し、ホームステイをしながら企業訪問、合宿形式の勉強会、討論会、名所旧跡見学を関東と関西の2ヶ所で行う。日本側参加者は約220名
10	「日中国會議員書画展」	中国	NPO法人 日中協力中心	06.04.01～ 07.03.31	日中両国の国会議員の作品を展示し、両国民が鑑賞。4月の4日間は中国北京の人民大会堂で展示。9月には東京・日中友好会館で展示。約40名の日本の国会議員が中国での交流イベントに参加

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
11	2006 ユネスコ東アジア子ども芸術祭inモンゴル	モンゴル	社団法人 日本ユネスコ協会連盟	06.07.27～ 06.07.29	東アジア5カ国1地域（韓国、中国、北朝鮮、マカオ＝準加盟、モンゴル、日本）の子ども達による舞踏・音楽・伝統芸能等の舞台芸術祭。7月の3日間約30名の日本代表がモンゴル入りし、その内全国各地のユネスコ協会を通じて公募した20数名の日本代表の子ども達が舞踊を披露
12	カンボジアにおける音楽教育支援事業	カンボジア	鯖江市国際交流協会	06.07.24～ 06.07.29	鯖江市内の中学生・教員及び鯖江市国際交流協会会員15名が、教育支援を行っているプノンペン市内の学校に赴き、鯖江市内の小・中学校生徒から集めた楽器を寄贈し、楽器演奏を通じ教員との意見交換、生徒交流などの文化交流と音楽教育を行うとともに、今後のカンボジアの教育支援の進め方を研究
13	タイ・日本青少年交流事業	タイ	特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか	06.04.01～ 07.03.31	日本の教師・中学生・高校生15名をタイへ派遣し、タイの学校の授業・行事に参加し、タイの青少年との交流を深め、国際理解を促進するとともにタイの教師・中学生・高校生12名を日本に招聘し学校の授業・行事に参加させ、国際交流を実施。また、地域でフォーラムを開催することにより、一般市民の日-タイ両国の相互理解を促進
14	サッカーを通じた日越市民青少年交流	ベトナム	日越青少年サッカー交流団	06.08.21～ 06.08.24	日越の青少年が、日越文化の相互理解を拡大し、市民青少年間における日越交流の礎を築くため、日越の青少年の言葉を越えた文化交流として、サッカーの合同練習会や交流試合を実施。また、今後の日越文化交流の主役に育てるため、日本の青少年がベトナムの衣食住を学ぶ事業を実施
15	よさこい踊り～Japan Festival 2006 in Vietnam	ベトナム	よさこいダンスチーム「バンブーレボリューション」	06.08.20～ 06.08.24	中学生から大学生までを中心とした青少年のよさこいチームが、Japan Festival 2006 in Vietnamに参加。ベトナムの方々によさこい踊りを紹介し、共に踊ってもらうことで、日越の青少年の文化、価値観を相互に理解し、互いの文化を共有する支援を行い、日越文化交流を促進
16	アジアみらいフォーラム2007イン ジャパン	カンボジア タイ	特定非営利活動法人 アジアみらいネットワーク	07.03.08～ 07.03.21	タイ、カンボジア、中国から23名の青年・学生を招聘。東京、京都、広島で国際会議、ワークショップ等を開催するとともに最先端企業や学校の視察を実施することで、国際理解を深め諸問題を共有しアジアの連帯友好、国際感覚溢れる若きリーダーを育成
17	アジア市民青少年交流活動『アジア自然学校』ミャンマープログラム	ミャンマー	特定非営利活動法人 コミネット協会	06.06.01～ 07.03.31	日本の10代の子供たちをミャンマーに派遣し、環境教育・森林教育ワークショップを実施することにより、より豊かな国際感覚を、環境という視点を取り込みながら醸成し、次世代を担う感性豊かな人材を育成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	日本・ヴェトナム草の根文化交流	ベトナム	特定非営利活動法人 歴史文化交流フォーラム	07.02.24～ 07.03.05	講師25名を派遣し、メコンデルタの中心都市カントー市で日本文化週間（日本の文化、歴史、経済、農業などをテーマとした講演会、書、生け花、着物の着付け、蕎麦打ち、折り紙などを展示・指導）を実施。また、ホーチミン大学日本語学科学生との交流会を実施
19	ジャパンフェス2006 inベトナム	ベトナム	アイセック一橋大学委員会ベトナムプロジェクト	06.08.20～ 06.08.27	日越の将来を担う学生の市民レベルでの交流の促進を目的として、多くの一般参加者を招いた運動会、文化紹介、日越の学生同士のシンポジウム、ディスカッションなどの事業を開催
20	絵本振興のための日本・スリランカ文化交流事業	スリランカ	スリランカの教育を支援する会	06.05.16～ 06.05.24	会員と講師7名が現地パートナーとともに、コロomboとゴールで7日間の絵本に関する総合的ワークショップを開催。教育関係者、市民、絵本作家志望者、出版・図書館人等を対象とし、日本の絵本とその根底にある子ども認識、普及のための図書館、おはなし会活動を紹介し、絵本の振興と発展のために意見交換を実施
21	青少年国際交流・協力スタディーツアー	タイ バングラデシュ	財団法人 広島平和文化センター	06.07.29～ 06.08.06	青少年23名をタイ、バングラデシュに派遣し、青少年が開発途上国の現状について学び、現地の人々と交流を行い、日本のNGOによる国際協力活動の実績について学ぶ機会を提供することにより、青少年の国際交流・国際協力に対する意識を醸成し、次世代の国際協力の担い手を養成
22	スリランカに届け！空飛ぶ車いす－日韓共同作戦	スリランカ 韓国	大森学園高校「空飛ぶ車いす」ボランティア部	06.06.01～ 07.01.30	日韓の高校生が共同で、要請のあった津波被災地スリランカに車いすを寄贈する事業。日本の高校生10名が、修理講習、スリランカ訪問の事前打合わせのため、8月に韓国を訪問。10月に日本の高校生20名が韓国の高校生と合流しスリランカを訪問し、2005年に贈った239台の車椅子のメンテナンスと修理講習を実施し、その技術を現地関係者に伝授
23	デ・ラサール大学訪日研修	フィリピン	デ・ラサール大学	06.08.26～ 06.09.02	デ・ラサール大学の日本研究プログラムで学ぶ学生11名と指導教官が訪日し、同大学と交流協定を持つ国士舘大学において日本の社会、文化に関する講座の受講、日本の大学生との交流、文化施設訪問等を実施
24	イスラム女性リーダー訪日研修	フィリピン	ピース・ウーマン・パートナー	06.08.02～ 06.08.14	フィリピン南部ミンダナオ地域のイスラム女性リーダーが日本を訪問し、広島、長崎、福岡において平和団体、NGOとの対話・意見交換を行い、平和構築や女性の社会的地位の向上といった分野での今後の交流を促進。フィリピン帰国後は、訪日報告会を実施

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
25	日中韓共同映画製作への相互理解促進事業	韓国 中国	NPO法人 横浜アートプロジェクト	06.09.01～ 07.01.31	日中韓三国共同による横浜開港150周年記念映画製作の準備段階として、市場形成や若手の映像制作振興に効果的につながるよう、相互理解を目的としたデモンストレーション、ワークショップ、レクチャー、シンポジウムを開催。実際のショートフィルム製作、ストーリーミング配信も実施
26	歴史と環境を学ぶ日韓青年フィールドワーク	韓国	在日コリアン青年連合東京（略称：KEY東京）	07.03.01～ 07.03.04	在日コリアン青年が韓国の青年20名を日本に招き、日本の青年とともに、現在日韓間で顕在化している歴史問題と、今その価値が注目されている自然と共生した生活様式の実践という異なる二つの分野について、共同の体験学習＝フィールドワークを実施
27	文化の源・里山での交流	韓国	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会	06.08.28～ 06.09.18	日韓の学生が互いの国の里山を訪れ、伝統文化体験、里山保全活動を通じ、相互の文化への理解を深めることを目的とした事業。第14回全国雑木林会議において、両国の学生がともに交流事業を報告
28	日中高校生社会貢献交流事業	中国	財団法人 日本青少年研究所	07.03.20～ 07.03.27	ボランティア活動やクラブ活動で活躍している高校生を奨励する「いきいき活動奨励賞」の最優秀賞の8名が、日本の高校生の代表者として中国を訪問。中国の高校や「中国高校生日本語作文コンクール表彰式」でその活動を発表し、中国の高校生と交流を実施
29	日中の就労を通して将来社会を創造する学生交流ワークショップ事業	中国	特定非営利活動法人 日中環境経済センター	07.02.22～ 07.03.02	日本と中国の大学生男女各4名2グループ、計16名の研究生が、中国浙江省杭州市における将来の社会像づくりのための雇用調査及びグループ研究事業に参加。12日間の合宿形式をとる。併せて、事業成果の発表フォーラムを開催
30	安徽省日中友好の森づくり学生派遣事業	中国	安徽省日中友好の森づくりネットワーク	07.03.20～ 07.03.25	「安徽省日中友好の森づくり事業」として、高知県内で募ったボランティアが中国安徽省で植樹・交流事業を行っている。森林・緑化分野の国際交流を促進するため、若者、特に次世代を担う学生の参加が必須であることから、旅費を一部助成し、若者の参加を促進
31	プレイバックシアター インカンボジア	カンボジア	オーシャンズプロジェクト	07.02.03～ 07.02.12	プレイバックシアターという即興劇によって、カンボジア友好学園の生徒と、助成対象団体が募集する日本側参加者が、授業及びワークショップを行い、プレイバックシアターの指導者を養成
32	マレーシア”文化の保存”共同実習ワークショップ	マレーシア	非営利法人 アートコンサベーションラボラトリー	07.01.20～ 07.02.05	マレーシアは3年後の建国50周年に向け国立美術館収蔵品ほか文化財の修復整備を実施中。本件は日本の専門学者による文化財保存修復の教授事業に併せ、各地の専攻大学生15名が現地の若手担当官、受講者と共に共同実習・意見交換を行うとともにテキスト・文化保存辞書を作成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
33	創造都市交流 2006	シンガポール 英国	特定非営利活動 法人 アート NPOリンク	06.09.01～ 07.03.31	アートNPO、自治体などセクターを越えた交流プロジェクト。日本での創造都市の実現に向け、実践的な交流を実施。第1段階として、シンガポール及び英国の「創造都市」を訪れ、民間非営利組織、アーツカウンシル等と意見・情報交換。第2段階は、交流先のアート関係者を招へいし、ワークショップやシンポジウムを横浜で開催
34	マレーシアと日本・中学生日本語でフォーラム・充実した中学時代を	マレーシア	特定非営利活動 法人 メイあさ かセンター	06.11.02～ 06.11.09	マレーシアレジデンシャルスクールで第3外国語として日本語を学習している生徒を日本に招へいし、19年間にもわたるマレーシアとの児童生徒の絵画交流を通じてマレーシアへの関心が高い朝霞市の児童生徒とマレーシアの同年齢の生徒とが触れ合う国際理解教育事業
35	フィリピンで日本を発見しよう	フィリピン	特定非営利活動 法人 ギブ	06.09.06～ 06.09.17	フィリピンにある農業学校の生徒たちが、フィリピン・日本友好50周年を機に、母校の設立を支援した日本の若者と、ワークショップ、ワークセッションを通して、互いの文化を紹介し、交流を図る事業
36	ネパール YOUTH交流スタ ディーツアー	ネパール	特定非営利活動 法人 地球の木	07.02.11～ 07.02.18	若者の活発な地域活動によって理想的な村づくりを目指すネパールの様々なユースクラブと日本の大学生との交流を行い、ワークショップ、学生シンポジウム、学校訪問、ホームステイを通して、地域を変える力を学び、互いの文化や社会についての意見交換を実施
37	第10期 日本インド学生会議 本会議	インド	第10期 日本インド学生会議	06.09.01～ 06.09.19	日本とインド両国の学生を主体とする国際交流プロジェクト。日印両国の学生の交流の場である本会議を日本側実施団体として創り上げるため、毎週一回のミーティングや、電話、メールを活用して、会議の理念を築き、企画を組み立て、会議を実施
38	九州国立博物館 タイフェア	タイ	財団法人福岡県 国際交流セン ター	06.09.08～ 06.09.14	福岡県におけるタイ（首都バンコク）との姉妹都県締結に伴い、九州国立博物館において9月8日～14日にかけてタイの文化に関するイベントを行う。この一環で、「タイの伝統文化と魅力」について、タイの舞踊家の説明も交えた講演会を実施
39	スポーツを通じた日本・ラオス間の障害者交流促進事業	ラオス	アジアの障害者 活動を支援する 会	07.01.07～ 07.01.17	日本の車椅子バスケットボールチーム、ラオスのチーム及び他の近隣アジア諸国のチームとの親善試合を日本政府が援助してオープンする障害者用体育館にて行うとともに、ラオス社会の障害者自立の啓発と日本・ラオスの障害者相互の交流を目的とした障害者スポーツ振興セミナーもあわせて実施。また、ラオス政府、関係団体と意見交換

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
40	平成18年度 「地球市民講座」 (福岡)	アジア地域区分 困難	財団法人福岡国 際交流協会	07.02.14～ 07.03.07	本講座は、市民を対象に世界の国・地域の現状や地球上で起こっている様々な問題等への理解をより深めるため、専門家を招きシリーズで開催するもので、昭和63年度から毎年、アジアを中心にしたテーマで実施。今年度は、「大国化する中国の光と影～激動する巨大国家の実像～」をテーマに4回シリーズで開催
41	日韓環境教育セ ンターネット ワーク構築事業	韓国	韓国環境教育 ネットワーク	07.03.11～ 07.03.17	青少年の環境教育に携わり、環境分野での日韓青少年交流に関心のある専門家が訪日し、日本の環境教育機関を訪問、意見交換を行い、環境教育センターの運営及び管理方法や、教育プログラムの開発・発展を図る事業
42	ジョグジャカル タ インドネシ ア国立芸術大学 生 音楽研修・ 交流	インドネシア	インドネシア国 立芸術大学	07.01.08～ 07.01.19	今年5月の大地震後、引き続き復興作業が続くジョグジャカルタにある、インドネシアを代表する国立芸術大学の音楽専攻の学生と講師が2週間訪日し、専門分野をより深く学ぶとともに、日本の音楽家、教育者にインドネシアの音楽教育の現状について情報を提供しつつ、相互理解と交流を深める事業
43	日本自然歩道現 場探訪	韓国	白頭大幹保全市 民連帯	07.02.21～ 07.03.02	韓国の半島を東西に大きく分ける山脈である白頭大幹は、多くの登山客の縦走により生態系の毀損が深刻化している。日本では70年代から自然と歴史文化を探訪する自然歩道の整備が進められており、こうした日本の現場を視察し、関係者と意見交換し、白頭大幹の保全に役立つ事業
44	ケアと学びのあ る学習空間探訪	韓国	青少年代案空間 ドゥウム(ウン ピョンシアッ学 校)	07.01.15～ 07.01.21	ソウル市の代案学校(オルタナティブ・スクール)では、2005年から都市型代案学校の教育の質の向上のため、一つのモデルとして日本の「学びの共同体」を学習しており、本事業ではそうした学校の教師が日本において「学びの共同体」の事例を視察し、関係者との意見交換を行う事業
45	日本のグリー ン・ツーリズム の現場を見つけ て～地域固有の 環境・文化を生 かした街づくり 団体及びプログ ラムへの体験	韓国	希望製作所	07.02.04～ 07.02.15	韓国の地域、特に農村地域の再生のための代案政策(オルタナティブな政策)を研究・提案している助成対象団体が、韓国よりもこうした取り組みが進んでいる日本のグリーン・ツーリズムを行う団体を訪問し、各種事業を見聞。その内容を研究・分析し、成果をとりまとめ、韓国で出版物を刊行するとともに、インターネットでも発信を行う事業

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
46	日本の住民組織の研究	タイ	チェンマイ大学 人文学部日本語 学科	07.03.11～ 07.03.25	タイ北部で中核的な教育・研究機関であるチェンマイ大学の日本研究専攻の学生と指導教授が訪日し、町並みの保存など、日本の住民組織の様々な役割や、政府関連セクターとの協働のあり方などについて、調査を行う。調査結果については、帰国後、報告の場を設けるとともに、人文学部の機関誌に記事を掲載

2. 催し等事業費 (5)市民青少年交流 (助成) (中東)

日本と中東の市民・青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 5,000,000円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日本・チュニジア中学生・高校生による両国の歴史文化に関する交流	チュニジア	社団法人 まちづくり国際交流センター	07.03.24～ 07.03.29	奈良県橿原市在住の中・高生が、チュニジアを訪問し、同国の中・高生と両国の歴史文化の起源について意見交換を実施
2	イスラエル漫画展及び討論会	イスラエル	世界漫画家連盟 日本支部	06.10.16～ 06.10.24	イスラエルの姿と、外から見た日本の姿を広く市民に提示する目的で、イスラエルと日本の漫画家による合同漫画展を開催。同時にイスラエル等から招いた3名の漫画家と市民との討論会を実施
3	日本とトルコで東西文化芸術子ども本物体験	トルコ	子どもの美術教育をサポートする会	06.11.06～ 06.12.07	前年からイスタンブールの小学校にて実施している子どもたちへの文化芸術体験活動への支援を、専門機関とより一層連携することによって、さらに両国の文化芸術の特色を生かした子どもの文化芸術体験交流事業を実施
4	第四回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	イスラエル パレスチナ	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	06.08.10～ 06.08.28	現地では直接的な交流の難しいイスラエルとパレスチナの学生を日本に招へいし、両国の間に対話の機会を創出。また、日本社会にイスラエル人、パレスチナ人の「生の声」を伝えることで日本社会の両地域への関心を喚起する事業
5	日本・ヨルダン青年対話	ヨルダン	日本・中東学生会議	06.08.12～ 06.08.22	ヨルダンでの日本・ヨルダン間の青年の対話を目的とした事業を実施。また、ヨルダン人青年を日本に招へいし、日本の中東理解を促進

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
6	パレスチナと日本、青少年が未来を語る	パレスチナ	特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン	06.11.20～ 07.03.24	「共生の未来」を目指して、双方の青少年、専門家、市民が協力を考えるため、意見交換や共通して抱える問題点を討議する。具体的には、パレスチナの青少年とNGO関係者を日本に招き、日本の高校生や市民、専門家と会議や交流を行い、その成果を報告書にまとめ、次年度以降の継続した事業を計画
7	2006年度 日本・アラブ学生相互訪問交流プログラム	イエメン シリア レバノン	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) 奥田敦研究会	06.11.06～ 07.03.15	互いの言語を学びあう日本とアラブの学生が相互訪問し、語学教材テキストとそのビデオスキットの共同制作や文化交流活動など、実践的なビジョン共有の体験を通じて、長期的な視野から日本とアラブ世界の平和友好関係の次代を担う人材を育成

2. 催し等事業費 (6) 異文化理解ワークショップ (中東)

中東諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、中東諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎えた講演会、ワークショップ、連続講座や、展示会を開催する。

合計額 7,818,764円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	中東理解講座	中東地域区分困難	東京	06.04.01～ 07.03.31	中東地域の社会・文化事情やその歴史的背景などへのより深い関心と正確な理解を促進するため、東京にて一般市民を対象とした連続講座を実施。今年度は、第2期に「エジプトはナイルの賜物：歴史の多層性と地域の多様性」と「グローバル化するイスラーム(2)」、第3期に「イスラームの都市文化」と「中東における民主化の諸相」の計4講座を実施
2	中東・イスラーム理解セミナー	イラン トルコ	横浜 和歌山	07.02.11～ 07.03.17	日本における中東理解促進を目的として、中東の在京大使と日本人の中東専門家の講演を外務省と共催。今年度は、和歌山県、和歌山県国際交流協会との共催でトルコについての講演を、横浜市国際交流協会と共催でイランについての講演を実施。

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 (7) 異文化理解ワークショップ (AC)

アジア諸国の歴史・文化・国際関係などに関する理解を促進するため、アジア諸国の知識人や日本人専門家を講師に迎え、講演会、ワークショップ、連続講座や、展示会を開催する。

合計額 22,933,145円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第9回アジア漫画展	韓国	ソウル	ソウル日本文化センター	06.05.19～ 06.06.08	アジア8カ国で活躍中の風刺漫画家8名が風刺とユーモアで描いた「第9回アジア漫画展－アジアのIT事情（平成16年度制作）」（作品80点）を、韓国などアジア4カ国に巡回
			バンコク	バンコク日本文化センター	06.07.07～ 06.07.25	
		チェンライ	チェンライ・ラーチャパット大学	06.08.02～ 07.08.20		
		フィリピン	マニラ	シャングリラ・プラザ・モール	06.09.13～ 06.10.01	
		中国	北京	国家図書館	06.10.25～ 06.11.02	
合肥	安徽省博物館		06.11.09～ 06.11.16			
2	第10回アジア漫画展	日本	知立市	知立市中央公民館	06.07.08～ 06.07.16	アジア10カ国で活躍中の風刺漫画家8名が風刺とユーモアで描いた「第10回アジア漫画展－アジアの環境問題（平成17年度制作）」（作品77点）を、マレーシアなどアジア3カ国に巡回
			マレーシア	コタ・キナバル	コタ・キナバル・ウイスマ・ブダヤ	
		イポー		イポー州立図書館	06.10.10～ 06.11.07	
		クアラルンプール		クアラルンプール国立図書館	06.11.15～ 06.12.17	
		インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	07.01.13～ 07.01.29	
			ジョクジャカルタ	ジョクジャカルタ・ルマ・チュムティ	07.02.10～ 07.02.26	

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
3	第11回アジア漫画展	日本	23区 日立市 千曲市 千曲市 高梁市 徳島市 さいたま市 小平市 大阪市	0 美術館 日立シビックセンター 千曲市ふるさと漫画館 千曲市上山田文化会館ホワイエギャラリー 吉備川上ふれあい漫画美術館 徳島県立21世紀館多目的活動室 さいたま市立大宮図書館展示ホール 小平市文化会館ルネこだいら展示室 大阪国際交流センターギャラリー	06.12.09～06.12.15 06.11.21～06.11.26 06.12.09～06.12.15 06.12.17～06.12.24 07.01.06～07.01.14 07.01.25～07.02.04 07.02.20～07.03.03 07.03.14～07.03.18 07.03.29～07.04.04	アジア10カ国で活躍中の風刺漫画家10名が風刺とユーモアで描いた「第11回アジア漫画展－アジアの若者文化」(作品77点)を、国内7都市で展示するとともに中国などから4名の出品漫画家を招へいして「アジアの若者文化」について討論会を実施
4	アジア理解講座	アジア地域区分困難	東京	国際交流基金 国際会議場	06.04.01～07.03.31	アジア地域の社会・文化事情やその歴史的背景などへのより深い関心と正確な理解を促進するため、東京にて一般市民を対象とした連続講座を実施。今年度は、第1期に「感染症をめぐる問題群」と「変貌するインド－成長を続ける経済とそれに伴う政治・社会の変化」、第2期に「アジアの環境問題」と「中国の外交」の計4講座を実施
5	スリランカ平和構築シンポジウム	スリランカ	東京	国際交流基金 国際会議場	06.07.15	日本におけるスリランカの社会・文化事情についてのより深い関心と正確な理解を促し、当該地域の社会・文化等に関する基本的な知識・情報を体系的に提供することを目的に、一橋大学と共催で「スリランカ平和構築の現在と展望」シンポジウムを開催

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費	(8) 異文化理解ワークショップ
-----------	------------------

日本におけるよ異文化理解促進のため、公開講座や巡回展を実施する。

合計額 4,947,687円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	中南米理解講座	米州地域区分 困難	東京	国際交流基金 国際会議場	06.04.01～ 07.03.31	中南米地域の社会・文化事情やその歴史的背景などへのより深い関心と正確な理解を促進するため、東京にて一般市民を対象とした連続講座を実施。今年度は、第1期に「中南米の音楽－民衆のうた・大地のひびき・雑踏のリズム」と「サッカーの国ブラジルをもっと知ろう」、第3期に「現代中米・カリブ情勢の読み方」と「ラテンアメリカ文学は何を語ってきたか？」の計4講座を実施

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 国内展（助成）
- (7) 造形美術情報交流（催し）

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（横浜トリエンナーレ）

造形美術事業費

1. 人物交流事業費	(1) 造形美術情報交流(招へい)
------------	-------------------

海外の専門家の招へいを通じ、日本の美術情報の海外発信を行なうとともに、海外の美術情報を収集し、また人的ネットワークの拡充を図る。

合計額 1,923,206円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	中国キュレーター招聘	韓国 中国	07.02.11～ 07.02.15	2007年日中文化・スポーツ交流年事業「美麗新世界:当代日本視覚文化」展に関連し、キュレーター等美術関係者6名を招へい

2. 催し等事業費	(1) 国際展 (国際展参加)
-----------	-----------------

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 71,850,022円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネチア	カステロ公園 内日本館	06.09.10～ 06.11.19	2006年ヴェネチア・ビエンナーレ建築展の日本館で、「藤森建築と路上観察」をテーマとして、建築家藤森照信氏、路上観察学会の展示を実施
2	第27回サンパウロ・ビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	チチロ・マタ ラッソ・パビ リオン	06.10.07～ 06.12.17	第27回サンパウロ・ビエンナーレは、伝統的な国別参加方式を廃し、他者との共生をテーマに展覧会が構成された。国際交流基金は、島袋道浩氏とアトリエ・ワンの出品、長谷川祐子氏のシンポジウム参加に協力した
3	第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展(準備)	イタリア	ヴェネツィア		06.04.01～ 07.03.31	2007年のヴェネチア・ビエンナーレ美術展の日本館展示のための準備を実施
4	第12回バンガラデシュ・ビエンナーレ(事後)	バンガラデシュ	ダッカ		06.04.01～ 06.06.30	2005年3月に実施した第12回バンガラデシュ・ビエンナーレの作品返却と報告書作成

2. 催し等事業費 (2)海外展(企画展)

海外の美術館・博物館などとの共催により、わが国の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 121,561,022円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアのキュビズム展	韓国 シンガポール	ソウル シンガポール	徳寿宮美術館 シンガポール 美術館	05.11.11～ 06.04.09	日本をはじめ中国、韓国、インド等アジア11カ国のキュビズム作品約120点を通じてアジアの近代美術の共通性と差異を明らかにしつつアジアの近代を再考する展覧会
2	日本の子ども展	全世界区分困難			06.09.13～ 07.03.31	平成18年度の中東との集中的文化交流事業の一環として、終戦直後から今日までに、国内写真家が捉えた子どもの写真100点からなる展覧会を制作し、実施する。(巡回展参照)
3	日本の知覚展	オーストリア スペイン	グラーツ ビーゴ		06.04.01～ 06.08.31	オーストリアのグラーツ並びにスペインのビーゴで開催された日本現代美術展「日本の知覚展-CHIKAKU: Time and Memory in Japan」の作品返却作業実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
4	Rapt!: 20 Contemporary Artists from Japan	オーストラリア	ダーウィン シドニー メルボルン ブリズベン パース	24HR Art Artspace, Object Gallery, Center for Contemporary Photography, Gertrude Contemporary Art Spaces, Insutitude of Modern Art, Kings Artist Run Initiative, Monash University Museum of Art, Nillumbik Shire's Birrarung, Perth institute of Contemporary Arts, RMIT Project Space, Spacement Gallery, The Asialink Center, West Space	06.08.02～ 06.11.18	2006年日豪交流年を機会に、日本とオーストラリアの若手キュレーターの共同企画で、メルボルン市を中心に10数カ所のスペースを使って、日本人作家20名／組の作品を展示し、あわせてシンポジウム、ワークショップなどを実施
5	「Katagami—型紙とジャポニスム展」	フランス	パリ	パリ日本文化会館	06.10.19～ 07.01.20	日本の工芸において型染めの中心的技法として伝承されている型紙の歴史と、それが西欧の工芸デザインへ及ぼした影響とを、多くの作例と共に検証する展覧会「Katagami—型紙とジャポニスム展」を開催。会期中、関連事業として講演会を2日間実施
6	日中周年事業 (準備)	中国			06.04.01～ 07.03.31	2007年日中文化・スポーツ交流年に因み、中国において日本の現代美術を包括的に紹介する展覧会「美麗新世界:当代日本視覚文化」の準備を実施
7	日印周年事業 (準備)	インド			06.04.01～ 07.03.31	2007年の日印交流年に因み、インドで日本の現代美術を紹介する展覧会「消失点—日本の現代美術」を開催するための準備を実施

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
8	日伯周年事業 (準備)	ブラジル			06.04.01～ 07.03.31	2008年日伯交流年に因み、ブラジルで日伯の現代美術展「ライフがフォームになるとき－未来への対話／ブラジル、日本」を開催するための準備を実施。
9	Crafting Beauty in Modern Japan (準備)	英国	ロンドン	大英博物館 ホートウン グ・ギャラ リー	06.04.01～ 07.03.31	2007年に大英博物館で開催されるCrafting Beauty in Modern Japan展の実施に向けた準備を実施
10	日インドネシ ア周年(準備)	インドネシア			06.04.01～ 07.03.31	2008年の日本インドネシア友好年関連の日本美術展「KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia」のための準備を実施

2. 催し等事業費 (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に関する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 155,885,810円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	日本の新世代 アーティスト 展	フランス スロバキア スウェーデン クウェート ドイツ	パリ ブラチスラバ ストックホル ム クウェート ケルン	パリ日本文化 会館 美術アカデ ミー・ミデイ アムギャラ リー 東アジア博物 館 クウェート造 形美術協会 ギャラリー ケルン日本文 化会館	06.04.26～ 06.06.24 06.09.07～ 06.09.27 06.10.15～ 06.11.26 07.01.15～ 07.01.31 07.03.09～ 07.05.25	モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11人の作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
2	伝統陶芸展	アルジェリア	アルジェ オラン	アルジェ国立美術館 ザバナ国立博物館	06.04.05～ 06.05.04 06.05.17～ 06.06.15	河井寛次郎、浜田庄司など日本の陶芸を世界に知らしめた故人陶芸家の他、人間国宝となった作家を含む、現在日本の伝統陶芸界の第一線で活躍している作家55名の作品65点で構成し、現代日本陶芸の動向を紹介。
		ドイツ	バート・ゾーデン	バート・ゾーデン市立美術館	06.07.13～ 06.08.13	
		米国	セント・ルイス	ミズーリ大学セントルイス校セントルイス・マーカンタイル図書館	06.09.25～ 06.11.30	
			デルレイ・ビーチ	モリカミ博物館・日本庭園(デルレイ・ビーチ市)	07.01.11～ 07.03.18	
3	ポスターに見る日本展A	タイ	バンコク チェンマイ	バンコク日本文化センター チェンマイ大学アートギャラリー	06.04.20～ 06.04.29 06.05.09～ 06.05.28	広告メディアのひとつであると同時に「社会芸術」として位置付けられている商業広告ポスター作品を通じて日本の社会や生活を紹介。
		インドネシア	バンドン ジャカルタ	ギャラリー・スマルジャ ジャカルタ日本文化センター	06.08.04～ 06.08.20 06.09.08～ 06.09.30	
4	ポスターに見る日本展B	ベラルーシ	モギリョフ ミンスク	ビヤリニツキー・ピルリ博物館 国立ベラルーシ歴史文化博物館	06.04.15～ 06.05.07 06.05.12～ 06.05.30	広告メディアのひとつであると同時に「社会芸術」として位置付けられている公共広告ポスター作品を通じて日本の社会や生活を紹介。
		エチオピア	アデイスアベバ	エチオピア国立博物館	06.07.06～ 06.07.25	

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	写楽再見展	ルクセンブルク リトアニア	ラ・ロシェット クライペダ	ラ・ロシェット城 リトアニア美術館 P.ドムシャイティス記念ギャラリー	06.04.29～ 06.07.23 06.08.04～ 06.08.26	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵によって内外から高い評価を得ている東洲斎写楽をテーマとし、日本の今日の現代美術作家がこの傑出した浮世絵師を自由に解釈して制作したポスター、絵画、立体作品等を紹介。
		ガーナ	アクラ	ガーナ国立博物館	06.09.12～ 06.09.24	
		イスラエル	ハイファ	ハイファ市立ティコティン日本美術館	06.12.16～ 07.01.27	
		カザフスタン	アルマティ	カスターエフ名称芸術博物館	07.02.16～ 07.02.25	
			アスタナ	大統領文化センター会場脇ホール	07.03.09～ 07.03.18	
6	日本人形展(E)	ギリシャ シリア ベルギー	アテネ ダマスカス ブリュッセル	旧国会議事堂 アサド文化芸術ハウス 欧州委員会シャルルマーニュ・ビル 在ベルギー日本国大使館 広報文化センター	06.06.23～ 06.07.02 06.11.28～ 06.12.12 07.02.19～ 07.02.28 07.03.08～ 07.03.21	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介。
			ブリュッセル	在ベルギー日本国大使館 広報文化センター	07.03.08～ 07.03.21	
7	日本人形展(F)	シンガポール パラグアイ ニカラグア コスタリカ コロンビア	シンガポール アスンシオン マナグア サンホセ ボゴタ メデリン	アーツ・ハウス パラグアイ・日本人造りセンター 文化宮殿 ナショナル・ギャラリー コルスブシテイオ美術館 メトロポリタン劇場	06.04.21～ 06.05.09 06.07.27～ 06.08.23 06.10.04～ 06.10.24 06.11.06～ 06.11.28 07.02.01～ 07.03.02 07.03.08～ 07.03.31	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
8	手仕事のかたち	オーストラリア	キャンベラ	豪州国立博物館	06.03.24～ 06.04.26	陶芸、染織、金工、木竹工、紙などひびの暮らしの中ではぐくまれてきた伝統的工芸品と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ想像性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品を紹介。
			ヌーサ	ヌーサ・リージョナル・ギャラリー	06.05.12～ 06.06.10	
			メルボルン	クラフト・ビクトリア	06.06.22～ 06.07.22	
			パース	セントラルテイフ・アートギャラリー	06.08.11～ 06.08.31	
		イエメン	サナア	サヌア文化センター	06.09.16～ 06.10.04	
		サウジアラビア	リヤド	国立博物館	07.03.25～ 07.04.04	
9	日本のクレイワーク展	スリランカ	コロンボ	ライオネル・ウェント・アートギャラリー	06.04.22～ 06.04.26	50年代から90年代のクレイワーク（陶を素材とした立体造形）について、代表的作家29名の作品44点を紹介。
		ブルネイ	バンドルスリブガワン	ブルネイ博物館メイン・ホール	06.05.24～ 06.06.04	
		パプアニューギニア	ポートモレスビー	パプアニューギニア大学図書館展示スペース	06.07.11～ 06.07.25	
		米国	グアム	グアム大学内イズラセンター	06.08.17～ 06.09.29	
		ポルトガル	カルダス・ダ・ライーニャ	陶器博物館（カルダス・ダ・ライーニャ）	06.10.21～ 06.11.23	
		スロベニア	リュブリャナ	スロベニア国立博物館	06.12.12～ 07.01.10	
		ラトビア	リガ	ラトビア芸術家協会ギャラリー	07.02.02～ 07.03.04	

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容	
10	日本の版画： 1950-1990	ボリビア	ラパス	タンボ・キルクインチョ	06.06.01～ 06.06.30	20世紀後半に活躍した46作家の代表作を含む計75点の版画作品を紹介。	
			ラパス	国立美術館	06.07.07～ 06.07.31		
		エルサルバドル	サンタアナ	サンタアナ国立劇場	06.09.08～ 06.09.24		
			サンサルバドル	ショッピングセンター「ガレリアス」展示会場	06.09.29～ 06.10.15		
			サン・ペドロ・スラ	サイベ劇場	06.11.02～ 06.11.16		
		ホンジュラス	テグシガルバ	アトランティダ銀行	06.11.22～ 06.12.05		
		ベネズエラ	カラカス	エスタンシア文化センター	07.02.06～ 07.02.18		
		キューバ	ハバナ	サンフランシスコ・デ・アシス修道院	07.03.09～ 07.04.15		
11	こけしの世界展 (A)	インドネシア	メダン	在メダン日本国総領事館	06.12.22～ 07.01.31		日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介。
			ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	07.03.09～ 07.03.26		
12	こけしの世界展 (B)	ウルグアイ	モンテビデオ	外務省サントス宮殿	06.05.08～ 06.05.19	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介。	
			サンホセ	サンホセ美術館	06.05.23～ 06.06.04		
		グアテマラ	グアテマラ	国立近代美術館	06.07.11～ 06.07.30		
			ケッツアルテナンゴ	ケッツアルテナンゴ市立劇場	06.08.08～ 06.08.22		
		米国	(ワシントン州)ベルビュー・シアトル	秋祭り会場(ベルビュー市)及び在シアトル日本国総領事館広報文化ホール(シアトル市)	06.09.01～ 06.09.10		
		グアテマラ	ヘレナ	クマモトプラザ展示室	06.09.14～ 06.10.27		
		米国	(ミシガン州)ノバイ	シビックセンター	06.11.06～ 06.12.03		
			(ユタ州)ウエストバリー	ユタ・カルチャラル・セレブレーション・センター	07.01.12～ 07.02.21		
			ボイシー	アイダホ歴史博物館	07.03.01～ 07.03.20		

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
13	写真展「自然に潜む日本」展	エクアドル チリ アルゼンチン ペルー メキシコ ドミニカ共和国	キト サンティアゴ コルドバ アレキパ メリダ サントドミンゴ	赤道技術大学 展示ホール 国立図書館 コルドバ銀行 博物館 アレキパ市役 所展示室 ユカタン現代 美術館 MACAY サントドミン ゴ自治大学図 書館ロビー展 示スペース	06.04.19～ 06.05.10 06.08.01～ 06.08.31 06.09.21～ 06.10.06 06.12.12～ 06.12.21 07.02.01～ 07.03.23 07.03.15～ 07.04.09	写真家矢萩喜従郎氏の写真作品を中心に日本の風景をモノクロの写真85点で紹介。
14	現代日本の陶磁器	ブラジル アルゼンチン ペルー ベトナム インド タイ	リオ・デ・ジャ ネイロ ブエノス・ア イレス リマ ハノイ ホー・チ・ミ ン ニューデリー ハイダラー バード コルカタ ムンバイ (ボ ンベイ) バンコク	ブラジル銀行 文化センター 国立図書館 国立博物館展 示室 ベトナム人材 協力センター ホーチミン市 展覧会場 ニューデリー 事務所ギャラ リー チョーマハラ 宮殿 ギャラリー・ ラサ プリンス・オ ブ・ウェール ズ博物館 バンコク国立 美術館	06.04.24～ 06.05.21 06.06.01～ 06.06.30 06.08.09～ 06.08.27 06.09.20～ 06.10.04 06.10.18～ 06.10.27 06.11.16～ 06.12.04 06.12.16～ 06.12.23 07.01.06～ 07.01.14 07.01.24～ 07.01.30 07.03.02～ 07.03.29	伝統を引継ぎ、有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の窯場で優れた作品を制作している若手作家の作品を紹介。

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
15	くまもとアートポリス	カナダ	モントリオール	モントリオール市立フロントナック文化会館入り口ホール	06.05.04～ 06.05.27	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介。
		マレーシア	ジョホール・バル	マレーシア工科大学ギャレリウム	06.07.20～ 06.08.03	
			シャー・アラム	ギャラリー・シャー・アラム	06.08.11～ 06.09.10	
		モンゴル	ウラン・バートル	モンゴル国立博物館	06.10.06～ 06.10.20	
		ネパール	カトマンズ	在ネパール日本国大使館多目的ホール	06.11.03～ 06.11.17	
16	凧・独楽F	アラブ首長国連邦 ヨルダン シリア レバノン	アブダビ アンマン ダマスカス アレppo ベイルート	アブダビ・モール アンマン市役所展示ホール ダマスカス大学芸術学部 アレppo大学中央図書館 ブルーバード・モール	06.04.19～ 06.04.30 06.05.14～ 06.05.27 06.06.04～ 06.06.14 06.06.18～ 06.06.22 06.07.04～ 06.07.18	日本の伝統的な玩具で、全国各地に伝わる凧・独楽を紹介。
17	現代日本デザイン100選	米国 ブラジル カナダ	シアトル マイアミ サン・フランシスコ ホノルル リオ・デ・ジャネイロ サン・パウロ ブラジリア トロント	シアトルセンター モリカミ博物館・日本庭園(デルレイ・ビーチ市) ジャパントウン近鉄モール ハワイ日本文化センターコミュニティギャラリー リオ国立美術館 サンパウロ美術館 連邦貯蓄銀行文化センター デザイン・エクスチェンジ・ギャラリー	06.04.08～ 06.04.23 06.05.11～ 06.05.26 06.06.09～ 06.06.30 06.07.27～ 06.09.13 06.10.26～ 06.11.26 06.12.11～ 07.01.14 07.01.30～ 07.02.25 07.02.08～ 07.04.29	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
18	90年代の日本の絵画展	中国 オーストラリア ニュージーランド	広州 北京 シドニー メルボルン キャンベラ ブリズベン オークランド	広東美術館 北京東京芸術工程 シドニー日本文化センター ギャラリー マクレランド・ギャラリー 豪州国立大学内ドリルホール・ギャラリー クイーンズランド工科大学美術館 ガス・フィッシャー・ギャラリー パタカ芸術文化美術館	06.03.31～ 06.04.16 06.04.23～ 06.05.07 06.06.07～ 06.06.30 06.07.09～ 06.08.27 06.09.14～ 06.10.29 06.11.10～ 06.12.19 07.01.19～ 07.02.13 07.02.10～ 07.04.18	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆等9名の作家が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介。
19	out of the ordinary/ extraordinary	米国 メキシコ	ロス・アンジェルス サポパン メキシコシティー	ジョージ・G・ドイザキ・ギャラリー サポパン美術館 セントロ・デ・ラ・イマヘン	06.05.10～ 06.06.20 06.08.17～ 06.10.01 06.12.14～ 07.02.25	様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあつて、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現一日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介。
20	日本の子ども60年	ウクライナ スーダン レバノン ヨルダン	キエフ ハリコフ ハルツーム バイルート アンマン	ソフィア寺院内展示会場「フィリブニャ」 ハリコフ国立美術館 スーダン国立博物館 レバノン大学芸術学部 アンマン市庁舎	06.09.13～ 06.09.26 06.10.05～ 06.10.22 06.12.16～ 06.12.25 07.02.16～ 07.02.27 07.03.18～ 07.03.29	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後～現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介。
21	日本の現代写真-1970年代から今日まで	ポーランド ハンガリー	ワルシャワ ブダペスト	ポーランド写真家芸術家協会 ブダペスト事務所	07.03.08～ 07.04.19 07.01.15～ 07.02.16	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれととりまく風景」をテーマに、森山大道、荒木経惟ら23名の写真家による、計76点の作品を紹介する展覧会を制作し、巡回を開始。

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
22	日本の玩具展	韓国	蔚山	蔚山広域市立文化芸術会館第3展示室	06.10.20～ 06.10.29	古くは中国、朝鮮半島から伝来した伝統玩具、近世以降全国各地で生まれた郷土玩具、季節の年中行事に因んだ玩具、木や竹など身近な素材を使った玩具、近現代の玩具など日本の様々な玩具110点を紹介。
			済州	在済州日本国総領事館広報文化センター「たむな・ほーる」	06.11.13～ 06.11.22	
			ソウル	在韩国日本大使館公報文化院（シルク・ギャラリー）	06.12.10～ 06.12.15	
		パキスタン	カラチ	V.M.アートギャラリー	07.01.09～ 07.01.13	
			カラチ	在カラチ総領事館ホール	07.01.16～ 07.01.31	
23	日比友好年記念展覧会「日本の玩具－伝統と現代」	フィリピン				日比友好年に因み、マニラ事務所所蔵の展覧会のフィリピン国内巡回に係る経費を一部負担した。
24	人形師派遣	アルジェリア シリア			06.11.23～ 06.11.27 06.11.27～ 06.12.01	2006年中東との集中的文化事業の一環として、シリア及びアルジェリアで玉屋庄兵衛氏によるからくり人形の実演と、末松良一教授による講演会を開催し、伝統的なからくり人形の発展や、からくり人形と西洋のオートマタとの比較、からくり人形と現代ロボットとの関連性を紹介した。
25	現代日本の工芸	全世界区分困難			06.05.17～ 07.03.31	現代日本の工芸の状況を、共通する6つの特色－華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥－に分類し、64点の作品によって紹介した展覧会の修復を行った。
26	スピリトを写す	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	細江英公、杉本博司、片瀬和夫ら11名の作品を通して、精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実に隠された見えないものがもっているであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介した「スピリトを写す」展の修復を行う。
27	パラレル・ニッポン現代日本建築1996-2006(新規制作)	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	日本建築学会との協力により、1996年から2006年に竣工した日本の建築から代表的な112作品を選び、写真に映像、模型を織り交ぜ、我国の社会文化状況と対比させながら紹介する展覧会を制作。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
28	武道の精神展 (新規制作)	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	日本で用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介する展覧会を制作。
29	日本のポップカルチャー (新規制作)	全世界区分困難				日本のポップカルチャーを背景として生まれた現代芸術を紹介する。2000年代に活躍を始めた若手作家の作品で構成。

2. 催し等事業費 (4)国内展 (企画展)

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 17,855,039円

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
1	転換期の作法展 (事後)			06.04.01～ 06.07.31	2005年度に実施した中東欧現代美術展「転換期の作法 - ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術」の作品返却等を実施。
2	日本の知覚展	川崎	川崎市岡本太郎美術館	06.04.08～ 06.06.25	グラーツ (オーストリア) およびビーゴ (スペイン) で開催された「CHIKAKU:四次元との対話-岡本太郎から始まる日本の現代美術」の帰国展を開催。
3	日本現代建築展 (国内展)	東京	東京都写真美術館	06.10.21～ 06.12.03	巡回展「パラレル・ニッポン 現代日本建築展 1996-2006」を海外巡回に先駆け国内で披露。
4	石内都： mother's 展	東京	東京都写真美術館	06.09.23～ 06.11.05	2005年度ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 (第51回) 日本館展示を再構成した「mother's」展を実施。
5	第10回ヴェネチア ビエンナーレ 建築展帰国展 (準備)	東京	東京オペラシ ティアートギャ ラリー	06.12.07～ 07.03.31	2006年の第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館で展示された「藤森建築と路上観察」展を東京オペラシティアートギャラリーにて帰国展として開催するための準備業務。
6	2008年度国内展 (準備)			06.04.01～ 07.03.31	2008年度に国内で開催する諸展覧会の準備

2. 催し等事業費 (5) 海外展 (助成)

国内外の美術館などが主催し海外で開催する日本の美術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。
合計額 44,561,230円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	The Contemporary Art Exhibition of the 2006 Busan Biennale	韓国	Busan Biennale Organizing Committee	06.09.16～ 06.11.25	韓国の三つの国際展のうちの一つである釜山ビエンナーレは回を重ねるごとに評価を高めてきているが、今回のテーマは首都集中化現象による首都と地方都市間の相互関係をナラティブな側面に焦点を宛てて実施。日本から淀川テクニクが参加
2	Oriental Metaphor	韓国	Alternative Space LOOP	06.08.18～ 06.09.15	欧米からみたオリエンタリズムに対し、東アジアの視点から日本、韓国、中国の3人のキュレーターが共同して照射しようという試み。日本からの出品作家は会田誠など数名
3	上海双年展 (Shanghai Biennale)	中国	Shanghai Art Museum	06.09.05～ 06.11.05	1994年から開始された中国を代表する国際展のひとつである上海ビエンナーレ。今回、日本からは奈良美智ら数名が出品。
4	mishiranu hitobito - mak sang yen	中国	1a space	06.12.02～ 06.12.22	香港のオルタナティブ・スペース「1a space」と東京のオルタナティブ・スペース「現代美術製作所」が共同で、レジデンスと展覧会を相互に行う。日本からは開発好明など4作家が参加。
5	Exhibition of Wajima Lacquerware	インド	MODI Foundation	06.04.08～ 06.04.08 06.04.13～ 06.04.25	モディ財団が主催する「世界平和会議」に際し、インド文化協会及び印日友好協会が共催で日本の伝統工芸「輪島塗」の作品約60点を展示
6	Japanese Mask Exhibition	シンガポール	Asian Civilisations Museum	06.09.06～ 06.11.05	アジア文明博物館と日本の文化庁との共催事業で、縄文時代の仮面から国宝級の能面まで50点と能装束20点を展示。日シンガポール外交樹立40周年事業。
7	Singapore Biennale 2006	シンガポール	Singapore Biennale Secretariat, National Arts Council	06.09.04～ 06.11.12	シンガポールで初めてのビエンナーレで、南條史生が総合美術監督を務め、アジアから選んだ若手キュレーター4名が作家を選定。日本からは草間弥生、杉本博司、森万里子、向山喜章、秋山さやか、栗林隆の6名が出品
8	The Art of Washi Exhibition Viet Nam	ベトナム	Fine Arts Museum	06.08.20～ 06.08.25	「ベトナム文化交流使節団報告」のフォローアップ案件として企画され、社団法人日本和紙絵画芸術協会が共催する、日本の伝統的工芸品である手漉き和紙を用いて創作された和紙絵画の展覧会
9	Osamu Tezuka: The Marvel of Manga	オーストラリア	National Gallery of Victoria	06.11.17～ 07.02.25	手塚治虫の下絵150点に加え、漫画の表紙や広報用ポスターにも焦点をあてた展示。作品は手塚治虫ミュージアムより。キュレーターは日本アニメ、漫画を専門とするメルボルン在住のPhilip Brophy。マンガを題材とした展覧会を州立美術館レベルで開催するのは豪州初

造形美術事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
10	Zones of Contact	オーストラリア	Biennale of Sydney Limited	06.06.08～ 06.08.27	第15回シドニービエンナーレに44ヶ国85人のアーティストが参加。日本からは森山大道、宇治野宗輝、竹村京、東芋、向井山朋子が出品。
11	ASIA-PACIFIC TRIENNIAL OF CONTEMPORARY ART	オーストラリア	Queensland Art Gallery	06.11.23～ 07.05.31	アジア太平洋地域の約30人の芸術家を招聘する大型現代美術展。日本からは小澤剛と米国在住のテラオカ・マサミの二人の現代美術作家が出品。芸術家と子どもと一緒に作品を作る場も設ける
12	Master Grafika: The Saturo Itazu Print Workshop	オーストラリア	Griffith Artworks	06.04.01～ 07.03.31	版画家板津悟氏の展示会と日・豪のアーティストのワークショップ。プロジェクトには板津氏のクイーンズランド美術大学で行うレジデンスも含む。
13	Cafe Liustra	カナダ	Kelowna Art Gallery	06.07.01～ 06.09.30	「ノーヴァヤ・リューストラ」の中野良寿（美術家）と安原雅之（音楽学者）を2ヵ月半招聘し、インスタレーション作品を制作・展示。中野と安原は、レジデンス期間中、プリティッシュ・コロンビア大学オカナガン分校で講演・ワークショップを行うほか、オカナガン大学美術学部の学生が結成したデュオトーン・アーツ・コレクションのアンニアル・フェスティバルやバンフセンターのレジデンスに参加。
14	NEXT: Zero Yen House	カナダ	Vancouver Art Gallery	06.09.23～ 07.01.01	都会の路上生活者たちが住んでいる「家」を観察し、経費や環境への負荷、可動性など、その建築的な意味について検証している坂口恭平の個展。立体造形、写真、スケッチ、ドローイング、映像等でインスタレーションを構成
15	A JAPANESE KARAKURI TRIP by Minoru Takahashi	カナダ	The Centre d' exposition Raymond-Lasnier in the Maison de la Culture de Trois-Rivieres	06.12.01～ 07.12.30	木製のからくりおもちゃを手がける高橋みのるの作品を紹介。二部構成で、第一部では日本の風景をインスタレーション、第二部では、見世物小屋のイメージで、江戸時代のからくり人形からロボットにいたる「からくり」の歴史を紹介した。
16	CHIKANOBU: Modernity and Nostalgia in Japanese Prints	米国	Scripps College, Ruth Chandler Williamson Gallery	06.08.26～ 06.10.22	スクリプス大学の1200点に及ぶ浮世絵コレクションから、楊州周延の浮世絵60点、国芳、国貞、国周、芳年の作品10点を展示。明治時代の浮世絵師、周延を包括的に紹介する米国ではじめての展覧会。
17	Japan Design-Today	米国	Japanese American Cultural and Community Center (JACCC)	07.03.17～ 07.07.29	日米文化会館（JACCC）が東京アート・ディレクターズ・クラブの協力を得て、ポスター、包装デザイン、装丁、テレビ・コマーシャル等多様なジャンルにわたる日本の広告デザインを紹介した。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	Skin and Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture	米国	The Museum of Contemporary Art, Los Angeles	06.11.19～ 07.03.05	1980年代から現在に至るまで、ファッションと建築両分野に共通してみられる視覚的・知的な法則を検証する展覧会。川久保玲、山本耀司、三宅一生、渡辺淳弥、伊東豊雄、坂茂、妹島和世を含む各国40名のファッション・デザイナー、建築家の作品を取り上げ、両分野に共通するポキャプラー、プロセス、技術、そして、過去から現在に至るまでの様式的平行性を探る。
19	The Prints of Tsukioka Kogyo	米国	Frick Art & Historical Center	07.02.03～ 07.04.07	19世紀後半を代表する版画家で、能舞台を描くことを得意とした月岡耕漁の人生と業績を紹介する展覧会。米国内及びドイツ、オランダのコレクションから展示を構成。
20	Sensorium : Part I – Embodied Experience, Technology and Contemporary Art	米国	Massachusetts Institute of Technology – List Visual Arts Center	06.10.12～ 06.12.31	日米台の5名の現代美術専門家をキュレーターに迎え、池田亨司への委嘱作品を含む各国10名の作家の作品を通して、テクノロジーが人間の感覚に及ぼす影響を探求する現代美術展。
21	Ehon: The Artist and the Book in Japan, 764–2005	米国	The New York Public Library, Astor, Lenox and Tilden Foundations	06.10.20～ 07.02.04	ニューヨーク公立図書館のコレクション約150点を通して、奈良時代から今日に至る日本の挿絵入り本の歴史を概観。日本の書き物のなかで絵画が果たしてきた役割の重要性を西洋の書籍の歴史と比較しつつ紹介する。
22	On Site/Artists' Project:Shigeo Kawashima	米国	Visual Arts Center of Richmond	06.06.02～ 06.07.23	屋外作品の多い川島茂雄の竹工芸作品の模型10-12点と制作ドキュメンテーションの写真パネルに、リッチモンド視覚芸術センターでのレジデンスで制作した新作を加えた個展。
23	Photography exhibition by Japanese artist Rinko Kawauchi at The Photographer's Gallery	英国	The Photographers' Gallery	06.05.05～ 06.07.09	新進写真家である川内倫子のロンドン発の個展となる展覧会を開催。The Photographers' Galleryは71年に創立された独立したギャラリーで、日本の写真家もこれまで紹介してきた。今回の展覧会では、身近なものや人を撮影してきた作品の中からA I L Aなどの作品の額入りの写真35点とスライドによる作品キュイキュイの上映を行なう

造形美術事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
24	INDIGO: A Major Exhibition of Art, Craft, Fashion, and Design Featuring Historical and Contemporary Indigo-Dyed Art Effect from around the World	英国	The Whitworth Art Gallery	07.01.19～ 07.04.15	藍染めの歴史及び現代の作品を包括的に紹介する展覧会。地理や歴史的観点からなる6つのセクションから成り、世界中から藍染めの作品が展示される。日本からは新道博之、福本潮子の2名の作品が「青いアート」のセクションで展示。
25	Liverpool Biennial: International 06 Exhibition	英国	Liverpool Biennial of Contemporary Art Ltd	06.09.16～ 06.11.26	International 06 Exhibitionは、25カ国から40名のアーティストを招聘し、殆どの作家に新作の制作を依頼。日本からは環境や場所、美術館の空間に直接的な働きかけをするアーティストとして、鳥袋道浩を招聘。
26	Aesthetics/ Dietetics	イタリア	GAMeC- Galleria d'Arte Moderna e Contemporanea di Bergamo/ Associazione-onlus	06.05.26～ 06.08.06	若手キュレーターの発案におくられる第3回「ロレンツォ・ボナルディ芸術賞」の第1位プロジェクトを展覧会化するもの。テーマは「美学／食餌療法学」。受賞者の遠藤水城氏が、日本人3名を含むアジアからの4作家の作品をキュレーション
27	Solo Exhibition- Mitamura Midori	オーストリア	Vienna Secession	06.11.24～ 07.01.22	三田村光土里のヨーロッパ初の個展。記憶、思い出、と個人的な歴史が、ゼセッションの建築と組み合わせられて新たなインスタレーションを制作
28	Yutaka Sone: Snow	スイス	Kunsthalle Bern	06.06.10～ 06.08.06	スイスでは初となる曾根裕の個展「Snow」をベルン・クンストハレにて開催。「Snow」では作家は雪を多様なメディア（絵画、大理石彫刻、写真、ガラス、木など）によって表現
29	KANNON BOSATSU. Early Buddhist Art from Japan	スイス	Museum Rietberg Zurich	07.02.18～ 07.04.09	リートベルク美術館の新展示ホール完成記念事業として、日本の伝統美術における、観音菩薩像のさまざまな表現を、7世紀から14世紀にかけて、10～13世紀を中心に、彫刻15点、絵画22点、37点（展示替え作品を含む）により紹介。
30	Japan 2000 years of Architecture	スペイン	University of Ramon Llull LA SALLE Engineer Architecture	06.04.01～ 06.04.30	ラモンリュイ大学ラサル建築学部100周年事業の一環として、「出雲大社から伊東豊雄まで」をサブテーマに、日本の2000年の建築の歴史をパネルやスライド、茶室の原寸大模型等により紹介

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
31	ENTRY 2006: Talking Cities	ドイツ	urban drift productions Ltd.	06.08.26～ 06.12.03	ルール地方の炭鉱跡を利用して開催される、建築デザインフォーラムに併せて開催される4つの展覧会のうちのひとつ。Talking Cities展は、社会的あるいは伝達のためのツールとしての、建築のもつ潜在性や能力を再定義する試み。アトリエワンのペットアーキテクチャーを展示する。
32	The Culture of Fear	ドイツ	ACC Galerie Weimar	06.04.01～ 06.06.11	人生で避けて通れない感情である「恐怖」をコンセプトとした展覧会。「恐怖」を作り出すことは、ある種の生産の中心ともなっており、技術発展の要素のひとつと考えられる。本展では、社会の中での「恐怖」の意味について考える江幡京子ほか3名のアーティストの作品により構成。
33	The Lacquers of the Klaus F. Naumann Collection at the Museum of East Asian Art Berlin	ドイツ	National Museum of East Asian Art Berlin	06.10.13～ 07.07.01	ナウマン氏が収集したベルリン国立東洋美術館の所蔵する漆作品並びに日本から出品する漆作品を包括的に紹介する展覧会。ベルリン国立東洋美術館の設立100周年記念行事のひとつ。ナウマン氏のコレクションは、これまで常設展の一部として展示されてきたのみで、全体として展示されるのは初めて
34	Archilab 2006 Japan 30 Japanese young architects	フランス	City of Orleans	06.10.13～ 06.12.23	日本の若手建築家を中心に30組を紹介する実験的建築ビエンナーレ。関連事業として伊東豊雄氏および隈研吾氏による講演事業も実施。
35	Exhibition of a Japanese House and Dwellings, in Paris at the Musee de l'Homme	フランス	Association ” Un Musee de la vie quotidienne du Japon”	07.02.05～ 07.03.31	パリ人類博物館改修の機会に、明治時代の木曾の民家および道具、日常生活品等を展示し、庶民生活におけるライフスタイルを紹介
36	Rising Sun, Melting Moon: Contemporary Art from Japan	イスラエル	The Israel Museum, Jerusalem	05.12.15～ 06.06.30	日本の現代美術を広い世代にわたって、彫刻、絵画、写真、ビデオ・インスタレーション等多様な作品を通じて紹介する展覧会。

造形美術事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
37	The Travel Diary of Erwin Dubsy. Collection of Japanese Albumen Photographs from the Bakumatsu and Early Edo Periods.	チェコ	Moravian Gallery in Brno, Museum of Decorative Art	05.08.27～ 05.11.27 06.01.26～ 06.04.17 06.05.21～ 06.10.31	1874年にチェコ人として初めて来日した、Erwin Dubsy氏が収集した日本写真展。幕末から明治期に写された日本各地の写真300点を通じて、当時の風土・民俗を紹介する。またDubsy氏のコレクションから、合わせて陶磁器や漆器などの作品も展示。
38	Disappearing Art Ise Katagami	ポーランド	National Museum in Wroclaw	06.12.15～ 07.06.30	ポーランドにおける初めての伊勢型紙展。日本の伝統工芸である型紙を、道具、型染めなどと共に紹介。会期中、型紙の歴史や着物のレクチャー、型紙師によるデモンストレーション等も実施
39	Bucharest Biennale 2	ルーマニア	Artphoto asc.	06.05.25～ 06.06.27	今年で2回目の開催となるブカレスト・ビエンナーレは「カオス」をテーマに、日本からは折本立身と月岡彩が出品
40	Japan now: Recent Architectural developments	ルーマニア	Union of Romanian Architects UAR	06.11.08～ 07.01.30	ブカレスト建築ビエンナーレの企画展として、日本の建築家を2部構成で紹介。1部は、既に国際的に活躍している7人の建築家を、2部では、若い建築家10名の仕事を紹介
41	Zone Zero	ドイツ	Stiftung museum kunst palast	06.03.12～ 06.07.10	戦後の重要な美術運動であるゼロ・グループを紹介する展覧会。ドイツ、ヨーロッパのゼロ運動の作家の作品とともに併せて、「具体」の作家の作品の再制作やパフォーマンスの再現を行うことにより、この運動の価値を見直そうとするもの。
42	4th International Artist's Book Exhibition Vilinius 2006	リトアニア	Public Institution "Bokartas"	06.11.15～ 06.12.08	1997年に始まり国際的に注目を集め今回で4回目を迎える、国際アーティストブック・トリエンナーレにおける日本紹介
43	"Kami" The art of paper in Japan	イスラエル	Haifa Museums-The Tikotin Museum of Japanese Art	06.12.16～ 07.03.27	日本人アーティスト7名による、伝統和紙を用いた現代美術展。
44	観音菩薩展	スイス		06.04.01～ 07.03.31	7世紀から14世紀までの観音菩薩像の彫刻、絵画等約40点の展示により、日本の仏教美術及び思想に対する理解を深める

2. 催し等事業費 (6) 国内展 (助成)

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 14,060,380円

	事業名	都市	対象機関	期間	事業内容
1	オーストラリア 現代作家展 ディステイ ニー・ディーコ ン	東京	東京都写真美術 館	06.04.29～ 06.06.11	豪州先住民出身アーティストの作品で、写真・ 映像・オブジェ・インスタレーション等で構成。 作品のテーマは一貫して豪州の社会問題である 先住民と歴史など。2000年シドニービエンナー レ出展
2	Wave front オーストラリア 現代アートの最 前線	東京	トーキョーワン ダーサイト	06.12.20～ 07.02.17	「都市とアート」「東京」をテーマにオーストラ リアのヴィジュアルアート及び現代音楽を紹 介。「レジデンス+展覧会+シンポジウム+共 同制作」を組み合わせたプロジェクト。ビジュ アルアーティスト2名、音楽家2名、作家1名 を招聘
3	Re: search オー ストラリアと日 本のアートコラ ボレーション	仙台市	仙台ひと・まち 交流財団 せん だいメディア テーク	06.11.26～ 06.12.25	日豪交流年記念企画として日豪の先端的なア ートを紹介。 レジデンスプログラムも組み込まれ、地方都市 の空間や文化とグローバルな情報ネットワー クの関係性への言及がテーマ。映像表現&音響表 現、身体表現&映像表現が一体的空間の中で展 開される。
4	アドレアナ・ ヴァレジョン展	東京	原美術館	07.01.27～ 07.03.31	ブラジル現代美術界を牽引する女流作家アド リアナ・ヴァレジョンの個展。
5	スティーヴ・ マックイーン -Caresses[愛 撫]-	丸亀市	財団法人ミモカ 美術振興財団	06.05.14～ 06.07.09	イギリス出身のスティーヴ・マックイーンの映 像作品を紹介する展覧会。猪熊弦一郎の若手作 家を紹介したいという遺志に基づき企画され、 ドクメンタやヴェネチアビエンナーレ等の出品 により活躍が目覚しい同作家の個展を開催。 マックイーンの映像は、カメラアングル、画面 切替、クローズアップの繰り返し等により特徴 づけられ、独特のストリート性を有する。
6	アルフレッド・ ウォリス展	丸亀市	財団法人東京都 歴史文化財団	07.02.03～ 07.03.31	イギリス生まれの独学の画家ウォリスの油彩、 素描などを紹介する。ウォリスの作品は、素朴 な筆致であるにもかかわらず、大胆な構成、躍 動感、調和のとれた色彩など造形的にきわめて 完成度が高い。ウォリスの作品に加え、彼に影 響を受けた画家ベン・ニコルソンなどの画家の 作品もあわせて紹介する。比較的小規模な作品 を、庭園美術館の親密な空間に展覧する。
7	写真の町東川町 海外作家コレク ション展	東京	東川町写真の町 実行委員会	06.06.01～ 06.06.18	写真の町宣言20周年等の機会に、東京写真月間 2006と連携し、同町コレクション1700点強の中 から16カ国21名の海外作家の収蔵作品を展示。 東川町以外では初めての公開となる。

造形美術事業費

	事業名	都市	対象機関	期間	事業内容
8	KANDADA/ Project collective 2006_command N	東京	コマンドN	06.09.15～ 07.02.17	人口減少し空きビルの増加した千代田区界隈で展開されるプロジェクト。国内2組、海外3組の招聘アーティストが作品制作やワークショップ、交流事業を実施し、その成果をKANDADAプロジェクト・スペースにて展示する。
9	大地の芸術祭 越後妻有アート トリエンナーレ 2006	十日町市	大地の芸術祭実行委員会東京事務局	06.07.23～ 06.09.10	「人間は自然に内包される」をテーマに、里山を舞台としたアート作品の展示、遊休施設を活用したアートプロジェクト、地域の祭や農業、地域の記憶とつながったイベント等を展開する大規模国際展の第3回展。
10	アフリカ・リ ミックス：多様 化するアフリカ の現代美術	東京	森美術館	06.05.27～ 06.08.31	アフリカ大陸全土25カ国からの84アーティストによる約140の現代美術作品を展示。新作もしくは過去10年以内の制作の作品がほとんどで、アフリカにおける最新の美術動向が俯瞰できる。
11	ダークサイドか らの逃走	水戸市	水戸市芸術振興財団	06.02.25～ 06.05.07	戦争や大規模な環境破壊といった現代状況を主題に、現代の報道写真とインスタレーション、映像作品、彫刻などの作品を組み合わせた、日本を含む4カ国7名の作家による展示。混沌とした21世紀の始まりにあって「人間の尊厳とは何か」を問いかけた。

2. 催し等事業費 (7)造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 28,113,551円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日独キュレーター交 流	ドイツ	07.02.21～ 07.02.28 07.03.14～ 07.03.21	2008年ドレスデン国立美術館における日本現代美術展企画に関する事前調査。
2	アジア次世代美術館 キュレーター会議 (継続)	韓国	07.03.20～ 07.03.22	アジアの国立美術館を中心とした次代を担うキュレーター間のネットワーク構築を目指して開始したフォーラムの日本での開催に続く第二回目。今回は日本、韓国、中国、フィリピン、シンガポールの20～30代のキュレーターが参加し、アジア各国での美術調査の報告と各国の美術館の課題について協議を重ねた。
3	棟方志功展への協力	イタリア フランス	06.11.03～ 07.01.26 07.03.07～ 07.04.07	パリ日本文化会館及びローマ文化会館「棟方志功」展開催に際し、学芸員や講演会講師の派遣等により、事業の充実に協力した。

	事業名	対象国	期間	事業内容
4	スペインキュレーターグループ招聘	スペイン	07.03.17～ 07.03.28	スペインの現代美術を専門とするキュレーター、批評家などを招聘し、日本の現代美術をスペインに紹介するとともに、両国関係者間のネットワーク作りを行なった。また、情報の少ないスペインの現代美術を紹介するシンポジウムを開催した。
5	東京-ベルリン／ベルリン-東京展 専門家派遣	ドイツ	06.06.06～ 06.09.30	「東京-ベルリン／ベルリン-東京展」（東京とベルリンで開催）のベルリンでの関連行事（アーティスト・トーク、パネル・ディスカッション）に、日本から、アーティスト、美術評論家を派遣し、事業の充実のために協力した。
6	英国工芸キュレーターグループ訪日への協力	英国	06.11.02～ 06.11.02	英国アーツ・カウンシル主催の工芸専門キュレーターグループ訪日調査に関し、訪問先の斡旋や懇親会の実施等により内外のネットワーク形成に協力した。
7	ドクメンタへの協力	ドイツ	07.02.01～ 07.03.31	ドイツ・カッセルにおいて開催される第12回ドクメンタは、「マガジン・プロジェクト」と称して、世界の80の雑誌社と提携を結んで雑誌・図書・インターネット上において、今回のテーマや美術についての議論・ネットワーク作りが進められる予定である。日本に関しては、フランスに本拠を持つ「Metronom」が、AIT（アーツ・イニシアティブ・トーキョー）や中村政人氏の参加を得て出版を行う。テーマは「美術と教育」で、日本と海外の美術関係者各々約30名が寄稿。基金として、現代美術の潮流・方向性を示すもっとも著名な国際展のひとつであるドクメンタにおいて、日本の美術界からの発信の一環として、本件出版に協力を行う。

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

(1) 国際展（横浜トリエンナーレ）

大規模な国際美術展を日本国内において定期的で開催し、世界の現代美術を一般的に広く紹介する

合計額 108,128,450円

	事業名	事業内容
1	準備経費	2008年秋に開催が予定される横浜トリエンナーレ第3回展の準備業務を実施する。準備1年目にあたる2006年度は主に会場選定、ディレクターの決定、事前広報等を中心とした業務を行なう。

文化芸術交流事業に必要な経費

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 舞台芸術情報交流（派遣）
- (2) 舞台芸術情報交流（招へい）
- (3) 内田奨学金フェローシップ（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 海外公演（主催）
- (2) 海外公演（助成）
- (3) 海外公演（PAJ北米・助成）
- (4) 海外公演（PAJ欧州・助成）
- (5) 国際舞台芸術共同制作
- (6) 国内公演（主催）
- (7) 国内公演（助成）
- (8) 国内公演（主催）（中東）
- (9) 舞台芸術情報交流（催し）

1. 人物交流事業費 (1) 舞台芸術情報交流 (派遣)

芸術分野における国際的なネットワーク構築・交流促進などのため、海外で活動を行なう芸術家に対しフェローシップを供与する。

合計額 2,807,725円

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
1	石井 達朗	舞踊評論家	フィリピン	06.06.20～ 06.06.24	石井達朗（舞踊評論家）をマニラに派遣、フィリピン文化センター及びフィリピン大学にて、日本のコンテンポラリーダンスに関するレクチャーを実施
2	武藤 大祐	舞踊評論家	インドネシア	06.07.18～ 06.07.24	武藤大祐（舞踊評論家）をジャカルタに派遣、インドネシア・ダンス・フェスティバルにて、日本のコンテンポラリーダンスに関するセミナーを実施
3	副島 輝人 佐藤 允彦	音楽評論家 ジャズピアニスト	ロシア	06.09.28～ 06.10.04	副島輝人（ジャズ評論家）及び佐藤允彦（ジャズピアニスト）を派遣、オストラフ・スペタ音楽祭（サンクトペテルブルグ）及びロング・アームス国際音楽祭（モスクワ）にて、日本ジャズ史に関する講演と演奏会を実施
4	松永 文夫	ロンドン事務所長	英国	06.06.14～ 06.06.19	国際アーツカウンシル・文化機関連盟（IFACCA）主催「世界文化芸術サミット」第3回（英国ゲイツヘッド）に、同評議会の準会員として、ロンドン事務所長を派遣
5	吉田 小夏 飯島 早苗	劇作家	インドネシア	06.11.18～ 06.11.27	劇作家の飯島早苗及び吉田小夏を派遣、ジャカルタにて開催される国際女性劇作家会議にて、基調講演及び現地事情視察を行う
6	大原 典子	東京芸術見本市（TPAM）副事務局長	カナダ	06.11.14～ 06.11.18	大原典子（東京芸術見本市）をモントリオールの芸術見本市CINARSに派遣、日本の舞台芸術情報を提供

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 (2) 舞台芸術情報交流 (招へい)

国内外で開催される舞台芸術見本市・フェスティバルなどを支援し、専門家の交流および情報交流を促進する。日本の舞台芸術に関する情報を収集し、舞台芸術専門ホームページや英文ブックレットなどを通じ全世界に発信する。

合計額 9,211,813円

	事業名	対象国	参加人数	期間	事業内容
1	2006国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ シンポジウム	イスラエル エジプト オーストラリア シリア デンマーク ヨルダン ロシア 英国 韓国	1 1 1 1 1 1 1 1 1	06.08.03～ 06.08.04	「2006国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」に中東をはじめとする各国の関係者を招へい、児童青少年演劇交流の可能性についてシンポジウムを開催
2	ダンストリエンナーレ	ドイツ フランス 韓国	1 1 1	06.11.03～ 06.11.03	「ダンストリエンナーレTOKYO」に海外ダンスフェスティバルの芸術監督を招へい、日本のコンテンポラリーダンス事情を視察する機会を提供するとともに、各国ダンス事情を紹介するフォーラムを開催
3	アジア現代演劇ネットワーク会議	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア 韓国	1 2 3 3 3 4	07.03.19～ 07.03.21	世田谷パブリックシアターとの共催により、アジア各国の現代演劇関係者を招へい、シンポジウム「コラボレーションとネットワークの未来」を実施。演劇公演『モバイル』も同時開催
4	東京芸術見本市 (招へい)	ブラジル メキシコ	3 3	07.03.01～ 07.03.13	「東京芸術見本市2007」にブラジル及びメキシコの舞台芸術専門家を招へいし、日本の舞台芸術事情を視察する機会を提供。また、両国の舞台芸術事情を紹介するセミナーを開催

1. 人物交流事業費 (3) 内田奨学金フェロースhip (招へい)

米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。本事業は、故内田元享の寄附金による運用益などにて実施される、冠寄附特別事業。

合計額 2,796,262円

	関連人物姓名	現職	対象国	期間	事業内容
1	Ronald Daniel Davis	ジャズピアニスト	カナダ	06.11.01～ 07.01.15	法政大学・宮澤淳一を受入教官として、日加ジャズ交流をテーマに活動
2	WILKES Steven Michael	打楽器奏者、バークレー音楽院助教授	米国	06.07.10～ 06.08.30	建築家の原田鎮郎を受入教官として、「東西融合～バックヤード・プロジェクト」と題する研究・創作活動を実施

2. 催し等事業費 (1)海外公演 (主催)

日本の優れた舞台芸術、芸能を海外に紹介するため、公演団の派遣を行ない、公演を実施するとともにレクチャー、デモンストレーションなどを行なう。

合計額 304,623,873円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	大藏流狂言 東欧	ルーマニア ブルガリア ハンガリー セルビア・モンテネグロ	ブカレスト シビウ カザンラク ソフィア ブダペスト デブレツェン ペーチュ ベオグラード	ブランドラ劇場 イズボール・ホール ラドゥ・スタンカ国立劇場 (シビウ国際演劇祭) アルセナル文化会館 (バラ祭) 国立文化宮殿 リュミエール ハンガリー劇場 チョコナイ劇場 Tetjei Szabadteri Szinpad野外ステージ テラジエ劇場	06.05.31～ 06.06.02～ 06.06.03～ 06.06.05～ 06.06.07～ 06.06.08～ 06.06.10～ 06.06.12～	大藏流の若手狂言師による公演を東欧4ヶ国で実施。2006年欧州文化首都のシビウ (ルーマニア) にて国際演劇祭に参加
2	クァルテット・エクセルシオ ウズベキスタン公演	ウズベキスタン	タシケント	ウズベキスタン青年劇場	06.04.25～ 07.04.25	若手弦楽四重奏団「クァルテット・エクセルシオ」をタシケントに派遣。武満徹、三善晃、西村朗、ユン・イサンの曲を演奏、同国で初の日本現代音楽紹介となった。国立音楽院の学生を対象に、日本の現代音楽に関するマスタークラスも実施
3	JAZZ IN JAPAN 西 欧	フランス イタリア	パリ ローマ	パリ日本文化会館 ローマ日本文化会館	06.05.30～ 06.06.03 06.05.26～ 07.05.26	パリ日本文化会館にて日本のジャズを集中的に紹介。副島輝人の総合プロデュースにより、渡辺香津美、中村明一、さがゆき、渋谷毅、伊東篤宏、ドラビでお、沖至等が出演し、フランス人ミュージシャンと共演。渡辺香津美はローマでも公演
4	コンドルズ フィリピン	フィリピン	マニラ	フィリピン文化センター	06.06.23～ 06.06.23	近藤良平率いるダンスカンパニー「コンドルズ」による公演及びワークショップ。日比友好年2006 (日本フィリピン国交回復50周年) 記念、フィリピン国際パフォーミングアーツ・フェスティバル公式参加

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	邦楽南アジア公演「日本伝統音楽の現在」	ネパール バングラデシュ インド スリランカ	カトマンズ ダッカ コルカタ コロンボ	Soaltee Crowne Hotel 国立芸術院 ビルラー劇場 エルフィンストーン劇場	06.09.01～ 06.09.03 06.09.06 06.09.09 06.09.12	中野亜生（箏）、真鍋 尚之（笙）、元永拓（尺八）によるの4カ国巡回公演。現代日本における邦楽の伝統的及び今日的な両側面を伝える。日本ネパール国交樹立記念
6	コンテンポラリーダンス インドネシア	インドネシア	ジャカルタ	ジャカルタ芸術劇場	06.07.18～ 07.07.22	ジャカルタのインドネシア・ダンス・フェスティバルに、C o. 山田うんの公演を開催
7	歌舞伎絵&座敷舞 欧州	ハンガリー イタリア	ブダペスト ローマ	ハンガリー国立応用美術館（工芸美術館） ローマ日本文化会館	06.09.12 06.09.14	国立劇場所蔵の歌舞伎絵による展覧会と、歌舞伎絵に描かれ今日に継承されている座敷舞のレクチャーデモンストラーション。出演は吉村文（舞）、藤舎呂浩（囃子）他
8	邦楽 パラグアイ他	パラグアイ ウルグアイ ニカラグア ドミニカ共和国	アスンシオン モンテビデオ フロリダ レオン マナグア サントドミンゴ	日本人造りセンター Sala Vaz Ferreira劇場 8月25日劇場 レオン市立劇場 ルベンダリオ劇場 マヌエル・ルエダ劇場	06.10.17 06.10.19 06.10.20 06.10.23 06.10.24 06.10.28	津軽三味線グループ「風 KAZE」による中南米4カ国公演。ワークショップやデモンストラーションを通じ、日本の伝統楽器やリズムを幅広い層に紹介

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
9	クラシック ブラジル	ブラジル	マナウス	アマゾナス劇場	06.09.22	ブラジルが生んだ世界的作曲家ヴィラ＝ロボスの孫弟子であり、ブラジル・クラシックに造詣の深いピアニスト鈴木裕子が、ブラジル9都市で公演及びマスタークラスを実施
			フォルタレザ	ジョゼー・デ・アレンカル劇場	06.09.24	
			ベレン	カルロス・ゴメス音楽学校、サント・アレシヤンドレ教会	06.09.27	
			リオ・デ・ジャネイロ	BNDS銀行アリノ・ラモス・フェヘイラ・オージトリウム、ブラジル音楽学校	06.09.29	
			クリチイーバ	パラナ連邦大学	06.10.04	
			ポルト・アレグレ	カトリック大学	06.10.05	
			フロリアノーポリス	アルバーロ・デ・カルバリーヨ劇場	06.10.08	
			ブラジリア サン・パウロ	国立劇場 サンパウロ美術館オージトリウム	06.10.12 06.10.15	
10	津軽三味線 日豪交流年	オーストラリア	シドニー	City Recital Hall	06.08.18	日豪交流年を記念して、津軽三味線奏者の佐藤通弘・通芳親子、タブラの吉見政樹他が、公演及び学生向けワークショップを開催
			キャンベラ	Llewellyn Hall	06.08.20	
			ブリズベーン	Brisbane City Hall	06.08.25	
11	邦楽 ウクライナ リトアニア	ウクライナ	キエフ	チャイコフスキー音楽院 (WS)	06.11.25	ウクライナにおける日本月間および日本リトアニア国交再開15周年のクロージング公演として、津軽三味線の小山豊と和太鼓・尺八による邦楽公演・ワークショップを実施
			キエフ	オペレッタ劇場 (公演)	06.11.26	
		リトアニア	ビリニュス	バリース・ドバリョーナス十年音楽学校 (WS)	06.11.28	
			ビリニュス	コンGRES・ホール (公演)	06.11.29	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
12	英語落語 カナダ	カナダ	トロント オタワ モントリオール カルガリー	トロント日本文化センター 在カナダ大使館講堂 モントリオール市立植物園 ヘンリー・トーシャー講堂 カルガリー日系人会館	06.12.07 06.12.09 06.12.11 06.12.13	上方落語の桂小春團治が率いる「NPO 法人国際落語振興会」による古典落語公演。囃子を入れた独演会形式、英仏語字幕を使用
13	邦楽・ジャズ 中東トルコ他	トルコ モロッコ アルジェリア	アンカラ イスタンブール ラバト アルジェ	アンカラ・アナトリア芸術高校、土日基金文化センター アタテュルク文化センター、イスタンブール大学 国立モハメド5世劇場、バハニーニ会場 イブンゼイドゥーン劇場、アルジェリア国立高等音楽院	07.03.02～07.03.03 07.03.05～07.03.06 07.03.08～07.03.09 07.03.11～07.03.12	中東との集中的文化交流事業年の一環として、邦楽グループ「和三BOM」の公演及びワークショップを開催
14	邦楽 中東湾岸	イラン カタール バーレーン オマーン クウェート	テヘラン ドーハ マナーマ マスカット クウェート	アンディーシェ・ホール インターコンチネンタル・ドーハ 文化ホール マスカット・フェスティバル アザイバ野外会場 アブドル・アジズ・フセイン劇場	07.01.17 07.01.21 07.01.24 07.01.28 07.01.31	ユニット「武士MUSA」による邦楽の中東湾岸公演。若手演奏家が、邦楽の伝統的及び現代的な両側面を伝える

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
15	鼓童 極東ロシア	ロシア	ウラジヴォストク ヤクーツク イルクーツク ユジノサハリンスク	太平洋艦隊将校会館 オイウンスキー名称サハ劇場 オフロプコワ名称イルクーツク・ドラマ劇場 サハリン国際劇場チェーフセンター	06.10.31 06.11.04 06.11.08 06.11.12	和太鼓集団「鼓童」による極東ロシア公演。各地で学校訪問も実施
16	和太鼓コンテスト×JW韓国	韓国	蔚山 光州	蔚山広域市文化芸術会館小公演場 光州広域市文化芸術会館小劇場	06.10.29 06.11.01	「第5回東京国際和太鼓コンテスト2006」の組太鼓部門・一般の部において最優秀賞を受賞した鬼島太鼓を韓国に派遣。鬼島太鼓は長野県木島平村を拠点とし、小学生から高校生までの女子で構成されたアマチュア太鼓チーム
17	JPOP中国	中国	上海	新天地ARK	06.07.15	NHKエンタープライズとの協力により、上海地域にて放送中のJ-POP紹介TV番組「音楽物語 in JAPAN」を中国の地方局に無償供与、現代日本の文化を広く紹介。上海にて番組と連動するライブを開催。
18	邦楽 東アフリカ他	ケニア モザンビーク アラブ首長国連邦	ナイロビ ナイロビ マプト マプト ドバイ アブダビ	国立劇場 ナイロビ日本人学校 ADPP アヴェニータ劇場 高等技術大学 ドバイ男子校 文化財団	07.02.11 07.02.12 07.02.14 07.02.15 07.02.18 07.02.19	中東との集中的文化交流事業年の一環として、和太鼓を中心とした邦楽グループ「ようそろ」を派遣、公演及びワークショップを実施
19	和太鼓 インド	インド	ゼンネイ（マドラス） プーナ ニューデリー ニューデリー	音楽アカデミー講堂 Shaniwaar Wara ブネ岡山友好公園 在インド大使公邸 ホテルメリディアン（IETF展ジャパンデー） シュリ・ラム・センター劇場	07.02.07～ 07.02.08 07.02.10 07.02.11 07.02.13 07.02.14 07.02.15	日印交流年のオープニング事業として、「大江戸助六太鼓」による巡回公演を実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
20	和太鼓 日タイ イ修好120 周年	タイ ブルネイ マレーシア	チェンマイ バンコク バンダルスリ ブガワン クアラルン プール	国際園芸博覧 会会場 タイ文化セン ター International Convention Centre 国立劇場（イ スタナブダ ヤ）	07.01.13 07.01.16 07.01.24 07.01.19～ 07.01.21	「東京打撃団」と「焔太鼓」の2グル ープ競演による和太鼓公演。日タイ修好 120周年記念および日本マレーシア国 交50周年のオープニング事業として実 施。チェンマイは「国際園芸博覧会ロ イヤル・フローラ・ラーチャプルック 2006」ジャパンフェスティバルオープ ニング事業
21	英語落語 パ キスタン	パキスタン	カラチ イスラマバー ド	Arts Council Theater Inlamabad Club	06.11.21 06.11.23～ 06.11.24	笑福亭鶴笑、桂あさ吉、大島希巳江に よる英語落語公演
22	劇団態変 マ レーシア	マレーシア	クアラルン プール	クアラルン プール・パ フォーミング アーツ・セン ター	06.04.01～ 07.03.31	劇団態変をマレーシアへ派遣、現地の 身体障害者と共に、身体表現を特徴と するワークショップ及び公演を実施
23	コンテンポラ リーダンス	英国 フランス イタリア	ロンドン パリ ローマ	Sadler's Wells, Lilian Baylis パリ日本文化 会館 Auditorium, Teatro Studio	07.01.12～ 07.01.14 07.01.18～ 07.01.20 07.01.23	近藤良平を中心とするカンパニー「コ ンドルズ」による、ダンス、映像、演 劇等のパフォーマンス。パリ日本文化 会館10周年記念
24	邦楽Rin' 日 中交流年	中国	北京 上海 西安	星光現場 新天地ARK 西安音楽学院	07.03.16 07.03.18 07.03.21	日中文化スポーツ交流年記念。邦楽ト リオ Rin'の演奏と松井夢壮によるビ デオ・アートによる公演。若者に人気 の高いライブハウスでの公演、中国の 古典音楽を教える学校での公演とワー クショップ等。
25	邦楽 A P A P他 米州	米国	ニューヨーク	ニューヨー ク・ヒルトン ホテル ジャパン・ソ サエティー	07.01.20～ 07.01.22 07.01.22	NYで開催される舞台芸術見本市 APAP年次総会にブースを出展し、日 本の舞台芸術に関する情報を提供。 ジャパン・ソサエティーとの協力によ り、田中隆文（邦楽ジャーナル編集長） によるレクチャーを実施

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
26	ジャパン・ソサエティー 100周年 米国	米国	ボストン ニューヨーク ワシントン ハノーヴァー	ボストン日米協会 ジャパン・ソサエティー J.F.ケネディセンター ダートマス大学ホプキンズセンター	07.03.17～ 07.03.18 07.03.19～ 07.03.24 07.03.27 07.03.28～ 07.03.31	NYジャパン・ソサエティー創立100周年記念”Noh～Now!”に参加して川村毅作・演出の現代演劇『AOI/KOMACHI』を上演。能を現代的な再解釈と共に紹介
27	ダンス「禁色」 仏独公演	フランス ドイツ	リヨン デュッセルドルフ	ダンス・ビエンナーレ タンツハウス	06.09.10～ 06.09.12 06.09.18～ 06.09.19	リヨン・ダンス・ビエンナーレ（仏）及びタンツハウス（独）から招聘を受け、伊藤キムと白井剛によるコンテンポラリーダンス『禁色』を上演
28	ストリートダンス	韓国	ソウル	Arko Theatre	06.10.11～ 06.10.13	ソウル芸術見本市（PAMS）と東京芸術見本市（TPAM）の相互協力の一貫として、PAMS海外ショーケースにストリートダンスの「はむつんサーブ」と「ひとりのできるもん」を派遣
29	邦楽（アフリカ）	セネガル エジプト スーダン	ダカール カイロ ハルツーム	ダニエル・ソラノ劇場 El Sawy Culture Wheel スーダン国立劇場	06.12.06 06.12.11 06.12.15	和太鼓グループ「は・や・と」による公演及びワークショップを開催
30	日中韓 児童青少年演劇公演	中国 韓国	上海 南京 天津 北京 ソウル 釜山	上海戯劇大学実験劇場 南京大劇場中ホール 天津大劇場中ホール 中央戯劇大学劇場 文芸開館大劇場 釜山市民会館	07.02.08～ 07.02.11 07.02.17～ 07.02.18 07.02.24～ 07.02.25 07.03.03～ 07.03.04 07.03.10～ 07.03.12 07.03.18～ 07.03.19	日本の児童青少年演劇界で高い評価を得ている劇団えるむが中国の児童芸術学院、韓国の劇団民衆と共同で新作劇『天の鍵』を制作、中韓両国で巡回公演を行う
31	能公演	インド タイ	ニューデリー バンコク	シリフォート・ホール タイ文化センター大ホール	07.03.03 07.03.05	日印交流年および日タイ修好120周年事業として能公演を実施。観世清和（シテ方観世流26世宗家）、観世芳伸（同25世三男）他
32	舞踏公演	ロシア	サンクト・ペテルブルグ モスクワ	サンクトペテルブルグ国立音楽院 DOM文化センター	07.03.23～ 07.03.25 07.03.27～ 07.03.29	和栗由紀夫、雪雄子他による舞踏公演及びレクチャー、ワークショップ、フィルム上映会

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
33	茂山狂言ヨーロッパ公演	ロシア ドイツ フランス イタリア	モスクワ サンクト・ペテルブルグ ケルン パリ ボローニャ ローマ	ストラスノイ劇場 ミュージックホール ケルン日本文化会館 パリ日本文化会館 テアトロ・ディ・ヴィータ ローマ市立オーデイトリアムサラ・ペトラッシ	07.03.24～ 07.03.25 07.03.28～ 07.03.30 07.04.03 07.04.06～ 07.04.07 07.04.11 07.04.15	大蔵流狂言方の茂山千之丞、茂山あきら他による公演とレクチャー・ワークショップ。演目は、古典『棒縛』と新作『濯ぎ川』。パリでは、サミュエル・ベケット生誕100周年記念事業として、ベケット作品『言葉なき行為』を上演

2. 催し等事業費 (2) 海外公演 (助成)

日本の優れた舞台芸術や芸能の海外公演（レクチャー・デモンストレーション、国際共同制作を含む）を行なう日本の公演団体に対し、経費の一部を助成する。

合計額 133,891,156円

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
1	東京交響楽団創立60周年記念北京公演	中国	北京	財団法人東京交響楽団	06.05.10～ 06.05.13	クラシック音楽。北京で開催される国際芸術祭「Meet in Beijing」に参加、中国人ソリストと共演
2	響ホール室内合奏団 2006アジアツアー	韓国	ソウル	響ホール室内合奏団	06.10.24～ 06.10.26	クラシック音楽。北九州市を拠点とする弦楽合奏団のコンサート
3	日本の伝統芸能・能楽・モンゴル初公演	モンゴル	ウラン・バートル	NPO法人奈良能	06.06.07～ 06.06.10	古典芸能。モンゴル建国800年を記念し、国立オペラバレエ劇場で能楽を上演
4	ニュープロジェクトグループ「ボルヘスプロジェクト 2006」	フィリピン	マニラ ラグナ	特定非営利活動法人アンネフォール	06.05.14～ 06.06.01	現代演劇。第31回ITI世界大会(マニラ)の一貫として行われる国際共同制作に参加。ボルヘス作『円環の廢墟』を題材に、8カ国がそれぞれ小作品を創作し、マニラで共同制作を行う
5	青年団『東京ノート』東南アジアツアー	マレーシア インドネシア タイ	クアラルンプール ジャカルタ バンコク	有限会社アゴラ企画・青年団	06.06.15～ 06.07.08	現代演劇。『東京ノート』を各国語字幕付きで上演。各地でワークショップも実施

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
6	イプセンを上演する会バン グラデシユ公演	バングラデ シユ	ダッカ	イプセンを上 演する会	06.05.09～ 06.05.16	現代演劇。「イプセン国際演劇祭」に 参加、『Ghosts』を上演
7	晃麗邦楽会 ブータン・イ ンド公演	ブータン インド	ティンプー デリー	財団法人晃麗 邦楽会	06.10.22～ 06.11.04	邦楽。箏、十七絃、尺八のアンサンブ ル
8	KEMURIベ トナム公演	ベトナム	ハノイ	KEMURI	06.08.22～ 06.08.24	音楽（ロック）。ロックグループ KEMURIが、「ジャパン・フェスティバ ル2006」に参加
9	日越交流音楽 団ベトナム公 演	ベトナム	ハノイ	TOKYO SKA PARADISE ORCHESTRA	06.08.22～ 06.08.25	音楽。東京スカパラダイスオーケスト ラが、「ジャパン・フェスティバル2006」 に参加
10	琴公演 Japan Festival 2006 in Vietnam	ベトナム	ハノイ	湯井 麻里子	06.08.20～ 06.08.25	邦楽。「ジャパン・フェスティバル 2006」にて、箏や尺八を演奏。よさこ い踊りダンスチーム等と共演
11	ベトナムにお ける日越交流 ヒップホップ ステージ	ベトナム	ハノイ	FUTURESHOCK	06.08.22～ 06.08.26	音楽（ヒップホップDJとダンス）。 「ジャパン・フェスティバル2006」に参 加
12	オーケスト ラ・アンサン ブル金沢オー ストラリア・ アジア公演	オーストラリ ア シンガポール 中国	ジーロング メルボルン シンガポール マカオ	財団法人石川 県音楽文化振 興事業団 オーケスト ラ・アンサン ブル金沢	06.10.17～ 06.10.26	クラシック音楽。日豪交流年を記念し て「メルボルン国際芸術フェスティバ ル」に参加。
13	日豪交流年特 別公演「日豪 交流JAZZ オーケスト ラ」プロジェ クト オース トラリア公演	オーストラリ ア	シドニー メルボルン ブリスベン	東京JAZZ実 行委員会	06.09.18～ 06.09.26	音楽（ジャズ）。日豪交流年を記念し て両国アーティストの混合バンドを結 成、両国をツアー。クリヤマコト（プ ロデューサー）、納浩一（ベース）、上 妻宏光（三味線）他
14	豪州寄席	オーストラリ ア	キャンベラ シドニー メルボルン	社団法人落語 芸術協会	06.05.17～ 06.05.26	伝統芸能。落語（三笑亭茶楽）、のこぎ り漫談（都家歌六）、紙切り（林家今丸） によるミニ寄席
15	下関舞踊協会 豪州派遣交流 事業	オーストラリ ア	ゴールド・ コースト ブリスベン	下関舞踊協会	06.08.22～ 06.08.29	日本舞踊。豪州のジャパンウィークに 参加、日本舞踊公演およびワーク ショップを開催

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
16	オーストラリア日本太鼓公演	オーストラリア	シドニー タウンズビル ブリズベン	財団法人日本太鼓連盟	06.10.02～ 06.10.16	邦楽（和太鼓）。御殿場市の富岳太鼓が、シドニーで開催される日豪交流年記念「日本の祭」に参加するほか、豪州内を巡回
17	「日本の祭り」	オーストラリア	シドニー	琉球國祭り太鼓	06.10.12～ 06.10.18	民俗芸能。琉球國祭り太鼓が、シドニーで開催される日豪交流年記念「日本の祭」に参加
18	日豪交流年2006記念公演オペラ「かぐや姫」	オーストラリア	キャンベラ	日豪交流年2006記念オペラ『かぐや姫』日豪公演実行委員会	06.06.05～ 06.06.18	クラシック音楽（オペラ）。日豪交流年を記念して、平井秀明作『かぐや姫』を、キャンベラ交響楽団の演奏により上演
19	2006パース・ロイヤル・ショー日本パピリオン 宮西希 箏コンサート	オーストラリア	パース	株式会社エントランス	06.09.26～ 06.10.04	邦楽（箏曲）。パースロイヤルショー日本パピリオンにおいて、J-trad pop を提唱する宮西希のコンサートを開催
20	日本舞踊 極東ロシア公演・ワークショップ	ロシア	ウラジヴォストク	藤間 蘭黄	06.04.04～ 06.04.11	舞踊（日本舞踊）。ウラジヴォストクで『松の羽衣』等上演。同地の日本舞踊愛好会「佑基蘭」に対するワークショップも実施
21	「源氏」	ノルウェー アイスランド	ベルゲン レイキャピク	有限会社 ジュワン ドゥミルキャトル	06.06.06～ 06.06.13	舞踊。坂東扇菊（日本舞踊）と近藤良平（現代舞踊）のコラボレーションにより、『葵上』を題材にした作品を発表。音楽には声明、雅楽、チェロを使用
22	2006年日豪交流年「日本の祭り」	オーストラリア	シドニー	寺崎はねこ踊り保存会	06.10.12～ 06.10.17	伝統芸能。石巻市の無形文化財「はねこ踊り」が、シドニーで開催される日豪交流年記念「日本の祭」に参加
23	天理大学雅楽部 第18回海外公演（オーストラリア、マレーシア）	マレーシア オーストラリア	クアラルンプール ゴールド・コースト ブリズベン メルボルン	天理大学 雅楽部	06.07.10～ 06.07.21	雅楽。天理大学雅楽部による海外公演。マレーシアでは、ISME（音楽教育のための国際学会）総会で演奏
24	ニュージーランド能公演	ニュージーランド	ウェリントン オークランド パーマストン・ノース	橋岡 久春	06.06.21～ 06.06.30	古典芸能。橋岡久太郎らによる能公演。演目は『高砂』『土蜘蛛』

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
25	落語・紙切りの寄席演芸を通しての日本語・日本文化理解の促進	米国	ミドルベリー	柳家 さん喬	06.07.02～ 06.07.10	伝統芸能(落語ほか)。米国ミズベリー大学において、日本語学習者を対象に落語と紙切りの公演・ワークショップを実施
26	徳江デュオ 米東海岸公演	米国	ワシントン エンライコ	徳江 尚子	06.04.03～ 06.04.18	クラシック音楽。ヴァイオリニストの徳江尚子とピアニストの徳江陽子が、武満徹、米国の作曲家チャールズ・アイプスの作品を演奏
27	TAICHI-KIKAKUモントリオール(カナダ)身体詩公演とワークショップ	カナダ	モントリオール	TAICHI-KIKAKU	06.05.05～ 06.05.18	現代演劇。身体詩(言葉を使わない劇)を創作するTAICHI-KIKAKUが、モントリオール日本月間にて『金色の魚～輪廻～』を上演
28	東京アンサンブル バンクーバー・フェスティバル2006	カナダ	バンクーバー プリンス・ジョージ	株式会社イチマルマルニ	06.08.04～ 06.08.14	クラシック音楽。東京アンサンブルが、カナダ西部最大の音楽フェスティバルである「バンクーバーフェスティバル」にて、武満徹、團伊玖磨の作品を演奏
29	北米とカナダの大学における能公演及びワークショップの実施	カナダ 米国	バンクーバー ピッツバーグ ボストン オーバーリン	鶴澤久とその能グループ	07.02.14～ 07.02.24	古典芸能。鶴澤久能楽グループが、米国及びカナダの大学にて、公演とワークショップを開催
30	イメージズフェスティバル2006	カナダ	トロント モントリオール	伊藤 篤宏	06.04.17～ 06.04.24	音楽と映像。トロントで開催される「イメージズフェスティバル2006」に参加、メディア・サウンドアーティストの伊東篤宏らが公演
31	ZI-PANGコロンビア公演2006	コロンビア	カリ ボゴタ メジデン	ZI-PANG	06.09.24～ 06.10.11	邦楽。林田博幸を中心とした和太鼓ユニットZI-PANGによる公演。コロンビアの打楽器奏者等とも共演
32	たいこ楽団ひのき屋ブラジルツアー	ブラジル	カシーアス・ド・スル サン・ジョゼ・ド・リオ・プレト サンタ・マリア ペロータス ポルト・アレグレ リオ・グランデ	ひのき屋	06.08.17～ 06.08.30	邦楽。和太鼓楽団ひのき屋による公演。リオグランデスル州日本人移住50周年記念

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
33	レクチャーコンサート「日本～音楽の旅」	アルゼンチン ブラジル ウルグアイ	ブエノス・アイレス サン・パウロ ブラジリア ベロ・オリゾンテ リオ・デ・ジャネイロ モンテビデオ	上野淳子ギャレット	06.09.10～ 06.09.26	クラシック音楽。上野淳子ギャレットによる南米3カ国公演。日本人作曲家によるピアノ作品を紹介
34	長唄囃子の会演奏会 南米公演	アルゼンチン ブラジル	ブエノス・アイレス サン・パウロ ポルト・アレグレ モジー・ダス・クルーセス リオ・デ・ジャネイロ	長唄囃子の会	06.06.07～ 06.06.21	邦楽。長唄・囃子・日本舞踊の演奏会、ワークショップ、指導を実施。現地合唱団との交流も実施
35	アイルランド・英国 国際ポエトリ・リーディング・ツアー	英国 アイルランド	オックスフォード コーク ダブリン	プログラム「対話する詩」	06.04.26～ 06.05.07	詩人の高橋睦朗と四元康祐による詩の朗読会。現地の詩人も参加
36	が～まるちよば 英国デビューツアー	英国	オックスフォード ダービー ノッティンガム ブライトン レディング スラウ ブラックネル	が～まるちよば	06.05.11～ 06.06.12	現代演劇。パントマイムの喜劇グループ「が～まるちよば」による英国巡回公演
37	日伊現代舞踊における身体役割2006－カタチを超えて	イタリア	カリアリ ベザロ ポローニャ トレビッソ イグレシアス	Arts Network 4th Skin	06.09.01～ 06.09.16	現代舞踊。ポローニャの国際ダンスフェスティバル「Danza Urbana」にて、日本のコンテンポラリーダンス公演（黒沢美香、大橋可也、東野祥子、北村成美、森下真樹）と、日伊の舞台芸術に関するシンポジウム（内野儀、國吉和子、桜井圭介）を開催。公演は各地を巡回
38	『元祖ハムレット』公演	イタリア デンマーク	ラヴェンナ ホルスタブル ヘルシングル	『元祖ハムレット』日本実行委員会	06.07.12～ 06.08.16	現代演劇。デンマークのオーディン劇団が中心となり、各国アーティストが参加して新作『元祖ハムレット』を制作・上演。能楽師の松井彬が出演

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
39	くものすカルテットヨーロッパ公演	イタリア フランス	トリノ ローマ パリ	坪川 拓史	06.06.14～ 06.06.23	音楽。映画監督・坪川拓史による無声映画作品に弁士、音楽を合わせた、くものすカルテットによる公演。
40	日独共同演劇創造プロジェクト「四谷怪談」	オランダ オーストリア ドイツ	アムステルダム ウィーン ミュンヘン	有限会社エディター・プロダクツ	06.06.01～ 06.06.24	現代演劇。鶴屋南北の『四谷怪談』を現代に置き換えた、日独共同制作作品の欧州ツアー。ウィーン芸術祭、オランダ芸術祭等に参加
41	橋本一子トリオwith八木美知依代&白河直子	ドイツ	ケルン ベルリン	有限会社スーパーボーイ	06.05.18～ 06.05.25	音楽（ジャズ）。橋本一子ジャズトリオが、箏の八木美知依、舞踊の白河直子と共演
42	ドイツにおける神楽公演	ドイツ	マルクオーバードルフ ケルン ドレスデン	出雲国大原神主神楽保存会	06.05.25～ 06.06.12	民俗芸能（神楽）。出雲国大原神主神楽保存会による公演。ドレスデン音楽フェスティバル、国際宗教音楽祭等に参加
43	シティー・オブ・ロンドン、フェスティバル 日本イヤー 地歌公演プロジェクト	英国	ロンドン	藤井昭子City of London Festival 地歌箏曲公演実行委員会	06.07.08～ 06.07.14	邦楽。三絃箏曲の藤井昭子、尺八の徳丸祐二らによる公演とレクチャー
44	津軽三味線ドイツ親善公演	ドイツ	ジークブルグ ウォルスブルグ ケルン デュッセルドルフ パッサウ ハレ フランクフルト・アン・デア・オーデル ベルリン ボン レーゲンスブルク	佐々木光隼	06.09.01～ 06.09.16	邦楽。廣原武美を中心とするグループが津軽三味線の公演をドイツ12都市で行う。日本の伝統文化に関する講演会も実施
45	エレオノーレ弦楽四重奏団ヨーロッパ公演	オーストリア ドイツ	アルスンベルグ ウィーン シュトゥットガルト ボン ライプツィヒ	エレオノーレ弦楽四重奏団	06.04.28～ 06.05.12	クラシック音楽。エレオノーレ弦楽四重奏団による欧州ツアー。ボンのベートーヴェン研究所及びライプツィヒのメンデルスゾーン記念館等からの招聘公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
46	ダンスカンパニーノマド～s ヨーロッパツアー2006	ドイツ ブルガリア モルドバ ルーマニア	アーヘン ヴァルナ キシニョフ シビウ	ダンスカンパニーノマド～s	06.05.26～ 06.06.11	現代舞踊。『顔と歴史-ひとつの小さな夜』を上演。シビウ国際演劇フェスティバルほか、各地フェスティバルに参加
47	吉阪一郎「BEFORE MAYBE」フランスツアー	フランス	パリ ポー	吉阪 一郎	06.05.04～ 06.05.15	現代舞踊。振付家・ダンサーの美枝コカンポーと、能楽師の吉阪一郎による、共同制作公演
48	パリ・島根牡丹祭り（江川太鼓）	デンマーク フランス	コペンハーゲン パリ	江川太鼓同好会	06.04.26～ 06.05.05	邦楽。島根県の江川太鼓が、パリ市主催「パリ・島根牡丹フェスティバル」に参加
49	パリ・島根牡丹祭り（石見神楽）	フランス	パリ	石見神楽 川本 川本合同中	06.04.27～ 06.05.04	民俗芸能。石見神楽「八岐の大蛇」が、パリ市主催「パリ・島根牡丹フェスティバル」に参加。
50	日韓コラボレーション 金梅子×大野慶人 フランス公演	フランス	パリ	魁文舎	06.04.04～ 06.04.10	現代舞踊。韓国の舞踊家・金梅子（キム・メジャ）と日本の舞踊家・大野慶人が、をパリ日本文化会館にて共演。韓仏交流年記念
51	江戸太神楽丸一仙翁社中フランス公演	フランス	ヴィンセンヌ ディジョン パリ	江戸太神楽丸一仙翁社中	06.05.12～ 06.05.22	民俗芸能（太神楽）。パリ日仏文化センター主催「鯉のぼり 2006 世界子供の日」に参加し、獅子舞や曲芸の公演と子供を対象としたワークショップも開催
52	横浜ダンスコレクションR 日仏共同制作プロジェクト「Focus（フォーカス）」	フランス	マントラジョリ	日仏共同制作プロジェクト「Focus」公演団	06.06.13～ 06.06.21	現代舞踊。仏の演出家ヴェロニク・ケイによる、カメラマンのロバート・キャパの一生を検証する舞台作品『Focus』に、東野祥子と三浦宏之が出演。
53	パスカルズ	フランス ドイツ 英国	アルル アンジェ マルセイユ パリ カールスルーエ コブレンツ ニュルンベルク プレーメン レディング	パスカルズ	06.06.23～ 06.08.01	音楽。アコースティック楽器によるオーケストラ「パスカルズ」による公演

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
54	「シアタートライアングル」スペイン公演	スペイン	セゴビア モラルサルサル パンプロナ アランダ・ デ・デュエロ サモラ サラマンカ バリャドリッ ド バレンシア ブルゴス	人形芝居 燕 屋	06.05.04～ 06.05.23	人形劇。人形芝居燕屋が、セゴビア国際人形劇フェスティバルに参加した他、各地に巡演。上演作品は『シアタートライアングル』
55	ソナーフェスティバル	スペイン	バルセロナ	竹村 ノブカ ズ	06.06.16～ 06.06.21	現代音楽+映像。竹村ノブカズによる音と映像のパフォーマンス。「ソナー・フェスティバル2006」への参加
56	ソナー2006	スペイン	バルセロナ	HIFANA	06.06.16～ 06.06.16	音楽（クラブミュージック）と映像。KEIZOmachine!とジューシーによるブレイクビーツユニットHIFANAが「ソナー・フェスティバル2006」に参加
57	ROVO ヨーロッパ・ツアー2006	ポーランド	ヴロツラフ	ROVO	06.07.19～ 06.07.24	音楽。ROVOによる演奏と映像のアートパフォーマンス。プロックフの「ERAニューホライゾン芸術祭」に参加
58	「白旗と木村さん」公演	デンマーク クロアチア ドイツ	コペンハーゲン ザグレブ ベルリン	BuBu de la Madeleine	06.04.22～ 06.06.15	パフォーマンス。クロアチアの「クイアー・ザグレブ・フェスティバル」、ベルリンの「b-books/MONDAY exercise」に参加。プブ・ド・ラ・マドレーヌによる『白旗』、高嶺格による『木村さん』の公演とレクチャー
59	札幌こどもミュージカル欧州音楽交流事業	イタリア ポーランド	ローマ ワルシャワ ニエポカラス フ	札幌こども ミュージカル 育成会	06.04.20～ 06.04.28	こどもミュージカル。オペレッタ『ニンゲン・コレ・ミナ・オナジ〜ゼノさんとこどもたち〜』や歌曲、ポーランドの子どもの歌などを上演
60	飯塚節子とオペラ・グループ	ルーマニア	アシ	飯塚節子オペ ラ・グループ	06.04.04～ 06.04.21	音楽（オペラ）。ヤシ国立歌劇場でオペラ共同制作公演を実施。演目はプッチーニ『トスカ』
61	板橋文夫ウルトラ・ミックス・ダイナマイト 北アフリカツアー	モロッコ チュニジア	ケニトラ ラバト チュニス	翁長 巴西	06.09.10～ 06.09.23	音楽。板橋文夫（ピアノ）率いるジャズ・ユニットに松田隆行（津軽三味線・唄）を加えた「板橋文夫ウルトラ・ミックス・ダイナマイト」による公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
62	第五回国際krikri複合詩フェスティバル、ROARATORIO音響詩イベント出演およびスタイムでのレクチャー・デモンストレーション	オランダ ベルギー スイス	アムステルダム アントワープ ジュネーヴ	足立 智美	06.04.19～ 06.06.10	音楽（音響詩）。足立智美による身体とコンピューターを使ったサウンド・パフォーマンス
63	サウンド・スケープ・ミックス	スロベニア ボスニア・ヘルツェゴビナ	マリボル サラエボ モスタル	ストヤコ ヴィッチ ヤドランカ	06.07.05～ 06.07.14	音楽。スロベニアの大型国際フェスティバル「レント」等の招聘を受け、シンガーソングライターのヤドランカ、薩摩琵琶の坂田美子、ギターの鬼怒無月、ヴァイオリンの喜多直毅が公演
64	ファイト・ウイズ・ザ・ヴァイオリン	南アフリカ	グラハムズタウン	辺見 康孝	06.07.01～ 06.07.07	音楽(現代音楽)。バイオリンの辺見康孝によるソロ公演。南アフリカ共和国の国際音楽祭”New Music Indaba 2006”から招聘を受け、世界の主要な現代音楽曲を同国で初演
65	八木美知依ノルウェー公演2006	ノルウェー	コングスベルグ テュッダル オスロ	八木 美知依	06.07.04～ 06.07.12	邦楽。箏の八木美知依が、ノルウェー各地のフェスティバルで、現地のジャズや民族音楽の奏者と共演
66	日本チュニジア国交樹立50周年記念文化交流団公演	チュニジア	カルタゴ	日本チュニジア国交樹立50周年記念文化交流団	06.07.07～ 06.07.19	伝統演劇(能)。梅若猶彦作・演出の新作能『ハンニバル』および古典作品『隅田川』を上演
67	2006年日豪交流年、日本、オーストラリア児童青少年演劇交流巡回公演	オーストラリア	アデレード他 全25都市	有限会社 劇団風の子	06.08.18～ 06.09.25	児童演劇。日豪交流年を記念として、生命の賛歌をテーマとする『ハローまるちゃん』を上演。
68	ジャパニーズダンスショーケース インタンツメッセ2006	ドイツ	デュッセルドルフ	舞踏舎 天鷲	06.08.13～ 06.08.21	現代舞踊。デュッセルドルフでのタンツ・メッセに、舞踏舎天鷲、BATIK、辻本知彦が参加

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
69	ダムタイプ「ヴォヤージュ」メルボルン国際芸術フェスティバル公演	オーストラリア	メルボルン	ダムタイプ/有限会社ダムタイプオフィス	06.10.14～ 06.10.27	パフォーマンス、インスタレーション。メルボルン国際芸術フェスティバルに参加し、『ヴォヤージュ』を上演
70	2006年日豪交流年記念「メルボルン文楽」公演	オーストラリア	バララト メルボルン	メルボルン文楽実行委員会	06.08.10～ 06.08.20	伝統演劇（文楽）。日豪交流年を記念して、文楽の公演とワークショップを実施。演目は『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段』『壺坂観音霊験記』
71	日豪文化交流和太鼓公演団派遣事業	オーストラリア	メルボルン レイクマッコリー	函館和太鼓文化推進連絡会	07.03.10～ 07.03.19	邦楽（和太鼓）。ソガ直人（篠笛）をはじめとする「ひのき屋」のメンバーらが、メルボルンのJapan Festival及びシドニーのJapan Nightに出演
72	西方小天鼓（和太鼓楽団）カナダ公演	カナダ	パークヴィル バーナビー バンクーバー リッチモンド クオリカム・ビーチ ナヌース・ベイ コートエー ラングレー	宮原 浄	06.09.23～ 06.10.07	邦楽。クオリカム・ビーチ・ハーベスト・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加。学校でのワークショップも開催
73	偶成天 アメリカ・ニューイングランド・プレミアムツアー	米国	ボストン アムハースト	森田 一踏	06.11.03～ 06.11.12	舞踊。舞踏デュオ「偶成天」が、公演、ワークショップ指導、レクチャーを開催
74	サイン・ウェーブ・オーケストラ	イタリア 米国 ラトビア	サンマルチノ トレント サン・ノゼ リガ	The SINE WAVE ORCHESTRA	06.07.31～ 06.08.30	音楽（パフォーマンス）。エレクトリック音楽のオーケストラが各地フェスティバルで公演
75	cobaヨーロッパツアー	フランス イタリア ベルギー 英国	カステルフィラルド トーデイ モンタルチーノ パリ セント・ジェームス ブリュッセル ロンドン	有限会社フェブレ	06.10.12～ 06.10.25	音楽。アコーディオン奏者Cobaの欧州ツアー。イタリアで、優れたアコーディオン奏者に与えられるvoce d'oro賞を受賞、その受賞式典での公演を皮切りに欧州各地で公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
76	文楽素浄瑠璃 ヨーロッパ公演	イタリア ドイツ スイス イタリア	カリカーリ ヴェニス ローマ ケルン デュッセルドルフ ベルリン ミュンヘン ベルン ポローニャ	義太夫節を世界に広める会	06.09.29～ 06.10.24	伝統芸能(文楽)。豊澤富助主宰「義太夫節を世界に広める会」が、素浄瑠璃を、ケルン、ローマの日本文化会館及び各地学校等で上演。演目は、『相生の松』『一谷嫩軍記』より「熊谷陣屋の段」
77	ラップトップ オーケストラ &石川高コンサート in Seoul	韓国	ソウル	ラップトップ オーケストラ &石川高(笙奏者)	06.11.29～ 06.12.03	音楽。フィリップ・シャトラン率いるラップトップオーケストラが、笙奏者の石川高と共にサムズィ・スペースの国際アーティスト・イン・レジデンスに参加、「日本伝統音楽と近代エレクトロニックミュージックとの出会い」を披露。ワークショップも実施
78	2006年アジア 現代劇フェスティバル参加 と中央戯劇学院との学術交流	中国	上海 北京	「日本・中国・韓国の芸術文化の架け橋」関西実行委員会	06.09.22～ 06.09.29	現代演劇。上海で行われる「2006年アジア現代劇フェスティバル」に参加し、三浦綾子原作、ふじたあさや脚色・演出の河東けい一人芝居『母』を上演。北京では講演も実施
79	落花水・思索 公演	中国	上海 北京	ヒグマ 春夫	06.10.22～ 06.11.01	パフォーマンス・アート。ヒグマ春夫らが、ビデオ・インスタレーションを使ったパフォーマンス『落花水・思索』を上演
80	大島早紀子新作「その叫び 声は誰のものか」シンガ ポールダンスシアター公演	シンガポール	シンガポール	有限会社東京 アートファクトリー/H・ アール・カオス	06.08.02～ 06.09.04	現代舞踊。シンガポール・ダンス・シアター(SDT)の委嘱により、H・アール・カオスの大島早紀子が、SDTのための新作『Whose Voice Cries Out?』を現地で制作・上演
81	『フィリピン ベッドタイム ストーリーズ』フィリピン・ツアー	フィリピン	マニラ	有限会社 グッドフェローズ	07.02.14～ 07.02.26	現代演劇。燐光群とフィリピンの劇団PETAが、『フィリピン ベッドタイム ストーリーズ』シリーズ第3作を共同制作、上演
82	ペルー 静岡県 人移住100周年 記念式典	ペルー	クスコ リマ	吉武 まつ子	06.11.18～ 06.11.27	音楽(声楽ほか)。ペルー 静岡県人移住100周年記念式典にて、声楽、ピアノ、フルートのコンサートを開催

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
83	アンサンブル・インタラクティブ・トキオのラボラトリウム国際現代音楽祭参加	モルドバ ポーランド	キシニョフ ワルシャワ	大村 哲弥	06.11.28～ 06.12.09	クラシック音楽（現代音楽）。フルーティストの野勢善樹ら「アンサンブル・インタラクティブ・トキオ」が、第13回ラボラトリウム国際現代音楽祭にて公演。
84	桧垣バレエ団ヨーロッパ公演	ポーランド ドイツ	ワルシャワ ビトム ハレ	桧垣バレエ団	06.09.19～ 06.09.26	舞踊（バレエ）。「絵姿女房」を題材とする『TAIKO』を上演
85	舞踏極私空間ポーランド、デンマーク舞踏公演	デンマーク ノルウェー ポーランド イタリア ノルウェー	ホレストebro シチュエン オスロ グダニスク ルプリン ローマ ホルステイン	舞踏極私空間	06.09.06～ 06.10.17	現代舞踊。吉本大輔主宰の舞踏グループ「極私空間」による公演とワークショップ
86	セレノグラフィカ2006年欧州ツアー	フランス 英国	パリ リヨン ロンドン	セレノグラフィカ	06.09.16～ 06.09.26	現代舞踊。2005年トヨタ振付賞を受賞した隅地茉歩による公演
87	"a sul" 第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバル	ポルトガル	ラゴス ヴィラ・レアル・デ・サン・アントニオ	Dance Theatre LUDENS	06.09.27～ 06.10.10	現代舞踊。岩淵多喜子率いるDance Theatre LUDENSが、ポルトガルの「A sul」第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバルの日本特集に参加、『Against Newton II』を上演
88	"a sul" 第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバル参加 j.a.m.Dance Theatre公演「カルロ×カルロ」	ポルトガル	ファーロ リスボン	j.a.m.Dance Theatre	06.09.12～ 06.09.26	現代舞踊。j.a.m.Dance Theatreが、ポルトガルの「A sul」第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバルの日本特集に参加、『カルロ×カルロ』を上演
89	笠井叡 独舞「花粉革命」ポルトガル公演／メキシコワークショップ	メキシコ ポルトガル	グアナファト メキシコシティ リスボン ファーロ	天使館	06.09.17～ 06.10.04	現代舞踊。笠井叡が、ポルトガルの「A sul」第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバルの日本特集に参加、『花粉革命』を上演。また、セルバンティーノ国際芸術祭に招かれ、ワークショップを開催
90	幸内未帆ポルトガル公演	ポルトガル	ルーレ サン・アントニオ リスボン	幸内 未帆	06.09.27～ 06.10.12	現代舞踊。幸内未帆が、ポルトガルの「A sul」第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバルの日本特集に参加、『Fuwa Fuwa Ladybug』『detour』を上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
91	ゴス・トラッド欧州ツアー2006	米国 ドイツ 英国 メキシコ フランス	エル・パソ ドレスデン ライプツィヒ ロンドン ファレス パリ	ポップグループ	06.09.13～ 06.09.27	音楽（ポップス）。サウンドクリエーターGOTH-TRADが、各地フェスティバルに参加、現地アーティストと共演
92	櫻井郁也／十字舎房ポルトガル公演	ポルトガル	ロウレー ファロ	櫻井 郁也	06.09.24～ 06.10.17	現代舞踊。櫻井郁也が、ポルトガルの「A sul」第10回国際コンテンポラリーダンスフェスティバルの日本特集に参加、『Tabula rasa』を上演
93	インターナショナル・アバディーン・ユース・フェスティバル歌舞伎ワークショップ	英国	アバディーン	市川 団四郎	06.08.04～ 06.08.11	伝統芸能（歌舞伎）。アバディーン市で開催されるユース・フェスティバルにおいて、市川団四郎が子供対象の歌舞伎ワークショップを行う
94	日本の伝統芸能 津軽三味線 吉田兄弟交流心のコンサート	スペイン	バルセロナ マドリッド	有限会社ミラソール	06.09.18～ 06.09.25	邦楽。津軽三味線の吉田兄弟が、日本の民謡や津軽じょんがら節、現代曲のアレンジなどで構成したコンサートを開催
95	二胡縁 in 上海～日中文化交流公演	中国	上海	特定非営利活動法人日本二胡振興会	06.11.23～ 06.11.26	民族音楽（二胡）。中国の弦楽器・二胡の日本人愛好者120名による公演。現地関係者との交流、ワークショップも実施
96	パン ミュージック フェスティバル2006 プラスエクストリームトウキョウコンサート	韓国	ソウル	プラスエクストリームトウキョウ	06.10.24～ 06.10.27	音楽（現代音楽）。パン音楽祭（韓国）にて金管五重奏を中心とした現代作品を演奏。
97	「その鉄塔に男たちはいるという」NY公演	米国	ニューヨーク	有限会社キューカンバー・MONO	07.03.15～ 07.03.23	現代演劇。土田英生作・演出『その鉄塔に男たちはいるという』の、米国人キャストによる上演。リーディング、ワークショップ、オーディションを経て、公演を行う
98	ク・ナウカ「第9回全インド演劇祭」公演	インド	ニューデリー	特定非営利活動法人ク・ナウカ・シアターカンパニー	07.01.07～ 07.01.11	現代演劇。宮城聰主宰「ク・ナウカ」が、インドの第9回ナショナル・シアター・フェスティバルに参加、『王女メデア』を上演

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
99	アジア パシフィック フェスティバル	ニュージーランド	ウェリントン	巻上 公一	07.02.07～ 07.02.18	音楽（現代音楽）。ボーカルの巻上公一が、アジア・パシフィック・フェスティバル（ウェリントン）等にて、即興演奏や、演劇的小作品『チャクルパッタム』の上演を行う
100	ジャパン ウィーク2006年 スペイン・サラマンカ文化交流 フェスティバル日本の祭り公演	スペイン	サラマンカ	秋田市竿燈会	06.11.20～ 06.11.25	民俗芸能。サラマンカのジャパン・ウィークでの「日本の祭り」交流プログラムにて、秋田の竿灯（国指定重要無形文化財）を披露
101	イタリアー ジャポネ/コンテンポラリーダンス 2007実行委員会	イタリア	ジェノバ セスト・サンジョバンニ ミラノ	イタリアー ジャポネ/コンテンポラリーダンス 2007実行委員会	07.02.10～ 07.02.24	現代舞踊。評論家・乗越たかおのコーディネートによる日本コンテンポラリーダンス特集。出演は、康本雅子+三浦宏之、砂連尾理+寺田みさこ、尹明希、プロジェクト・スアラ、イデビアン・クルー
102	Dance Company BABY-Q” ALARM! -zero hour edition-”	シンガポール	シンガポール	Dance Company BABY-Q	06.10.19～ 06.10.24	現代舞踊。東野祥子主宰のダンスカンパニー「BABY-Q」が、エスプラナード主催「dans」フェスティバルに参加、『ALARM! -zero hour edition-』を上演
103	梅若丹波座カンボジア薪能公演2006	カンボジア	プノンペン シエムリアープ	梅若丹波座	06.12.03～ 06.12.09	伝統演劇（能）。アンコールワット遺跡群およびプノンペンにて、梅若六郎演出、梅若晋矢ら出演による薪能公演を開催。カンボジア宮廷舞踊と共演
104	パパ・タラフ マラ「三人姉妹」南米・北米ツアー'07	米国 チリ 米国	ニューヨーク サンティアゴ シアトル	パパ・タラフ マラ	07.01.16～ 07.02.06	現代舞踊。チェーホフ『三人姉妹』をモチーフにしたパパ・タラフマラのオリジナル作品を上演
105	第9回アダム・チェンバー・ミュージック・フェスティバル	ニュージーランド	ネルソン モトウエカ	株式会社 梶本音楽事務所	07.01.22～ 07.02.05	音楽（現代音楽）。ヴィオラの今井信子が、ソロおよびミケランジェロ・カルテットとして、アダム室内楽音楽祭に参加
106	ケニア・ナイロビにおける小川典子ピアノ公演	ケニア	ナイロビ	小川 典子	07.03.26～ 07.04.08	クラシック音楽。ロンドン在住の小川典子（ピアノ）がナイロビにてソロ演奏会を開催

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
107	エントランスプロジェクト	オーストラリア	メルボルン	田中 陸奥子	07.03.17～ 07.04.01	現代舞踊。舞踏の鳥居むつ子（舞踏社天鷲）が、メルボルン在住のパフォーマーゆみ・うみうまれの新作プロジェクトに参加。ワークショップ、ソロ公演も開催
108	在インド日本大使館主催「日本文化月間」（音楽会）	インド	ニューデリー	大石 真理恵	06.11.06～ 06.11.11	音楽。パーカッショニストの大石真理恵が、デリーの日本文化月間に参加。現地の打楽器奏者ヴィック・ヴィナヤカラムと共演
109	米国シアトル及びハワイにおける尺八コンサート及び講習会	米国	シアトル ホノルル	古屋 輝夫	06.11.04～ 06.11.17	邦楽。尺八の古屋輝夫らによる公演。現地愛好家のためのワークショップも実施。第2回ハワイ尺八フェスティバルに参加
110	日本・ベラルーシ・ウクライナ文化交流使節団	ウクライナ ベラルーシ	キエフ ミンスク	グローバルレインボーシップ(GRS)	06.09.30～ 06.10.07	音楽。アントニオ古賀（ギター）、ジョー山中（歌）、御陣乗太鼓、民謡、三味線等による公演

2. 催し等事業費 (3) 海外公演（PAJ北米・助成）

日本の優れた舞台芸術作品を紹介することに尽力する、米国の非営利団体のみを申請資格者として、米国内で公募を行なっている助成プログラム。

合計額 37,743,807円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	Midwest World Fest (The Bamboo Orchestra)	米国	コロンバス ニューアーク フリント ロック・アイランド	07.02.01～ 07.03.31	音楽。バンブーオーケストラによる4都市公演。ツアー先のコミュニティーでは、一週間のレジデンシーを実施。
2	Music From Japan Festival 2007, US Tour of Junko Tahara Biwa Ensemble	米国	スパルタンバーグ ニューヨーク マーフリーズボロ ワシントン	07.02.17～ 07.03.31	音楽。琵琶奏者田原順子とアンサンブルによる4都市ツアー。教育イベントも実施。
3	Knock on the Sky	米国	バーリントン ミネアポリス	06.04.01～ 07.05.30	舞踊。舞踏作品『Knock on the Sky』の2都市公演。振付家Dawn Akemi Saito、作曲家・音楽家Myra Melford、建築家・彫刻家Michael Haberzによるコラボレーション

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
4	Kagemi - Beyond the Metaphors of Mirrors	米国	ウィリアムズタ ウン オタワ サン・フランシ スコ シアトル タンパ デーヴィス トロント フィラデルフィ ア ブルックリン ミネアポリス モントリオール ロス・アンジェ ルス	06.10.10～ 06.11.21	舞踊。舞踏カンパニー山海塾による『かげみー かがみの隠喩の彼方へ』北米12都市ツアー
5	Tetuzi Akiyama	米国	サン・ディエゴ サン・フランシ スコ ロス・アンジェ ルス	06.06.20～ 06.06.28	音楽（ギター）。秋山徹次による北米公演及び ワークショップ
6	Mourning	米国	モンクレア	06.06.01～ 07.03.31	舞踊。エイコ&コマがピアニストのMargaret Leng Tanと共に、新作『Mourning』を共同制 作
7	Taiko/ Bharatanatyam Collaboration	米国	ミネアポリス	06.09.01～ 07.03.31	音楽。Ragamala Music and Dance Theaterと 和太鼓アンサンブルTokaraが、和太鼓と南イ ンドのバラタナーティヤムの要素を取り入れ、 新作を共同制作
8	A PAGE OUT OF ORDER	米国	ヘブロン 新潟県十日町市	06.05.01～ 07.03.31	舞踊。振付師の中馬芳子が、アメリカおよびイ ンドのアーティストと共に、文化的孤立をテー マに作品を制作。越後妻有トリエンナーレに参 加。
9	Geisha	米国	チャールストン	06.04.01～ 06.05.01	演劇。スポレート・フェスティバルUSAが、シ アターワークス（シンガポール）と新作『芸者』 を共同制作。五條雅之助、アメリカ人アーティ スト等が参加
10	Trisha Brown Choreographic Collaboration with Japanese visual artist Kenjiro Okazaki	米国	埼玉県さいたま 市 パークレー モンクレア	06.04.01～ 07.03.31	舞踊。トリシャ・ブラウンが、ビジュアルアー ティストの岡崎乾二郎との共同制作を行う

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 (4)海外公演 (PAJ欧州・助成)

日本の優れた舞台芸術作品を紹介することに尽力する欧州の団体を申請資格者として、欧州地域内で公募を行ない、全体予算の半額を上限として助成する。

合計額 24,185,217円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	Grand Kabuki with Ichikawa Ebizo	英国 オランダ	ロンドン アムステルダム	06.05.31～ 06.06.17	市川海老蔵、市川亀治郎らによる歌舞伎公演を、サドラーズ・ウェルズ劇場（ロンドン）及びアムステルダム市立劇場にて実施。演目は『藤娘』『累』
2	THE BEE	英国	ロンドン	06.05.15～ 06.07.08	劇作家の野田秀樹が、英語による新作『THE BEE』をSOHO THEATRE（ロンドン）で上演。脚本は、アイルランド出身の劇作家コリン・ティーヴァンとの共同執筆。出演は野田、キャサリン・ハンター他。
3	TOKYO SOUND REVOLUTION	スウェーデン デンマーク	ストックホルム コペンハーゲン	06.10.06～ 06.10.07	日本のオルタナティブ系音楽を紹介するフェスティバル「TOKYO SOUND REVOLUTION」（ストックホルム、コペンハーゲン）が、東京スカパラダイスオーケストラ、津軽三味線の木下伸市らを招へい
4	Oki Dub Ainu Band - the Ancient Sounds of the Ainu	スペイン ノルウェー 英国	ヴィラノーヴァフェルゲ ブライトン ソールズベリー ロンドン	06.07.09～ 06.07.21	アイヌ伝統弦楽器トンコリの演奏者OKIとバンド「DUB AINU BAND」による欧州ツアー
5	Japan in Scotland II	英国	エディンバラ	06.06.06～ 06.06.16	新作戯曲の上演を専門とするトラヴァース・シアター（エディンバラ）と、アイホール（伊丹）の提携によるドラマリーディングの2回目。作品は、土田英生『その鉄塔に男たちはいるという』、岩崎正裕『ここからは遠い国』
6	Bunraku, the art of marionette	フランス	パリ	06.06.02～ 06.06.30	シテ・ド・ラ・ミュージック（パリ）による日本特集として、人間国宝の吉田篁助らによる文楽公演を実施。演目は『壺坂観音霊験記』『伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段』
7	Focus Point: Japan at Sziget Festival	ハンガリー	ブダペスト	06.08.09～ 06.08.16	シゲットフェスティバル（ブダペスト）の日本特集として、コンテンポラリーダンス（マリ子ダンスシアター）および和太鼓（風雲の会）公演を実施
8	Un Chant D'Adieu	フランス	ティヨンヴィル	06.12.01～ 07.01.31	平田オリザがティヨンヴィル国立演劇センターからの依頼により書き下ろした新作『別れの唄』を上演。ロラン・グットマン演出。ティヨンビルの後、ブザンソン、ストラスブル、パリ、東京に巡演

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
9	ASOBU	フランス	オルレアン	06.07.01～ 07.03.31	ジョセフ・ナジ演出・振付による日仏国際共同制作作品『遊*ASOBU』。黒田育世ら日本のアーティストとともに共同制作を行い、アヴィニヨン・フェスティバルのオープニングを皮切りとして欧州ツアーを行う

2. 催し等事業費 (5)国際舞台芸術共同制作

海外の舞台関係者と日本側が、海外または日本において共同で作品を制作し公演を実施する。

合計額 63,906,676円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日豪コンテンポラリーダンス	オーストラリア	05.07.01～ 06.11.30	日豪交流年記念事業として、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN) 等との共催により、両国の若手振付家及びダンサーによる共同制作事業「オーストラリアー日本ダンスエクステンジ (AJdX) 2006」を実施。レジデンシー、ワークショップを経て、両国にて上演。黒田育世 (BATIK)、山崎浩太、伊藤千枝 (珍しいキノコ舞踊団) らが参加
2	インド・イラン・ウズベキスタン日本共同制作演劇	イラン インド ウズベキスタン	06.04.01～ 07.10.30	ウズベキスタン、イラン、インドの演出家が、ギリシャ悲劇の女性を素材に、3幕作品『演じる女たち-ギリシャ悲劇からの断章』を制作。ウズベキスタンはメデア、イランはイオカステ、インドはヘレネを取り上げる。日本からは現代美術作家の中山ダイスケ・音楽の田広和毅などが参加。2007年1月、インド・デリーのNSDフェスティバルで初演した後、同年10月に東京・Bunkamuraシアターコクーンとソウル・パフォーマンスアーツ・フェスティバルで上演。
3	日本・スウェーデンオペラ	スウェーデン	06.11.08～ 06.12.12	スウェーデン王立アカデミー (国際ヴァドステナ・アカデミー) が夏目漱石「夢十夜」を題材にしたオペラ『Four Nights of Dream』を日本人作曲家・長田原と共同制作するに際し、同氏をストックホルムでの第1回歌手オーディション及びイタリアでのレジデンシーに派遣。
4	日インドネシア現代演劇	インドネシア	06.04.18～ 06.06.19	日本のク・ナウカとインドネシアのテアトル・ガラシによる共同制作演劇作品『ムネモシユネの贈りもの～「記憶」をめぐる物語～』、およびテアトル・ガラシ『ワクトゥ・バトゥ #3～百代の过客～』を、東京にて上演
5	日比共同制作ホラー・コメディ・ミュージカル「バケラッタ」公演	フィリピン	06.09.11～ 06.11.13	日比国交回復50周年記念事業として、鄭義信脚本・演出、国立タンハラン・ビリピーノ劇団出演によるホラー・コメディ・ミュージカルを制作。鄭のミュージカル作品『そして僕はそこで夢を見た』(2005)をもとにマニラを舞台としたタガログ語版を制作、マニラにて公演

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 (6)国内公演 (主催)

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催又は共催により日本に紹介する。
合計額 35,460,686円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	ウズベキスタン現代演劇	ウズベキスタン	東京 松本市	パークタワーホール まつもと市民芸術館 実験劇場	07.02.27～ 07.03.13	ソ連解体後の中央アジア演劇界を牽引する演出家マルク・ヴァイルが率いる劇団「イルホーム劇場」を招き、プーシキン原作『コーランに倣いて』を松本、東京にて上演。日本で中央アジアの現代演劇が本格的に紹介されたのは、これが初めて。東京国際芸術祭参加。演出家を囲むトーク、シンポジウムも開催

2. 催し等事業費 (7)国内公演 (助成)

ODA対象国（アジア・東欧については全域）の公演団体による、演劇、音楽、舞踊、民族芸能などの日本国内での公演（日本の芸術家との国際共同制作を含む）について、国内の受入団体に対して経費の一部を助成する。
合計額 22,405,000円

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
1	第22回く東京の夏>音楽祭2006	イラン セネガル	東京	財団法人アリオン音楽財団	06.07.24～ 06.08.07	音楽。音楽祭のテーマ「大地の歌・街角の音楽」に基づき、ユッサー・ンドゥール（セネガル）およびシャラム・ナゼリ（イラン）を紹介。前者はアフリカ伝統音楽に根ざしつつ都会の多様な音楽様式を、後者は中東の音楽文化を、深く吸収・消化した歌唱と演奏
2	アジア・ユース・オーケストラ 日本公演	中国 韓国 フィリピン マレーシア ベトナム シンガポール タイ	東京	アジア・ユース・オーケストラ事務局	06.08.24～ 06.08.27	クラシック音楽。アジア各国からオーディションにより選ばれた若き音楽家たちが香港でリハーサル、キャンプを経た後、成果を発表。16回目のツアーを東京で開催。
3	モンゴル国立馬頭琴交響楽団と蒙・日の伝統音楽による交流の夕べ	モンゴル	埼玉県松戸市 兵庫県西宮市 東京 神奈川県座間市 横浜市 長野県松本市 富山県富山市	モンゴル国立馬頭琴交響楽団と蒙・日の伝統音楽による交流の夕べ2006実行委員会	06.10.09～ 06.10.22	音楽(民族音楽)。モンゴルの国立馬頭琴交響楽団と国立歌劇場ソリストが、モンゴルと日本の子守歌による公演を行う

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
4	アジア音楽のかたち ベトナムの宮廷音楽”ニャーニャック”	ベトナム	東京 宮崎市	財団法人新日鉄文化財団	06.11.16～ 06.11.21	音楽。ベトナムの宮廷音楽「ニャーニャック」の紹介。同音楽は1990年代初めに伝承途絶の危機にあったが、国際交流基金アジアセンター(当時)の支援を受けた国立フエ芸術大学の宮廷音楽コースが人材を育成(現在はベトナム教育省に運営移管)。来日楽団の演奏者たちは同コースの卒業生
5	山の手事情社 ワルシャワ・ ドラマ劇場 交流事業	ポーランド	東京	山の手事情社	06.12.02～ 06.12.23	演劇。山の手事情社とワルシャワ・ドラマ劇場の共同制作。ピョートル・チェシラックの演出、両国俳優の共演により、ポーランドの作家ゴンプロヴィッチの『王女イヴォナ』を上演
6	京都国際会議 2006-芸術が デザインする 平和のかたち -「平和のため のコンサート と講演・シン ポジウム」	パレスチナ	京都	京都国際会議 2006開催委員 会	06.10.05～ 06.10.11	音楽。イスラエル在住のパレスチナ人音楽家ニザール・ロハナによるアラブ伝統楽器ウードのコンサートとレクチャー。同氏は、シンポジウム「サイドとパレンボイムによるオーケストラの平和教育」にパネリストとして出席
7	ムハメッド・ バクリ公演と シンポジウム	パレスチナ	東京 京都	明治学院大学 言語文化研究 所	06.12.06～ 06.12.14	演劇。イスラエルの演出家ムハマッド・バクリを招へいし、一人芝居『悲観楽観悲運のサイド』を上演。シンポジウム、ドキュメンタリー映画上映会も開催
8	フェスティバ ル・コンダ・ ロータ2006	アルジェリア イラン チュニジア トルコ パキスタン	東京 大阪 長野県諏訪市	株式会社カン バセッション アンドカンパ ニー	06.09.28～ 06.10.07	音楽。フェスティバル・コンダロータ2006「ラマダンの夜」として、南アジア・中東・北アフリカより5組のアーティストを紹介
9	コノノ・ナン バーワン日本 公演	コンゴ	水戸市 東京 静岡 名古屋 広島 大阪	株式会社プラ ンクトン	06.08.22～ 06.09.06	音楽。コンゴ民主共和国の音楽グループ「KONONO No.1」による初来日公演。親指ピアノ、自動車部品や産業廃棄物等を利用した手製楽器を駆使
10	2006国際児 童・青少年演 劇フェスティ バルおきなわ	アルゼンチン ブルガリア メキシコ ロシア 韓国	沖縄市	国際児童・青 少年演劇フェ スティバルお きなわ実行委 員会	06.07.26～ 06.08.07	演劇。「第2回児童・青少年国際演劇フェスティバル」に世界各国から劇団を招く。本助成金の対象は、ブルガリア、ロシア、アルゼンチン、メキシコおよび韓国の劇団(5カ国6劇団)

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
11	国際共同制作ダンス・プロジェクト「気配の探究Ⅳ」「森の祝祭」及び他公演	インド インドネシア ギリシャ セルビア ロシア	山梨県北杜市 東京	舞踊資源研究所	06.08.01～ 06.09.12	現代舞踊。「ダンス白州2006」に各国からダンサーを招き、公演やワークショップを行なう他、田中泯による国際共同制作「気配の探究」シリーズ第4弾『森の祝祭』を創作、上演

2. 催し等事業費 (8)国内公演（主催）（中東）

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催又は共催により日本に紹介する。
合計額 23,064,671円

	事業名	対象国	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
1	中東現代演劇	チュニジア レバノン	東京	にしすがも創造舎	特定非営利活動法人 アートネットワーク・ ジャパン (NPO-ANJ)	07.03.15～ 07.03.27	NPO法人アートネットワーク・ジャパン (ANJ) との共催により、中東の現代演劇を日本に紹介する東京国際芸術祭「中東シリーズ」の第4回（最終回）として、チュニジアよりファミリア・プロダクション『囚われの身体たち』、レバノンよりラビア・ムルエ『これがぜんぶエイプリルフルだったなら、とナンシーは』を招へい

2. 催し等事業費 (9)舞台芸術情報交流（催し）

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図る。
合計額 44,654,516円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	舞台芸術ウェブサイト	全世界区分困難		06.04.01～ 07.03.31	日本の舞台芸術情報を海外へ、海外フェスティバル等の情報を国内へ発信し、国際的な舞台芸術交流を促進することを目的として、舞台芸術専門ウェブサイト”Performing Arts Network Japan”を運営。日英二言語、毎月更新
2	伝統演劇の海外公演に関する研究会	全世界区分困難	早稲田大学演劇博物館 法政大学能楽研究所	06.04.01～ 07.03.31	早稲田大学演劇博物館および法政大学能楽研究所との協力により、歌舞伎と能楽の海外公演について調査研究

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	東京芸術見本市 2007	全世界区分困難	NPO法人国際 舞台芸術交流セ ンター 財団法人地域創 造	07.03.05～ 07.03.08	国内外における舞台芸術の活性化を図るため、 財団法人地域創造及び特定非営利活動法人国際 舞台芸術交流センターとの共催により、東京芸 術見本市を開催
4	〈東京の夏〉音 楽祭22年の歩み	全世界区分困難	財団法人アリオ ン音楽財団	06.08.01～ 07.03.31	国際フェスティバル調査研究事業として、2006 年で22回を迎える〈東京の夏〉音楽祭の記録『〈東 京の夏〉音楽祭22年の歩み～1985年～2006年』 を刊行。音楽データのCD-ROMも附録として 添付
5	米国・地方芸術 見本市ブース出 展等	米国		06.09.06～ 06.09.30	米国の東西海岸部を除く地域に日本の現代舞台 芸術情報を発信するため、3件の見本市(① Western Arts Alliance Annual Conference(カ リフォルニア州ロングビーチ)、②Midwest Arts Conference (アーカンソー州ロトルロッ ク)、③Performing Arts Exchange (メリーラ ンド州ボルチモア))にブースを出展
6	中国J-POPラジ オ番組制作	中国	財団法人音楽産 業・文化振興財 団(PROMI C)	06.04.01～ 07.03.31	音楽をはじめとする日本の最新文化情報を紹介 するラジオ番組を制作、日本に直接触れる機会 が少ない中国地方都市の放送局に提供。週2回 各60分

文化芸術交流事業に必要な経費

映像出版事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 映像出版情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画祭（主催）
- (2) 海外日本映画祭（助成）
- (3) 国内映画祭（主催）
- (4) 国内映画祭（助成）
- (5) 国内映画祭（主催）（AC）
- (6) 国内映画祭（主催）（中東）
- (7) 映像出版情報交流（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー充実（本部）
- (3) フィルムライブラリー充実（海外）
- (4) 映画・テレビ番組制作協力
- (5) 出版・翻訳協力（特別）
- (6) 出版・翻訳協力（一般）
- (7) 国際図書展参加
- (8) 映像出版情報交流（文化資料）

1. 人物交流事業費 (1)映像出版情報交流 (招へい)

映像・出版分野における各国との交流を促進するためのシンポジウムなどを、主催および共催により開催する。
合計額 7,522,624円

事業名	対象国	共催機関	人物	期間	事業内容
1 溝口シンポジウム	全世界区分困難	朝日新聞社 文化事業部 東京国立近代美術館フィルムセンター 角川ヘラルド映画株式会社	蓮實 重彦 山根 貞夫 阿部 和重 井口 奈巳 柳町 光男 山崎 貴 香川 京子 若尾 文子 田中 徳三 ビクトル・エリセ ジャ・ジャンクー ジャン・ドゥーシェ	06.08.24	溝口健二の没後50年を記念し、国内外から映画監督、映画研究者、女優などゲストを招聘しシンポジウムを開催。
2 アラブ映画祭2007(18年度)	中東地域区分困難		アリ・アブ シャディ他全6名	07.03.09～ 07.03.18	アラブ映画17本の上映。ゲスト6人を招聘しシンポジウムを開催。

2. 催し等事業費 (1)海外日本映画祭 (主催)

在外が実施する日本映画上映事業への協力を行なう。

合計額 31,682,997円

事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1 カナダ巡回日本映画祭	カナダ	ウィニペグ オタワ トロント ハミルトン ハリファックス バンクーバー ビクトリア モントリオール レスブリッジ	06.09.07～ 06.11.06	35ミリプリント4本『どんぐりの家』『卓球温泉』『わらびのこう』『勝手にしやがれ!!強奪計画』の9都市巡回上映。
2 日韓アニメ映画上映	米国	ロス・アンジェルス	07.03.31	アニメ映画『時をかける少女』の上映及びパネルディスカッション。
3 南部大学巡回日本映画上映会	米国	スワニー ダラム	07.02.01～ 07.03.19	『ナビィの恋』『Kids Return』『大いなる幻影』『青い春』をフロリダ大学、デューク大学、テキサス大学サンアントニオ校、サウス大学スワニー校、ノースイースタン州立大学で上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
4	清水宏・山中貞雄監督特集	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	06.10.04～ 06.10.17	『大学の若旦那』(清水宏監督)など12本を上映。ウルグアイ、コロンビアとの巡回。
5	鈴木清順監督特集	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	06.05.29～ 06.06.07	『くたばれ愚連隊』など10本を上映。ウルグアイ、コロンビアとの巡回。
6	清水宏・山中貞雄監督特集	コロンビア	ボゴタ	07.03.01～ 07.03.26	『大学の若旦那』(清水宏監督)など12本を上映。アルゼンチン、ウルグアイとの巡回。
7	鈴木清順監督特集	コロンビア	ボゴタ	07.02.15～ 07.02.25	『くたばれ愚連隊』など10本を上映。アルゼンチン、ウルグアイとの巡回。
8	清水宏・山中貞雄監督特集	ウルグアイ	モンテビデオ	06.11.19～ 06.12.02	『大学の若旦那』(清水宏監督)など12本を上映。アルゼンチン、コロンビアとの巡回。
9	鈴木清順監督特集	ウルグアイ	モンテビデオ	06.07.15～ 06.08.06	『くたばれ愚連隊』など10本を上映。アルゼンチン、コロンビアとの巡回。
10	日本記録映画の展望	ブラジル	サン・パウロ	06.08.16～ 06.08.27	『ゆきゆきて神軍』『AKIKO-あるダンサーの肖像』『極私的エロス』他16ミリ作品計13作品を各3回上映。
11	日本映画祭	ホンジュラス	テグシガルバ	06.10.10～ 06.10.14	『死の棘』『彼岸花』など基金本部フィルムライブラリー所蔵西語字幕付き作品5本を上映。
12	新藤兼人監督特集	メキシコ	メキシコ・シティ	06.07.18～ 06.07.26	『原爆の子』『裸の鳥』『落葉樹』『鬼婆』『竹山ひとり旅』『三文役者』『ふくろう』他計8作品を各1回上映。
13	日本映画祭	チリ	サンティアゴ	06.08.04～ 06.09.08	『天国と地獄』『怪談』『伽?子のために』『死の棘』の計4本を上映
14	第13回日本映画祭(アフリカ巡回)	南アフリカ	ケープタウン ヨハネスブルグ ポロクワネ	07.01.26～ 07.03.01	『ウォーターボーイズ』『回路』『この世の外へクラブ進駐軍』『ビリケン』『SAWADA』『午後の遺言状』を、ヨハネスブルグ・ケープタウン・ポロクワネで各2～3回上映。ウガンダにも巡回。
15	北野武と黒沢清	ケニア	ナイロビ	07.02.02～ 07.02.04	『アカルイミライ』『菊次郎の夏』『父と暮せば』『隠し剣 鬼の爪』計4作品を各2回上映。ナイロビのアリانس・フランセーズにて。
16	ウガンダ日本映画祭(アフリカ巡回)	ウガンダ	カンバラ	06.12.15～ 06.12.20	『ウォーターボーイズ』『この世の外へクラブ進駐軍』『回路』『ビリケン』『SAWADA』『午後の遺言状』をカンバラで上映。南アフリカにも巡回。
17	日本映画上映会	ザンビア	ルサカ	06.11.22～ 06.11.24	『どら平太』『ウォーターボーイズ』『早春』の3作品を首都ルサカにて各1回上映。

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
18	日本映画祭	カメルーン	ヤウンデ バンギ ンガウンデレ ガルア マルア	07.01.11～ 07.03.24	ヤウンデ他計5都市で6作品を上映（バンギ、ンガウンデレ、ガルア、マルア）。アドレナリン・ドライブ』『寅次郎紅の花』『(ハル)』『緋牡丹博打-花札勝負』『ロボコン』『柳生一族の陰謀』を上映。
19	第5回イスタンブール日本映画祭	トルコ	イスタンブール	07.02.22～ 07.02.25	『顔』『東海道四谷怪談』『亡霊怪猫屋敷』『父と暮せば』『スウィングガールズ』、『雲の向こう約束の場所』をイスタンブール現代美術館にて上映。アンカラに巡回。
20	第5回アンカラ日本映画祭	トルコ	アンカラ	07.03.15～ 07.03.18	『顔』『東海道四谷怪談』『亡霊怪猫屋敷』『父と暮せば』『スウィングガールズ』、『雲の向こう約束の場所』を土日基金文化センターにて上映。イスタンブールに巡回。
21	第10回巡回日本映画祭	オーストラリア	キャンベラ シドニー パース プリズベン メルボルン	06.10.23～ 06.12.22	『チルソクの夏』『ガラスのうさぎ』『下妻物語』など各都市3～5本を上映。シドニーのみ、計19本。メルボルン、キャンベラ、プリズベン、パース、シドニー計5都市を巡回。
22	小津安二郎大特集	フランス	パリ	07.02.13～ 07.03.14	『小早川家の秋』『若き日』『浮草』他計30作品を特集、一部弁士付で上映。
23	成瀬巳喜男監督特集	ドイツ フランス	ケルン パリ	06.11.01～ 07.02.26	成瀬巳喜男監督作品計32本を上映。『君と別れて』『妻よ薔薇のやうに』『稲妻』『女が階段を上る時』など。
24	ホラー映画特集	ドイツ	ケルン	06.05.04～ 06.10.30	『怪談お岩の亡霊』（加藤泰）、『CURE』『回路』（以上、黒沢清）、『四谷怪談』（三隅研次）等、全13作品を上映。第二部は中川信夫監督特集『エノケンのとび助冒険旅行』『地獄』『東海道四谷怪談』他計8作品
25	Move Over Ozu	英国	エディンバラ シェフィールド プリズトル ベルファスト ロンドン	07.02.04～ 07.03.29	『ニンゲン合格』『笑う蛙』『ハッシュ!』『カナリア』ゆれる』『空中庭園』の6作品を上映。ロンドン他4都市巡回（プリズトル、エディンバラ、ベルファスト、シェフィールド）。
26	東欧巡回日本映画祭(ギリシャ)	ギリシャ	アテネ	06.12.07～ 06.12.13	クラシック作品を上映。『生れてはみたけれど』（小津安二郎）、『残菊物語』『近松物語』『お遊さま』（溝口健二）、『二十四の瞳』（木下恵介）、『静かなる決闘』（黒澤明）、『上意討ち-拝領妻始末-』（小林正樹）の全7作品。
27	日本映画祭（クアラルンプール）	マレーシア	クアラルンプール ベナン	06.09.05～ 06.09.24	篠原哲雄監督を招聘し、『天国の本屋～花火』『命』他計8本を上映。2都市巡回（クアラルンプール、ベナン）。

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
28	日本映画祭 (ミャンマー)	ミャンマー	マンダレー ヤンゴン	07.02.21～ 07.03.11	『THWAY--血の絆』『チルソクの夏』『まあだだよ』の3作品を上映。2都市巡回（ヤンゴン、マンダレー）。
29	第8回ジャカルタ国際映画祭	インドネシア	ジャカルタ	06.12.09～ 06.12.18	『運命じゃない人』及び日本のショートフィルム特集を上映。コンペティション部門の審査員として映画評論家の暉峻創三氏を招聘。
30	アニメーションフィルムフェスティバル	インドネシア	ジャカルタ	07.03.15～ 07.03.22	『死者の書』『ガラスのうさぎ』等長編アニメを10本、『キッズキャスル』等短編アニメを8本上映。「日本アニメのインドネシアアニメ界への影響」をテーマに討論会を実施。
31	日本映画祭	シンガポール	シンガポール	06.10.21～ 06.10.29	『菊次郎の夏』『ウォーターボーイズ』『学校』『傷だらけの天使』他計11本を上映。
32	日本映画祭	ベトナム	ダラット	06.07.19～ 06.07.23	日本映画が上映されたことのなかったダラットにおいて、『ナビィの恋』『ウォーターボーイズ』『アドレナリンドライブ』の3作品を上映。
33	日本映画祭	ベトナム	ハノイ	06.09.22～ 06.09.24	『ナビィの恋』『絵の中のほくの村』『君は僕をスキになる』の3作品を上映。
34	インド巡回映画祭2006	インド	チェンナイ ニューデリー コルカタ ムンバイ	06.11.13～ 07.01.28	『地獄門』『弁天小僧』『たそがれ清兵衛』『華岡青洲の妻』『ジャズ大名』の5作品を4都市（チェンナイ、ニューデリー、コルカタ、ムンバイ）で巡回上映。
35	日本映画祭 今世紀のニューウェーブ／鄭義信特集	フィリピン	マニラ	06.09.15～ 06.11.23	『顔』『どら平太』『鏡の女』等2000年以降制作の新作8本と、『マークスの山』等鄭義信氏（日比共同制作現代演劇演出家）脚本作品3本を特集上映。
36	日本コメディ映画祭	バングラデシュ	ダッカ	07.03.18～ 07.03.20	『卓球温泉』『蒲田行進曲』他計4作品を上映。
37	東欧巡回日本映画祭	ハンガリー	ブダペスト	06.09.15～ 06.10.09	クラシック作品を上映。『生れてはみたけれど』（小津安二郎）、『残菊物語』『近松物語』『お遊さま』（溝口健二）、『二十四の瞳』（木下恵介）、『静かなる決闘』（黒澤明）、『上意討ち－拝領妻始末－』（小林正樹）の全7作品。
38	第40回日本映画祭	ロシア	サンクト・ペテルブルグ モスクワ	06.11.06～ 06.11.15	崔洋一監督を招待し、ロシア語フィルムライブラリー・本部フィルムライブラリーより計8本を上映。『クイール』『笑う蛙』など。
39	小林正樹監督特集	ロシア	サンクト・ペテルブルグ モスクワ	06.09.28～ 06.11.05	『あなた買います』『切腹』『黒い河』他計6作品を上映。モスクワ、サンクトペテルブルク2都市を巡回。

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
40	東欧巡回日本映画祭	オーストリア	スコピエ	06.05.25～ 06.05.30	クラシック作品を上映。『生れてはみたけれど』（小津安二郎）、『残菊物語』『近松物語』『お遊さま』（溝口健二）、『二十四の瞳』（木下恵介）、『静かなる決闘』（黒澤明）、『上意討ち－拝領妻始末－』（小林正樹）の全7作品。
		リュブリャナ		06.06.13～ 06.06.23	
		ポーランド	クラクフ	06.06.28～ 06.07.07	
		リトアニア	ヴィルニユス	06.10.17～ 06.10.27	
		ブルガリア	ソフィア	06.11.03～ 06.11.20	
		ラトビア	リガ	07.01.09～ 07.01.31	
		ルーマニア	ブカレスト	07.02.01～ 07.02.28	
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	07.03.01～ 07.03.31	
41	ネルソン日本映画祭2006	ニュージーランド	ネルソン	06.09.30～ 06.10.01	『花鳥風月』『香港パラダイス』『きみが輝くとき』の3作品を上映。オークランド、サモアに巡回。
42	サモア日本映画祭	サモア	アピア	06.10.23～ 06.10.26	『花鳥風月』『ウォーターボーイズ』『ひみつの花園』の3作品を上映。ネルソン、オークランドに巡回。
43	海外日本映画祭	ニュージーランド	オークランド	06.11.20～ 06.11.22	『ウォーターボーイズ』『きみが輝くとき』他を上映。ネルソン、サモアとの巡回。
44	日本映画祭	ポルトガル	リスボン	07.03.15～ 07.03.15	『WILD LIFE』、『ポストマン・ブルース』の2作品。
45	ソウル国際アニメーション映画祭	韓国	ソウル	06.05.23～ 07.05.28	川本喜八郎監督他専門家・監督を招聘し『死者の書』他短編アニメーションを上映。
46	石井聰互監督特集上映会	イタリア	ローマ	07.03.15～ 07.04.15	『狂い咲きサンダーロード』（35mm）『水の中の八月』（16mm）等の石井聰互監督作品を特集上映。
47	ヴェルドーネ選日本映画上映会	イタリア	ローマ	06.05.02～ 06.06.13	マリオ・ヴェルドーネ氏の選定のクラシック作品を上映。『雨月物語』（溝口健二）、『上意討ち－拝領妻始末－』（小林正樹）、『ビルマの豎琴』（市川崑）、『羅生門』（黒澤明）等、全8作品。
48	清水宏監督特集	イタリア	ローマ	06.02.07～ 06.04.18	清水宏監督の10作品を特集上映。
49	日本映画祭	ポーランド	ワルシャワ	06.06.28～ 06.07.23	『黒い雨』（今村昌平）、『DEAD OR ARIVE 犯罪者』（三池崇史）等、全3作品を上映。
50	Turn Over上映	米国	ロス・アンジェルス	07.02.18～ 07.02.18	映画『Turn Over 天使は自転車に乗って』をロサンゼルス市内で上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
51	ヨルダン日本映画祭	ヨルダン	アンマン	07.03.04～ 07.03.07	『スウィングガールズ』『たそがれ清兵衛』『HANA-BI』『ホテル・ハイビスカス』をアンマン国立文化センターにて上映。

2. 催し等事業費 (2) 海外日本映画祭 (助成)

海外の国際映画祭・芸術祭・映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 26,294,091円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	第42回シカゴ国際映画祭	米国	シカゴ日米協会	06.09.07～ 06.10.08	アニメーションフェスティバルの開催。富野監督を招聘し、ガンダムの特集上映。
2	活動写真	米国	日米文化会館	06.08.20～ 06.08.20	『山椒大夫』『無法松の一生』『サンダカン八番娼館・望郷』『浮草』を含むクラシック6作品の上映。
3	VC FILM FEST:アジア太平洋映画祭	米国	Visual Communications	06.05.04～ 06.05.11	『リンドリンドリンド』『やわらかい生活』『輪廻』の3作品の上映。
4	成瀬巳喜男特集 (クリーブランド)	米国	クリーブランド美術館シネマテーク	06.04.02～ 06.04.30	2005年9月より北米17ヶ所で開催中の成瀬巳喜男監督特集上映の一部。『女が階段を上る時』他を上映。
5	成瀬巳喜男監督特集 (ブルックリン)	米国	バム・シネマテーク	06.04.27～ 06.05.09	2005年9月より北米17ヶ所で開催中の成瀬巳喜男監督特集上映の一部。『女が階段を上る時』他を上映。
6	Lolita in Full Bloom	米国	ジャパン・ソサエティ	06.11.10～ 06.11.19	80年代角川映画を中心に10代少女を主人公とした青春映画の連続上映を行う。
7	第8回ブラジリア国際映画祭	ブラジル	Cine Academia Producoes Ltda	06.11.01～ 06.11.09	JAPANESE SHOWCASEとして、3本の日本映画を上映。
8	INDIE 2006-World Film Festival	ブラジル	ZETA FILMES	06.08.31～ 06.09.01	2005-2006に製作された日本映画に今村昌平特集も加え、全14作品を上映。
9	第12回国際ドキュメンタリー映画祭 (サンパウロ)	ブラジル	Emege Producoes Artisticas	07.03.22～ 07.04.01	河瀬直美の『垂乳女』を上映。山形ドキュメンタリー映画祭との交流を希望し、藤岡朝子氏を招聘。
10	第17回サンパウロ国際短編映画祭	ブラジル	Zita Carvalhosa	06.08.24～ 06.09.02	「ぴあフィルムフェスティバル」の2作品、イメージフォーラムの2作品など計4作品を各3回上映。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
11	黒沢清監督特集	ウルグアイ	Cinemateca Uruguay	06.07.01～ 06.07.12	『アカルイミライ』『回路』他黒沢清監督作品5本を上映。
12	第27回ダーバン国際映画祭	南アフリカ	センター・フォー・クリエイティブ・アーツ	06.06.14～ 06.06.25	作品上映の他、船橋淳監督を招聘する。『BIG RIVER』（船橋淳）他、全3作品。
13	第9回ジンバブエ国際映画祭	ジンバブエ	ジンバブエ国際映画祭事務局	06.08.25～ 06.09.03	『Appleseed』の上映。
14	第55回メルボルン国際映画祭	オーストラリア	Filmfest Ltd メルボルン国際映画祭事務局	06.07.26～ 06.08.13	『Takeshi's』他新作日本映画の上映、是枝裕和・今村昌平監督特集。
15	第53回シドニー映画祭	オーストラリア	シドニー映画祭事務局	06.06.09～ 06.06.25	『マインド・ゲーム』（湯浅政明）、『スターフィッシュホテル』（ジョン・ウィリアムズ）、『Dear Pyongyang デイア ピョンヤン』（ヤン・ヨンヒ）、『横田めぐみ』（クリス・シュルダン、パティ・キム）全4作品を上映。
16	手塚治虫特集	オーストラリア	Australian Centre for the Moving Image	06.12.07～ 07.03.11	子供向け・大人向け・短編・TVシリーズ計20プログラムの手塚治虫特集上映。メルボルン、アデレード、シドニー、ブリスベン、キャンベラ、パース計6都市を巡回。
17	Vision du Reel, International Film Festival	スイス	Visions du Reel	06.04.24～ 06.04.30	佐藤真監督等の映画人7人を招へいし、『チーズとうじ虫』、『阿賀の記憶』等ドキュメンタリー映画8本を上映
18	現代日本映画祭	スペイン	CASA ASIA	06.11.15～ 07.01.15	『東京タワー』、『いつか読書する日』、『春の雪』等7作品を上映
19	ブリュッセル国際ファンタスティック映画祭	ベルギー	ASBL Peymey Diffusion	07.03.01～ 07.03.31	10-15本の日本映画と8本程度のTVアニメシリーズを上映。
20	第13回シュトゥットガルト国際アニメ映画祭	ドイツ	シュトゥットガルトアニメーション映画祭事務局 映像メディアフェスティバル社	06.04.27～ 06.05.02	映画人を招聘し、"Anime Day"として今敏監督特集、製作会社マッドハウスの特集他『千年女優』、『死者の書』等のアニメーション9作品を特集上映。
21	第7回ハンブルク日本映画祭	ドイツ	ニホン・メディア	06.05.17～ 06.05.22	『リンダ リンダ リンダ』、『妖怪大戦争』など新作と『子連れ狼』シリーズなど旧作を計35作品を上映、映画監督3名を招へい。

映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
22	第6回ニッポン・コネクション	ドイツ	ニッポン・コネクション事務局	06.04.19～ 06.04.23	『運命じゃない人』、『ALWAYS 三丁目の夕日』、『バッシング』などの長編日本映画23作品に加え、短編作品多数を上映、若松孝二監督他映画人多数を招へい
23	KINOTAYO映画祭	フランス	association du festival du film japonais a l'ere numerique KINOTAYO映画祭事務局	06.11.21～ 06.11.25	『HINOKIO』、『メゾン・ド・ヒミコ』、『マインド・ゲーム』等の新作日本映画並びに今村昌平監督作品等計29作品を上映
24	第34回ラ・ロシェール国際映画祭	フランス	ラロシェール国際映画祭事務局	06.06.30～ 06.07.10	是枝弘和監督を招へいし、『誰も知らない』他同監督の9作品等、全11作品を上映
25	OPTRONICA	英国	アディクティブTV	07.03.14～ 07.03.18	ビデオ・アーティスト、デザイナー、アニメーター等17名の小品多数が上映され、黒川良一(映像作家)によるライブも実施
26	Japanese Cinema (武満徹・新海誠特集)	英国	Barbican Centre	06.07.01～ 06.07.09	ドキュメンタリー作品『Music For the Movies:Toru Takemitsu』の他『怪談』など武満徹が音楽を手がけた作品を上映ならびに新海誠監督作品を特集上映。
27	第14回レイダンス映画祭	英国	レイダンス映画祭事務局	06.09.27～ 06.10.08	『死者の書』、『スターフィッシュ・ホテル』等日本映画10作品を上映
28	第21回ウメオ国際映画祭	スウェーデン	ウメオ国際映画祭事務局	06.09.14～ 06.09.20	『スターフィッシュ・ホテル』、『ヴィタール』、『NANA』の新作日本映画3作品を上映
29	出島日本映画祭	オランダ	Foundation Rhizome Works	06.11.03～ 06.11.12	『空中庭園』、『メゾン・ド・ヒミコ』、『いつか読書する日』、『埋もれ木』等の22作品を上映、廣木隆一監督他のゲストを招へい
30	ロッテルダム国際映画祭	オランダ	ロッテルダム国際映画祭事務局	07.01.25～ 07.02.05	長崎俊一監督特集上映。
31	ウィーン国際映画祭2006	オーストリア	ウィーン国際映画祭事務局	06.10.13～ 06.10.25	『やわらかい生活』、『ヴァイブレータ』等の10作品を上映、廣木隆一監督を招へい
32	成瀬巳喜男監督特集(ウィーン)	オーストリア	オーストリア映画博物館	07.02.09～ 07.03.08	『浮雲』、『はたらく一家』等成瀬巳喜男監督の32作品を特集上映、また映画研究者による講演を実施
33	日中映画祭2006(杭州)	中国	日中映画祭中国事務局	06.05.26～ 06.06.01	新作映画を上映し、劇映画・アニメのシンポジウムも開催。『電車男』(村上正典)、『下妻物語』(中島哲也)、『オベレッタ狸御殿』(鈴木清順)等、全7作品。
34	市川崑	韓国	シネマテーク釜山	06.11.10～ 06.11.26	『ビルマの豎琴』、『処刑の部屋』、『炎上』、『野火』、『鍵』他計19作品を各2回上映。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
35	日本コメディ特集（ソウル）	韓国	フィルム・フォーラム	07.02.28～ 07.03.07	『丹下左膳』『百萬両の壺』『幕末太陽傳』『独立愚連隊』『お早よう』『家族ゲーム』他計8作品を上映。
36	若松孝二回顧展	韓国	シネマテーク文化学校ソウル	06.05.14～ 06.05.24	監督・ゲストを招聘し、『情事の履歴書』『壁の中の秘事』『胎児が密猟する時』他計13本を上映。
37	成瀬巳喜男監督特集（ソウル）	韓国	東崇アートセンター	06.08.17～ 06.09.17	『二人妻 妻よ薔薇のやうに』『鶴八鶴次郎』『めし』他ソウルで10作品、釜山で20作品を上映。ソウル・釜山の2都市を巡回。
38	第19回シンガポール国際映画祭	シンガポール	シンガポール国際映画祭事務局	06.04.13～ 06.04.29	監督2名を招聘し、『死者の書』『やわらかい生活』『NITABOH』他計8作品を上映。
39	日本アニメ映画祭	エストニア	CINEMA NOUVEAU OU	06.04.27～ 06.05.06	『天空の城ラピュタ』『千年女優』等、計15本を上映。
40	第11回ソフィア国際映画祭	ブルガリア	Art Fest	07.03.01～ 07.03.11	『誰も知らない』、新作日本映画4本を上映。
41	日本アニメ週間	ポーランド	Center for Contemporary Art, Ujazdowski Castle	06.08.25～ 06.08.27	『攻殻機動隊1.2』『インターステラ5555』他短編など計5作品を上映。
42	第12回サラエボ映画祭	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエヴォ国際映画祭事務局	06.08.18～ 06.08.26	豊田利晃監督を招聘し、『空中庭園』等3作品を上映。
43	トランシルバニア国際映画祭	ルーマニア	Romanian Film Promotion (APFR)	06.06.02～ 06.06.11	『TAKESHIS』『三里塚辺田部落』等、2作品の上映。
44	NIPPON KOMA	ポルトガル	Culturgest	06.12.04～ 06.12.09	『ドキュメンタリー、長編・短編アニメーション等12プログラムを上映
45	DOCLISBOA 2006	ポルトガル	ポルトガル・ドキュメンタリー・協会	06.10.20～ 06.10.29	河瀬直美、佐藤真等の監督を招聘し、『かたつもり』『阿賀に生きる』『ゆきゆきて神軍』他12本を上映。
46	第30回香港国際映画祭	中国	香港国際映画祭事務局	06.04.04～ 06.05.14	『私刑（リンチ）』『地獄』『エノケンのとび助冒険旅行』等、中川信夫監督作品を14本特集上映。
47	春期日本映画祭	米国	エモリー大学	07.02.01～ 07.02.15	『ウォーターボーイズ』『かもめ食堂』『リンドリンドリンド』の3本を上映。
48	バンクーバー国際映画祭	カナダ	バンクーバー国際映画祭事務局	06.09.28～ 06.10.13	『花よりもなほ』『ヨコハマメリー』『立喰師列伝』他計12本の日本映画を上映。
49	トロント国際映画祭	カナダ	トロント国際映画祭事務局	06.09.07～ 06.09.16	『花よりもなほ』『ヨコハマメリー』『蟲師』他計7本の日本映画を上映。

映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
50	Festival nouveau cinema	カナダ	Festival nouveau cinema - Montreal	06.10.18～ 06.10.28	『リンダリンダリンダ』『パプリカ』『立喰師列伝』『ゲルマニウムの夜』の4本を上映。
51	成瀬巳喜男監督特集（シネマテーク・オンタリオ）	カナダ、米国	UCLA映画テレビアーカイヴ ウェクスナー・センター クリーブランド・シネマテーク ザ・スクリーンジーン・シスケル・フィルム・センター シネマテーク・オンタリオ ジョージ・イーストマン国際写真博物館 ナショナル・ギャラリー・オブ・アート ハーバード・フィルム・アーカイヴ パシフィック・シネマテーク パシフィック・フィルム・アーカイヴ バム・シネマテーク フィルム・フォーラム フリーア美術館 ボストン美術館 マディソン・シネマテーク	05.09.03～ 06.07.01	基金FLより『稲妻』、『あにいうと』など成瀬巳喜男監督作品31作品を提供しフィルムセンター提供の3作品と合わせ、全34作品を特集上映し、北米の12都市、13会場を巡回上映。上映作品：『稲妻』『あにいうと』『女が階段を上る時』等
52	ブラッセル国際ファンタスティック映画祭（17年度）	ベルギー	ASBL Peymey Diffusion	06.03.10～ 06.04.01	ファンタジー、ホラー等のジャンルの新作日本映画15作品を上映。
53	増村保造監督特集（英国）（17年度）	英国	インディペンデント・シネマ・オフィス	05.09.10～ 06.04.01	『盲獣』『氷壁』等、増村保造監督の8作品を特集上映
54	onedotzero09（17年度）	英国	onedotzero	06.05.26～ 06.06.05	アニメ、グラフィック、コンピューター・ゲーム、ミュージック・クリップなど日本人クリエイターによる作品多数を上映

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
55	新作映画特集 (ジャパン・ソ サエティ) (17 年度)	米国	ジャパン・ソサ エティ	06.04.06～ 06.04.16	「AIKI」「OUT」など比較的近年の映画・ビデオ作品を上映。
56	ベルリン国際映 画祭 (17年度)	ドイツ	ベルリン国際映 画祭事務局	06.02.09～ 06.04.01	中川信夫監督の『地獄』『毒婦高橋お伝』他の9作品を特集上映
57	岩井俊二監督特 集 (イスラエル 17年度)	イスラエル	エルサレム・シ ネマテーク	06.04.01～ 07.03.31	岩井俊二監督の6作品を特集上映
58	オランダアニ メーション映画 祭	オランダ	オランダアニ メーション映画 祭事務局	06.11.01～ 06.11.05	日本のアニメーション映画の特集上映を実施、『GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊』、『立喰師列伝』他の長編アニメーションの上映に加え、若手作家の短編や、古川タク作品を特集上映。
59	アジア映画祭 (ムンバイ)	インド	アジア・フィル ム・ファンデー ション	06.10.12～ 06.10.19	2006年5月に亡くなった今村昌平監督の2作品 (『にっぽん昆虫記』『赤い橋の下のぬるい水』) を、追悼の意を表して上映。
60	成瀬巳喜男監督 特集 (ハンブル ク)	ドイツ	キネマテーク・ ハンブルク	07.01.03～ 07.01.31	『おかあさん』、『罌雲』等成瀬巳喜男監督の6作品を特集上映
61	成瀬巳喜男監督 特集 (ミュンヘ ン)	ドイツ	ミュンヘン映画 博物館	07.02.22～ 07.05.02	『旅役者』、『夜ごとの夢』等成瀬巳喜男監督の34作品を特集上映
62	成瀬巳喜男監督 特集 (チューリ ヒ)	スイス	フィルムポー ディウム・ チューリヒ	07.02.16～ 07.03.31	『めし』、『流れる』等成瀬巳喜男監督の13作品を特集上映。
63	ベルリン映画祭 フォーラム部門	ドイツ	ベルリン国際映 画祭事務局	07.02.08～ 07.02.18	『独立愚連隊』、『江分利満氏の優雅な生活』等9本の岡本喜八作品を特集上映し、また新作日本映画も上映。

2. 催し等事業費 (3) 国内映画祭 (主催)

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催または共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へいなども併せて実施する。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。
合計額 8,869,252円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	外国劇映画貸出	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	基金所蔵の外国劇映画フィルムの外部貸出業務

映像出版事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	第6回字幕付上映会	全世界区分困難	06.06.23～ 06.06.25	「巨匠と時代劇」のテーマで、在留外国人を主な対象として英語字幕付の日本映画6作品を上映し、マクドナルド慶子氏による講演を実施
3	第7回字幕付上映会	全世界区分困難	07.02.02～ 07.02.04	「進化する日本映画」のテーマで、在留外国人を主な対象として英語字幕付の日本映画6作品を上映し、塩田明彦監督によるトークを実施

2. 催し等事業費 (4)国内映画祭(助成)

諸外国の映画を国内において紹介するため、国内で開催される国際的な映画祭などに対して助成する。

合計額 9,698,252円

	事業名	都市	対象機関	期間	事業内容
1	メキシコ・ドキュメンタリー映画祭	東京 金沢市 神戸市 大阪市 名古屋市	メキシコ・ドキュメンタリー映画祭実行委員会	06.10.14～ 06.10.26	世界でも注目されているにもかかわらず、興行的には困難なメキシコのドキュメンタリー作品の上映。
2	あいち国際女性映画祭2006	犬山市 小牧市 半田市 豊明市 名古屋市 名古屋市 名古屋市	財団法人あいち男女共同参画財団	06.09.06～ 06.09.10	世界の女性監督による新作を中心に16作品を上映。監督をゲストに招きトーク、シンポジウム等を開催。
3	第6回イスラエル映画祭	東京	イスラエル映画祭実行委員会	07.03.22～ 07.03.24	世界17の映画祭で受賞したエラン・リクリス監督作品『シリアの花嫁』をはじめ、6作品を上映。
4	ブラジル映画祭2006	東京	トゥピニキーン・エンターテインメント株式会社	06.09.15～ 06.09.24	未だ公開されていないブラジル映画。フィクションは長編6作品、短編・アニメーション9作品、ドキュメンタリーは長編3作品、短編2作品を上映。
5	シネマコリア2006	東京	シネマコリア	06.08.19～ 06.08.21	韓流ブームの本流からは外れた韓国映画、7作品を上映。名古屋、大阪、福岡、北海道でも開催。
6	日中映画祭2006 中国映画祭	東京	オメガ・プロジェクト株式会社 華夏電影發行有限公司 中国国家廣播電影電視總局	06.06.16～ 06.06.18	日中映画祭第3弾として日本未公開新作中国映画を上映。『どうぞ私に榮譽を！』(ホアン・ジェンシン)等、全5作品。

	事業名	都市	対象機関	期間	事業内容
7	EARTH VISION 第15回地球環境映像祭	東京	アース・ビジョン組織委員会	07.03.09～ 07.03.09	「地球環境」をテーマとした国際映像祭。アジア・オセアニアから作品を募集する「コンペティション部門」、全世界から募集した作品から子ども向けに選ぶ「子どものための環境映像部門」で構成。
8	第11回広島アニメーションフェスティバル	広島市	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	06.08.24～ 06.08.28	世界各国から応募されるアニメーション作品のコンペティション上映の他、国内外の有名作家の作品、他映画祭の優秀作品、子ども向け作品等を特集して上映。プレゼンテーション、展示会、ワークショップ等も開催。
9	第15回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭	東京	東京国際レズビアン&ゲイ映画祭運営委員会	06.07.08～ 06.07.17	一般上映される機会の少ないセクシュアリティやジェンダーをテーマにした優れた作品を紹介する映画祭。ゲストを招聘しティーチ・イン、シンポジウム、レクチャー等も開催。
10	イメージフォーラム・フェスティバル2006	東京 名古屋 京都 福岡 横浜 金沢	イメージフォーラム 愛知県文化情報センター 映像ホール・シネラ実行委員会 福岡市総合図書館 財団法人 横浜市芸術文化振興財団 財団法人金沢芸術創造財団	06.04.30～ 06.07.02	芸術性において創造的で新しい映像(実験映画、ビデオアート、メディアアート等)の第一線を紹介。コンペティション、日本招待部門、海外招待部門(日本未公開)で構成され、『NO PLACE』(サラ・マイルズ)、『いなかもの』(ディマンタス・ナルケヴィチユス)等を上映した。

2. 催し等事業費	(5)国内映画祭(主催)(AC)
-----------	------------------

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催または共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へいなども併せて実施する。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。
合計額 16,143,557円

	事業名	場所名	対象国	都市	期間	事業内容
1	モンゴル映画講座	アテネ・フランセ文化センター	モンゴル	東京	06.09.19～ 06.09.27	モンゴル映画10本の上映。対談を併催。
2	マレーシア映画特集	六本木、渋谷地区の映画館(Tohoシネマズ六本木、渋谷Bunkamura)	マレーシア	東京	06.10.21～ 06.10.29	マレーシア映画9本の上映。シンポジウム2回の開催。

映像出版事業費

2. 催し等事業費 (6)国内映画祭（主催）（中東）

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催または共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へいなども併せて実施する。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施する。

合計額 42,871,298円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	アラブ映画祭 2006(17年度)	中東地域区分 困難	東京	国際交流基金 フォーラム	06.04.01～ 06.06.30	イラク映画の未公開作を継続して紹介するとともに、国際映画祭などで注目されているモロッコ映画、シリア映画、パレスチナ映画の新作をプレミア上映し、映画祭終了後の国内巡回のため、可能な範囲でこれらの映画の非商業上映権も購入。
2	アラブ映画祭 2007(18年度)	中東地域区分 困難	東京	ドイツ文化会 館OAGホール	07.03.09～ 07.03.18	アラブ諸国の映画17本を上映。パート1：アラブ新作パノラマ、パート2：エジプト映画回顧展。

2. 催し等事業費 (7)映像出版情報交流（催し）

国内外で開催される映像・出版をテーマとするシンポジウム・セミナーを開催する。

合計額 3,690,983円

	事業名	対象国	都市	共催機関	期間	事業内容
1	JAMCOシン ポジウム	全世界区分困 難		(財)放送番 組国際交流セ ンター	06.11.01～ 07.03.31	(財)放送番組国際交流センター（以下JAMCO）が実施するウェブサイト上での国際シンポジウム。各国代表者によるウェブサイト上での講演を行い、JAMCOのホームページ上に英語/日本語で掲載。同ホームページアクセスした一般からのコメントもあわせて掲載。
2	日本賞	全世界区分困 難	東京都その他	NHK「日本 賞」事務局日 本放送協会 「日本賞」教 育番組コン クール事務局	06.10.24～ 06.10.30	国家・民族間における相互理解と文化の交流に貢献する優れた番組に対し、国際交流基金理事長賞を寄贈。

	事業名	対象国	都市	共催機関	期間	事業内容
3	北米巡回現代 日本文学セミナー	米国	モントリオール, トロント, ニューヨーク, フィラデルフィア, ボストン, プロ ヴィデンス, アマースト, ニューヨーク, サンフランシスコ, シアトル, ロス アンジェルス	モントリオール大学 クイーンズ大学 ペンシルバニア大学 タフツ大学 ブラウン大学 マサチューセッツ大学 コロンビア大学・クノッ 社	06.10.19～ 06.11.05 07.03.31～ 07.04.12	作家多和田葉子及び桐野夏生氏の読書会・講演会を複数都市で実施。後者はクノッ社・コロンビア大学との共催事業。

3. 文化資料事業費	(1) テレビ番組交流促進
------------	---------------

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 165,178,793円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	モンゴルTV放映	モンゴル	民営TV9	06.08.01～ 09.07.31	モンゴルTV放映向け番組提供。民営TV9へ『トーキョー国盗り物語』『ふしぎいっぱい』『ほうけん！メカラッパ号』を提供。
2	カンボジアTV放映	カンボジア	国営TVK	06.08.01～ 09.07.31	カンボジアTV放映向け番組提供。国営TVKへ『データボックス・しらべてサイエンス』『はてなにタックル』を提供。
3	インドネシアTV放映	インドネシア	国営TVRI	06.08.01～ 09.07.31	インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『プロジェクトX 挑戦者たち』を提供。
4	ベトナムTV放映1(国営VTV)	ベトナム	国営VTV	06.08.01～ 09.07.31	ベトナムTV放映向け番組提供。国営VTVへ『ちびまる子ちゃん』を提供。
5	エクアドルTV放映	エクアドル	民営RTU	06.08.01～ 09.07.31	エクアドルTV放映向け番組提供。民営RTUへ『日本の最新技術』『ニッポンの技が未来を拓く』『常識の壁を打ち破れ』等を提供。
6	エルサルバドルTV放映	エルサルバドル	国営Canal10	06.08.01～ 09.07.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営Canal10へ『中学生の理科(ステップ&ジャンプ)』『ワザあり！ニッポン』『日本の最新技術』等を提供。
7	キューバTV放映	キューバ	国営ICRT	06.08.01～ 09.07.31	キューバTV放映向け番組提供。国営ICRTへ『蝉しぐれ』『中学生の理科(ステップ&ジャンプ)』『サイエンスクラブ』を提供。

映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
8	チリTV放映	チリ	国営CNTV	06.08.01～ 09.07.31	チリTV放映向け番組提供。国営CNTVへ『母と子のテレビ絵本』を提供。
9	パラグアイTV放映	パラグアイ	民営Canal2	06.08.01～ 09.07.31	パラグアイTV放映向け番組提供。民営Canal2へ『中学生の理科（ステップ&ジャンプ）』『驚異！狂暴ミツバチ450万匹と闘う』等を提供。
10	ブラジルTV放映	ブラジル	州営TV Cultura	06.08.01～ 09.07.31	ブラジルTV放映向け番組提供。州営TV Culturaへ『日本のデザイン』『永平寺 104歳の禅師』等を提供。
11	ペルーTV放映	ペルー	国営IRTP	06.08.01～ 09.07.31	ペルーTV放映向け番組提供。国営IRTPへ『ぶつかれ 前へ出ろ ～知的障害者ラグビーチームの挑戦～』『よみがえる黄金都市シカン』等を提供。
12	ウクライナTV放映1（民営TV Tonis）	ウクライナ	民営TV Tonis	06.08.01～ 09.07.31	ウクライナTV放映向け番組提供。民営TV Tonisへ『そこが知りたい』『和のくらし』等を提供。
13	ウズベキスタンTV放映1（国営Uzbektele-radio）	ウズベキスタン	国営 Uzbektele-radio	06.08.01～ 09.07.31	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。国営Uzbektele-radioへ『北の国から』を提供。
14	チェコTV放映	チェコ	公営CT	06.08.01～ 09.07.31	チェコTV放映向け番組提供。公営CTへ『ワザあり！にっぽん』『アドベンチャーフィッシング』等を提供。
15	ハンガリーTV放映	ハンガリー	PAX TV	06.08.01～ 09.07.31	ハンガリーTV放映向け番組提供。PAX TVへ『国宝探訪』『永平寺 104歳の禅師』『弓ひとすじ』等を提供。
16	ブルガリアTV放映	ブルガリア	国営BNT	06.08.01～ 09.07.31	ブルガリアTV放映向け番組提供。国営BNTへ『東京の歩き方』『日本とことん見聞録』『マイクロワールド』等を提供。
17	ラトビアTV放映	ラトビア	国営LTV	06.08.01～ 09.07.31	ラトビアTV放映向け番組提供。国営LTVへ『輝け巨大和紙』『美しき日本 百の風景』『国宝探訪』等を提供。
18	エジプトTV放映	エジプト	国営ERTU	06.08.01～ 09.07.31	エジプトTV放映向け番組提供。国営ERTUへ『台所でおもしろ実験』『データボックス・しらべてサイエンス』等を提供。
19	エチオピアTV放映	エチオピア	国営ETV	06.08.01～ 09.07.31	エチオピアTV放映向け番組提供。国営ETVへ『けさ江ばあちゃん 90歳の書画』『日本女性・わたしの選択』等を提供。
20	ガボンTV放映	ガボン	国営RTG1	06.08.01～ 09.07.31	ガボンTV放映向け番組提供。国営RTG1へ『おしん』を提供。
21	カメルーンTV放映	カメルーン	国営CRTV	06.08.01～ 09.07.31	カメルーンTV放映向け番組提供。国営CRTVへ『腕におぼえあり 1』『海猿』を提供。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
22	ザンビアTV放映	ザンビア	国営ZNBC	06.08.01～ 09.07.31	ザンビアTV放映向け番組提供。国営ZNBCへ『コラ！なんばしよっと』『若者たちの現場』を提供。
23	シリアTV放映	シリア	国営STV	06.08.01～ 09.07.31	シリアTV放映向け番組提供。「蝉しぐれ」「菊亭八百善の人々」等を提供
24	ラオスTV放映	ラオス	国営LNTV	06.08.01～ 09.07.31	ラオス国営テレビに番組提供。国営LNTVへ『愛し君へ』を提供。
25	パナマTV放映	パナマ	国営RTVE- PANAMA	06.08.01～ 09.07.31	パナマTV放映向け番組提供。パナマ国営教育TVへ『プロジェクトX』等を提供。
26	ブータンTV放映	ブータン	国営BBS	06.08.01～ 09.07.31	ブータンTV放映向け番組提供。国営BBSへ『おしん』続編を提供。
27	スリランカ劇映画放映	スリランカ	公営ITN	06.06.01～ 07.03.31	スリランカTV放映向け劇映画提供。民営ITNへ『たそがれ清兵衛』を提供。
28	ブラジルTV放映2(18年度・追加)	ブラジル	民営Band	06.10.01～ 09.09.30	ブラジルTV放映向け番組提供。民営Bandへ『技あり！にっぽん』『日本のフードスタイル』を提供。
29	アゼルバイジャンTV放映(ITV)	アゼルバイジャン	国営ITV	06.10.01～ 09.09.30	アゼルバイジャンTV放映向け番組提供。国営ITVへ『美の回廊』『日本の伝統文化』を提供。
30	エチオピアTV放映	エチオピア	国営ETV	07.01.01～ 09.12.31	エチオピアTV放映向け番組提供。国営ETVへ『おしん』(少女編・全96話)を提供。
31	メキシコTV放映(追加・18年度)	メキシコ	国営Canal22	07.02.01～ 10.01.31	メキシコTV放映向け番組提供。Canal22に『惑星・地球の素顔』『日本の世界文化遺産』『美の回廊』を提供。
32	インドネシアTV放映(追加・18年度)	インドネシア	国営TVRI	07.02.01～ 10.01.31	インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『美しき日本 百の風景』『にっぽん野生動物記』『美の回廊』『アジア発見』を提供。
33	エチオピアTV放映(おしん2・18年度)	エチオピア	国営ETV	07.02.01～ 10.01.31	エチオピアTV放映向け『おしん』提供。国営ETVへ97話から297話までを提供。
34	語版改編	全世界区分困難	(財)放送番組国際交流センター	06.04.01～ 07.03.31	テレビ番組の国際版(英語版、スペイン語版)を(財)放送番組国際交流センターと共同制作する。

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 (2) フィルムライブラリー充実 (本部)

在外主催の日本映画上映会にて使用するため、在外のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画などを所蔵する。

合計額 163,849,859円

	事業名	監督	制作年	期間	事業内容
1	リアリズムの宿	山下 敦弘	2004	06.04.01～ 07.03.31	山下敦弘監督作品『リアリズムの宿』の35mm英語字幕版プリントの購入
2	半落ち	佐々部 清	2004	06.04.30～ 07.03.31	劇映画『半落ち』（佐々部清監督）の英語字幕版35mmプリント購入
3	チルソクの夏	佐々部 清	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『チルソクの夏』（佐々部清監督）の英語字幕版35mmプリント購入
4	透光の樹	根岸 吉太郎	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『透光の樹』（根岸吉太郎監督）の英語字幕版35mmプリント購入
5	マインド・ゲーム	湯浅 正明	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『マインド・ゲーム』（湯浅正明監督）の英語字幕版35mmプリント購入
6	深呼吸の必要	篠原 哲雄		06.04.30～ 07.03.31	劇映画『深呼吸の必要』（篠原哲雄監督）の英語字幕版35mmプリント購入
7	ガラスのうさぎ	四分一 節子	2005	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『ガラスのうさぎ』（四分一節子監督）の英語字幕版及びスペイン語字幕版35mmプリント購入
8	海女のリャンさん	原村 政樹	2004	06.04.01～ 07.03.31	映画『海女のリャンさん』（原村政樹監督）の英語版DV-CAM購入
9	いつか読書する日	緒方 明	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『いつか読書する日』（緒方明監督）の英語字幕版35mmプリント購入
10	CURE	黒沢 清	1997	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『CURE』（黒沢清監督）の英語字幕版35mmプリント購入
11	カナリア	塩田 明彦	2005	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『カナリア』（塩田明彦監督）35mm英語字幕版購入
12	リンダ リンダ リンダ	山下 敦弘	2005	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『リンダ リンダ リンダ』の35mm英語字幕版プリントを購入
13	運命じゃない人	内田 けんじ	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『運命じゃない人』（内田けんじ監督）の35mm英語字幕版購入
14	トニー滝谷	市川 準	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『トニー滝谷』（市川準監督）の英語字幕版35mmプリント購入
15	空中庭園	豊田 利晃		06.04.01～ 07.03.31	劇映画『空中庭園』（豊田利晃監督）の35mm英語字幕版プリント購入。
16	山中常盤	羽田 澄子	2004	06.04.01～ 07.03.31	『山中常盤』（羽田澄子監督）の35mm英語字幕版プリント購入

	事業名	監督	制作年	期間	事業内容
17	早池峰の賦	羽田 澄子	1982	06.04.01～ 07.03.31	『早池峰の賦』(羽田澄子監督) 16mm英語字幕版プリント購入
18	パッチギ!	井筒 和幸	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『パッチギ!』(井筒和幸監督)の英語字幕版35mmプリント購入
19	二人日和	野村 恵一	2004	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『二人日和』(野村恵一監督)の35mm英語字幕版プリント購入
20	ヌーヴェルヴァーグ	吉田 喜重 篠田 正浩 大島 渚		06.04.01～ 07.03.31	大島渚、篠田正浩、吉田喜重が松竹時代に監督したヌーヴェルヴァーグ8作品の英語字幕付35mmプリントを購入
21	鍵	市川 崑	1959	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『鍵』(市川崑監督)の英語字幕版35mmプリント購入
22	しとやかな獣	川島 雄三	1962	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『しとやかな獣』(川島雄三監督)の英語字幕版35mmプリント購入
23	地獄門	衣笠 貞之助	1953	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『地獄門』(衣笠貞之助監督)の英語字幕版35mmプリント購入
24	雁	豊田 四郎	1953	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『雁』(豊田四郎監督)の英語字幕版35mmプリント購入
25	源氏物語	吉村 公三郎	1951	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『源氏物語』(吉村公三郎監督)の英語字幕版35mmプリント購入
26	忍びの者	山本 薩夫	1962	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『忍びの者』(山本薩夫監督)の英語字幕版35mmプリント購入
27	続・忍びの者	山本 薩夫	1963	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『続・忍びの者』(監督)の英語字幕版35mmプリント購入
28	傷だらけの山河	山本 薩夫	1964	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『傷だらけの山河』(山本薩夫監督)の英語字幕版35mmプリント購入
29	白い巨塔	山本 薩夫	1966	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『白い巨塔』(山本薩夫監督)の英語字幕版35mmプリント購入
30	牡丹燈籠	山本 薩夫	1968	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『牡丹燈籠』(山本薩夫監督)の英語字幕版35mmプリント購入
31	金環蝕	山本 薩夫	1975	06.04.01～ 07.03.31	劇映画『金環蝕』(山本薩夫監督)の英語字幕版35mmプリント購入

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 (3) フィルムライブラリー充実 (海外)

在外主催の日本映画上映会にて使用するため、在外のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画などを配布する。

合計額 182,488,508円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	東アジアFL (17年度)	タイ	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
2	西アジアFL (17年度)	インド	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
3	大洋州FL (17年度)	オーストラリア	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
4	アフリカFL (17年度)	ケニア	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
5	欧州FL (17年度)	英国	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
6	仏語FL (17年度)	フランス	06.04.01～ 07.03.31	フランス語版プリント購送
7	中近東FL (17年度)	エジプト	06.04.01～ 07.03.31	アラビア語版プリント購送
8	中南米FL (17年度)	アルゼンチン	06.04.01～ 07.03.31	スペイン語版プリント購送
9	ブラジルFL (17年度)	ブラジル	06.04.01～ 07.03.31	ポルトガル語版プリント購送
10	中国FL (17年度)	中国	06.04.01～ 07.03.31	中国語版プリント購送
11	露語FL (17年度)	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	ロシア語版プリント購送
12	JFローマFL (17年度)	イタリア	06.04.01～ 07.03.31	イタリア語版プリント購送
13	JFケルンFL (17年度)	ドイツ	06.04.01～ 07.03.31	ドイツ語版プリント購送
14	JFジャカルタFL (17年度)	インドネシア	06.04.01～ 07.03.31	インドネシア語版プリント購送
15	JFバンコクFL (17年度)	タイ	06.04.01～ 07.03.31	タイ語版プリント購送
16	JFソウルFL (17年度)	韓国	06.04.01～ 07.03.31	韓国語版プリント購送

	事業名	対象国	期間	事業内容
17	東アジアFL	タイ	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
18	西アジアFL	インド	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
19	大洋州FL	オーストラリア	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
20	アフリカFL	ケニア	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
21	欧州FL	英国	06.04.01～ 07.03.31	英語版プリント購送
22	仏語FL	フランス	06.04.01～ 07.03.31	フランス語版プリント購送
23	中近東FL	エジプト	06.04.01～ 07.03.31	アラビア語版プリント購送
24	中南米FL	アルゼンチン	06.04.01～ 07.03.31	スペイン語版プリント購送
25	ブラジルFL	ブラジル	06.04.01～ 07.03.31	ポルトガル語版プリント購送
26	中国FL	中国	06.04.01～ 07.03.31	中国語版プリント購送
27	露語FL	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	ロシア語版プリント購送
28	JFローマFL	イタリア	06.04.01～ 07.03.31	イタリア語版プリント購送
29	JFケルンFL	ドイツ	06.04.01～ 07.03.31	ドイツ語版プリント購送
30	JFジャカルタFL	インドネシア	06.04.01～ 07.03.31	インドネシア語版プリント購送
31	JFバンコクFL	タイ	06.04.01～ 07.03.31	タイ語版プリント購送
32	JFソウルFL	韓国	06.04.01～ 07.03.31	韓国語版プリント購送

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 (4)映画・テレビ番組制作協力

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画およびテレビ番組などに対して、制作費の一部を負担し協力する。

合計額 18,471,578円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	In the voices	フランス	ヴィラ九条山 (関西日仏交流会館)・関西日 仏学館	06.04.01～ 07.03.01	弁士・澤登翠氏の無声映画『滝の白糸』におけ る活弁を、映画館の観客(聴衆)も含めて映像 に収める。
2	Karakuri Info	オーストラリア	Outside Eye Productions	06.04.01～ 07.02.27	日本のからくり技巧に焦点をあて、それが日本 の現代技術にどのように影響を与えたかを描く ドキュメンタリー。
3	Resonance: The Odyssey of the Bells	米国	Rikshaw Films	06.04.01～ 07.02.14	戦中の金属回収命令により徴発された、日本各 地の寺の鐘の、所在をつきとめて元にあった寺 へ返還するという「Resonance運動」に関する ドキュメンタリー。
4	RIVERWEBS	米国	Freshwaters Illustrated	06.04.01～ 07.02.19	地球規模の河川生態学研究で最先端を歩んで いた京大生態学センター故中野繁助教授 の研究成果と人柄を紹介するドキュメンタ リー。
5	The Japanese Village	英国	STROM CREATION LTD	06.04.01～ 07.02.10	19世紀末にアメリカ大陸で、サーカス団を率 いた川村音吉の足跡を辿るドキュメンタリー。
6	Japanese Pop Sensation	スウェーデン	Walkietalkie AB	06.04.01～ 07.02.10	日本のポップミュージック産業を日本の女性 ファンとスウェーデンの作曲家を通して取り 上げる音楽ドキュメンタリー。
7	Four sacred scrolls	チェコ	AT, s.r.o.	06.04.01～ 06.12.22	『世界の昔話』シリーズの一環。日本の昔話『 四枚のお札』のアニメーション。
8	Enigma of Fuji's Silence	ロシア	Maris Liepa Charity Foundation	06.04.01～ 06.12.28	江戸時代の日本美術がフランスを中心とする 西洋美術に与えた影響に関するドキュメンタ リー。

3. 文化資料事業費 (5) 出版・翻訳協力 (特別)

日本において広く愛読されているにもかかわらず、海外において紹介される機会の少ない作家の作品を国際交流基金と出版社が共同して翻訳出版する。

合計額 6,327,715円

	事業名	対象国	制作・発行日	部数	事業内容
1	司馬遼太郎『韃靼疾風録』英語版	全世界区分困難	2007年3月15日	1000	日本では広く愛読されているにも関わらず、欧米では読まれる機会の少ない良質の日本文学を紹介することを目的に、司馬遼太郎の『韃靼疾風録』を英語に翻訳・出版。
2	アラビア語翻訳出版 (児童書)	全世界区分困難	2006年5月15日	4000	アラビア語圏において書籍を通じた日本理解を促進するため、児童書4冊 (『いっすんぼうし』、『ふしぎなたいこ』、『きんぎょがにげた』、『ともだち』) をアラビア語に翻訳の上、エジプトの出版社と共同出版し、アラビア語圏に配布。
3	アラビア語翻訳出版 (『途上国ニッポンの歩み』)	全世界区分困難			アラビア語圏における日本研究の基本図書を充実するため、『途上国ニッポンの歩み』(大野健一著、有斐閣) をアラビア語に翻訳し、エジプトの出版社と共同出版する。(準備)
4	アラビア語翻訳出版 (『明治』)	全世界区分困難			アラビア語圏における日本研究の基本図書を充実するため、『明治1 変革を導いた人間力』(NHK「明治」プロジェクト編著、NHK出版) をアラビア語に翻訳し、エジプトの出版社と共同出版する。(準備)

3. 文化資料事業費 (6) 出版・翻訳協力 (一般)

日本文化を海外に紹介するための人文、社会科学および芸術分野の日本語で書かれた優れた図書の外国語への翻訳・出版および外国語で書き下ろされた優れた図書を出版する。

合計額 27,900,646円

	書名	対象国	著編者/翻訳者	出版社
1	日本画壇における西洋画法の受容と展開 (翻訳)	韓国	姜 徳熙/ 小川 玲子	上智大学出版
2	日本文化の力 (出版)	韓国	尹 相仁	図書出版 東アジア
3	東京スタディーズ (翻訳)	韓国	吉見 俊哉 若林 幹夫/ 呉 錫哲	コミュニケーション・ブックス
4	東京スタディーズ (出版)	韓国	吉見 俊哉 若林 幹夫/ 呉 錫哲	コミュニケーション・ブックス
5	大正文化 1905~1927 (翻訳)	韓国	南 博/ 鄭 大成	ジェイ・アンド・シー

映像出版事業費

	書名	対象国	著編者/翻訳者	出版社
6	大正文化 1905~1927 (出版)	韓国	南 博／ 鄭 大成	ジェイ・アンド・シー
7	戦後日本外交史 (出版)	中国	五百旗頭 真／ 呉 万虹	世界知識出版
8	万葉集の世界 (出版)	中国	劉 雨珍	寧夏人民出版社
9	知らなきゃ恥ずかしい日本文化 (翻訳)	中国	白幡 洋三郎／ 葵 敦達	世紀出版グループ上海訳文出版社
10	知らなきゃ恥ずかしい日本文化 (出版)	中国	白幡 洋三郎／ 葵 敦達	世紀出版グループ上海訳文出版社
11	武士道 (翻訳・モンゴル語)	モンゴル	新渡戸 稲造／ Tumurbaatar Deleg	「ニッポン・ニュース」新聞社
12	武士道 (出版・モンゴル語)	モンゴル	新渡戸 稲造／ Tumurbaatar Deleg	「ニッポン・ニュース」新聞社
13	溝口健二の世界 (翻訳)	インド	佐藤 忠男／ Brij Mohan Tankha	Network for the Promotion of Asian Cinema
14	日本の散文詩 (出版)	オーストラリア	Yasuko Kureamonto	ワイルド ペオニー出版社
15	戦史叢書 南太平洋陸軍作戦 〈1〉 〈2〉 (出版)	オーストラリア	防衛庁防衛研究戦史室 ／ Steven Christopher Bullard	オーストラリア戦争記念会
16	Early and Medieval Japanese Literature : An Anthology to 1600 (出版)	米国	Haruo Shirane	コロンビア大学出版
17	フルメタル アパッチ (出版)	米国	巽 孝之	デューク大学出版
18	Radicals and Realists in Japanese Nonverbal Arts : The Avant-Garde Rejection of Modernism (出版)	米国	Thomas R.H. Havens	ハワイ大学出版
19	姿三四郎 (翻訳)	ブラジル	富田 常雄 林 慎太郎	トッパン・プレス印刷出版有限会社
20	JAPOPOP : 日本のポップカルチャーの世界 (出版)	ブラジル	Cristiane Akune Sato	NSP-Hakkosha Editora e Eventos Ltda
21	盆栽、芸術と自然 (出版)	ベネズエラ	Eusebio Chellini	Comercializadora Mediakontrol.C.A
22	海辺のカフカ (翻訳・デンマーク語)	デンマーク	村上 春樹／ Mette Holm	クリム出版社

	書名	対象国	著編者/翻訳者	出版社
23	日本 - 戦争のあと (出版)	フランス	Michael Anthony Lucken	フィリップ・ピキエ出版
24	種田山頭火 草木塔 (出版)	フランス	種田 山頭火/ Herve Collet	マウンダレン出版社
25	インフラストラクチャーの発展：日本の経験について (出版)	中国	Ji Sun	遼寧大學出版社
26	物語 日本国憲法第9条 (出版)	ドイツ	Asa Bettina Wuthenow 伊藤 成彦	アゲンダ出版社
27	小津安二郎の反映画 (翻訳)	イタリア	吉田 喜重 土肥 秀行	フランコ・チェザーティ出版
28	昔話と日本人の心 (翻訳)	イタリア	河合 隼雄/ Marco Montanari	モレッティヴィタリ出版社
29	海辺のカフカ (翻訳・カタロニア語)	スペイン	村上 春樹/ Albert Nolla	62出版グループ
30	野火 (翻訳)	スペイン	大岡 昇平/ Fernando Rodriguez-Izquierdo Y Gavala	小惑星の本
31	Japanese Popular Print (出版)	英国	Rebecca Margaret Salter	A&C Black Publishers Ltd
32	白河夜船 (出版)	クロアチア	吉本ばなな/ Jadranka Pintaric, Damjan Lalovic	Croatian Philological Association
33	源氏物語3 (出版)	チェコ	紫式部/ Karel Fiala	パセカ出版
34	一茶 俳句集 (出版)	チェコ	小林 一茶/ Anthony Liman	ダルマガーヤ出版
35	菊と刀/菊と刀再発見 (翻訳)	ハンガリー	Ruth Benedict/ Barbara Koronczi	オープンブック出版社
36	菊と刀/菊と刀再発見 (出版)	ハンガリー	Ruth Benedict/ Barbara Koronczi	オープンブック出版社
37	明治時代の日本 (出版)	ポーランド	森 鷗外/ Beata Kubia Ho-Chi	望
38	Labour Ethics and Philosophy of Heart. Ishida Baigan(1685-1744) in Japanese Intellectual Tradition (出版)	ロシア	Liubov Karelova	ロシア科学アカデミー出版社

映像出版事業費

	書名	対象国	著編者/翻訳者	出版社
39	御伽草子 (翻訳)	ロシア	不詳/ Maria Vladimirovna Toropigina	ヒベリオン出版社
40	御伽草子 (出版)	ロシア	不詳/ Maria Vladimirovna Toropigina	ヒベリオン出版社
41	現代日本の法 (出版)	セルビア・モンテネグロ	Radomir Djurovic	現代行政出版社
42	ダンス・ダンス・ダンス (翻訳)	スロバキア	村上 春樹/ Lucia Kruzlikova Preuss	スロヴァート出版
43	ダンス・ダンス・ダンス (出版)	スロバキア	村上 春樹/ Lucia Kruzlikova Preuss	スロヴァート出版
44	枕草子 (翻訳)	トルコ	清 少納言/ Tuncay Birkan	メティス出版
45	枕草子 (出版)	トルコ	清 少納言/ Tuncay Birkan	メティス出版
46	父と暮せば (翻訳)	エジプト	井上 ひさし/ Walid Ibrahim	ダール ミスル イルマフルーサ
47	父と暮せば (出版)	エジプト	井上 ひさし/ Walid Ibrahim	ダール ミスル イルマフルーサ
48	武士道 (翻訳・ベトナム語)	ベトナム	新渡戸 稲造/ Nguyen Hoanh Hai	人民公安出版社
49	武士道 (出版・ベトナム語)	ベトナム	新渡戸 稲造/ Nguyen Hoanh Hai	人民公安出版社
50	ル・コルビュジェと日本 (出版)	フランス	Gerard Monnier/ Erika Peschard-Erlich	ピカール出版社
51	万葉集 (翻訳)	チェコ	不詳/ Anthony Liman	プロディー出版
52	万葉集 (出版)	チェコ	不詳/ Anthony Liman	プロディー出版

3. 文化資料事業費 (7)国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書展に参加する。また、国内における国際図書展の海外からの出版社の参加を支援する。

合計額 20,959,231円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第14回東京国際図書展	アジア区分困難	東京	東京ビッグサイト	06.07.06～ 06.07.09	東京ビックサイトで開催される東京国際図書展にアジア各国から参加する出版社の参加経費について支援。
2	第12回ソウル国際図書展	韓国	ソウル	韓国総合展示場	06.06.02～ 06.06.08	(社)出版国際文化交流会(PACE)と共同で、ソウル国際図書展に参加。
3	第9回ドミニカ共和国国際図書展	ドミニカ共和国	サントドミンゴ	文化広場	06.04.24～ 06.05.07	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で、第9回ドミニカ共和国国際図書展に参加。
4	第20回グアダハラ国際図書展	メキシコ	グアダハラ	EXPOグアダハラ	06.11.25～ 06.12.03	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で、第20回グアダハラ国際図書展(メキシコ)に参加。
5	第32回ブエノス・アイレス国際図書展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ブエノスアイレス市農業牧畜展示会場	06.04.20～ 06.05.08	(社)出版文化国際交流会と共同で、第32回ブエノス・アイレス国際図書展に参加。詩人・白石かずこ氏を派遣し、三島由紀夫に関する講演会を実施。
6	第3回テッサロニキ国際図書展	ギリシャ	テッサロニキ	HELEXPO	06.05.25～ 06.05.28	(社)出版文化国際交流会と共同で、第3回テッサロニキ国際図書展(ギリシャ)に参加。
7	第58回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト市見本市会場	06.10.04～ 06.10.08	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で、第58回フランクフルト国際図書展に参加。
8	第51回ベオグラード国際図書展	セルビア・モンテネグロ	ベオグラード	ワールドトレードセンター	06.10.24～ 06.10.30	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で、第51回ベオグラード国際図書展(セルビア・モンテネグロ)に参加。
9	第13回ブダペスト国際図書展	ハンガリー	ブダペスト	ブダペスト・コンベンション・センター	06.04.20～ 06.04.23	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共同で、第13回ブダペスト国際図書展(ハンガリー)に参加。
10	ビリニュス国際図書展	リトアニア	ビリニュス	リトエクスポ展示会場	07.02.22～ 07.02.25	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共催で、バルティック・ブックフェア2007(リトアニア)に参加。
11	第8回non/fiction国際図書展	ロシア	モスクワ	中央芸術家会館	06.11.29～ 06.12.03	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共催で、第8回non/fiction国際図書展(ロシア)に参加。
12	第19回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン・フェアグラウンド	06.05.03～ 06.05.13	(社)出版文化国際交流会(PACE)と共催で、第19回テヘラン国際図書展(イラン)に参加。

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
13	PRACTICAL GUIDE	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	海外で日本関係図書の翻訳出版を行う場合に必要知識をまとめたガイドブックの出版。
14	日本の英文出版図書目録 2006	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	(社)出版文化国際交流会(PACE)が作成する英文日本関係書籍のカタログの費用を一部負担。

3. 文化資料事業費 (8)映像出版情報交流(文化資料)

日本の映像・出版関係情報の海外への発信および海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行なう。

合計額 10,055,810円

	事業名	制作・発行日	部数	期間	事業内容
1	JAPANESE BOOK NEWS 第49号～第51号	2006.06.01 2006.09.01 2006.12.1 2007.3.1	5,000 5,000 5,000 5,000	06.04.01～ 07.03.31	海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を紹介する英文ニューズレターを季刊で発行。
2	JAPANESE BOOK NEWS 第52号 (発行準備)	2007.06.01	5,000	07.01.01～ 07.03.31	海外の出版社・翻訳者向けに、日本の新刊書情報等を提供する英文ニューズレターを季刊で発行。
3	New Cinema from Japan	2006.10.01	8,000	06.09.01～ 07.03.31	日本映画の最新情報を掲載したカタログ「New Cinema from Japan」を(財)日本映像国際振興協会と共同で年2回発行する。

日本語普及事業に必要な経費

日本語事業費

1. 日本語企画調整費

- (1) 海外日本語教育機関等調査
- (2) 日本語教育情報交流
- (3) 海外日本語教育支援NGO助成
- (4) 日本語教育企画開発型事業

2. 日本語派遣・助成費

- (1) 日本語教育専門家派遣（専門家）
- (2) 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）
- (3) 日本語教育学会助成
- (4) 日本語教育機関支援（専任講師給与助成）
- (5) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）
- (6) 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
- (7) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）
- (8) 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・指導助手）
- (9) 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・シニア客員教授）

3. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施
- (2) 評価開発

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 (1) 海外日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関などに関する調査および特定地域における調査などを実施し、その結果を適当な媒体で公開する。また、日本語教育・研究の成果も適当な媒体で公開する。

合計額 44,783,565円

	事業名	期間	事業内容
1	国別情報ホームページ	06.04.01～ 07.03.31	各国の日本語教育の状況（沿革/教育制度/現状/動向等）をホームページ上で紹介。
2	海外日本語教育機関調査	06.04.01～ 07.03.31	海外における日本語教育機関・教師・学習者等に関する一斉調査。3年毎に実施。2006年は調査実施年として、調査票の作成、配布、回収を行った。
3	動向調査	06.04.01～ 07.03.31	中期計画指針、地域別方針等に基づき、重点国・地域の日本語教育事情の最新動向を把握するため、専門家等による実地調査を実施

1. 日本語企画調整費 (2) 日本語教育情報交流

日本語教育に関する国際シンポジウムおよび外国人による日本語弁論大会の実施や、広報誌、論文集を発行する。

合計額 20,345,384円

	事業名	期間	事業内容
1	「国際交流基金日本語教育紀要」第3号発行	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金日本語教育専門員、専門家、職員等の教育・研究活動の成果を発表する論文・報告誌。全文をウェブサイトにも掲載。
2	第47回外国人による日本語弁論大会	06.05.27	外国人による日本語弁論大会を（財）国際教育振興会、下関市との共催により下関市で開催。大会の様子はNHK教育テレビで放映された。
3	「日本語教育通信」55, 56, 57号発行	06.04.01～ 07.03.31	海外の日本語教師に役立つ情報や教材を掲載したニューズレター。授業のアイデア、教育実践報告、新刊図書・教材紹介等から成る。全文をウェブサイトにも掲載。
4	「日本語教育論集-世界の日本語教育-」16号発行	06.04.01～ 07.03.31	広く世界に公募し、審査により選考された日本語教育・日本語学および日本語教育事情・実践報告に関する論文集。市販するとともに全文をウェブサイトにも掲載。

1. 日本語企画調整費 (3) 海外日本語教育支援NGO助成

日本国内のNPO・NGOが海外の日本語教育支援を目的として実施する事業に対して、その経費の一部または全部を助成する。

合計額 2,807,474円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	プエンテの会	ペルー	プエンテの会	06.09.01～ 06.12.15	ペルーのクスコ市での日本語普及のための事業
2	ホランの会	モンゴル	ホランの会	06.05.20～ 06.06.24	モンゴルの日本語学習児童短期留学のための招聘事業
3	Network-HITO(a)/フィリピン・ネグロス島	フィリピン	Network-HITO	06.04.10～ 07.03.20	エスカランテ市（フィリピン・ネグロス島）への日本語教師派遣事業
4	日本スペイン協会	アルゼンチン エクアドル キューバ スペイン ドミニカ共和国 ブラジル ペルー ボリビア	(財) 日本スペイン協会	06.04.01～ 06.11.30	スペイン語圏8カ国への日本語テキスト及び副読本の送付
5	IFE(イフェ)/H18	ベナン	IFE(イフェ)	06.06.22～ 07.06.29	ベナン共和国への日本語教師派遣
6	JRPカイロ会議	エジプト	特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム	06.09.13～ 06.09.22	JRPが日本で実施した「日本語サミット」への参加者5名をカイロに招聘し、パネルディスカッションを開催。

1. 日本語企画調整費 (4) 日本語教育企画開発型事業

日本語普及における政策上の必要性が高い事業を実施する。

合計額 22,445,724円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	フランス日本語教育委員会	フランス	フランス日本語教育委員会	06.04.01～ 07.03.31	フランス日本語教育委員会の3部会（プログラム作成小委員会、CAPES小委員会、生涯教育小委員会）の活動に対し、平成17年度より2カ年にわたり活動経費を助成。（2年計画の2年目）
2	AP日本語プログラム	米国	The College Board	06.10.01～ 08.02.28	米国の高校生を対象とするAP(Advanced Placement：大学教養課程事前履修)プログラムへの日本語科目導入に係る初期開発経費の一部を助成（3年計画の3年目）

日本語事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	インド中等教育支援	インド		06.04.01～ 07.03.31	インドの中等教育過程における日本語教育の導入と基盤整備のため、教材制作等を行った。
4	日本語教育懇談会	全世界区分困難		06.05.01～ 07.03.31	今後の海外における日本語教育のあり方全般について検討するため、政財界、学術文化界、日本語教育界などの各方面の有識者から構成される「日本語教育懇談会」を設置。3回の全体会合と5回の専門部会を経て、2007年2月に外務大臣へ「提言」を提出。
5	ベトナム日本語支援センター開設準備	ベトナム		06.11.01～ 07.03.31	ベトナム中等教育レベルでの日本語教育支援を中心とした基金拠点を開設するための準備を行った。
6	モデル講座	フィリピン		06.04.01～ 07.03.31	教師養成に資することを主目的として、マニラ事務所に国際交流基金ブランドのモデル講座を開設・運営した。
7	ジャパン・ボウル	米国	Japan-America Society of Washington, Inc. (JASW) ワシントンDC 日米協会	07.03.01～ 07.03.31	ジャパン・ボウル（高校生を対象とした日本語・日本文化の知識を問う全米規模の競技会）開催経費の一部を助成（3年を上限とする2年目）
8	日本語教育スタンダード	全世界区分困難		06.04.01～ 07.03.31	平成17年度に3回にわたって実施した「日本語教育スタンダードの構築をめざす国際ラウンドテーブル」の当日資料と会議要旨を会議録として編集・印刷製本し、関係機関に配布した。

2. 日本語派遣・助成費 (1)日本語教育専門家派遣（専門家）

1.現地の日本語教師養成に資するため、日本語教師研修会の実施、教師ネットワーク形成の支援、日本語教授法や日本語教材作成に関する助言・指導などを行なう。2.現地日本語教育機関における日本語教育に協力するため、日本語講座の授業を実際に担当する他、現地人教師への助言・指導、カリキュラム編成や教材作成などについて支援を行なう。

合計額 938,254,483円

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
1	山口 明	ウズベキスタン 人材開発日本センター	ウズベキスタン	06.06.30～ 08.07.20	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
2	桜井 千代子	モンゴル日本人 材開発センター	モンゴル	06.04.07～ 08.04.06	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
3	立花 秀正	日中友好大連人材育成センター	中国	06.04.24～ 09.03.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
4	吉田 裕子	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	06.06.22～ 09.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
5	山本 晃彦	インドネシア教育大学	インドネシア	06.08.03～ 09.08.02	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
6	飯尾 幸司	北スマトラ大学	インドネシア	06.06.14～ 09.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
7	松原 潤	バンコク日本文化センター	タイ	06.09.22～ 09.09.21	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
8	星 亨	マニラ事務所	フィリピン	06.05.20～ 08.05.19	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
9	雄谷 進	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	06.08.19～ 08.08.18	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
10	藤井 明子	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	06.10.04～ 08.10.03	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
11	矢沢 悦子	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	06.04.22～ 09.04.21	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
12	江原 有輝子	N S W州教育省	オーストラリア	04.04.14～ 07.04.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
13	岸田 理恵	クイーンズランド州教育省クイーンズランドLOTEセンター	オーストラリア	06.01.12～ 09.01.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
14	原田 明子	タスマニア教育省	オーストラリア	06.01.12～ 09.01.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
15	茅本 百合子	ニュージーランド教育省	ニュージーランド	05.04.06～ 08.02.10	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
16	藤 光由子	西オーストラリア州教育省	オーストラリア	07.02.04～ 09.02.10	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
17	高崎 三千代	ローマ日本文化会館	イタリア	06.07.03～ 09.07.02	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
18	谷道 まや	ケルン日本文化会館	ドイツ	04.07.14～ 07.07.13	派遣先の講座運営を行うほか、任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
19	松島 幸男	テヘラン大学	イラン	03.07.15～ 06.07.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
20	近藤 正憲	テヘラン大学	イラン	06.07.28～ 09.07.30	立ち上げ期にある機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを行う。
21	青沼 国夫	キングサウド大学言語翻訳学部日本語専攻	サウジアラビア	02.06.18～ 06.07.15	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
22	大谷 英樹	キングサウド大学	サウジアラビア	06.09.29～ 09.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
23	中堂 暁美	ダマスカス大学	シリア	04.07.13～ 07.07.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
24	杉山 純子	土日基金文化センター	トルコ	02.09.30～ 06.04.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
25	横野 登代子	土日基金文化センター	トルコ	06.06.04～ 09.09.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
26	尾崎 裕子	カイロ事務所	エジプト	03.08.31～ 06.09.21	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
27	山科 健吉	カイロ事務所	エジプト	06.09.01～ 09.09.21	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
28	山門 健二	アインシャムス大学	エジプト	05.08.15～ 07.05.28	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
29	中込 達哉	ケニヤッタ大学	ケニア	06.08.01～ 08.07.31	立ち上げ期にある機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを行う。
30	大船 ちさと	ベトナム教育訓練省	ベトナム	06.04.02～ 07.08.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
31	横井 多美子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	06.03.20～ 08.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
32	森林 謙	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	06.03.20～ 08.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
33	盛田 真規子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	06.03.25～ 09.03.24	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
34	森 勇樹	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	06.03.25～ 09.03.24	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
35	薄井 典子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	06.03.20～ 08.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
36	山口 敏幸	ソウル日本文化センター	韓国	05.08.15～ 08.08.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
37	長谷川 理恵	ニューデリー事務所	インド	05.07.19～ 08.07.18	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
38	富岡 純	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	03.03.31～ 06.04.02	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
39	勝田 順子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	03.03.23～ 06.04.02	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
40	下橋 美和	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	05.04.01～ 07.05.20	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
41	平田 好	ラオス日本人材開発センター	ラオス	05.09.02～ 08.09.01	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
42	登里 民子	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	05.06.13～ 07.09.05	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
43	和田 衣世	ケラニア大学	スリランカ	05.04.23～ 07.04.22	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
44	小西 広明	北京日本文化センター	中国	05.05.19～ 08.05.18	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
45	片桐 準二	プノンペン大学	カンボジア	05.05.17～ 08.08.20	立ち上げ期にある機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを行う
46	坂本 まり子	デ・ラ・サール大学	フィリピン	05.04.30～ 07.04.29	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
47	畠山 理恵	ニューデリー事務所	インド	05.05.12～ 08.05.11	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
48	坪根 由香里	コンケン大学	タイ	05.04.25～ 07.03.31	立ち上げ期にある機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを行う
49	根津 誠	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	05.04.01～ 08.04.16	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
50	村野 節子	西オーストラリア教育省	オーストラリア	05.04.06～ 07.02.10	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
51	宮田 登紀子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	05.03.17～ 08.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
52	河合 由希江	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	05.03.17～ 07.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
53	飯塚 往子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	05.03.17～ 07.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
54	井上 花子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	05.03.23～ 07.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
55	阿蘇 豊	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	05.03.23～ 08.03.19	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
56	上野 栄三	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	05.04.23～ 07.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
57	八田 直美	バンコク日本文化センター	タイ	04.09.04～ 07.05.12	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
58	古川 嘉子	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	04.12.07～ 07.04.20	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
59	熊野 七絵	バンコク日本文化センター	タイ	04.07.15～ 06.09.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
60	来嶋 洋美	ロンドン事務所	英国	05.02.17～ 08.02.28	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
61	柴倉 映子	カレル大学	チェコ	04.09.17～ 07.09.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
62	佐々木 香織	シドニー日本語センター	オーストラリア	04.09.07～ 07.04.06	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
63	須賀 美紀	ソフィア大学	ブルガリア	04.07.14～ 07.07.28	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
64	菅生 早千江	ヤギェヴォ大学	ポーランド	04.06.28～ 07.07.12	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
65	黒滝 力	キルギス日本人材開発センター	キルギス	04.07.09～ 06.12.18	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
66	荒川 友幸	カザフスタン日本人材開発センター	カザフスタン	04.04.15～ 07.04.14	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
67	衣笠 秀子	ローマ日本文化会館	イタリア	03.08.30～ 06.07.15	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
68	福島 青史	ウズベキスタン人材開発日本センター	ウズベキスタン	03.07.29～ 06.07.12	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
69	酒井 理恵	ブカレスト大学	ルーマニア	04.03.29～ 07.07.28	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
70	谷淵 麻子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	04.03.25～ 07.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
71	今枝 亜紀	サンチャゴ大学	チリ	05.01.05～ 08.01.28	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
72	平賀 達哉	MOSAI ニューデリー事務所	インド	05.01.04～ 08.01.23	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
73	林 敏夫	在香港総領事館 ／香港日本語教育研究会	中国	04.06.20～ 07.07.03	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
74	天野 千春	ソウル日本文化センター	韓国	04.06.12～ 06.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
75	三原 龍志	ソウル日本文化センター	韓国	04.02.15～ 07.03.24	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
76	土井 真美	クアラルンプール日本語センター クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	03.04.22～ 06.05.09	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
77	宇田川 洋子	アルバータ州学習省	カナダ	03.07.10～ 06.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
78	藤光 由子	マニラ事務所	フィリピン	03.05.04～ 06.05.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
79	松本 剛次	北スマトラ大学	インドネシア	03.06.19～ 06.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
80	森西 志保子	インドネシア教育大学文芸教育学部外国語教育学科日本語教育プログラム	インドネシア	03.08.03～ 06.08.14	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
81	渡辺 由美	ジャカルタ日本語センター	インドネシア	03.04.07～ 06.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
82	市瀬 俊介	カンボジア日本人材開発センター	カンボジア	04.07.01～ 07.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
83	鈴木 衣今子	ベトナム日本人材協力センター	ベトナム	04.10.14～ 06.10.15	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
84	新田 洋子	ブルネイ教育省	ブルネイ	04.06.24～ 07.11.29	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
85	洲 脇泰	フィリピン大学	フィリピン	04.10.30～ 07.10.29	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
86	小栗 潔	国立スラバヤ大学	インドネシア	04.07.08～ 07.07.20	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
87	西浦 久子	ガジャマダ大学	インドネシア	04.07.08～ 07.07.21	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
88	小久保 ひろし	ラオス国立大学	ラオス	04.04.07～ 07.07.31	立ち上げ期にある機関で、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言などを行う。
89	森戸 規子	ウクライナ日本センター	ウクライナ	06.07.01～ 08.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
90	栗原 幸則	ブダペスト事務所	ハンガリー	05.07.29～ 07.08.10	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
91	池津 丈司	モスクワ国立大学	ロシア	05.07.14～ 08.07.26	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
92	沼崎 邦子	ケルン日本文化会館	ドイツ	05.07.11～ 07.07.23	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
93	榛葉 久美	アイルランド教育省 ダブリン・シティ大学 (旧ダブリン工科大学)	アイルランド	05.07.26～ 07.07.31	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
94	長田 佳奈子	ソウル日本文化センター	韓国	06.06.21～ 09.06.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
95	室屋 春光	アルバータ州教育省	カナダ	06.06.19～ 09.06.18	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
96	北村 武士	ソウル日本文化センター	韓国	07.03.16～ 10.03.15	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
97	千馬 智子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	04.03.25～ 07.03.31	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
98	村上 吉文	モンゴル日本人材開発センター	モンゴル	02.04.21～ 06.04.20	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
99	杉山 純子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	07.03.18～ 09.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
100	戸田 淑子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	07.03.23～ 09.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
101	富岡 純	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	07.03.18～ 09.03.18	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
102	藤原 由紀子	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	07.03.18～ 09.03.18	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
103	佐々木 良造	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	07.03.23～ 08.03.23	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。
104	吉川 達	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア	07.03.23～ 09.03.23	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育課程の学生に対し、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成を行うことを目的。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
105	松本 剛次	シドニー日本文化センター	オーストラリア	07.01.05～ 09.04.30	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
106	尾崎 裕子	キルギス日本人材開発センター	キルギス	07.02.07～ 09.04.20	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。
107	久野 元	カザフスタン日本人材開発センター	カザフスタン	07.03.01～ 09.04.04	任国の教育省、基金海外事務所、拠点機関に派遣され、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を行う。

2. 日本語派遣・助成費	(2) 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）
--------------	-------------------------

1. 主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導などを行なう。2. 大学など個別の機関に派遣され、当該機関の授業担当、カリキュラム編成、教材作成、現地教師への助言などを行なう。

合計額 153,254,483円

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
1	成田 高宏	サハリン国立総合大学	ロシア	06.06.15～ 08.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
2	坂本 裕子	ウラジオストク極東国立大学	ロシア	06.08.20～ 09.08.19	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
3	森本 由佳子	極東国立人文大学	ロシア	06.06.16～ 08.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
4	猪狩 英美	ノボシビルスク国立大学	ロシア	06.06.14～ 09.06.13	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
5	久木 元恵	アル・ファラビ名称カザフ民族大学	カザフスタン	06.06.12～ 08.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
6	内村 浩子	キエフ国立言語大学 キエフ国立大学	ウクライナ	06.06.16～ 08.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
7	菅井 綾子	ベラルーシ国立 大学 ミンスク言語大 学	ベラルーシ	06.06.18～ 08.06.29	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
8	阿阪 真理	ジャカルタ日本 文化センター	インドネシア	06.06.12～ 08.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を行う。
9	三浦 雄一郎	ジャカルタ日本 文化センター	インドネシア	06.06.12～ 09.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導を行う。
10	森田 衛	アインシャムス 大学	エジプト	06.08.21～ 09.06.30	日本語教育専門家の指導を仰ぎながら、カリキュラム編成や教材の開発を行い、日本語の授業を担当する。
11	竹山 直子	カイロ大学	エジプト	06.08.20～ 08.06.30	日本語教育専門家の指導を仰ぎながら、カリキュラム編成や教材の開発を行い、日本語の授業を担当する。
12	吉田 佳未	北京日本文化セ ンター	中国	05.08.04～ 08.09.17	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問、巡回指導等を行う。
13	原田 かおり	極東国立人文大 学	ロシア	05.08.16～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
14	深水 豊	ノボシビルスク 国立大学	ロシア	05.09.01～ 06.06.25	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
15	星野 智子	ベラルーシ国立 大学 ミンスク国立言 語大学	ベラルーシ	05.08.16～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
16	立間 智子	バクー国立大学	アゼルバイジャン	05.08.16～ 07.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
17	石田 英明	キエフ国立言語 大学 キエフ国立大学	ウクライナ	05.08.16～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
18	大島 智美	アル・ファラビ 名称カザフ民族 大学	カザフスタン	05.08.16～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
19	山田 光子	ウラジオストク 極東国立大学	ロシア	05.08.16～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
20	齊藤 真美	インドネシア中 等教育機関	インドネシア	05.06.15～ 08.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
21	栗原 明美	インドネシア中 等教育機関	インドネシア	05.06.15～ 09.06.14	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
22	小原 亜紀子	インドネシア中 等教育機関	インドネシア	05.06.15～ 08.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
23	黒田 朋斎	ベトナム中等教 育機関	ベトナム	05.04.02～ 07.09.09	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
24	大和田 泰隆	キングサウド大 学	サウジアラビア	05.06.06～ 07.06.30	日本語教育専門家の指導を仰ぎながら、カリキュラム編成や教材の開発を行い、日本語の授業を担当する。
25	鈴木 由美子	タイ中等教育機 関	タイ	05.05.02～ 08.04.12	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
26	吉川 景子	タイ中等教育機 関	タイ	05.04.25～ 08.04.24	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
27	田中 真寿美	ロンドン事務所	英国	05.04.14～ 07.04.14	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
28	内藤 真理子	ダマスカス大学	シリア	04.08.17～ 07.07.31	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
29	藤原 由紀子	アインシャムス 大学	エジプト	04.08.15～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。

日本語事業費

	人物	受入機関	対象国	期間	事業内容
30	古川 敦子	カイロ大学	エジプト	04.08.15～ 06.06.30	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
31	鳴海 佳恵	遼寧教育学院	中国	04.07.20～ 07.07.19	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
32	平岩 ゆか	国立ラオス大学	ラオス	04.09.01～ 07.08.31	派遣先大学での日本語講座を担当するほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成を行う。
33	伊藤 愛子	タイ中等教育機関	タイ	04.04.15～ 07.04.14	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
34	増井 優子	インドネシア中等教育機関	インドネシア	04.06.11～ 06.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
35	吉田 好美	インドネシア中等教育機関	インドネシア	04.06.11～ 06.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
36	平岩 桂子	インドネシア中等教育機関	インドネシア	04.06.11～ 07.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。
37	飯野 令子	ブダペスト事務所	ハンガリー	05.06.08～ 08.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を行う。

2. 日本語派遣・助成費 (3)日本語教育学会助成

日本語教育学会が実施する教育研修事業、海外における日本語教育事情に関する調査研究、国内外における日本語教育事情に関する情報の提供、および情報交流の促進に資する事業の実施経費の一部を助成する。

合計額 20,949,000円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日本語教育学会助成	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	(社)日本語教育学会が実施する各種研修、調査研究事業に対して助成金を交付する。

2. 日本語派遣・助成費 (4)日本語教育機関支援（専任講師給与助成）

海外で日本語教育を行なう教育機関が日本語教授スタッフの拡充を目的として、専任の日本語教師（非常勤・兼任を除く）を新規に採用する場合、国際交流基金がその給与を当初の3年間で上限として助成する。

合計額 37,555,368円

	機関名	対象国名	事業内容
1	王立プノンペン大学	カンボジア	Hak Serey
2	ディラード大学	米国	Masako Dorrill
3	ハーバート フーバー 中学校	米国	Yukie Ozawa
4	マレー州立大学	米国	Masako Nakamura
5	サラマンカ大学	スペイン	Jun Nishihara
6	カタルーニャ公開大学	スペイン	Albert Nolla
7	グスタフ・ハイネマン高校	ドイツ	Kayoko Noro
8	ザグレブ大学	クロアチア	Yuzo Yada
9	コンケン大学	タイ	Hiroko Izu
10	南オーストラリア大学	オーストラリア	Laura Dales
11	シンシナティ大学	米国	Noriko Fujioka-Ito
12	ハイファ大学	イスラエル	Sigal Schneiden
13	ダマスカス大学	シリア	Houry Hazar
14	ロヨラ大学	米国	Peter B. Tillack
15	チューレーン大学	米国	Peter B. Tillack

2. 日本語派遣・助成費 (5)日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）

海外の非営利日本語教育機関で日本語講座の運営に財政的困難がある場合、近い将来自助独立の見通しのあるものに限り、講師スタッフの謝金の一部を助成する。

合計額 19,384,343円

	機関名	対象国
1	マラヤ大学日本留学予備教育課程	マレーシア
2	ハサヌディン大学	インドネシア
3	フエ師範大学	ベトナム
4	バンガロール大学	インド

日本語事業費

	機関名	対象国
5	オリッサコンピューターアプリケーションセンター	インド
6	日本語センター・ニューデリー	インド
7	文部省留学生協会（モサイ）	インド
8	パキスタン・日本文化協会（シンド）	パキスタン
9	カルバリー・クリスチャン・アカデミー	ミクロネシア
10	国立芸術学院	キューバ
11	日本パラグアイ学院	パラグアイ
12	リオデジャネイロ日伯文化協会	ブラジル
13	バイア州立大学	ブラジル
14	ノーボムンド日伯学園ベレン日本語学校	ブラジル
15	セアラ州立大学 人文学科	ブラジル
16	ラパス日本人会日本語普及学校	ボリビア
17	イヴァンフランコ記念リヴィヴ国立大学	ウクライナ
18	タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学	ウクライナ
19	タルトゥ大学	エストニア
20	ソフィア第18総合学校	ブルガリア
21	ラトビア大学現代言語学部東洋学科	ラトビア
22	リーガ文化高等学校	ラトビア
23	オマーン日本友好協会	オマーン
24	エジプト日本語教育振興会	エジプト
25	エンジニアリング観光コンピュータ通訳養成学院	マダガスカル
26	済州道韓日親善協会	韓国
27	アルバータ州教育省	カナダ
28	ブリティッシュ・コロンビア大学オカナガン校	カナダ
29	国立シエナ外国人大学	イタリア
30	ボンベウ・ファブラ大学	スペイン
31	ハンブルク独日協会	ドイツ

	機関名	対象国
32	ウォーウィック大学	英国
33	テルアビブ大学	イスラエル
34	スース大学	チュニジア
35	ニューオリンズ大学	米国
36	ウォルトウィットマン高校	米国

2. 日本語派遣・助成費	(6)日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
--------------	--------------------------

海外において日本語弁論大会を開催しようとする機関に対して、経費・賞品などの一部を助成する。
合計額 11,562,933円

	事業名	対象国	機関名	期間
1	(ウランバートル) 第5回 日本語スピーチコンテスト	モンゴル	モンゴル国立科学技術大学	06.11.18
2	第10回 瀋陽日本語弁論大会	中国	瀋陽日本人会	06.04.16
3	第31回 2006年度 香港日本語弁論大会	中国	香港日本文化協会	06.07.08
4	第10回 マカオ日本語スピーチコンテスト	中国	マカオ大学	07.03.01
5	第10回 日本語スピーチコンテスト	カンボジア	プノンペン大学	07.02.01
6	第5回 セブ日本語弁論大会	フィリピン	セブ日本人会	07.01.27
7	第12回 ホーチミン市日本語スピーチコンテスト	ベトナム	ホーチミン市日本語教師会	06.05.14
8	第12回 日本語スピーチコンテスト	ミャンマー	ミャンマー元日本留学生協会 MAJA	06.10.14
9	第4回 ラオス日本語スピーチ大会	ラオス	ラオス日本人材開発センター	07.03.10
10	第19回 東インド弁論大会	インド	印日福祉文化協会	06.09.01
11	第19回 西インド地区日本語弁論大会	インド	プネ印日協会	07.02.17
12	第19回 北部地区日本語弁論大会	インド	文部省留学生協会（モサイ）	06.11.04
13	日本語スピーチコンテスト	インド	印日商工会議所（チェンナイ）	07.02.17
14	第19回 日本語スピーチコンテスト	スリランカ	スリランカ日本語教育協会	07.03.17
15	第25回 日本語弁論大会	ネパール	ネパール日本語教師協会	07.03.10

日本語事業費

	事業名	対象国	機関名	期間
16	第22回 カラチ日本語弁論大会	パキスタン	パキスタン・日本文化協会（シンド）	07.02.24
17	第31回 日本語スピーチコンテスト	バングラデシュ	ダッカ日本語教室同窓会	07.03.20
18	第16回 日本語弁論大会	ウルグアイ	在ウルグアイ日本人会	06.10.14
19	第10回 日本語弁論大会	エクアドル	エクアドル・カトリック大学	07.01.19
20	第4回 エルサルバドル日本語スピーチコンテスト	エルサルバドル	エル・サルバドル大学	06.09.09
21	第11回 ハバナの日本語弁論大会	キューバ	ハバナ大学外国語学部	06.06.16
22	第9回 日本語弁論大会	グアテマラ	国立サン・カルロス大学言語センター	06.05.19
23	第15回 コロンビア西部地区日本語スピーチコンテスト	コロンビア	コロンビア日系人協会付属日本語学院	06.10.15
24	第20回 コロンビア日本語弁論大会	コロンビア	ハベリアーナ大学	06.10.21
25	第25回 日本語弁論大会	チリ	日智文化協会	06.10.27
26	第9回 日本語弁論大会	ニカラグア	中米大学	06.11.10
27	第18回 日本語スピーチコンテスト	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	06.09.23
28	第25回 日本語お話・弁論大会	ブラジル	汎アマゾン日伯協会	06.10.16
29	第25回 日本語弁論大会	ブラジル	リオグランデドスールカトリック大学	06.10.21
30	第12回 汎ブラジリア日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジリア日本語普及協会	06.11.16
31	第28回 リオ州及び第12回地方日本語弁論大会	ブラジル	リオデジャネイロ日伯文化協会	06.10.21
32	第27回 サンパウロ日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジル日本語センター	06.10.22
33	第22回 パラナ日本語スピーチコンテスト	ブラジル	クリチーバ日伯文化援護協会	06.10.07
34	第5回 東北日伯日本語スピーチコンテスト	ブラジル	レシフェ日本文化協会	06.10.08
35	第26回 全国日本語弁論大会	ペルー	ペルー日系人協会	06.10.22
36	第23回 メキシコ日本語弁論大会	メキシコ	メキシコ日本語教師会	06.05.28
37	バクー日本語弁論大会	アゼルバイジャン	バクー国立大学	06.10.07
38	第11回 ウクライナ日本語弁論大会	ウクライナ	ウクライナ日本語教師会	06.09.30

	事業名	対象国	機関名	期間
39	第15回 ウズベキスタン日本語弁論大会	ウズベキスタン	ウズベキスタン日本語弁論大会 実行委員会	07.03.17
40	第5回 エストニア国内日本語弁論大会	エストニア	エストニア日本語教師会	07.03.09
41	第9回 カザフスタン日本語弁論大会	カザフスタン	アル・ファラビ名称カザフ民族 大学	07.03.17
42	第11回 中央アジア日本語弁論大会キルギス代 表選抜大会	キルギス	キルギス日本語教師会	07.03.10
43	第6回 日本語発表会、スピーチコンテスト	クロアチア	ザグレブ大学哲学部	06.05.13
44	第14回 日本語スピーチコンテスト	ハンガリー	ハンガリー日本語教師会	06.11.11
45	第12回 日本語弁論大会	ブルガリア	キリル・メトディ国際基金	06.04.15
46	第2回 モルドバ共和国日本語スピーチコンテ スト	モルドバ	モルドバ日本交流財団	06.12.09
47	第6回 大学生日本語弁論大会	ラトビア	ラトビア大学現代言語学部東洋 学科	07.03.10
48	第11回 日本語弁論大会	ルーマニア	ルーマニア日本語教師会	07.03.17
49	第9回 日本語スピーチコンテスト	シリア	在シリア日本語教師会	06.11.30
50	第1回 日本語弁論大会	チュニジア	チュニジア帰国留学生会	06.12.06
51	第15回 アンカラ日本語弁論大会	トルコ	アンカラ日本語弁論大会実行委 員会	06.12.11
52	第10回 日本語スピーチコンテスト	ヨルダン	ヨルダン大学	07.03.03
53	第2回 日本語演説大会	ガーナ	ガーナ日本語協会	06.11.04
54	第1回 日本語コンクール	セネガル	アフリカ高等経営学センター	07.03.30
55	第15回 日本語弁論大会	韓国	済州道韓日親善協会	06.11.24
56	第10回 湖南大学校日本語弁論大会	韓国	湖南大学校	06.09.27
57	第6回 全国大学生日本語弁論大会	韓国	国立 昌原大学校	06.11.11
58	第38回 日本大使杯日本語スピーチコンテスト	シンガポール	シンガポール日本文化協会	06.07.09
59	第20回 ブルネイ日本語弁論大会	ブルネイ	ブルネイ教育省技術教育局生涯 教育課	06.07.01
60	A.C.T. 日本語弁論大会	オーストラリア	首都特別地域日本語教師会	06.08.01
61	タスマニア豪日協会/JATNETタスマニア日本 語弁論大会	オーストラリア	タスマニア豪日協会	06.08.01

日本語事業費

	事業名	対象国	機関名	期間
62	第35回 クイーンズランド州日本語弁論大会	オーストラリア	クイーンズランド州現代語教師会	06.08.27
63	第37回 西豪州弁論大会	オーストラリア	カーティン工科大学	06.09.03
64	第14回 北部準州日本語弁論大会	オーストラリア	北部準州語学教師会	06.09.02
65	第37回 日本語弁論大会ビクトリア州大会 (2006年)	オーストラリア	メルボルン大学アジア研究学科	06.09.09
66	第6回 日本語弁論大会	サモア	サモア国立大学	06.10.13
67	第13回 ウェリントン日本語大会	ニュージーランド	ウェリントン地区日本語教師会	06.08.18
68	「こんにちは」日本語弁論大会	ニュージーランド	カシミア高校	06.10.28
69	サウスランド中等教育機関日本語弁論大会	ニュージーランド	ジェームス ハーゲスト高校 高等キャンパス	06.06.28
70	2006年 オークランド地区日本語弁論大会	ニュージーランド	オークランド大学	06.08.01
71	第18回 オタワ日本語弁論大会	カナダ	オタワ日本語弁論大会準備委員会	07.03.10
72	第19回 BC州日本語弁論大会	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア州 日本語弁論大会実行委員会	07.03.17
73	第16回 アルバータ地区日本語弁論大会	カナダ	カルガリー大学	07.03.04
74	第25回 オンタリオ州日本語弁論大会	カナダ	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会	07.03.10
75	第18回 ケベック州日本語弁論大会	カナダ	マギル大学	07.03.11
76	第9回 アトランティック・カナダ日本語弁論大会	カナダ	マウント・アリソン大学	07.03.11
77	第18回 マニトバ日本語弁論大会	カナダ	マニトバ大学	07.03.02
78	第18回 全カナダ日本語弁論大会	カナダ	アルバータ大学	07.03.25
79	第33回 成人日本語弁論大会	米国	北加日米会(サンフランシスコ)	06.11.05
80	第20回 コロラド州日本語弁論大会	米国	コロラド大学東洋言語文学部	06.11.04
81	第24回 日本語スピーチコンテスト&スキット コンテスト	米国	兵庫経済文化センター(シアトル)	07.03.30
82	第18回 テキサス州日本語弁論大会	米国	テキサス州日米協会	07.03.03
83	第28回 ハワイ日系人連合協会日本語話し方大会	米国	ハワイ日系人連合協会	06.04.15

	事業名	対象国	機関名	期間
84	2007年 日本語弁論大会	米国	ジョージア州日米協会	07.03.10
85	第10回 CSLA日本語スピーチコンテスト	米国	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	07.02.24
86	第17回 アリゾナ日本語弁論大会	米国	アリゾナ日本語教師協会	06.04.23
87	第8回 ルイジアナ日本語弁論大会	米国	ルイジアナ日本語教師会	07.03.31
88	歌とドラマによる競技会	米国	グアム日本語教師会	06.12.23
89	第3回 日本語弁論大会	米国	南ネバダ日本語教師会	06.11.18
90	第12回 海外高校生のための日本語スピーチコンテスト	米国	米国北東部日本語教師会	07.03.26
91	第3回 デラウェアバリー日本語スピーチコンテスト	米国	デラウェアバリー日本語教師会	07.03.31
92	第3回 日本語スピーチコンテスト	アイスランド	アイスランド大学	06.05.20
93	第5回 アイルランド日本語弁論大会	アイルランド	アイルランド日本語教師協会	07.02.24
94	第26回 日本語弁論大会	ギリシャ	日本文化研究会	06.04.08
95	第15回 バルセロナ日本語弁論大会	スペイン	バルセロナ水曜会	06.05.06
96	第22回 日本語で語る会	フィンランド	フィンランド・日本語日本文化教師会	07.03.25
97	第31回 日本語弁論大会	チェコ	チェコ・日本友好協会	07.03.01
98	第5回 ベラルーシ日本語弁論大会	ベラルーシ	ベラルーシ日本語教師会	06.09.27
99	第19回 CIS学生日本語弁論大会	ロシア	CIS日本語教師会	06.10.28
100	第11回 ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会	ロシア	極東国立総合大学東洋学大学	06.10.01
101	第2回 モスクワ日本語スピーチコンテスト	ロシア	モスクワ日本語教師会	06.05.13

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 (7)日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）

海外の日本語教師、日本語教育研究者、日本語教育機関のネットワーク化を促進することを目的に、各国の日本語教師会、日本語教育学会、高等教育機関、研究機関などに対し、日本語教育に関する学術会議、セミナー、ワークショップ、日本語教師研修会などのプロジェクト実施経費の一部を助成する。

合計額 13,132,476円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	2006年「日本語文化教育と研究」国際学術シンポジウム	中国	中国日語教学研究会	06.09.14～ 06.09.17	研究成果の発表、情報の交換、日本・韓国・シンガポール・台湾・香港などアジア各国・地域の日本語教育機構と広範な学術交流ネットワークを展開することを目的とする。
2	2006' 清華大学 日本語文化国際フォーラム	中国	清華大学	06.05.26～ 06.05.29	国内外の一流日本学研究者を一同に会し、学問的交流促進を図り、新しい研究成果に発表の場を提供することにより、日本語教育・日本学研究の進展に貢献することを目的とする。
3	TPA 講師セミナー：タイ人講師のための考え方セミナー（日本語の運用能力を考える）	タイ	(財)泰日経済技術振興協会付属日本語学校	06.10.21～ 06.10.22	中等・高等教育レベルの学生を教えるタイ人教師を対象に「運用能力」についての教師自身の理解を図る。専門家2名を招聘した講義。グループ単位での「運用能力」を焦点に当てた授業の立案。
4	タイ北部日本語教育ネットワーク・セミナー	タイ	チェンマイ大学	07.03.18～ 07.03.18	同大学日本語学科とタイ北部の中・高等教育機関の間の日本語教育に関する情報交換及び連携強化。2007年度より導入予定の入試システムについての概説及び受検対策についての意見交換。 高等教育機関のカリキュラム紹介・既習者対策。分科会。
5	第6回 ウクライナ日本語教育セミナー	ウクライナ	ウクライナ日本語教師会	07.03.01～ 07.03.02	キエフを中心に、ウクライナ全土の日本語教師のネットワークを形成し、日本語教育のレベルアップと情報交換の場を作ることによって、各地方の日本語教育の活性化を図る。専門的な理論・実践研究の発表。各教師会からの報告。
6	「辺境」における日本語教育	カザフスタン	カザフスタン日本語教師会	06.04.29～ 06.05.01	中央アジア・コーカサス・シベリアの日本語教育関係者のネットワーク形成促進。教育実践上の諸問題に対する効果的対処法を学ぶ。講演、各国日本語教育事情の報告。パネルディスカッション。討論。新着図書と教材の紹介。
7	第2回 ブルガリア日本語教育セミナー	ブルガリア	ブルガリア日本語教師会	06.09.09～ 06.09.10	ブルガリア及び近隣諸国の日本語教育水準の向上を図ると共に、当地域の日本語教師間の情報交換とネットワーク促進に寄与する。
8	第1回 ルーマニア日本語教師会日本語教育・日本語学シンポジウム	ルーマニア	ルーマニア日本語教師会	06.09.23～ 06.09.24	ルーマニアと隣国の日本語教育関連教師にそれぞれの研究成果発表の機会を与え、互いの研究を知り合うことで日本語教育全体のレベルアップを図る。日本語教育関連機関の現地報告と研究発表。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
9	第5回 トルコ 日本語教師会大会	トルコ	中東工科大学	06.09.01～ 06.09.02	トルコ国内の日本語教育関係者のネットワーク形成促進、及び研修を目的とする。基調講演、講演、発表、及び教師会総会を行う。
10	ニュージーランド日本語教師 ネットワークプロジェクト2006	ニュージーランド	ビクトリア・リンク（ビクトリア大学）	06.07.02～ 06.07.05	ニュージーランドの日本語教員間の情報交換・交流の促進、および日本語能力・日本語教育能力の向上を目指す。 ニュージーランド外国語教師会全国大会へ講師を招聘する。
11	カナダ日本語教育振興会 2006 年度年次大会	カナダ	カナダ日本語教育振興会	06.08.25～ 06.08.28	「日本語教育及び日本文化・日本語研究に関する研究論文発表」「日本語教師のための研修会、及びワークショップ」「教材展示販売」「情報交換会や親睦交流会」を行う。テーマは「日本語教育と生きた日本語」。
12	日本語教育国際研究大会2006 「日本語教育、新時代を迎える」	米国	米国日本語教師会連盟	06.08.05～ 06.08.06	新しい日本語教育のあり方について、講演(第2言語習得理論、日本文学・文化・アニメ、言語運用能力・評価)、世界の日本語教育学会代表者によるシンポジウム、パネル・ディスカッション等を行う。
13	第11回 ヨーロッパ日本語教育シンポジウム	オーストリア	オーストリア日本語教師会	06.09.14～ 06.09.16	ヨーロッパにおける日本語教育に携わる教師達を会し、「学習者中心の日本語教育－ヨーロッパ圏の拡大の中で」をテーマに、講演・ワークショップ・研究発表等を行う。
14	第13回 日本語教育セミナー	スイス	スイス日本語教師の会	07.03.17～ 07.03.18	講演、ワークショップ、質疑応答を通してスイス及びリヒテンシュタインの日本語教師の能力向上を図るセミナー。会員相互、セミナー参加教師や専門家との交流を通じて専門的な情報交換やネットワーク構築を目的とする。
15	ワークショップ：日本語で教えるニホンゴー 直接教授および学習ストラテジーのモデル授業と講義	スウェーデン	ルンド大学	06.09.02～ 06.09.03	北欧の中・高等教育機関日本語講師を対象に教授法紹介とその検討、経験交換など教師間ネットワーク構築を目的とする。
16	第13回 ドイツ語圏大学日本語教育研究会シンポジウム	ドイツ	ドイツ語圏大学日本語教育研究会	07.03.02～ 07.03.04	高等教育機関で日本語教育に携わる教師の資質を高め、より合理的な日本語教育の実践に寄与する。テーマ：「教育目標の広域化の中で-実践報告と研究発表」（仮題）。講演、発表・討論、情報交換の場を提供。
17	第16回 全国定例研修会(2007)	ドイツ	社団法人ドイツ市民大学日本語講師の会	07.03.23～ 07.03.25	ドイツにおけるVHS(生涯教育学校)の日本語講師の教授能力向上のために、講義、ワークショップ、情報交換等を実施する。

日本語事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	第18回 ドイツ語圏中等教育日本語教師研修会	ドイツ	ドイツ語圏中等教育日本語教師会(VJS)	06.10.13～ 06.10.15	ドイツ語圏中等教育日本語教師を対象に新学習要綱に則った「日本語運用能力」のあり方を考え、その向上と実現に向けた指導と実践について講演、ワークショップ、研修会を行う。
19	第8回 フランス日本語教育シンポジウム	フランス	フランス日本語教師会	06.04.21～ 06.04.22	フランスにおいて日本語教育に携わる教師の連携を促し、日本語教育の質の向上を目的としている。
20	第9回 BATJ 発表会	英国	英国日本語教育学会	06.09.08～ 06.09.09	高等教育機関の日本語教育関係者に研究発表、及び意見交換の場を提供する。日本語教育関連専門家の講演を通じて啓蒙と専門知識向上を図る。
21	メキシコ日本語教育シンポジウム	メキシコ	メキシコ日本語教師会	07.02.23～ 07.02.25	学習者の習得度を正しく評価する測定テストの作成法や、コースデザイン見直しの講義・ワークショップ。
22	イタリア日本語教育協会教師研修会	イタリア	イタリア日本語教師会	07.03.22～	日本語学や教授法における知識の拡充・整理に役立て、各教師間の議論、情報交換の場とする。
23	2006年 スペイン日本語教師研修会	スペイン	バルセロナ日本語教師会	06.10.22～	スペインにおける日本語教育のレベルアップと振興を目指し、スペイン全土、及びスペイン外からも広く参加者を募り、参加教師による研究発表、招待講師による講演、及び各地域の情報交換。

2. 日本語派遣・助成費 (8)日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・指導助手)

ジャパンファウンデーション・ボランティアの1つとして、海外の日本語教育機関で、国際交流基金派遣専門家の指導・支援を受けて日本語を教える。

合計額 48,440,651円

	人物	対象国	受入機関	期間
1	小関 智子	ウズベキスタン	ウズベキスタン人材開発日本センター	06.08.21～ 08.07.31
2	砂金 里奈	カザフスタン	カザフスタン日本人材開発センター	06.08.22～ 08.06.30
3	菅原 和未	キルギス	キルギス日本人材開発センター	06.08.22～ 08.07.31
4	月森 育子	ポーランド	日本美術技術センター	06.08.14～ 08.08.31

	人物	対象国	受入機関	期間
5	岡田 叔子	ベトナム	ハノイ貿易大学 ベトナム日本人材協力センター	06.07.22～ 08.07.31
6	山本 真理	ベトナム	ハノイ貿易大学 ベトナム日本人材協力センター ホーチミン師範大学	06.07.25～ 08.07.24
7	田淵 七海子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	06.09.01～ 08.08.31
8	中川 美保	カンボジア	カンボジア日本人材開発センター	06.08.01～ 08.07.31
9	倉持 和菜	ベトナム	チューヴァンアン中学校 チューバナン中学校	06.08.03～ 08.08.02
10	小林 ますみ	シリア	ダマスカス大学	06.08.20～ 08.07.31
11	夷石 寿賀子	フランス	パリ日本文化会館	06.06.12～ 08.07.18
12	渡邊 知積	キルギス	キルギス日本人材開発センター	05.08.10～ 06.07.31
13	秋山 佳世	ラオス	ラオス日本人材開発センター	05.09.11～ 06.07.31
14	佐藤 雅子	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター ベトナム日本文化センター（ホーチミン） ホーチミン師範大学	05.08.22～ 06.07.31
15	横山 直子	ベトナム	ハノイ貿易大学 ベトナム日本人材協力センター ベトナム日本文化センター（ハノイ）	05.08.22～ 06.07.31
16	山下 貴子	ベトナム	チューヴァンアン中学校 ベトナム中等教育機関	05.08.15～ 06.06.30
17	川村 秋子	ウズベキスタン	ウズベキスタン人材開発日本センター	05.08.24～ 06.08.02
18	和栗 夏海	カザフスタン	カザフスタン人材開発センター	05.08.23～ 06.07.12
19	黒田 類	ポーランド	クラクフ日本美術技術センター	05.09.15～ 06.08.31

日本語事業費

	人物	対象国	受入機関	期間
20	小曾戸 祥	シリア	ダマスカス大学	05.08.21～ 06.07.31

2. 日本語派遣・助成費	(9)日本語教育専門家派遣（JFボランティア・シニア客員教授）
--------------	---------------------------------

海外の中核的日本語教育機関などで日本語講座の新規立ち上げを行なったり、当該国の日本語教育のレベルアップのためのアドバイザー業務を行なう。

合計額 7,442,397円

	人物	対象国	受入機関	期間
1	北條 淳子	フランス	パリ日本文化会館	05.11.14～ 07.12.22

3. 日本語能力試験費 (1)日本語能力試験実施

海外の日本語学習者を対象として、その日本語能力を測定し、級別（1級～4級）に認定する試験を実施した。46の国・地域、127都市において364,480人の受験者があった。

合計額 234,287,541円

	国	都市	受験者数		国	都市	受験者数	
1	韓国	ソウル	30,896	71	オーストラリア	キャンベラ	65	
2		釜山	19,822	72		ブリスベン	205	
3		全州	5,739	73		パース	87	
4		済州	1,227	74		シドニー	381	
5		仁川	12,811	75		メルボルン	150	
6	中国		14,485	76		アデレード	72	
7		北京	27,256	77	ニュージーランド	オークランド	309	
8		上海	4,700	78	ウェリントン	75		
9		長春	13,233	79	クライストチャーチ	116		
10		大連	10,272	80	カナダ	バンクーバー	468	
11		広州	4,634	81		トロント	315	
12		瀋陽	8,090	82	米国	ロサンゼルス	457	
13		天津	4,078	83		シカゴ	340	
14		ハルビン	5,250	84		ニューヨーク	416	
15		西安	1,258	85		ホノルル	94	
16		重慶	4,131	86		アトランタ	180	
17		済南	5,791	87		サンフランシスコ	452	
18		武漢	3,359	88		ワシントンD.C.	186	
19		廈門	8,894	89		シアトル	225	
20		杭州	1,253	90		メキシコ	メキシコシティ	981
21		フフホト	2,346	91	アルゼンチン	ブエノスアイレス	567	
22		洛陽	7,607	92	パラグアイ	アスンシオン	713	
23		蘇州	4,382	93	ブラジル	サンパウロ	1,762	
24		青島	3,525	94		ロンドリーナ	504	
25		長沙	1,957	95		ベレーン	72	
26		成都	9,159	96		リオデジャネイロ	242	
27		南京	3,444	97		ポルトアレグレ	95	
28		合肥	5,008	98		ブラジリア	179	
29		深圳	3,032	99		サルバドール	60	
30		南昌	1,333	100	ベネズエラ	カラカス	-	
31		石家荘	1,052	101	ペルー	リマ	313	
32		太原	2,127	102	ボリビア	サンタクルス	291	
33		寧波	2,447	103	イタリア	ローマ	295	
34		無錫	1,250	104		ミラノ	216	
35		貴陽	12,221	105	英国		690	
36		〈台湾〉	台北	30,096	106	ギリシャ	アテネ	289
37			高雄	10,676	107	スイス	ベルン	230
38			台中	8,799	108	スペイン	バルセロナ	285
39		モンゴル	ウランバートル	813	109	マドリッド	294	
40		インドネシア	ジャカルタ	2,894	110	デンマーク	コペンハーゲン	67
41	バンドン		1,347	111	ドイツ	デュッセルドルフ	424	
42	スラバヤ		955	112		シュトゥットガルト	285	
43	メダン		641	113		ベルリン	251	
44	ジョグジャカルタ		766	114	フィンランド	ヘルシンキ	68	
45	パダン		278	115	フランス	パリ	1,086	
46	デンパサール		227	116	ウクライナ	キエフ	286	
47	カンボジア	プノンペン	629	117	ウズベキスタン	タシケント	358	
48	シンガポール	シンガポール	3,712	118	カザフスタン	アルマティ	331	
49	タイ	バンコク	9,646	119	ハンガリー	ブダペスト	298	
50		チェンマイ	1,794	120	ブルガリア	ソフィア	125	
51		ソンクララー	421	121	ポーランド	ワルシャワ	223	
52	フィリピン	マニラ	2,106	122	ルーマニア	ブカレスト	286	
53		セブ	315	123	ロシア	モスクワ	980	
54		ダバオ	129	124		ウラジオストク	249	
55	ベトナム	ハノイ	2,540	125		ノボシビルスク	245	
56		ホーチミン	5,505	126		ハバロフスク	193	
57	マレーシア	クアラルンプール	1,929	127		ユジノサハリンスク	170	
58		ペナン	512	128		トルコ	アンカラ	268
59		イポー	114	129		エジプト	カイロ	216
60		コタキナバル	280	130	ケニア	ナイロビ	149	
61	ミャンマー	ヤンゴン	2,664	人 数 計			364,480	
62	インド	ニューデリー	1,269	※イスラマバード（パキスタン）、ダッカ（バングラデシュ）、カラカス（ベネズエラ）は、現地事情により、本年度日本語能力実施見送り。				
63		プネ	2,113					
64		コルカタ	260					
65		チェンナイ	1,724					
66	スリランカ	コロンボ	1,137					
67	ネパール	カトマンズ	865					
68	パキスタン	イスラマバード	-					
69		カラチ	26					
70	バングラデシュ	ダッカ	-					

日本語事業費

3. 日本語能力試験費	(2) 評価開発
-------------	----------

試験結果を分析し、報告書を作成する。また、年少者向けインターネット試験を運営する。

合計額 30,036,413円

	事業名	期間	事業内容
1	分析評価報告書作成	06.04.01~07.03.31	日本語能力試験の統計的な分析結果に基づく評価を報告し、今後のより良いテスト問題作成に資するとともに、日本語教育の研究者や参加者に日本語テスト研究用資料を提供するため『平成17年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』の刊行準備を行なった
2	年少者向けインターネット試験	06.04.01~07.03.31	世界で日本語を学習している年少者（日本語入門レベル）を対象としたインターネット日本語テスト「すしテスト (http://momo.jpf.go.jp/sushi/)」の運営

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（在外邦人）
- (6) 海外日本語教師研修（国別）
- (7) 受託研修（日本語国際センター）
- (8) 地域交流研修（日本語国際センター）

2. 制作事業費

- (1) 日本語教材制作支援（日本語教育フェロローシップ）
- (2) 日本語教材自主制作・普及
- (3) 日本語教材制作支援（助成）
- (4) 日本語教材（寄贈）
- (5) 図書館運営（日本語国際センター）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)

海外の日本語教育機関などの現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、3年間で博士課程、1年間で修士課程を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 37,778,696円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日本語教育指導者プログラム (15年度博士)	中国	03.09.29～ 07.09.28	各国の日本語教育界において指導的立場にたつ人材の養成を目的に、3年間で博士後期課程 (博士) を修了するプログラム。
2	日本語教育指導者プログラム (16年度博士)	タイ	04.09.29～ 07.09.28	各国の日本語教育界において指導的立場にたつ人材の養成を目的に、3年間で博士後期課程 (博士) を修了するプログラム。
3	日本語教育指導者プログラム (17年度博士)	中国	06.03.12～ 09.03.11	各国の日本語教育界において指導的立場にたつ人材の養成を目的に、3年間で博士後期課程 (博士) を修了するプログラム。
4	日本語教育指導者プログラム (18年度博士)	インド	07.03.26～ 10.03.25	各国の日本語教育界において指導的立場にたつ人材の養成を目的に、3年間で博士後期課程 (博士) を修了するプログラム。
5	日本語教育指導者プログラム (17年度修士)	インドネシア ウクライナ カザフスタン キルギス ベトナム マダガスカル マレーシア ミャンマー 中国	05.09.29～ 06.09.18	各国の日本語教育界において指導的立場にたつ人材の養成を目的に、1年間で博士前期課程 (修士) を修了するプログラム。17年度は、9か国より11名を招へいする。
6	日本語教育指導者プログラム (18年度修士)	インド キルギス ケニア フィリピン ブラジル ベトナム マレーシア ヨルダン 中国	06.09.29～ 07.09.18	各国の日本語教育界において指導的立場にたつ人材の養成を目的に、1年間で博士前期課程 (修士) を修了するプログラム。18年度は、9か国より10名を招へいする。
7	フォローアップ・セミナー開催	ウズベキスタン ウクライナ カザフスタン ロシア	06.10.26～ 06.11.08	日本語教育指導者養成プログラムの広報を行うと同時にフォローアップ調査をかねてセミナーを開催する。周辺国の修了者及び候補者をタシケントに招へいする。

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (2) 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 5,400,789円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外日本語教師上級研修 (18年度)	インド スイス スペイン タイ ブラジル ベトナム マレーシア ロシア 中国	06.05.31～ 06.07.28	日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、および各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を行う。9カ国から9名を招へい。

1. 研修事業費 (3) 海外日本語教師研修 (長期)

海外の中・高等教育機関などの日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師および日本語教師となることがすでに決まっている者を約5カ月招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行なう。

合計額 89,046,600円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外日本語教師長期研修	アルゼンチン インド インドネシア ウクライナ ウズベキスタン オーストラリア カザフスタン カンボジア キューバ キルギス グルジア スリランカ タイ チリ ニュージーランド ネパール フィリピン ブラジル フランス ベトナム メキシコ モンゴル ラオス ルーマニア ロシア	06.09.13～ 07.03.09	25カ国、63名の外国人若手日本語教師を5ヵ月半招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行う。

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (4) 海外日本語教師研修 (短期)

海外の初・中・高等教育機関などの日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法および日本事情の集中研修を実施する。

合計額 88,990,906円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	春期	インド インドネシア ウクライナ ウズベキスタン オーストラリア ガーナ スリランカ タイ ニュージーランド バングラデシュ ブラジル ベトナム マレーシア ロシア 米国	06.05.10～ 06.06.29	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師15ヶ国39名を2ヶ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行う。
2	夏期	アルメニア イタリア イラン インド インドネシア ウクライナ エジプト オーストラリア カナダ キルギス スウェーデン スリランカ セルビア・モンテネ グロ タイ ドイツ ネパール フィンランド ブラジル フランス ブルガリア ベトナム マダガスカル マレーシア メキシコ リトアニア ロシア	06.07.05～ 06.08.25	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師海外26カ国から56名の日本語教師を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行う。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
3	冬期	インド インドネシア ウズベキスタン オーストラリア カンボジア キルギス グルジア タイ ネパール フィリピン ブラジル ベトナム ペルー マレーシア メキシコ モンゴル ルーマニア ロシア 韓国	07.01.31～ 07.03.23	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師19ヶ国36名を2ヶ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行う。

1. 研修事業費 (5) 海外日本語教師研修 (在外邦人)

海外に在住し、日本語教育に携わっている日本人教師を招へいし、日本語教授法などに関する集中研修を行なう。
合計額 13,043,949円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外日本語教師研修 (在外邦人)	アイルランド イタリア インドネシア オーストラリア カナダ シンガポール スウェーデン スペイン タイ チリ ドイツ トルコ ニュージーランド バングラデシュ ブラジル マレーシア メキシコ ラオス 英国 中国 (香港)	06.11.15～ 06.12.15	海外に在住している日本人日本語教師20カ国29名を本邦に招へいし、日本語教授法の集中研修を行うとともに、日本事情等に関する最新の情報を収集する機会を提供する。

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 (6) 海外日本語教師研修 (国別)

非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府（教育部など）、国際交流基金事務所、在外公館などからの推薦により参加を決定する以下の研修を行なう。

合計額 75,721,969円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	インドネシア	インドネシア	06.04.19～ 06.06.09	インドネシア政府と基金ジャカルタ日本語センター共同でインドネシア国内において1年間の日本語教師養成講座を行っているが、この修了生20名を約2ヵ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を行う。
2	韓国	韓国	06.07.26～ 06.08.25	韓国政府教育部が選抜した高等学校の日本語教師50名を約1ヵ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を行う。
3	中国大学	中国	06.09.20～ 06.11.09	中国の大学等高等教育機関の日本語教師39名を約2ヵ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を行う。
4	中国中等	中国	07.01.31～ 07.03.23	中国の中等教育機関の日本語教師20名を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を行う。
5	豪州・ニュージーランド	オーストラリア ニュージーランド	07.01.10～ 07.01.29	豪州、ニュージーランド政府が選抜した初等、中等教育の日本語教師26名を約3週間招へいし、日本語、日本事情の集中研修を行う。
6	米国・カナダ・英国	カナダ 英国 米国	06.06.25～ 06.07.22	米国、カナダ、英国の初等・中等教育の日本語教師17名を約3週間招へいし、日本語、日本語教授法、日本文化に関する集中研修を行う。
7	2006年日豪交流年日本語教師招へい	オーストラリア	06.07.03～ 06.07.14	2006年日豪交流年事業の一環として、オーストラリアの初中等、高等教育機関のオーストラリア人日本語教師48名を12日間招へいし、日本と日本文化への理解を深めることを目的とする集中研修を行う。

1. 研修事業費 (7) 受託研修 (日本語国際センター)

外部機関から受託した研修。

合計額 382,113円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	埼玉県海外技術研修員日本語研修	ブータン ベトナム	06.05.25～ 06.06.23	埼玉県が招へいする海外技術研修員2名の1ヶ月間の日本語研修を受託する。

1. 研修事業費 (8)地域交流研修 (日本語国際センター)

日本語国際センターの位置する埼玉県、ならびに全国各自治体の国際交流活動に対する協力の観点から、JETプログラム(語学指導などを行なう外国青年招致事業)参加者などに対して、以下の日本語、教授法の研修を行なう。
合計額 41,160円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	JET青年日本語研修	インド オーストラリア カナダ フランス ペルー 英国 韓国 中国 米国	07.03.22～ 07.03.28	全国のJETプログラム参加者の中から希望者20名に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施する。

2. 制作事業費 (1)日本語教材制作支援 (日本語教育フェローシップ)

海外の日本語教育機関などが自国の日本語教育の実情に即して、教材の制作やカリキュラム・教授法などの開発を行なうなどの目的で、日本語教育専門家に日本で研究・調査させる必要がある場合に、専門家来日のための経費などを支援する。
合計額 16,234,366円

	人物	対象国	対象機関	現職	期間	事業内容
1	LUVSANBALDAN, Enhsaihan	モンゴル	モンゴル国立大学モンゴル言語・文化学部	日本語専任講師	06.10.01～ 07.01.31	日本語・モンゴル語政治・経済用語辞典の制作。
2	SERITA, Virpi	フィンランド	ヘルシンキ商科大学	非常勤講師	06.05.03～ 06.06.18	ビジネス場面での初級日本語(上・下)教材作成プロジェクト。
3	TAMASHEVICH, Maria	ロシア	ロシア国立ゲルツェン教育大学	大学院3年生、日本語教師	06.07.02～ 06.08.30	日本語教師を目指す人のための問題集の制作。
4	CHINGPRASURTSUK, Pacharee JONGSUTJARITAM, Pranee	タイ	泰日工業大学	校長 カリキュラム開発語学部責任者	07.03.21～ 07.05.04	タイ人のための新ビジネス日本語教科書作成プロジェクト。
5	二木 緋紗子	ドイツ	ドレスデン工科大学東アジアセンター	非常勤講師	06.08.10～ 06.10.09	ドイツ語母語話者を対象とする日本語初級教科書。
6	内藤 満地子	オーストラリア	スケッグス・レッドランズ	アジア言語課主任	06.09.20～ 06.12.19	インターナショナル・バカロレア(IB)対応教科書の制作。
7	BARAZER, Frederique	フランス	アンペール公立高等学校	専任講師	06.06.26～ 06.08.25	『日本語のまねきねこ・レベル2』中高生向けの教科書制作。

附属機関日本語国際センター事業費

	人物	対象国	対象機関	現職	期間	事業内容
8	MORITA, Emma Simona	ルーマニア	バベシュ ボ ヨイ大学文学 部	準教授、東洋 言語プログラ ム責任者	06.08.30～ 06.11.26	2004年度の日本語教育フェローシップ プログラムにより完成した初級基礎構 文編に続く中級向けの構文教材の制 作。
9	劉 麗華	中国	吉林大学	教授	07.01.14～ 07.07.13	これまでの実習例のみの教材とは異なる、中・上級向けの初の通訳総合能力 養成教材を制作
10	芳 軼探 尹 松	中国	華東師範大学 外国語学院	専任講師 専任講師	06.06.28～ 06.09.27	新世紀大学日本語専攻シリーズ教材－ 聴解－の制作。
11	NGO, Minh Thuy	ベトナム	教育訓練省・ 教育カリキュ ラム戦略研究 所	副学部長、日 本語日本文化 学科長	06.07.02～ 06.08.16	中学・高校に正式科目として日本語教 育を導入するため、試験的なカリキュ ラム、シラバス、教科書の制作を実施。
12	PAVLOVSKAYA, Nadezhda	ロシア	モスクワ国立 言語大学	専任講師	06.01.15～ 06.05.14	ロシア語を母語とする学習者向けの初 級発音教材の制作。
13	オヘイガン統 子 松本-スター ト洋子	英国	エディンバラ 大学	専任講師 専任講師	05.12.28～ 06.02.26	従来の翻訳部門に加え、映像部門、ゲ ーム部門を含むより広範な翻訳部門に 対応できる翻訳者の養成を目指した翻 訳カリキュラムの開発。
14	SKULKRU, Pakatip	タイ	タマサート大 学教養学部日 本語学科	教養学部日本 語学科准教授	06.03.06～ 06.05.05	「タイ人学習者のための日本語音声」 教材開発。
15		個別区分困難				日本語教育フェローシッププログラム 運営のために必要な通常業務を実施。

2. 制作事業費 (2)日本語教材自主制作・普及

海外における日本語教育のために効果的な日本語教材を開発する。

合計額 305,990,240円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	みんなの教材サイト	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	インターネットを通じ、世界中の日本語教師に向けて日 本語教材用の素材と教材制作のノウハウを提供するとと もに、日本語教師同士のコミュニティ構築を目指すウェ ブサイト。2002年5月公開。平成18年度は、文法素材を 追加するとともに、平成19年度に予定している再構築の 計画を策定した。
2	教科書を作ろう	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	日本語版・英語版の配布及び在庫管理を行った。

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
3	TVコマーシャル集	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	「TVコマーシャル集 2005」を世界各国で活用。また、ロサンゼルス事務所と協力し、動画素材を使った日本語教育のサポートサイトを提供。
4	日本語教授法シリーズ・レリアアイデア帖	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	新規日本語教材『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』及び『日本語教師必携 すぐ使える「レリア・生教材」アイデア帖』の制作。
5	テレビ日本語講座	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	海外におけるテレビ日本語講座の放映を促進するために、英語版テレビ日本語講座の提供。
6	重点支援／インドネシア	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	インドネシア普通高校新カリキュラムに対応した教科書制作支援。
7	DVD・TV映像教材	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	中等段階向け映像教材「エリンが挑戦！ にほんごできます。」を制作し、2006年10月からNHK教育テレビ及びNHKワールド等で放映を開始。
8	基礎日本語学習辞典	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	基礎日本語学習辞典英語版第二版に関して、アラビア語版、中国語（繁体字）版、フランス語版、スペイン語版の翻訳出版。

2. 制作事業費 (3)日本語教材制作支援（助成）

海外で使用される日本語教材の出版に対し、制作経費の一部を助成する。

合計額 12,226,007円

	教材	対象国	出版社	期間	事業内容
1	にほんごかんたん	アイルランド	Post-Primary Languages Initiative	06.04.01～ 07.03.31	コミュニケーションを重視し、トピック別に構成された初級向けの教材。各章は、目標や文法・語彙のほか、「おぼえましょう」「れんしゅうしましょう」「かんじコーナー」「文化コーナー」からなる。
2	エ・日辞典	エストニア	イロ出版社	06.04.01～ 07.03.31	日本語能力試験4級から2級の語彙約5000語を収録。
3	独学のための日本語	チェコ	チェコ・日本友好協会	06.04.01～ 07.03.31	初級の独学者を対象にした、日本語・チェコ語併記の教科書。
4	日本語能力試験(4級) - 完全対応 - 日本語テキスト	ミャンマー	ティンミャンマーランゲージセンター	06.04.01～ 07.03.31	日本語能力試験4級対応のテキスト。文法、文型、語彙、漢字は日本語能力試験4級の基準に沿って構成。単語や文にはミャンマー語訳がつき、ミャンマー語による文法解説もついている。

附属機関日本語国際センター事業費

	教材	対象国	出版社	期間	事業内容
5	古典日本語:読解と基本辞書	米国	コロンビア大学出版局	06.04.01～ 07.03.31	第2次世界大戦前の日本語の文章を読めるようになるための教材。『源氏物語』や夏目漱石のテキストなどを取り上げ、各自の学習経験に合わせて使えるよう、更なる学習のためのレファレンスや歴史の背景説明などを備える。
6	福岡からこんにちは! CDブック1,2	ドイツ	ジャパンパブ	06.04.01～ 07.03.31	冊子教材『福岡からこんにちは』の附属聴覚教材。冊子の本文のナレーションとその語彙、基本文型、練習問題の抜粋。聴覚トレーニング用としてその課の文法シラバスを組み込んだ自由課題など。
7	プログレッシブ日本語初級I	ブラジル	日伯文化連盟	06.04.01～ 07.01.31	言語4技能とコミュニケーション能力・読解能力を習得することを目的に、I-VIまでの6分冊で構成されるうちの第1巻。各課は次の6項目で構成される。①モデル会話・文章 ②漢字練習 ③文型練習 ④応用練習 ⑤新出文型の説明(ポルトガル語) ⑥新出語彙(ポルトガル語)
8	みんなの日本語初級II 翻訳・文法解説(グルジア語版)	グルジア	イリア・チャブチャヴァツセ国立大学	06.04.01～ 07.03.31	「みんなの日本語初級II 翻訳・文法解説(スリーエーネットワーク刊)」のグルジア語版
9	海外に住むバイリンガル児童のための「にほんご2ねんせいーはないちもんめー」	スイス	スイス日本語教師の会	06.04.01～ 07.03.31	海外在住のバイリンガル児童向けの教材。聞く、話す、読む、書く力をバランス良く身に付けることができる。媒介語を用いていないので普遍性がある。
10	日本語の発音とイントネーション	中国	世界図書出版公司	06.04.01～ 07.03.31	音声学の知識をあまり持たない日本語教師と日本語学専攻の大学院生のためのもので、主に伝統的な音声学の立場から、母音、子音など分節音の調音の仕方、アクセント、イントネーション、プロミネンスなど超分節音の知識及び音声指導方法などを扱う。
11	日本語ガイドの基礎知識100	カンボジア	一二三日本語教室	06.04.01～ 07.03.31	モジュール式の100課からなる教科書で、項目は「挨拶・概略」「市内・湖」「文化・習慣」「歴史」など。各課は「スキーマの活性化を図る活動」「本文」「語彙」「質問」「発表練習」で構成され、課により「フローチャート」「コラム」も添えられている。語彙索引つき。
12	らくらく日本語	中国	大連出版社	05.04.01～ 06.12.31	中国語を母語とする一般成人向け初級総合教材
13	日本語・クロアチア語辞典	クロアチア	Dominovic d. o.o.	05.04.01～ 07.03.31	日本語-クロアチア語、クロアチア語-日本語の辞典。各6,000語を収録。簡単な日本語文法の解説付。

	教材	対象国	出版社	期間	事業内容
14	日本語中級総合 教程	中国	高等教育出版社	05.04.01～ 07.03.31	学生用教科書（CD-ROM付）と教師用指導書で構成される第2外国語（非専攻）の大学生向けの中級総合教材。「中国と日本と比べてみましょう」、「日本での生活を体験しましょう」「日本の文化にふれましょう」「日本人とコミュニケーションしましょう」という4つのユニットから構成される。
15	アラビア語話者のための日本語文法	エジプト	ダール イル・アミン出版社	06.12.11～ 07.03.31	初・中級の学習者向けの文法書。上級の学習者まで利用できるよう参考書の形で作成。日本語の文法項目を例を挙げながら、品詞別にアラビア語で解説。

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 (4) 日本語教材 (寄贈)

海外で正規に日本語教育を行なう教育機関などに対し、日本語教材を寄贈する。

合計額 87,677,851円

地域・国名		機関数	採用点数
総数		1,028	24,105
国・地域数合計		99	
東 ア シ ア	韓国	6	150
	中国	66	1,570
	モンゴル	22	641
地 域 計		94	2,361
東 南 ア ジ ア	インドネシア	85	1,865
	カンボジア	2	68
	シンガポール	3	39
	タイ	80	1,834
	フィリピン	9	255
	ベトナム	15	376
	マレーシア	21	547
	ラオス	3	115
地 域 計		218	5,099
南 ア ジ ア	インド	22	552
	スリランカ	9	199
	ネパール	18	398
	パキスタン	2	58
	バングラデシュ	2	45
	モルディブ	1	9
地 域 計		54	1,261
太 平 洋 州	オーストラリア	115	2,195
	トンガ	4	64
	ニュージーランド	33	604
	バヌアツ	3	72
	バブアニューギニア	2	42
	パラオ	2	58
	フィジー	1	29
	マーシャル諸島	1	15
地 域 計		161	3,079
北 米	カナダ	32	714
	米国	55	1,015
地 域 計		87	1,729
中 米	エルサルバドル	1	12
	キューバ	1	24
	グアテマラ	1	38
	ジャマイカ	1	22
	ドミニカ共和国	1	27
	トリニダード・トバゴ	1	20
	ニカラグア	1	15
	パナマ	1	10
	メキシコ	26	661
	地 域 計		34
南 米	アルゼンチン	7	182
	ウルグアイ	2	19
	エクアドル	2	34
	コロンビア	7	185
	チリ	3	68
	パラグアイ	1	46
	ブラジル	55	1,384
	ベネズエラ	4	64
	ペルー	7	173
	ボリビア	6	167
地 域 計		94	2,322

地域・国名		機関数	採用点数	
西 欧	アイスランド	1	30	
	アイルランド	3	80	
	アンドラ	1	13	
	イタリア	10	229	
	英国	13	280	
	オーストリア	3	78	
	オランダ	2	7	
	ギリシャ	6	127	
	スイス	1	28	
	スウェーデン	2	10	
	スペイン	6	483	
東 欧	デンマーク	3	96	
	ドイツ	30	631	
	ノルウェー	3	76	
	フィンランド	5	90	
	フランス	34	606	
	ベルギー	3	95	
	ポルトガル	4	74	
	ルクセンブルグ	2	59	
	地 域 計		132	3,092
	東 欧	アゼルバイジャン	1	28
		ウクライナ	7	237
ウズベキスタン		6	199	
エストニア		2	58	
カザフスタン		5	167	
キルギス		5	175	
グルジア		3	101	
クロアチア		3	49	
スロベニア		1	33	
セルビア・モンテネグロ		1	10	
タジキスタン		1	26	
チェコ		7	169	
ハンガリー		11	302	
ブルガリア		4	160	
ポーランド		12	323	
ボスニア・ヘルツェゴビナ		1	22	
モルドバ		1	26	
ラトビア		2	47	
リトアニア	2	45		
ルーマニア	10	280		
ロシア	44	1,155		
地 域 計		129	3,612	
中 近 東	イスラエル	2	54	
	イラン	2	56	
	クウェート	1	27	
	サウジアラビア	1	29	
	シリア	2	49	
	トルコ	3	81	
ヨルダン	1	30		
地 域 計		12	326	
北 ア フ リ カ	エジプト	1	47	
	モロッコ	3	81	
地 域 計		4	128	
ア フ リ カ	ガーナ	1	39	
	ケニア	2	75	
	セネガル	1	24	
	マダガスカル	5	129	
地 域 計		9	267	

2. 制作事業費 (5) 図書館運営 (日本語国際センター)

国際交流基金日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師など、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸し出し・レファレンスサービスを行なう。

合計額 19,925,021円

	事業名	蔵書数	事業内容	利用者数
1	図書館運営	図書 35,268点、視聴覚資料 5,718点、電子形態資料524点、絵教材313点、マイクロ資料 384点、計42,207点 雑誌・紀要・ニューズレター636誌、新聞12紙、計648タイトル	国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供している専門図書館の運営	19,994

日本語普及事業に必要な経費

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 図書館運営（関西国際センター）
- (2) 専門日本語研修（外交官）
- (3) 専門日本語研修（公務員）
- (4) 専門日本語研修（司書）
- (5) 専門日本語研修（研究者・大学院生）
- (6) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）
- (7) 日本語学習者訪日研修（大学生）
- (8) 日本語学習者訪日研修（高校生）
- (9) アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修
- (10) 地域交流研修
- (11) 受託研修
- (12) 日本語教育協力事業

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (1) 図書館運営 (関西国際センター)

関西国際センター内で日本語および日本事情の集中研修を受けている研修生に対し、レファレンスなどの各種図書館サービスを提供する。

合計額 25,170,329円

事業名	蔵書数	事業内容	利用者数
1 図書館運営	図書40,709点, ビデオ1,049点, LD/DVD84点, CD-ROM60タイトル, マイクロフィルム1,387リール, 雑誌278タイトル, 新聞17紙	関西国際センター内で日本語及び日本事情の集中研修を受けている研修生の日本語学習・研修活動をサポートするための参考書や、日本の文化・社会を広く紹介する各国語資料を中心として収集、提供、レファレンスなどの各種図書館サービスを実施	15,921人

1. 研修事業費 (2) 専門日本語研修 (外交官)

諸外国の若手外交官を9カ月間日本に招へいして、日本語および日本事情の長期集中研修をする。

合計額 64,243,543円

事業名	対象国	期間	事業内容
1 17年度外交官日本語研修	アルジェリア アルゼンチン イエメン イラク インドネシア ウクライナ エストニア エチオピア カンボジア ギニア グルジア コンゴ民主共和国 ジャマイカ タジキスタン チュニジア チリ トルコ パキスタン バヌアツ バングラデシュ フィリピン ホンジュラス マレーシア ミクロネシア ミャンマー ラオス ラトビア	05.10.05～ 06.06.23	日本の外務省の協力を得て、海外27ヶ国より27名の若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	平成18年度外交官日本語研修	インドネシア ウズベキスタン エクアドル カンボジア キューバ キルギス クロアチア ザンビア スリナム ソロモン タンザニア チリ ドミニカ共和国 ナウル バーレーン パプアニューギニア パラグアイ フィリピン ベトナム ボツワナ マダガスカル マラウイ ミャンマー モルディブ ラオス ルーマニア 南アフリカ	06.10.04～ 07.06.22	日本国外務省の協力を得て、海外27ヶ国より28名の若手外交官を日本に招へいし、日本語および日本事情の長期集中研修を実施

1. 研修事業費 (3) 専門日本語研修 (公務員)

海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を9か月間日本に招へいし、日本語および日本事情の長期集中研修をする。

合計額 20,290,227円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平成17年度公務員日本語研修	イエメン インドネシア カンボジア コスタリカ タジキスタン パレスチナ バングラデシュ ブラジル ベトナム ベラルーシ モンゴル ラオス	05.10.05～ 06.06.23	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施 (12ヶ国、12名)

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	平成18年度公務員日本語研修	イラク インドネシア ウズベキスタン エクアドル タジキスタン パラグアイ ブルガリア ラオス リトアニア	06.10.04～ 07.06.22	海外の公的機関に勤務し、業務上の理由で日本語の習得を必要としている者を日本に招へいし、日本語および日本事情の集中研修を実施（9ヶ国、10名）

1. 研修事業費 (4) 専門日本語研修（司書）

海外の高等教育機関、研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書で業務上日本語能力を必要とする者を約6か月間日本に招へいし、司書の業務上の必要に則した日本語の長期集中研修を実施する。

合計額 14,178,009円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平成18年度司書日本語研修	インド キューバ キルギス モンゴル ロシア 韓国 中国	06.10.04～ 07.03.23	海外の高等教育機関、学研究機関、文化交流機関、公立図書館などの司書を日本に招へいし、業務上必要な日本語の研修を実施（7ヶ国、10名）

1. 研修事業費 (5) 専門日本語研修（研究者・大学院生）

諸外国の研究者（社会科学または人文科学専攻）および海外の大学院で社会科学または人文科学の分野を専攻し、将来日本研究関連の職業につくことを希望している大学院生で、研究活動上の目的で日本語の習得を望む人を対象に、日本語の集中研修を実施する。

合計額 63,444,534円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	17年度研究者・大学院生日本語研修(8ヶ月コース)	イタリア インド オーストリア カナダ グルジア トルコ ベトナム モンゴル ロシア 韓国 米国	05.10.05～ 06.05.26	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施（11ヶ国、14名）

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	平成18年度研究者・ 大学院生日本語研修 (2カ月コース)	アゼルバイジャン インド インドネシア ウクライナ ウズベキスタン エストニア カザフスタン シンガポール スリランカ ドイツ トルクメニスタン フランス ベトナム ポーランド メキシコ ロシア 韓国 中国 米国	06.06.14～ 06.08.09	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施 (19ヶ国、37名)
3	平成18年度研究者・ 大学院生日本語研修 (4カ月コース)	インド インドネシア カザフスタン カナダ キルギス グルジア シンガポール セルビア タイ フィリピン ブラジル ブルガリア ベトナム ポーランド ロシア 韓国 中国	06.09.06～ 06.12.20	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施 (17ヶ国、23名)
4	平成18年度研究者・ 大学院生日本語研修 (8カ月コース)	エジプト カザフスタン ドイツ フィンランド ベトナム ミャンマー ロシア 韓国 中国 米国	06.10.04～ 07.05.25	研究活動上の目的で日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施 (10ヶ国、15名)

1. 研修事業費 (6) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)

海外の日本語教育機関などで日本語を学習し、優秀な成績を修めているものを2週間日本に招へいし、講義および研修旅行などを通じて日本語および日本の文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施する。

合計額 40,284,156円

事業名	対象国	期間	事業内容
1 平成18年度日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	アゼルバイジャン アルゼンチン アルメニア イエメン イラン インド ウクライナ ウズベキスタン ウルグアイ エジプト エストニア エルサルバドル ガーナ カザフスタン カンボジア キューバ キルギス グアテマラ グルジア クロアチア ケニア コスタリカ コロンビア サウジアラビア シリア スリランカ スロバキア スロベニア セルビア チェコ チュニジア チリ ドミニカ共和国 トルコ トンガ ニカラグア ネパール バーレーン バヌアツ パプアニューギニア パラオ パラグアイ ハンガリー フィジー フィリピン ブラジル ブルガリア ベトナム ベネズエラ	06.09.06～ 06.09.20	海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めているものを2週間日本に招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施 (68ヶ国、72名)

附属機関関西国際センター事業費

事業名	対象国	期間	事業内容
	ペルー ポーランド ボスニア・ヘルツェ ゴビナ ポリビア ホンジュラス マーシャル諸島 マダガスカル ミクロネシア ミャンマー モロッコ モンゴル ヨルダン ラオス ラトビア リトアニア ルーマニア ロシア 中国		

1. 研修事業費 (7)日本語学習者訪日研修 (大学生)

日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習および日本文化・社会の理解を目的とした研修を実施する。

合計額 36,761,386円

事業名	対象国	期間	事業内容
1 平成18年度日本語学習者訪日研修 (大学生/春季)	アゼルバイジャン インド スリランカ タイ トルコ フィリピン ベラルーシ メキシコ ロシア	06.05.10～ 06.06.21	日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施 (9ヶ国、21名)

	事業名	対象国	期間	事業内容
2	平成18年度日本語学習者訪日研修（大学生／秋季）	ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン キルギス サウジアラビア スロバキア スロベニア セルビア チェコ トルコ ハンガリー ブルガリア ポーランド ルーマニア	06.10.25～ 06.12.06	日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施（14ヶ国、17名）
3	平成18年度日本語学習者訪日研修（大学生／冬季）	アルゼンチン イラン インドネシア エジプト コロンビア シリア チリ トルコ ブラジル ラオス	07.01.17～ 07.02.28	日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、その大学学部で日本語を学習している大学生をグループで招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした研修を実施（10ヶ国、18名）

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 (8) 日本語学習者訪日研修 (高校生)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語および日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 22,884,294円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平成18年度日本語学習者訪日研修 (高校生)	アイルランド インドネシア オーストラリア カナダ スリランカ タイ ドイツ ニューカレドニア ニュージーランド ブラジル フランス ペルー マレーシア モンゴル ロシア 英国 中国 米国	06.06.27～ 06.07.11	海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語の学習意欲を高めることを目的とした研修を実施 (18ヶ国、40名)
2	平成18年度李秀賢氏記念韓国青少年招へい事業	韓国	07.02.13～ 07.02.23	李秀賢氏の勇気ある行動を記念して、韓国で日本語を学習している高校生20名を日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めること、同世代の日本の若者と交流すること、日本語の学習意欲を高めることを目的とした研修を実施

1. 研修事業費 (9) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修

アジア各国の文化振興支援の一環として、アジア域内の将来を担う人材育成を支援するため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を対象に大学院留学前予備教育事業を行なう。

合計額 32,295,295円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平成18年度アジア・ユース・フェローシップ高等教育奨学金訪日研修	インドネシア カンボジア シンガポール タイ バングラデシュ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス	06.07.26～ 07.02.28	アジア各国の将来を担う人材の育成支援のため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者18名を招へいし、日本での研究活動に必要な日本語の習得及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした、大学院留学前の長期集中研修を実施

1. 研修事業費 (10) 地域交流研修

地域貢献の一環として、地方自治体などの機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について、協力・共同実施する。

合計額 1,469,425円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平成18年度大阪府JET来日時研修	アイルランド オーストラリア カナダ ジャマイカ タイ トリニダード・トバゴ共和国 ニュージーランド ネパール パキスタン ベトナム 英国 中国 南アフリカ 米国	06.08.21～ 06.08.25	大阪府と共催で、同府に新規着任予定のJET青年のうち、小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手（ALT）、及び大阪府NPO協働海外技術研修員に対する来日時日本語研修を実施（14ヶ国、64名）
2	平成18年度大阪府クィーンズランド州日本語教師研修	オーストラリア	07.01.04～ 07.01.25	大阪府と共催で、同府の姉妹提携都市であるオーストラリア、クィーンズランド州の日本語教師5名に対して、日本語及び日本事情の集中研修を実施
3	平成18年度地域の日本語教育実践講座	全世界区分困難	06.04.01～ 07.03.31	地域で日本語を教えている日本語指導者に対して、多様な学習者のニーズに応えられる実践力を身につけることを目的とした、日本語教育に関する講座を開講

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
4	平成18年度JET青年日本語研修	アイルランド オーストラリア カナダ シンガポール ニュージーランド 英国 米国	06.07.24～ 06.08.03	JETプログラムで日本に既に1年間以上滞在しているJET青年に対して、日本語の集中研修を実施（7ヶ国、48名）

1. 研修事業費 (11) 受託研修

外部団体より委託を受け、日本語研修を実施する。

合計額 62,990円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	関西ニュージーランドセンター・ニュージーランド日本語教師日本語研修プログラム	ニュージーランド	06.04.15～ 06.04.22	関西国際センターの研修事業課の実績とノウハウの外部への還元と、さらなる発展を目的とする「受託研修」の一環として、ニュージーランド人日本語教師研修を受託し、日本語能力の向上、日本語教育リソースの紹介、現代日本事情紹介等を目的とした日本語研修を実施

1. 研修事業費 (12) 日本語教育協力事業

事業を通じて蓄積されたノウハウを外部に還元し、さらに発展させるために、公的機関・地方自治体・教育機関などが実施する事業のうち、主に日本語教育分野について協力する。

合計額 9,023,173円

	事業名	期間	事業内容
1	日本語教育協力事業	06.04.01～ 07.03.31	国内外の外国人看護・介護従事者等への日本語教育支援ツールとして、オンライン辞書ツール「日本語でケアナビ」の開発調査、システム開発、サイト構築を実施。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

企画開発費

1. 日本研究事業費
 - (1) 日本研究ウェブサイト運営
2. 文化資料事業費
 - (1) 図書寄贈〔企〕

企画開発費

1. 日本研究事業費	(1)日本研究ウェブサイト運営
------------	-----------------

日本研究に関する情報を掲載する日本研究ウェブサイト「JS-Netフォーラム」を運営する。

合計額 1,979,100円

	事業名	期間	事業内容
1	JS-Net運営費	06.04.01～ 07.03.31	日本研究集会・講演会、奨学金・研究助成金、日本研究機関・学会などに関する情報の提供

2. 文化資料事業費	(1)図書寄贈〔企〕
------------	------------

国際交流基金が日本研究関係の定期刊行物を買上げ、ODA地域を中心とした日本研究・教育機関に対して寄贈を行なった。

合計額 2,302,111円

	事業名	対象国	事業内容
1	図書購送	全世界区分 困難	海外の日本研究振興に資する図書・資料の寄贈事業の一環として、日本研究分野で定評のある英文定期刊行物3誌を買上げ、ODA諸国を中心とした日本研究機関に対して寄贈する。
2	図書寄贈	全世界区分 困難	海外の日本研究・教育機関の図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔米州〕
- (2) 日本研究スタッフ拡充助成〔米州〕
- (3) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔米州〕
- (4) 日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 小渕フェローシップ（派遣）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕
- (5) 知的交流フェローシップ（派遣）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査〔米州〕

海外の日本研究機関・日本研究者に関する調査を行う。

合計額 8,482,365円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	ブラジル日本研究調査	ブラジル	06.10.30～ 07.03.31	ブラジルにおける日本研究機関及び日本研究者に関する調査
2	北米日本研究調査	米国	06.04.01～ 07.03.31	米国及びカナダにおける日本研究機関及び日本研究者に関する調査

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米州〕

海外諸大学の日本研究講座を支援するため、人文・社会科学分野の学者・研究者を派遣する

合計額 9,316,084円

	氏名	現職	対象国	期間	受入機関	事業内容
1	細川 周平	国際日本文化研究センター教授	ペルー	06.08.04～ 07.01.03	ペルー・カトリック大学	日本文学と音楽学に関する講義
2	新藤 通弘	明治大学講師	キューバ	06.06.03～ 06.06.18	ハバナ大学	第二次世界大戦後の日本経済の変遷に関する講義
3	受田 宏之	武蔵大学講師	グアテマラ	06.07.29～ 06.08.20	ラファエル・ランディバル大学	アジア経済発展等に関する特別講義
4	宇野 邦一	立教大学教授	ブラジル	06.09.20～ 06.10.20	サンパウロカトリック大学	日本と西洋の身体理論の比較分析

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究拠点機関助成〔米州〕

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 40,321,125円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ヨーク大学(AUCC)	カナダ	05.07.01～ 06.06.30	対カナダ日本研究特別助成（スタッフ強化助成）
2	モントリオール大学	カナダ	06.09.01～ 08.04.30	対カナダ日本研究特別助成（スタッフ強化助成）

	機関名	対象国	期間	事業内容
3	米加大学連合日本研究センター (IUC)	米国	06.04.01～ 07.3.31	日本語教官等スタッフの給与助成
4	スタンフォード日本センター京都日本研究センター (KCJS)	米国	06.09.01～ 07.03.31	日本語教師給与助成

1. 日本研究事業費	(4) 日本研究スタッフ拡充助成 [米州]
------------	-----------------------

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合に、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 13,597,524円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ポートランド州立大学	米国	05.09.15～ 06.09.14	日本経済学助教授の給与助成 (第2年次)
2	Emory University エモリー大学	米国	05.09.01～ 06.08.31	日本現代文学・文化助教授の給与助成 (第2年次)
3	University of Florida	米国	06.08.15～ 07.08.14	近代日本史助教授の給与助成 (第1年次)

1. 日本研究事業費	(5) 日本研究リサーチ・会議 (助成) [米州]
------------	---------------------------

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 13,544,863円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	University of Colima コリマ大学政治社会学部	メキシコ	06.04.01～ 07.03.30	日本のシビル・ソサエティと国家改革
2	The University of British Columbia ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	06.04.01～ 06.09.30	近代初期古文書・崩し字ワークショップ

米州交流事業費

	機関名	対象国	期間	事業内容
3	The North American Coordinating Council on Japanese Library Resources (The NCC) 北米日本研究資料調整協議会	米国	06.04.01～ 07.03.31	日本研究資料専門司書ワークショップ
4	University of Sao Pauloサンパウロ大学	ブラジル	06.04.01～ 07.03.31	第17回全伯日本語日本文学日本文化大学教師学会 多角的視野から捉えた日本研究
5	University of Sao Pauloサンパウロ大学	ブラジル	06.04.01～ 07.03.31	ブラジルの対日理解に資する日本関連の基本情報・データ収集とポルトガル語による『現代日本事典』出版事業
6	University of Alberta アルバータ大学	カナダ	06.04.01～ 06.12.31	日本女性による著書に関するワークショップ：始め、終わり、反転及び返還

1. 日本研究事業費 (6) 日本研究組織強化支援 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。
合計額 9,178,127円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会	カナダ	06.07.01～ 07.03.01	カナダ日本研究学会年次総会開催に対する支援
2	米国社会科学硏究評議会	米国	06.07.01～ 07.03.31	日本研究博士論文ワークショップ実施に対する支援
3	イリノイ大学	米国	06.07.01～ 07.06.30	米国中西部日本研究セミナー実施に対する支援
4	北米日本研究資料調整協議会	米国	06.07.01～ 07.06.30	組織運営会議の開催等に対する支援

2. 人物交流事業費 (1)小渕フェローシップ (派遣)

日米両国政府の合意に基づく「小渕沖縄教育研究プログラム」の一環として、米国の東西センター（ハワイ州）を受け入れ機関として人文・社会科学分野に係る研究活動を行なう研究者などに対しフェローシップを支給する。

合計額 7,898,810円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	宮森 正樹	沖縄国際大学 産業情報学部 教授	米国	ハワイ東西セ ンター	07.03.31～ 08.03.30	『環太平洋島嶼国の経済発展を支える 観光グローバル化と特産品開発の為の 新たな政策の研究』についてハワイ東 西センターにおいて研究

2. 人物交流事業費 (2)日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 43,815,594円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	CARO RESTREPO, Esperanza	コロンビア国 立大学助教授	コロンビア	神戸芸術工科 大学	06.09.07～ 07.03.30	コロンビアの熱帯湿潤気候を対象とす るサステイナブル建築ツール
2	YOSHIDA, Luiza Nana	サンパウロ大 学哲学文学人 間科学部ーサ ンパウロ大学 日本文化研究 所教授	ブラジル	放送大学	06.12.01～ 07.02.25	隠者文学におけるトボスー「方丈記」 の場合
3	CORTINA, Castellanos Monica	アジア・オセ アニア研究所 研究者	キューバ	財団法人政治 経済研究所	06.07.11～ 06.10.11	東南アジアの開発における日本の役割
4	QUINTERO, Ednodio Jose	ロス・アンデ ス大学教授	ベネズエラ	東京大学大学 院総合文化研 究所	06.09.03～ 07.08.31	近代日本小説の模範 谷崎潤一郎
5	LOFTUS, Ronald P.	ウィラメット 大学教授	米国	お茶の水女子 大学	07.01.11～ 07.08.10	戦後を語る： 日本人女性の自叙伝お よび回想録を読む
6	BOGEL, Cynthia Jean	ワシントン大 学助教授	米国	京都大学	07.01.06～ 07.10.05	輸入された仏教オブジェクトの文化的 生活：請求目録と日本におけるその芸 術的遺産
7	BUTLER, Lee	ブリガム・ヤ ング大学準教 授	米国	帝塚山学院大 学	07.03.01～ 07.07.31	日根野コミュニティー：生活、仕事お よび16世紀の日本の土地論争
8	NELSON, John Kenneth	サンフランシ スコ大学助教 授	米国	大谷大学	06.08.08～ 07.01.27	仏教寺院における祭壇

米州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
9	ORTABASI, Melek Su	ハミルトンカ レッジ助教授	米国	東京大学	06.08.02～ 07.03.30	近代化の普及－柳田国男の民俗学の中 の言語発想
10	UEDA, Atsuko	プリンストン 大学助教授	米国	早稲田大学	07.01.21～ 07.07.20	文学史の中の「文学」：戦後日本の文芸 批評をめぐって
11	YONEMOTO, Marcia	コロラド大学 ボルダー校准 教授	米国	お茶の水女子 大学	05.08.02～ 06.07.01	日本近世にあるジェンダーの地理学
12	SZATROSKI, Polly	ミネソタ大学 准教授	米国	早稲田大学日 本語研究教育 センター	05.09.03～ 06.09.02	日本語話法における後置構造の文法化
13	SHIPPER, Apichai	南カリフォル ニア大学 政 治学部教授	米国	一橋大学大学 院社会学研究 科	05.08.02～ 06.08.01	外国人と民主主義：東京とロス・アン ジェルスと比較研究
14	PARTNER, Simon	デューク大学 歴史学部准教 授	米国	早稲田大学	05.06.13～ 06.06.12	「百姓」から「国民」へ：日本農村社 会の転成、1880-1910
15	KLEEMAN, Faye Yuan	コロラド大学 准教授	米国	東京大学	05.10.30～ 06.07.29	東アジアの近代化における大日本帝国 と文化的主導
16	FUJIMURA, Osamu	オハイオ州立 大学音声聴覚 学科名誉教授	米国	国際高等研究 所 独立法人国立 国語研究所	05.09.03～ 06.06.30	日本語のシラバスに基づく音形論と音 声学
17	FUJII, James Akira	カリフォルニ ア大学アーバ イン校教授	米国	東京大学大学 院総合文化研 究科	05.09.07～ 06.06.06	消費のネットワーク：都市の鉄道と日 本の近代化
18	ELDER, Mark Allen	ミシガン州立 大学助教授	米国	東京大学	05.08.13～ 06.06.12	経済競争を促進する日本の環境保護政 策の利用
19	MARTINEZ- RODRIGUEZ, Mauricio	ロスアンデス 大学／エクス テルナド大学 講師	コロンビア	国際日本文化 研究センター	05.06.13～ 06.06.12	スペイン語版インターネット日本芸能 百科事典の作成
20	GONCALVES, Simone, Neiva Loures	エスピリト・ サント連邦大 学 建築学部 講師	ブラジル	東京大学工学 部建築学科 東京大学大学 院工学系研究 科	05.05.06～ 06.05.05	東京都市圏の形成過程における文化的 背景の影響
21	GORDON, June Ann	カリフォルニ ア大学サンタ クルーズ校准 教授	米国	大阪大学	06.03.21～ 06.05.20	日本の新来者：学校教育とアイデン ティティとの折り合い

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
22	KUBOTA, Ryuko	ノースカロライナ大学准教授	米国	上智大学	07.01.05～ 08.01.04	想像世界におけるアイデンティティ形成：女性と日本の英会話学習ビジネス

2. 人物交流事業費	(3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
------------	---------------------------

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 58,026,314円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	LINLEY, Matthew	オーストラリア国立大学博士課程	カナダ	早稲田大学政治経済学部	06.09.29～ 07.04.28	中国と韓国と日本の公外交の比較
2	GARCIA DOS SANTOS, Yumi	サンパウロ大学哲学文学人文科学部社会科学博士過程	ブラジル	上智大学外国語学部ポルトガル語学科	06.09.17～ 07.01.16	「女性ひとり親家庭の自立と依存」－ブラジル、日本、フランスの場合
3	OMORI, Hisako	マクマスター大学博士課程	カナダ	上智大学比較文化学科	06.09.10～ 07.08.22	現代性、グローバル化、そして交渉によるアイデンティティ：現代日本におけるローマン・カソリックの民族間研究
4	MUTAFCHIEVA, Rositsa	マギル大学博士課程	カナダ	大阪市立大学	07.01.18～ 08.01.17	現代日本の部落言語の構造
5	ENDO, Mika	シカゴ大学博士課程	米国	中央大学立教大学	06.11.01～ 07.10.31	子供たちが書いた生活：戦前の生活綴り方の隆盛
6	GAINTY, Denis	ペンシルバニア大学博士課程	米国	国際日本文化研究センター 帝京大学	06.05.21～ 06.09.20	近代日本(1895-1945)におけるナショナリズム、権力および作用の再考
7	GUNDRY, David James	スタンフォード大学博士課程	米国	早稲田大学	06.09.02～ 07.08.31	西鶴の世紀：江戸時代初期の文学における道徳、階級、及び文体
8	LIM, Sungyun	カリフォルニア大学バークレー校大学院生	米国	京都大学	06.09.15～ 07.07.29	植民地朝鮮における家族、法律、戸籍の研究
9	McMORRAN, Christopher Michael	コロラド大学博士課程	米国	大阪市立大学	06.07.01～ 07.06.30	移住者と女性が支える独自性：日本の田舎観光地のふるさと創生

米州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
10	OKURA, Nana	エール大学博士課程	米国	上智大学国際教養学部	06.06.27～ 07.06.26	ホワイトカラーとグレーヘア：メトロポリタン日本のサラリーマンのアイデンティティ
11	SURAK, Kristin	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	東京大学大学院 総合文化研究科	06.08.12～ 07.03.21	近代日本における茶道とジェンダー
12	YAMAMOTO, Miyabi	カリフォルニア大学パークレー校博士課程	米国	早稲田大学	06.12.27～ 07.12.26	日本から見た植民地朝鮮
13	SOLT, George	カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院生	米国	上智大学	05.09.21～ 06.09.20	20世紀日本における食の変化とラーメン人気
14	SELIGMANN, Ari	カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士課程	米国	東京大学	05.09.15～ 06.06.14	くまもとアートポリス：公共建築によるグローバリゼーション
15	REGAN, Martin	ハワイ大学マノア校助手	米国	ORA-J 東京音楽大学	05.09.01～ 06.08.31	様々な文化体験を通しての作曲
16	JESTY, Justin	シカゴ大学大学院生	米国	東京大学大学院総合文化研究科	05.09.13～ 06.09.12	戦後日本における芸術と社会活動
17	HANKINS, Joseph	シカゴ大学博士課程	米国	上智大学比較文化学部	05.09.15～ 06.09.14	認識と汚名化：多文化日本の創造
18	FOXWELL, Chelsea	コロンビア大学博士課程	米国	東京芸術大学美術学部芸術学科	05.09.05～ 06.08.31	狩野芳崖と「日本画」の誕生
19	DAVIS, Walter	オハイオ州立大学博士課程	米国	上智大学比較文化学部	05.11.27～ 06.08.26	王一亭と日中美術の交流
20	CLULOW, Adam	コロンビア大学博士課程	米国	東京大学史料編纂所	05.09.01～ 06.08.31	東南アジアにおける日本人派兵(1587-1639)
21	KUAN, Seng	ハーバード大学博士課程	カナダ	東京大学大学院	05.09.08～ 06.11.07	丹下健三と仲間たち：モダニズムの国際化
22	ERBER, Pedro Rabelo	コーネル大学博士課程	ブラジル	立教大学文学部	05.09.15～ 06.11.14	前衛を解釈する：1960年代の日本とブラジルの政治的な芸術について
23	STEAVU- BALINT, Dominic	スタンフォード大学博士課程	カナダ	東洋大学文学部哲学課	06.03.28～ 07.05.27	護符の信仰：日本の宗教における道教的要素

2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェローシップ (短期) [米州]

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 12,831,449円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	MEZA, Virginia	エル・コレヒ オ・デ・メヒ コ大学院大学 アジア・アフ リカ研究セン ター教授	メキシコ		06.07.15～ 06.09.12	日本における小学校国語教育の一世紀 (1900～2000年)
2	COSTA, Adriana Lisboa Fabregas da	リオデジャネ イロ州立大学 文学部博士課 程	ブラジル	国際日本文化 研究センター	06.05.22～ 06.06.19	芭蕉「奥の細道」を題材とした小説「旅 人」のための調査研究
3	YAMADE, Yuko	モントリオール 大学東アジア 研究所講師	カナダ		06.05.10～ 06.07.08	明治日本の女性翻訳文学：近代日本文 学における女性のエクリチュールと文 化翻訳の起源
4	MEHRA, Salil	テンプル大学 法学部副教授	米国	慶応義塾大学 法科大学院	06.05.20～ 06.07.18	検察対おたく：ネット、知的財産権と 犯罪化
5	FLUECKIGER, Peter Andrew	ポモナ大学助 教授	米国		06.05.13～ 06.06.11	十八世紀日本の文学思想における詩と 共感
6	BOROVOY, Amy Beth	プリンストン 大学教授	米国		06.12.01～ 06.12.21	日本研究および自己の人類学
7	KALAFSKY, Ronald Vincent	ノースカロラ イナ大学 シャーロット 校助教授	米国	兵庫大学	06.07.02～ 06.07.29	日本の機械部品産業における改革、躍 動、地域性
8	McCLURE, William Tsuyoshi	ニューヨーク 市立大学大学 院センター助 教授	米国		06.05.15～ 06.06.15	英語の進行相の習得における転移
9	SCHNELL, Scott Randall	アイオワ大学 准教授	米国		06.08.24～ 06.10.22	環境保護者の原型としての山の修行 者―播隆上人の再発見と大衆化
10	WILKINS, Gretchen, Lee	ミシガン大学 教授	米国		06.05.15～ 06.06.18	無垢な町：仙台卸町の再居住化
11	BLEED, Peter	ネブラスカ大 学教授	米国	東北大学	06.06.10～ 06.08.08	旧石器時代研究の新トレンド
12	LINCICOME, Mark, Elwood	聖十字大学準 教授	米国	立教大学	07.01.15～ 07.02.04	周辺視野：日本とオーストラリアのア ジアのイメージ化 1853-1933

米州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
13	BOGNAR, Botond	イリノイ大学教授	米国		06.11.21～ 06.12.13	日本社会と日本の新都市建築における最近の変化

2. 人物交流事業費 (5)知的交流フェロシップ (派遣) [米州]

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェロシップを供与する。

合計額 2,860,650円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	飯山 みゆき	東京大学大学院経済学研究科・研究生	ケニア	国際家畜研究所第8研究室	06.05.24～ 07.03.31	アフリカ農村における生業の実態研究とライブリフッド・アプローチの展開

3. 催し等事業費 (1)知的交流会議 (主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップなど）を開催する。

合計額 4,715,709円

	事業名	共催機関	対象国	期間	事業内容
1	日墨文化サミット	メキシコ政府文化芸術庁 金沢市	メキシコ	06.07.20～ 06.07.21	日墨両国政府の合意に基づき2005年9月にメキシコで開催された第1回「日墨文化サミット」の内容を踏まえて、第2回サミットを金沢市内で開催。日墨双方より文化・芸術・学術・マスコミ各界を代表する数名の著名人からなる代表団が参加し、グローバリゼーションが進展する現代における日本とメキシコの交流のあり方などをテーマに議論を行う。

3. 催し等事業費 (2) 知的交流会議 (助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップなど）を開催する。

合計額 13,647,900円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	福岡国際会議 「民主主義は機能しているかー 政治思想の観点から」	個別区分困難	政治思想学会	06.05.01～ 06.09.30	民主主義が直面している理論的諸問題について多角的に検討。
2	日伯文化協会	ブラジル	日伯文化協会	06.04.01～ 07.03.31	持続可能な発展に向けた新しい環境文化としての環境リテラシー実践についての展望を示す。
3	ゼッツリオ・ヴァルガス財団	ブラジル	Getulio Vargas Foundation ゼッツリオ・ヴァルガス財団	06.04.17～ 06.10.18	発展途上国の企業が競争状態を維持しながらどのように環境労働問題に適応しているか考察。
4	ブラジル企画分析センター	ブラジル	Centro Brasil c iro de Analise e Planejamento ブラジル企画分析センター	06.04.01～ 07.03.31	労働条件や雇用の安定性について日本・ブラジル・フランスの労働環境の比較研究。
5	サンパウロ大学 経済経営学部	ブラジル	サンパウロ大学 経済経営学部 (FEA-USP)	06.04.02～ 06.05.03	国際化の過程における企業のマネジメントとその過程に影響を及ぼす政府の政策分析に関するフォーラムを開催。
6	ブリティッシュ・コロンビア大学	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	06.04.01～ 07.01.31	国際規範の形成におけるミドルパワー諸国の役割について学際的に検証。
7	北欧亜回覧の会	個別区分困難	米欧亜回覧の会	06.11.23～ 06.11.25	本件事業は、明治維新後の岩倉使節団の米欧回覧の研究をベースに、世界における今日の日本のあり方を模索するため、内外の有識者を招いてセミナー・公開シンポジウムを開催。
8	福岡ユネスコ協会	個別区分困難	福岡ユネスコ協会	06.07.14～ 06.07.14	20世紀の「政治と文化」を顧み、その反省に立って21世紀における「政治と文学」の課題と可能性を展望する討議。

米州交流事業費

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈 [米州]

日本に関する理解・研究を促進するための海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係と書などを寄贈。
合計額 15,906,888円

	国名	機関名 (日本語)	機関名 (英語)	送付部数
1	米国	マリオン カルネギ 図書館	Marion Carnegie Library	129
2	米国	レイク・フォレスト・カレッジ	Lake Forest College	59
3	米国	ウェスト・テキサス・A&M大学	W e s t Texas A & M University	50
4	カナダ	トンプソン・リバーズ大学	Thompson Rivers University	52
5	カナダ	レジャイナ大学 J.アーチャー図書館	University of Regina	55
6	カナダ	レスブリッジ大学	University of Lethbridge	42
7	カナダ	ウォータールー大学レニソンカレッジ	Renison College, University of Waterloo	23
8	カナダ	ビショップス大学 図書館	Bishop's University	55
9	カナダ	ヴィクトリア大学 マクファーソン図書館	University of Victoria	84
10	米国	カリフォルニア大学 アーバイン校図書館	University of California, Irvine	124
11	米国	コロラド大学 図書館	University of Colorado University Libraries	198
12	カナダ	カルガリー大学 情報資源・図書館	University of Calgary	41
13	カナダ	セントメリーズ大学アジア研究所	Saint Mary's University	1
14	アルゼンチン	ブエノスアイレス大学 ジノ・ジェルマニ研究所	University of Buenos Aires	128
15	コロンビア	ロサリオ大学 図書館	Rosario University	128
16	コロンビア	ハベリアーナ大学コミュニケーション言語学部図書館	Javeriana University	128
17	チリ	ラ・セレナ大学	University of La Serena	128
18	ブラジル	ブラジリア中央大学	University Centre of Brasilia	127
19	ブラジル	クリチバ市文化財団	Cultural Foundation of Curitiba	41
20	ブラジル	サンパウロ・カトリック大学	Pontifical Catholic University of Sao Paulo	54
21	ブラジル	パウリスタ州立大学アシス校	Paulista State University "Julio de Mesquita Filho"	68

	国名	機関名（日本語）	機関名（英語）	送付部数
22	エル・サルバドル	中米ホセ・シメオン・カニヤス大学	Central American University Jose Simeon Canas	62
23	キューバ	アジア・オセアニア研究センター	Center for Studies on Asia and Oceania	63
24	コスタリカ	コスタリカ・ナショナル大学	National University of Costa Rica	40
25	ホンジュラス	ホンジュラス国立自治大学 図書館	National Autonomous University of Honduras	50
26	メキシコ	グアダラハラ州立大学 太平洋研究センター	Guadalajara University	80
27	メキシコ	ナジャリ自治大学人文社会学部	Autonomous University of Nayarit	45

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔アジア・大洋州〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究客員教授派遣（JFボランティア）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究拠点機関助成〔アジア・大洋州〕
- (6) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (7) 東南アジア元日本留学生活動支援（AC）
- (8) 北京日本学研究センター派遣（北京外語大学）
- (9) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (10) 北京日本学研究センター招へい（北京外語大学）
- (11) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (12) 北京日本学研究センター（研究協力）

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェロースhip（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕
- (2) 日本研究フェロースhip（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェロースhip（社会科学院研究生院）
- (4) 日本研究フェロースhip（短期）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究フェロースhip（高砂熱学工業）
- (6) 知的交流フェロースhip（次世代）（AC）〔アジア・大洋州〕
- (7) 知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔アジア・大洋州〕
- (8) 知的交流フェロースhip（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）（AC）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）（AC）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）（AC）〔アジア・大洋州〕
- (4) アジア地域研究センター支援（催し等）（AC）

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔アジア・大洋州〕

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査 [アジア・大洋州]

海外の日本研究機関・日本研究者に関する実態調査を行ない、ディレクトリーを作成する。

合計額 717,777円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	韓国日本研究調査	韓国	06.04.01～ 07.03.31	韓国における日本研究機関、日本研究者についての調査。2006年度は前年度に実施した調査の集計・編集等を行い報告書出版の準備を行った。
2	東南アジア・南アジア日本研究調査	東南アジア地域区分 困難	06.04.01～ 07.03.31	東南アジア及び南アジアにおける日本研究機関、日本研究者についての調査。2006年度は前年度に実施した調査の集計・編集等を行い報告書出版の準備を行った。

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣 (自主企画) [アジア・大洋州]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 2,397,303円

	関連人物姓名	関連機関名称	対象国	現職	期間	事業内容
1	小田 尚也	カラチ大学	スリランカ	アジア経済研究所南アジア研究グループ 長代理	07.01.23～ 07.02.03	南アジア日本研究巡回セミナー

1. 日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [アジア・大洋州]

人文科学および社会科学分野 (芸術分野を含む)、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し専門家を派遣する。

合計額 2,806,934円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	池内 輝雄	帝京大学教授	インド	デリー大学 (University of Delhi)	07.01.01～ 07.03.30	日本文学に関する講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 (4) 日本研究客員教授派遣 (JFボランティア) [アジア・大洋州]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、専門家を派遣する。本プログラムはジャパンファウンデーションボランティア制度の一環として実施。

合計額 4,765,326円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	新津 晃一	国際基督教大学名誉教授	インド	ヴィシュヴァ バーラティ大 学 (Visva- Bharati University)	06.10.01～ 07.03.31	日本文学及び日本文化に関する客員教授招聘
2	加藤 淳平	常盤大学講師	中国	China Foreign Affairs University 中国外交学院	05.08.23～ 06.08.22	日本社会・文化に関する講義

1. 日本研究事業費 (5) 日本研究拠点機関助成 [アジア・大洋州]

各国において中核的な役割を担う日本研究機関に対し、共同研究、セミナーの開催、図書出版、研究者育成に関わる経費を包括的に助成する。

合計額 59,397,749円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	復旦大学 日本研究センター	中国	06.04.01～ 07.03.31	国際会議開催支援、出版助成
2	南開大学(Nankai University) 日本研究院	中国	06.04.01～ 07.03.31	共同研究プロジェクト 前近代日中両国における西洋科学技術の受容に関する比較研究
3	チュラーロンコーン大学 (Chulalongkorn University) 文学部 東洋言語学科	タイ	06.11.20～ 07.01.20	客員教授派遣 (高阪薫 教授)
4	タマサート大学 (Thammasat University)	タイ	06.10.08～ 06.10.21	大学院生訪日研修
5	タマサート大学 (Thammasat University)	タイ	06.06.01～ 07.03.31	出版助成
6	タマサート大学 (Thammasat University)	タイ	06.06.01～ 07.03.31	講師謝金助成

	機関	対象国	期間	事業内容
7	ソウル大学校日本研究所	韓国	04.09.01～ 06.08.31	図書・視聴覚資料等購入、日本研究動向調査、研究フォーラム支援、インターネットによる情報提供、大学院生訪日研修
8	インドネシア大学大学院日本地域研究科	インドネシア	06.04.01～ 06.08.31	修士・博士課程運営経費（奨学金・教材準備費・教材研究費）支援
9	南開大学日本研究院ほか	中国	06.04.01～ 07.03.31	大学生訪日研修
10	ベトナム社会科学院	ベトナム	06.04.01～ 07.03.31	ベトナム南部の中高教員に対する日本研究ワークショップ（3年目）
11	フィリピン大学ディリマン校国際研究センター（University of the Philippines, Diliman, Center for International Studies）	フィリピン	06.07.01～ 06.10.31	客員教授派遣（梅若猶彦教授）
12	同済大学（図書寄贈仲介支援）	中国	06.04.01～ 07.03.31	図書寄贈仲介支援
13	浙江工商大学（Zhejiang Gongshang University）	中国	06.04.01～ 07.03.31	図書寄贈仲介支援
14	浙江工商大学日本文化研究所（Zhejiang Gongshang University）	中国	07.01.10～ 07.03.31	出版助成
15	東北師範大学日本研究所	中国	06.04.01～ 07.03.31	短期訪日調査
16	中国社会科学院	中国	06.04.01～ 07.03.31	出版助成

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 (6)日本研究リサーチ・会議（助成）〔アジア・大洋州〕

海外の高等教育・研究機関や学会などが実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップなどについて、経費の一部を助成する。

合計額 38,237,464円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日中経済関係	オーストラリア	Australia-Japan Research Centre, Asia-Pacific School of Economics and Government, Australia National University豪日研究センター	06.07.01～ 06.07.02	話題性の高い政治に比べ、特に英語での研究蓄積の少ない日中関係の経済面での二国間関係、及び、二国間関係が域内に及ぼす影響について共同研究を行なう事業。中国から一名、日本から二名、米国から（日本人）研究者一名が参加。事前にペーパー執筆を依頼し、国際会議で発表を行なう。
2	アジア・パシフィック・ウィーク（日本プログラム）	オーストラリア	The Australian National University オーストラリア国立大学アジア研究学部日本センター	07.02.01～ 07.02.07	「アジア・パシフィック・ウィーク」は、ANUのアジア太平洋研究学院が開催する大学院生向けのサマースクール。ワークショップ、図書館紹介、映画上映等実施。この一環として、日本学科は2005年よりサマースクールを実施しているが、2007年はアジア太平洋からより多くの大学院生の参加を得たいとしており、域内からの6名の大学院生、講師の渡航費を基金に要請。
3	現代日本及び韓国における仕事とジェンダー	オーストラリア	University of Sydneyシドニー大学 日本・韓国研究学科	06.07.10～ 06.07.12	日本と韓国の近・現代社会におけるジェンダーと労働問題をテーマに、7月に13名の研究者を集め、ワークショップを開催する。シドニー大学の大学院生、教授陣も参加。13名の論文の摘要は既に出来上がっており、論文は事前に執筆者全員に送付され、執筆者は他の論文に関するコメントを持って参加。成果はRoutledge Curzonから出版予定。
4	日豪関係における日本研究の将来とその役割	オーストラリア	Monash Universityモナシュ大学日本研究センター	06.12.10～ 06.12.16	メルボルン近郊5大学の日本研究者が中心となり、日豪関係の変遷をとらえつつ豪州における日本研究の将来を考えるため国際会議を、初期の日本人コミュニティがあった北西オーストラリアのブルームで2006年12月に開催。日豪交流年記念事業。会議開催に先立ち、ウェブサイト上で議論を開始。日本社会の変化、豪における日本語学習ニーズの変化、日本研究者の役割の変化など論じる。
5	『日本における東アジア共同体構想 - その理想と現実』 - 韓国における日本学30年回顧と展望	韓国	啓明大 国際学 大学 日本学科	07.03.16～ 07.03.16	韓国で初めて設立された日本研究学科の30周年を記念して開催する国際シンポジウム。「日本における東アジア共同体構想—その理想と現実」をテーマに、韓国国内の各分野の研究者と、日本からの研究者が参加する。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
6	日本研究連続セミナー	タイ	Payap Universityパヤップ大学	06.06.01～07.03.31	全6回の日本研究セミナー（毎週土曜日3～4時間）で、チュラロンコン大学・タマサート大学の日本研究者を講師とし、特に日本語学習者や日本語教員を対象に、日本事情および日本研究を紹介する講義を行う。
7	中日青年作家対話会	中国	Institute of Foreign Literature中国社会科学院外国文学研究所	06.09.10～06.09.16	日本の若手作家と文学研究者・評論家が中国を訪問し、中国の若手作家・研究者・評論家と対話する。事業に先立ち、参加する一部の若手作家の作品を相互に翻訳し、雑誌掲載・出版する予定。
8	2006北京大学日本学研究国際シンポジウム	中国	Peking University北京大学外国語学院	06.10.21～06.10.22	北京大学日本語文化学部60周年という節目にあたり、日本、韓国、香港、台湾からもゲストスピーカーを招聘し、日本語言語、日本文化、日本文学の3つの分科会設けて国際シンポジウムを開催する。中国の大学院生や若手研究者の積極的な参加を促す。
9	15年戦争期中国大陸における日本の科学研究教育機関に関する調査と研究	中国	Peking University北京大学 科学と社	06.04.01～07.03.31	日中戦争期に中国大陸に存在していた、興亜院・上海自然科学研究所・旅順工科大学などの日本の科学研究教育機関の活動と、そこででの研究成果が中国や日本でどのように継承されたかを調査する。
10	日本研究学科25周年記念シンポジウム及び東南アジア日本研究の招集	シンガポール	National University of Singaporeシンガポール国立大学	06.10.12～06.10.12	シンガポール国立大学日本研究学科設立25周年記念のシンポジウムを、各国の著名な日本研究者を講演者として招いて開催し、それに続く2日間で東南アジア各国の日本研究者による「東南アジア日本研究会」設立総会を開催する。25周年記念大会のみへ助成。
11	韓国日本学連合会第4回学術大会及び国際シンポジウム	韓国	韓国日本文化学会 (The Japanese Culture Association of Korea)	06.07.06～06.07.08	5つの人文系日本関連学会のネットワーク学会（＝韓国日本学連合会）による第4回目の国際シンポジウム。「日本学研究の諸視角」をキーワードに、日本人、タイ人研究者も招聘して、国際的な視点から日本学研究的意義を問い直すとともに、日本研究の新たなネットワーク作りを目指す。
12	世代交代と韓日関係	韓国	韓国政治学会 The Korean Political Science Association	06.12.01～06.12.01	韓国の民主化運動を担った386世代と戦争を経験していない日本の戦後生まれの政治家が台頭することにより日韓関係にどのような変化を及ぼしてきたか／及ぼしていくのかを検証するためのリサーチ&ワークショップ。主催母体は韓国政治学会で日本の政治学会と共同で事業を行う。
13	韓日共同 未来構想2020	韓国	The Sejong Institute世宗研究所	07.01.15～07.01.15	日韓両国の過去史をめぐる摩擦を建設的に克服する方法を模索するために、日韓の研究者らが、2020年時点の望ましい日韓関係のビジョンを共同で構想し、それを実現するためのロードマップを構想する。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
14	高麗大学校<日本文化><日本古典翻訳>叢書刊行事業	韓国	高麗大学校 (Korea University)	06.04.01～ 07.01.31	高麗大学校の日本文学科の教授による、日本文化叢書10巻、日本古典翻訳叢書10巻の出版事業。各1000冊ずつ刊行予定で、東アジアの中の日本文化、日本と韓国の文化交流をはじめ、平家物語、太平記、曾根崎心中など韓国ではほとんど紹介されていない古典をも紹介することで、韓国国内でのより深い日本理解を目指す。
15	米軍政期における韓日両国のジェンダー構造比較研究	韓国	淑明女子大学校 亜細亜女性研究所 (Research Institute of Asian Women, Sook Myung Women's University)	06.04.01～ 07.03.31	米軍政期に、特に憲法・選挙制度において男女平等が実現する過程を、文献やインタビュー調査を通して日韓で比較研究し、その成果をもとに日韓の研究者による会議を行う。
16	日本社会のサービス社会化による構造変動研究	韓国	Chung-Ang University中央大学	06.04.01～ 07.01.31	日本社会のサービス社会化が家族・労働・生産などに及ぼす影響を調査・分析する。文献調査及び日本における専門家・企業・サービス産業従事者に対してインタビュー調査を実施する。
17	第19回アジア歴史国際学会”日本と東南アジアの外交関係：半世紀にわたる発展と挑戦”	フィリピン	Philippine Social Science Council, Inc. フィリピン社会科学評議会	06.11.12～ 06.11.25	東アジア共同体がASEANにどのような影響力をもち、どのような役割を果たすのか、地域の安全保障についての今後の方向性も含めて議論する。また、EUやオーストラリアから東アジア共同体を研究することで、今後の可能性を探る。
18	中国にある日本映画機構に関する研究	中国	Northeast Normal University東北師範大学	06.04.01～ 07.03.31	戦時中、日本が中国で設立した3つの映画機構（満州映画協会、華北映画株式会社、中華映画連合株式会社）の活動と、映画の主題・美学、映画従事者という3つの観点から研究を行い、中国映画史の空白を埋めることを目指す。長春で資料収集を行ったのちに、北京、上海、東京で関係者にインタビューを行う。
19	中等教育レベルの学生における科学文化：マレーシアと日本の比較研究	マレーシア	National University of Malaysiaマレーシア国民大学教育学部	06.04.01～ 07.03.31	マレーシア国民大学の研究者（5名）と日本人研究者（1名）による1年間の共同研究。特に中等教育段階の生徒に焦点をあて、政策・カリキュラム分析、生徒や教育者など関係者約500名へのアンケート・インタビュー等を通じ、「科学文化」の発展レベルおよび発展に寄与する要因に関し、日本とマレーシアの比較研究を行う。
20	持続可能な開発についての教育：マレーシアと日本の政策、活動と組織についての比較研究	マレーシア	Universiti Sains Malaysiaマレーシア科学大学企業と持続可能な開発研究所	06.10.01～ 06.11.30	マレーシア人研究者が「持続可能な開発のための教育」をテーマに仙台市・岡山市における環境教育への取り組みを調査し、日本の取り組み・マレーシアの取り組みをまとめ、セミナー開催、マレーシア政府への政策提言につなげる。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
21	第7回日本研究・日本語教育国際シンポジウム	(香港)	香港中文大学日本研究学科/香港日本語教育研究会 Department of Japanese Studies, The Chinese University of Hong Kong	06.10.29～ 06.10.30	香港日本語教育研究会は、香港・マカオ地域における日本語教育関係者の情報交換、ネットワーク形成を目的に設立されたもの。同研究会は毎年の定例会とは別に2年に1回のペースで国際シンポジウムを開催しており、今回が7回目。テーマは「アジア太平洋地域における日本研究と日本語教育の変容と課題」で、これまで構築してきたネットワークを広げることが目的。
22	日本学集中講座	ベトナム	University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University-Hanoiハノイ国家大学 人文社会科学大学 (東洋学部日本学科)	06.04.01～ 07.03.31	申請機関には、日本に関して研究を行う学部がいくつかあるが、以前からその枠を越えてゼミ形式で学生が発表をし合う勉強会が実施されてきた。そうした組織を用い、ベトナム内外で様々な分野で日本研究を行っている学者・研究者を招いて講演および学生指導をしてもらい、学生のレベル向上を目指す。
23	中日都市づくり及び再生国際シンポジウム	中国	Tong Ji University同済大学アジア太平洋研究センター	06.11.09～ 06.11.10	都市公共管理、都市計画と景観計画、都市文化財保存等の問題に関して、日本の経験に学び、中国の都市作りに役立てることを目的としてシンポジウムを開催するとともに、成果を「日本都市作り・再生シリーズ叢書」として出版する。同済大学アジア太平洋研究センターは2001年に設立。

1. 日本研究事業費 (7) 東南アジア元日本留学生活動支援 (A C)

アセアン6カ国の元日本留学生協会の行なうアジア各国の元日本留学生交流のための活動 (集会室借上など) に対し支援を行なう。

合計額 18,486,148円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	インドネシア元留学生協会(PERSADA)	インドネシア	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
2	シンガポール元日本大学卒業生協会(JUGAS)	シンガポール	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
3	タイ国元日本留学生協会OJSAT	タイ	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成

アジア・大洋州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
4	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
5	マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
6	東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成
7	ミャンマー元日本留學生協会MAJA	ミャンマー	06.04.01～ 07.03.31	アセアン諸国の元日本留学生の対日理解促進の目的として、集会施設借料等に対する助成

1. 日本研究事業費 (8)北京日本学研究中心派遣 (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心修士課程、在職日本語教師修士課程に対し、専門家を派遣する。
合計額 51,194,239円

	人物	現職	期間	事業内容
1	伊藤 徳也	東京大学大学院総合文化研究科 准教授	05.10.01～ 07.03.31	日本側副主任として北京日本学研究中心運営を行うと共に、「日中文化比較」の講義を担当する。
2	白水 紀子	横浜国立大学教育人間科学部 教授	05.10.01～ 07.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究中心運営を行うと共に、「日中文化比較」の講義を担当する。
3	畔上 和子		06.04.01～ 07.03.31	日本側主任教授・副主任を補佐し、北京日本学研究中心内日本側事務局の運営を行う。
4	砂川 有里子	筑波大学人文社会科学部 教授	06.09.02～ 06.12.02	北京日本学研究中心において、言語コースの講義・学生指導を行う。
5	大井田 義彰	東京学芸大学人文社会科学系 助教授	06.08.29～ 07.01.08	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を行う。
6	竹歳 一紀	桃山学院大学 教授	06.08.21～ 07.01.08	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を行う。
7			06.04.01～ 07.03.31	北京日本学研究中心へ派遣する専門家に対し、説明会を開催する。
8	松岡 榮志	東京学芸大学 教授	06.10.01～ 07.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究中心運営を行うと共に、「日中文化比較」の講義を担当する。
9	小幡 敏行	横浜市立大学 准教授	06.10.01～ 07.03.31	日本側副主任として北京日本学研究中心運営を行うと共に、「日中文化比較」の講義を担当する。
10	篠崎 摂子	日本語国際センター 専任講師	06.08.20～ 06.08.24	在職修士コース第4期生第2回の論文指導を行う。

	人物	現職	期間	事業内容
11	西谷 まり	一橋大学 教授	06.08.20～ 06.08.24	在職修士コース第4期生第2回の論文指導を行う。
12	矢澤 真人	筑波大学人文社会科学 学研究科 助教授	07.03.01～ 07.07.11	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・ 学生指導を行う。
13	米原 謙	大阪大学大学院国際 公共政策研究科 教 授	07.02.26～ 07.04.30	北京日本学研究センターにおいて、文化コースの講義・ 学生指導を行う。
14	柴田 弘捷	専修大学文学部 教 授	07.03.25～ 07.04.25	北京日本学研究センターにおいて、社会コースの講義・ 学生指導を行う。
15	長島 弘明	東京大学大学院人文 社会系研究科 教授	06.11.12～ 06.11.25	北京日本学研究センターにおいて、日本文学の集中講義 を行う。
16	山田 奨治	国際日本文化研究セ ンター	06.10.15～ 06.10.29	北京日本学研究センターにおいて、日本社会の集中講義 を行う。
17	西原 鈴子	東京女子大学 現代 文化学部 教授	07.03.19～ 07.04.02	北京日本学研究センターにおいて、日本語教育学の集中 講義を行う。

1. 日本研究事業費 (9)北京日本学研究センター派遣 (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官など有識者を派遣する。

合計額 5,420,530円

	講座名	人物	現職	期間	事業内容
1	日本の科学技 術・環境政策(博 士第1期)	角南 篤	政策研究大学院 大学 准教授	06.03.28～ 06.04.21	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本 の科学技術・環境政策」に関する講義を行い、 学生の指導にあたる。
2	日本の産業技術 政策史(博士第 1期)	坂倉 省吾	日本規格協会 顧問	06.04.11～ 06.04.14	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本 の産業技術政策史」に関する講義を行い、学生 の指導にあたる。
3	日中比較文化 (博士第1期)	神長 善次	宇都宮大学 客 員教授	06.04.16～ 06.04.19	北京大学現代日本研究センターにおいて「日中 比較文化」に関する講義を行い、学生指導にあ たる。
4	日中政治概論 (博士第1期)	内田 満	早稲田大学 名 誉教授	06.04.18～ 06.04.21	北京大学現代日本研究センターにおいて「日中 政治概論」に関する講義を行い、学生指導にあ たる。
5	社会福祉経済 (博士第1期)	鈴木 亘	東京学芸大学 教育学部 助教 授	06.04.24～ 06.04.27	北京大学現代日本研究センターにおいて「社会 福祉経済」に関する講義を行い、学生指導にあ たる。

アジア・大洋州交流事業費

	講座名	人物	現職	期間	事業内容
6	日本政治概論 (博士第2期)	内田 満	早稲田大学 名誉教授	06.10.24～ 06.10.27	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本政治概論」に関する講義を行い、学生指導にあたる。
7	日本の経済発展 とイノベーション システム (博士 第2期)	後藤 晃	東京大学先端科 学技術研究セン ター 教授	06.10.16～ 06.10.22	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の経済発展とイノベーションシステム」に関する講義を行い、学生指導にあたる。
8	日本の行政 (博 士第2期)	高田 寛文	政策研究大学院 大学 教授	06.11.21～ 06.12.25	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の行政」に関する講義を行い、学生指導にあたる。
9	日本の金融 (博 士第2期)	賀来 景英	東洋大学経営学 部 教授	06.11.29～ 06.12.02	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の金融」に関する講義を行い、学生指導にあたる。
10	日本の中央と地 方の関係 (博士 第2期)	上子 秋生	京都大学大学院 法学研究科 教 授	07.03.25～ 07.03.28	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本の中央と地方の関係」に関する講義を行い、学生指導にあたる。
11	日本と国際経済 法 (博士第2期)	吾郷 眞一	九州大学大学院 法学研究科 教 授	06.04.01～ 07.03.31	北京大学現代日本研究センターにおいて「日本と国際経済法」に関する講義を行い、学生指導にあたる。

1. 日本研究事業費 (10)北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心の博士課程、修士課程、在職日本語教師修士課程に在籍する学生および専任教授などを、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。

合計額 44,252,184円

	事業名	人物	期間	事業内容
1	修士20期生	—	06.03.28～ 06.08.01	北京日本学研究中心修士課程学生20名に修士論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受ける。
2	2006年現地博士課程 フェロー2(李)	李 所成	06.03.30～ 07.03.29	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、修士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与する。
3	2006年現地博士課程 フェロー1(孫)	孫 海英	06.03.30～ 07.03.29	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与する。
4	専任研究スタッフ招 聘 (05-06)	宋 金文	06.02.06～ 06.06.05	北京日本学研究中心専任教員スタッフに対し、研究能力向上のため訪日研究フェローシップを供与する。
5	北京外国語大学学長	カク 平	06.04.23～ 06.04.27	北京日本学研究中心の実施機関の責任者である北京外国語大学学長を招聘する。

	事業名	人物	期間	事業内容
6	専任研究スタッフ招聘 (06-07)	丁 紅衛	06.11.05～ 07.03.04	北京日本学研究中心専任スタッフに対し、研究能力向上のため日本での研修を行う。
7	修士21期生	—	07.03.28～ 07.08.01	北京日本学研究中心修士課程学生20名に修士論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施し、大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受ける。

1. 日本研究事業費 (11)北京日本学研究中心招へい (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座を受講する学生を、研究、資料収集、論文執筆などのために招へいする。
合計額 17,259,907円

	事業名	期間	事業内容
1	博士訪日研修 (1期)	06.05.16～ 06.05.30	北京大学現代日本研究中心の講座受講生 (博士課程20名、その他随行4名) に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施する。
2	博士訪日研修 (2期)	06.04.01～ 07.03.31	北京大学現代日本研究中心の講座受講生 (博士課程20名、その他随行4名) に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施する。

1. 日本研究事業費 (12)北京日本学研究中心 (研究協力)

北京外国語大学および北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、図書・教材の購送、学術共同研究の実施などの研究に関する支援などを行なう。
合計額 12,409,409円

	事業名	期間	事業内容
1	北京外国語大学教材等購送	06.04.01～ 07.03.31	北京日本学研究中心北京外国語大学実施分に講義用教材、図書館資料を購送する。
2	北京大学教材等購送	06.04.01～ 07.03.31	北京日本学研究中心北京大学現代日本研究中心に対して講義用教材、図書館資料を購送する。
3	研究・出版プロジェクト	06.04.01～ 07.03.31	北京日本学研究中心において、専任スタッフにより実施される研究活動及び出版活動を支援する。
4	北京外国語大学 (文献複写)	06.04.01～ 07.03.31	北京日本学研究中心図書館において日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援する。

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 145,378,055円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	NGYEN, DUY Dung	日本研究センター助教授	ベトナム	東京大学	05.11.10～ 06.05.08	経済競争の向上に向けた行政改革：ここ数年における日本とベトナムの比較
2	FERNANDO, Laksiri Piyadasa	コロンボ大学大学院研究科研究科長／教授	スリランカ	龍谷大学経済学部	05.08.24～ 06.08.23	平和構築への日本の役割：スリランカを例として
3	Chowdhury, Mahfuzul Hoque	チッタゴン大学教授	バングラデシュ	東京大学	05.08.01～ 06.07.31	日本の政党政治及び選挙改革と民主主義強化、バングラデシュへの教訓
4	NGUYEN THI, Oanh	ベトナム社会科学院 漢喃研究所研究員	ベトナム	立教大学文学部	05.12.02～ 06.06.01	「今昔物語集」の伝承要素についての比較研究
5	NETHIPO, Viengrat	チュラロンコン大学講師	タイ	京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科	05.10.01～ 06.09.30	タックシンと田中角栄の政治スタイルの比較研究
6	OKANO, Kaori Horne	ラ・トロープ大学シニア講師	オーストラリア	神戸大学発達人間科学部	06.01.25～ 06.12.15	現代日本におけるマルチカルチャリズム教育の政策と実践 - 地域の市民運動とグローバル化の相互作用
7	BALARAM, Padmini	National Institute of Design (NID) 客員教授	インド	国立民族学博物館	06.03.11～ 07.03.10	中国、韓国を經由したインドから日本への織物の伝播ルート；文化、織物、デザイン、色への相互影響
8	ZAYAS, Cynthia Neri	フィリピン大学国際地域研究センターセンター長	フィリピン	神戸学院大学	05.08.01～ 06.07.30	明石における土地の歓喜と地名の記憶
9	HOOI, Lai Wan	マレーシア工科大学科学技術政策・国際問題研究センター講師/研究員	マレーシア	大阪大学大学院国際公共政策研究科 (OSIPP)	06.02.06～ 07.02.05	現代における人的資源管理の傾向：日本とマレーシアの比較
10	Wuyungaowa	中国社会科学院歴史所中外交流史研究室研究員	中国	大阪国際大学法政経学部	05.08.09～ 06.08.08	明代「日本訳語」と朝鮮司訳院「日本語学」の研究

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
11	PAN, Li	中国人民大学 芸術学院助教授	中国	東京芸術大学 美術学部	05.09.01～ 06.07.31	日本美術から考察される日本人の『間』 の意識構造の探求
12	LI, Xiufeng	中国青年政治 学院公共管理 学部公共管理 学部長、副教 授	中国	早稲田大学大 学院公共経営 研究科	05.07.20～ 06.07.19	日本における規制改革研究
13	WANG, Jian	中国社会科学 院近代史研究 所台湾史研究 室研究室主任 研究員	中国	慶應義塾大学 東アジア研究 所	05.09.01～ 06.08.31	戦後日台経済関係史（終戦初期-1980 年代）に関する研究
14	BI, Shihong	雲南大学国際 関係学院常勤 講師/教師	中国	早稲田大学大 学院アジア太 平洋研究セン ター	06.02.05～ 07.02.04	メコン経済圏の開発・協力をめぐる日 本の関わり
15	YOOK, Keun-hyo	釜山外国語大 学経営学部教 授	韓国	横浜国立大学 経営学部	05.12.15～ 06.12.14	地方自治体の会計制度と成果評価シス テムに関する日韓比較研究
16	CHUNG, Ki-ryong	国立麗水大学 校国際学部助 教授	韓国	一橋大学大学 院社会学研究 科	06.02.10～ 07.02.09	日本の少子・高齢社会における社会政 策
17	KIM, Kee-seok	国立江原大学 校社会科学大 学政治外交学 科教授	韓国	法政大 学校	06.01.20～ 07.01.19	受動的な国家から地域覇権国家へ日本對 外経済政策の部門間比較研究
18	CHO, Kyu-cheol	韓国外語大 学副教授	韓国	筑波大学人文 社会学科研究 科	05.08.20～ 06.08.19	日本におけるNGO・NPOと政府間の パートナーシップに対する研究
19	LEE, Chang-hyun	国民大 学校情 報学部 教授	韓国	東京大学大学 院情報学環	05.07.10～ 06.05.09	北東アジアにおける文化交流とそれ による国家アイデンティティへの影響と 国際関係
20	BAIK, Chang Jae	ソウル大 学校 政治学科教授	韓国	慶應大学法学 部政治学科	07.02.26～ 08.12.25	日米同盟に対する日本の積極政策
21	WEI, Dahai	中国社会科学 院 外国文学 研究所 東方 文学研究室研 究員	中国	国際日本文化 研究センター	06.10.31～ 07.08.30	芥川竜之介と中国文化

アジア・大洋州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
22	WANG, Jun	中央民族大学 教育学院学院 長・教授	中国	東京大学 大 学院教育学研 究科	06.08.01～ 07.01.31	日中両国の国際理解と異文化間教育に ついての比較研究
23	CHUNG, Yong hwa	延世大学校 国学研究院研 究教授	韓国	東京大学大学 院法学政治学 研究科	06.09.01～ 07.03.03	中華思想の近代的變容 日本、中国、 韓国 比較
24	KANG, Hyoung Kee	国立 忠北大 学校 社会科 学大学 行政 学科教授	韓国	同志社大学 大学院 総合 政策科学研究 科	06.05.11～ 07.03.08	京都市と金沢市の文化産業政策に関す る比較研究
25	DONG, Bing yue	中国社会科学 院 文学研究 所教授	中国	東京大学大学 院総合文化研 究科	06.09.10～ 07.07.09	文学・思想としての日露戦争-早期清 国留学生と同時代の日本近代作家を中 心に-
26	WANG, Ye Yang	中国社会科学 院 近代史研 究所研究員、 教授	中国	早稲田大学院 アジア太平洋 研究科	06.08.06～ 07.02.05	中日歴史価値観分岐の文化思想根源 (知的交流フェローシップにて対応)
27	LIN, Xiao Guang	中央党校国際 戦略研究中心 教授	中国	早稲田大学 亜州太平洋研 究所	07.02.28～ 07.12.27	北東亜地域安全研究：六カ国協議の視 点から地域多辺安全機能及び中日両国 の作用を論じる
28	PARK, Jung-Wei	圓光大学校 師範大学 日 本語教育学科 教授	韓国	東京大学大学 院 総合文化 研究科	06.05.23～ 07.02.22	「歴史」教科書にあらわれる世界観の 韓日比較
29	POE, Baek	Hotel観光大 学 副教授慶 熙大学校	韓国	慶應義塾大学 法学部	06.12.01～ 07.02.28	日本のメディアによる韓国報道の実態 と日本社会における対韓国意識の变化 との相関性についての調査研究
30	SON, Kisup	ソウル大学国 際大学院責任 研究員(研究 教授)	韓国	東京大学東洋 文化研究所	06.07.20～ 07.05.19	21世紀の日本の援助外交-国際的国 内的構造変化と新しいビジョンの模索
31	YOON, Jae seon	翰林聖心大学 地方行政学 科：翰林大学 日本学研究所 教授	韓国	大阪市立大学 大学院法学研 究科	06.07.01～ 07.04.30	地域振興運動に関する韓日比較研究
32	YOU, Incheon	中央大学校演 劇学科 副教 授	韓国	日本大学芸術 学部	06.11.13～ 07.08.31	韓日間の俳優の性格創造及び表現方式 に関する研究
33	HARTLEY, Barbara Toni	クィーンズラ ンド大学 講師	オーストラリ ア	北海道大学	07.02.01～ 07.11.30	武田泰淳の文学：20世紀の日本におけ る自己、他者そして国家

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
34	FILUS, Dorothea Magdalena	モナッシュ大学日本研究センターリサーチ・フェロー	オーストラリア	国学院大学日本文化研究所	06.09.19～ 07.07.18	日本における宗教教育
35	ANWAR, Etty Nurhayati	インドネシア大学人文科学部日本学科講師	インドネシア	東北大学大学院文学研究科	06.07.01～ 07.01.31	鎌倉仏教の信仰構造－日本における宗教文化の特徴と展開
36	DWIANTO, Raphaella Dewantari	アトマジャカトリック大学経営学部 講師	インドネシア	東北大学大学院文学研究科	07.03.22～ 08.01.21	アジアにおけるサステイナブルシティおよびコミュニティの社会設計
37	METHASATE, Namthip	チュラーロンコン大学文学部東洋言語学科日本語講座講師	タイ	東京外国語大学	06.06.05～ 07.04.04	『日本文学に描かれた「タイ」』
38	LAM, Peng Er	シンガポール国立大学東アジア研究所シニアリサーチフェロー	シンガポール	日本国際問題研究所	06.09.01～ 06.12.31	日本の紛争予防とアジアにおける平和構築：その積極的な役割を求めて
39	TRAN, Han Giang	ベトナム社会科学院 家族・ジェンダー研究所所長	ベトナム	東京大学大学院総合文化研究科	06.05.30～ 06.11.29	19世紀の終わりから20世紀の間中までの日本社会とベトナム社会におけるジェンダー関係に対する「良妻賢母」論の影響
40	NGUYEN THI, ThanhTam	ハノイ外国貿易大学 日越人材協力センター (VJCC) 日本語課 課長	ベトナム	法政大学社会学部 大原社会問題研究所	07.03.21～ 07.09.20	ベトナムの市場経済化における人材育成の展開：日本の企業成長からの教訓
41	CHEN, Duan Duan	中国アモイ大学 外文学院 日本語学部 教授	中国	大阪大学	06.10.01～ 07.07.31	意識と表現－比較文化の角度から見る
42	ZHOU, Nian li	華東師範大学 就学前・特殊教育学院助教授	中国	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	06.05.31～ 07.03.30	日本における統合保育の理論と実践について研究

アジア・大洋州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
43	HASHIM, Rosnani	マレーシア国際イスラム大学 教育研究所教授	マレーシア	東京大学	06.09.10～ 06.12.09	グローバリゼーションに対応する戦略としての教育の英語化について：マレーシアと日本におけるレスポンスの比較研究(高砂熟学工業・日本研究フェローシップで採用)
44	JIN, Ming Quan	重慶師範大学 文学与新聞学院教授	中国	明星大学	07.01.15～ 07.11.14	攻玉論－20世紀初頭における中国経済人の日本留学に関する研究
45	ROMA, Dinah Tapia	デ・ラ・サール大学文学学科助教授	フィリピン	神戸大学国際文化学部	06.09.01～ 07.06.30	現代旅行記の中の”失われゆく”日本の再構築：異文化研究として
46	TIGNO, Jorge Villamor	フィリピン大学社会科学・思想学部準教授	フィリピン	京都大学東南アジア研究所	06.11.01～ 07.08.31	外人の目を通して見た日本：進展するトランスナショナルリズムの文脈における大阪在住フィリピン人のパースペクティブ
47	SWAIN, Mamata	北オリッサ大学 経済学部教授	インド	筑波大学大学院 生命環境科学研究科	07.03.27～ 08.01.26	日本の土地改良区制度と持続可能な水利及び土地管理：インドへの教訓
48	CHO, Sung Youn	済州大学校 人文大学 社会学科教授	韓国	関西学院大学 社会学部	06.08.28～ 07.02.28	日本の新宗教における在日Korean信者の役割とIdentity
49	KANAGASABAL, Kajendra	コロンボ大学 シニアレクチャー	スリランカ	学習院大学経済学部経営学科	06.09.19～ 07.07.18	市場指向と組織の業績
50	BHATTACHARYA, Swapan Kumar	インド行政研究所助教授	インド	政策研究大学院大学 National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS)	06.11.01～ 07.08.31	アジア経済共同体に向けた、B I M S T E C と日本の自由貿易協定の可能性
51	GALAY, Karma	ブータン研究センターシニアリサーチャー	ブータン	大阪大学大学院人間科学研究科	06.05.10～ 06.08.09	国民総幸福量 (GNH)のための指標確立

2. 人物交流事業費 (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 73,682,426円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	Naw Si Blut	東南アジア教育大臣機構 歴史伝統センター (SEAMEO-CHAT) シニア・オフィサー	ミャンマー	東京外国語大学	05.07.03～ 06.09.02	ミャンマーでの日本の占領による影響：エーヤーワディ地区の事例
2	DAI, Hongguang	北京大学外国語学院日本語文化学部	中国	法政大学法学部	05.10.18～ 06.12.17	「粹」と日本近世倫理－美意識研究の思想史的な視座
3	XIE, Zhiyu	浙江大学外国語学院日本語文化研究所副所長/ 助教授	中国	東京学芸大学	05.10.16～ 06.10.14	二十世紀後半における日本の小説
4	PRASAD, Prashant Kumar	ジャワハルラル・ネルー大学学生	インド	早稲田大学大学院アジア・太平洋研究科	05.10.26～ 06.12.25	日本の開発援助：1992年～2001年までのソフトエイド政策の研究
5	JAYARAMAN, Usha Priamvatha	バナラス・ヒンドゥー大学研究院	インド	筑波大学文芸言語学系内	05.06.13～ 06.07.08	日本の女流文学に見るユーモアとその文化的背景
6	CORBETT, Rebeccajane	シドニー大学日本・韓国(朝鮮) 学科博士課程大学院生	オーストラリア	国際日本文化研究センター	05.09.26～ 06.07.21	戦時下の日本における茶の湯の女性化
7	LIM, Tai Wei	コーネル大学博士課程学生	シンガポール	九州大学法学部	06.02.07～ 06.10.06	中国石油開発に対する日本の投資の影響について
8	ZHANG, Yijie	同済大学建築与城市規画学院博士課程	中国	東京芸術大学	05.06.25～ 06.08.24	飛鳥時代から平安時代までの木造層塔の類型に関する研究
9	CHEN, Jing	中山大学大学院人類学研究科学生	中国	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科	06.01.30～ 07.03.02	民族文化の観光資源化－町づくりと伝承文化の保護・活用－
10	SHIN, Mi-young	漢陽大学校博士課程	韓国	日本大学芸術学部	05.07.01～ 06.08.31	青年梶井基次郎と近代都市空間
11	LI, Minggang	オハイオ州立大学東アジア語学文学学科	中国	国際日本文化研究センター	05.10.02～ 06.10.01	文藝春秋社の初期と中流知識層読者数の増加について

アジア・大洋州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
12	YANG, Zhaohua	スタンフォード大学宗教学博士課程学生	中国	東京大学大学院人文社会系研究科	06.03.30～ 07.05.29	穢れ：江戸時代における烏枢沙摩明王に関する偽書の創作
13	KIM, Hyun-chul	エジンバラ大学社会人類学博士課程	韓国	筑波大学	05.10.22～ 06.12.21	現代日本の死者儀礼と死の概念
14	LIN, Zhongjie	ペンシルバニア大学博士課程	中国	芝浦工業大学建築工学科	05.07.05～ 06.07.04	都市の発展：丹下健三と日本の都市ユートピア（1959-70）
15	CHOI, Suk-hwan	ソウル大学大学院法学科研究生	韓国	東京大学大学院法学政治学研究科	05.07.22～ 06.09.21	日韓両国の労働法の制定に見る雇用者の概念に対する比較研究
16	WU, Songmei	山東大学 外国語学院専任講師	中国	明治大学 文学部	06.07.30～ 07.05.29	「源氏物語」における女性像
17	HUANG, Ying	中国海洋大学 外国語学院助教	中国	九州大学 比較社会文化研究院	06.09.30～ 07.07.29	宮沢賢治におけるユートピアの表象と構造
18	DIAO, Xiaolong	清華大学 歴史系博士2年生 歴史系 博士課程	中国	早稲田大学 文学学術院	06.08.18～ 07.06.17	中国礼学の日本における伝承
19	FENG, Tong	中央民族大学 社会学民族学学院 博士課程在学 博士課程	中国	島根県立大学 総合政策学部 島根県立大学 メディアセンター	06.09.28～ 07.07.27	日本における文化遺産保護の政策・システム及び中国への示唆
20	SON, Bin	北京大学 外国語学院 日本語文化学部 日本文化研究科博士課程在学	中国	東京大学大学院 総合文化研究科文化人類学研究室	06.10.01～ 07.09.30	柳田国男の日本人論について
21	LEE, Ji Hyun	韓国外国語大学 学校講師	韓国	東京大学比較文学比較文化研究室	06.09.01～ 07.07.31	三島由紀夫を通して見た日本文化研究（浪漫主義を中心として）
22	JOHNS, Adam Lucas	オーストラリア国立大学アジア太平洋政治経済研究科	オーストラリア	早稲田大学	07.02.15～ 07.07.31	アジア太平洋におけるコンテンツ産業の発展と振興

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
23	LING, Wei Ci	浙江大学大学院 法学研究科博士課程	中国	東京大学大学院 法学政治学研究科	06.05.29～ 07.03.28	中国の住宅保障における社会権の構造について－日本を比較対象として
24	CHAN, Ka Sik	中山大学大学院経営研究科	中国	神戸大学大学院経済学研究科	06.07.01～ 07.02.28	食品産業の競争力についての考察：国際化中の醤油業界を事例として
25	VYAS, Susmita	デリー大学	インド	龍谷大学 経営学部	06.09.27～ 07.09.26	浄土宗とヴァイシュナミズムから見た仏教徒ヒンドゥー教の相互作用
26	SHARMA, Ashish	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	一橋大学大学院社会学研究科	06.10.04～ 07.10.03	日本の東南アジア政策：1991年-2005年のインドネシアとベトナムを例として
27	Thida Kyu,	ヤンゴン経済大学経済学部講師	ミャンマー	早稲田大学	06.07.03～ 07.07.02	ミャンマーの経済開発におけるインフラ基盤の役割（1988-2005）：戦前の日本との比較

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ (社会科学院研究生院)

中国の若手研究者育成のため、中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェローシップを供与する。

合計額 6,617,143円

	人物	受入機関	期間	事業内容
1	王 緯	東京大学大学院 法学政治学研究科	06.04.01～ 07.03.31	中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェローシップを供与する。
2	徐 金鳳	東京大学大学院人文社会系研究科	06.04.01～ 07.03.31	中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に対して博士論文執筆のためのフェローシップを供与する。

2. 人物交流事業費 (4) 日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]

人文・社会科学分野の学者、研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 7,688,658円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	KIM, Chul Soo	梨花女子大学通・翻訳大学院専任講師	韓国		06.07.02～ 06.08.30	(1) 日本における政党制 (政治) の変化 (2) 日本の対韓国認識

アジア・大洋州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
2	GONG, Yingchun	外交学院 国際法学部専任講師	中国	東京大学大学院 法学政治学研究科	06.08.01～ 06.09.29	日中両国における海洋政策の比較研究
3	ZHAO, Zi Xiang	遼寧社会科学学院教授	中国	日本拓殖大学	06.09.05～ 06.11.03	中日文化の相違と衝突の比較研究
4	CHOI, Young Ho	霊山大学副教授	韓国	九州大学韓国研究センター	06.07.11～ 06.08.19	終戦直後の福岡・山口における在日朝鮮人連盟（朝連）の結成過程と組織活動の研究
5	LEE, Sung Whoan	啓明大学校国際大学日本学科教授	韓国	京都大学大学院法学研究科 筑波大学人文社会科学研究科長	06.12.29～ 07.02.26	間島問題の歴史的展開－満州事変以降を中心に－
6	MUSTAFA, Huda Hudita Nura	エモリー大学文化人類学部助教授	インド	森美術館	06.05.20～ 06.06.20	アフリカと日本：東京における新しい文化の交流

2. 人物交流事業費 (5)日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）

マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 3,249,056円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	SELVARAJU, Mala	クイーンズランド大学国際関係・政治学部博士課程	マレーシア	国際大学大学院国際関係学研究科	06.01.19～ 06.07.18	日馬二国間関係と東アジア地域主義
2	HASHIM, Rosnani	マレーシア国際イスラム大学 教育研究所 教授	マレーシア	東京大学	06.07.02～ 06.12.09	グローバリゼーションに対応する戦略としての教育の英語化について：マレーシアと日本におけるレスポンスの比較研究(高砂熱学工業・日本研究フェローシップで採用)

2. 人物交流事業費 (6)知的交流フェロースhip (次世代) (AC) [アジア・大洋州]

アジアをフィールドとする日本の若手による優れた調査・研究を奨励するとともに、他のアジアの国々と日本との知的対話のネットワーク構築を担う次世代の人材育成を目的として、日本の大学院生、非営利団体スタッフにアジアにおける調査・研究のためのフェロースhipを供与する。

合計額 19,835,458円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	小林 誠	首都大学東京 大学院 博士 後期課程1年	ツバル	ツバルオー バービュー (NGO)	06.03.30～ 07.03.29	環境問題を生きる島嶼民の社会人類学的研究—ポリネシア・ツバル諸島における海面上昇の「危機」と適応戦略— (ツバルオーバービュー (NGO))
2	鈴木 佑記	上智大学大学 院 博士後期 課程1年	タイ	国立チュラロ ンコン大学社 会調査研究所	06.01.15～ 07.01.14	「漂海民」モーケンのライフヒストリー — スマトラ沖地震・津波被災後のアイデンティティ変容に関する考察 — (国立チュラロンコン大学社会調査研究所)
3	緒方 愛	日本赤十字社 医療センター /東京大学大 学院総合文化 研究科 看護 士/修士課程2 年	インドネシア	インドネシア 西ジャワ州保 健局	06.03.31～ 07.06.28	地域保険活動におけるエスのグラフィックアプローチを取り入れた地域診断・分析と計画立案・評価 — インドネシア、B地域の人々の世界観とケアリングシステム・健康観・保健行動を規定する文化的要因を中心に — (インドネシア政府保健省)
4	松永 光平	東京大学大学 院 博士後期 課程3年	中国	陝西師範大学 旅遊与環境学 院	05.09.01～ 06.08.31	中国黄土高原における水土流失と人々の暮らしとのかかわり (陝西師範大学旅遊与環境学院)
5	田中 洋子	東北大学大学 院 博士前期 課程1年	インドネシア	国立ハサヌ ディン大学農 学研究科	06.03.26～ 06.08.25	インドネシアにおける農民参加型水管理の可能性と課題—南スラウェシ州ゴワ県の水利組合効果事業を事例に— (国立ハサヌディン大学農学研究科)
6	石井 弓	東京大学大学 院 博士課程	中国	山西大学日本 研究中心	06.08.25～ 06.12.24	中国における戦争記憶の継承 (山西大学日本研究中心)
7	伊藤 悟	総合研究大学 院大学 博士 後期課程2年	中国	雲南芸術学院	07.03.17～ 08.03.16	音をめぐる感覚の実践とタイ族社会の変容に関する研究—楽器「ビー・ラムダオ」の継承と発展を事例として— (雲南芸術学院)
8	鈴木 幸子	財団法人ケ ア・インター ナショナル ジャパン プ ログラム・ コーディネ ーター	インドネシア	インドネシア 科学院	07.02.14～ 07.10.13	インドネシア各地で発生している、異なるコミュニティ間の抗争予防活動における伝統的慣習の有効性 (インドネシア科学院)

アジア・大洋州交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
9	堀場 明子	上智大学大学院 博士後期課程3年	インドネシア	インドネシア大学心理学部	07.02.14～ 07.10.13	インドネシア・マルク州における紛争後の新しいネットワーク形成—平和構築の原動力となるために—(インドネシア大学心理学部)
10	東 智美	特定非営利法人メコン・ウォッチ ラオスプログラム・コーディネーター	ラオス	ラオス国立大学林学部	06.10.12～ 07.09.11	ラオス北部における森林の利用と保全をめぐる制度と地域住民の暮らし 委譲事業に関する調査・提言活動—(ラオス国立大学林学部)
11	幅崎 麻紀子	北海道大学 博士課程	ネパール	トリブバン大学	07.03.16～ 07.11.15	政治的社会的混乱を生きる单身女性の生活戦略～ネパール社会における「エッカルマヒラ(单身女性)」の文化人類学的研究～(トリブバン大学)
12	矢嶋 美香子	総合研究大学院大学 博士後期課程1年	バングラデシュ	ダッカ大学人類学部	07.03.31～ 08.03.30	生まれ変わる「地域らしさ」と新たな地域開発の可能性—バングラデシュにおける銅合金手工業の再興を事例として—(ダッカ大学人類学部)
13	戸加里 康子	一橋大学 博士後期課程	マレーシア	マレーシア国民大学マレー文明世界研究所	07.03.21～ 08.03.20	演者の視点から伝統芸能の保護を考える—マレーシアのワヤン・クリ(影絵芝居)を事例に—(マレーシア国民大学マレー文明世界研究所)

2. 人物交流事業費 (7)知的リーダー交流（アジアリーダー）（AC）〔アジア・大洋州〕

アジア地域の次世代を担うリーダーを日本に招へいし、共同研究や協議の機会を提供する。

合計額 25,953,450円

事業名	人物	現職	対象国	期間	事業内容
1 アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	李 時載 イ・シジェ Lee, Seejae マリア・ハル ティニンシ Maria Hartiningsih アルバート・アレホ Albert E. Alejo グエン・タン・ソン Nguyen Thanh Son ジャネット・ピライ Janet Pillai モヒウディン・アフマッド Mohiuddin Ahmad クンダ・ディクシット Kunda Dixit 鎌田 陽司 Kamata, Yoji	韓国カトリック大学社会学教授;韓国環境運動連合ソウル支部共同代表 ジャーナリスト;日刊紙Kompas記者 アテネオ・デ・ダバオ大学教授 文芸・芸術評論家;T&A Communications Vietnam C.E. O. マレーシア科学大学上席講師 Community Development Library代表 Nepali Times・Himalmedia社編集責任者 NPO法人開発と未来工房代表理事	韓国 インドネシア フィリピン ベトナム マレーシア バングラデシュ ネパール 日本	06.09.15～ 06.11.15	アジア諸国の様々な分野において際立ったリーダーシップを発揮している専門家を2ヶ月間日本に招へいするプログラム。今年は、韓国、インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシア、バングラデシュ、ネパールおよび日本の各国から8名のフェローが、総合テーマ『Unity in Diversity : Envisioning Community Building in Asia and Beyond』をめぐり議論し、人的ネットワークの形成を図った。
2 ALFPフェローアップ事業：書籍の出版				06.04.01～ 07.03.31	元ALFPフェローが4名、元日本研究フェロー3名を中心とする13名の専門家が、各専門分野における日本をテーマにした論文、エッセイを執筆し、出版した。

その他共通経費 270,490円

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 (8)知的交流フェローシップ (招へい) [アジア・大洋州]

日本において人文・社会科学分野の研究を行なう諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 3,502,630円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	HIRISAWA, S., Prabhakar	ジャワハルラル・ネルー大学 助教授	インド	早稲田大学政治経済学部	06.03.12～ 06.06.11	日本とインドにおける市民社会：国家と地域社会の均衡の変化
2	SOUILLAC, Genevieve	シドニー大学 平和・紛争研究センター講師	オーストラリア	広島平和研究所	07.01.03～ 07.02.02	なぜ日本においてピース・アクティビズムが機能するのか-日本の事例
3	ALAM, Bachtiar	インドネシア大学日本研究センター所長	インドネシア	琉球大学 法文学部 人間科学科	06.07.02～ 06.09.02	市民社会研究の新たなアプローチを目指して：沖縄とインドネシアの市民社会の比較

3. 催し等事業費 (1)知的交流会議 (助成) (A C) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議など）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 77,088,694円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	国際ワークショップ『「開発とジェンダー」とローカル・ニーズの検討-多様なジェンダー課題を反映した国際協力の推進をめざして』	全世界区分困難	国際ジェンダー学会「開発とジェンダー」分科会	06.04.01～ 07.03.31	多国間における共通課題である、“開発プロジェクト等におけるジェンダー配慮”に取り組むもので、グローバルなジェンダー論によることなく、それぞれの国や地域のニーズを汲み取り、政策や開発援助に生かしていこうというもの。日本のジェンダー専門家が各国のジェンダー関連政策立案者やNGOとのネットワークのハブとなる役割を果たす。
2	グローバリゼーションの下での少数民族助成のエンパワーメント	中国	宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会	06.04.01～ 06.12.31	グローバリゼーションが進む中で少数民族地域の女性がどのような問題に直面し、それを克服しようとしているかを、中国寧夏回族自治区を例として検証する国際会議。申請機関である宋慶齡基金会は93年から寧夏地方政府をカウンターパートに児童への奨学金の支給、女性教員の養成、図書寄贈等の支援を行っている。
3	東アジア国際理解の理念と実践	韓国 中国	帝塚山学院大学国際理解研究所	06.04.01～ 07.03.31	高等教育機関を基盤とした文化交流の方策の理論的枠組みの構築を模索するため、学生、青少年の関心が高い演劇・映画に焦点を当て、日中韓3カ国の学者が参加する学術シンポジウムと、韓国・中国における現地の大学との共催によるシンポジウムと映画試写会を開催する。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
4	日韓中学術セミナー「北朝鮮の改革可能性－中国の改革との比較を中心に」	韓国 中国	聖学院大学総合研究所	06.04.01～ 07.03.31	平成17年度からの継続案件。北朝鮮が経済改革から政治・体制改革へとソフトランディングが可能かどうか、それを可能とする条件は何かを、中国の改革との比較を中心に議論する。元韓国統一長官の康仁徳氏をはじめ、日中韓から経済・政治・社会学の専門家が参加し、ソウル・東京で一回ずつセミナーを行う。
5	世界89カ国の国際NPO・NGO学会の国際知的交流会議「シビル・ソサエティと人間の安全保障：ラウム・ジャイ」の開催	全世界区分困難	国際NPO・NGO学会世界大会募金委員会	06.05.01～ 06.12.31	世界のNGO・NPOの活動を検討し、比較研究や理論構築を行う学際的な会議で、今回はアジアで行われる初の世界大会。約50ヶ国を超える国から、多様なセクター（研究者、実務者、財団関係者）の参加者を募り、全体会合、ワークショップ、パネル発表を実施する。
6	アジア教育シンポジウム「ボールドレス時代の初等中等教育－日韓相互理解のための教育プログラムを－」	アジア地域区分困難	アジア教育シンポジウム実行委員会	06.04.01～ 07.03.31	アジア各国における国際教育の現状をお互いに理解し、それぞれの国の国際教育にかかわる課題を改善することを目的に、日韓の教員養成系大学によって、両国の国際教育に関する現状と課題を話し合い、その改善のための具体的方策を議論する。
7	「GNH」市民会議～「豊かさ」を問い直す	ブータン	ナマケモノ倶楽部	06.05.01～ 07.03.31	日ブータン国交樹立20周年にあわせ、同国が推進するGNH（グロス・ナショナル・ハピネス）のコンセプトについて広く市民に広めることを目的とした国際会議を東京、函館、福岡で開催する。
8	近代東アジアにおける知の生産と転換	東アジア地域区分困難	近代東アジア文化教育会議・日本委員会	06.04.01～ 06.07.31	これまでの東アジアの文化研究は、一国史の枠組み、あるいは国民国家的視点に縛られ広域的な探求が十分に行なわれてこなかったという反省のもとに、北京、台湾から研究者を集め、2日間の会議を行なう。今年5月に北京大学、11月に台湾大学で行なわれた会議の流れを汲む。
9	アジア国際法学会設立会議	アジア地域区分困難	東京大学国際法研究会	06.04.01～ 07.03.31	日本および途上国を含むアジア各国の主要な国際法学者が域内共通課題に関して討議を行う専門家会合。
10	国際フォーラム「水俣の教訓は活かされたか」	全世界区分困難	熊本学園大学水俣学研究センター	06.04.01～ 06.12.31	海外12カ国13地域から公害病の研究者と被害者を招聘し、ワークショップとシンポジウムを通じて、水俣病の経験がどのように活かされたか、あるいは活かされなかったかの検証を行う。
11	国際シンポジウム「太平洋の環境問題を考える」	大洋州地域区分困難	ニュージーランド学会	06.08.24～ 06.08.26	日本とNZがパートナーシップを組み、海面上昇等太平洋の環境問題を検討するため開催する国際会議。NZから4名の研究者と活動家、及びマーシャル諸島とハワイからスピーカーを招聘。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
12	国際シンポジウム－サハリン残留韓国人・朝鮮人問題を考える－	ロシア	特定非営利活動法人ワールド・トンポー・ネットワーク	06.05.01～ 07.03.31	ロシア・サハリン残留韓国人問題を多角的に論じ、彼らの北東アジアにおける地政学的意味を検討する。さらに学会、政界、民間の立場から、未来志向型の日韓関係および北東アジアの安定について議論する。
13	「北京・東京フォーラム」	中国	特定非営利活動法人 言論NPO	06.04.01～ 07.03.31	チャイナデイリー（中国日報）の共催事業。本フォーラムの目的はアジアの将来について日中両国の世論や政策形成に影響力を持つ有識者が個人の資格で参加し、本音で自由に語り合うことのできる民間版の継続的議論のプラットフォームまたは新しいチャンネルを作ること。
14	シンポジウム「アジア・中東における『伝統』・環境・公共性」	アジア地域区分困難 中東地域区分困難	「アジアの環境と公共性」研究会	06.05.01～ 07.01.31	異なった階層、宗教集団、エスニック・グループを有するアジア・中東においては、各グループが共生するために、新たな共同性や公共性を確立する必要があるとの認識にもとづき、アジア・中東の研究者・ジャーナリストを集め、「アジア・中東における『伝統』・環境・公共性」をテーマとするシンポジウムを開催する。
15	ヨーロッパに学ぶアジア地域統合の推進－東アジア共同体へのロードマップ	東アジア地域区分困難	欧州に学ぶアジア地域統合国際シンポジウム実行委員会	06.04.01～ 07.03.31	欧州の経験に学びつつ、また通貨統合のプロセスに力点をおきつつ、アジアにおける地域統合をテーマに、3日間のシンポジウムを大阪市立大学にて今年10月に開催。駐日欧州委員会代表部、東アジア共同体評議会共催。
16	東アジア地域における共通の文化基盤に関する研究	中国	清華東アジア文化講座	06.04.01～ 07.03.31	東アジア各国の、特に若い世代の知的交流の促進と共通文化の基礎を構築するために、日本・韓国・中国の研究者・文化人による講座シリーズと国際シンポジウムを開催し、それらの成果をもとに雑誌『東亜人文』第2号を発行する。この地域の文化交流史のなかで形成された共通的文化観・価値観を掘り出しつつ、現在の大衆文化に着目し、この地域における新たな共通的思想、文化基礎を構築する可能性を模索する。
17	2006夏季：社会政策に関する国際シンポジウムと講座	中国	中国社会科学院社会政策研究センター	06.04.01～ 06.08.31	中国の社会政策を発展させ、高等教育機関における社会政策の研究・授業をよりよくさせるために、申請機関をはじめとする中国の5つの機関が協力して、4日間の研修・講座プログラムを実施する。中国国内から300名ほどの聴講者・政策担当者などを集め、欧米・アジアの優秀な研究者の講義シリーズや研究交流を実施する。
18	環境ジャーナリストとコミュニケーターのための持続可能な開発に関する報告会	マレーシア	コミュニケーション発展のためのアジア研究所	06.04.01～ 07.03.31	日本、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム、パキスタンからリソースパーソンを招き、主にマレーシアの報道関係者30名に対し、環境報道をよりよくするための3日間のセミナーワークショップを開催する。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
19	国際会議「アジア・太平洋における平和構築－第三者の役割」	タイ	コンケン大学紛争解決研究所	06.04.01～ 06.12.31	各国の経験をもとに、紛争解決・平和構築における第三者の役割について具体的な検討を行う3日間の会議。2001年設立の東南アジア紛争研究ネットワーク（SEACSN）と協力し、アジアおよび太平洋地域の研究者、政策決定者、NGOや国連の実務家に参加を呼びかける。日本からは3名が参加予定。
20	「開発の新しい枠組み」アジアのネットワーク形成のための会議	タイ	サティラコーセット・ナガラディーパ財団	06.04.01～ 06.11.01	ブータン、メコン流域諸国（CLMVおよびタイ、チベット）、日本から、ブータンの政策である「グロス・ナショナル・ハッピーネス」に関するリソースパーソン（研究者、NGO、政策決定者、企業関係者）を招へいし、各国の政策や社会発展と比較しながら意見交換・ネットワーキングを行う。
21	アジア・太平洋の大学における人権教育についてのワークショップ	タイ	マヒドン大学大学院人権・社会開発学部	06.05.01～ 07.03.31	アジア太平洋域内にて人権を学際的に扱う修士課程を持つ大学の関係者が集まり、大学レベルの人権教育発展（共同研究、カリキュラム開発、テキスト作成等）のためのネットワーク構築を図る。また、ワークショップにて、地域に見合った教育を行うためのニーズアセスメントを行う。
22	アジア高齢化社会における高齢者の社会的保護についての地域ワークショップ	タイ	ヘルプエイジ・インターナショナル	06.05.01～ 07.03.31	9カ国（スリランカ、インド、バングラ、ネパール、中国、フィリピン、マレーシア、ベトナム）の政府・市民団体の代表、研究者が、3日間のワークショップにて、7名のリソースパーソン（日本、イギリス、スリランカ、タイ）の発表する各国の経験から学ぶとともに、現在の社会保護や年金問題を比較分析し、今後の社会保護政策・実践に関する意見交換を行う。
23	国際シンポジウム「新たな時代をつくる韓日女性交流」	韓国	梨花女子大学校アジア女性学センター	06.02.01～ 06.08.31	日韓両国の歴史の中で、各国の女性がどのような役割を果たしたかを比較することで、韓国に知られていなかった日本の女性、日本に知られていなかった韓国の女性を相互に理解し合い、両国の距離感を縮めることを意図する。日韓のほか、香港・台湾・タイなどからも専門家が参加する。
24	日韓選挙学会学術交流会議	韓国	韓国選挙学会	06.11.10～ 06.11.10	申請機関が日本選挙学会と協力して、日韓両国の選挙制度、投票参加、選挙文化というテーマで、1990年代以降の両国の選挙で生じている諸現象の特徴や、制度改善について議論する会議を開催する。
25	日豪フォーラム－我々はこの地域でどんな役割を果たすべきか？	オーストラリア	マッコリー大学日本研究センター	06.05.01～ 06.11.30	日豪交流年を記念して、日豪がアジア大洋州域内において果たすべき役割について計4回の公開セミナーをシリーズで行う事業。早稲田大学メディア文化研究センターが協力し、シドニーで行われるセミナーのビデオ中継会議を東京で開催する。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
26	相違を超えての紛争調停－アジア大洋州からの安全保障と紛争へのアプローチ	オーストラリア	クイーンズランド大学政治・国際関係学部	06.05.01～ 07.03.31	紛争解決のための独自の知見を、アジア、オセアニアの事例から学び、安全保障と紛争に関する学術的議論にも貢献しようと試みる事業。平和学、国際関係、紛争解決などの分野での研究者、及び、各国、各地域での和平プロセスに関与した経験を持つ活動家、実務家などを集めてワークショップを行う。
27	島文化の変遷－アジアの島文化に関するインターディシプリナリー・コロキウム	オーストラリア	マッコリー大学現代音楽学科	06.11.01～ 07.03.31	マッコリー大学現代音楽学部が、香港大学と協力し、香港にて、島文化 (island culture) の変容に関する国際会議を開催する事業。対象とする分野は音楽のみならず、言語、民俗文化、舞踊、メディア、ネットワーク、芸術支援のあり方など。
28	ヨーロッパ政治思想とアジア世界	ニュージーランド	オタゴ大学	06.12.13～ 06.12.15	従来高等教育機関で教えられてきた政治思想史の内容が、「西洋」思想史であったという点を問題とし、西洋におけるアジア思想の研究者、アジアからの研究者等が集まり、よりグローバルな視点での研究を志し、国際会議を行うプロジェクト。
29	日・韓次世代学術FORUM第3回国際学術大会	韓国	東西大学校	06.04.01～ 07.03.31	日韓の人文・社会科学分野の大学院生が一堂に会し、半日の間に、9つの分科会で各9名の院生が30分の研究発表を行う。日韓の大学から参加者を広く公募し、発表者の選定にあたっては専門家による審査会議を行う。
30	南アジアにおける人間の安全保障：地域の安定に向けたより包括的なアプローチ	インド	カルカッタ大学歴史学部	06.04.01～ 07.03.31	インド・日本・シンガポールの専門家で、南アジアにおける貧困、社会経済の諸問題、環境汚染、グッドガバナンスの欠如、民族問題、難民、国内避難民問題などについて広く議論する。東京大学東洋文化研究所が、機関として参画し、多くの日本人専門家が参加する。
31	第9回国際モンゴル学者会議	モンゴル	国際モンゴル学連合	06.04.01～ 07.03.31	世界35カ国から300人以上のモンゴルをフィールドとする多様な専門の研究者（モンゴル人100人、非モンゴル人230人）を一堂に集め、意見交換を行う国際会議。2006年がモンゴル建国800周年であることから、モンゴル政府も全面的に支援している。
32	”21世紀中日青少年犯罪問題に都市コミュニティの予防と処理制度の研究”検討会	中国	遼寧公安司法管理幹部学院	06.04.01～ 07.03.31	2001年に実施した「21世紀中日青少年犯罪問題研究」シンポジウムの成功を受け、「コミュニティによる犯罪予防」をテーマに日本、韓国、オーストラリアから関連学者を招聘してシンポジウムを実施しようとするもの。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
33	アジアの映画：映画研究の再構築	インド	文化社会研究センター	06.04.01～ 07.02.28	アジアにおける映画論の再構築ならびにアジア映画を教材として使用すること、アジアにおいて映画を教えることについての問題点や今後の展望を議論する国際会議。各国で映画論を教える機関の講師などが参加し、それぞれ使用している資料などについても討議する。
34	辺境の地から－口承文学からみる少数民族の世界観－	インド	アダーン財団	06.06.01～ 06.12.31	インド、ミャンマー、ブータン、モンゴル、バングラデシュの、固有の文字を持たない山岳少数民族の口承文化保存と理解醸成を目的とする事業。口承文化は消滅のスピードが速く、その保存は緊急の課題。また若者の少数民族文化理解の促進もプロジェクトの柱となっている。
35	東南アジアにおける人間の安全保障促進のためのリーダーシップ養成	フィリピン	アジア経営大学院科学研究財団	06.04.01～ 07.03.31	域内の人間の安全保障構築・問題解決のための人材育成プロジェクト。地域格差拡大などが紛争の要因となっているメコン流域国（カンボジア、インドネシア、ベトナム）からキーパーソンを招聘し、3日間のセミナーを実施する。（財）日本国際交流センター（JCIE）が共催団体。
36	東南アジアにおける平和構築に関する域内ワークショップ	フィリピン	フィリピン大学第三世界研究センター	06.04.01～ 07.03.31	東南アジアの紛争の影響を受けた地域から学者、教育者、政策提言者、ジャーナリストを集め平和構築について2日間のワークショップを行う。開催地はバンコクで、テーマは学校教育における平和学習、教科書やメディアの役割。
37	パンガライとアジア伝統舞踊の保存と振興に関する国際会議	フィリピン	アルンアルン・ダンスサークル	06.04.01～ 07.03.31	ミンダナオに伝わる伝統舞踊と類似する様式をもつインドネシア・マレーシア・タイ・カンボジア・沖縄の伝統舞踊家を招へいし、歴史関係史および伝統舞踊の保存と振興について4日間の日程で議論する。
38	東アジア安全保障コミュニティの創造：挑戦と機会	フィリピン	フィリピン大学アジアセンター	06.04.01～ 06.12.31	東アジアサミット、ASEAN+3を受け、同地域の研究者による東アジアの安全保障構築考察のため国際会議。テーマは東アジアの安全保障コミュニティの概念、東アジア地域以外の地域に対する役割の確認など。
39	人材教育セミナー－東南アジアにおけるイスラム－	フィリピン	SEASREPカウンシル	06.05.01～ 06.10.31	東南アジア地域の域内研究プロジェクト。人材育成セミナー形式でテーマは「東南アジアにおけるイスラム」。域内各国の地方に勤務する教員を招聘し、専門家の講義、ディスカッションを行う。5日間の日程でマラッカで開催予定。
40	東アジア知的空間の再発見と構築	中国	中国社会科学院近代史研究所	06.04.01～ 07.03.31	共有する価値観、文化教養を基礎に東アジア地域で友好関係が築かれてきた歴史的事実を回顧し、今日における東アジア諸国間における知的空間を再発見するために、日中韓の研究者を集めて2日間の国際シンポジウムを開催する。（日研リサーチ会議助成より移管）

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 (2) 知的交流会議 (企画企画助成) (A C) [アジア・大洋州]

アジア地域における相互理解の促進と共通に抱える課題の解決に向けて、会議・ワークショップなどの国際的な共同作業を企画、支援する。

合計額 20,798,484円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日本・アセアン・パートナーシップ2006	タイ	日本・ASEANパートナーシップフォーラム事務局	07.03.30～ 07.04.01	日本を取り巻く東アジア地域の諸問題について、政策立案に関わる政治家、実務家（行政官等）、研究者、メディア関係者、NGOなどの市民団体が一堂に会し、参加者が役職上の立場や制約を離れて自由な討論を行う。平成18年度から3年間の共通テーマを「東アジア共同体形成」に設定し、共通テーマの下に個別の課題を毎年設けている。
2	アジアヒューマンコミュニティ設立構想	アジア地域区分 困難	アジアヒューマンコミュニティ設立準備委員会	06.04.01～ 07.03.31	「アジア内での信頼醸成を如何に構築し、アジア自身がアジアの抱える問題解決に力を合わせ、共通の利益を如何にして創造するか」を問題意識として、アジア各国の行動的知識人による、「アジア共生」の創造を目指す「知的ネットワーク」づくりを目指す。
3	グロス・ナショナル・ハッピーネス	ブータン	ブータン研究センター	06.04.01～ 07.03.31	ブータンでは国王のリーダーシップのもと、1970年代より環境や個人の幸福にも配慮しつつ調和のとれた発展を目指す「グロス・ナショナル・ハッピーネス (GNH)」という代替的開発思想に基づいた国作りを進めており、未だ所得水準は低いものの、着実に成果を上げつつある。一方、日本は世界トップレベルのGNPを誇りながらも、1980年代より生活満足度は横ばいから低下傾向を示している。ブータンにおいて初めてとなる本格的な生活満足度調査を行った上で、そのデータを既存の日本の対照データと比較する。
4	新たな視点で想像するアジアの市民社会	アジア地域区分 困難	CAFO PBSP国際公益 団体会議事務局	06.12.07～ 06.12.09	アジアの市民社会の発展をめざして、過去から現在までのアジアの市民社会の動向をレビューするとともに、個人、機関等の多層な市民社会の担い手による、国境を越えたよりよい連携・協力のあり方を模索する国際会議。
5	ジョグジャカルタ地震コミュニティ再生支援プロジェクト	マレーシア	マレーシア工科大学	06.11.14～ 06.11.25	2006年6月インドネシア・ジョグジャカルタ地域を襲った地震により、特に被害が多であったクタグデ地域の文化遺産およびコミュニティの復興を目的に、日本を含む自然災害の経験のあるアジア諸国から、文化遺産、危機管理等の専門家が集まり、復興に向けた協力や取組みについて検討するワークショップ事業。クタグデ遺跡の損害状況について基礎データを収集するとともに、それをもとに、コミュニティ復興に関するマスタープランを作成する。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
6	日比NGOの協働促進事業	フィリピン	アジア・コミュニティ・センター 日比NGOの協働促進事業	06.09.01～ 07.03.31	日本とフィリピンの市民組織（NGO）が率先して交流と協働のメカニズムを構築し、貧困等で苦しむフィリピンの人々への効果的支援を行うため、日本のODAを活用した「日比NGO協働基金」の創設をめざし、調査研究、国際シンポジウム、アドボカシー活動を実施する。

3. 催し等事業費 (3)知的交流会議（主催）（AC）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 45,483,677円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2006	アジア地域区分 困難	韓国国際交流財団、中華全国青年連合会	06.07.09～ 06.07.19	三カ国から選ばれた各界のリーダーが合宿形式のプログラムに参加し、「北東アジア共同体構築のための日中韓協力」（‘Trilateral cooperation toward building a Northeast Asian Regional Community’）の総合テーマのもと、三カ国をともに訪問しながら、①参加者同士がお互いの国・個人を理解し合うためのディスカッション ②各国指導者・政策担当者を招いてのセミナー ③視察（施設見学等）の活動を展開する。
2	アジアの財団・NGO：国際連携の実績と将来の展望	アジア地域区分 困難	Conference of Asian Foundations and Organizations フィリピン・ビジネス社会開発財団Philippines Business for Social Progress	06.05.01～ 06.12.31	アジアの市民社会がこの10年間に展開してきた国際連携活動についてレビューするとともに、そこでアジア国際公益団体会議（CAFO, Conference of Asian Foundations and Organizations）が果たしてきた役割について検討し、将来的にCAFOも含めて各国の財団・NGOがどのように連携を進めていけばよいのかについて示唆を探るための調査研究事業。日本人を含む4名の専門家が研究チームを結成し、アジア各国で調査を行い、結果を報告書としてまとめる。
3	日豪マリンフォーラム	オーストラリア	社団法人海洋産業研究会 独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）	06.09.11～ 06.09.12	本フォーラムでは、(1) 太平洋の生物資源の多様性、分布と豊富さ—過去、現在と未来 (2) 海洋生物資源の管理 (3) 環境の管理と海洋教育の役割 に焦点を当て、海洋資源の管理に関する日本とオーストラリアの知識と経験を共有した。
4	オセアニア・フューチャー・フォーラム	大洋州地域区分 困難	財団法人早稲田奉仕園	06.08.21～ 06.08.29	大洋州島嶼国と日本各地からの参加者及びコーディネーターによる合宿型討論に加えて、日本理解のために、日本の地域開発、環境問題等に関するレクチャーやサイト・ビジット、フィールド・トリップを実施。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
5	子ども向け芸術事業を通じた復興支援	インドネシア	Kommunitas Tikar Pandan (コミュニティス・ティカール・パンダン) 子ども向け芸術事業を通じた復興支援	06.04.01～ 07.03.31	30年にわたる内戦、及び2004年12月の地震・津波の被害からの復興途上にあるインドネシア・アチェ州にて、日本と現地の芸術家の参加を得て、現地NGOとの協力体制のもと、紛争にて両親・親戚を失った、あるいはその他何らかの形で紛争の被害を受けた子ども(年齢13歳～18歳)30人を対象におよそ1週間の演劇ワークショップを実施。子ども達が自由に表現を行い、議論を経て共同で作品を創り上げるプロセスを支援。
6	アジアの架け橋シンポジウム	アジア地域区分困難	アジアの架け橋シンポジウム ボアオアジアフォーラム (Boao Forum for Asia)	06.11.10～ 06.11.10	グローバリゼーションが私たちの生活に大きな変化をもたらしている中、紛争のない世界を目指して、地域の統合化を進めていきたいという願いがある一方で、国・地域ごとの独特な文化を大切にしていきたいと思う多くの人々もいる。多様なアジアは、それぞれの固有の文化を保ちながら、アジア共通の価値観を育てられるのかという問題意識に基づきグローバリゼーション下におけるアジアの文化的アイデンティティについて考えるフォーラム。ボアオアジアフォーラムとの共催。
7	日韓ジャーナリスト交流	韓国		07.01.20～ 07.01.31	現代女性を映し出す女性誌というメディアを掘り下げ、両国の女性が抱える共通課題を明らかにすることを目的に、韓国の有力女性誌の編集長を日本に招聘し、日本の有力女性誌編集者との交流を図る。また、日韓の雑誌業界の現状と今後の課題についても、女性誌業界を例に議論。

3. 催し等事業費 (4) アジア地域研究センター支援(催し等)(A C)

東南アジア諸国における東南アジア研究の促進と各機関の学術ネットワークの構築を目的として、東南アジアの研究者を支援する助成プログラムの運営と東南アジア研究の基盤強化事業を実施する。

合計額 19,639,276円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	東南アジア研究地域交流プログラム	アジア地域区分困難	06.04.01～ 07.03.31	東南アジア諸国における人文社会分野の東南アジア研究者間の相互理解の促進とネットワーク構築を目指し、国際交流基金、財団法人トヨタ財団及びSEASREP評議会の3者が共同して3つの助成プログラムを運営すると共に評議会主催事業を実施。

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈 [アジア・大洋州]

日本に関する理解・研究を促進するため海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書などを寄贈。
合計額 30,279,866円

	国名	機関名	送付冊数
1	大韓民国	韓国国立全南大学校	132
2	大韓民国	中央大学校 韓日文化研究院	111
3	中国	福建漳州師範学院	111
4	中国	杭州師範学院	112
5	中国	貴州民族学院外国語学院日本語研究室	87
6	中国	マカオ大学日本研究センター	49
7	中国	北方工業大学 文法学院日本語学部	95
8	中国	泰山学院	70
9	中国	新余高等専科学校 外国語学院	69
10	中国	華中科技大学外国語学院	95
11	中国	中南民族大学	71
12	中国	鄭州大学 外語学院日語教研室	92
13	中国	天津大学 社会科学与外国語学院 日本語教学部	77
14	中国	湖北民族学院外国語学院日語系	81
15	中国	山西師範大学 外国語学院	75
16	中国	德州学院 外語系	88
17	中国	清華大学 外語系	17
18	中国	海南師範大学 外国語学部 図書館	111
19	中国	広州大学 外国語学院	126
20	中国	寧波市日語教育学会	101
21	中国	大連海事大学外語学院日本語学部	167
22	中国	黒竜江省社会科学院	117
23	中国	中国医科大学	76
24	中国	重慶大学外国語学院	138
25	中国	上海国家会計学院	87

アジア・大洋州交流事業費

	国名	機関名	送付冊数
26	中国	天津社会科学院	191
27	モンゴル	モンゴル日本センター	133
28	インドネシア	ナショナル大学文学部日本語学科	19
29	インドネシア	マラナタ キリスト教大学	26
30	インドネシア	国立リアウ大学	57
31	インドネシア	11月10日工科大学文化センター	68
32	インドネシア	パジャジャラン大学文学部	73
33	シンガポール	ナンヤン・テクノロジカル大学	31
34	シンガポール	シンガポール国立図書館	450
35	タイ	タマサート大学 教養学部日本専攻修士課程	64
36	タイ	チュラロンコン大学 文学部日本語科	83
37	フィリピン	フィリピン大学 バギオ校	59
38	フィリピン	マニラ市立大学	59
39	フィリピン	アテネオ・デ・ナーガ大学	59
40	フィリピン	ライシュム大学	59
41	ブルネイ	文化青年スポーツ省言語文芸局図書館	38
42	ベトナム	ベトナム文化情報研究所、越日文化研究協力センター	112
43	ベトナム	越日協力室 ホーチミン市師範大学	112
44	ベトナム	カントー大学	112
45	ベトナム	ベトナム社会科学院・東北アジア研究院・日本研究センター	30
46	マレーシア	マラヤ大学	38
47	マレーシア	マレイシア・サバ大学 図書館	43
48	カンボジア	Royal Academy of Cambodia	111
49	パラオ	パラオ・コミュニティカレッジ	111
50	インド	AOTS同窓会	50
51	インド	デリー大学 社会科学部、東アジア研究科	55
52	インド	印日福祉文化協会	29

	国名	機関名	送付冊数
53	インド	AOTS同窓会 ケララ	77
54	インド	プナ大学 外国語学部日本語学科	7
55	インド	ソーマイヤー仏教研究センター	11
56	インド	AOTSインド同窓会連合	51
57	ネパール	トリブバン大学中央図書館	36
58	パキスタン	国立書籍財団イスラマバード	69
59	パキスタン	シンド大学 国際関係学部	43
60	パキスタン	経営学研究所	38
61	オーストラリア	Southern Tablelands Regional Library	63
62	ニュージーランド	プケ アリキ図書館	35
63	ニュージーランド	オークランド工科大学	57
64	フィジー	The University of The South Pacific	50
65	フィジー	フィジー大学	92

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（JFボランティア）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 日本研究拠点機関助成〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 日本研究スタッフ拡充助成〔欧州・中東・アフリカ〕
- (7) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (8) 日本研究リサーチ・会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (9) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 知的交流フェローシップ（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (7) 知的交流フェローシップ（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (8) 知的交流フェローシップ（派遣）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (9) 知的交流フェローシップ（招へい）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 知的交流会議（助成）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈（欧州・中東・アフリカ）

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (1) 日本研究調査 [欧州・中東・アフリカ]

世界の主要な地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。
合計額 14,246,899円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	欧州日本研究調査(2年次)	欧州地域区分困難	05.11.01～06.10.31	欧州域内の日本研究者・日本研究機関を対象とする調査
2	欧州日本研究調査(3年次)	欧州地域区分困難	06.11.01～07.12.31	欧州域内の日本研究者・日本研究機関を対象とする調査

1. 日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。
合計額 13,093,355円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	鈴木 英夫	白百合女子大学非常勤講師	エジプト	アインシャムス大学外国語学部	07.01.28～07.06.02	修士課程学生及び学部4年生に対する日本文学及び言語学講義
2	山田 進	聖心女子大学教授	エジプト	カイロ大学文学部日本語日本文学科	06.11.01～07.01.31	大学院研究生(予備コース)対象講義及び大学院前期・後期課程学生の論文指導
3	平野 共余子	映画研究者	スロベニア	リュブリャナ大学文学部	06.10.15～06.11.15	日本映画史入門
4	新免 光比呂	国立民族学博物館民族文化研究部助教授	ルーマニア	ブカレスト大学外国語学部日本語学科	06.10.01～06.11.30	学部4年生や修士課程学生を対象とした現代日本文化論講義
5	伊藤 守幸	学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科教授	ヨルダン	ヨルダン大学文学部英文学科	06.10.28～06.11.27	世界文学講座受講学部生に対する『源氏物語』等の読解を通じた、文学から見た平安文化に関する講義

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (3)日本研究客員教授派遣 (JFボランティア) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学および社会科学分野（芸術分野を含む）で、日本に関する講義を実施するために客員教授を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本国内で条件に合致する専門家を公募して派遣する。本プログラムはジャパンフェウンダーションボランティア制度の一環として実施するものである。

合計額 7,714,110円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	中尾 光延	山口大学名誉教授	ドイツ	フランクフルト大学 日本学科	06.10.01～ 07.02.28	日本文学・文化に関する講義
2	山崎 亮	島根大学教育学部教授	フランス	マルク・ブロック・ストラスブール第2大学	07.01.15～ 07.07.14	日本の伝承文学・神話及び日本民族学概要に関する講義

1. 日本研究事業費 (4)日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧州・中東・アフリカ]

海外の諸大学の日本研究講座に対し、人文・社会科学分野の学者・研究者を国外から客員教授として招するための経費を助成する。

合計額 4,204,152円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	田村 毅	東京大学名誉教授	スイス	ジュネーブ大学文学部日本研究科	06.10.10～ 07.02.18	学部生対象「日本文明・文化講座」講義、大学院生対象「日本の歴史と文明」講義
2	高田 誠	筑波大学大学院人文社会化学研究科教授	ウズベキスタン	世界経済外交大学	06.09.12～ 06.10.20	学部生・大学院生対象「日本の近代化と現代日本語の成立」講義
3	松尾 慎	東海大学日本語文学系助理教授	イラン	テヘラン大学外国語学部	07.01.25～ 08.02.25	学部3,4年生に対する日本語表現演習及び日本語教授法、教員向け日本語教授法セミナー

その他共通経費 0円

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 (5) 日本研究拠点機関助成 [欧州・中東・アフリカ]

海外の日本研究において特に中核的な役割を担う機関を指定して、その日本研究部門の研究費、運営費などを中長期にわたって総合的に助成する。

合計額 15,925,207円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ロシア科学アカデミー現代日本研究センター	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	紀要『Meet Japan』の発行、リサーチ・会議の実施、論文コンテストの実施、日本関連定期刊行物の送付、事務局経費を包括的に支援
2	ロシア国立極東総合大学	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	訪日研修、ロシア国内研修、論文・教科書等の執筆・出版を包括的に支援

1. 日本研究事業費 (6) 日本研究スタッフ拡充助成 [欧州・中東・アフリカ]

海外の大学などが日本研究に関連した常勤の教官ポストを増設する場合、最初の3年間に限り当該者の給与と社会保障費を助成する。

合計額 10,863,856円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ザグレブ大学	クロアチア	06.10.01～ 07.09.30	日本文学・歴史・社会学講師（日本研究科主任）の給与助成（3年計画事業の2年目）
2	デブレツェン大学	ハンガリー	05.12.01～ 06.11.30	日本語・日本文化講師の給与助成（3年計画事業の2年目）
3	オックスフォード・ブルックス大学	英国	06.08.01～ 07.07.31	国際関係学（日本外交）講師の給与助成（3年計画事業の3年目）
4	サラマンカ大学	スペイン	06.10.01～ 07.09.30	東アジア学教授の給与助成（3年計画事業の1年目）

1. 日本研究事業費 (7) 日本研究リサーチ・会議（助成） [欧州・中東・アフリカ]

海外の高等教育・研究機関が実施する日本研究に関連した共同研究・会議、セミナー・ワークショップや集中講座などについて、経費の一部を助成する。

合計額 25,704,989円

	団体名	対象国	期間	事業内容
1	ウィーン大学	オーストリア	06.04.01～ 06.07.31	19世紀の日本浮世絵風刺画における国際シンポジウム
2	国立東洋言語文明学院(INALCO)	フランス	07.01.01～ 07.03.31	谷崎潤一郎研究パリ国際シンポジウム「谷崎潤一郎 - 境界を越えて」

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	団体名	対象国	期間	事業内容
3	テルアビブ大学	イスラエル	06.04.01～ 06.06.30	第5回アジア研究学会年次総会
4	国立政治学財団	フランス	06.04.30～ 07.03.31	日本の新しいパワー：漫画の場合
5	フランス日本研究学会	フランス	06.09.01～ 07.03.31	第7回フランス日本研究学会
6	ワルシャワ大学	ポーランド	06.04.01～ 06.07.31	日本研究国際会議：21世紀-国外における日本研究-
7	ロシア国立図書館	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	日本初期文献のカタログ編集・印刷・及び国際会議（第4巻・完結）
8	ライプツィヒ大学東アジア研究所	ドイツ	06.04.01～ 07.03.31	国際共同プロジェクト「日本近現代思想史を書き直す」
9	ミュンヘン大学日本研究センター	ドイツ	06.05.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
10	チュービンゲン大学	ドイツ	06.06.01～ 07.02.28	国際会議：日本とアジアにおける生命倫理
11	ロンドン大学SOAS	英国	06.04.01～ 07.03.25	第1回SOAS日本語学会議：日本語のモダリティを再考する
12	セインズベリー日本芸術文化研究所	英国	06.04.01～ 06.07.31	日本美術史に関する修士課程ワークショップ
13	リーズ大学	英国	06.05.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
14	シェフィールド大学	英国	06.05.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
15	ライデン大学	オランダ	06.04.01～ 07.03.31	現代日本研究欧州学術ネットワーク（EANMJS）
16	日本資料専門家欧州協会	ベルギー	06.04.01～ 07.03.31	第17回国際日本資料専門家欧州協会研究集会
17	ヴェネツィア大学	イタリア	06.05.01～ 07.02.28	第5回沖縄研究国際シンポジウム-想像の沖縄：その時空間からの挑戦

1. 日本研究事業費 (8) 日本研究リサーチ・会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップなどを開催する。 合計額 11,720,963円

	事業名	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	ロシア連続講座	在ロシア日本国大使館	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	対日関心が高まる一方、日本についての専門的な知見を得る機会が限られているロシアの学生や一般市民を対象に、ロシア人日本研究者による連続講義をモスクワにおいて実施する。また、地方においても対日関心の喚起を図るため、数ヶ月に一度出張講座も実施。
2	日本研究情報専門家研修	国立国会図書館	韓国 中国 インドネシア タイ フィリピン マレーシア インド カナダ 米国 ドイツ	06.11.26～ 06.12.16	海外における日本研究の振興を図るべく、各国における日本研究が発展途上である国における日本関係情報の充実と日本研究者等への情報サービス向上に寄与することを目的として、海外の日本研究情報を扱う専門家（司書等）を日本に招へいし、国立国会図書館と共催で研修を実施した。参加者は11名で、出身国は、韓国（2名）、中国、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、インド、カナダ、米国、ドイツ。

1. 日本研究事業費 (9) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州地域の日本研究者や日本研究機関が国境や専門分野を越えて相互に連携・協力するための横断的なネットワーク形式活動を支援する。

合計額 14,506,041円

	機関名	対象国	期間	事業内容
1	ヨーロッパ日本研究協会	ドイツ	06.04.01～ 07.03.31	日本研究者間のネットワーク強化、若手研究者の育成を目的として、事務局経費、ホームページ経費、会議参加費等を支援
2	ロシア日本研究者協会	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	紀要・教科書等の出版事業経費、事務局経費等を包括的に支援
3	ロシア日本研究者協会	ロシア	06.04.01～ 07.03.31	日本研究の分野で優秀な論文を執筆した大学生、大学院生、若手研究者を顕彰

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (1)日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行なう機会を提供する。

合計額 73,720,501円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	GLAVEVA, Diana Georgieva	ロシア科学アカデミー極東研究所上級研究員	ロシア	横浜国立大学教育人間科学部	06.03.21～ 07.03.20	日本とロシアの伝統的文化における世界観の特徴
2	ASTLEY, Ian	エジンバラ大学日本研究センター上級講師	英国	東京大学東洋文化研究所	05.10.01～ 06.08.31	9世紀初期の東アジアにおける宗教、政治、物質文化：空海「請来目録」の影響
3	SUSLOV, Denis Vladimirovich	ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所研究員	ロシア	西南学院大学法学部	05.10.09～ 06.10.07	地域間外国直接投資に対する北東アジア地域の投資能力の影響
4	HONDRU, Angela Varvara	ヒペリオン大学教授	ルーマニア	大阪外国語大学	05.07.03～ 06.06.30	里神楽 －人と神の和合のシンボル－
5	MAYKOVA, Nadezda Victorovna	ロシア科学アカデミーピョートル大帝人類学民俗学博物館展示部シニア・コーディネーター	ロシア	国立民族学博物館	05.09.10～ 06.09.09	日本とアイヌの織物の伝統的自然素材
6	MOSTAFA, Ahmed Mohamed Fathy	カイロ大学文学部日本語日本文学科助教授	エジプト	沖縄国際大学	06.03.01～ 07.02.28	戦後の沖縄文学、目取真俊（めどるましゅん）を中心に
7	ZEROMSKA, Estera	アダム・ミツケヴィッチ大学東洋学研究講座極東言語研究科教授	ポーランド	国文学研究資料館（人間文化研究機構）	05.08.23～ 06.08.19	日本の演劇史（古代から第二次世界大戦の終わりまで）
8	VYSOKOV, Mikhail Stanislavovich	サハリン国立総合大学学部長	ロシア	北海道大学スラブ研究センター	05.07.06～ 06.07.05	19から20世紀における日本、ロシア帝国、ソ連によるサハリン島植民地化の歴史的出来事
9	DE PRADO YEPES, Cesar	国連大学研究員	ベルギー	東京大学東洋文化研究所	05.05.15～ 06.05.14	ASEAN加盟国+3によるアジア地域統合の外交政策。特に多様化する地域化に、日本はどうコミットするか。

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
10	BRESLAVETS, Andrei Alexandrovich	ウラジオストク経済大学国際関係研究所准教授	ロシア	大阪大学	05.11.17～ 06.06.15	新しい世界秩序の形成：北東アジア統合プロセスの重要項としてのアジア太平洋経済協力という開かれた地域概念、日本の側面
11	THUNMAN, Noriko	ヨーテボリ大学アジアアフリカ語学科日本語科学科長／教授	スウェーデン	東京大学大学院総合文化研究科	05.09.15～ 06.09.14	日本文学史における古典形成のプロセス－ジャンルとしての俳句と芭蕉をめぐって
12	CARLQVIST, Anders	ヨーテボリ大学	スウェーデン	島根大学	06.10.02～ 07.10.01	日本国家成立過程における古代出雲
13	VAN GOETHEM, Ellen E. M. A.	アントワープ大学助教授	ベルギー	立命館大学文学部	07.01.31～ 08.03.12	宗教が長岡京遷都に与えた影響
14	GAFUROVA, Hakima	世界経済外交大学日本語講師	ウズベキスタン	早稲田大学	06.09.16～ 07.08.15	日本文学と芸能を通してみる日本人の自殺観
15	KHISAMUTDINOV, Amir Aleksandrovich	極東国立工科大学教授	ロシア	国士舘大学アジア科	06.12.01～ 07.11.30	ロシアにおける日本文化の普及
16	SANINA, Ksenia Gennadievna	極東国立総合大学東洋学大学助教授	ロシア	京都大学	06.06.01～ 07.05.10	明治時代の現代日本文学の起源及び発展
17	SNITKO, Tatiana Nikolayevna	ロストフ国立経済大学教授	ロシア	東京大学文学部	06.10.01～ 07.10.01	言葉の理解：日本文化とロシア文化
18	PALKIN, Alexei Dmitrievich	モスクワ経済学・言語学大学助教授	ロシア	大阪大学言語文化部	06.11.09～ 07.11.08	日露言語意識比較
19	LIM, Sofya Chununovna	サハリン国立大学教授	ロシア	北海道大学大学院教育学研究科	06.09.06～ 07.09.04	ロシア(サハリン)、日本(北海道)および北アメリカ(カナダ、北極、またアラスカ)の固有の民族の同時代の社会的適応における教育の役割
20	AKBARZADEH, Daryoosh	イラン国立考古学博物館研究部責任者	イラン	大阪大学大学院文学研究科	06.08.12～ 07.02.10	古代の日本とイランの文化的関係：資料および原典上日本で見つかったイラン文化の再考
21	FUKUKAWA, Kyoko	ブラッドフォード大学マネジメントスクール専任講師	英国	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	06.09.25～ 06.12.24	日本における企業の社会的責任に関するコミュニケーションとその実践

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
22	CARIOTI, Patrizia	ナポリ東洋大学助教授	イタリア	立教大学文学部史学科	06.05.31～ 06.10.29	16-17世紀における長崎の唐人に関する基礎的研究
23	YATABE, Kazuhiko	パリ第7大学東洋言語文化学部日本語学科助教授	フランス	多摩美術大学芸術人類学研究所	06.05.15～ 06.09.14	現代日本社会と「第2」の近代－日本における「個人化」過程の諸様相に関する実証研究
24	ZULAWSKA-UMEDA, Agnieszka	ワルシャワ大学東洋学院日本学科助教授	ポーランド	東京大学大学院人文社会系研究科	06.10.07～ 07.10.06	俳諧における付合の研究
25	FRENT, Rodica Monica	バベシュ・ボヨイ大学文学部助教授	ルーマニア	昭和女子大学	06.07.15～ 07.03.14	川端康成、三島由紀夫、村上春樹－詩学的な手段で文学において世界的に成功した作家
26	VOYTISHEK, Elena Edmundovna	ノボシビルスク国立総合大学東洋学学科長	ロシア	札幌大学文化学部	06.09.15～ 06.12.14	伝統的遊戯が日本の精神的文化構築に及ぼす影響について
27	TODOROVA, Stela Atanasova	農業大学准教授	ブルガリア	筑波大学	06.11.01～ 07.10.31	比較分析1950-2005中の日本およびブルガリアの農業政策

2. 人物交流事業費 (2) 日本研究フェロースhip (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学分野の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 48,815,432円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	MARCON, Federico	コロンビア大学博士課程	イタリア	早稲田大学文学部	05.10.31～ 06.12.29	江戸時代における知識人の起源
2	WEBER, Chantal Marie	ケルン大学東アジア学日本学学部博士課程院生	ドイツ	大東文化大学外国語学部日本語学科	05.05.24～ 06.07.23	日本の茶の湯の宗匠を軸とするコミュニケーションネットワーク－茶の湯のスケールフリーネットワーク
3	DRIXLER, Fabian Franz	ハーバード大学大学院博士課程	ドイツ	帝塚山大学	05.09.02～ 06.08.31	人口増加政策と近世日本における低出生レジームの終焉
4	DELPY, Fabienne M.	スタンフォード大学博士課程学生	フランス	慶應大学	06.01.02～ 06.06.30	日本の六十年代の映像論とその実践

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
5	GODART, Gerard, Rainier, Clinton	シカゴ大学	オランダ	京都大学大学院	06.09.01～ 07.08.31	現代日本哲学の起源：明治期における解釈と区別の問題
6	CRESPIN PERALES, Montserrat	バルセロナ大学フェロースhip研究	スペイン	国際日本文化研究センター	06.06.09～ 06.09.29	現代哲学の歴史における京都学派
7	NARKHODJAEVA, Nigora Faizullaevna	タシケント国立東洋学大学教師	ウズベキスタン	東京大学	06.09.30～ 07.09.28	芥川の創作における個人的概念考察
8	KHALMURZAEVA, Nadira	タシケント国立東洋学大学日本語講師	ウズベキスタン	早稲田大学日本語教育研究科	06.10.13～ 07.12.12	日本語研究
9	MENGEL, Maria-Mihaela	ケルン大学日本学研究所博士課程学生	ドイツ	京都大学大学院 地球環境学室	06.10.01～ 07.09.30	愛の浮世－アニメ、アイデンティティ、また日本
10	HEINDORF, Viktoria	ミュンヘン大学日本センター助手	ドイツ	東京大学社会科学研究所	06.05.17～ 06.10.17	情報技術革命を背景とした職業技能形成および人的資源開発－日本の事例研究－
11	DAY, Kikutsubo G.M.M	ロンドン大学修士課程	英国	大阪芸術大学	07.03.13～ 07.09.12	過去を思い出す：現代情勢における古来尺八
12	TAKAGI, Siu mei	ケンブリッジ大学修士課程	英国	金沢大学	07.03.25～ 07.12.09	初期江戸時代における、女性、教養と読書
13	COOK, Emma, Elizabeth	ロンドン大学修士課程	英国	筑波大学	06.08.01～ 07.07.31	現代日本におけるフリータ：男性性民族学
14	LOBETTI, Tullio, Federico	ロンドン大学修士課程	イタリア	慶應義塾大学	06.06.05～ 07.06.01	現代日本宗教の文脈における肉体と修業
15	GOTTARDO, Marco	コロンビア大学修士課程	イタリア	東京大学大学院人文社会系研究科	06.09.13～ 07.11.12	徳川時代の民間信仰：富士山における輪廻
16	SOLIMAN, Alaaeldin Elhassan	カイロ大学文学部日本語日本文学科講師	エジプト	東洋大学文学部	06.07.31～ 07.09.29	所有構文－アラビア語エジプト方言と日本語の対照研究－
17	BARBARO, Paolo	国立高等研究院宗教学部博士課程	フランス	三重大学	06.10.01～ 07.10.09	日本の参詣－紀伊半島の地域調査

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
18	JAZWINSKA, Maria	ポーランド科学アカデミー大学院生	ポーランド	京都国立博物館	06.09.06～ 07.02.05	日本の織物
19	BINCSIK, Monika	ホップ・フェレンツ東洋美術館（ブダペスト工芸美術館）日本美術担当学芸員	ハンガリー	昭和女子大学	07.03.27～ 08.01.25	明治期の古美術商会史－ヨーロッパでの日本工芸品、特に漆器の収集活動史、ハンガリーを中心に

2. 人物交流事業費 (3) 日本研究フェロシップ(短期) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学分野の学者・研究者で、短期の訪日研究を必要とする者を招へいする。

合計額 10,543,485円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	TAKAGI, Kayoko	マドリッド・アウトノマ大学助教授	スペイン		06.12.20～ 07.02.03	源氏物語のスペイン語への翻訳のための準備資料収集
2	JAHN, Gisela	ベルリン自由大学美術史研究所東アジア学科客員教師	ドイツ	東京美術大学	06.08.23～ 06.10.21	日本の伝統陶磁器 1900-1989の伝統と革新
3	PAUER, Erich	マークブルク・フィリップス大学日本研究センター教授	ドイツ	東京大学社会科学研究所	07.02.16～ 07.03.31	工部大学校・明治3年から18年 - 創立、組織、卒業生と業績
4	SCHMIDT, Carmen, Elisabeth	オスナブリュック大学日本研究センター社会科学部上級講師、日本研究C副所長	ドイツ	東京大学社会科学研究所	06.07.18～ 06.09.15	日本の大学改革
5	DAHER, Massoud Abdallah	レバノン大学教授	レバノン	東京外国語大学	06.07.10～ 06.09.07	日本の現代史
6	EIEDAT, Mohammad Khair Suleiman	ヨルダン大学人文・社会科学学部助教授	ヨルダン		06.06.26～ 06.08.10	文化的アイデンティティおよび政治改革

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
7	COCI, Gianluca	ナポリ大学非常勤講師	イタリア	早稲田大学 教育・総合科学学術院	06.08.23～ 06.10.22	現代日本文学の革新的天才の安部公房、大江健三郎とその後継者

2. 人物交流事業費 (4)知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育などの各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察などの機会を提供する。

合計額 2,929,530円

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
1	ABDULLAYEV, Ravshan	タシケント国立東洋学大学学長	ウズベキスタン	06.12.06～ 06.12.15	ウズベキスタンにおける日本語教育・日本研究の中心的な機関であるタシケント国立東洋学大学よりアブドラエフを招へいし、日本の学術機関との連携強化、同国の高等教育制度改革について関係者との意見交換を実施
2	EL BARADEI, Mona	カイロ大学政治経済学部学部長	エジプト	06.12.10～ 06.12.20	中東地域における日本研究の中心的な機関の一つであるカイロ大学政治経済学部よりエルバラダイを招へいし、中東地域と日本との知的・学術的な交流を深めるため、日本の主要な政治・経済研究機関等への訪問を実施

2. 人物交流事業費 (5)知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間の構築、強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察などの機会を提供する。

合計額 680,170円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	木村 喜博	東北大学大学院教授	クウェート	クウェート大学社会科学部	06.12.02～ 06.12.07	クウェート大学社会科学部主催の国際シンポジウム「第3回国際会議」に木村喜博（東北大学大学院教授）を派遣

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (6)知的交流フェローシップ (派遣) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 13,316,937円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	大場 秀章	東京大学総合研究博物館・教授	オランダ	シーボルト・ハウス	06.07.17～ 06.09.28	21世紀のシーボルト像を探る
2	川野 英二	大阪大学大学院人間科学研究科・助手	フランス	フランス国立社会科学高等研究院	06.08.01～ 07.07.31	大都市圏における貧困層の空間的排除と社会的紐帯の実証的研究
3	深澤 龍一郎	京都大学大学院法学研究科・助教授	英国	ブリストル大学法学部	07.03.01～ 08.02.29	行政裁量の法的統制の研究：ルール対裁量
4	中村 尚史	東京大学社会科学研究所・助教授	英国	ロンドン大学LSE経済史学科	07.03.15～ 08.03.13	帝国と技術移転 —20世紀初頭における日英関係鉄道史—

2. 人物交流事業費 (7)知的交流フェローシップ (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

日本において人文・社会科学分野の研究を行なう諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 12,245,607円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	MAGRADELO, John Olushola	アフリカ・アジア研究センターシニアリサーチフェロー	ナイジェリア	慶応義塾大学	06.02.27～ 06.04.06	日本と朝鮮半島
2	BEINORIOUS, Audrius	ヴィルニウス大学助教授	リトアニア	南山大学	06.03.30～ 06.04.30	伝統的日本文化における占星術
3	MIHALKA, Reka	エドヴェシュローランド大学博士課程	ハンガリー	京都大学	06.03.27～ 06.05.26	二人のアメリカ人アーティストの作品における日本の影響の比較研究
4	ZAKHIDOV, Sherzod	戦略地域研究所所長	ウズベキスタン	東京国際大学	06.03.22～ 06.05.20	日本のPKO政策の発展と国際安全保障におけるその役割について
5	MAVLONOV, Ibrokhim	世界経済外交大学実践外交学科長	ウズベキスタン	早稲田大学	06.07.12～ 06.09.08	中央アジア諸国に対する日本の経済外交
6	GRAVENIR, Frederick Quaye	ケニヤッタ大学教授	ケニア	秋田大学	07.03.02～ 07.04.19	大学における主流の研究についての日本・ケニアの比較

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
7	KRAVALIK, Zsuzsanna	都市計画センター研究員	ハンガリー	政策研究大学院大学	07.03.18～ 07.04.24	日本の住宅地のデザイン
8	HORDOS, Marianna	エドヴェシュ・ローランド大学准教授	ハンガリー	神戸松蔭女子大学	07.01.13～ 07.02.17	日本語における節構造と語順：最適理論によるアプローチ
9	KALINOWSKA, Anna	ヴロツワフ大学大学院生	ポーランド	東北大学	07.01.04～ 07.02.17	日本の広告手法：ポーランド・ドイツの広告システムとの比較研究
10	AKULOV, Alexander	キリスト教人文アカデミー大学院生	ロシア	千葉大学	06.11.02～ 06.12.16	現代アイヌ民族のアイヌ言語能力の測定
11	SATYBALDIEVA, Orozbekovna	ジャーナリスト	キルギス	特定非営利活動法人 難民を助ける会	06.11.11～ 06.12.16	日本における健康とHIV/AIDS
12	NDJAKA, Gregoire	ジャーナリスト	カメルーン	NHK放送文化研究所	07.01.17～ 07.02.28	日本のメディアにおけるアフリカ報道

2. 人物交流事業費 (8)知的交流フェローシップ（派遣）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行なう日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 6,805,835円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	辻上 奈美江	神戸大学大学院国際協力研究科	サウジアラビア	キングファイサルイスラム研究センター	07.01.07～ 07.04.06	サウジ女性の社会参加と市民社会化の可能性（渡航時期未定）
2	木村 由香	桜美林大学大学院国際学研究科	チュニジア	AID	07.02.10～ 07.05.09	チュニジアにおける地域開発とNGOの活動：地域間格差是正に向けて
3	上山 一	一橋大学大学院経済学研究科	バーレーン	バーレーン調査研究センター	06.12.15～ 07.03.02	イスラム銀行におけるマネージメントおよび企業統一についての実態研究
4	松本 菜穂子	非常勤講師	トルコ	ビルギ大学	07.02.02～ 07.04.03	音楽・舞踏活動に見るトルコ国民のアイデンティティの多面性：コーカサス系を中心に
5	三代川 寛子	上智大学大学院グローバルスタディーズ研究科	エジプト		06.12.01～ 07.02.28	現代エジプトにおけるコプト・キリスト教徒の市民社会組織の活動と国民統合

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 (9)知的交流フェローシップ (招へい) (中東) [欧州・中東・アフリカ]

中東に関する次世代日本人研究者を育成するためにフェローシップを供与する。

合計額 15,801,926円

	人物	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	AL-HARTHI, Hamood K AL-NASSERI, Hamood Khalfan CHAABANE, Sirine ELSHAIR, Iman POLAT, Serdar SHEKARCHI, Ahmad TALIB, Abdelmoumen	スルタン・カブース大学学生部副学部長 教育人材開発省次長 カルタゴ11月7日大学法学修士課程在籍 カイロ大学生政治経済学部助手 国家計画庁アシスタントプランニングエキスパート シャヒード・ベヘシュティ大学社会学部 高等教育省人材育成部部長	オマーン オマーン チュニジア エジプト トルコ イラン モロッコ		06.06.27～ 07.02.28	日本にかかる課題、日本と中東・北アフリカとの共通課題、または国際的な課題に関する訪日調査・研究を奨励するとともに、日本と中東・北アフリカ諸国との知的対話のネットワーク構築を担う次世代の人材育成ならびに日本におけるネットワーキングを目的として、中東・北アフリカ地域の若手研究者、ジャーナリスト等に対して訪日の機会を提供する。
2	MAHMMOUD Abdul-Wahid		イラク	東京外国語大学外国語学部	07.03.01～ 07.04.15	日本とイラクにおける近代化の比較研究

3. 催し等事業費 (1)知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

日本と欧州・旧ソ連の共通課題などをテーマとするセミナーやシンポジウムを開催する。

合計額 14,432,079円

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
1	日欧知的交流アルザス会議	フランス	キンツハイム	アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA)	06.06.30～ 06.07.02	欧州の日本研究者及び日本の欧州研究者が集い、日本と欧州の今後の知的交流における優先課題の策定及びこれらの課題に対する解決方法・取り組み方を討議する会合を開催
2	民主主義の諸相	ドイツ	ベルリン	ベルリン日独センター	06.09.20～ 06.09.22	「民主主義の諸相－前提条件、発展過程、現代における課題」と題するシンポジウムを開催。欧州、中東、東アジアなどの事例を取り上げながら、民主主義の諸相について多角的に議論

	事業名	対象国	都市	対象機関	期間	事業内容
3	日露フォーラム	ロシア	東京	ロシア戦略策定センター	07.03.18～ 07.03.20	「グローバル化の中でのアジア太平洋地域における日露関係の展望」を主題として、日露両国をとりまく様々な課題を議論するフォーラムを開催し、両国の有識者や政府関係者による意見交換を実施

3. 催し等事業費 (2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と欧州・旧ソ連の非営利団体が開催するセミナーやシンポジウムに対して、その開催経費の一部を助成する。
合計額 36,641,893円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	上智大学 2006 ザビエル生誕 500年記念企 画：ザビエル国 際学術フォーラ ム〈国際学会と シンポジウム〉	全世界区分困難	上智大学	06.12.10～ 06.12.10	フランスコ・ザビエル生誕500年を機に、平成18年4月から平成19年3月をザビエル記念年間とし、異国文化圏人間交流の歴史的ありかたを振り返る学術的企画を実施し、その中心事業として国際学術シンポジウムを開催
2	地球研第一回国 際シンポジウム	全世界区分困難	地球研第一回国 際シンポジウム 組織委員会	06.11.07～ 06.11.08	国際シンポジウムの開催とその成果の出版。「環」の解明テーマを揚げ、「水に流す文化」と「水に固執する(略縛)文化」を対比することで「環の解明」がもたらす水問題「未来可能性」について提言
3	ワレサ元大統領 来日記念講演会 とワークショップ	ポーランド	セシリアの会	07.03.09～ 07.03.09	ポーランド元大統領のワレサ氏を招へいし、一介の労働者から労組「連帯」を立ち上げ、自国を共産主義から民主主義へと改革された彼の偉大な情熱と知識に耳を傾け、世界平和に向けて、彼の体験を共有するワークショップを開催
4	法整備支援にお ける文化的価値 をめぐる対話～ 中央アジア・モ ンゴル国に対す る法整備支援機 関による理念的 検討～	モンゴル	法整備支援にお ける文化的価値 をめぐる対話実 行委員会	06.10.07～ 06.10.08	中央アジア・モンゴルにおける法整備支援で重要な役割を果たしてきた日本・ドイツ・欧州連合の法学研究者や法整備支援に関わる実務家、開発援助機関、司法機関、NGOが対話する国際シンポジウムを開催
5	伝える人建てる 人-文化材と建 築	フランス	関西日仏学館	06.04.21～ 06.04.23	日本においては従来等閑に付されてきたが、西欧においてはきわめて現代的な話題である「文化財」という概念を巡る、日仏双方の異なる視点・考え方・話題による比較研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
6	2006日ロ友好フォーラム	ロシア	日ロ友好フォーラム再生代表 NPO法人日本・ロシア協会	06.10.18～ 06.10.25	日ロ交流の主要団体の連合体としてミッションを組織し、ロシアの各界の代表と今後の日露交流のあり方を討議するフォーラムを開催
7	都市空間＝生活空間日本と西洋における建築、社会学、芸術、哲学の中での空間理論	ドイツ	ベルリン日独センター	06.10.19～ 06.10.20	建築家、庭園建築家、芸術家に加えて、都市計画、芸術理論、哲学、社会学、日本研究の研究者による学際的研究プロジェクト「都市－空間－変遷」の成果を発表する会議
8	社会科学の諸問題	ドイツ	アジア問題研究所	06.11.10～ 06.11.12	日本社会に関する専門家が集まり、現代日本における社会科学の重要性と、グローバル化世界において日本の社会科学が直面する問題についての討議を実施
9	ポーランド－日本小経済フォーラム プシミシエル2006	ポーランド	Fundacja Polsko - Japonska ” Yamato” Centrum Kultury Japonskiej w Przemyslu	06.05.12～ 06.05.13	相互理解の促進及び日本とポーランドの関係強化、また異なる様々な分野での協力について継続的かつ活発なプラットフォームの構築を目的として、環境、投資、ポーランドの経済状況、プシエミシル市との文化・教育交流について討議
10	復興するシルクロードにおけるウズベキスタンと日本	ウズベキスタン	タシケント日本アラムナイ・センター	06.05.12～ 06.05.14	日本と中央アジアの「シルクロード外交」を現代的コンテキストで再解釈し、活性化のための方策を検討する会議
11	日ロ北方領土問題解決への新構想：オーランドモデル	スウェーデン	ストックホルム大学 アジア太平洋研究所	06.06.01～ 07.03.31	1917年フィンランドがロシアから独立した際にオーランド諸島の帰属問題を解決した国際連盟裁定の発想に学んで、北方領土問題解決の糸口を、ヒューマン・セキュリティと国家主権の相対化の視点から考察
12	セッション438 中国：国際経済の新しいエンジンか	オーストリア	ザルツブルクセミナー	06.12.05～ 06.12.10	日本からファカルティとフェローの参加を予定しており、複数国から専門家が集い、国際的かつ学際的なアプローチを必要としている議題を討議。セッション438は「中国：国際経済の新しいエンジンか」について討論
13	東から見たアイデンティティ	フランス	欧州評議会	06.04.01～ 07.03.31	「東から見たヨーロッパ」は、欧州評議会の「アイデンティティ、共通の価値及び市民性」プロジェクトの一環として、第3回欧州評議会首脳サミットのアクションプランの結果として開催
14	日本とEU：2000年代中盤に向けての課題	ベルギー	汎欧州政策研究会	06.11.23～ 06.11.24	日-EU関係の様々な側面を扱う学者の恒常的なコミュニティを構築することを目的とした会議

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
15	シーボルトコレクション会議	オランダ	ライデン民族学博物館	06.07.01～ 06.07.03	日本の援助で設立されたシーボルトハウスにおける有効な展示方法を日蘭の有識者によって検討する会議
16	第4回中・東欧21世紀フォーラム「新時代のユーラシア安全保障」	欧州地域区分困難	北海道大学スラブ研究センター	06.09.10～ 06.09.14	2006年9月11日から13日にポーランドのワルシャワにおいて国際シンポジウムを開催する。日本、中国、韓国、インド、中・東欧、旧ソ連諸国、その他の欧州諸国より計21名が参加
17	同質性と多文化主義－日本とドイツにおける移民問題	ドイツ	ベルリン日独センター	06.11.06～ 06.11.20	本シンポジウムは日本とドイツにおける移民問題を、特に経済的、法的、社会的側面について議論
18	国際会議「占領と撤退：日本、ヨーロッパ、パレスチナ、イラク」	英国	グラスゴー大学	06.05.11～ 06.05.13	第二次世界大戦後の日本と欧州の占領と撤退経験を振り返り、現在の中東における問題に活かそうとする試み。歴史、政治、国際法などの学者や弁護士が集い、ひとつのテーマに関する学際的会議を開催
19	社会調査のインフラストラクチャー	全世界区分困難	社会調査とそのインフラストラクチャーのコンソーシアム	07.03.30～ 07.03.30	日本の研究者・専門家・実務家にコンソーシアムに参加してもらい、データの国際交流のためのインフラストラクチャーの構築を進めるための議論を展開

3. 催し等事業費 (3)知的交流会議（助成）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕

中東との知的交流に資するセミナーなどの催しを支援する。

合計額 12,315,455円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	日本・トルコ協会創立80周年記念シンポジウム「21世紀の日本・トルコ関係～日本はトルコをどう捉えるべきか」	トルコ	日本トルコ協会	06.04.05～ 07.03.31	設立80周年記念行事の一環として、日本におけるトルコ研究者とトルコからの招へい者によるシンポジウムを開催
2	高レベル専門家会議「イスラム世界と西側世界」	全世界区分困難	インターアクション・カウンシル日本委員会	06.04.05～ 07.03.31	シュミット元ドイツ首相をはじめとする政治指導者6名17カ国の学者・政治指導者・地域専門家たちが「文明の衝突」を回避するための方策を論議・考察し、会議の結果を政策提言として世界に広く普及

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
3	中東をめぐる三者間対話の構築	中東地域区分困難	日本中東学会	06.04.05～ 07.03.31	日本中東学会の国際交流事業の一環として、日本、中東、欧米を含む中東研究者を第2回中東研究世界大会(WOCMES 2、アンマン)に派遣
4	トルコ・イスラエルとの対話	トルコ イスラエル	財団法人日本国際交流センター	07.03.20～ 07.07.31	日本から有識者をトルコ、イスラエルに派遣し、オピニオンリーダーとの対話、公開イベントを実施

4. 文化資料事業費 (1) 図書寄贈 (欧州・中東・アフリカ)

海外の日本研究・教育機関や公共図書館などに日本関係図書などを寄贈。日本に関する理解・研究を促進するため、国際交流基金が図書を購入し、申請機関に送付する。

合計額 31,739,020円

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
1	アイスランド	アイスランド国立大学図書館	National and University Library of Iceland	37
2	アゼルバイジャン	ハザル大学	Khazar University	108
3	イタリア	トリノ大学 東アジア学科	University of Torino	62
4	イタリア	フィレンツェ大学	University of Florence	86
5	イタリア	ローマ大学 "ラ・サピエンツァ" 東洋研究学部	University of Rome "La Sapienza"	41
6	ウクライナ	イワン・フランコ記念リヴィフ国立大学文学部図書館	The Library of Ivan Franko National University	40
7	ウクライナ	キエフ国立言語大学	Kiev National Linguistic University	116
8	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	Tashkent State Institute of Oriental Studies	97
9	ウズベキスタン	世界経済外交大学 実務外交講座	University of World Economy and Diplomacy	37
10	エジプト	アインシャムス大学 外国語学部日本語学科	Ain Shams University	124
11	エジプト	アレキサンドリア図書館	Bibliotheca Alexandria	31
12	エストニア	タリン大学エストニア人文大学	Tallinn University Estonian Institute of Humanities	48
13	エチオピア	アディスアベバ大学	Addis Abeba University	106

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
14	オーストリア	ウィーン民族博物館	Museum of Ethnology Vienna	49
15	オランダ	ライデン大学 日本研究センター	Leiden University	36
16	カザフスタン	カザフ国立学術図書館	National Academic Library of Republic of Kazakhstan	111
17	ガボン	国立図書館	National Library	103
18	キルギス	キルギス民族大学	Kyrgyz National University	58
19	クウェート	クウェイト大学	Kuwait University	109
20	グルジア	日本センター	Japan Center	51
21	クロアチア	ザグレブ大学哲学部インド及び極東語学課	Faculty of Philosophy, University of Zagreb	55
22	ケニア	ケニヤッタ大学	Kenyatta University	49
23	サウジアラビア	キングファハド石油鉱物大学	King Fahd University of Petroleum and Minerals	22
24	シリア	アレッポ大学	University of Aleppo	37
25	スウェーデン	ストックホルム商科大学日本研究所	The European Institute of Japanese Studies (EIJS) at Stockholm School of Economics (SSE)	54
26	スペイン	サラマンカ大学 西日センター	Salamanca University	41
27	スロベニア	リュブリャーナ大学	University of Ljubljana	131
28	タンザニア	イリング州立図書館	Tanzania Library Service Board	109
29	チェコ	ブルノ・モラヴィア美術館	Moravian Gallery in Brno	19
30	チュニジア	チュニス・エル・マナール大学人文科学高等研究所	High Institute for Human Sciences, Tunis El Manar University	110
31	デンマーク	コペンハーゲン大学 アジア研究学科	University of Copenhagen	64
32	ドイツ	ヴュルツブルク大学 東・南アジア文化研究所	Wuerzburg University	57
33	ドイツ	ケルン大学 日本学科	University of Cologne	12
34	ドイツ	デュッセルドルフ大学東アジア研究所	University of Dusseldorf	17
35	ドイツ	ハイデルベルグ大学東アジア研究センター	University of Heidelberg	25

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
36	ドイツ	ベルリン・フンボルト大学 日本語・日本文化センター	Berlin Humboldt University	21
37	ドイツ	ベルリン自由大学	Free University Berlin	29
38	ドイツ	ライプツッヒ大学東アジア研究所	Leipzig University, East Asian Institute	17
39	トルコ	ボアジチ大学	Bogazici University	63
40	ノルウェー	オスロ大学 図書館	University of Oslo Library	46
41	ハンガリー	カローリ・ガーシュパール・カルビン派大学	Karoli Gaspar University of the Reformed Church	50
42	ハンガリー	パーズマーニ・ペーテル大学	Pazmany Peter Catholic University	32
43	ハンガリー	ペーチ大学	University of Pecs	46
44	フィンランド	オウル大学日本研究所	University of Oulu	45
45	フランス	パリ第7大学	University of Paris 7	25
46	フランス	マルセイユ技術学校	Marseille School of Engineering	99
47	フランス	リール第3大学 ロマンヌ・スラブ・東洋研究学部	Universite Charles de Gaulle - Lille III	28
48	フランス	欧州アルザス日本学研究所	European Center for Japanese Studies in Alsace	63
49	ブルガリア	ソフィア大学 東洋語文化センター	Sofia University "St. Kliment Ohridski"	32
50	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	Catholic University of Leuven	72
51	ポーランド	アダム・ミツキエヴィチ大学東洋学研究所	Adam Mickiewicz University	72
52	ポーランド	プシェミシル日本文化センター	Polish-Japan Foundation "Yamato", Center of Japanese Culture in Przemysl	29
53	ポーランド	ポズナニ日本文化センター	Japanese Culture Institute in Poznan	110
54	ポーランド	ヤギェウォ大学	Jagiellonian University	37
55	ポルトガル	ミーニョ大学	University of Minho	57
56	マダガスカル	科学技術情報・資料センター	Technic and Scientific Information and Documentation Center	12
57	モルドバ	モルドバ日本交流財団	Foundation for Moldovan-Japanese Relations	37

	国名	機関名	機関名英語	送付部数 (冊)
58	ヨルダン	ヨルダン大学 図書館	The University of Jordan	53
59	ラトビア	ラトビア大学現代言語学部東洋学科	University of Latvia	71
60	リトアニア	マリヤンポレ市・ペトラスクリチャウ チューナス市立図書館	Marijampole Petras Kriauciunas Public Library	15
61	ルーマニア	ブカレスト大学	University of Bucharest	65
62	ルクセンブルグ	ルクセンブルク国立図書館	National Library Luxembourg	22
63	レバノン	セント・ジョセフ大学	St. Joseph University	9
64	ロシア	オムスク州立プーシキン図書館	Omsk Region Scientific Pushkin Library	37
65	ロシア	マヤコフスキー市立公共中央図書館	The Mayakovsky Central City Public Library	131
66	ロシア	ロシアキリスト教人文科学大学(図書館)	Russian Christian Academy for the Humanities	33
67	ロシア	ロシア科学アカデミー 図書館	Russia Academy of Sciences Library	78
68	ロシア	ロストフ国立経済大学	Rostov State University of Economics	110
69	ロシア	極東国立学術図書館	Far Eastern State Research Library	32
70	ロシア	極東国立工科大学東洋大学	Far Eastern National Technical University Oriental Institute	32
71	英国	オックスフォード大学 ボドリアン図書 館	University of Oxford	3
72	英国	ケンブリッジ大学 図書館	Cambridge University Library	13
73	英国	マンチェスター大学	University of Manchester	58
74	英国	リーズ大学	University of Leeds	53
75	南ア共和国	クワズル・ナタール大学	University of KwaZulu Natal	106

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米知的交流推進費

1. 人物交流事業費
 - (1) 安倍フェローシップ
2. 催し等事業費
 - (1) 知的交流支援（助成）
 - (2) 知的交流支援（主催）

1. 人物交流事業費 (1)安倍フェローシップ

グローバルな課題、先進国に共通の問題、または日米関係の緊密化を図る課題を、現代的、政策指向的かつ国際的視野から研究を行なう日本と米国の研究者に研究奨学金を支給するプログラム。米国社会科学研究評議会（SSRC）と共同で運営しており、米国学術団体評議会（ACLS）の協力を得ている。

合計額 203,705,713円

	関連人物姓名	現職	事業内容
1	Daniel Aldrich	ハーバード大学上級研究員	災害後復興における市民社会の役割。
2	Eric Brown	ミズーリ大学コロンビア校社会学 助教授	人種・社会階級とマイノリティ中産階級の形成: アフリカ系アメリカ人と日本の部落民の事例。
3	Yoko Crume	ノースカロライナ A & T 州立大学社会学部 助教授	中産階級向け長期介護つき高齢者住宅の日米比較研究。
4	Pepper Culpepper	ハーバード大学ケネディー行政学院 助教授（公共政策）	もはや忍耐はないのか？：協調経済における変化と非公式制度。
5	Christina Davis	プリンストン大学政治学部 助教授（政治・国際関係）	市場開放の裁定と政治：日米の貿易戦略
6	伊藤 恵子	専修大学経済学部助教授	サービス業におけるクロスボーダーM&A：日本と米国との比較研究。
7	実積 寿也	九州大学経済学部助教授	ブロードバンド整備支援と競争促進を巡る通信政策の比較分析。
8	加野 彩子	ペンシルバニア大学東アジア言語文明学部	ジェンダー政策論争の日米比較。
9	勝田 忠広	東京大学大学院法学政治学研究科 客員研究員	核不拡散と核平和利用の同時達成は可能か—核燃料サイクル国際管理構想における日本と米国の課題と新たな提案—。
10	松井 剛	一橋大学大学院商学研究科 助教授	日米消費文化の相互浸透：外国消費文化の制度化に関する比較研究。
11	道下 徳成	防衛研究所研究部上級研究員	北朝鮮の瀬戸際外交および関係諸国の対応に関する政策評価。
12	Hyunjoon Park	ペンシルバニア大学社会学部 助教授	日韓米の単身家庭と子供の教育。
13	Franziska Seraphim	ボストン大学史学部 助教授	占領期後の日本とドイツにおける社会統合の政治。

日米知的交流推進費

	関連人物姓名	現職	事業内容
14	Sheila Smith	東西センター研究部 研究員	日本外交論議における中国の位置：「戦後の日本」再構築における概念・動因および問題。

2. 催し等事業費 (1) 知的交流支援 (助成)

日米両国の研究機関、大学などが行なう政策指向の共同研究や、セミナー、シンポジウムなどの知的対話を支援する。
合計額 122,274,541円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	沖縄平和協力センター「米軍再編後の日米安全保障協力：アジア太平洋地域の危機と沖縄に求められる役割」(2年目)	(特非) 沖縄平和協力センター	06.12.01～ 07.11.30	米軍再編後のアジア太平洋地域の戦略環境はどのように変化し、それに対応する日米安全保障強力はどのように展開し、それは沖縄をはじめとするアジア太平洋地域の米軍プレゼンスにどのような影響を与えるのかについて分析し、沖縄を始めとする地元の負担軽減と、米軍の抑止力維持という二つの目標を両立させる新しい日米同盟のあり方の指針を提案する2年間事業。
2	東アジア共同体評議会「東アジア共同体構想とリージョナル・ガバナンスの新たな展開」(3年目)	東アジア共同体評議会	04.10.01～ 08.03.31	「東アジア共同体構想」に関し日米両国の東アジア地域秩序の位置付け・政策枠組みを提示。研究結果及び05年6月、06年6月に開催したワークショップの成果を、07年度にまとめて英文商業出版予定。
3	ジョージワシントン大学国家安全保障公文書館「1969年から現在に至るまでの米・日・朝鮮半島：三国の政策策定における教訓と将来の目標の探索」(3年目)	ジョージワシントン大学国家安全保障公文書館	06.10.01～ 08.09.30	1970年代以降の朝鮮半島に関する日米韓の外交安全保障政策策定・施行に関し、機密文書等新たな資料を付加し歴史的視点からアプローチする。日米韓の学者が調査を行い、最終的には学術論文を刊行する。
4	東西センター「21世紀アジアにおける核兵器と安全保障」(2年目)	東西センター	06.07.01～ 08.06.30	日米の安保政策専門家の交流、最新の日本防衛体制の実証的研究、日本の新たな安保政策に関する理解促進を目的とする共同研究。アジアの核兵器問題に関し新しい知見を有する若手研究者を発掘することも目的。
5	ジョージア大学国際貿易安全保障問題センター「大量破壊兵器拡散防止に向けた日米協力のあり方：中国、インドの産業界における安全保障輸出管理の実効性確保に向けて」(2年目)	ジョージア大学国際貿易・安全保障センター	06.04.01～ 07.06.30	大量破壊兵器拡散防止に向け、中国、インドの企業のコーポレートコンプライアンスを高めるべく、輸出管理という視点から日米政府間の取組みに留まらぬ非政府機関のイニシアチブの必要性を説く。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
6	カリフォルニア大学バークレー校「アジアの新たな組織構図」(2年目)	カリフォルニア大学バークレー校	06.04.01～ 07.08.31	9・11後のアジア地域の貿易と安全保障の枠組を包括的に研究する。貿易関係と安全保障関係における国際的均衡の進化や協力関係の変化等、両者の相互作用を分析。最終成果物としてSpringer社より出版済み。
7	シカゴ外交問題評議会「中国とインドの新興の影響」(2年目)	シカゴ外交問題評議会	06.04.01～ 07.03.31	中国とインドの経済成長が今後四半世紀の世界経済と日米の政策・経済協力に及ぼす影響を確かめ検証。06年7月東京で会議、10月には研究報告書を日米の政策関係者、ビジネス界、メディア界他に向け送付配信した。
8	ボストン大学「アジアにとっての円」(ブックプロジェクト)	ボストン大学	06.04.01～ 07.03.31	日米中を軸とするパワーポリティクスが進行する東アジア地域で、地域経済協力のための制度構築は可能か、いかなる仕組みが各国/地域全体の利益となるかを探る。成果物がCornell Univ. Pressより発刊予定。
9	ハワイ大学「米国、日本、東アジアにおける死刑制度」(ブックプロジェクト)	ハワイ大学	06.08.01～ 08.03.31	日本、中国、台湾、シンガポール、韓国、アメリカの死刑制度比較研究。各国の死刑制度とその解釈について、文化・民主化と発展・他国の影響、を用いて考察する。
10	ヴァンダービルト大学「国際政治におけるヘゲモニーとヒエラルキー」(ブックプロジェクト)	ヴァンダービルト大学	06.04.01～ 08.03.31	米中二つの「覇権主義」が、冷戦後、とりわけ9/11以降の東アジア地域の国際関係、特に日米同盟に対していかなる意味をもつか分析する。米中の覇権主義概念及び東アジアの安全保障政策に関する本を出版予定。
11	太平洋フォーラム「21世紀の日米韓関係」	太平洋フォーラム(戦略・国際問題研究所)	06.07.01～ 07.06.30	日米韓の相互依存関係によって北東アジア地域の安全と繁栄の実現を目指し、三国の将来の協力へのロードマップを模索する対話型事業。06年10月に企画会議、07年4月ホノルルにて日米韓フォーラムを開催。
12	タフツ大学IFPA「危機に面して：民間と軍の災害救援協力」(1年目)	タフツ大学	06.04.01～ 07.03.31	災害など危機の際に適格で迅速な対応をとるための、民間(NGO)と軍の協力のあり方を模索する日米共同事業。06年12月ワシントンにて、日米各分野から50名以上の専門家が集いワークショップを開催。
13	ペンシルバニア大学「ワクチンに関するグローバルな課題」(1年目)(ブックプロジェクト)	ペンシルバニア大学	06.07.01～ 07.06.30	国内/国際的なワクチンプログラムを、倫理的・法的側面から比較検証する。ワクチン政策、特に先進/発展途上国の双方で起こるワクチンの開発・普及・管理過程の諸問題を考察。成果はウェブ等で普及する。
14	全米経済研究所「変わり行く国際金融体制」	National Bureau of Economic Reserch(NBER)	06.01.01～ 06.12.31	経済学者間の大学横断的、国際的な活動を促進することを目的としたEASE(East Asian Seminar on Economics)会議の一部。今年のテーマは国際金融体制の現状評価で、CGPは6月22～24日会議を助成。
15	アメリカ外交政策ナショナルコミッティ「日米韓関係と東アジア：北東アジア安全保障フォーラムに向けて」	アメリカ外交政策ナショナルコミッティ	06.03.01～ 08.03.31	東アジア安全保障フォーラムの実現に向け、日米韓の共通戦略の策定及び2つの二国間同盟強化を目的に、北朝鮮の核戦略、変化する国際システムから生じる諸問題への中国の関与等をめぐり、研究と対話を実施。

日米知的交流推進費

	事業名	対象機関	期間	事業内容
16	日本国際問題研究所 軍縮不拡散促進センター「バイオセキュリティに関する国際的協調体制の構築」(2年目)	(財)日本国際問題研究所軍縮不拡散促進センター	06.04.01～ 07.03.31	生物テロ防止策の柱となるバイオセキュリティに関する国際基準確立や各国協調のあり方を研究し政策提言を行う。06年4月にワークショップ、07年3月にシンポジウムを開催。成果報告書は出版ほかCD配布等。
17	戦略国際問題研究所 CSIS「インドの東アジア地域における台頭と日米関係に対する影響」(1年目)	戦略国際問題研究所(CSIS)	06.04.01～ 07.09.30	日・米・印の三カ国の政界・ビジネス界・学界の関係者により、国際社会における共通課題に対して三カ国で協力関係を構築するため会議を開催する。報告書を作成し、各国の関係者に働きかけを行う。
18	日米文化振興会「第8回日米安全保障戦略会議」		06.08.09～ 06.08.11	日米安全保障戦略会議は、日米両国の政官民の有識者による講演および意見交換(討議)により、更なる日米の信頼関係構築を目指し、日本の安全保障をテーマに毎年開催今回は2006年8月9日～11日に東京で開催した。
19	「日中戦争の国際共同研究」日本組織委員会：「日中戦争の国際共同研究第3回国際会議「日中戦争期の中国における社会と文化」		06.04.01～ 07.02.28	「日中戦争の国際共同研究」国際会議シリーズの第3回。本年テーマは「中国の社会と文化」。06年11月箱根にて日本、中国、台湾、米国、カナダからの研究者が5日間にわたり討論を展開。成果論文集発行予定。
20	イェール大学東アジア研究評議会「日本における世界情勢の把握と国内政治」	Yale University (イェール大学)	07.01.01～ 08.02.29	日米の研究者と実務家がイェール大学に集い21世紀の世界における日本の役割を、日本の安全保障環境、世界経済における日本、日本のグローバル政策と国内政治、というテーマで学際的に考察。成果は図書出版予定。
21	吉備国際大学「ドメスティックバイオレンス克服に向けての共感の促進」(1年目)	吉備国際大学	06.11.01～ 08.12.31	ドメスティックバイオレンス(DV)問題の実態と救済策の整備状況、DVへの理解と認識を阻害する要因について日米研究チームで多角的にアプローチする。07年11月国際研究セミナー等開催。08年翻訳図書出版予定。
22	アフリカ系アメリカ人研究における人種と政治の問題	インディアナ州立大学	06.05.01～ 06.06.30	米国におけるアフリカ系アメリカ人女性と人種に関する学術会議に日本人研究者を招聘し、多角的な視点からの人種とジェンダーの問題を検討した。
23	ケネス・B.&アン・H.H.パイル記念北東アジア研究センター開所記念会議	全米アジア研究所(National Bureau of Asian Research : NBR)	06.06.01～ 06.11.30	ケネス・B.&アン・H.H.パイル記念北東アジア研究センター開所を記念するシンポジウムを、2006年11月シアトルにおいて開催した。
24	インド・フォーラム	ハワイ日米協会	06.08.01～ 06.10.31	エネルギー問題、核不拡散問題等、インドの興隆が日米同盟関係に与える影響に関して、研究者、企業関係者、政策立案者らが議論を行った。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
25	アジア地域の安全保障に関するシンポジウム	タンパ大学	06.09.01～ 07.03.31	アジア地域の安全保障問題に関して、米国南部に所在するタンパ大学においてシンポジウムを開催した。

2. 催し等事業費 (2) 知的交流支援 (主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウムなどを開催する。

合計額 89,797,620円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	IIEとの共同研究プロジェクト		06.04.01～ 07.03.31	東アジア地域経済圏における地域的レジームの形成を世界経済との関連のもとに考察する2年間(平成17-19年度)の共同研究プロジェクト。米国国際経済研究所(IIE)との共催で実施している「世界経済の中における東アジア経済地域主義」をテーマとしたプロジェクトを平成18年度も継続実施し、データ分析、フィールドトリップ、セミナー等を行い、最終的に研究成果を英語で出版予定。
2	米国シンクタンクとの連携強化	ブルッキングス研究所	05.08.08～ 07.03.31	米国ブルッキングス研究所との共催事業として、同研究所の Distinguished Guest Scholarである船橋洋一氏(朝日新聞社編集委員 1996年度安倍フェロー)の北東アジアの安全保障問題に関する研究活動を支援。成果は、2006年10月に朝日新聞社より「ザ・ペニンシュラ・クエスト 朝鮮半島第二次核危機」として刊行。2007年2月に(財)平和・安全保障研究所との共催で専門家向けセミナーを開催。
3	RIPS・CGP安全保障研究奨学プログラム	(財)平和・安全保障研究所	06.04.01～ 07.03.31	(財)平和・安全保障研究所との共催により、日本の安全保障研究者育成のための奨学プログラムを実施。奨学生は隔年採用で7名。本年度からは特別フェロー2名を追加。月例研究会参加の他、国内自衛隊関連施設見学、米軍基地見学などにより安全保障の理論および実践を学び、個人研究論文執筆を行った。
4	日本-日系人交流促進	(財)広島平和文化センター (財)名古屋国際センター 在サンフランシスコ総領事館 全米日系人博物館	06.04.01～ 07.03.31	日米相互理解の増進と米国日系人コミュニティとの長期的な関係強化を図り、2007年3月外務省と共催で日系米国人リーダー13名を1週間日本にグループ招聘。各界との対話、東京・京都・広島視察、公開シンポジウムを実施。前年度に開催した同シンポジウム報告書(和英)を作成・配布。また、2006年7月サンフランシスコ及びロサンゼルスにてシンポジウムを開催。

日米知的交流推進費

	事業名	対象機関	期間	事業内容
5	イノベーターズ・プロジェクト	ジャパン・ソサエティ	06.04.01～ 07.03.31	2007年のニューヨーク・ジャパンソサエティ(JSNY)設立100周年に向けて、記念事業として「イノベーターズ・プロジェクト」を共催。国籍・分野・所属団体に関わらず、建設的で独創的な信念に基づいて活動する個人で構成する「革新者(イノベーター)」のネットワーク化を図る。6月に、ニューヨークにて公開シンポジウムを、その後サンフランシスコにてリトリートを実施。1月には、東京にてリトリートと公開シンポジウムを開催。
6	安倍フェローシップCGP-SSRCセミナーシリーズ	米国社会科学硏究評議会	06.04.01～ 07.03.31	安倍フェローシップ事業の知的交流の成果を促進すること、またフェロー間並びにフェローと外部専門家間とのネットワーク形成を促進することを目的として、諸分野にまたがる現在のフェローが研究成果・情報・意見の交換を行うFellows' Retreatおよび特定の専門的テーマの下でフェローおよび外部専門家が参加するワークショップを行う。今年度は少子化をテーマに5月にシカゴでのワークショップを、1月にフロリダでのリトリートを実施。
7	安倍フェローシップ記憶セミナー	米国社会科学硏究評議会	06.12.15～ 06.12.17	「CGP-SSRCセミナーシリーズ」の一環として、「記憶、和解及びアジア太平洋の安全保障-日米関係におけるインプリケーション」(Memory, Reconciliation and Security in the Asia-Pacific Region: Implications for Japan-U.S. Relations)と題する第2回目のワークショップを淡路島にて開催。
8	JCIE日米青年政治指導者交流プログラム	(財)日本国際交流センター他	06.11.01～ 07.03.31	日米両国の将来の政治指導者となるべき有望な若手人材の超党派による訪日・訪米交流を行い、政治外交分野における関係者の相互理解促進と人的ネットワークの構築を図り、長期的視野から日米関係の基盤を強化するべく、2007年1～2月に自由民主党、民主党、公明党からの6名からなる訪米団を派遣。
9	マンスフィールド財団との共催シンポジウム	モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団	06.04.01～ 07.03.31	「日米の産業戦略と国際競争力」と題して、国際交流基金日米センターと米国のモーリーン・マイク・マンスフィールド財団と共催でシンポジウムを2006年9月26日に開催。パネリストは安倍フェローとマンスフィールドフェロー。
10	JCIE・CGP共同硏究プロジェクト「中間選挙後の米国議会における東アジア政策の変化と将来的展望」	(財)日本国際交流センター他	06.11.01～ 07.03.31	「東アジアについての関心の知的基盤」に焦点を当て、①米国議会における外交、東アジア関係主要アクターの変動と論議の変化、②東アジア専門家へのヒアリング、③東アジアに関心を持つ主要上下両院議員、政策スタッフ、関連委員会スタッフ、議会調査局スタッフ等のリストアップ、④東アジアへの関心の知的基盤に関する調査の動向、の各項目について調査し、報告書を作成。
11	米国若手指導者ネットワークプログラム		07.03.31～ 07.04.08	米国の若手有力有識者5名を2007年3月に日本に招聘し、各界リーダーとの意見交換、ネットワーク形成の機会を与えることを目的とし、日米関係を機軸とした議論やワークショップ開催のほか、文化・歴史に関する視察等も実施。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
12	ハリケーン・カトリーナ災害復興協力のための日米対話プロジェクト		06.10.14～ 06.10.22	ハリケーンカトリーナの被災地ニューオーリンズ市等から、行政・学界・市民活動等の復興に携る関係者8名を2006年10月に日本に招へいし、神戸など阪神淡路大震災の被災地を視察、日本の災害復興関係者と対話を行った。
13	日米センター企画開発事業			
	日米交流関係財団会議		06.05.23	日米交流の促進に関わる諸財団間の情報・意見交換の場として、「Japan Funders Meeting」を開催した。各財団より、新規助成事業等、最新の動きについての紹介があり、引き続き意見交換を行った。
	ニューヨーク、東京及びパリにおける高齢者のための健康・社会サービス		06.06.06	CGPが「国際長寿センター」に助成したプロジェクト「ニューヨーク、東京及びパリにおける高齢者のための健康・社会サービス」の研究成果が、今般「Growing Older in World Cities」として出版されたのを機会に、編著者のRodwin ニューヨーク大学教授、Gusmano コロンビア大学助教授両教授をお招きして開催。
	アジアにおけるエネルギー安全保障		06.06.28	East West Institute、ERINA（財団法人環日本海経済研究所）と共催で、アジア地域におけるエネルギー安全保障問題をテーマとした専門家の小規模会議を開催。
	日米豪印・海上安全保障をめぐるキャパシティビルディング		06.09.21	地域におけるカウンターテロリズムのキャパシティビルディングに向け、日米豪に印を加えたフレームワークでどのような協力関係を築いていくべきかアジェンダ設定のための小規模会議を開催。Walter Anderson (Johns Hopkins University)、Richard Cronin (Henry L. Stimson Center)、古川勝久（科学技術振興機構・社会技術研究開発センター）、Satu Limaye, Institute for Defense Analysisらが出席。
	安定・繁栄のアジアに向けて：日米関係の再活性化		06.10.10～ 06.10.12	テネシー州メンフィスおよびナッシュビル、ジョージア州アトランタを巡回し、「安定・繁栄のアジアに向けて：日米関係の再活性化」と題する連続セミナーを開催。
	ハリケーンカトリーナ災害復興対話事業・訪日関係者オリエンテーション		06.10.12	ハリケーンカトリーナ災害復興対話事業（本部主催）で訪日する関係者に対する事前オリエンテーションを実施した。
	ハリケーンカトリーナ災害復興対話事業・訪日関係者帰国報告会		06.11.09	ハリケーンカトリーナ災害復興対話事業（本部主催）で訪日した関係者を囲み、訪日プログラムの成果等について関係者間で意見交換を行なった。
	アジア太平洋地域における二国間貿易協定について		06.11.17	CGPがカリフォルニア大学バークレー校に対して助成したプロジェクトの成果図書出版を記念し、アジア太平洋地域における二国間貿易協定に関するセミナーを開催した。

日米知的交流推進費

事業名	対象機関	期間	事業内容
知価経済化する日本		07.02.06	CEPEXとの共催により、ヴァンダービルト大学において、知価経済化する日本に焦点をあてたセミナーを開催した。
太鼓パフォーマンスを活用した日本理解促進ワークショップ		07.03.23～ 07.03.24	CEPEX、グレートフォールズ小学校ほかとの共催により、太鼓パフォーマンスを活用した日本理解促進ワークショップを開催した。

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 日米センターNPOフェロークシツプ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）

2. 催し等事業費

- (1) 市民交流支援（日米市民交流・助成）
- (2) 市民交流支援（教育を通じた相手国理解促進・助成）
- (3) 市民交流支援（日米市民交流・小規模助成）
- (4) 市民交流支援（教育を通じた相手国理解促進・小規模助成）

3. 文化資料事業費

- (1) 市民交流支援（日米市民交流・文化資料）

日米市民対話推進費

1. 人物交流事業費 (1)日米センターNPOフェロースhip

日米間の架け橋となり国際的に活躍できる次世代の人材の育成、日米両国の非営利セクター間の相互理解の促進とネットワークの拡大強化、国内の非営利セクターの人的基盤強化を図ることを目的として、日本の非営利セクターに従事している中堅層に、米国のNPOで中長期のマネジメント実務研修機会を提供。

合計額 27,711,000円

	氏名	現職	受入団体	期間	事業内容
1	中村 絵乃	特定非営利活動法人開発教育協会事業・研修担当	Educators for Social Responsibility Metropolitan Area (ESR Metro)	06.01.20～ 07.01.19	NPOの組織強化／国内の教育活動
2	黒田 かをり	CSOネットワーク共同事業責任者	Social Accountability International	06.02.27～ 06.10.26	途上国の地域社会の問題解決に向けたステークホルダー間のパートナーシップ
3	岩附 由香	特定非営利活動法人開発教育協会代表	Winrock International	06.03.29～ 06.12.28	児童労働分野のNGOのアドボカシーとプログラム、資金調達とネットワーク活動
4	鮎川 葉子	エイズを伝えるネットワーク(TENCAI)代表	Men's Resource Center for Change	07.03.22～ 07.09.21	ネットワーク型非営利組織が、専門機関の連携を実現させるために必要な条件と課題整理を、米国の事例から学ぶ
5	石川 えり	特定非営利活動法人難民支援協会事務局長代行	International Rescue Committee	07.01.21～ 07.05.20	難民支援NGOにおけるプロジェクト・マネジメント
6	土井 香苗	ヒューマンライツ・ナウ事務局員	Human Rights Watch	06.09.01～ 07.06.30	弁護士を中心とする人権NPOの資金基盤、人材基盤及びアドボカシー手法
7	成田 容子	特定非営利活動法人NPO推進青森会議事務局スタッフ	Amnesty International USA	06.10.01～ 07.01.31	アメリカのNPOにおける人権教育プログラム－特にLGBTQコミュニティにおいて－効果が期待できるプログラムを企画、運営するための手法

1. 人物交流事業費 (2)市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。

合計額 24,639,750円

	氏名	受入団体	期間
1	福原 くみこ	ケンタッキー日米協会	2004.08～ 2006.07

	氏名	受入団体	期間
2	横野 由起子	タルサ・グローバル・アライアンス／オクラホマ東アジア教育インスティテュート	2004.08～ 2006.07
3	高橋 祐子	ジョージア日米協会	2004.08～ 2006.07
4	安藤 良子	ダラス・フォートワース日米協会	2005.08～ 2007.07
5	田中 美樹	南部多文化センター	2005.08～ 2007.07
6	村田 有紀子	コスタル・カロライナ大学	2005.08～ 2007.07
7	小島 祥子	アラバマ日米協会	2006.08～ 2008.07
8	木谷 公子	森上ミュージアム	2006.08～ 2008.07
9	織田 美千子	ベサニー大学	2006.08～ 2008.07

2. 催し等事業費 (1)市民交流支援（日米市民交流・助成）

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援する。

合計額 75,674,984円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	環境教育パートナーシップ	ミシガン州立大学	06.03.01～ 07.01.31	ミシガン州と関東地方の高校生及び教員による、異文化環境教育事業。参加者は、淡水系の学習を通じて世界的な環境問題や日米の教育・文化制度の共通点・差異について学習
2	日米グローバル・ネットワークを通じた青少年フィランソロピー教育推進共同イニシアチブ（2年計画事業の2年目）	インディアナ大学	07.01.01～ 08.03.31	国際的な青少年フィランソロピー教育モデルの確立を目的とする事業。日米で調査を行い、共同で新たな教員研修プログラムとパイロット・スタディを策定し、日米で実施

日米市民対話推進費

	事業名	対象機関	期間	事業内容
3	精神障害者の就業支援についての成功例を広めるための日米ネットワーク構築事業（2年計画事業の2年目）	ホライズン・ハウス（マトリックス・センター）	06.01.01～ 06.12.31	精神障害者に対する就業支援の分野において日米間のネットワークを構築。一般向けのシンポジウムを開催し成果を発表。米国でビデオも制作
4	環境教育プログラム「Kids' ISO14000」の日米機軸の設立と米国モデル校事業開始（2年計画事業の1年目）	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	05.12.01～ 06.11.30	申請団体が開発した環境教育プログラムニューヨーク市に紹介。子どもと家庭の環境意識の改革、温室ガスの削減、他地域への展開の基盤の確立を期待
5	生涯現役社会づくりプログラム開発：日米東アジアの比較と協力（3年計画事業の3年目）	九州大学東アジアセンター・オン・エイジング	06.07.01～ 07.03.31	日本とハワイにおけるアクティブ・エイジング・プログラムを調査・理解し、東アジアにおいて同プログラムの開発に協力して取り組む態勢を整備
6	世代間交流プログラム推進のための日米協働事業（2年計画事業の2年目）	ペンシルバニア州立大学	06.09.01～ 07.08.31	日本における世代間交流活動を活性化し、専門家の国際ネットワークを構築。日本の専門家が訪米し、世代間交流事業の成功例を視察。事業成果はウェブサイトや刊行物を通じて頒布
7	アメリカン・サービス・ラーニング・プログラム（2年計画事業の2年目）	VIA（ボランティアーズ・イン・アジア）	06.04.01～ 07.03.31	日本人学生とスタンフォード大学の学生が夏に4週間共同生活をしながら、テーマごとに分かれた研修と地元の非営利組織でのボランティア活動等を実施
8	難民支援に関する日米NPOの経験交流とネットワーク構築	特定非営利活動法人難民支援協会	06.04.01～ 07.03.31	日米両国で国内の難民支援を行っているNPOが、事業のあり方を再検討。両国における難民受容についての共同調査、相手国のNPO訪問、シンポジウムやワークショップ等を実施
9	メリーランド大学プランゲ文庫資料および大阪国際児童文学館資料を基盤とした日米子どもの本・子どもの文化交流プロジェクト	「戦後60+1周年子どもの本・文化プロジェクト」実行委員会	06.04.01～ 07.03.31	メリーランド大学に所蔵されているプランゲ文庫の資料の中から、戦中・戦後の子どもの本と文化を紹介する展示、シンポジウム、ワークショップを実施
10	日米のネットワーク交流を通じたNPO共同事務所施設強化プロジェクト（2年計画事業の1年目）	関西国際交流団体協議会	06.10.01～ 07.05.31	日本のNPO共同事務所施設のネットワークを立ち上げ、日米のネットワーク同士で交流。日米双方の現状を交互に視察

	事業名	対象機関	期間	事業内容
11	アラスカ先住民族の自然観をもとに、地域に根ざした教育を考える日米市民プロジェクト	エコプラス	06.05.01～ 07.02.28	アラスカ先住民族の自然観をもとに地域に根ざした教育を考えるため、大学教授、先住民族の教育家、放送局プロデューサーを招聘し、国内で講演会・ワークショップを開催
12	横浜・サンディエゴ友好都市青少年交流事業（米国NPOボランティア体験スタディツアー）	財団法人 横浜市国際交流協会	06.05.01～ 07.03.31	横浜の青少年をサンディエゴに約1週間派遣し、青少年支援、多文化共生、国際協力、環境問題の分野で活動するNPOを見学
13	日本版ダイバーシティ&インクルージョン アドボケイト・プロジェクト	ジュエル	06.05.01～ 06.08.31	日本社会での多様性と包括性の認知拡大を目指し、専門家等を招聘し、NPO、企業のCSR担当者、メディアとの意見交換を実施
14	HIV/AIDSの治療や予防に取り組む人々の日米草の根交流プロジェクト	カリフォルニア大学サンフランシスコ校	06.06.01～ 07.05.31	日米でHIV/AIDSの治療や予防のため、米国から研究者が訪日、会議等で実践者のための知見を交換した後、日米の実践者が交流、効果的なカリキュラムを開発
15	日米技術教育研修プログラム	ハートフォードエリア・キャリア&テクノロジーセンター	06.05.01～ 06.11.30	バーモントとニューハンプシャーの工業高校生が、福岡の高等技術専門学校を訪問し、授業参加、ホームステイ、就業体験を行う他、助成対象団体の技術教育を紹介
16	2007年模擬国連会議全米大会第24代日本代表団派遣事業	2007年模擬国連委員会	07.02.01～ 07.06.01	模擬国連会議全米大会で、派遣した団員は、担当国の調査、米側提携校の学生との政策調整・立案、国連大学職員の見学を得て研究発表会等を実施
17	太平洋を横断する大使アカウミガメを守るために文化をつなぐプロジェクト	プロ ペニンシュラ	07.03.01～ 08.02.29	絶滅危惧種アカウミガメを守るため、日米メキシコの漁業関係者、環境保護活動家、研究者が意見交換。3ヶ国語による保護戦略を作成し、地域コミュニティ、政府関係者に配布
18	環境教育プログラム Kids' ISO14000の日米機軸の設立と米国モデル校事業開始(2年計画事業の2年目)	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	07.02.01～ 07.11.30	小学生を対象とした環境教育プログラムを米国に導入・普及させるため、教育関係者対象のセミナーや、パイロットスクールにおいて試行

日米市民対話推進費

2. 催し等事業費 (2) 市民交流支援 (教育を通じた相手国理解促進・助成)

日本においては米国に関する、米国においては日本に関する相手国理解促進のための、主として初等・中等教育レベルを対象としたアウトリーチ（知識の普及）活動やカリキュラム開発などを支援する。

合計額 75,497,533円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	ペリーと日本の開国 (2年計画事業の2年目)	マサチューセッツ工科大学	06.01.01～ 07.10.31	インターネット上で無料で公開されているMITのオープンコースウェアのうちの「黒船とサムライ」と「新興都市横浜」について、中等教育レベル向けのレッスンプランやインターネット教材、用語集などを開発し普及
2	絵本を使った異文化理解：日本の小学校でアメリカ文化を教えるパイロット事業 (2年計画事業の1年目)	エデュケーション・ディベロップメントセンター	06.01.01～ 07.03.31	小学校低学年の教員を対象に、トレーニング及びアメリカ文化を教える教材を提供する事業。アメリカの文化を様々に反映した15冊の絵本と、教員用ガイドからなる。最終的に開発された教材等は、ウェブ上で公開
3	上級編日本理解講座 (2年計画事業の1年目)	アーカンソー大学リトル・ロック校	05.12.01～ 06.11.30	日本についての学習経験または来日経験のある、米国南部地域の教員を対象とし、近年の日本研究に関する研修を実施。ウェブサイトを構築し、日本関連ウェブサイトへのリンクや、参加者が情報交換できるリストサーバを使用
4	日本に関するレッスンを普及させるプロジェクト	ケンタッキー大学	06.05.01～ 08.03.31	ケンタッキー州の教員に日本理解教育用のカリキュラム開発を指導。開発されたカリキュラムはオンライン化。試行授業や改訂を行った後、教員研修等の際、ケンタッキー州内の他の教員に対して成果普及を実施
5	日系移民をテーマとした米国理解教育の教材開発と教員研修 (2年計画事業の1年目)	多文化社会米国理解教育研究会	06.06.01～ 07.03.31	米国理解を深めることを目的とし、日系移民をテーマとした教材開発と教員研修を実施
6	JapaNet:南フロリダの日本・南北アメリカ研究センター (3年計画事業の3年目)	フロリダ国際大学	06.07.01～ 07.06.30	フロリダ州南部の中学・高校教師を対象に、日本または日本と南北アメリカの関係に関する10週間のセミナーを年2回、3年にわたって実施。参加者は教室で利用できる資料を作成し、インターネットで公開
7	上級編日本理解講座 (2年計画事業の2年目)	アーカンソー大学リトル・ロック校	06.12.01～ 07.11.30	日本に関する学習経験または来日経験のある米国南部の教員を対象とした近年の日本研究に関する研修を実施。研修参加者が報告書を作成
8	絵本を使った異文化理解：日本の小学校でアメリカ文化を教えるパイロット事業 (2年計画事業の2年目)	エデュケーション・ディベロップメントセンター	06.12.01～ 07.11.30	小学校低学年の教員を対象に、アメリカの文化を様々に反映した15冊の絵本と、教員用ガイドから構成された教材を提供。教材の使用法に関する教員研修と試行授業を実施。教材他はオンライン化

	事業名	対象機関	期間	事業内容
9	高校生向け「アメリカ理解教育の促進」(産学連携ABIC・関西学院大学共同プロジェクト)(2年計画事業の2年目)	特定非営利活動法人国際社会貢献センター	06.06.01～ 07.03.28	申請団体スタッフの米国滞在経験を生かし、「今のアメリカ」に関する、高校生向けのアメリカ理解のためのテキストを執筆。テキストは、セミナーや出張授業により普及
10	ライシャワー奨学プログラム(2年計画事業の1年目)	スタンフォード大学	07.01.01～ 07.08.31	日米関係でリーダーとして将来活躍することを期待し、米国の高校生(11・12学年)に、専用ウェブサイトを用いて日本や日米関係に関する学習機会を提供
11	「日本史をイメージする」教材開発・普及事業(2年計画事業の1年目)	コロラド大学ボールダー校	07.03.01～ 08.06.30	歴史と社会科のカリキュラムに芸術史を組み込み、世界史の授業で使用可能な教材を開発。世界史のナショナル・スタンダードとの関連を示し、歴史的思考力の育成を強調。教材はオンラインで公開
12	現代問題：変わりゆく東アジア教育パッケージ	南部国際研究センター(SCIS)	07.03.01～ 08.02.29	教材「変わりゆく東アジア(East Asia in Transition)」を改訂し、教員ワークショップを通して普及

2. 催し等事業費 (3) 市民交流支援(日米市民交流・小規模助成)

各地で推進される草の根レベルの各種交流事業に機動的に対応するため、①市民向けアウトリーチを含む、②地域的特性や多民族に配慮がある、③プロジェクトに新しい試みが見られる、などの条件を備える案件に対して小規模の助成を行なう。

合計額 3,748,218円

	事業名	団体名	期間	事業内容
1	市民交流 Grant 小児肥満症に関する日米交流	ヘンリー・フォード・センテニアル・ライブラリー(ミシガン州)	06.11.15～ 07.01.15	小児肥満症予防のため、米国の研究者が訪日し、日本の関係者との意見交換を行うプロジェクト。
	北太平洋サケ保護ネットワーク：日米の共通アジェンダを探る	ワイルド・サーモン・センター(オレゴン州)	06.09.01～ 06.12.31	サケを切り口に生態系・環境問題に関わる日米の研究者・NPO・企業・自治体関係者とのネットワーク構築し、共同プロジェクトを企画するための訪日プロジェクト。
	熊本グローバル・イシュー・ダイアログ	モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団(モンタナ州)	06.09.01～ 07.05.31	モンタナ州と熊本県の姉妹都市関係を基盤に、環境問題についての交流を深める事業。
	子供のヘルスケア：可能性を探る	ムーン・バルーン・プロジェクト(マサチューセッツ州)	06.09.01～ 06.12.31	入院中の子どもたちの心のケアをテーマに、日米の研究者・病院関係者が意見交換するための訪日プロジェクト。

日米市民対話推進費

事業名	団体名	期間	事業内容
国際協力を通じた国際開発	リリーフ・インターナショナル（カリフォルニア州）	06.06.01～ 07.03.31	開発援助、ユース・フィランソロピー、オンライン・アクセスの各テーマごとに日本の団体とのネットワーク強化を図るための訪日プロジェクト。
日米の非営利団体における団塊世代のボランティア	リトル・トーキョー・サービス・センター（カリフォルニア州）	06.10.02～ 08.02.01	定年退職後にボランティアとして期待される団塊世代とNPOの関わり方について日米の意見交換を行うプロジェクト。

2. 催し等事業費 (4) 市民交流支援（教育を通じた相手国理解促進・小規模助成）

米国各地で行なわれる草の根レベルの各種事業を支援するための小規模助成事業。

合計額 10,519,015円

事業名	団体名	期間	事業内容
1 一般グラント(教育) 硬式野球から芽生える友情	ホノルル・フェスティバル財団（ハワイ）	07.03.01～ 07.04.30	ハワイの国際フェスティバルにおいて、野球選手の日米交流と相互理解について紹介するセミナーを実施。
菊を通して日本に触れる	ニューヨーク植物園（ニューヨーク州）	07.03.15～ 07.12.31	助成対象機関による大規模な「菊」展にあわせて、子供向けプログラムを実施。
2 南部・中西部向け小規模グラント 日本紹介のための教員ワークショップ	ベサニー大学（ウェスト・バージニア州）	06.10.01～ 06.11.30	日本に触れる機会の少ないウェスト・バージニア州において教員ワークショップを実施。
「国際木版画展：20世紀初頭の日米英」にあわせた教員ワークショップおよび教材	チェーゼン美術館（ウィスコンシン州）	06.11.15～ 07.03.31	助成対象機関による木版画の展示会にあわせて、20世紀初頭の日本と欧米の文化・芸術を比較する教員ワークショップを実施。
日本への旅	クレア・メル小学校（フロリダ州）	06.10.02～ 06.12.15	体験教室を交えながら小学生に日本を紹介するプロジェクト。
子供の日	オーガスタ・リッチモンド郡学区コミュニティ（ジョージア州）	06.01.05～ 06.05.31	中学生を対象に日本の歌、踊り、武道のデモンストレーションを行い、また日本語を学習中の生徒による発表会を開催。
日本の文学やポップカルチャーにおける女性の描写	東カロライナ大学（ノースカロライナ州）	06.08.01～ 06.11.01	日本の伝統文化やポップカルチャーにおける女性をテーマとした教員ワークショップを実施。
体験して感じよう、日本の素晴らしさ	ギフォード・ストリート高校（イリノイ州）	06.10.30～ 07.03.23	フルブライト・プログラムで訪日経験のある教師が9週間にわたり高校生に日本紹介事業を実施。
日本の美術や文化への入門コース	ハンドメイド・イン・アメリカ（ノースカロライナ州）	07.03.01～ 07.12.31	教員、生徒、一般向けにそれぞれ日本の文化や芸術を紹介するワークショップ等を開催。

事業名	団体名	期間	事業内容
日本への旅：地域の リソースとアメリカ の中心部をむすぶ アイオワの生徒と日 本をつなぐ	ホーリー・トリニ ティ・スクール（オ ハイオ州） アイオワ公共テレ ビ.アイオワ公共放 送委員会（アイオワ 州）	07.02.01～ 07.07.31 06.09.01～ 06.12.31	地域の機関やリソースを活用して日本の芸術や文化につ いて学習するプロジェクト。 インタラクティブな映像中継を通じて、アイオワの生徒 に日本紹介の授業を行うプロジェクト。
日本祭り（ジャパ ン・フェスト）	ジャパン・フェスト （ジョージア州）	06.09.06～ 06.12.05	米国南部最大とも言える日本祭りで日本の様々な文化芸 術を紹介。
「お話」：物語から 日本を発見する	マイアミ大学（オハ イオ州）	06.09.01～ 07.08.31	オハイオ州南西部およびインディアナ州東部の教員や生 徒に対して「お話」（小説・童話・紙芝居等）から日本の 様々な側面を紹介する事業。
森上ミュージアムと フロリダの教師をつ なぐ 平和に向けて…日米 パートナーシップ	モリカミ（フロリダ 州） ノース・ウッズ・イ ンターナショナル・ スクール（ウイスコ ンシン州）	06.07.01～ 07.02.28 06.08.30～ 07.01.15	フロリダ南部の学校において日本に関する授業を実施 し、助成対象機関と長期的なネットワークを形成するプ ロジェクト 日本の地理、文化、日本語について学習するプロジェク ト。
日本を体験する：オ クラホマ教員ワーク ショップ 和紙ワークショップ	オクラホマ州立ノー スイスタン大学 （タレクア） ロバート・C. ウィ リアムズ・ペー パー・ミュージアム （ジョージア州）	06.07.26～ 07.03.31 06.09.15～ 06.12.31	幼稚園および小学校教員を対象に、日本の基礎知識や レッスン・プランなどを提供する事業。 書道や紙すきを通して、日本の文化や歴史について学ぶ プロジェクト。
日出づる国からの声	セルマ・ミドル・C HATアカデミー （アラバマ州）	07.01.11～ 07.12.06	生徒たちが日本について学んだ成果を展示した「博物館」 を作るほか、教員ワークショップも実施するプロジェク ト。
オハイオ州ハンコッ ク郡と日本をつなぐ	フィンドレー大学 （オハイオ州）	06.09.01～ 06.12.31	小学校教員向けのワークショップ、在留邦人や日本人留 学生による小学校での日本紹介等を実施。
茶道教室	ワシントン・アン ド・リー大学（バー ジニア州）	06.10.04～ 07.02.01	地域の市民や生徒を対象に助成対象機関の茶室にて「茶 の湯」を紹介する講座を開催。

日米市民対話推進費

3. 文化資料事業費	(1) 市民交流支援（日米市民交流・文化資料）
------------	-------------------------

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また共通課題への取り組みを通じて世界貢献することを期待し、趣旨に合った資料作成を行なう。

合計額 423,150円

	事業名	期間	事業内容
1	姉妹都市交流ブックレット	07.03.20～ 07.03.20	2005年度に発行した「姉妹都市交流ブックレット」を1,000部増刷

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 高校生等招へい事業
- (2) ネットワーク整備事業（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) ネットワーク整備事業（催し・助成）
- (2) 交流拠点設置運営事業（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（文化資料）

日中交流事業費

1. 人物交流事業費 (1) 高校生等招へい事業

合計額 73,393,050円

	事業名	参加人数	期間	事業内容
1	長期招へい事業（直轄）	32人	06.09.07～ 07.07.27	日本語を学習している中国の高校生32名が11ヶ月間の日本での生活を通じて日本理解を深め、若い世代の心の通った日中交流を実現する。両国間の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。
2	長期招へい事業（AFS委託）	5人	06.08.25～ 07.07.22	中国からの一年以上の長期招へい事業を一貫して実施しているAFSに長期招へい事業の一部（5名）を委託。
3	中期招へい事業	40人	07.01.31～ 07.02.27	日本語・英語学習者から成る中国の高校生40名を約1ヶ月間招へいし、2週間は学校・家庭生活体験を、残る日程は環境問題や平和への取組について見聞を深める研修を行う。（財）日本国際協力センターとの共同実施。

1. 人物交流事業費 (2) ネットワーク整備事業（招へい）

合計額 5,311,144円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	全国政協グループ招へい	中国	06.05.17～ 06.05.24	中国人民政治協商会議全国委員会（通称：全国政治協商会議）外事委員会劉劍鋒主任を団長とする訪日グループ計9名を8日間招へいし、日本の各界の代表や民間交流機関との意見交換を行うとともに、日本の地方の現状を視察することによって対日理解を深めてもらう。
2	遼寧省民族学校訪日団招へい	中国	06.07.11～ 06.07.18	訪日経験の少ない教育関係者と日本の地方教育関係者の交流を促進する目的で、朝鮮民族学校幹部11名を招へい。
3	デザイナー訪日研修	中国	07.02.11～ 07.02.20	公募で決定したシンボルマーク「心連心」のデザイナー楊娜氏、李冠湘氏を招へいし、日本の現代美術の状況を視察。

2. 催し等事業費 (1) ネットワーク整備事業（催し・主催）

合計額 3,578,867円

	事業名	事業内容	期間
1	開設記念事業	日中交流センター開設を記念して、同センターの紹介を兼ねた日中交流に所縁の深い政財官界人、および報道関係者を対象とした懇親会を実施。	06.05.23

日中交流事業費

	事業名	事業内容	期間
2	日本商会ネットワーク事業	日中交流センターの市民交流「担い手」ネットワーク事業の一環として、文化企画課のCSR支援事業とも連携を図りつつ、中国国内の日本商会(商工クラブ)、日本人会等邦人組織のネットワークを構築し、現地での市民交流を図った。	06.04.01～ 07.03.31

2. 催し等事業費	(2) ネットワーク整備事業 (催し・助成)
-----------	------------------------

合計額 2,948,900円

	事業名	対象機関	期間	事業内容
1	第3回東アジア環境市民会議	東アジア環境情報発信所	06.09.09～ 06.10.02	日中韓の環境NGOによる共同事業。日韓の専門家を中国西安市郊外の河川汚染による公害被害が発生している地域に派遣し、日韓の公害克服の経験を中国の市民に伝え共有するための会議を開催する。
2	京論壇	京論壇	06.09.12～ 06.10.02	日本の学生と中国の学生が、環境・経済・安保・歴史認識の分野に分かれ、それぞれの問題解決策を共に見つけるために、両国を1週間ずつ視察し、その後問題の議論をする。
3	日中平和と福祉ネットワーク事業	財団法人日本キリスト教女子青年会(YWCA)	06.08.09～ 06.08.14	広島で毎年日本YMCAが開催している平和教育プログラム「ひろしまを考える旅」に中国から3名(青年2名、シニア1名)ゲスト参加者を招き、日本の参加者とともに平和と非暴力の大切さを学ぶ機会を提供。
4	日中こどもキャンプ2006	財団法人ユースワーカー能力開発協会	06.07.01～ 06.12.31	中国の子供新聞「北京少年報」との共同事業として、中国と日本の小中学生各40名によるキャンプを宮崎県内で実施、野外活動を通じて国境を越えた友情関係を育むと共に新世紀における日中交流の担い手を育成する。
5	日中・夢・かかわり隊育成プロジェクト	特定非営利活動法人メコンクラブ	06.07.01～ 07.03.31	大学などで演劇を学んでいる日中の若手演出家の共同企画により、雲南省の少数民族の子供たちを対象にした演劇ワークショップを実施する。

2. 催し等事業費	(3) 交流拠点設置運営事業 (催し)
-----------	---------------------

合計額 27,281,773円

	事業名	対象機関	対象国	都市	期間	事業内容
1	「成都ふれあいの場」開設準備	広島・四川中日友好会館	中国	成都	06.10.01～ 07.03.31	四川省成都の広島・四川中日友好会館に開設する成都「ふれあいの場」事業の運営を支援する。

日中交流事業費

	事業名	対象機関	対象国	都市	期間	事業内容
2	「南京ふれあいの場」開設準備	金陵図書館	中国	南京	06.10.01～ 08.03.31	江蘇省南京市に南京市と協同して「南京ふれあいの場」を開設・運営するための準備を開始する。

3. 文化資料事業費 (1) ネットワーク整備事業 (文化資料)

合計額 20,995,938円

	事業名	期間	事業内容
1	中国語オピニオンサイト運営	06.04.01～ 06.12.31	日本最大の中国語ニュースサイトである「共同網」の中に、『中国語オピニオンサイト』を開設。日本の各界の識者や知日外国人が各自選んだテーマに基づき、中国の一般市民に日本のありのままの姿や日本人のものの考え方をサイトで紹介する。
2	「心連心」ウェブサイト構築	06.06.01～ 07.03.31	日中交流センターオリジナルウェブサイト制作
3	J-Pop'sラジオ番組制作・放送	07.03.20～ 08.03.31	中国国内で日本のポップスを中心とする音楽情報、および音楽にまつわる流行情報等を紹介するラジオ番組を制作・放送する。ノウリッジ・メディア産業との共同事業として実施。

調査研究および情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 定期刊行物
- (2) 年次報告
- (3) インターネットによる情報発信
- (4) JFサポーターズクラブ

3. 調査研究費

- (1) 情報センター（JFIC）事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞・奨励賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

情報センター事業費

1. 催し等事業費	(1)国内連携促進
-----------	-----------

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的とした情報収集、フェスティバルへの協力、セミナー開催を行う。

合計額 8,289,189円

	事業名	期間	事業内容
1	地域との連絡調整	06.04.01～ 07.03.31	国内ネットワークの拡大と国内における認知度の向上を目的として、地方拠点3ヵ所を選定し、JF国内ネットワーク職員を任命し、地方のニーズを把握するとともに、企画開発型事業の企画や地方レベルの事業展開を推進する
2	国際交流フェスティバル	06.04.01～ 07.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルにて、ブース出展、セミナー実施。仙台、金沢、東京、横浜、埼玉、名古屋、大阪、福岡他。
3	ジュード・ケリー トーク・セッション	07.03.05	サウス・バンク・センターの芸術監督であり、現代英国において最も注目されている有識者の一人であるJude Kelly氏による都市での文化振興に関する講演会。(共催：ブリティッシュカウンシル)

2. 文化資料事業費	(1)定期刊行物
------------	----------

国際文化交流に関する専門誌『をちこち(遠近)』(和文)を、隔月にて発行する。

合計額 43,699,370円

	事業名	制作・発行日	部数	期間	事業内容
1	遠近10号	06.04.01	6000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』10号(2006年4月1日発行)発行に係る経費
2	遠近11号	06.06.01	6000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』11号(2006年6月1日発行)発行に係る経費
3	遠近12号	06.08.01	8000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』12号(2006年8月1日発行)発行に係る経費
4	遠近13号	06.10.01	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』13号(2006年10月1日発行)発行に係る経費
5	遠近14号	06.12.01	6000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』14号(2006年12月1日発行)発行に係る経費
6	遠近15号	07.02.01	6500	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』15号(2007年2月1日発行)発行に係る経費
7	遠近16号	07.04.01	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『遠近』16号(2007年4月1日発行)発行に係る経費

	事業名	制作・発行日	部数	期間	事業内容
8	をちこち17号	07.06.01	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金定期刊行物『をちこち』17号(2007年6月1日発行)発行に係る経費

2. 文化資料事業費 (2) 年次報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 21,857,139円

	事業名	部数	期間	事業内容
1	和文年報 2005年度	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金の2005年度事業に関する和文年報の作成
2	英文年報 2005年度	7000	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金の2005年度事業に関する英文年報の作成
3	2005年度事業実績		06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金2005年度事業に関する事業実績の作成、公開
4	30周年記念誌	1000	06.04.01～ 06.05.31	「国際交流基金30年の歩み」の出版

2. 文化資料事業費 (3) インターネットによる情報発信

ウェブサイト、eメールマガジンを通じて、プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行なう。

合計額 7,652,032円

	事業名	期間	事業内容
1	ウェブサイト	06.04.01～ 07.03.31	ジャパンファウンデーションの事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供。URL: http://www.jpff.go.jp
2	メールマガジン	06.04.01～ 07.03.31	ジャパンファウンデーションの事業に関する情報をメールマガジン(和・英)で配信。
3	動画配信	06.10.01～ 07.03.31	ジャパンファウンデーションのウェブサイト上で文化芸術の活動、知的交流のセミナー、シンポジウム等の映像ファイルを公開。

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 (4) JF サポーターズクラブ

年間一定額の寄附金を年会費として支払った個人に対し、基金に関する情報を提供。

合計額 21,894,014円

	事業名	期間	事業内容
1	サポーターズクラブ会員専用ウェブサイトの運営、イベントの実施	06.04.01～ 07.03.31	サポーターズクラブ会員専用ウェブサイトで情報提供を行い、又、会員向けイベントの実施

3. 調査研究費 (1)情報センター (JFIC) 事業

国際交流に関する情報、日本に関する情報を提供するため情報センターライブラリーを含む、一般の人々に開かれた情報センターを運営する。

合計額 57,608,067円

	事業名	事業内容
1	JFICライブラリー運営	図書450冊、雑誌90誌、視聴覚資料70点、マイクロ資料120点を備えるライブラリーの運営
2	JFICイベント	JFICオープニング記念イベント。2006年4月22日、映画『パッチギ』のプロデューサー・シネカノン代表李鳳宇（イ・ボンウ）講演会。2006年4月28日、駐日大使対談「私と日本語との出会い」。他国際文化交流に関するイベントを開催

3. 調査研究費 (2)国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞)

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体などに対しその功績を顕彰する。

合計額 29,488,434円

	種別	受賞者(現職)・授賞団体	国	事業内容
1	国際交流基金賞	ジョー&悦子・プライス(財団 心遠館代表)	米国	永年にわたる江戸期日本美術の収集とその研究及び研究者への支援を通じて日本と諸外国との文化交流のための多大な貢献と功績に対し、国際交流基金賞を授与。
2	国際交流奨励賞・文化芸術交流賞	山形国際ドキュメンタリー映画国際実行委員会	日本	優れたドキュメンタリー映画の紹介と世界の映像作家の交流に力を尽くし映像を通じた国際理解の促進に貢献。その功績と今後の更なる貢献に期待し、国際交流奨励賞・文化芸術交流賞を授与。
3	国際交流奨励賞・日本語教育賞	サンクトペテルスブルク国立大学アジア・アフリカ学部	ロシア	ロシアにおいて最も伝統ある日本語教育機関として優秀な人材を輩出した功績と、日本語教育300年を迎えた機会に授与。
4	国際交流奨励賞・日本研究賞	金 容徳(ソウル大学校国際大学院院長)	韓国	日本研究者として優れた学術的業績をあげるとともに、日韓の相互理解の促進に多大な貢献があった。その功績に対し、国際交流奨励賞・日本研究賞を授与。

3. 調査研究費 (3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)

国内各地で行なわれている地域に根ざした国際交流活動を促進するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 12,885,090円

	受賞者(団体)名・事業名	場所	事業内容
1	特定非営利活動法人ジュニア・グローバル・トレーニング・スクール実行委員会	青森県青森市	毎年8月、日本、米国、韓国、ロシアの小学生100人が集まり、青森市内の小学校を宿舎に2泊3日で、国境を超えた友情をはぐくむ共同生活やねぶた祭りを体験する活動。国際交流体験を通じて地球市民ジュニアの育成を目的としている活動に対し、「地球市民賞」を授与。
2	特定非営利活動法人多文化共生センター東京	東京都荒川区	学校に行きたくても行けない外国籍のこどもたちのたぶんかフリースクール、高校進学を希望する親子のための進路・教育相談、多文化子育てネットワークなど、多文化の背景を持つこどもたちの教育と家族の問題に特化した活動を行なっている同団体に対し、「地球市民賞」を授与。
3	特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク	京都府京都市	一般市民にとってなじみにくい身体表現活動であったコンテンポラリーダンスを日本各地に広め、各地に潜在するダンサーを発掘し、日本各地および世界の舞台上で踊る機会を提供。京都を拠点とし、日本と海外のダンサーたちによる共同創作のコーディネーション、あるいは日本の振付家／ダンサーや劇場・評論家などコンテンポラリーダンスに関わる人々の連絡先や活動についての情報発信を活発に行なうなど、日本と世界をつなぐネットワークとなっている同団体に対し、「地球市民賞」を授与。

調査研究および情報提供事業等に必要経費

企画・評価費

1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価 (企)

1. 調査研究費 (1)調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 7,422,718円

	事業名	期間	事業内容
1	国際文化交流政策論研究	06.04.01～ 07.03.31	「文化の固有性」という概念に関連し、「武道の国際化」をテーマに調査・研究を行い、中間報告書を取りまとめた。
2	情報収集プロジェクト	06.04.01～ 07.03.31	英国、ドイツ、フランスの国際文化交流政策に関し、定期的な情報収集を行った。
3	「新たな文化外交」研究事業	06.10.01～ 07.03.31	「人間の安全保障と文化外交」に関する調査・研究を実施した。

1. 調査研究費 (2)事業評価 (企)

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、この成果を広く内外に公開する。

合計額 7,139,369円

	事業名	期間	事業内容
1	国別評価手法開発	06.04.01～ 07.03.31	国際文化交流事業を国別観点から評価する手法の研究を行った。平成18年度は韓国における第1次調査の分析を行い中間報告書を作成するとともに、ドイツにおける第2次調査に着手した。

調査研究および情報提供事業等に必要経費

文化事情調査費

1. 調査研究費
 - (1) 文化事情調査

1. 調査研究費 (1)文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、国別に文化事情を調査し、日本との文化交流において国際交流基金が果たすべき役割などにつき、方針を策定する。

合計額 10,765,755円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日印交流タスクフォース	インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ ブータン モルディブ	06.01.16～ 07.01.31	対インドおよび南アジア事業の中期的指針を総合的かつ効率的に策定するため、日印交流タスクフォースを設置。
2	海外アドバイザー	イラン 南アフリカ トルコ, 韓国	06.04.01～ 07.03.31	現代文化関係者を海外アドバイザーに任命し、現代文化動向の把握に活用する。
3	日韓交流企画推進室	韓国	05.05.24～ 07.03.31	日韓文化交流を促進するため、財界、言論界、学術分化学界など各方面の有識者から構成される「日韓文化交流懇談会」を設置し、国際交流基金の「日韓文化交流5ヵ年計画」をはじめとする対韓国事業について助言・提言を行うとともに、今後の日韓交流のあり方全般について討議する。
4	各国文化交流基礎情報調査	タイ フィリピン カナダ 米国 メキシコ ブラジル イタリア ドイツ フランス ハンガリー	05.04.01～ 07.03.31	各国との文化交流の基礎となる情報を収集の上、ホームページに公開する。
5	国別懇談会	インドネシア 英国	05.04.01～ 07.03.31	海外事務所所在国の英国とインドネシアについて、有識者から成る国別懇談会を設け、基金事業及び事務所活動に関し、その業績を評価し業務の改善のための提言や、日本との文化交流状況と課題、基金事業の方針等に関し、報告や提言を得る。
6	タイ文化事情調査	タイ	06.04.01～ 07.03.31	日タイ修好120周年(2007)に向けて、タイに事前調査ミッションを派遣し、周年に実施すべき文化事業の内容ならびにその後をも見据えた対タイ文化事業の方向性等を検討すべく現地調査を実施。

文化事情調査費

	事業名	対象国	期間	事業内容
7	日本・東南アジア交流タスクフォース	インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス 東ティモール	06.12.01～ 07.03.31	国際交流基金の対東南アジア交流事業の中期方針(5か年計画)を作成する。

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. シドニー日本文化センター
10. トロント日本文化センター
11. サンパウロ日本文化センター
12. マニラ事務所
13. ニューデリー事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブダペスト事務所
19. カイロ事務所

京都支部

合計額 12,366,078円

(1) 主催・共催事業

	事業名	期間	事業内容
	【展示】		
1	大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念事業	07.01.01～ 07.03.31	大阪市とサンフランシスコ市が2007年に姉妹都市提携50周年を迎えるのを記念して各種事業が実施されるが、その”キック・オフ（オープニング）”事業のうち第1部「記念トーク」を共催で実施
	【公演】		
2	国際交流の夕べー能と狂言の会	06.10.12～ 06.10.12	関西在住の総領事館員をはじめ、外国人研究者・文化人、留学生や日本人で関心のある方及び関西センターの研修生等を対象に、日本の伝統文化への理解を深め、交流することを目的に実施。一般向け有料チケット販売有り。※京都文化祭典2006 KYOTO ART FESTIVAL 協賛事業
	【講演・シンポジウム】		
3	第1回フェローセミナー	06.05.26	2005年度フェローで、国際日本文化研究センターで研究中のマウリシオ・マルティネス氏（コロンビア／ロスアンデス大学及びエクステルナド大学）が、「日本の舞台芸術とは何か？ラテン・アメリカの研究者による『スペイン語版インターネット日本芸能百科事典』の制作過程」をテーマにセミナーを実施
4	第2回フェローセミナー	06.06.20	2005年度フェローで、財団法人国際高等研究所で研究中の藤村靖氏（米国・日本／オハイオ州立大学名誉教授）による「シラブルによる日本語の音形論と音声学」についてセミナーを実施
5	第3回フェローセミナー	06.06.30	2005年度フェローで、神戸学院大学人間文化研究科で研究中のシンシア・ネリ・ザヤス氏（フィリピン／フィリピン大学国際地域研究センター センター長）が、「淡路島における災害と記憶の文化ー地名、荒神信仰、地域史をとおした地域復興」をテーマにセミナーを実施
6	第4回フェローセミナー	06.07.07	2005年度フェローで大阪国際大学で研究中のオユンゴア氏（中国／中国社会科学院歴史研究所中外交流史研究室研究員）が、「朝鮮司訳院の日本語教学について」をテーマにセミナーを実施
7	第5回フェローセミナー	06.07.21	2005年度フェローで、龍谷大学経済学部で研究中のラクスリー・フェルナンド氏（スリランカ／コロombo大学教養学部教授）が、「紛争解決への日本の役割：スリランカの事例」をテーマにセミナーを実施

	事業名	期間	事業内容
8	第6回フェローセミナー	06.09.19	2005年度フェローの李 明剛氏（中国／オハイオ州立大学（米国）東アジア語学文学学科博士課程）が、「値段と品質－初期の『文藝春秋』における生産者と読者のやり取り」をテーマにセミナーを実施。※京都文化祭典2006 KYOTO ART FESTIVAL 協賛事業
9	第7回フェローセミナー	06.10.13	2005年度フェローのアハマド・モスタファ氏（エジプト／カイロ大学日本語日本文学科助教授・日本文学が専門）が、「戦後日本文学における『戦後』は果たして終わったのか－敗戦の後遺症」をテーマにセミナーを実施。※京都文化祭典2006 KYOTO ART FESTIVAL 協賛事業
10	第8回フェローセミナー	06.11.28	2005年度フェローの岡野かおり氏（オーストラリア／ラトロップ大学社会科学科準教授・教育社会学が専門）が、「グローバル化と教育：マルチカルチュアリズムに焦点をあてて」をテーマにセミナーを実施
11	第9回フェローセミナー	06.12.14	2006年度フェローのジョン・ネルソン氏（米国／サンフランシスコ大学宗教神学部准教授）が、「靖国神社を理解する：英霊と日本神道の関わり－その過去、現在、未来－フィルム上映と講演」をテーマにセミナーを実施
12	第10回フェローセミナー	07.01.10	2006年度フェロー ガルシア・ドス・サントス 優美氏（ブラジル・日本／サンパウロ大学博士課程）が「日本とブラジルのシングルマザー－自立と支援のはざままで－」と題したセミナーを実施
13	第11回フェローセミナー	07.02.27	2006年度フェロー 陳 嘉適氏（中国／中山大学（中国広州）博士課程）による「醤油から見る中国と日本の食文化」をテーマとしたセミナーを実施
14	第12回フェローセミナー	07.02.27	2005年度フェロー、パドミニ・バララム氏（インド／D.J. アカデミー・オブ・デザイン（インバートル／インド）教授）による「インドから日本に至る織物のルート、日本のデザインと技術に及ぼすその影響」をテーマとしたセミナー
15	第13回フェローセミナー	07.03.15	2006年度フェロー コスベランサ・カロ氏（コロンビア／コロンビア国立大学助教授）が「コロンビア・ガビオタス自休自足実験集落のサステイナブル建築システム」と題したセミナーを実施
	【映画】		
16	日本映画上映事業	06.11.10～ 07.03.09	英語字幕付き日本劇映画を、11/10『羅生門』、12/8『岸和田少年愚連隊』、1/12『夫婦善哉』、2/9『近松物語』、3/9『月はどっちに出ている』、の計5回上映。また上映作品に関連したレクチャーを、11/10富田美香氏（立命館大学文学部助教授）、3/9景山理氏（シネ・ヌーヴォ、シネ・ピピア支配人）の2回開催

京都支部

	事業名	期間	事業内容
	【図書館運営】		
17	国際交流情報コーナー（図書室を含む）	06.04.01～ 07.03.31	外国語による日本研究書ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,700、購読雑誌48、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115、日本文化紹介ビデオ110。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など
	【その他】		
18	日仏食文化ワークショップ	06.11.05	2006年10月29日から11月4日まで、京都の老舗料亭及び大阪の辻調グループ校において、仏人シェフを招いて日本料理の研修を実施。研修期間最終日の11月5日に、習得した成果を踏まえ、日仏の料理人、ジャーナリスト、研究者が互いの料理技術や食文化を発表し、一般参加者とともにディスカッションを行うワークショップを開催。日仏の食文化を多角的に比較することにより、日本の食文化を再確認し、食を通じた文化交流を深める。京都支部は最終日のワークショップを共催にて開催
19	関西地域公的国際文化交流機関調査	06.08.21～ 07.03.31	小さい政府、地方分権が叫ばれる中、地方では使用可能な予算の減少や格差が生じている。そうした環境下、関西地域の公的国際文化交流機関において、予算、活動（重点のシフト、効果的運営など）面での大きな流れについて、関西地域二府五県（京都、大阪、奈良、滋賀、兵庫、和歌山、三重）における、府・県・市および第三セクターの公的交流機関について実情を調査し、現状の主要な傾向及び将来の展望を鳥瞰、報告書を作成

(2) 助成・協力事業

	事業名	協力対象団体	期間	事業内容
	【後援事業】			
20	アウトサイダーアートPart①加川真美展 まなざしの奥で…	京都藝術交流協会	06.05.19～ 06.05.28	アウトサイダーアートシリーズ企画の第一弾。《アウトサイダーアート（アールブリュット）とは美術教育における常識や一般論といった既成の制約を受けていない人々の生の芸術をさす。》創造することの喜びと彼女の作品に対するまなざしから、我々の抱く「芸術とは何であったか？」を再認識するきっかけに繋がる事を意図した内容
21	遠藤剛熙展－東西の 超克－PART2	京都藝術交流協会	06.06.01～ 06.06.18	「謙虚・簡素な生活が、精神・身体いずれにおいても最上」と説く遠藤剛熙氏。ルーブル美術館で開催された「サロン2002・ナショナル・デ・ボザール」展の日本人唯一の招待作家である反面、画壇や団体に属さず、殆ど作品を発表せず50年以上の長きにわたって独自の画境を拓いてきた氏の画業は、国内では全くと言えるほど知られてはいない。氏の理想の高きを目の当たりにし、生命の尊厳と自然への賛美を感じる展覧会となることを意図している

	事業名	協力対象団体	期間	事業内容
22	2006年度エッセーコンテスト《私の見た日本》	財団法人京都国際文化協会	06.09.24	海外から日本を訪れた人々を対象に、エッセーコンテストを1978年から毎年開催。応募作品を日本語の部、英語の部に分けて選考し、総計6編の優秀なエッセーの作者を京都で行う発表会に招待。応募者にはコンテスト参加をきっかけに、母国やその文化と対比して日本文化についての独自の視点をエッセーにまとめる良い機会になり、また、優秀作品をニューズレター等で公開する事により、現在の日本がどう見られているのかを多くの日本人、外国人に知ってもらう事を目的に開催
23	Bae Sangsun Exhibition - Joinable -	京都藝術交流協会	06.07.07～ 06.07.30	ドイツで行われた『Pleinair』の制作を終え、ニューヨークに制作の拠点を移したベ・サンスンの、第二の故郷とも言える日本での二年ぶりの活動報告展。一枚絵の作品を複数並べ、影響を持たせあう作風は屏風のようにあり、東洋的空間の流れを表現する。様々な国を見てきたサンスンの「黒と白」の世界がどのように繋がりあうのかを見る内容の展覧会
24	第6回 ヤンガーアーティスト展 - 在関西芸術系大学学生連合展 -	京都藝術交流協会	06.08.08～ 06.08.20	関西にある芸術系および芸術コースに在籍する、芸術創作活動を自己の生きる志にしようとする学生たちへの呼びかけに賛同し、自主的に企画実行する17名の学生作家グループ（ヤンガーアーティスト）の連合展。参加大学は、京都造形大学・京都精華大学・京都嵯峨芸術大学・大阪成蹊大学の4大学
25	見る・聞く・触れる「小さな人のための大きな文化」	カスチャールの会	06.07.02	カスチャールの会は、ロシア児童文学・文化研究活動を機関紙「カスチャール」の発行等により紹介してきた。15周年事業として、地域に根ざした活動を、という目的から、①ロシア絵本絵画展、②ロシア楽器（マトリョーミン）の紹介とミニ演奏、③ロシアぬりえのワークショップ、④人形劇「ハリネズミと雪の花」（S・コズロフ原作）公演を企画、実施
26	京都市国際交流会館2006年度「外国人のための日本語弁論大会」	京都市	06.11.23	世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年行っている事業で、今年が20回目。「日本での経験を生かすために」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催。入場無料
27	財団法人京都府国際センター10周年記念イベント「国際フェスティバル」～世界から京都へこんにちは～	(財) 京都府国際センター	06.10.14	財団法人京都府国際センター10周年記念イベントとして、留学生や国際交流団体によるステージコンサート・ダンス・歌などを実施。また、留学生等と府民との交流コーナー（留学生等による自国の遊びや風土の紹介）も設置
28	財団法人京都府国際センター10周年記念講演会「国際文化フォーラム」	(財) 京都府国際センター	06.10.21	財団法人京都府国際センター10周年記念として①作家・外交ジャーナリストの手嶋龍一氏による「世界の中の日本 アジアのなかの日本」をテーマに講演会、②マトリョーシカ型テルミンコンサート、③手嶋龍一氏と須藤真志氏（京都産業大学教授）の対談を実施

京都支部

	事業名	協力対象団体	期間	事業内容
29	国際交流企画 Meet in Kyoto	(財) 大学コンソーシアム京都	06.10.27	京都で研究活動をしている留学生、研究者の相互交流および京都の大学関係者、国際交流団体との交流をはかることにより、相互のネットワークづくりを行う。京都からのメッセージを種智院大学学長の頼富本宏氏が行い、その後文化紹介（茶道、書道、雅楽、空手等）実施
30	山崎良 & Alessandro Mavilio 二人展	京都藝術交流協会	06.10.17～ 06.10.31	京都で活躍する現代造形作家・山崎良と、京都在住イタリア人映像作家・Alessandro Mavilio両氏による立体作品と映像作品を使ったコラボレーション展。「陰と陽」の東洋的テーマに日・伊両国の現代作家がそれぞれの視点から作品を通して迫る試み展を意図
31	第5回京都国際木版画協会展 (KIWA展)	京都国際木版画協会	07.03.27～ 07.04.01	世界各地で制作されている現代木版画を日本の人々に紹介し、木版画芸術の特異性・芸術性をアピールすることを目的に、プロ・アマチュアを問わず、木版画を制作している作家に、芸術の中心地京都にて作品を展示する機会を提供、その芸術活動を支援。木版画芸術の見直しと発展にかかわる情報を京都より発信
32	きょうと北部21世紀 セミナー（国際情報 講演会）	(財) 京都府国際センター	07.03.04	昨今の国際情報をわかりやすく解説することを目的として「最新の朝鮮半島情勢を語る」をテーマに元大韓民国大使 寺田輝介氏の講演会等を実施

ローマ日本文化会館

合計額 135,614,362円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	日伊建築ワーク ショップ展		ローマ日本文化 会館	06.03.30～ 06.04.10	現代の建築において、グローバル化とそれぞれの土地の歴史や文化とのせめぎあいにもどように接点を見出すかをテーマにした展覧会。前年度開始事業。
2	楮の恵み展	ファブリアーノ 市「紙とフィリ グラーナの博物 館」	ファブリアーノ 紙とすかしの博 物館 ブスト市博物館 ローマ日本文化 会館	06.04.20～ 06.06.17	和紙を作るために使われている桑科の植物、楮（こうぞ）から作られた楮紙で作成された作品を展示。出品作家は、イサム・ノグチ氏（1904-1988）、秋山信茂氏、松山修平氏、アンナ・オネスティ氏、キュレーターはステファニア・セベリ氏。4月20日のオープニング・アーティストトークを実施。
3	棟方志功展	大原美術館、 ANA、本部造 形美術課	ローマ日本文化 会館	06.11.03～ 07.01.27	棟方志功（1903-1975）がヴェネチアビエンナーレ版画部門で国際大賞を受賞した1956年から半世紀を記念して企画された展覧会。作品は、棟方志功と深いつながりがある大原美術館の所蔵作品46点と会館の所蔵作品2点からなる。展覧会のオープニングを記念して、大原美術館館長であり美術史家・美術評論家の高階秀爾氏が、戦後芸術を代表する棟方志功とその作品に関する講演会を行った。
4	日伊はじめての 出会い展		ローマ日本文化 会館	07.02.16～ 07.04.20	イエズス会宣教師A・ヴァリニャーノや天正・慶長の遣欧使節団等を通じた日伊の交流を紹介する展覧会。イタリア各地の美術館が所蔵する絵画や漆器・漆家具、古文書を展示した
5	日本食の美展		ローマ日本文化 会館		前年度事業日本食の美展に関する記録整理などを行なった
	【公演】				
6	ジャズコンサー ト公演		ローマ日本文化 会館	06.05.26～ 06.05.26	日本を代表するジャズミュージシャン渡辺香津美氏のギターコンサート
7	くものすカル テット公演	トリノ映画博物 館	トリノ映画博物 館 ローマ日本文化 会館	06.06.15～ 06.06.19	坪川拓史監督作品「美式天然」（2005年トリノ国際映画祭グランプリ）、短編映画「十二月の三輪車」演奏・弁士付上映と同監督が所属する「くものすカルテット」によるコンサート
8	小馬崎達也ギ ター公演		ローマ日本文化 会館	06.10.12～ 06.10.12	ギタリスト小馬崎達也氏によるコンサート あわせて十世によるダンス「風舞」、アレクサンドロ・メンガリによる朗読を行った

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
9	素浄瑠璃公演	シンバレイン協会、ヴェネチア大学、キャリアリ大学	アルフィエリ劇場 ヴェネツィア大学 ボローニャ大学 ローマ日本文化会館	06.10.16～ 06.10.22	「義大夫節を世界に広める会」による素浄瑠璃公演。演目は「一谷嫩軍記」 文楽についてのレクチャーもあわせて行った
10	沈黙の際で公演	FONTANA MIX	ローマ日本文化会館	06.11.13～ 06.11.13	日本を代表する現代作曲家細川俊夫氏によるダンスパフォーマンスを開催。振付はルーカ・ヴェジェッティ、ダンスはファビオ・グロッシ（ローマ歌劇場バレエ団）、演奏は佐藤直美（笙）他。
11	AWAY a LONE公演		ローマ日本文化会館	06.11.23～ 06.11.23	山本 純子（ピアノ）、千々岩 英一（ヴァイオリン）らによる細川 俊夫とセザール・フランクの作品を中心としたコンサート・レクチャーを開催
12	若手音楽家コンサート公演		ローマ日本文化会館	06.12.14～ 06.12.14	イタリアにおいて研鑽を積んでいる日本人若手音楽家を紹介するクラシックコンサートシリーズの1回目。出演は、藤谷 奈緒美（ピアノ）、今井 愛乃（ソプラノ）、吉田 千絵（ビオラ）
13	注文の多い料理店公演	The Playground	ローマ日本文化会館	07.02.01～ 07.02.02	宮澤賢治原作「注文の多い料理店」を演劇化した、「The Restaurant of Many Orders」を上演。演出は、サム・トリュブリッジ。
14	若手音楽家コンサート公演（2）		ローマ日本文化会館	07.03.22～ 07.03.22	イタリアにおいて研鑽を積んでいる日本人若手音楽家を紹介するコンサートシリーズの第2回目 出演は、園田隆一郎（ローマ歌劇場副指揮者・ピアノ）、山口佳子（ソプラノ）、小野和歌子（メゾソプラノ）
	【講演・シンポジウム】				
15	多木浩二講演会		ローマ日本文化会館	06.05.04～ 06.05.04	多木 浩二（千葉大学名誉教授・評論家）による講演会を開催 イタリアで翻訳された著書「天皇の肖像」をもとに、日本の近代国家建設の一側面を分析 コメンテータとして、S. キオディ（評論家）が参加
16	神田山陽講談		ローマ日本文化会館	06.05.11～ 06.05.12	神田 山陽（講談師・文化庁文化交流使）による講談の公演とローマ大学講談研究会の発表会を開催
17	香道デモンストレーション		ローマ日本文化会館	06.05.18～ 06.05.18	茶道や華道とならぶ三道の一つである香道について、三條西 公彦（宗家）による講演とデモンストレーションを行なった

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
18	茶道シンポジウム	チェントロ裏千家（裏千家淡交会ローマ協会）	ローマ日本文化会館	06.05.24～ 06.05.24	ヨーロッパにおける茶の湯の受容に関するシンポジウムを開催 出席はP・ド・ベテュヌ（淡交会ベルギー協会）U・ハース禅士（裏千家フライブルク連絡所）、モデレーターは野尻 命子（チェントロ裏千家）
19	日本の武道講演会		ローマ日本文化会館	06.06.14～ 06.06.14	笹森建美（小野派一刀流第17代宗家）が、古武道の理念と技術について、古典文学との関係や、キリスト教信仰と武士道精神の比較など、様々な角度から、講演を行なった あわせて近藤茂と関口 治によるデモンストレーションも行った
20	高野喜久雄の夕べ講演会		ローマ日本文化会館	06.06.20～ 06.06.20	詩人・高野喜久雄の作品と生涯についてレナート・ミノーレ（文芸批評家）と松本康子（翻訳家・声楽家）の解説、ピアノ演奏にあわせた作品の朗読などを行なった。
21	日本現代詩講演会		ローマ日本文化会館	06.06.27～ 07.06.27	松本康子（翻訳家・声楽家）による、イタリアにおける日本の現代詩の紹介の歴史やその受容に関する講演を行なった
22	ミラノ国立大学現代アジアセミナー	ミラノ国立大学現代アジア研究センター	ミラノ国立大学	06.10.24～ 07.04.03	日本を中心とした現代アジアに関する公開連続セミナーをミラノ国立大学で開催
23	ヴァリニャーノシンポジウム	カリキエティ財団	マッルチーノ劇場	06.10.26～ 06.10.27	天正少年使節の派遣を行ったヴァリニャーノ神父の没後400年を記念した国際シンポジウムに日本より4名の研究者を招聘
24	日本茶レクチャーデモンストレーション		ローマ日本文化会館	07.02.08～ 07.02.08	渡辺 孝史（一保堂茶舗）を迎えて日本人が日常的にたしなむ日本茶に関するレクチャーとデモンストレーションを実施
	【映画】				
25	映画の中の子供たち映画特集		ローマ日本文化会館	06.09.14～ 06.12.05	1930年代から今日までの日本の子供達を描く日本映画7本を上映した。上映作品は『四万十川』（恩地日出夫監督）、『微笑みを抱きしめて』（瀬藤祝監督）、『どこまでもいこう』（塩田明彦監督）等。
26	新作伊語字幕映画特集		ローマ日本文化会館	07.02.06～ 07.02.28	ローマフィルムライブラリーで新たに所蔵することとなった『スウィング・ガールズ』（矢口史靖監督）、『父と暮らせば』（黒木 和雄監督）、『風音』（東 陽一監督）を上映
27	清水宏監督特集			07.02.07～ 06.04.18	2005年度事業継続。清水宏監督の没後40周年に際し回顧映画上映会を実施した。4月に『歌女おぼえ書』『有りがたうさん』『港の日本娘』を上映。サイレント映画『港の日本娘』の上映では、ロッカ・デ・ローサ氏がピアノ伴奏を行った。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【日本語教育】				
28	ロンバルディア州高等学校日本語教育セミナー	ロンバルディア州学校教育局 ロンバルディア州教育庁	ロンバルディア州教育庁	06.06.14～ 07.02.07	ロンバルディア州で実施されている高校での日本語教育を支援するため、教師向けセミナーを実施した。
29	欧州日本語教師研修	パリ日本文化会館、欧州アルザス日本学研究所	アルザス日本学研究所	06.07.10～ 06.07.14	フランスのアルザス日本学研究所において行われる欧州の日本語教師に対する研修会に、4名の日本語教師を派遣した
30	ギリシャ巡回指導	ギリシャ・アテネ日本語教師会	在ギリシャ大使館	07.02.10～ 07.02.11	ギリシャ・アテネ日本語教師会主催の教師セミナーに講師として、日本語教育派遣専門家を派遣した。
	【図書館運営】				
31	図書館運営		ローマ日本文化会館	06.04.01～ 07.03.31	図書館における閲覧、貸出、各種照会対応サービスを行った。
	【出版・広報】				
32	ホームページ運営管理		ローマ日本文化会館	06.04.01～ 07.03.31	会館案内ホームページをリニューアルするとともに、その運営管理を行った
33	月例事業案内		ローマ日本文化会館	06.04.01～ 07.03.31	会館事業を紹介するプログラム（事業案内）を年4回各回3000部発行した。
34	年報		ローマ日本文化会館	06.11.15～ 06.11.30	2004年度の会館事業を総括する年報の送付作業を行った。
	【教室事業】				
35	日本語普及講座運営		ローマ日本文化会館	06.04.01～ 07.03.31	2006年6月まで前年度開講の4年制コースと1年制会話コースを開講し、10月からは4年制コース、会話コースを改編した入門48時間コース、入門24時間コースを開講した。また、中上級者向け4クラスを開講した
	【その他】				
36	ローマの白夜		ローマ日本文化会館	06.09.09～ 06.09.09	ローマ市主催イベント「ローマの白夜」にあわせ、日本庭園の公開、「歌舞伎絵展」、無声映画『雄呂血』の弁士付上映（弁士・神田 山陽氏及びアンドレア・ブルニェラ氏）を実施。
	【本部事業受入】				
37	マリオ・ヴェルドーネ選日本名作映画特集	シエナ外国人大学	ローマ日本文化会館	06.05.02～ 06.06.13	マリオ・ヴェルドーネ氏（ローマ大学名誉教授、映画評論家）が推薦する日本映画7作品を上映。上映会初日には、ヴェルドーネ氏を迎え、上映作品の解説等についての講演会を実施した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
38	歌舞伎絵・座敷舞公演	国立劇場	ローマ日本文化会館	06.09.09～ 06.10.18	吉村 文氏による座敷舞公演を行うとともに、国立劇場所蔵の歌舞伎絵作品約40点の展覧会を開催 北斎漫画などの文献資料、舞台使用の楽器類、衣装、かつら、小道具なども展示
39	コンドルズダンス公演		ローマ市立オーデトリウム	07.01.23～ 07.01.23	コンテンポラリーダンスカンパニー「コンドルズ」によるダンス公演を実施
40	石井聰互監督特集		ローマ日本文化会館	07.03.20～ 07.04.26	石井 聰互監督作品の特集上映会を実施し、計14本を上映 会期中には、同監督を招き、マリア・ロベルタ・ノヴィエリ（ベネチア大学助教授）によるトークを行なった

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
41	現地文化事業協力	シンバレイン協会他	06.04.01～ 07.03.31	各種日本文化紹介行事4件に対し助成を行った
	【会場提供】			
42	イタリア日本語教育協会研修会	イタリア日本語教育協会	07.03.23～ 07.03.24	イタリア日本語教育協会が研修会を開催するにあたり、会場提供などの協力を行った
43	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会 イタリア俳句友の会 /裏千家ローマ出張所	06.06.07～ 07.06.07	イタリア俳句友の会及び裏千家ローマ出張所による第20回俳句賞授賞式に協力を行った
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
44	文化備品・視聴覚資料貸出		06.04.01～ 07.03.31	イタリア国内で行われる日本文化紹介事業12件に対して、展覧会セット、映画など文化備品の貸し出しを行った。
	【その他】			
45	イタリア日本研究会総会講演会	イタリア日本研究会	06.09.21～ 06.09.23	イタリア日本研究会第30回総会にあわせ、基調講演者として、藤谷 道夫（帝京大学助教授）を招聘した

ケルン日本文化会館

合計額 149,101,049円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	大和の仏像写真展	ローマ日本文化会館	ケルン日本文化会館	06.03.10～ 06.05.19	7世紀から13世紀までの大和を代表する、国宝・重文級の仏像の写真パネル展。撮影は奈良県出身の写真家で古代史家の小川光三によるもの。ローマ日本文化会館所蔵の巡回展。ケルン日本文化会館にて展示の後、ミュンヘン、ブルクリーデン＝ロート、デュッセルドルフにて開催。
2	対話展 佐藤恵子・Marco Bohr		ケルン日本文化会館	06.06.02～ 06.07.28	オランダ在住の芸術家・佐藤恵子の大規模なインスタレーションと、日本やカナダでも活躍中の若手写真家・Marco Bohrによる、「風景」を共通テーマにしたアート・コラボレーション。
3	日独コミックアート展「クーゲルブリッツ」	ゲーテ・インスティテュート	ケルン日本文化会館	06.09.08～ 06.10.27	「日本におけるドイツ年」の一環として東京で展示された後、ベルリン（2カ所）、エアランゲン、シュトゥットガルトおよび当館で紹介された日独コミックアート展。日独のマンガ、コミック、イラストレーションの分野で活躍するアーティスト集団MOGA MOBO（ベルリン）とノウノウハウ（東京）の、計9名の芸術家によるコラボレーション・プロジェクト。期間中は学校訪問やケルン独日協会会員向けの特別ガイダンスを数回行った。
4	対話展 塚本哲也・Gotz Diergarten		ケルン日本文化会館	06.11.03～ 07.01.19	日独作家の芸術交流プロジェクト「対話展」として、共に若手の写真家・塚本徹也とGotz Diergartenの二人が出展。
5	ケルン美術館の長い夜	Koelner StadtRevue	ケルン日本文化会館	06.11.04～ 06.11.05	「ケルン市美術館の長い夜」は、ケルン市および情報誌 Koelner StadtRevue の主催で開催され、約40の施設が参加するイベント。ケルン日本文化会館は6回目の参加。「塚本哲也／Gotz Diergarten対話展」をメインに、当日の企画として、ベルリンのアーティスト・グループ GUP-py（畑洋子主宰）によるビデオアートの上映、およびビデオ作品にちなんだハチミツ製品等の実費販売を行った。また、図書館を19時から24時まで臨時開館した。
6	新世代アーティスト展		ケルン日本文化会館	07.03.09～ 07.05.18	1990年代中盤以降、大きな注目を集めている11人の日本人若手作家の現代美術展。視覚的インパクトに富み、物づくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、絵画、彫刻、写真、ビデオなどにより構成されている。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
7	薩摩琵琶+フルート公演		ケルン日本文化会館	06.04.07～ 06.04.07	ヨーロッパを中心に活躍している薩摩琵琶奏者上田潤子とオランダ人フルート奏者のヴィル・オファーマンスによる語り物を含めた日本伝統音楽と現代音楽の公演を行った。
8	楽2B/能・和歌・ギターによる創作公演		フランクフルト国際劇場、トリアー独日協会、ケルン日本文化会館、テテロウ/ミツコ城独日文化センター	06.05.09～ 06.05.14	日本文化特有の「間」に着目し、能（観世流）、和歌、ギター等のコラボレーションにより日欧の文化の対話を試みた。ギターの演奏とともに能が舞われ、所々に和歌の詠謡を織り込んだ実験的なパフォーマンス。
9	橋本一子トリオジャズ公演	Jazz am Rhein協会	ケルン日本文化会館	06.05.19～ 06.05.19	コンテンポラリー・ジャズの分野で活躍している橋本一子（ヴォーカル、ピアノ）、井野信義（ベース）、藤本敦夫（ドラム）のトリオに、邦楽からジャズ、ポップスまで幅広く手がける箏奏者の八木美知依が加わった独創的なジャズ公演を実施した。
10	大原神主神楽保存会公演	ドレスデン国際音楽祭、マルクトオーバードルフ国際宗教音楽祭	ドレスデン国際音楽祭、ケルン日本文化会館、マルクトオーバードルフ国際宗教音楽祭	06.05.27～ 06.06.09	島根県に伝わる神楽の中でも最も古いとされている出雲國大原神主神楽の公演を実施した。ケルン日本文化会館での公演を挟みドレスデン音楽祭、マルクトオーバードルフ国際宗教音楽祭に参加。日本の伝統芸能としての神楽を国際的な音楽祭に参加することにより、ドイツを始め多くの欧州市民に紹介した。
11	GOCOO和太鼓公演	ケルン市、SK文化財団	ケルン/「Sommer Koeln」音楽祭	06.06.28～ 06.06.28	1ヵ月にわたるケルン市の音楽祭「Sommer Koeln」に参加。日本から参加の太鼓グループの公演をケルン市などと共催した。
12	クリヤマコトジャズ公演	Jazz am Rhein協会	ケルン日本文化会館	06.07.06～ 06.07.06	ケルン音楽高等学院主催による「Cologne Jazz Night」フェスティバルの一環。国際的に様々な音楽シーンで活躍しているジャズピアニストクリヤ・マコトとドイツの著名な若手ジャズマン（ディートマ・フーア（ベース）、イェンス・デュッペ（ドラム）、ニコラス・シミオン（サクソ））を共演させるというコラボレーション形式によるジャズ公演をJazz am Rhein協会と共催した。
13	津軽三味線コンサート	レーゲンスブルク独日協会	ケルン日本文化会館	06.09.10～ 06.09.10	国際文化施設オープンデーの一環。当館ではドイツを巡回中の津軽三味線+日本歌謡の公演を行った。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
14	素浄瑠璃公演		スイス／ベルン音楽大学、ベルリン／RBB放送局、ミュンヘン／ゲーテ・インスティテュート、ケルン日本文化会館、デュッセルドルフ／恵光ハウス	06.10.03～ 06.10.13	「義太夫節を世界に広める会」の欧州公演の一環。時代物「一谷嫩軍記」をドイツ語字幕付で上演。
15	日中韓古楽器アンサンブル公演	WDR西ドイツ放送協会	ケルン日本文化会館	06.10.06～ 06.10.06	東アジアに伝わる楽器によるアンサンブル。伝統的な楽器を使用して現代の作品を演奏した。
16	篠原眞誕生記念コンサート	WDR西ドイツ放送協会ほか	ケルン日本文化会館	06.12.12～ 06.12.12	現代日本音楽の第一人者である篠原眞の生誕75周年記念を兼ねたコンサート。日欧の演奏家が初期から現代に至る篠原の作品を競演した。また、演奏に先立って、篠原本人によるワークショップが行われた。
17	SUMIMASEN パフォーマンスコンサート	ケルン現代音楽協会	ケルン日本文化会館	07.01.26～ 07.01.26	国際交流基金の元芸術家フェロー、シム・クスとゲルハルト・シュテプラーのコラボレーションによるパフォーマンス。在独の日本人ピアノ演奏家、原アヤ、コズエの姉妹が参加。
18	志田笙子コンサート	ケルン現代音楽協会	ケルン日本文化会館	07.02.23～ 07.02.23	ケルン在住の作曲家志田笙子らの作品を上演。独唱、ピアノ、打楽器などによる現代クラシック音楽。「羅生門」は志田の新作であり、世界初演である。コンサートに先立って志田本人によるワークショップが行われた。
19	アンサンブルミラノ コンサート	ケルン現代音楽協会、イタリア文化会館	ケルン日本文化会館	07.03.14～ 07.03.14	2002年にイタリアの若手演奏家により結成されたアンサンブルMdi (Musica d'Insieme Ensemble Milano) のコンサート。現役で活躍中の作曲家の作品を紹介した。
	【講演・シンポジウム】				
20	徐京植・多和田葉子講演会		ケルン日本文化会館	06.07.14～ 06.07.14	「異文化」の中で活躍する2人の作家、多和田葉子氏と徐京植氏を招いて、「母語と母国語」、「アイデンティティー」、「マイノリティー問題」等についての講演・対談会をおこなった。なお、徐京植教授の単独講演会および研究会をライプチヒ大学（講演会 7月11日）、ロストック独日協会（講演会 7月20日）ならびにデュッセルドルフ大学（研究会 7月17日）で実施。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
21	第13回ドイツ語圏日本研究者会議	ドイツ語圏日本研究学会		06.09.12～ 06.09.15	本会議はドイツ語圏日本研究者学会の主催により、人文・社会科学系分野の日本研究者による研究成果発表、相互交流、若手育成の場として3年に一度開催される。同学会の会員は日本語での学術コミュニケーション能力を有する若手からシニアまでの日本学研究者約110人であるが、会議には、非会員のドイツ人研究者やドイツ滞在中の日本人研究者らを含む、のべ300人以上が参加した。
22	鈴木・プレヒビュール朗読会		ケルン日本文化会館	06.10.27～ 06.10.27	現代詩詩人でありドイツ現代詩の翻訳者でもある鈴木俊氏とスイス人詩人・劇作家であるベアト・プレヒビュール氏を招いての詩の朗読会をおこなった。クロプフェンシュタイン教授(チューリヒ大学:日本文学)が司会を担当し、二人の詩人の作品や多岐にわたる活動についても紹介した。
23	日本茶レクチャー・デモンストレーション	ケルン独日協会	ケルン日本文化会館	07.02.06～ 07.02.06	京都の老舗である一保堂茶舗の渡辺孝史社長ならびに渡辺都常務取締役を招き、日本茶に関するレクチャー・デモンストレーションを行った。日本茶の歴史、製造法、飲み方(楽しみ方)、淹れ方を紹介した。講演後にはお茶の試飲を行い、実際のお茶の色、味、香りも味わえる機会を提供した。
24	成瀬巳喜男監督講演会		ケルン日本文化会館	07.02.26	2006年11月2日から2007年2月22日まで実施した成瀬巳喜男監督特集の関連事業として、スザンネ・シェアマン明治大学教授の講演を実施した。
	【映画】				
25	新着映画特集2005		ケルン日本文化会館	06.03.02～ 06.04.27	ケルン日本文化会館FLの新着作品「萌の朱雀」「森の学校」「阿修羅のごとく」「わたしのグランパ」「美しい夏キリシマ」「にあんちゃん」「ルイズその旅立ち」「ベアテの贈り物」を上映。
26	ホラー映画特集		ケルン日本文化会館	06.05.04～ 06.07.24	『四谷怪談』(三隅研次監督)、『怪談』(小林正樹監督)、『回路』(黒沢清監督)等、伝統的な日本の怪談をもとにした恐怖映画黎明期の頃から近年の映画までを特集上映(11作品20回)。
27	「ベアテの贈り物」巡回上映	Business & Professional Woman Club de Geneve、日瑞協会等	ケルン日本文化会館 他	06.05.12～ 07.02.17	憲法14条と24条を扱ったドキュメンタリー映画『ベアテの贈りもの』(藤原智子監督)は、当館およびパリ日本文化会館での上映を機に、スイス・オーストリア等で活動する婦人団体等の間で注目が高まり、各地での上映が実現した。2006年度までに、4カ国11都市にて実施。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
28	中川信夫監督特集		ケルン日本文化会館	06.09.04～ 06.10.30	2006年5～7月まで開催した戦後のホラー映画シリーズに続いて、ホラー映画のみならず時代劇、恋愛ものや文芸作など様々なジャンルの作品を手掛け、熟練した職人技的な演出で、観客を楽しませることを追求した監督として知られている中川信夫監督の特集を実施した(8作品16回)。
29	成瀬巳喜男監督特集	ウィーン映画博物館、ミュンヘン映画博物館、フランクフルト映画博物館、ベルリン・アーゼナル映画館等	ケルン日本文化会館	06.11.02～ 07.02.22	「めし」「山の音」「浮雲」等、成瀬巳喜男監督32作品の特集上映。ケルン日本文化会館にて実施の後、ドイツ語圏各地の映画博物館等にて巡回上映。
30	新着映画特集2006		ケルン日本文化会館	07.03.01～ 07.04.30	ケルン日本文化会館FLの新着映画3作品、「父と暮らせば」で完結した黒木和雄監督の戦争レクイエム三部作、矢口史靖監督の女子高生版「ウォーターボーイズ」ともいべき「スイング・ガールズ」、沖縄を舞台にした東陽一監督の名作「風音」を中心に、この3監督の計10作品を紹介した。
【日本語教育】					
31	Expedition Colonia／日本語入門講座	Expedition Colonia	ケルン日本文化会館	06.04.28～ 06.04.30	ケルン市の歴史や様々な施設の活動等の紹介を目的に企画されたイベント「Expedition Colonia」の一環。大人向け、子供(10～18歳)向けにそれぞれに、「あなたのお名前は日本語で何ですか?」と名付けた1時間の日本語入門コースを実施。
32	マインツ大学日本語通訳セミナー	マインツ大学	マインツ大学	06.07.30～ 06.08.11	マインツ大学のイニシヤティブによる日独通訳者研修。当館が共催・協力を行った。
33	ベルリン日本語教育研修会	ベルリン日独センター、ドイツVHS日本語講師の会	ベルリン日独センター	07.02.10～ 07.02.11	日本語教師のネットワーク化が遅れている旧東独地区の日本語教育機関に所属する日本語教師を対象にセミナーを実施。教授法の研修や教材の紹介のほか、現場の問題・課題を聴取し、同地域の事情を調査すること、参加者に既存の日本語教師会ネットワークへの参加を促した。
【図書館運営】					
34	図書館運営		ケルン日本文化会館	06.04.01～ 07.03.31	図書の貸出、参考調査(511件)、ドイツ語圏日本資料図書館連絡会を開催。収蔵資料数：書籍20,132冊、雑誌246タイトル、視聴覚資料7,292点。入館者数：3,754名。貸出図書冊数：2,694冊、貸出視聴覚資料：1,098点。新規貸出登録者：247名

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【出版・広報】				
35	会館催し物案内 発行			06.04.01～ 07.03.31	会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行（毎回8,000部）。
36	翻訳賞		ケルン日本文化 会館	06.11.24～ 06.11.24	1999年以來、日本語からドイツ語への優れた翻訳作品を対象に「国際交流基金翻訳賞」の授与（副賞5,000ユーロ）を行っている。今回は第7回の授賞式で、カティア・カッシングが受賞した。（受賞翻訳作品：東野圭吾『レイクサイド』、大沢在昌『新宿鮫』）。
	【教室事業】				
37	日本語講座		ケルン日本文化 会館	06.04.01～ 07.03.31	半期制。それぞれ日本語紹介コース（2時間4回）、本コース（2時間27回または13回）を実施。準備コースは初心者のみ2クラス、本コースは初心者～上級者9レベル11クラスを開講。また、9月から10月にかけて初めて集中コースを開講した。
	【その他】				
38	文化施設オープ ンデー		ケルン日本文化 会館	06.09.10～ 06.09.10	在ケルンの外国機関（イタリア文化会館、フランス文化会館、アメリカハウス、ポーランドおよびトルコ総領事館および当館）が、各機関の活動および各国文化の紹介を行うという、ケルン市文化局初の試み。各国がブースにて情報提供し、催し物を披露した上、各館代表によるパネル・ディスカッションが実施された。ケルン日本文化会館は日本に関する情報提供、津軽三味線公演およびアニメ映画『仁太坊』の上映の他、初心者向けのミニ日本語授業および当館日本語講座の案内を実施し、図書館を終日開館した。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
39	現地文化事業参加 竹内孝和展	レバークーゼン クストフェライン	06.04.04～ 06.05.28	ドイツと日本で活動しているアーティスト竹内孝和の個展。材料費、印刷費及び広報費への助成。
40	現地文化事業参加 灰野敬二コンサート	ミュールハイム クルトゥア・ブン カー	06.04.22～	ノイズ・実験音楽などの現代音楽のジャンルで、海外でも評価の高い灰野敬二のコンサート。謝金に対する助成。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
41	現地文化事業参加 ブレーメン文学祭 「Poetry on the Road」	ブレーメン文学 フォーラム	06.05.11～ 06.05.19	世界各地から詩人・作家を招き、朗読会や作家同士の交流を行う文学祭。ミュンヘン在住の作家四元康裕がこれに参加し、自作の朗読を行った。謝金、旅費、会場借料及び印刷費への助成。
42	現地文化事業参加 樋口立也「scent of no scent」展	ナサウ・クンスト フェライン	06.05.14～ 06.06.25	近年ドイツで積極的に展覧会を実施している樋口立也の、インスタレーションをメインにした展覧会。カタログ制作費への助成。
43	現地文化事業参加 松井柴朗展	クレーフェルド美術 館	06.06.11～ 06.10.01	モダニズムを代表する建築家ファン・デル・ローエ設計の美術館のための、大規模なインスタレーションを実施。旅費、印刷費、広告費に対する助成。
44	現地文化事業参加 寺田琳 「Sichtweisen」展	シーボルト学会	06.07.14～ 06.11.05	フランクフルト在住の寺田琳による、ライン川をモチーフにした屏風作品の展覧会。展示会場のシーボルト博物館にて、オープニングに日本人音楽家によるコンサートが行われた。印刷・広報費への助成。
45	現地文化事業参加 J-OPI-E 欧州日本語OPI 研究会	ベルリン自由大学	06.08.24～ 06.08.26	OPI（アメリカで考案された、外国人の日本語の口頭会話能力を計るメソッド）に関するシンポジウム。関連事業としてワークショップも実施。謝金に対する助成。
46	現地文化事業参加 現代アート・プロジェクト SUMAZO	SUMA（オーストリア）	06.09.01～ 06.09.15	日欧の若手アーティストの作品紹介と、作家同士の交流の活性化を目的とした継続的なプロジェクトの、第一回展覧会。クリストフ・ヴェーバと齋木克弘の作品の展示を実施。印刷・広報費及び展示スペース借料への助成。
47	現地文化事業参加 定兼恵子「百鼠－Confessionum」展	ミース・ファン・デア・ローヘハウス友の会	06.09.01～ 06.11.26	デュッセルドルフ在住の定兼恵子による、モダニズム建築を代表するドイツの建築家ミース・ファン・デル・ローエの設計した美術館での個展。カタログデザイン謝金に対する助成。
48	現地文化事業参加 広島－ニュルンベルク アート・プロジェクト KHORA2	ニュルンベルク美術 アカデミー	06.09.06～ 06.09.16	広島市立大学芸術学部とニュルンベルク造形美術アカデミーの教員・学生の短期交換による交流事業及び共同展覧会の開催。謝金に対する助成。
49	現地文化事業参加 第2回 Pictoplasma Conference	ピクトプラズマ	06.10.11～ 06.10.15	キャラクターデザインに関する国際会議・ワークショップ。世界各地から800人を超える芸術家やデザイナー等が出席。日本からはMotomichi Nakamura、大石暁規等が参加。謝金および旅費に対する助成。
50	現地文化事業参加 良知暁「Gravity」展	ノインプルス・ギャラリー	07.03.02～ 07.03.18	2005年に学生のイニシアティブで発生した、「写真作家と現代アートを支援する」団体neunplusが選んだ若手写真家・良知暁の展覧会。旅費と印刷・広報費への助成。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【会場提供】			
51	ケルン音楽の夜	KoelnTourismus、 WDR西ドイツ放送局	06.12.02～ 06.12.02	あらゆるジャンルの音楽をライブで放送する「WDR 3 Nachtmusik（音楽の夜）」は西ドイツラジオ放送局の音楽プログラム・シリーズであり、今回は作曲家川越道子氏の曲が中心となったため、当館が会場となりコンサートを開催した。同コンサートはドイツ中へライブ放送された。
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
52	所蔵展覧会貸出		06.04.01～ 07.03.31	ケルン日本文化会館が所有する展覧会セット（日本人形展、「大和路」展、世界遺産展等6セット）の貸出し。貸出し先は、カイザースラウテルン、ハイデルベルクの2件。その他にはローマ日本文化会館所蔵の「大和の仏像写真展」をミュンヘンおよびブルクリーデン＝ロートへ巡回した。
53	フィルムライブラリー		06.04.01～ 07.03.31	ケルン日本文化会館が所蔵する劇映画（163作品）および文化映画（117作品）を、ドイツ語圏の大学や博物館等外部機関における非営利上映のために提供した。外部施設での上映回数は107回、のべ107本。
54	文化備品貸出		06.04.01～ 07.03.31	ドイツ国内外の機関等に、ケルン日本文化会館所蔵の文化備品（茶道具、衣桁等）の貸出しを行なった。

パリ日本文化会館

合計額 597,487,341円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	『未来への回路 －日本の新世代 アーティスト』 展		パリ日本文化会 館展示ホール	06.04.26～ 06.07.01	1990年代半ば以降に注目を集めた11人の作家～ 福井篤、廣瀬智央、明和電機、村田朋泰、中村 哲也、佐内正史、齋木克裕、須田悦弘、東芋（た ばいも）、高橋信行、横溝美由紀～による絵画、 彫刻、写真、ビデオ、インスタレーションで構 成される本部巡回展
2	「型紙とジャポ ニスム」展		パリ日本文化会 館展示ホール	06.10.19～ 07.01.20	日本の工芸の中で今日まで生活に密着している 型染めのための型紙は、その造形性や技術のた めに世界でも高く評価されている。とりわけ19 世紀後半、日本の美術品に関心をもった西洋の 美術家たちにとって、デザインの上で大きなヒ ントとなり、ジャポニスムの流れの中で優れた 作品が多く生れた。日本における型紙の歴史 と、着物を始めとするその用法を示すとともに、 西洋でそれがどのような形で応用され、どんな 分野でどのような作品が生まれたのかを展観 し、日本の精緻な伝統工芸を好む観客と、研究 者・デザインを学ぶ学生等、多くの入場者を集 めた
3	棟方志功展	財団法人大原美 術館	パリ日本文化会 館展示ホール	07.03.07～ 07.04.07	「ワだば、ゴッホになる」と有名な言葉を残し、 1956年には日本人で初めてベニス・ビエンナー レ展版画部門で国際大賞を受賞、1975年に75歳 で死去した、特異な版画作家・棟方志功。彼の 生前から縁が深く、作品のための展示室を開設 している岡山県倉敷市の大原美術館との共催 （作品提供、学芸員派遣、フランス語版カタログ 作成等）により、彼の国際的評価を決定づけた 版画作品のみならず、屏風、襖絵、水彩等の肉 筆画を含む、多彩な作品を紹介した
	【公演】				
4	金梅子×大野慶 人	韓国文化セン ター	パリ日本文化会 館大ホール	06.04.07～ 06.04.08	韓国の舞踊家である金梅子（キム・メジャ）と、 日本の舞踏家の大野慶人の、世界で活躍する日 韓を代表する振付家・ダンサーのコラボレー ション。各々のソロと、二人のデュオ（世界初 演）を上演。韓国文化センターとの共催。公演 日に合わせて、金梅子出演、藤原智子監督のド キュメンタリー『伝説の舞姫 崔承喜』を小ホ ールで4月8日に別途上映した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
5	Japan Connexion		パリ日本文化会 館大ホール	06.05.12～ 06.05.13	日仏の両親を持ち、両国で活躍する振付家・ダンサーの美枝コカンボが、小鼓方の吉坂一郎ほかの日本の音楽と共演した。ダムタイプの池田亮司や、一柳慧の曲に振付けた作品や、小鼓方の吉坂一郎との共同作品の記録映像上映と同作品を上演
6	Jazz in Japan 06		パリ日本文化会 館大ホール	06.05.30～ 06.06.03	当館恒例のジャズ特集。今回はメンバー・スタッフを一新し、アート・ディレクターにジャズ評論家の副島輝人を迎え、ジャズを切り口に日本の音楽の現在を伝えた。第1夜は渡辺香津美とビレリ・ラグレーンという、日仏トップギタリストの出会いを企画したが、ラグレーンの突然のキャンセルにより渡辺のソロ演奏となった。第2夜は虚無僧尺八の中村明一による、即興演奏。第3夜は異色の歌手さが・ゆきによる、スタンダード・ジャズ。第4夜は前衛ジャズと、革新的な番組構成となった
7	音楽の日コン サート／くもの すカルテット		パリ日本文化会 館大ホール	06.06.21～ 06.06.21	フランス全土を挙げての音楽の祭典参加企画。「くものすカルテット」が、30年代のレトロな雰囲気漂わせた演奏で注目を集め、入場無料とはいえ、詰めかける満員の聴衆を沸かせた。また同カルテットが弁士・楽士をつとめるオリジナル短編無声映画『12月の三輪車』も、ライブの中で上映した
8	青年団『S高原 から』	青年団	パリ日本文化会 館大ホール	06.10.06～ 06.10.14	劇作家・演出家の平田オリザ率いる青年団による代表作『S高原から』の上演。高原のサナトリウムを舞台に、死を待つ人々とその家族、友人、恋人を描く。2004年パリでフランス人出演者・演出家（ロラン・ガットマン）による同作品が上演され、好評を博したが、そのオリジナル版を迎えた。同時期にシャイヨー劇場で上演された、平田オリザ作『ソウル市民』（フランス人出演者、演出家アルノー・ムニエ）との提携事業
9	JAZZY COLORS／水 口恵美子トリオ	在パリ外国文化 機関有志（17カ 国）	スウェーデン文 化センター及び Le Duc des Lombards パリ日本文化会 館大ホール	06.11.18～ 06.11.20	在パリ外国文化機関有志18機関によるジャズ・フェスティバル（11/13～26）。チェコ、ハンガリー、フィンランド、スイス、スウェーデン各文化センター、及びセルバンテス・インスティテュートでのコンサート。当館からは、パリで活躍中の水口恵美子トリオが当館外で2回実施
10	J-DANCE 06 セレノグラフィ カ、キム・ミヨ ンシン	韓国文化セン ター	パリ日本文化会 館大ホール	06.09.29～ 06.09.30	日本の新進ダンサー・振付家を紹介する企画。出演は、トヨタコレオグラフィアワード「次代を担う振付家賞」（2005年度）受賞者である隅地菜歩率いるセレノグラフィカと、横浜ダンス・コレクション・「若手振付家のための在日フランス大使館賞」受賞（2005年度）のキム・ミョンシン

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
11	「型紙とド ビュッシー」コ ンサート		パリ日本文化会 館大ホール	06.12.15～ 06.12.15	ドビュッシー前奏曲集に想を得て型絵染作家である伊砂利彦が制作した作品を観ながら、ピアニストで音楽学者の青柳いづみこによる講演・演奏を聴くレクチャー・コンサート。「型紙とジャポニスム」展関連企画。江戸時代の型紙が欧州のジャポニスムに与えた影響を紹介する同展と反対に、欧州の音楽作品が現代の型絵染作家にインスピレーションを与えた軌跡を紹介する
12	コンドルズ		パリ日本文化会 館大ホール	07.01.18～ 07.01.20	ダンサー・振付家として評価の高い近藤良平を中心に、学ランをまとった男性のみで結成された、日本で絶大な人気を誇るカンパニーによる、ダンス、映像、演劇などを縦横無尽に駆使した舞台公演。パリ日本文化会館10周年記念事業第1弾としての3夜連続公演は観客を熱狂させ、日仏の新聞・雑誌でも反響を呼んだ
13	YAMAHA若手 コンサート	YAMAHA FRANCE	パリ日本文化会 館大ホール	07.01.26～ 07.01.27	ヨーロッパで活躍している若手日本人演奏家によるクラシック・コンサート。ヤマハとの協力のもと、ピアノや管楽器を中心に、ソロやアンサンブルなど様々な形態で、将来有望な演奏家を紹介した
14	西川千麗	千麗の会	パリ日本文化会 館大ホール	07.03.30～ 07.03.30	日本舞踊家西川千麗による創作舞踊『カミーユ・クローデル』と、ポール・クローデルの言葉・メッセージの案内で古典曲『影法師』の舞と邦楽演奏を上演。
15	ミニコンサート		パリ日本文化会 館小ホール	06.04.26～ 07.03.21	毎月第4水曜日の定期コンサート。4/26 アンサンブル・ナンフェア：日仏混交の室内楽特集。5/24 佐藤俊介（ヴァイオリン）。6/28 みやざきみえこ（琴・三味線）。10/25 大前知諤（チェロ）、奥山彩（ピアノ）のデュオ。11/22 福間洸太郎（ピアノ）。12/20 椎名豊トリオ：ベテランピアノ奏者中心のジャズ。1/24 齋藤徹トリオ（コントラバス中心）。2/28 小野隆洋（トロンボーン）中心に棟久木綿佳（ピアノ）。3/21 宇宿真紀子（ピアノ）と宇宿直彰（チェロ）の姉弟デュオ
	【講演・シンポジウム】				
16	吉増剛造レク チャー・パ フォーマンス 「海を掬い尽せ」		パリ日本文化会 館小ホール	06.04.13～ 06.04.13	詩人吉増剛造の講演に続いて、同氏とジャン＝フランソワ・ボヴロス（ギター）による詩のレクチャーパフォーマンスを行った。
17	菅野昭正講演会 「68年世代を代 表する二人の小 説家：中上健次 と村上春樹」		パリ日本文化会 館小ホール	06.04.20～ 06.04.20	文芸評論家であり東京大学名誉教授である菅野昭正（日本研究シニア客員教授派遣プログラムにより、リヨン第3大学に派遣中）が、日本現代小説を代表する中上健次と村上春樹についてフランス語で講演を行なった

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
18	河合隼雄講演会 「源氏物語」—女性 の自己実現の 物語—		パリ日本文化会 館大ホール	06.05.03～ 06.05.03	文化庁長官であり著名な精神学者である河合隼雄が、「源氏物語」に見る日本女性の自己実現、自己表現についてユニークな切り口で講演した
19	食材入門シリー ズ「豆腐」	鈴豆腐	パリ日本文化会 館小ホール及び レセプション ホール	06.05.06～ 06.05.06	日本の食材入門シリーズと称し、日本の食に関するセミナー・講演会を実施。全5回とし、第1回目は「豆腐」に焦点を当てた。当地の会社「鈴豆腐」の鈴木昭を講演者、食ジャーナリストである相原由美子をコーディネーターとして招き、講演会及び試食を行なった
20	副島輝人講演会 「日本における ジャズ文化の歴 史」		パリ日本文化会 館小ホール	06.06.03～ 06.06.03	公演事業Jazz in Japan 06の開催と合わせて、同公演のアートディレクターでありジャズ評論家の副島輝人による講演会を実施。戦前から現代にかけてのジャズ史、特にフリージャズについて明快かつ簡潔に解説した
21	食材入門シリー ズ「酒」	黒龍酒造、萬乗 酒造	パリ日本文化会 館小ホール及び レセプション ホール	06.06.10～ 06.06.10	日本の食材入門シリーズの第2回目。今回は日本酒をテーマに、「黒龍酒造」の水野社長、「萬乗酒造」の久野社長を招いて、講演会と試飲会を実施した
22	食材入門シリー ズ「昆布」	奥井海生堂	パリ日本文化会 館小ホール及び 地下3階フォワ イエ	06.09.23～ 06.09.23	日本の食材入門シリーズの第3回目。昆布セミナーの講演者は福井県の老舗「奥井海生堂」の奥井社長。講演後、地下3階のフォワイエにて昆布の出汁の試飲会を実施した
23	平田オリザ講演 会「日本の現代 演劇—国際共同 作業にむけて」	青年団	パリ日本文化会 館小ホール	06.10.07～ 06.10.07	当館で10月6日から14日で行った『S高原から』の演出家である平田オリザ（青年団主宰）が、日本の現代演劇及び彼が取り組んでいる国際共同作業について語った
24	馬淵明子講演会 「型紙とジャポ ニスム」		パリ日本文化会 館大ホール	06.10.19～ 06.10.19	10月19日から一般開催される「型紙とジャポニスム展」の関連事業として、同展覧会のコミッショナーである馬淵明子（日本女子大学教授）が、日本の型紙と文様の特色について、またベルギー、ウィーン、フランスで見られたジャポニスムについて分かり易く解説した
25	シンポジウム 「なぜ日本が現 代建築の実験工 房なのか？」	アーキラボ事務 局	パリ日本文化会 館大ホール	06.10.21～ 06.10.21	オルレアンで開催されたアーキラボ展に出品した建築家の藤本壮介、マニュエル・タルディッツが、著名な建築家の伊東豊雄と共に日本の現代建築及び自分たちの建築観念や作品について語った。モデレーター役はFrac Centreのプレイヤー女史が務めた
26	食材入門シリー ズ「醤油」	株式会社キッ コーマン	パリ日本文化会 館小ホール	06.10.20～ 06.10.20	日本の食材入門シリーズの第4回目。醤油セミナーの講演者は株式会社キッコーマンの島田が行なった

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
27	広中平祐講演会 「次世代の科学者たちをどう育むか」	笹川日仏財団 日本物理数学会、林原財団	パリ日本文化会館大ホール	06.11.17～ 06.11.17	著名な数学者・広中平祐による講演会、OECDの発表者による日仏の科学者の現状及び統計を紹介。先進国で見られる若者の科学離れに警鐘を鳴らした
28	長崎巖講演会 「日本の型染めの歴史」		パリ日本文化会館小ホール	06.12.13～ 06.12.13	12月の「型紙とジャポニスム」展の展示替えのために来仏した同展コミッショナーの1人・長崎巖（共立女子大学教授）が、日本の型紙とそれをういた着物等への型染めの技法について、特に展示替え作品を重点的に解説した
29	山下泰裕講演会 (柔道・本部事業費)	フランス柔道連盟	パリ日本文化会館大ホール	07.02.07～ 07.02.07	フランス柔道連盟との共催で、パリ日本文化会館10周年記念事業として、全日本柔道選手権9連覇、ロサンゼルス・オリンピック無差別級金メダリストの山下泰裕を迎え、柔道の歴史と未来を語った。仏柔道連盟会長ルジェ、ベッソン、ボルドー大学教授ブルスが発表、その後山下泰裕に関するショートビデオを上映、その発表となった。質疑応答では多くの質問が上がり、聴衆の関心の高さを表していた。講演後、関係者によるカクテルを大ホール横のフィワイエで行った
30	食材入門シリーズ「日本茶」	一保堂	パリ日本文化会館小ホール及び地下3階フォワイエ	07.02.02～ 07.02.02	日本の食材入門シリーズの第5回目。シリーズ最後を飾る日本茶セミナーの講演者は、京都の老舗「一保堂」の渡辺孝史社長。講演後、地下3階フォワイエでそれぞれ種類の違う日本茶の試飲会を実施した。
31	墨絵ワーク ショップ	Association Information pour Artistes franco-japon	パリ日本文化会館	07.02.21～ 07.02.24	英国で活躍している墨絵画家小野琢正を講師に迎え、墨絵の体験ワークショップを開いた。水曜日と土曜日には子供向け教室、木曜日、金曜日には大人向け（12歳以上）教室。1セッション90分
32	小山裕久講演会		パリ日本文化会館大ホール	07.02.22～ 07.02.22	和食の伝統を維持しつつも、従来の枠に囚われない洗練された料理で常に新しい和食の流れを作り出している、著名な日本料理人・小山裕久による日本食文化に関する講演会。日本料理の特徴や新しい潮流、「食」の背景にある文化的背景、フランスにおける日本食の拡がり等につき幅広く、また分かりやすく語った
33	高階秀爾講演会 「棟方志功」	財団法人大原美術館	パリ日本文化会館大ホール	07.03.07～ 07.03.07	3月7日から始まる棟方志功展に合わせて、同展共催者の大原美術館の館長である高階秀爾が、棟方志功に関する講演を行った
34	山口憲講演会 「日本の染織—能装束の美—」	山口能装束研究所所長	パリ日本文化会館小ホール	07.03.15～ 07.03.15	日本の伝統芸能として世界中の人々に評価されている能楽であるが、その衣装となる能装束を通して日本人の美意識、染色の技について山口憲（やまぐち・あきら。山口能装束研究所所長）が講演した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
35	ネットワーク強化シンポジウム (パリ政治学院国際研究所=CERI主催)	パリ政治学院国際研究所 (CERI)	パリ政治学院国際研究所 (CERI) パリ日本文化会館小ホール	07.03.15～ 07.03.16	日本研究リサーチ・会議等助成プログラムで助成を受けているパリ政治学院の国際研究所(CERI)と共催で、同研究所にて3月15日、パリ日本文化会館小ホールにて3月16日に、それぞれ英仏の同時通訳付きで行った国際間セミナー。「ジャパン・クール」の名で定着した感のある日本のソフトの力の中でも、とりわけフランスを初めとする欧州各国の若年層に圧倒的な普及度を誇る日本のマンガに焦点を当てた議論が行なわれた
36	長谷部浩講演会 「歌舞伎の新しい波」		パリ日本文化会館小ホール	07.03.28～ 07.03.28	歌舞伎に造詣の深いフランス人観客を対象に、近年の歌舞伎における新しい動きについて紹介する。講演者は東京藝術大学助教授の長谷部浩。ゲストに若手女形の市川亀治郎を迎え、活躍中の役者による生のトークを交えて活発な講演会となった
	【映画】				
37	日本の実験映画 -60、70年代と 現在の間に		パリ日本文化会館小ホール	06.06.22～ 06.06.24	60-70年代の実験映画と、70年代生まれの映像作家の作品を併せて上映する。前者の作家として、細江英公、松本俊夫、かわなかのおひろ、寺山修司、中島崇など、後者として、松山由維子、狩野志歩、石田尚志、など。各上映後に中島崇、松山由維子のアフター・トークも実施した
38	FICEP外国文化週間参加・今村昌平監督追悼上映会『うなぎ』	パリ外国文化週間(FICEP)事務局	パリ日本文化会館小ホール	06.09.30～ 06.09.30	2006年5月に亡くなったばかりで、カンヌ映画祭パルム・ドール(最高賞)を2度受賞している今村昌平を追悼し、同賞受賞作『うなぎ』(役所広司主演)を2回にわたり上映した。パリにある外国文化センターが参加する「パリ外国文化週間」参加企画
39	成瀬巳喜男監督特集		パリ日本文化会館大ホール	06.11.02～ 06.12.02	小津、溝口、黒澤に次いで世界的評価の高い名監督・成瀬巳喜男の作品31本を一挙上映。上映作品は『夫婦』『妻』『あにいもうと』『放浪記』『晩菊』『秋立ちぬ』『驟雨』『妻の心』『流れる』『杏っ子』『女が階段を上る時』『鯛雲』『娘・妻・母』『めし』『浮雲』『乱れる』『稲妻』等
40	ドキュメンタリー特集		パリ日本文化会館小ホール	06.11.10～ 06.11.25	世界的舞踏家の大野一雄の生誕百周年を記念し、その舞踏ドキュメンタリー『O氏の肖像』『大野一雄』を特集上映する他、毎年恒例の、日本を描いた2004年～2005年の新作ドキュメンタリーとして『戦争が終わった日・第1部』、『戦争が終わった日・第2部』、そして建築家・石丸信明、プロデューサー・奥村恵美子、映画監督・藤原次郎が3者で制作した『縁』、『内藤邸』、『但馬スケッチ』の3作品を同3者のティーチ・インと合わせて上映

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
41	第一回KINOTAYO映画祭	KINOTAYO (金の太陽)映画祭事務局	パリ日本文化会館大ホール	06.11.21～ 06.11.24	パリで初の本格的日本映画祭となる KINOTAYO(金の太陽)映画祭にパリ日本文化会館も協力し、今村昌平監督のフランス未公開ドキュメンタリー作品上映の他、デジタル映像作品等を上映。新作『LOFT』を上映した黒沢清監督等の舞台挨拶も実施した
42	「子連れ狼」映画特集		パリ日本文化会館小ホール	07.01.09～ 07.01.13	小池一夫原作による劇画を基に、1970年代前半に6話シリーズが作られた「子連れ狼」の特集上映会。名匠・三隅研次監督による4作品『子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる』(1972 第1作)、『子連れ狼 三途の川の乳母車』(1972)、『子連れ狼 死に風に向かう乳母車』(1972)、『子連れ狼 冥府魔道』(1973)の他、斉藤武市監督『子連れ狼 子の心親の心』(1972)、『子連れ狼 地獄へ行くぞ!大五郎』(1974)を上映した
43	小津安二郎監督大特集		パリ日本文化会館大ホール	07.02.10～ 07.03.24	世界的監督・小津安二郎の現存する作品を計36本(欠落のため一部しか現存していない『大学は出たけれど』を含めると37作品)を一挙上映した、当館開館10周年記念に相応しい大特集。2月27日(火)には『東京の合唱(コーラス)』、28日(水)には『生まれてはみたけれど』の両無声映画作品に合わせて、「くものすカルテット」の片岡正二郎による楽団付き弁士公演も実施。海外では例を見ない小津作品を味わえる貴重な上映会となった
	【日本語教育】				
44	第1回全仏日本語弁論大会		パリ日本文化会館大ホール	06.04.01～ 07.03.03	当館主催によるフランスにおける唯一の日本語弁論大会。中・高校生部門と成人部門(大学生以上)の二部門からなる。出場者は中・高校生部門5名、成人部門は7名(成人部門は2名欠席)
45	欧州日本語教師研修会	アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)	アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)	06.07.10～ 07.07.14	フランス東部アルザス地方にある日仏交流のために設立された公的機関アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催で実現した現職教師向けの日本語教育法に関する研修会。フランス、イタリア、ドイツ、スイス、スペイン、ハンガリーの欧州各国から総勢21名の受講者を集め、1週間にわたって教育法に関する研修会を合宿形式で行なった。講師陣は在欧基金事務所の派遣専門家4名のほか、日本語国際センターの主任講師も参加

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【図書館運営】				
46	図書館運営		パリ日本文化会館	06.04.01～ 07.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営。所蔵：図書資料 23,319冊、視聴覚資料 2、218点。利用者数：17,360名。貸し出し数：図書資料 2,641冊、視聴覚資料 2,474点。レファレンス件数：2,056件
	【教室事業】				
47	香道デモンストラーション	株式会社松栄堂	パリ日本文化会館5階レセプションホール及び茶室	06.11.16～ 06.11.17	志野流香道のデモンストラーション。師範と香の老舗・京都の松栄堂の社長を迎え、香道に関するミニセミナー後、茶室で組香という香り当てゲームを参加者に実際に体験して貰った
48	茶道デモンストラーション	パリ裏千家	パリ日本文化会館茶室	06.04.01～ 07.03.31	裏千家が担当する茶道デモンストラーション
49	茶道入門教室	パリ裏千家	パリ日本文化会館茶室	06.04.01～ 07.03.31	2004年10月より、定員10名の茶道教室（16回授業）を開始
50	書道入門教室	ASSOCIATION HIMAWARI ASSOCIATION HIMAWARI、ASSOCIATION TANOSHI	パリ日本文化会館教室	06.04.01～ 07.03.31	フランス在住の書道講師・大島妙子、武井真紀子（ともに2004年9月以降）による書道教室
51	生花教室	いけばなインターナショナルIKEBANA INTERNATIONAL	パリ日本文化会館教室	06.04.01～ 07.03.31	小原・草月・池坊各流派による生花指導。定期的にデモンストラーション、玄関ホールにおける展示も行った
52	囲碁教室	フランス囲碁連盟イル・ド・フランス囲碁リーグ	パリ日本文化会館教室	06.04.01～ 07.03.31	初心者から上級者までを対象とする囲碁教室。2005年9月より単発授業登録を取りやめ、10回授業コース制にしている
53	折り紙アトリエ	Eric Joisel氏	パリ日本文化会館教室	06.10.11～ 07.03.14	子供向け事業として実験的に開始した教室事業。月1回で、6歳～9歳、10歳以上（大人も受講可）の2クラスを設けた。講師はフランス全国で折り紙アーティストとして活躍されているエリック・ジョワゼル
	【その他】				
54	MC J P 会員の夕べ		パリ日本文化会館大ホール及びフォワイエ	07.02.09～ 07.02.09	パリ日本文化会館（MC J P）会員に対する感謝の夕べとして、会員のみ限定の予約制により、黒澤明監督『酔いどれ天使』のフランス語字幕付き映画上映会を実施、上映後にカクテルを実施し、会場は満員の盛況だった

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【本部事業受入】				
55	PAJ EUROPE			06.04.01～ 07.03.31	PAJ欧州の事務局業務
56	在欧日本専門家 アフリカ派遣プ ログラム	在アルジェリア 大使館		07.02.19～ 07.03.02	在アルジェリア日本大使館の要請により、フランス在住の指揮者・矢崎彦太郎ならびに、コンサートマスター及び第ヴァイオリンの第一奏者として在仏ヴァイオリニスト2名（アラン・モグリア、渡辺篤子）を、航空賃・保険料及び謝金を負担した上でアルジェへ派遣。日本政府が文化無償資金協力により楽器供与を行ったアルジェリア国立交響管弦楽団への指導及び2回のコンサート（フランス在住の作曲家・吉田進氏の作品を含む）を行った

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【会場提供】			
57	アーキラボ建築展記 者会見	アーキラボ事務局	06.06.07～ 06.06.07	10月中旬からオルレアンにて開催される日本の建築家による展覧会の記者会見。同展覧会は本部の助成を受けている。記者会見では、オルレアン市代表、FRAC代表者、展覧会コミッショナー2名が展覧会の説明、出品する日本人建築家の紹介を行い、招待制、ジャーナリスト30名ほどが参加した
58	ボーム・ド・ブニー ズ・ワイン記者発表 会	ボーム・ド・ブニー ズワイン生産者協会	06.06.08～ 06.06.08	ローヌ地方Vignerons de Beaume de Veniseのワインを紹介すると共に、ワインに合わせた日本料理を堪能してもらおう。招待客ベースで対象者は仏プレス、ワイン業者、ソムリエ。100～120名の参加があった
59	笹川春艸・水墨画展 －雪国の彩り	日仏フィグー社	06.06.14～ 06.06.22	水墨画は現在日本全国に幅広く多くの愛好家があり、庶民の文化として進化し続けている。2005年来相次いで震災や水害に襲われながらも強く生きる上越地方の人々の生活や風景を描いた笹川春艸（しゅんそう）の掛け軸・屏風に描かれた水墨画を地下3階大ホール前のフォワイエで紹介することを通して、自然を愛し、平和を願う日本人の心情を訴えた。日仏フィグー社が仲介した
60	ジェネレーションF- J シンポジウム	Generations France-Japon	06.06.16～ 06.06.16	平成16年度まで施設提供の枠組みで実施していた日仏スピーチコンテストであったが、Generations France-Japonの解散に伴い幕を閉じる。同コンクールに携わった教師陣、関係者を一同に集わせ、記念式典を行う。
61	日本酒試飲会	八壺（ハッコ）会	06.06.29～ 06.06.29	恒例事業である日本酒セミナーであるが、昨年に引き続き今年もレセプションホールにて着席型で実施。また、日仏プレス及び業者用に特別試飲会を一般試飲会の前に設け、日本酒数種を専門家たちが味わった。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	JMAセミナー	日本能率協会	06.07.04～ 06.07.04	日本能率協会が毎年各地で開催しているグローバル・ビジネスリーダーコース。去年に引き続き今年もパリ日本文化会館に来館したメンバーに館長より会館の設立趣旨及び活動内容を説明し、設備及び「広重展」の見学を実施。その後、TOTAL社のル・ゴッフよりメセナについての講義があった
63	仏人シェフ帰国報告会	笹川日仏財団	06.12.04～ 06.12.04	10月末から11月初めにかけて京都の料亭で研修を受けた仏人シェフや支配人の帰国後報告会。研修プログラムを助成している笹川日仏財団が主催する。発表者は3つ星レストラン「アストランス」のパスカル・バルボ、クリストフ・ロア、コメンテーターとして食ジャーナリストのマリアンヌ・コモリも参加。
64	日仏大学交流会カクテル	ESSEC	06.12.13～ 06.12.13	ESSECを中心に日仏の有名大学の現役・卒業生が集い日仏の交流を図った

ソウル日本文化センター

合計額 126,700,628円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	中村誠ポスター展	国民大学校ゼロワン・デザインセンター	ソウル日本文化センター 国民大学校ゼロワン・デザインセンター	06.09.01～ 06.09.28	日本のグラフィックデザインを体系的に紹介するシリーズの第3弾。資生堂アートディレクターとして長年ファッションデザインに携わった中村誠氏の展覧会。図録や映像などの資料を交えて同氏の作品世界を紹介した。また、国民大学校ゼロワン・デザインセンターでは山形秀央氏による講演会を実施した
	【公演】				
2	笑福亭銀瓶落語公演	中央大学校、国立全南大学校、釜山外国語大学校	ソウル日本文化センター 釜山外国語大学校 国立全南大学校 中央大学校	07.03.12～ 07.03.14	在日3世の落語家で、韓国語で落語ができる落語家としては第1号、第一人者にあたる笑福亭銀瓶氏の落語会を実施した。これまで韓国で紹介されることがほとんどなかった落語公演を各大学との共催で本格的に実施した
	【講演・シンポジウム】				
3	絲山秋子講演会	ソウル日本文化センター ハンギョレ新聞社 韓国外国語大学校	ソウル日本文化センター 韓国外国語大学校	07.03.22～ 07.03.23	作品「沖で待つ」で2006年の芥川賞を受賞した女性作家・絲山秋子氏を招へいし、ソウルにて講演会を開催した。また、韓国人女性作家ジョン・イヒョン氏との対談もハンギョレ新聞社主管で行なった
4	日本食文化紹介事業	ハンジョンヘ料理学院 講談社 在大韓民国日本国大使館 辻調理師専門学校	ソウル日本文化センター ハンジョンヘ料理学院 在大韓民国日本国大使館	07.02.02～ 07.02.04	韓国でも愛読者の多い漫画『将太の寿司』の著者である寺沢大介氏と日本料理専門家を韓国に招聘し、寺沢氏の作品上映会やサイン会、韓国人漫画家・許ヨンマン氏との対談、日本料理専門家向けの講習会等を行なった
5	フェローOB講演会「第3回日本理解公開特講」		ソウル日本文化センター	07.02.26～ 07.02.28	基金のフェローOBである6名の日本研究者による、日本の政治・社会・文化に関する総合講座を実施した
6	青少年・対話の広場	社団法人 日韓経済協会 日中韓文化交流フォーラム	三田共用会議所	06.11.19～ 06.11.22	「日韓サッカーU-21代表チーム交流戦・交流会」の機会を捉えて、韓国人大学生40名が訪日し、日本の大学生など青少年と交流し、日韓双方のモデレーターの進行のもと、シンポジウムを開催した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
7	Aniimpact-真島理一郎監督作品展	AniImpact事務局、光州デザインセンター、順川奇跡の図書館	光州デザインセンター 順川奇跡の図書館 明洞中央シネマ	06.12.14～ 06.12.20	今日本で最も注目を集めるアニメーション監督の一人である真島理一郎氏の作品上映会と講演会を実施した。同氏の作品は、DVD化、ゲーム化へと発展しており、アニメーターが進む一つの方向性を示すことができた
8	「著者特講・日本文化の力」講演会		ソウル日本文化センター	07.03.16～ 07.03.17	平成18年度出版協力プログラムの助成対象図書である『日本文化の力』の共同執筆者による講演会。映画、アニメーション、建築、デザイン、小説等、7つの分野における7名の著者による講演が行なわれた
	【映画】				
9	全州国際映画祭俳優マスタークラス	全州国際映画祭実行委員会	全州国際映画祭	06.05.03～ 06.05.04	全州国際映画祭のマスタークラスに韓国側から崔ミンシク氏、日本から竹中直人氏を講師として招聘し、両氏が演技に関する哲学や映画でキャラクターを完成させる過程について講演を行なった
10	日本映画上映会①	東国大学校	東国大学校	06.04.24～ 06.05.01	映画専攻の学生に日本映画に対する理解を深めてもらうため、東国大学校映画映像学科との共催で韓国フィルムライブラリーから「砂の女」と「ニッポン昆虫記」を供出し日本映画上映会を行なった
11	日本映画上映会②	釜山シネマテーク	釜山シネマテーク	06.06.13～ 06.06.15	2006年5月30日に逝去した日本の代表的な巨匠、今村昌平監督を追慕するため、シネマテーク釜山と共催で「今村昌平監督追慕展」を緊急企画し、シネマテーク釜山の試写室にて上映会を行なった
12	日本映画上映会③	韓国シネマテーク協議会	ソウルアートシネマ	06.07.02～ 06.07.07	韓国シネマテーク協議会が企画した事業「ムービー・スペシャル」に、韓国フィルムライブラリーから金ジウン監督が推薦した「砂の女」(勅使河原宏監督)を提供し、上映会を行なった
13	日本映画上映会④	海女博物館	海女博物館	06.07.13～ 06.10.13	地方機関との関係増進を図るため、海女博物館と共催で在済州総領事館の後援を得て、韓国フィルムライブラリーとしてソウル日本文化センターが所蔵している映画「海女のリャンさん」の上映会を行なった
14	日本映画上映会⑤	韓国シネマテーク協議会	ソウルアートシネマ	06.07.15～ 06.07.15	青少年(中学生)の文化活動を支援し、映画および映像文化に関する理解を深めるため、韓国フィルムライブラリー所蔵作品から「Go Go Fanta-G」を韓国シネマテーク協議会に提供して上映会を行なった
15	日本映画上映会⑥	(社)韓国家族文化院(済州支部)	済州市民館	06.10.11～ 06.10.11	韓国家族文化院との共催で、「映像アカデミー」の受講生を対象に済州を背景に作られたドキュメンタリー映画「海女のリャンさん」の上映会を行なった

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
16	日本映画上映会 ⑦	韓国シネマテーク協議会	ソウルアートシネマ	06.10.25～ 06.10.25	韓国シネマテーク協議会が開催した討論会場にてソウル日本文化センターの韓国フィルムライブラリー所蔵作品のうち、鈴木清順監督の「暗黒街の美女」の上映会を行なった
17	日本映画上映会 ⑧	建国大学校	文化芸術館	06.10.25～ 06.10.27	建国大学校映画芸術学科の専用映画館オープン記念イベントとして同校と共催で日本映画祭を企画し、韓国フィルムライブラリー所蔵作品のうち、「紅の流れ星」「狂った果実」「東京流れ者」の上映会を行なった
	【日本語教育】				
18	日本語講座		ソウル日本文化センター	06.03.02～ 06.12.01	前期3月から6月、後期9月から12月。一般学習者を対象に総コマ数24コマで、「翻訳A」「翻訳B」「日本文化A」「日本文化B」「対話技術」「読解・討論」「作文技術」「聴解と日本語理解」10クラスを開講
19	日本語教師サロン		ソウル日本文化センター	06.04.19～ 07.03.21	資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象とした、日本語教授法、教材および授業内容等についての講義。本年度は、昨年度実施した「ボランティアのための日本語教え方講座」をテーマに8回の講義を実施
20	日本語教育研究講座		ソウル日本文化センター	06.04.12～ 06.12.13	「中学校日本語教師研修コース」、「高校日本語教師研修コース」、「教師のための日本語コース」の3コースを、各コース総20時間で前後期の2回ずつ実施
21	ニューズレター 作成・発行		ソウル日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語学習者を対象とするオンライン・ニューズレター『カチの声』（13～15号）を発行。日本文化・社会に関するエッセイ、韓国人から見た日本、日本人から見た韓国がテーマのコラム、日本語学習情報などを掲載
22	日本語教材図書・ビデオライブラリー		ソウル日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師への情報提供サービスおよび韓国の初・中等教育レベルにおける日本語教育の状況把握、今後の事業計画策定のための各種教材・ビデオ等の収集を行なった
23	「韓国人日本語教師と日本語ネイティブ教師によるチーム・ティーチング授業」事例集		ソウル日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	平成15年度における、青年日本語教師による韓国人日本語教師とのチーム・ティーチングの授業事例およびチーム・ティーチング実施の際の留意点などをまとめた事例集ウェブ版の維持管理

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
24	釜山日本語教育 専門家による事業	韓日文化交流協会 在釜山総領事館	ソウル日本文化 センター 韓日文化交流協会	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師対象日本語講座（A、B、Cクラスそれぞれ全15回30時間）を開講したほか、高校日本語教材作成会議への出席、第15回日本語作文コンテスト審査員、釜山外国語大学校日本語大学出講、第3回釜山広域市大学生日本語スピーチ大会審査員、釜慶大学校高校生日本語学力コンテスト面接員、大邱中等日本語教育研究会日本語教師研修会講師などを務めた
25	ホームページ連載企画		ソウル日本文化 センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語学習者向け（『今すぐ使える日本語』）および指導者向け（『『こんにちは』授業核心ガイド』）に、それぞれ参考となる内容を、月2回定期連載の形式で紹介した
26	大韓民国高等学校日本語教師研修オリエンテーション	国際教育振興院	ソウル日本文化 センター	06.05.29～ 06.05.29	日本語国際センターが実施する標記研修について、協力団体である国際教育振興院主催の事前オリエンテーションに参加。研修内容、日本語国際センター内での生活注意事項などについて説明を行なった
27	夏季日本語教師集中研修	韓日文化交流協会 在釜山総領事館	ソウル日本文化 センター ソウル日本文化 センター 韓日文化交流協会	06.08.07～ 06.08.11	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間、総30時間の集中研修。「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」などを目標に掲げた
28	清潭中学校来訪	清潭中学校	ソウル日本文化 センター	06.08.22～ 06.08.22	9月に日本旅行に行く清潭中学校の生徒に、センター紹介、ビデオ（食文化）視聴、日本語体験、図書館見学などのプログラムを提供した
29	日本語教育支援事業諮問委員会		ソウル日本文化 センター	06.11.21～ 06.11.21	ソウル日本文化センターの実施する日本語教育支援事業に関し、主として中等教育に関わる関係者からの意見を聴取し、右事業の効果的な実施に資することを目的とした委員会を開催
30	冬季日本語教師集中研修	韓日文化交流協会 在釜山総領事館	ソウル日本文化 センター ソウル日本文化 センター 韓日文化交流協会	07.01.08～ 07.01.19	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間、総30時間の集中研修。「日本語の授業に文化を取り入れる目的を再考する」、「目的に合った授業方法を具体的に考える」などを目標に掲げた
31	在韓日本人留学生ボランティア事業		ソウル日本文化 センター	07.01.01～ 07.03.31	韓国に留学している日本語ネイティブスピーカーを中等教育の日本語授業にゲストとして派遣する事業の準備を行なった

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【図書館運営】				
32	図書館運営		ソウル日本文化センター	06.04.10～ 07.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営。蔵書：15,554点(書籍11,175点、雑誌516点、視聴覚資料3,202点、その他661点)。会員数：9,287名(2007.03.31現在)。図書館利用実績：年間来館者数21,370名(2006.04.01～2007.03.31)
	【出版・広報】				
33	ホームページ・リニューアル		ソウル日本文化センター	06.05.01～ 06.08.31	広報力をより高めるべく、ソウル日本文化センターのホームページを全面的にリニューアルし、併せてキーワード検索が可能となるように検索エンジン機能を付け加えた
34	日本語チーム広報物制作		ソウル日本文化センター	07.03.02～ 07.03.30	日本語教育支援事業における広報用に用いるグッズを購入、制作した
35	韓日地方自治体間交流実態に関する調査事業	韓日文化交流会議	ソウル日本文化センター	07.03.01～ 07.03.31	韓日地方自治体間の交流実態に関する調査を韓日文化交流会議に委託して実施。2004年1月から2006年12月までの韓日地方自治体間の交流実態と各自治体の国際交流の一般的な現況を調査し、その結果を出版物として制作
	【その他】				
36	日韓交流ネットワーク事業			06.05.01～ 06.08.31	日本と韓国の交流事業の活性化のために、助成プログラムや交流相手など実際の事業実施に必要なさまざまな情報を提供するサイトを、ホームページリニューアルの際に設置した
37	海外アドバイザー運営			06.10.01～ 07.03.31	当国において相対的に日本との文化交流が十分に行なわれていない全羅南北道/光州地域に海外アドバイザー(当地の名称は「特別委員」)を委嘱し、管轄地域と日本との文化交流業務に協力してもらった
38	フェローOB講演会報告書作成		ソウル日本文化センター	07.03.01～ 07.03.31	2007年2月26日から28日まで実施した国際交流基金フェローOBによる「第3回日本理解公開講座」の報告書を200部作成。報告書には第3回の講師6名の原稿を日本語に翻訳掲載したほか、第1回および第2回の概要等も掲載した
39	韓国における日本研究の概況・日本語訳作成		ソウル日本文化センター	07.03.01～ 07.03.31	世宗研究所との契約によって行なっている「韓国における日本研究調査事業」の一環として、調査委員6名が執筆した政治、経済、歴史等各分野の原稿を日本語に翻訳

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
40	現地事業助成「第8回ソウル女性映画祭」	女性文化芸術企画	06.04.10～ 06.04.11	第8回目を迎える「ソウル女性映画祭」の付帯行事として行なわれた国際フォーラム（アジア女性映画のアーカイブ構築のための方策）の開催に助成した
41	現地事業助成「近代建築の歴史の再照明」	国立ソウル産業大学建築学部	06.05.25～ 06.05.25	国立ソウル産業大学主催で東京大学建築学科の伊藤毅教授が「近代東京の都市空間」というテーマで講演を行ない、日本の近代建築形成の全般における特徴および歴史的意味について韓国の建築学者3名と討論を行なった
42	現地事業助成「日本学専攻学生ネットワーク月例会」	次世代日本専門家ネットワーク	06.04.01～ 07.03.31	平成18年度を通して行われた日本学専攻学生ネットワークの月例会、学術大会及びワークショップのうち、月例会の開催に対する助成を行なった
43	現地事業助成「2006国際家具デザインワークショップ」	弘益大学木造形家具学科	06.06.19～ 06.06.24	弘益大学主催で家具デザイナーとして脚光を浴びている喜多俊之氏が招聘され、デザイン専攻の大学生・大学院生を対象に公開セミナーと6日間のワークショップが実施された。作品はソウル日本文化センターで展示
44	現地事業助成「韓国日語教育学会第9回学術発表大会」	韓国日語教育学会	06.05.13～ 06.05.13	「韓国の日本語教員養成の現況と課題」をテーマに、「日本における日本語教師養成の現況と課題」(田尻英三)「韓国における日本語教師養成の現況と課題」(李徳奉)の基調講演と10件の一般発表が行なわれた
45	現地事業助成「韓国外国語大学校日本研究国際学術シンポジウム韓日言語文化接点を求めて」	韓国外国語大学校日本研究所	06.06.02～ 06.06.02	言語と文化の接点を探り、円滑なコミュニケーションへと導くための方法と教授法を提示することを目的とするシンポジウムを開催。日韓両国の研究者5名による講演および総合討論があった
46	現地事業助成「2006ソウルシティフェスティバル」	中央日報、湖岩アートセンター、CREDIA	06.05.25～ 06.05.25	大韓民国の有力日刊紙「中央日報」と湖岩アートセンターが主催する「ソウルシティフェスティバル」に、世界的なアーティストに成長したギターリスト木村大氏が出演し、クラシックギター演奏会を行なった
47	現地事業助成「第2回光州広島の民主人権平和関連学術会議」	湖南大学校	06.06.07～ 06.06.07	民主運動の発生地として国際的に有名な光州の役割を考察するために、被爆都市広島市の市立大学の学者を招いて、「ドイツにおける平和主義と民主主義」について発表を行ない、国際平和をテーマに日韓で討論を実施した
48	現地事業助成「延世日本学ワークショップ」	延世大学校	06.05.18～ 06.06.05	延世大学校および他大学の日本に関心のある学生を対象に行われた日本研究レクチャーシリーズ
49	現地事業助成「東北亜の持続可能な発展の為の交流と協力」	青い忠南21	06.07.17～ 06.07.22	2003年から始まった青い忠南21と日本の熊本環境ネットワークの間の定期的な交流行事。今回初めて日本側が韓国を訪問し、懇談会、現場訪問などを通じて忠清南道の市民社会団体の活動への理解を高める機会とした

	事業名	対象機関	期間	事業内容
50	現地事業助成「韓日若き作家達の交流展－純情の衝突」	日韓青年芸術交流展実行委員会、耕仁美術館	06.08.09～ 06.08.15	日韓の若きアーティストたちが、自分たちの交流に対する情熱と純情がぶつかり合うなかで生まれてくるものを表現しようとして自ら企画した展覧会。日韓合計14人の作家が出品し、作家たちの共同制作も行った
51	現地事業助成「韓日両国の構造改革の経験と包括的経済協力」	韓日経商学会	06.08.25～ 06.08.26	日韓両国の経済・経営学分野の学者が釜山に集まり、「韓日両国の構造改革の経験と包括的経済協力」というテーマで討論を行ない、日韓両国の未来志向的な経済協力を模索した
52	現地事業助成「韓日中の文化行事と交流事業等を広報するインターネットマガジンの製作及び発行」	東アジア文化交流協会	06.04.01～ 07.03.31	ソウル所在の韓国、日本、中国の機関等によって行なわれる日韓および韓中文化交流イベント等を韓国の若者に広報するインターネット・マガジンを制作した
53	現地事業助成「デジタルカメラで見る韓国の世界文化遺産」	明るい青少年支援センター	06.08.16～ 06.08.20	明るい青少年支援センターが、韓国文化に関心が深いものの訪韓経験のない日本の高校生を韓国に招聘し、デジタルカメラを使って韓国の青少年達とともに韓国の歴史と文化を理解・経験させるプログラムを実施した
54	現地事業助成「日本川崎市のFriends of Library招聘セミナー」	富川市民連会	06.08.22～ 06.08.24	韓国の富川市と日本の川崎市との図書館運動に関するNGO同士の持続的な交流と協力体制の構築のため、日本の川崎市のNGO「Friends of Library」の関係者を招へいして、セミナーを開催した
55	現地事業助成「蛍の光で繋ぐ韓日青少年交流」	盆唐環境市民会	06.08.25～ 06.08.26	日本で蛍の保全活動に参加した経験のある青少年を韓国に招聘し、民間レベルの蛍の保全活動の事例を発表することにより、自然保護の当為性と郷土愛を共有した
56	現地事業助成「韓日学术交流2006」	アジア法学生連合	06.08.21～ 06.08.27	アジア8カ国の法学部学生による国際学术交流団体であるアジア法学生連合に属する日韓の学生によって、「ナショナリズムとアジア的価値」というテーマでワークショップおよび文化交流行事が行なわれた
57	現地事業助成「授業研究発表大会および自律研修」	韓国日本語教育研究会	06.08.10～ 06.08.11	韓国日本語教育研究会が毎年実施している事業の一つ。全国から中等日本語教師が集まり各地域で選ばれた教師の授業発表が行なわれ、国際交流基金の「みんなの教材サイト」韓国語版を紹介するコーナーも設けられた
58	現地事業助成「演劇－バルカン動物園」	To Be Company、演劇実験室	06.08.31～ 06.09.17	「ソウルノート（原題：「東京ノート」）」等で韓国でもよく知られている劇作家・平田オリザ氏の作品「バルカン動物園」を公演した。「科学演劇」という独特のテーマで話題の生命工学に対する関心を集めた
59	現地事業助成「韓日少子化高齢化社会の進行に伴う社会システム再構築の課題」	自由主義教育運動連合	06.09.13～ 06.09.20	「韓日少子・高齢化社会の進行に伴う社会システム再構築の課題」というテーマで、日韓両国の学者、大学生および政治家がソウルに集まって発表・討論を行なった

	事業名	対象機関	期間	事業内容
60	現地事業助成「東北 亜ネットワーク 2007」	延世大学校リーダー シップ・センター	07.02.05～ 07.02.10	韓国、日本、中国、香港、シンガポールなどの北東アジアの大学生96名がソウルに集まり、「北東アジアの統合」というテーマで、ワークショップ・講演会・フィールドワーク等を行なった
61	現地事業助成「2006 年度韓国日本文化学 会定期学術誌第32 集」発刊	韓国日本文化学会	06.11.01～ 07.02.28	第4回韓国日本学連合会、韓国日本文化学会秋季文化学術発表大会における発表に基づく『2006年度韓国日本文化学会定期学術誌第32集』の発刊
62	現地事業助成「釜山 日本語教育研究会の ネットワーク強化の ためのホームページ 制作」	釜山日本語教育研究 会	06.08.01～ 07.03.01	釜山地域の日本語教師が、教授法および日本語学習に有益な情報を共有・交換するためのネットワーク形成の一環としてウェブサイトを作成
63	現地事業助成「2007 年シネマテークの友 達」映画祭－黒澤清 監督招聘	韓国シネマテーク協 議会	07.01.26～ 07.01.28	映画祭「シネマテークの友達2007」の期間中、黒澤清監督を招聘し、黒澤監督の新作「叫び」を上映したほか、同監督による講演会および韓国のボン・ジュンホ監督との対談を行なった
64	現地事業助成「マニ フェスタ寺山修二特 別展」	ソウル映画祭	06.09.07～ 06.09.18	寺山修司監督の作品を「ソウル映画祭」の際に集中的に紹介することで、寺山監督への理解を深める機会を提供した。国際交流基金フィルムライブラリー3作品を提供する一方、現地事業助成プログラムでも支援した
65	現地事業助成「第9 回ソウル世界舞踊 祭」	国際舞踊協会韓国本 部、芸術の殿堂	06.10.10～ 06.10.25	「第9回ソウル世界舞踊祭」のプログラムの一つとして、アジアを代表する日・中・韓の女性ダンサー3人が創作する舞台「天上舞姫」に、「H. Art Chaos」として韓国の舞踊界でも有名な白河直子氏が出演した
66	現地事業助成「ソウ ル－東京24時」展	ソウル・グラフィック ・デザイナーズク ラブ	06.10.10～ 06.10.20	日韓両国のグラフィックデザイン分野の持続的な交流のために実施されたデザイン展。両国の政治・経済・文化の中心であるソウルと東京の「デザインの今」を題材とし、中堅デザイナー30人が作品を紹介した
67	現地事業助成：松田 幸正講演会「目の冒 険」	情報工学研究所	06.10.24～ 06.10.24	『目の冒険』（講談社出版文化賞受賞）の著者である松田行正氏を招き、氏の長年の研究テーマである「相似形」に潜む発想の根源を求めて、同氏の同名著書から日常で見られるさまざまな目の冒険について講演会を実施
68	現地事業助成「韓日 地域づくり関連団体 招聘セミナー」	希望製作所	06.11.21～ 06.11.21	日韓両国の地域活性化のために、日本の地域活性化センターの関係者を招へいして日本の町作りおよび地域活性化の事例を韓国に紹介。両国の全国単位又は政府レベルでの町づくりの支援現況を比較・考察する機会とした
69	現地事業助成「ソウ ル薩摩会創立10周年 記念文化講演会」	ソウル薩摩会	06.10.21～ 06.10.21	ソウル在住の鹿児島県出身者と鹿児島県に在住した経験のある韓国人とで構成されているソウル薩摩会が、設立10周年を記念して作家の関川夏央氏を招聘し、講演会を開催した

	事業名	対象機関	期間	事業内容
70	現地事業助成「韓日友好交流演奏会」	光州文化芸術会館	06.11.24～ 06.11.24	光州広域市運営の光州文化芸術会館が日本のアジア音楽教育文化交流会を招聘し共同演奏会を行なった。光州市立交響楽団90名、光州市立合唱団50名、日本側合唱団80名が参加した地方では数少ない大規模な演奏会
71	現地事業助成「我、また違う我」展	国民大学校産学協力団	06.11.16～ 06.11.25	我々が暮らす社会に存在する「我」と「他者」の間にあるさまざまな問題に目を向け、他者として生きる人々が美術を通じてアイデンティティを構築する姿を見せた展覧会。韓国人作家と在日韓国人作家が出品した
72	現地事業助成「第1回日本大衆文化プログラム-映画上映及び専門家特講」	イメージ製作所	06.11.28～ 06.11.29	「イメージ製作所」が主催した「第1回日本大衆文化プログラム-映画上映及び専門家特講」にて、日本映画3作品の上映と日本映画専門家(2名)による特別講演会が行なわれた
73	現地事業助成「黒田杏子氏俳句講演会」	中央大学校外国語大学日本語学科	06.11.06～ 06.11.06	中央大学校が俳人・黒田杏子氏を迎え、日本の伝統詩歌である俳句の精神世界に関する講演会とワークショップを行なった。講演・ワークショップには学生100名余りが参加し、日本の伝統文化を体験する場となった
74	現地事業助成「韓国日本語学会2006年度冬季学術大会：東アジアにおける日本語教育の現況」	韓国日語日文学会	06.12.16～ 06.12.16	日本の聖徳大学から林史典教授、中国の吉林大学から宿久高教授を招聘し、二人の講演及び48の研究発表大会からなる分科会を構成した
75	現地事業助成「嫌韓と反日のコミュニケーション構造」	翰林大学校法学研究所	07.03.21～ 07.03.21	日本の専門家による「嫌韓と反日のコミュニケーション」というテーマの発表の後、韓国の学者および学生が参加して討論を行なった
76	現地事業助成「高齢社会に備えた法政策的課題」	韓国外国語大学国際地域大学院	07.03.29～ 07.03.29	日本の老人関連法制度等について、日本の学者3人が基調講演を行ない、日韓の学者が総合的に討論した
77	現地事業助成「韓国日本語学会第15回学術発表会」	韓国日本語学会	07.03.31～ 07.03.31	九州大学・因京子教授の講演および日本語・日本語教育に関する20本の研究発表からなる、学会大会を開催
	【後援事業】			
78	全国中等学生日本語学力競試大会	社団法人韓日協会	06.08.23～ 06.08.23	韓国内で最大規模の、中学生・高校生対象のスピーチコンテスト。筆記試験合格者の中学生8名、高校生15名が2次試験のスピーチコンテストに挑んだ。ソウル日本文化センターの日本語教育専門家が審査員として参加
79	第7回全国高校生日本語スピーチ大会	同徳女子大学校	06.09.22～ 06.09.22	同徳女子大学校が主催する高校生のスピーチ大会。本選には16名が出場し、入賞者のうち上位5名は日本の明海大学と朝日大学が主催する「国際日本語スピーチ大会」(会場：明海大学)に招待された
80	韓国日本語教育学会第45回国際学術発表大会	韓国日本語学会	06.09.22～ 06.09.23	日本および中国からの招聘講演2本と、65本の研究発表が2日間にわたって行なわれ、釜山在勤日本語教育専門家による研究発表もなされた

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【会場提供】			
81	韓国OPI研究会定例会	韓国OPI研究会	06.05.20～ 06.05.20	会話力測定のためのテストであるOPI（Oral Proficiency Interview）のテスター養成ワークショップ修了者へのフォローアップと、テスターのインタビュー技術向上を目的とした定例会を開催
82	在韓日本語講師研究会定例会	在韓日本語講師研究会	06.05.20～ 06.05.20	日本語教育に関する知識や基礎研究の日本語教育への応用法の共有を目的とする、韓国在住の日本語ネイティブ教師の定例教師会。韓国OPI研究会との合同開催で、ACTFL-OPIの紹介およびデモンストレーションを実施
83	韓日マスメディアフォーラム「韓国政府の東北亜構想と韓日関係」	韓日社会文化フォーラム	06.06.14～ 06.06.14	韓国大統領諮問機構である東北亜時代委員会の委員長が、東北アジアの安保体制構築、日韓関係の改善の方法等について基調講演、韓国の言論人および日本マスコミのソウル特派員等が討論を行なった
84	韓日ユースフォーラム①	韓日社会文化フォーラム	06.06.19～ 06.06.19	韓国の大学生および韓国に留学中の日本人学生が、両国の社会文化に対する意見交換を行なった。第1回目として「韓日社会文化フォーラム」の鄭求宗代表による「韓日両国の言論報道様態」という特別講演も行なわれた
85	劇団四季の韓国公演に関するフォーラム	韓日社会文化フォーラム	06.07.21～ 06.07.21	劇団四季の韓国における常設公演計画に対し、韓国業界の立場について韓国ミュージカル協会の理事長が発表を行ない、四季の演出家、日本マスコミのソウル特派員等が加わって日韓文化交流に関する討論を行なった
86	日本語能力測定	韓国法務部	06.07.09～ 06.07.09	海外に留学を予定している韓国人から、入学願書の一部である「日本語学力証明書」の記載を依頼されたため、模擬試験を実施
87	韓日ユース・フォーラム②	韓日社会文化フォーラム	06.07.31～ 06.07.31	韓国の大学生および韓国に留学中の日本人学生が、両国の社会文化に対する意見交換を行なった。第2回目として「韓国放送映像産業振興院」の金泳徳研究員による特別講演（「韓国の日流、日本の韓流」）も行なわれた
88	韓日ユース・フォーラム③	韓日社会文化フォーラム	06.12.18～ 06.12.18	韓国の大学生および韓国に留学中の日本人学生が、両国の社会文化に対する意見交換を行なった。第3回目として翰林大学校の斉藤明美教授が執筆した日韓文化研究書に関し、日韓の学生による討論が行なわれた
89	日韓シンポジウム「21世紀における新しい日韓関係の模索」	韓国国際政治学会、日本国際政治学会、韓日社会文化フォーラム	06.11.30～ 06.11.30	韓日社会文化フォーラムおよび設立50周年をともに迎えた日韓の国際政治学会が共同開催したシンポジウム。「北朝鮮の核問題をめぐる日韓協力」、「安倍政権と望ましい日韓関係」というテーマで討論を行なった
90	韓国日語教育学会第10回教員研修会	韓国日語教育学会	06.11.25～ 06.11.25	「大学教養日本語教育における創意的指導方案」をテーマに、韓国の大学で教えている日本人・韓国人4組の発表者が実践例に基づいて大学教養科目としての日本語の教授方法を論じた

	事業名	対象機関	期間	事業内容
91	韓日ユースフォーラム④	韓日社会文化フォーラム	07.01.23～ 07.01.23	韓国の大学生および韓国に留学中の日本人学生が、両国の社会文化に対する意見交換を行なった。第4回目として韓国側から「日本社会の嫌韓論に対する歴史的考察」という発表を行ない、日韓の学生が討論した
92	マスメディア・フォーラム「日韓巨視経済の比較と展望」	韓日社会文化フォーラム	07.01.30～ 07.01.30	韓国の言論人、日本マスコミのソウル特派員、および学者等が集まって、日韓の経済について自由討論を行なった
93	国際シンポジウム「東アジアと日本の‘境界’」	漢陽大学校、高麗大学校	07.02.03～ 07.02.03	漢陽大学と高麗大学の共同主催で、「東アジアと日本の‘境界’」というテーマで、韓国、日本、中国の学者が集って発表と討論を行った。
94	日本演劇を観る会	日本演劇を観る会	07.02.23～ 07.02.23	日本演劇を観る会の会員による研究発表会の会場として当センターの施設を提供。「韓国映画における華僑のイメージと在日韓国人のイメージの比較分析」というテーマで発表および討論が行なわれた
95	2007年韓日・日韓協力委員会共同総会参席者教育	韓日・日韓協力委員会	07.03.05～ 07.03.05	東京での「第43回韓日・日韓協力委員会共同総会」に参加を予定していた韓国側参加者30名を対象とするオリエンテーション
96	映画を通して考える「傷ついた関係の修復」	嶺南大学校	07.03.30～ 07.03.31	研究会の会員である日韓の学者及び学生がソウルに集まり、日韓の映画を一緒に鑑賞した後、それについて議論を展開する中で、相互関係の修復への文化的姿勢を理解し合うことを試みた
	【その他】			
97	忠清南道日本語教師会セミナー	忠清南道日本語教師会	06.06.26～ 06.06.26	ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「今どきの日本の高校生事情」と題し、50分間、パワーポイントや動画を利用して、日本の高校生の生活意識についての解説、授業への利用法等の講義を行なった
98	忠清北道日本語教師セミナー	忠清北道日本語教師会	06.04.21～ 06.04.21	ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「コミュニケーション能力を高める授業を考える」と題し、約1時間の講義を実施
99	祥明大学校文学部日本語日本文学科学術セミナー	祥明大学校文学部日本語日本文学科	06.05.26～ 06.05.26	ソウル日本文化センター日本語教育専門家が、祥明大学校日本語日本文学科の学術セミナープログラムに特別講師として出講。日本の大学生の就職事情、若者の労働観について講義を行ない、学生の発表会にも参加した
100	梨花女子大学校併設メディア高校来訪	梨花女子大学校併設メディア高校	06.05.26～ 06.05.26	センター紹介、日本留学案内、日本語授業等を実施した
101	アークアカデミー日本語教師養成講座受講生来訪	アークアカデミー	06.05.29～ 06.05.29	韓国の日本語教育に関心のある同校の日本語教師養成講座受講生に対して、国際交流基金事業およびソウル日本文化センターの概要、韓国の日本語教育事情について講義を行なった

	事業名	対象機関	期間	事業内容
102	全羅南道教育庁主催 中等日本語教師研修	全羅南道教育庁	06.08.01～ 06.08.01	ソウル日本文化センター日本語教育専門家が、「教え方とその応用を考えるー授業の組み立てと活動を考えるー」と題し、ワークショップ形式を取り入れた講義を4コマ（1コマ50分）行なった
103	京畿道中等日本語教育研究会夏季セミナー	京畿道日本語教育研究会	06.07.15～ 06.07.15	ソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講。「インフォメーション・ギャップのある教室活動」と題し、その有効性を参加者に考えさせ、フラッシュ・カード、絵カード、タスク・シートを利用した活動を紹介
104	京畿道外国語教育研修院主催 中等日本語教師深化課程	京畿道外国語教育研修院 および筑波大学留学生センター	06.09.04～ 06.09.29	京畿道外国語教育研修院と筑波大学留学生センターが共催で行なっている韓国国内研修（1カ月間）に、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講した（同プログラムでは、つくば市で1カ月間の日本滞在研修も実施）
105	2006年度江原道日本語教育研究会セミナー	江原道日本語教育研究会	06.11.18～ 06.11.19	「多様な授業方法についての提言（発音・文字・会話）」をテーマに、発音・文字・会話の指導例と留意点などを具体的な活動を通して考えてもらった。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講
106	全羅南道日本語教育研究会セミナー	全羅南道日本語教育研究会	06.12.08～ 06.12.08	「サイトを利用した授業の方法」をテーマに、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講して、「みんなの教材サイト」（韓国語版）と「国際文化フォーラム」の両サイトを紹介、教材としての利用例を提案した
107	2006年度済州日本語教師会主催セミナー	済州日本語教師会	06.12.16～ 06.12.17	ソウル日本文化センター日本語教育専門家による国際交流基金および同センター紹介と、「コミュニケーションと教室活動」をテーマにしたワークショップを実施
108	釜山日本語教師会 2006年度第8回定例会	釜山日本語教師会	06.12.10～ 06.12.10	「初級ドリルを楽しく！」と題し、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講した。フラッシュ・カード、絵カード、タスク・シートを利用した活動を紹介した
109	京畿道光明市日本語研究授業視察（地方 中等日本語教師支援）		06.11.08～ 06.11.08	明文高校李点徳教諭の授業を見学（テーマは、外来語の表記）。授業後の総括および意見交換会にソウル日本文化センター日本語教育専門家が参加
110	チーム・ティーチング①	水落高校	06.11.10～ 06.11.10	水落高校教諭とソウル日本文化センター日本語教育専門家が、「～でもいいですか／てはいけません」を使って話せるようになることを目標に、2クラスでチーム・ティーチングを行なった
111	チーム・ティーチング②	トダン高校	06.12.04～ 06.12.04	トダン高校教諭とソウル日本文化センター日本語教育専門家が、日本の観光地で自分の写真をとってもらえるように日本人に頼めるようになることを目標に、2クラスでチーム・ティーチングを行なった
112	チーム・ティーチング③	水落高校	06.12.26～ 06.12.26	水落高校教諭とソウル日本文化センター日本語教育専門家が、3クラスでチーム・ティーチングを実施。内容は、日本の年中行事の紹介、カルタ等

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
113	京畿道中等日本語教育研究会2006年度冬季研修	京畿道中等日本語教育研究会	07.01.05～ 07.01.05	「日本語教育における会話（＝口頭能力）に関する評価について」をテーマにソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講
114	ソウル日本語教育研究会主催2006年度冬季職務研修	ソウル日本語教育研究会	07.01.09～ 07.01.11	ソウル日本語教育研究会主催2006年度冬季職務研修の最終日に当たる1月11日に「楽しく効果的な会話の授業－会話能力の養成から評価まで－」をテーマにソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講した
115	在韓日本語講師研究会 2006年度 第8回定例会	在韓日本語講師研究会	07.02.24～ 07.02.24	「ソウル日本文化センターにおける中等日本語教師集中研修における成果と課題」と題し、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が発表

北京日本文化センター

合計額 108,311,726円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	JAPANIMATION 展	大山子芸術区 北京東京芸術工 程	DIAF2006組織 委員会 大山子芸術区	06.04.23～ 06.05.27	第3回大山子国際芸術祭の一環として行われる 事業。日本の有名アニメ作品「機動戦士ガンダ ム」のプラモデル作品の他、日本のアニメに大 きな影響を受けてきた日本、中国、タイのアー ティストの作品を展示。また、オープニングと なった13日（土）には、中国のパフォーマンス アーティスト曹斐（Cao, Fei）によるパフォー マンスや日本人、中国人の有志による「メイド 喫茶」も行われた
2	第3回大山子国 際芸術祭2006	DIAF2006組織 委員会	大山子芸術区 北京東京芸術工 程	06.04.29～ 06.05.21	美術画廊、ライブハウスなど芸術関連の施設が 集中する北京市大山子地区において行われた、 日本、中国及び世界各国の現代美術家による総 合芸術祭。本年度3回目の開催
3	「桜花の旅-中 国雲南日本友好 交流会」	昆明人民对外友 好協会、昆明藤 沢友誼館、雲南 日本商工会、雲 南大学外語学院 東方語言文学部	昆明藤沢友誼館	06.10.15～ 06.10.15	雲南省昆明市において、留華ネット昆明市代表 者が中心となって日本文化祭を開催。一人でも 多くの人に日本の古き良き文化、そして新しい 日本を知ってもらい、少しでも親近感を持って もらうことを目的とした。北京日本文化セン ターは開催経費の一部を負担の他、世界遺産パ ネル、浴衣、日本の伝統玩具等の貸出を行なっ た
	【講演・シンポジウム】				
4	日中同時通訳集 中講義	北京語言大学外 国語学院、北 京第二外国語学 院	北京語言大学 北京第二外国語 学院	06.06.29～ 07.03.15	日中同時通訳者の養成を目的に、日本における 第一人者である塚本慶一・神田外語大学教授を 招聘して集中講義を行う。2006年7月、2007年3 月に実施
5	生け花講演会	大坪光泉氏 北京日本学研究 センター	北京日本学研究 センター	06.06.30～ 06.06.30	北京日本学研究センターに在籍する学生60名程 を対象に、華道家大坪光泉氏による講演会を開 催
6	中日新聞メディ アシンポジウム	中国中日関係史 学会、北京中日 新聞事業促進会	中日青年交流セ ンター 中日友好環境保 護センター	06.08.12～ 06.08.12	「日中関係における新聞メディアの役割」を テーマに、日中両国の各新聞社から1名ずつ、 35名ほどが参加して行われたシンポジウム。 日中双方から1名ずつの代表が基調講演を行 い、その後討論を行った
7	毛丹青氏講演会 (杭州)	浙江工商大学日 本文化研究所	浙江工商大学	06.09.15～ 06.09.15	日本で活躍する中国人作家・毛丹青氏が、自ら の体験に即して行なう、日本文化に関する講演 会。中国人の視点から見た日本論を内容とする ことで日本に対する理解をよりわかりやすく促 していく

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
8	竹内実氏全集出版記念シンポジウム「戦後日本の中国理解と竹内実」	中国社会科学院文学研究所、中国文聯出版社、北京日本学研究中心	北京日本学研究中心	06.10.20～ 06.10.20	かつて北京日本学研究中心の日本側主任を務めた著名な中国研究者の竹内実氏の『竹内実全集』の中国語版の出版を記念したシンポジウム。竹内氏本人を日本より招き講演を依頼した。全日本空輸株式会社が協賛
9	「資料収集と学術論文の書き方」セミナー		北京日本文化センター多目的ホール	06.11.04～ 06.11.04	これから論文を書きたいと思っている日本語教師を対象に、資料収集の方法や学術論文の書き方を中心にセミナーを開催。講師は関西学院大学教授于康氏に依頼
10	毛丹青氏講演会(北京)	北京外国語大学学生会学習部	北京外国語大学逸夫楼	06.11.25～ 06.11.25	在日中国人作家、毛丹青氏による講演会。これまで毛氏が数年間にわたり中国人カメラマンと日本を旅行して撮影した写真も使用し、視覚面にも訴える内容
11	毛丹青氏講演会「日本と私の日常」(吉林、北京、上海)	(長春市分) 吉林大学、(北京分) 日本旅客鉄道株式会社、北京第二外国語学院、(上海分) 上海外国語大学	吉林大学 上海外国語大学 北京第二外国語学院	07.03.05～ 07.03.12	在日中国人作家の毛丹青氏の講演会。毛氏の日本での日常生活のエピソードを通して、等身大の日本と日本人の理解に資することを目的とする。北京第二外国語学院、吉林大学、上海外国語大学の3ヶ所で開催
12	陳舜臣さんのトークショウ	北京日本人会	北京日本文化センター多目的ホール	07.03.16～ 07.03.16	ミステリー作家として文壇に登場後、『青玉獅子香炉』で直木賞受賞作家となった陳舜臣氏によるトークショー。モデレーターとして早稲田大学文学学術院教授・北京大学中国古文献研究中心客員教授の稲畑耕一郎氏を迎え、幅広い話題について語り合われた。北京日本文化センターは北京日本人会と共催の他、会場としてホールを提供。全日空が協賛、長富宮ホテルが協力
13	上子秋生教授講演会	中国青年政治学院	中国青年政治学院	07.03.26～ 07.03.26	北京大学現代日本研究センターでの講義のため、北京を訪問中の上子秋生教授(京都大学大学院法学研究科)に、中国青年政治学院公共管理学部での講演を依頼。同教授は、「日本の中央と地方の関係－地方自治と地方分権を中心に－」というテーマで学部生を対象に講義を行った
	【日本語教育】				
14	初級・高級中学校進学検討会(ジュニア専門家/瀋陽)	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	05.03.31～ 06.04.03	中学校、高校で日本語を教える教師を対象に、高校入試、大学入試の模擬試験を三題配布、実際に問題を解かせ、内容について解説を行った。
15	日本語教育ジュニア専門家(北京)			06.04.01～ 07.03.31	中国各地の日本語教師に対する日本語能力・教授法の指導・助言、教材作成等の協力を行った

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
16	日本語教育ジュニア専門家（瀋陽）			06.04.01～ 07.03.31	派遣先は遼寧省基礎教育教研培训中心。現地教師に対する日本語能力・教授法の指導・助言、教材作成等の協力を行った
17	日本語サロン		北京日本文化センター多目的ホール	06.04.01～ 07.03.31	中国人の日本語学習者と日本人ボランティアが、毎回、異なるテーマについて、日本語で会話を楽しむ。月一回開催
18	日本語教育アドバイザー			06.04.01～ 07.03.31	中国の日本語教育に関するカリキュラム編成、教材作成、教師研修会の企画・実施・評価、日本語教育機関訪問等、広くコンサルティング業務を行った
19	第1回鶏西市私立学校日本語教師研修会（日本語教育アドバイザー／黒竜江長期支援）	鶏西市教育学院	鶏西市教育学院	06.06.24～ 06.06.25	黒龍江省における日本語教育支援活動の一環として黒龍江省鶏西市および近辺の民間日本語学校教師を対象に開催した研修会。会話の授業の進め方、コースデザインについて等の講義を行った
20	第1回全国大学日本語教師研修会	教育部高等教育出版社	高等教育出版社	06.07.24～ 06.07.28	非専攻課程の日本語教師を対象に、1週間の集中講義を行った
21	2006年度黒龍江省中高校日本語教育年会および黒龍江省小学校日本語実験総括会	黒龍江省日本語教学專業委員会	鶏東県朝鮮族中学	06.09.20～ 06.09.23	黒龍江省内の中高校で日本語を教えている教師を対象に、模擬授業、授業討論会、論文発表会などを行い、最近4年間の黒龍江省における中高校日本語教育の全般的評価を行なった。また、5年間にわたった黒龍江省小学校日本語実験授業の総括も行った
22	第2回中学生日本語弁論大会	内蒙古教育学会外語教学研究会	通遼市東北希望国際学校	06.09.25～ 06.09.28	内蒙古自治区で日本語を学ぶ学生の日本語力と知識を豊かにし、日本と日本語に対する理解を深めることを目的に開催された日本語弁論大会
23	遼寧省朝鮮族初級・高級中学校研修会（ジュニア専門家／瀋陽）	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	06.10.26～ 06.10.29	遼寧省内の朝鮮族初級・中級中学校教師を対象に開催された研修会。朝鮮族特有の問題点、特に発音、聴解などに焦点をあて、教師自身の日本語のブラッシュアップを行なうとともに、教え方にも言及
24	遼寧省初級中学日本語教師研修会（模擬授業コンテスト）（ジュニア専門家／瀋陽）	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	06.11.24～ 06.11.27	義務教育課程標準実験教科書日語7年～9年級の全てのテキストの使用が終わった段階で、同テキストに関する意見交換、また、論文や模擬授業を行う場を提供することを目的に、遼寧省内の初級中学校日本語教師約70名を対象に研修会を開催した
25	第3回阜新県小学校日本語コンテスト（ジュニア専門家／瀋陽）	遼寧省基礎教育教研培训中心、阜新市進修学校、阜新県進修学校	遼寧省阜新市	07.03.17～ 07.03.19	阜新地区の小学校日本語学習者を対象にコンテストを開催

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
26	長春市高等学校日本語教師研修会	吉林省教育学院	長春市朝鮮族中学	07.03.17～ 07.03.17	吉林省長春市等の日本語教師を対象とした、日本語教育に関する情報交換、教師相互の交流、ネットワークの促進を目的とした研修会。JICAの青年海外協力隊派遣隊員を含め、日本人、中国人教師計10名が出席。中国及び吉林省の日本語教育の現状や大学入試の実施状況についての説明等の他、大学入試模擬問題検討等が行なわれた
27	北票、凌原地区巡回指導（ジュニア専門家／瀋陽）	遼寧省基礎教育教研培训中心	北票高級中学、凌源第一中学、凌源第二中学、凌源第五中学	07.03.19～ 07.03.23	瀋陽派遣の鳴海ジュニア専門家が5日間の日程で遼寧省北票、及び凌源の高校5校を巡回指導
28	2007年春季全国中学日本語教師研修会（南方セミナー）	中国教育部課程教材研究所	広東省中山市小欖実験高級中学	07.03.23～ 07.03.26	中国における中等教育機関の日本語教師の日本語レベル及び教授レベルの向上を図る事を目的として開催。内容としては、論文の発表及びその批評、日本語教材の使用に際しての問題点等の検討、及び大学入試問題の分析等。北京日本文化センター小西アドバイザー、吉田ジュニア専門家らが講師を務めた
	【図書館運営】				
29	図書館運営		北京日本文化センター図書館	06.04.01～ 07.03.31	日本語図書約8,400冊、中国語図書約1,800冊、日本語教材約3,800点、日本語用ビデオ約250本、一般視聴用ビデオ約140本を所蔵。通常開館時間は、事務所休日を除く月曜日から金曜日までの10時から17時までと、第二、第四土曜日の13時から17時まで
	【出版・広報】				
30	ホームページ			06.04.01～ 07.03.31	URLは http://www.jpfbj.cn 。北京日本文化センターの事業紹介、イベントの告知、実施報告などを、豊富な画像と共に掲載
31	ニュースレター			06.04.01～ 07.03.31	事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載
32	215教師ホームページ			06.04.01～ 07.03.31	URLは http://www.jfb215kyooshi.com 。7月にリニューアルを行なった。公募プログラムのお知らせ、研修会・セミナー報告、日本語教師のためのリンク集、また、当センターからのお知らせや、日本語スピーチコンテスト、シンポジウムなどの情報も掲載

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【その他】				
33	留華ネット		北京、天津、成都などメンバーが所在する各都市	06.04.01～ 07.03.31	中国国内各地の大学に在籍する邦人留学生に、ボランティアとしてメンバーになってもらい、MLやミーティングを通して、留学先大学での日本文化・日本事情紹介などの日中文化交流活動についての情報交換を行った。また、留学生が各地で文化紹介イベントなどを行う際には、物品貸出、経費支援などを通じて協力した
34	フェローOB等懇談会		白雲飯店(広州) 賽特飯店(北京)	06.04.15～ 07.03.23	日本研究フェローOB及び北京日本学研究中心(太平学校含む)卒業生の現在の連絡先、研究または活動状況を明らかにし、基金にとっての中国全土に広がるネットワークを構築するべく、小規模な座談会、懇親会等を実施
35	重慶日本文化祭	在重慶日本国総領事館、財団法人音楽産業・文化振興財団、重慶市人民政府外事弁公室、重慶市文化広播電視局	四川外国語学院 重慶工商大学	06.06.16～ 06.06.18	期間中、重慶市内各所において以下のイベントを行った。①6月16日(金)四川外国語学院内ホールにて「日本FANS大集合!」を開催。日本のアーティストkimeru、the indigoの共演による音楽イベント。②6月16日(金)～18日(日)重慶工商大学内スペースにて「J-POPポスター展覧会」と題するJAMIC所蔵のJ-POPアーティストのポスター作品の展覧会を開催。日本の漫画作品の原稿も合わせて展示。③6月16日(金)四川外国語学院にて「J-POPについての講演会」を開催。JAMIC朱根全氏が、J-POPの現状や中国での受容について講演
36	kimeruファン交流会	財団法人音楽産業・文化振興財団	崑崙飯店	06.06.17～ 06.06.17	日本のアーティストkimeruの中国のファンとの交流会。抽選会などを行った
37	CHINA TRIP2006	日中交流団体 freebird	上海市復旦大学、他上海近郊	06.08.21～ 06.08.30	日中大学生の相互理解を目的として交流合宿を行う。関東、関西、上海から10名ずつが参加し、討論会、フィールドワークを通じて10日間の交流を図った。事業終盤には、その成果を発表するイベント「summerbird2006」を行った
38	北京市大学生による日本将棋選抜大会	将棋北京支部	国際交流基金北京日本文化センター多目的ホール	07.03.18～ 07.03.18	日本の将棋に魅力を感じ、それを通じて日本を理解したい、日本人と交流したいと考える中国の若者が増加しつつあることを背景に開かれた将棋大会。学内に日本の将棋に関する団体・サークルを持つ大学の学生によるトーナメント戦を実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
39	教材出版事業『日本語雲南ガイド』（日 文・中文対照）	雲南師範大学文理学 院外語系日本語ガイ ド班	06.04.07～ 06.05.31	より優秀な日本語ガイド養成に資するような教材とし て、日本語、中国語対照の「日本語雲南ガイド」を出版
40	2006年北京大学アフ レコ大会	北京大学	06.04.08～ 06.04.08	アニメ、ドラマの一場面の日本語吹き替えを観衆の前で 行い、発音の正確さ、表現力、個性などを競った
41	北京外国語大学第9 回日本文化祭首都大 学日本語スピーチコ ンテスト	北京外国語大学	06.04.22～ 06.04.22	北京外国語大学第9回日本文化祭の一環として行われる 日本語スピーチ大会。北京市内の大学の日本語学科の学 生8人が参加、発音の正確さ、表現の豊かさ、またスピー チ後の質疑応答の内容などについて競った
42	『日本近代初期対中 国的貿易』出版（フェ ロー、センターOB への出版協力事業）	中国新時代出版社	06.05.01～ 06.06.30	日本の近代化についての理解を深めるには、日本経済に 関しての全方位的な歴史的経緯を探る必要がある、との 問題認識のもと、黄栄光氏による『日本近代初期対中国 的貿易』を出版
43	北京大学第2回NGO 文化祭（日知／小規 模助成）	北京大学青年成才促 進会	06.05.10～ 06.05.18	NGO団体と大学生の間のつながりを深め、大学生の公益 事業に対する理解促進、ボランティアへの積極的な参加 を促すことを目的に開催。各団体がブースを出して自分 たちの事業を紹介、またトークセッションも開催し、ボ ランティアに関する様々な情報提供、交換を行った。
44	北京郵電大学・北京 大学スピーチ交流戦	北京郵電大学学生会	06.05.13～ 06.05.13	日本語の会話力を高めることを目的としたスピーチ交流 戦。スピーチの内容については「日本と私」「心に残って いること」から一つテーマを選択、字数にして900-1200 字程度、時間にして3-5分程度とされた。
45	北京科技大学2006年 第1回外国語文化祭 （日本文化紹介部分）	北京科技大学外語学 院日語専攻	06.05.14～ 06.05.19	同大学日本語学科が主体となり、学生たち自身の日本語 学習に対する意欲を高め、日本文化をより深く知ること を目的に、日本文化を紹介する展示・イベントを行った。 期間中、華道のデモンストレーションや日本企業による 講座、日本大使館公使による講座も行われた
46	南京地区大学日本歌 謡大会（第1回）	南京大学日本語学部	06.05.20～ 06.05.20	日本語を専攻する学生が参加する日本語の楽曲による歌 謡大会。なお、南京地区には日本語専攻を有する高等教 育機関が12あり本大会には11機関が参加
47	第5回無錫日本語教 育交流会	無錫日本語教育交流 会実行委員会	06.05.21～ 06.05.21	無錫及び近郊地域の日本語教育のレベルアップ及び日本 語関係者の交流を目的として開かれる交流会。今回で5 回目。午前は日系企業で働く方の講演や座談会、午後は 北京外国語大学の日本語教師駒澤千鶴氏によるワーク ショップが開催された。
48	第7回北京市大学一 年生弁論大会	北京大学外国語学院 日本語文化学部	06.05.26～ 06.05.26	北京市内にある大学の日本語学科で学ぶ本科1年生を対 象に行われた、日本語によるスピーチと演芸の大会。

事業名	対象機関	期間	事業内容
49 『中日経済問題学術 討論会論文集』出版 (日知/小規模助成)	青島大学	06.06.01～ 06.10.31	2004年、2005年に青島大学にて開催された「中日経済問題学術討論会」において日中双方の研究者から提出された論文をまとめ、出版
50 第2回上海精華日本語 スピーチコンテスト	上海市精華外語專修 学院	06.06.06～ 06.06.06	①日本語の4技能を高め、日本語表現能力を向上させること、②日中企業、日中教育界などとの交流を深め、日中の文化交流に貢献すること③学外からも広く参加者を募り、上海における日本語教育の振興に貢献すること、などを目的に行われたスピーチ大会。同校の創立4年目にあたる昨年第1回が催され、本年は2回目の開催
51 中国ヒューマンアニ マル・ボンドシンポ ジウム(日知/小規 模助成)	北京農学院中国伝統 獣医国際培训中心	06.06.10～ 06.06.10	日本から動物に関する専門家を招聘し、中国国内の関係者と共に人と動物の関係についてのシンポジウムを行った。また、日本の盲導犬が会場でデモンストレーションを行った
52 広東省中山市小欖実 験高級中学2006日本 語スピーチ大会	小欖実験高級中学	06.06.17～ 06.06.17	生徒たちの日本語に対する興味を深め、またスピーチ能力を向上させることを目的に、学内にてスピーチ大会が行われた。参加するのは高校1年生、2年生
53 第二回内モンゴル自 治区大学日本語教育 シンポジウム	内モンゴル自治区大 学日本語教育研究学 会	06.07.01～ 06.07.01	内モンゴルにおける大学の日本語教育と研究の更なる促進、日中両国の日本語教師の交流を深めることなどを目的に開催されるシンポジウム
54 第10回日本文学年 会学術討論会「文化 交流を視野に入れた 日本文学」(日知/ 小規模助成)	中国外国文学学会日 本文学研究会	06.08.14～ 06.08.18	中国外国文学学会所属の研究分会である日本文学研究会が、中国における日本文学研究の促進を目的として開いた年会。今回は「文化交流を視野に入れた日本文学」をテーマに、古典文学、近代、現代文学などの分科会に分かれて報告が行われた。中国社会科学院、中国作家協会及び各地の大学から総勢100名余りが参加し、古典から現代まで様々なテーマで発表と討議を行った
55 国際交流音楽会(内 蒙古)	広島国際音楽芸術交 流協会(RIMA)	06.08.23～ 06.08.24	日中の相互理解を深め、友好親善を促進することを目的として開催された、日本の合唱団と内蒙古の音楽家、芸術家との国際交流音楽会。
56 『日本学刊』2006年 増刊助成(日知/小 規模助成)	中国社会科学院日本 研究所『日本学刊』 編集部	06.09.01～ 06.10.31	中国における日本研究をより一層促進させるため、『日本学刊』2006年増刊号として、「中国・日本研究学術会議(2006年)」での内容を基礎としてさらに充実させ、近年の中国での日本研究機関の状況、研究内容や海外との交流の状況、今後5年間に予定されている研究プロジェクトなども記載した資料集を出版
57 日本の「談話分析」 研究の歴史と現状 (日知/小規模助成)	首都師範大学外国語 学院日本語学科、広 島大学北京研究セン ター	06.09.01～ 07.08.31	2007年8月末までのプロジェクト。首都師範大学外国語学院日本語学科と広島大学北京研究センターによる共同研究。月に1度研究会を開催し、日本の「談話分析」の研究の歴史と現状を整理、分析後、報告書を作成

	事業名	対象機関	期間	事業内容
58	「日中高度経済成長期におけるメディアとその表現」シンポジウム（日知／小規模助成）	首都師範大学外国語学院	06.09.09～ 06.09.10	日本の「高度経済成長期」には、メディアの表現形態にも様々な変化（文学、映画、テレビ、音楽、漫画、アニメ等）が現れた。本シンポジウムでは、日中両国のメディアの様々な表現形態を比較研究することを目的に日中双方の学者によって、文学、テレビドラマからEラーニング、経済まで幅広い分野での発表が行なわれた
59	「意味の夜明け -The dawn of meaning-」展	北京東京藝術工程	06.09.10～ 06.10.08	アーティストでもある吉田暁子氏をオーガナイザーに迎え、日中の若手アーティストの作品により構成する展覧会
60	京論壇	北京大学SICA京論壇組織委員会	06.09.10～ 06.10.01	東京大学と北京大学の学生による討論を中心とした合宿形式の共同事業。参加学生は面接を通し選抜された。英語を用いた議論でのテーマは、「安全保障」「歴史」「環境」「経済」
61	北京大学第3回国際文化祭日本ブース出展	北京大学国際文化祭日本ブース実行委員会	06.10.28～ 06.10.28	世界各国から北京大学に留学している留学生が、屋外に設けられた自国のブースで文化を紹介、互いのブースを訪問しあって交流を深めた。会場の中央にはメインステージが設けられ、民族音楽、舞踊など様々なパフォーマンスが行なわれた
62	演劇公演《夜行動物》	三十路組	06.11.02～ 06.11.05	1996年に北京公演が行なわれた同作品の香港公演。また、公演に先立ち合わせて日本の小劇場演劇に関する講演会も開催
63	湖南省高等教育学会第3回日本語コンクール	湖南省高等教育学会	06.11.04～ 06.11.05	湖南省全体の日本語教育の振興とレベルの向上を目指し、地域における日本語教育関係者のネットワーク構築、日本語学習者の創造性と主体性の育成を目的として、スピーチコンテストの他、作文コンテスト、日本文化紹介、講演活動などを行う。JICA中国事務所、日本大使館、湖南省日本人会が後援。湖南地区の13の高等教育機関、5つの中等教育機関が参加
64	第20回広州地区大学生日本語弁論大会	広東外語外貿大学	06.11.18～ 06.11.18	在広州日本国総領事館、広州日本商工会、及び広東外語外貿大学の共催で、23名の代表者が出場。第一部には、大学入学以前からの学習者、第二部には大学入学後からの学習者が出場した。弁論テーマは、日中関係、環境保護、両親との関係、友情、愛情、動物愛護、エイズ、アニメ等多岐にわたった
65	北京日本人学校・北京市月壇中学第19回国際交流弁論大会	在中華人民共和国日本国大使館附属北京日本人学校	06.12.02～ 06.12.02	お互いの相手国の言語で弁論を発表し合うことで、語学力はもとより、表現力、課題解決能力を高め、また、交流活動を展開することによって、国際性を涵養することを目的に行なわれる弁論大会。代表弁士両校6名ずつが、お互いの国の言語で弁論を行ない、生徒は聴衆として参加、また、全体での国際交流活動も行なう。北京日本文化センターからは賞品を提供

	事業名	対象機関	期間	事業内容
66	『国際貿易実務』教材制作	深セン職業技術学院 外語学院	06.12.05～ 06.12.31	現在、各大学の日本語専攻課程ではビジネス日本語に関する授業が設けられているが、使用教材は会話偏重のものが多く、ビジネスに関する内容も系統化して教えられてはいない。そこで、本教材では実務知識の解説に重点を置き、国際貿易の概況、貿易実務の専門用語、国際貨物輸送、海上運送保険、WTOなどからなる11章を設け、学生にこれらの知識を確実に習得させることを目的に編纂。
67	厦門大学第1回日中 学術国際シンポジウム (日知／小規模助成)	厦門大学日本研究所	06.12.07～ 06.12.10	日中学術交流の促進のために、開かれるシンポジウム。両国の語学、文学、経済、法律及び未来の友好交流のあり方に関わる諸問題について検討するために、日本から20名余りの学者を招き、国内からも多数の学者や有識者が参加する。同時に、学内で学生団体による日本文化祭(日本文化、日本映画、舞台化された漫画などを紹介するイベント)を行った
68	『日本語会話への挑戦・入門編(上)』教材制作	淮海工学院外国語学部	06.12.12～ 07.03.30	大学1年生用の会話教材を制作する。音声教材は日本人の声優、俳優等に依頼し、日本人教師が校正を担当する
69	DELTA2006広州 中日交流会	DELTA	06.12.15～ 06.12.15	広州に留学中の日本人留学生と中国人の日本語学習者による文化交流イベント。ゲームや交流の時間を設け、知り合う機会を提供。留華ネット広州市代表メンバーが中心となって計画、実施した
70	大連日中文化交流事業 (餅つき大会)	大連留学生社団	07.01.15～ 07.01.15	日本人留学生と中国人学生の「餅つき」を中心に、伝統的な正月の遊びを中国人学生に体験してもらったり、参加者全員で日本のお正月に関する○×クイズに参加したりすることで、相互理解、交流を更に深めることを目的として開催
71	中国新農村建設に向けた訪日研究 (日知／小規模助成)	中国社会科学院社会 政策研究中心	07.03.18～ 07.03.25	中国の農村の社会経済発展のモデルの一つとするために、中国社会科学院社会学研究所の研究者3名が、1週間にわたり日本の農協について訪日調査を行った。一行は、福岡市、八女市で地方農協の実施調査を行った他、東京において農林中金や関係省庁及び研究者と懇談を行った
72	「経済グローバル化と日中間の経済協力」シンポジウム (日知／小規模助成)	暨南大学日本経済研究中心	07.03.24～ 07.03.26	暨南大学日本経済研究中心が主催するシンポジウム。日中両国の学者、研究者が参加、「産業発展と企業協力」「金融と投資」などのサブテーマについて討論を行ない、中国における両国企業の共存環境をより良くするための方策を模索した
	【後援事業】			
73	中日友好文化交流節 (日本フェア)	成都アスカ文化交流 有限公司	06.05.17～ 06.05.21	四川省成都市において、日中両国の文化交流を目的とし、日本文化、日本企業及び製品の紹介、また日本の観光地の紹介などを行なった。具体的には、日本食の試飲試食会や茶道・華道の実演、空手・剣道の実演等。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
74	「盲導犬小Q家族到北京来了」(盲導犬クイールの家族、北京へ来る)	中国盲人協会	06.06.09～ 06.06.09	盲導犬のデモンストレーションや障害者との交流をはじめ、障害者による文化イベントなどのアトラクションを通し、中国における盲導犬への理解と障害者の自立の支援、及び道路交通法の遵守などの啓蒙活動を行った。
75	第3回全国小学校日本語教師研修会 (ジュニア専門家／瀋陽)	遼寧省基礎教育教研 培训中心	06.08.12～ 06.08.19	第1回または第2回研修会の参加経験者で、各地域または各学校の日本語教育において中心的役割を果たしている小学校教師を対象に、小学校の日本語教育の目的や意義を確認しながら、素質教育の一環としての日本語教育、総合運用能力を身につけるための日本語教育のあり方を考え、また、教師自身の日本語力、文化理解力、教授力の強化を図り、マスター・ティーチャーを育成すること、在中国の日本人および日本の学校関係者(小学校)との交流の場をつくり、今後の交流につなげることを目的に開催された研修会。
76	大連中学校日本語教師研修会	財団法人 国際文化 フォーラム	06.08.20～ 06.08.24	大連市の中学校日本語教師で、第2外国語としての日本語を担当している、もしくは2006年9月の新学期より担当する教師30名を対象に、中学校における第2外国語教育(日本語教育)の目的や意義を確認しながら、課程標準が提唱する新しい教育理念、教育方法を導入、素質教育の一環としての日本語教育、総合運用能力を身につけるための日本語教育のあり方を研修生とともに考えることを主目的に行なわれた研修会。鳴海ジュニア専門家が講師として出講した
77	大江健三郎氏特別講演会「魯迅、中国、私」	北京日本人会、中国 日本商会	06.09.14～ 06.09.14	中国社会科学院の招へいにより同氏が中国を訪問するにあわせ、北京日本人会と日本商会が共催した講演会。北京日本文化センターは広報及び実施経費の一部に協力を行った
78	音楽深呼吸-Hao恵 芬現代芸術展	北京旅日芸術家聯誼 会	06.10.14～ 06.10.21	日本でも展覧会開催経験がある画家、Hao恵芬氏の展覧会。多目的ホールを会場として提供
79	『素顔の日本』写 真・水墨画展	特定非営利活動法人 日中文化・経済交流 機構	06.10.23～ 06.10.27	中国人画家、書道家、写真家が日本の各地を訪ね、その体験や感動を表した作品の展示会。多目的ホールを会場として提供
80	2006北京・日本 映画祭	「2006北京・日 本映画祭」実行委員 会	06.11.18～ 06.11.24	日本映画祭。11作品の集中上映、座談会などを行った。JAL、トヨタ、富士通、北京ビールなどが協賛した。
81	2006年日本語作文ス ピーチコンテスト	広島大学北京研究セ ンター	06.11.18～ 06.11.18	中国における日本語教育の成果を発表する機会提供、また、日中文化交流(異文化コミュニケーション)及び日中翻訳文化形成に寄与することを目的に開催される、日本語作文スピーチコンテスト。財団法人異文化コミュニケーション財団などが協賛。北京日本文化センター後援

	事業名	対象機関	期間	事業内容
82	第10回日中子供将棋大会	北京日本人会	06.12.09～ 06.12.09	日本の将棋を通して日中の子供たちの交流を図ることを目的とした大会。最近の将棋ブームを反映し年々参加者は増加、特に教育に良いということで、中国の両親は熱心に応援。参加賞、敢闘賞など全員に授与した。全日本航空公司、三菱電機(中国)有限公司、弘電社機電(北京)有限公司協賛。
83	林江東現代芸術展	中国帰国華人芸術家協会	06.12.09～ 06.12.15	日本滞在経験のある林江東氏の作品の展覧会。多目的ホールを会場として貸出した
84	曜変天目一林恭助陶芸展	北京万博企画文化有限公司	07.03.18～ 07.03.26	日本の陶芸家、林恭助氏の個展。中国の福建省で始められた技法を用いた陶芸作品の展覧会
	【会場提供】			
85	北京日本語教師会杯日本語発表会	北京日本語教師会	06.04.01～ 07.12.01	月1回、日本語学習者のためのカラオケ大会、クイズ大会、朗読大会等の催し物を北京日本文化センター多目的ホールにて開催
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
86	中国人民大学附属中学文化祭	中国人民大学附属中学	06.05.16～ 06.05.16	中国人民大学附属中学(中学部、高校部)において、昼休みを利用して行われた外国文化紹介イベント。日本以外では、ドイツ、スペイン、フランス韓国などの文化も紹介
87	第3回日本フランス文化祭		06.05.24～ 06.06.14	日本、中国、フランス、3カ国の文化についての理解、相互の交流を深めることを目的に開催される文化祭。ポスター展や講演、演劇、茶道実演などを行った。北京日本文化センターからはポスター、浴衣などを貸し出した。
88	中国人民大学「桜会」新メンバー募集イベント	中国人民大学「桜会」	06.09.20～ 06.09.20	中国人民大学の日中交流学生サークル「桜会」が、新学期に際し、新メンバー募集のため、日本文化や日頃のサークル活動の紹介などを行なった。北京日本文化センターからは浴衣を貸出した。
89	中央民族大学外国語学院文化祭シリーズ-日本文化祭	中央民族大学外国語学院	06.10.16～ 06.11.22	同大学外国語学院成立50周年の記念イベントの一環として、日本語学部の主催で文化講座、日本語スピーチコンテスト、アフレコ大会、華道デモンストレーションなどが行われた
	【その他】			
90	北京理工大学外国語学部文化祭(池坊華道講演)	北京理工大学人文学院学生会	06.05.12～ 06.05.12	北京理工大学の文化祭において、池坊北京支部から華道の講師を迎え、講演会、デモンストレーション及び生け花体験を行った

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
91	阜新市小中学校日本語教師研修会（教師認定研修会）	遼寧省基礎教育教研培训中心	06.07.16～ 06.07.19	阜新市の小学校・中学校に勤務する教員免許を有しない日本語教師各20人～25人を対象に、教師認定を目的に基礎教育教研培训中心と阜新市教師進修学校が主催した研修会。課程標準など教師に必要な知識に関する講義を中国人講師が、日本語教授法に関する講義、教師自身の日本語レベルアップのための講義を鳴海・吉田両ジュニア専門家が担当した
92	中南民族大学弁論大会（読後感想会）	中南民族大学	06.11.02～ 06.11.02	中南民族大学外国語学院で行われた読書感想文発表会。北京日本文化センターからは賞品として教科書や辞書等を提供

ジャカルタ日本文化センター

合計額 80,898,470円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	生け花展覧会	生け花インター ナショナル	アリアホテル	06.04.20～ 06.04.21	アリア・ホテルにおいて生け花の展覧会を実施した
2	浮世絵ワーク ショップ		ジャカルタ日本 文化センター	06.06.12～ 06.06.15	ジョグジャカルタ在住の美術家エディ=プラバンドノの浮世絵ワークショップを開いた。また、同時に創作浮世絵展を開催した
3	廣田緑 マニラ における展覧会	国際交流基金マ ニラ事務所	グリーン・パバ イア	06.07.28～ 06.08.15	ジョグジャカルタ在住の廣田緑(造形美術作家)が、マニラ事務所の招聘でフィリピンで展覧会を開催するにあたり、作品輸送に関し協力をを行った
4	IKETERU HARAJUKU ファッション ショー+展覧会	Femina、Oチャ ンネル	ジャカルタ日本 文化センター	06.09.15～ 06.09.29	ファッションの街「HARAJUKU」をテーマにしたファッション・デザインを、ジャカルタおよびバンドンのデザイナーより公募し、審査に通った優秀者20名の作品によるファッション・ショーを展覧会オープニングとして行うとともに、同20作品によるファッションの展覧会を開催した
5	日本の世界遺産 展		ジャカルタ日本 文化センター	06.11.01～ 06.11.14	ジャカルタ日本文化センターが所蔵している写真パネル「日本の世界遺産」(写真家三好和義作品) 59点を展示した
6	ネオ・ピオン ミユキ&ニア陶 芸展		ジャカルタ日本 文化センター	06.11.18～ 06.12.01	若手芸術家支援プログラム「ネオピオン」の一環としてジャカルタ日本文化センター内ギャラリーミニにて「裏庭へ遊びにおいでよ MIYUKI & NIA 陶芸インスタレーション展」をするとともに、陶芸制作のワークショップを行った
7	ネオ・ピオン ムハンマド・ナ フィス		ジャカルタ日本 文化センター	06.12.08～ 06.12.22	若手芸術家支援プログラム「ネオピオン」の一環として、センター内ミニギャラリーにて「SCULPTURE from Junk ムハンマド=ナフィス造形展」を開催した
8	第11回日イ児童 画展	ジャカルタジャ パンクラブ・ ジャカルタ日本 人学校他	ジャカルタ日本 文化センター	07.02.22～ 07.02.28	首都圏地域の幼稚園児から中学生を対象に「私の森」をテーマに作品を募集し優秀作を展示する第11回日イ児童画展を実施した。同時に首都圏の養護学校とジャカルタ日本人学校からも同じテーマで作品を集め展示した

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
9	舞台技術ワークショップ報告会		ジャカルタ日本文化センター	06.04.12～ 06.04.12	2006年3月にフィリピンにて開催された舞台技術者ワークショップに参加した、テアトル・ギャラシのチリン氏による帰国報告会を開催した
10	コンテンポラリー・ダンスインドネシアツアー	Pacel Production	LIP RDBT TIM テアトル・クチール タマン・ブダヤ・スラバヤ	06.05.08～ 06.05.21	日本のコンテンポラリー・ダンサー竹屋啓子氏がインドネシア国内5カ所を巡回し、ソロ作品の他日本舞踊家との共演作品の公演を行った
11	Wigardha P. Adishaktiピアノコンサート		ジャカルタ日本文化センター	06.05.12～	日本にも留学経験があるウィガルダ=アディシヤクティのピアノソロコンサートを行い、ファイナル・ファンタジーのテーマ曲のほか、ジャワの伝統音楽を演奏した
12	テアトル・マンディリ協力事業	テアトル・マンディリ	TIMグラハ・バクティ・ブダヤ	06.06.17～ 06.06.18	インドネシアを代表する劇団の一つテアトル・マンディリが、カイロ実験演劇祭で上演した作品の発表を行った
13	テアトル・カミ青年団戯曲上映		ジャカルタ日本文化センター	06.06.29～ 06.06.30	劇団カミが、「コトバと読む身体たちの饗宴～平田オリザ短編戯曲集～」のインドネシア語翻訳劇を上演した
14	青年団公演	青年団	ゲーテ・ハウス	06.07.06～ 06.07.07	ジャカルタで「東京ノート」の公演を開催した。公演の他にも、舞台美術のワークショップ、平田オリザによる「静かな演劇」に関するワークショップも開催した
15	日本パフォーマンス・アートフェスティバル	Ronald Apriyan	ネオンホール 森下スタジオ 石上寺 日本陶磁器センター	06.07.14～ 06.08.01	インドネシアのパフォーマンス・アート芸術家 Ronald Apriyanが、日本パフォーマンス・アート・フェスティバルに参加するにあたり、渡航費の一部を協力した
16	能ワークショップへの協力	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	07.02.09	能楽師の赤松禎英他による「羽衣」および「石橋」の公演及び能の歴史や楽器の説明などのレクチャーを実施した
17	ネオ・ピオンコンテンポラリーダンス準備経費			07.03.15～ 07.03.31	平成19年度初頭に開催されるダンス公演の事前広報を行った
18	こんにゃく座公演準備経費			07.03.20～ 07.03.30	平成19年度に予定されているこんにゃく座公演の台本翻訳を実施した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【講演・シンポジウム】				
19	ナショナル大学 セミナー	ナショナル大学		06.04.18～ 06.04.18	ナショナル大学日本研究センターが当地に滞在する会社員・日本人研究者を招いて行なった講演会に、当センターが共催として参加した
20	アル・アズハル 大学 日本研究 センター開所式 日本研究セミ ナー支援	アル・アズハル 大学	アル・アズハル 大学	06.04.20～ 06.04.20	アル・アズハル大学で新たに日本研究センターが開設されることになり、開所式と共に講演会が行なわれた
21	ASJI支援	インドネシア日 本研究協会、在 インドネシア日 本大使館	インドネシア大 学日本研究セン ター	06.06.08～ 06.06.08	各種奨学金を得るための申請書の書き方に関するセミナーを開催した
22	Al-Azhar大学 一日セミナー	アル・アズハル 大学	アル・アズハル 大学	06.08.10～ 06.08.10	イスラム知識人によるレクチャーシリーズの一つとして、ムハマディア党首のディン・シャムスディン氏をアル・アズハル大学に招いて講演会を行なった
23	小山裕久 日本 料理レク チャー・デモン ストレーション	basaraジャカル タ店	basaraジャカル タ店	06.09.18～ 06.09.18	小山裕久（日本料理専門家）がインドネシアを来訪するにあわせ、料理学校の学生、日本食レストランの料理人など80名程度を対象に、レクチャー・デモンストレーションを開催した
24	スラバヤ国立大 学一日セミナー	スラバヤ国立大 学	スラバヤ国立大 学	06.11.11～ 06.11.11	日本とインドネシアの比較アプローチによる日本研究セミナーを実施した
25	松風華道会生け 花レクチャー・ デモンストレー ション		ジャカルタ日本 文化センター	06.11.17～ 06.11.17	ジャカルタに新しく支部を開いた松風華道会の師範により、生け花のレクチャー・デモンストレーションを実施した
26	日本研究ワン デーセミナー		メリディアン・ ホテル	07.02.03～ 07.02.03	五百頭旗真（防衛大学学長）を招へいし、「アジアの近代化と日本」と題した講演会を実施した。また、このセミナーにあわせて、インドネシア各地に存在する日本研究センター代表者会議を実施し、各センターの情報交換および今後の連携について協議した
	【映画】				
27	映画上映会		ジャカルタ日本 文化センター	06.04.01～ 07.03.31	ジャカルタ日本文化センター所蔵の字幕付日本映画の上映会を実施した
28	シネマキャラバ ン(ジョグジャ)	現地町内会、市 民団体 「Gerakan Jogja Bangkit」	Manira Asumpta中学 校 チャンクリン村 マンディンガン 村	06.07.25～ 06.07.28	2006年5月27日の中部ジャワ地震で最も被害の大きかったバントウル県とクラテン県を開催地を選び、7月26日より毎日開催場所を替えて、日本映画上映会および日本文化紹介のワークショップを3日間実施した

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
29	東京国際映画祭参加への協力 (Edwin)			06.10.21～ 06.10.29	東京国際映画祭の「Tokyo Project Gathering」に招聘されたインドネシア人映画監督エドウィンに対し、渡航費の協力を行った
	【日本語教育】				
30	ジュニア専門家会議		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	インドネシア各地に派遣されている6名のジュニア専門家がジャカルタに集まり、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告会、および今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する討議を実施。
31	派遣専門家会議		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	インドネシアの高等教育機関に派遣されている4名及びジャカルタ日本文化センター向け派遣の3名の日本語教育派遣専門家がジャカルタに集まり、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告会、および高等教育レベルにおける業務方針に関する討議を実施。その他、各種業務で出張した
32	インドネシア日本語教育学会支援	インドネシア日本語教育学会	ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	インドネシアにおける日本語教育の発展に資する助言を適宜学会に行った
33	高校日本語教師会支援		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	高校日本語教師会からの各種照会、相談に対し、随時対応した
34	高校日本語教師会支援（ジャボデタベック）	ジャボデタベック地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
35	高校日本語教師会支援（北スマトラ）	北スマトラ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
36	高校日本語教師会支援（西スマトラ）	西スマトラ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
37	高校日本語教師会支援（西ジャワ）	西ジャワ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
38	高校日本語教師会支援（中部ジャワ）	中部ジャワ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
39	高校日本語教師会支援（東ジャワ）	東ジャワ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
40	高校日本語教師会支援（バリ）	バリ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
41	高校日本語教師会支援（北スラウェシ）	北スラウェシ地区日本語教師会	各地高校校舎	06.04.01～ 07.03.31	日本語教師会所属の教諭の日本語能力及び日本語教授能力を改善し、教諭間の情報交換を円滑に行なうために、日本語教師会（MGMP）が中心となって定期的に会合を開いた
42	中等教育機関主催日本語事業支援		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	中等教育機関からの各種照会、相談に対し、随時対応した
43	一般日本語講座運営		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	一般向け講座3講座及び教師向け講座を開講した
44	教員向け日本語講座運営		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	一般向けの日本語講座とは別に、日本語教員向けに特化した日本語講座を実施した
45	普通高校新カリキュラム準拠教材開発プロジェクト	インドネシア教育省	ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金本部事業として作成している当地普通高校用日本語教科書作成プロジェクト。教育省と当センターの協力で制作した
46	テレビ日本語講座		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	当センター日本語講師が中心となり、教材を作成した
47	インドネシア日本語教育学会支援（スラウェシ）	インドネシア日本語教育学会スラウェシ支部	ハサスディン大学	06.04.01～ 06.06.30	当地の授業で利用されることの多い日本語教科書『みんなの日本語』の効果的な利用方法についての研究会が実施された
48	日本語弁論大会（高校生向け）全国大会	インドネシア国家教育省初等中等教育局	ジャカルタ日本文化センター	06.04.02～ 06.04.02	教育省の認可組織である高校日本語教師会（MGMP）の存在する8地域で地方大会を実施し、各地の上位入賞者13名を集めて、全国大会を実施
49	南スラウェシ州大学教師向け研修会	ハサスディン大学	ハサスディン大学	06.04.04～ 06.04.08	ハサスディン大学にて、南スラウェシ州の日本語教師を対象に日本語運用能力及び教授法向上を目指す研修会
50	日本語弁論大会（一般向け、ジャボタベック地区）		ジャカルタ日本文化センター	06.05.20	日本語弁論大会全国大会の地区予選（ジャボタベック地区）、当該地区から3名が全国大会へ出場する

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
51	日本語弁論大会 (一般向け、東ジャワ州)	元日本留学生協会東ジャワ支部、在スラバヤ日本総領事館	スラバヤ国立大学	06.05.21～ 06.05.21	日本語弁論大会全国大会の地区予選(東ジャワ州)、当該地区から2名が全国大会へ出場する
52	日本語弁論大会 (一般向け、西ジャワ州)	パジャジャラン大学文学部日本語日本文学科	パジャジャラン大学	06.05.23～ 06.05.24	第32回日本文化祭を開催し、弁論大会(スピーチコンテスト)のほかに、漢字、かな、作文、習字、クイズ、聴解、朗読等のコンテストが行われた。スピーチコンテストの上位入賞者2名は、7月に行われる日本語弁論大会全国大会に出席する
53	日本語弁論大会 (一般向け、中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州)	ガジヤマダ大学	ガジヤマダ大学	06.05.23～ 06.05.24	日本語弁論大会全国大会の地区予選(中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州)、当該地区から2名が全国大会へ出場する
54	日本語弁論大会 (一般向け、バリ州)	スワダヤ大学	スワダヤ大学	06.05.28～ 06.05.28	日本語弁論大会全国大会の地区予選(バリ州)、当該地区から1名が全国大会へ出場する
55	日本語弁論大会 (一般向け、スマトラ州)	北スマトラ大学	北スマトラ大学	06.05.28～ 06.05.28	日本語弁論大会全国大会の地区予選(スマトラ州)、当該地区から2名が全国大会へ出場する
56	日本語弁論大会 (一般向け、スラウェシ州)	スラウェシ州日本語弁論大会実行委員会	マナド国立大学	06.06.15～ 06.06.15	日本語弁論大会全国大会の地区予選(スラウェシ州)、当該地区から1名が全国大会へ出場する
57	インドネシア日本語教育学会支援(中部ジャワ)	インドネシア日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部	ジョグジャカルタ工科大学	06.06.15～ 06.06.15	コンピュータを日本語教育にいかに応用するかをテーマに、一日セミナーを実施した
58	インドネシア日本語教育学会支援(東南アジアサミット)	インドネシア日本語教育学会、パジャジャラン大学	パジャジャラン大学	06.06.23～ 06.06.24	東南アジア各国で日本語教育が実践されているものの、情報交換が乏しいため、各国の日本語教育者を集めて情報交換・日本語教育研究発表を行なうことを企図し、当該事業を行なった
59	日本語弁論大会 (一般向け、全国大会)	元日本留学生協会	ホテル・サリ・パシフィック	06.07.08	大学生と社会人を対象とする全国規模の弁論大会、各地方大会(7地区)で優秀な成績を修めた14名を招聘して全国大会を実施
60	第1回普通高校/宗教高校日本語基礎研修	教育省語学教師研修所	ジャカルタ教育省語学教師研修所	06.07.13～ 06.07.26	ジャカルタ首都圏、西ジャワ、南カリマンタンの普通高校及び宗教高校の日本語教師を対象に日本語運用能力及び教授法能力の向上を目指す研修会をおこなった

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
61	インドネシア日本語教育学会支援（ジャボタベック）	インドネシア日本語教育学会 ジャボタベック地区	ジャカルタ日本文化センター	06.08.05～ 06.08.05	日本語中級教授法の知識を深めることを目的に、一日セミナーを実施した
62	普通高校/宗教高校日本語教師継続研修	教育省語学教師研修所	ジャカルタ教育省語学教師研修所	06.09.06～ 06.09.19	ジャカルタ首都圏、西ジャワ、中部ジャワ・ジョグジャカルタ、北スラウェシ、南カリマンタンの普通高校及び宗教高校の日本語教師を対象に日本語運用能力及び教授法能力の向上を目指す研修会をおこなった
63	インドネシア日本語教育学会支援（東ジャワ）	インドネシア日本語教育学会東ジャワ・バリ支部	アイルランガ大学	06.09.16～ 06.09.16	日本研究コースが新設されたアイルランガ大学で、日本語一日セミナーを実施した
64	パプア高校生事業		ジャカルタ日本文化センター	06.10.21～ 06.10.21	パプア州と山形県の姉妹都市交流事業の一環で、パプア州が地元の高校生20名を山形に2週間派遣し、ホームステイをしながら山形の高校にも通学させるという3年プロジェクトの2年目の事業を実施するにあたり、パプア州の派遣団の一行が山形出発前に当センターに立ち寄ったので、当センターで日本（山形）紹介、基金事業紹介、日本語（山形弁）講座、日本食体験などを実施した。
65	漢字カップ	在スラバヤ日本総領事館、元日本留学生協会東ジャワ支部、国際相互活動センター、じゃすみん	セクレタリ・ウィディア・マングラ大学	06.11.01～ 06.11.30	東ジャワ地区で実施されている「漢字カップ」に当センターも支援した。これは、東ジャワ地区の大学生を中心に日本語能力に関するコンテストを実施し、日ごろの勉学の成果を競うものである
66	第2回普通高校/宗教高校日本語教師基礎研修	教育省語学教師研修所	ジャカルタ教育省語学教師研修所	06.11.14～ 06.11.28	東ジャワ、中部ジャワ・ジョグジャカルタ、西スマトラの普通高校及び宗教高校の日本語教師を対象に日本語運用能力及び教授法能力の向上を目指す研修会をおこなった
67	日本語能力試験	元日本留学生協会	各地大学等	06.12.03～ 06.12.03	日本語能力試験は、インドネシア国内7カ所で開催しているが、そのうちジャカルタでの実施について元留学生協会との共催で行った
68	インドネシア日本語教育学会支援（西ジャワ）	インドネシア日本語教育学会西ジャワ地区	インドネシア・コンピューター大学	06.12.09	会話基礎教授法に関し、集中的に一日セミナーを実施し、日本語教育専門家も出講した。また、学会誌『和』の発刊に協力した
69	インドネシア日本語教育学会支援（スマトラ）	インドネシア日本語教育学会スマトラ支部	北スマトラ大学	06.01.27	学会研究発表にあわせて行われたワークショップに対し、日本語教育専門家が出講して協力した。また、この機会を利用し、同地の日本語教育状況の調査も行った

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
70	日本語履修高校生進路相談フェア		ジャカルタ日本文化センター	07.02.01～ 07.02.12	高校生の日本語学習奨励を目的としたイベント。日本語学科を有する大学がブースを設け、日本語を勉強している高校生に対し、進学について相談を受けた。他に日本文化紹介イベントとして浴衣の着付と、盆踊りの体験プログラムが設けられた
	【図書館運営】				
71	図書館運営（図書、新聞、雑誌購入費）		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	年間来訪者22,081名、資料数32,351点、会員数は1,495名。水曜日以外の平日午前9時半より18時、奇数週土曜日の午前9時より12時半まで開館している
	【出版・広報】				
72	ジャーナル MANABU			06.04.01～ 07.03.31	日本研究成果を世界に発信することを目的とし、英語で記述された論文を全インドネシアから原稿を集めてジャーナルを刊行した
73	NUANSA			06.04.01～ 07.03.31	ジャカルタ日本文化センターの催しや関係者のエッセイを掲載した広報媒体NUANSAを、隔月に発行した
74	EGAO			06.04.01～ 07.03.31	日本語教育関係者への情報支援のために、基金助成プログラムや教授法のアイデアなどを掲載した「Egao」を四半期ごとに1,500部発行し、関係者に配布した
75	ウェブサイト運営			06.04.01～ 07.03.31	平成17年度に内容を改訂したウェブサイトを引き続き運営し、広報強化に努めた
76	広報一般			06.04.01～ 07.03.31	ジャカルタ日本文化センターの名前をよりインドネシア国内で広げるために、事業の際に頒布するボールペン、布バッグなどのグッズを作成した
77	イスラム知識人講演会 冊子出版			06.04.01～ 07.03.31	当地イスラム知識人の日本に関する講演会及び執筆を冊子にまとめ、各地に頒布した
78	記者懇談会経費			06.04.01～ 07.03.31	ジャカルタ日本文化センターの活動をメディアを通じてより多く広報するために、マスコミ各社との懇談の機会を設け、事業説明を行った
79	エッセイコンテスト	インドネシア文学者協会		06.10.01～ 07.02.02	インドネシア文学者協会の協力を得て、高校生及び大学生による日本に関するエッセイコンテストを開催した
80	プログラムガイドライン関連経費			06.08.01～ 06.12.01	インドネシア向け公募事業を広報するために、インドネシア語版の公募プログラムガイドラインを作成した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【教室事業】				
81	スクールビジット		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	首都圏地域の高校大学その他教育機関より学生らの訪問を受け入れ、基金の活動を紹介するとともに、図書館見学や折り紙等の日本文化実演、日本映画鑑賞などを実施した
82	囲碁教室関連経費		ジャカルタ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	ジャカルタ在住の囲碁愛好家や囲碁を学んでみたいという人たちのために、毎週金曜日16：30～20：00まで囲碁サロンを開催した
83	生け花教室	生け花インターナショナル	ジャカルタ日本文化センター	06.05.19～ 06.09.01	小原流の免状を取得しているインドネシア人師範による、初心者向けの生け花教室を実施すると共に、生徒の作品の展覧会を実施した
84	4カ国対抗囲碁大会	日本棋院・じゃかるた新聞社・日本人会囲碁将棋クラブ・インドネシア囲碁組織・韓国囲碁協会他	ジャカルタ日本文化センター	06.12.08～ 06.12.10	日本棋院の重野由紀2段を審査委員長に招き、インドネシア人・日本人・中国人・韓国人囲碁愛好家による4カ国対抗国際親善囲碁大会を開催した。また、囲碁愛好家の底辺の拡大を目指し、インドネシアの若者向けに囲碁教室を実施した
	【その他】				
85	各種文化備品貸し出し			06.04.01～ 07.03.31	ジャカルタ日本文化センターが所蔵している日本文化紹介の文化備品、フィルム・ライブラリーのインドネシア字幕付フィルムを外部団体に貸し出した

バンコク日本文化センター

合計額 86,306,303円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	「ポスターに見る日本」展	チェンマイ大学 芸術学部	チェンマイ大学 芸術学部 バンコク日本文化センターアートスペース	06.04.20～ 06.05.28	本部巡回展「ポスターに見る日本」展“Discover Japan through Contemporary Posters”、現代日本のデザイナーによるポスター作品75点を展示した
2	小林聡子アート展「Fragments/Chiangmai」		バンコク日本文化センターアートスペース	06.08.10～ 06.08.30	2005年夏から1年間の予定で文化庁在外研修プログラムによりチェンマイに滞在した小林聡子氏によるインスタレーション作品の展覧会。チェンマイでの日常生活のなかでインスピレーションをえて制作した最新作ばかりを展示した。
3	岩井成昭作品展「食卓の時間」		バンコク日本文化センターアートスペース	06.09.12	国内外で知名度の高い現代アーティストの岩井成昭和氏の作品展を行った。内容は、暗い室内で三つのテーブルの上に食器を配し、その真上から映像と音をくみあわせる総合インスタレーション
4	バツマ・ケオゴーク作品展「田舎の土」		バンコク日本文化センターアートスペース	06.10.05～ 06.10.28	陶芸の本場伊賀で2年間修行し、現在はバンコクを拠点に創作活動をつづけるバツマ氏による現代感覚あふれるセラミックアート展
5	FT3Dアート展		バンコク日本文化センターアートスペース	06.11.02～ 06.11.30	タイの現代アートシーン最前線を疾走するトップランナー3名（タウィーサク・シートンディー、デー・ブアサーン、チャックリット・チムノーク）によるグループ展「FT3D」を開催した
6	子ども俳句コンテスト	日本航空	バンコク日本文化センターアートスペース	06.12.01～ 06.12.15	日本航空及び日航財団が1964年より世界各地で行っている「世界こどもハイクコンテスト」の一環として、タイで同コンテストを実施した。テーマは「家（House）」
7	百人一首レクチャーデモンストラーション	クルンテープかるた会（共催）、全日本かるた協会（後援）	バンコク日本文化センターホール、アートスペース	07.01.10～ 07.01.30	かるたのレクチャーデモンストラーション。小倉百人一首の歴史や、かるた遊びを紹介するレクチャー、現役トップクラス2選手による競技かるたの実演、観客が参加できるかるたゲームを実施した。また明治時代の百人一首や、ドラえもん、ポケモンかるたなど現代の各種かるたなどの展示もあわせて開催した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
8	Sarawut Art Exhibition		バンコク日本文化センターアートスペース	07.02.08～ 07.03.03	The Installation Series of Untitled 2007 と名付けた現代アート展。Sarawut Chutiwongpeti氏は、1999年度国際交流基金本部の芸術家フェローシップとして6か月間日本に滞在した。その後欧米で活躍し、久々にタイにもどり、今回の新作個展を開いた
9	板倉敬子アート展 (バンコク国際アートフェスティバル)	Bangkok International Art Festival	Playground Gallery、Children's Discovery Museum	07.02.23～ 07.03.18	タイや日本、イタリア、ブラジル、米国、英国などのアーティストが参加し、市内各所で多彩なアートイベントをくりひろげる国際的なアートフェスティバル。日本からは若手有望株のグラフィックデザイナー板倉敬子氏が来タイし、同フェスティバルの一環として、作品展と児童むけ絵画指導ワークショップを開催した。
10	現代日本の陶磁器展	国立美術館、チェンマイ国立博物館	国立美術館、チェンマイ国立博物館	07.03.02～ 07.04.26	日本の陶芸界において中堅的な位置を示し、その中でも近年注目すべき活躍を示している作家たちの作品約70点を紹介する展覧会。伝統的な焼き物の産地にあつて、「器」をテーマに様々な形態で新しい陶芸を創り出そうとする作家たちの作品を紹介。
11	写真展「アジアの子どもたち」		バンコク日本文化センターアートスペース	07.03.08～ 07.03.29	写真家トガシツトム氏によるアセアン10か国の子どもの日常をテーマにした写真60点あまりを展示した。アセアンジャパンセンターが後援
	【公演】				
12	青年団 (平田オリザ「東京ノート」公演)	青年団	チュラロンコン大学付属劇場	06.06.15～ 06.06.26	日本を代表する現代演劇グループのひとつである青年団 (平田オリザ主宰) による『東京ノート』のバンコク公演。公演3回その他、公演中日の24日(土)には平田オリザ氏によるアフタートークを実施した
13	ハウス・コンサート		バンコク日本文化センターホール	06.07.15	当センターが行うハウスコンサート (自前の会場でおこなう音楽会)。2006年度は、箏、フルート、ピアノの共演によるコンサートを開催した
14	和太鼓公演		タイ文化センター大ホール チェンマイ国際園芸博覧会	07.01.11～ 07.01.17	日タイ修好120周年の幕開けイベントとして、1月16日、東京打撃団と炎太鼓の競演コンサートを実施した。冒頭周年開会式典があつた。また、1月13日、チェンマイ国際園芸博覧会会場で、日本週間幕開けイベントとして、式典のあとに東京打撃団のみによる演奏会を実施した
	【講演・シンポジウム】				
15	児童読書推進セミナー	Books for children Foundation	シリキット・コンベンションセンター	06.07.03～ 06.07.10	日本から2名の講師 (松居直・日本国際児童図書評議会会長、杉田いづみ・ブックスタートプロジェクト責任者) を招き、タイおよびラオスで児童読書推進活動についてのセミナーを開いたほか、図書館の訪問や関係者との意見交換を行った。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
16	広域活動強化事業（児童読書推進セミナー）	Books for children Foundation	ピエンチャン市教育局会議室	06.07.05	タイで行った「児童読書推進セミナー」の講師（松居直・日本国際児童図書評議会会長、杉田いづみ・ブックスタートプロジェクト責任者）をラオスに派遣し、日本の絵本についてのセミナー、ラオス国立図書館の訪問や関係者との意見交換を行った
17	フェローセミナー		チュラロンコン大学	07.02.27～	日本の地域コミュニティの発展を紹介し、タイへの応用の可能性を考えるセミナー。タイの国際交流基金元フェロー及び関係者の交流の場を設けるとともに、日タイ修好120周年を記念して、一般聴衆も含めた日タイ間の交流・協力の機会とした。
18	【映画】 J Fシアター		バンコク日本文化センターホール	06.04.01～ 07.03.31	毎月テーマを定め、ウィークエンドの毎週金曜日及び第1・第3火曜日の18：30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映した
19	【日本語教育】 紀要発行			06.04.01～ 07.03.31	タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。2006年度は、8月に「日本語教育紀要第3号」を700部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布した。
20	日本語教育コンサルティング		バンコク日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談に随時応じた。
21	教材・教具助成			06.04.01～ 07.03.31	タイの日本語教育機関に対して、バンコク日本文化センターが開発した教材を中心に、タイ国内で制作された日本語教材を寄贈した。
22	日本語教育派遣専門家連絡会議		バンコク日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	タイ国内で活動する、J F本部派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を図った。
23	日本語講座運営（一般講座）		バンコク日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語中・上級レベルの学生・一般社会人対象とした日本語講座。2006年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計18コース19クラスを設定した。前期は5/30～9/9、後期は10/31～2/17に開講した
24	講師室図書整備		バンコク日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集した。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
25	教材普及事業			06.04.01～ 07.03.31	タイの日本語教育事情に合わせた教材開発を行う事業。本年度は既刊のタイ中等教育機関向け日本語教材『あきこと友だち』の副教材として、単語集の制作を行った。
26	広域活動強化事業（日本語）			06.04.01～ 07.03.31	バンコク日本文化センターの広域活動対象国であるラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナムの各国に対する事業として、タイへの教師研修のための招へい、セミナーへの講師派遣や弁論大会などへの審査員派遣などの日本語関係事業を行った。
27	北部タイ中等日本語教師研修会	ユパラート高校	ユパラート高校 (チェンマイ)	06.04.01～ 07.03.31	北部タイに派遣中の日本語教育専門家（ジュニア専門家）による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施する。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施した。
28	東北タイ中等日本語教師研修会	ウドンピタヤヌクーン高校	ウドンピタヤヌクーン高校 (ウドンタン)	06.04.01～ 07.03.31	東北部タイに派遣中の日本語教育専門家（ジュニア専門家）による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施した。前期は関係機関を個別に訪問し参加者の教授能力等を確認し、セミナーは後期に開講した。
29	日本語教育広報誌『タウン』発行			06.04.01～ 07.03.31	タイ日本語教育機関及び日本語教師向けニューズレターを作成・配布した。本年度は第38号（2006年8月）と第39号の2号を発刊した。印刷部数は各1,500部。
30	日本語教師集中研修会		バンコク日本文化センター	06.04.17～ 06.10.20	バンコクでの教師研修に参加が困難な地方在住の日本語教師を主な対象に、学期休みの4月及び10月を利用した短期集中型の研修を行った。前期研修会は4月17日～28日に、後期研修会は10月9日～20日に開講した。
31	邦人日本語教師教授法等研修会	泰日経済技術振興協会	バンコク日本文化センター	06.05.15～ 06.05.26	タイ国内の公的教育機関において日本語教育に携わることが決定している日本人で教授経験1年未満の経験の浅い日本語教師に対し、日本語教授法の基礎やタイの日本語教育に関する講義を行い、タイにおける日本語教授法の基礎を習得させた。
32	日本語教師水曜研修会		バンコク日本文化センター	06.05.31～ 07.02.17	日本語能力が比較的高いタイ人日本語教師を主な対象に、教授法に重点をおいた研修会を実施した。前期は5月31日～9月6日、後期は11月14日から2月17日に開講した。前後期各15回実施した。
33	中等学校現職教師新規養成講座	タイ教育省	バンコク日本文化センター	06.05.29～ 07.04.06	タイの高校で日本語教師が不足している状況を解決するため、他教科の高校教師に日本語と日本語教授法を習得させる研修を実施した

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
34	日本語教師金曜研修会		バンコク日本文化センター	06.06.02～ 07.02.16	日本語能力試験3・4級のタイ人日本語教師を主な対象に総合日本語と教授法の研修会を実施した。前期は6月2日～9月8日、後期は11月3日～2月16日に開講した。前後期各15回実施した。
35	東南アジア日本語サミット（インドネシア）	インドネシア日本語教育学会、ジャカルタ日本文化センター	バンドン（インドネシア）	06.06.23～ 06.06.24	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの代表的な日本語教育関係者が集まり、「東南アジアにおける日本語教育の現状と展望～日本語運用の育成に向けて」をテーマに、シンポジウムを行った。
36	日本語教育セミナー（第1回）		バンコク日本文化センター	06.07.29	高等教育のタイ人教師を主な対象として「翻訳のコースデザインと教え方」のセミナーを実施した。
37	日本語弁論大会	在タイ日本国大使館、タイ国元日本留学生協会、盤谷日本人商工会議所、タイ国日本人会	バンコク日本文化センター	06.09.03	在タイ日本大使館やタイ国元日本留学生協会などとの共催で、タイ国全土を対象とした弁論大会を実施した。
38	日本語教育セミナー（臨時）			06.10.31	「敬語の力」をテーマにバンコク周辺の日本語教師を対象としたセミナーを行った。別件で講師がバンコクを訪問する機会を捉えて、バンコクの日本語教育従事者が日本の先端の専門家から話を聞く場を提供した。
39	日本語能力試験		バンコク日本文化センター	06.12.03	日本語能力試験の監督への説明会場としてホールを提供した
40	ミャンマー巡回指導（講師出張）			07.03.03～ 07.03.04	ミャンマーの現地人日本語教師を対象とした日本語教育セミナーに対し講師を派遣した。主催は在ミャンマー日本大使館で、当センターでは企画立案と講師派遣の協力を行った。
41	日本語教育セミナー（第2回）		バンコク日本文化センター	07.03.14	日本より専門家を迎え、「コミュニケーションのための日本語教育文法」というテーマでセミナーを行った。対象は高等教育・中等教育、タイ人・日本人と、タイで日本語教育に従事する教師を幅広く招待した。
	【図書館運営】				
42	図書館運営			06.04.01～ 07.03.31	2006年度第2四半期末現在、蔵書規模（日本語図書（日本語教材含む）13,847冊、英語図書5,801冊、タイ語図書2,882冊、DVD70枚、ビデオ1,359本、CD書籍・音楽CD520枚、カセット660セット）の図書館を運営し、タイにおける日本研究学者や日本語教師をはじめ、広範な利用者の用に供した。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【出版・広報】				
43	季刊広報誌 『Japan Letter』 発行			06.04.01～ 07.03.31	文化交流に関するエッセイやバンコク日本文化センター事業の活動報告を英・タイ2か国語、季刊で、毎号1,000部発行した
	【その他】				
44	文化備品貸出し			06.04.01～ 07.03.31	所有する文化備品を、日本文化紹介などのイベントを行う公的な機関や日本語を学習する中等学校・大学の文化祭（日本祭）などに貸し出した。
45	近隣諸国調査出張		プノンペン	06.04.01～ 07.03.31	広域事業実施の事前調査及び補助のため、カンボジアに職員が2回出張した
46	日本文化紹介 キャラバン（その他）		ナレースワン大学 パヤオ校	06.04.01～ 07.03.31	文化事業の地方展開として、各地の教育機関などで映画やその他の日本文化紹介事業を行った。
47	三好和義「日本の世界遺産」写真セット	コンケン大学、 国土交通省・国際観光振興機構	エンポリアムデパート コンケン大学	06.04.01～ 07.03.31	当センター所蔵の写真家三好和義氏による日本の世界遺産パネル写真セットの展示。コンケン及びバンコクで展示した
48	コンケン大学日本文化祭（日本文化紹介キャラバン）	コンケン大学	コンケン大学	06.07.01～ 06.07.31	文化事業の地方展開として、又コンケン大学に派遣されている長期派遣の坪根専門家への支援の双方の目的を兼ね、「日本の世界遺産写真展」「百人一首レクチャーデモンストレーション」「日本映画上映会」を実施した
	【本部事業受入】				
49	第9回アジア漫画展	チェンライ・ラーチャパット大学	チェンライ・ラーチャパット大学 バンコク日本文化センターアートスペース	06.07.05～ 06.08.20	1995年以降、毎年開催しているアジア漫画展の第9回の展示。「アジアのIT（情報技術）事情」をテーマに、アジア各国の第一線で活躍する8か国8人の漫画家の新作品80点を紹介した。タイからは、Palangkorn Suradej（パラングーン・スラデート）氏が参加。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
50	愛知県立芸大・シルパコン大学交換美術展	シルパコン大学	06.07.28～ 06.08.18	シルパコン大学と愛知県立芸大の教官による作品展。シルパコン大学の教官のひとりがかつて愛知芸大で学び、つながりができたのを活用し今回の2大学によるイベントとなった。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
51	Art Connection 「Multiplying Emergence」	Art Connection	06.08.05～ 06.08.06	東南アジア各国よりコミュニティー活動に取り組む人々、芸術家、社会学者、NGOスタッフ等の多様な参加者を募り、激しく変化する東南アジアの大都市における芸術のあり方を考える2日間のワークショップを開催した。
52	第10回タイ短編映画祭助成	Thai Film Foundation	06.08.17～ 06.08.27	第10回タイ短編映画祭の一部として、日本を特集したプログラム（プリディパノムヨン劇場及び当バンコク日本文化センターホールで実施）の関係者3名の招へい経費を助成した
53	チュラロンコン大学 「Publishing of Japanese Studies Book」	チュラロンコン大学 アジア研究所	06.10.12～ 07.03.31	チュラロンコン大学アジア研究所が在タイ日本大使館広報文化部の支援を得て毎年実施している、社会科教員を対象とした日本についてのワークショップでの講演内容をまとめ、出版した。
54	J T A T 「第一回日 本語ドラマコンテス ト」	J T A T	06.10.14	J T A T（タイ人中心の日本語教師会）が実施する、タイの大学生による日本語コンテストへの経費助成。
55	IMMF 「The Changing Role of Women in Asia」 ワークショップ	IMMF	06.10.14～ 06.11.11	タイを含めたインドシナ諸国のジャーナリズムの向上に取り組むIMMFのジャーナリスト研修事業。研修にはインドシナ諸国のジャーナリストが参加し、ジェンダー問題をテーマに活発な議論を行った。
56	Institute of Security and International Studies	チュラロンコン大学 安全保障・国際問題 研究所	06.10.26～ 06.10.29	「民主主義と人間の安全保障」をテーマにした国際会議。東南アジア各国からの研究者、及び在タイの各国大使館員、助成財団関係者らが参加し、発表と議論を行った。
57	展覧会「Little More Sweet, Not Too Sour」助成	100 Tonson Gallery	06.11.09～ 07.01.28	100 Tonson Galleryが主催実施する現代女性アーティスト4名による作品展への小額助成。出展作家はフランスの大家Louise Bourgeois、日本の草間弥生、そしてタイを代表する二人の現代アーティストAraya Rasdjarmrearnsook とPinaree Sanpitak。
58	JSN-Thailand準備 会議	JSN-Thailand	06.12.01～ 07.03.31	2007年5月に設立予定のタイ国日本研究ネットワーク（JSN-Thailand）の設立準備会議。中心メンバーが、設立総会やその後の活動につき話し合った。
59	北部タイ中学・高校 日本語コンテスト	北部タイ中等教育日 本語教師会	07.01.26	北部タイ中等教育日本語教師の会が実施する年1回の日本語コンテストで、本年度で第3回目を数える。いろいろな活動を通じた日本語の運用力向上を目指しており、スピーチ、朗読、硬筆、クイズのジャンルに分かれて行われた。
60	北部タイ大学日本語 弁論大会	タイ北部元日本留學生 協会	07.02.10	タイ北部元日本留學生協会が主催して開催するスピーチコンテストで本年度は第2回目。タイ北部の大学で日本語専攻学科を有するほとんどの大学が参加した。会場は、チェンマイ大学人文学部のモムラントウイ講堂で行われた。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
61	The Sharing of Local Heart	Foundation for Regional Empowerment Education	07.02.28～ 07.03.03	第3回フェローセミナーで講師として招へいした高知県馬路村農協組合長及び馬路村役場職員が、馬路村と同様に村おこしの必要に迫られているタイの村落を訪れ、意見交換やアドバイスを行った。
62	北部タイ日本語教師会特別セミナー助成	北部タイ日本語教師会	07.03.03	「北部タイにおける日タイ二重国籍子女に対する日本語教育－バイリンガル教育及び第二言語習得からの課題と、今後の教育環境の構築－」と題するセミナーを実施した。
63	【会場提供】 施設開放		06.04.01～ 07.03.31	日本語教育に関するセミナー等への教室貸出
64	【その他】 文化事業協力		06.04.01～ 07.03.31	タイの各種機関が開催する催し物での日本文化紹介につき、協力を行った。

クアラルンプール日本文化センター

合計額 63,210,371円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
1	現代演劇公演 青年団	クアラルンプール舞台芸術センター (KLPac)	KLPac, Pentas 2	06.06.26～ 06.07.04	現代の日本を代表する劇作家、演出家である平田オリザが率いる青年団による演劇公演。海外でも広く紹介されている代表作『東京ノート』を上演したほか、平田氏による演劇ワークショップ、戯曲執筆ワークショップも実施。
2	能ワークショップ (シンガポール周年事業)	アジア文明博物館、在シンガポール日本大使館	アジア文明博物館	06.10.25～ 06.10.28	シンガポールのアジア文明博物館にて、“Hidden Faces - The Art of Japanese Masks”と題して開催された能面展 (会期：2006年9月7日-11月5日) の関連事業として、能のレクチャー・デモンストレーションを共催した。講師：リチャード・エマート教授 (武蔵野大学)、松井彬氏 (能楽師)、北澤秀太氏 (能面作家)
3	現代演劇公演 Kudan Project		KLPac, Pentas 2	06.11.03～ 06.11.05	KUDAN Projectの『真夜中の弥次さん喜多さん』を上演。『真夜中の弥次さん喜多さん』は、しりあがり寿の漫画を原作とし、天野天街が脚本・演出を手掛けた二人芝居で、2002年の初演時には、異なるジャンルの二つの才能の出会いが大きな話題を呼び、上演後は、全く新しい演劇体験として、驚きと共に各方面で絶賛され、その年のベスト・プレイ候補にも挙げられた作品。
4	現代舞踊公演 山海塾	クアラルンプール舞台芸術センター (KLPac)	KLPac, Pentas 1	06.11.25～ 06.11.26	日本を代表する舞踏カンパニー山海塾を招聘し、彼らの代表作である「遙か彼方からの-ひびき」の2回公演を実施。公演終了後の11/27には、国立芸術アカデミーの学生と一般参加者を対象に、メンバーの蟬丸氏によるワークショップを午後と夜にそれぞれ開催した。
	【講演・シンポジウム】				
5	ちりめん小物作りワークショップ		クアラルンプール日本文化センター	06.05.20～ 07.03.10	日本人会等にてちりめん小物作りを指導する天芳子氏を講師に迎え、一般向けのワークショップを開催。第1回はキーホルダー作りで31名が参加。第2回は巾着袋作りで28名が参加した。
6	田中明彦教授巡回日本研究講演会	マレーシア日本研究者協会、マラヤ大学、マレーシア科学大学、サラワク開発問題研究所	マラヤ大学／ペナン科学大学／サラワク木材産業開発公社	07.01.04～ 07.01.10	マレーシア日本研究者協会との共催で、著名な日本研究者を日本、欧米等から招聘し、マレーシア国内各地を巡回するセミナーをほぼ毎年実施してきた。今年度は東京大学の田中教授を招へいし、「安倍新政権の対アジア外交政策」というテーマで、大学、研究所の共催を得て国内3箇所で開催した。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【映画】				
7	定期映画上映会	在マレーシア日本大使館、マレーシア観光センター	マレーシア観光センター	06.04.01～ 07.03.31	毎月第一、第三土曜日の16:30より、マレーシア観光センター小ホール（定員120名）にて、英語字幕つき日本映画上映会を実施。入場無料。フィルムは主に東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mmフィルムを使用。
8	イポー日本文化祭	ペラ馬日協会、ペラ州立図書館、ペラ州文化センター	ペラ州立図書館／ペラ州文化センター	06.06.17～ 06.06.18	ペラ州イポーに隣接して建つ2つの施設、ペラ州立図書館とペラ州文化センターの2ヶ所を会場に日本文化祭を開催。3回の日本映画上映をはじめ、「職」写真展、折り紙教室、剣道デモンストレーション、生け花デモンストレーション等が行われた。
9	日本映画祭	ゴールデン・スクリーン・シネマ	ミッドバレー・ゴールデン・スクリーン・シネマ／ワンウタマ・ゴールデン・スクリーン・シネマ／ガーニープラザ・ゴールデン・スクリーンシネマ	06.08.05～ 06.08.20	実施形態：クアラルンプール日本文化センター、在ペナン日本国総領事館、ゴールデン・スクリーン・シネマ共催。Embun Day Spa 協賛。事業内容：2003年のアニメ映画祭から続く、恒例の日本映画祭で同会場での開催本年度3回目を迎えた。また、篠原哲雄監督を招聘し、監督の2作品「命」と「天国の本屋～恋火」を上映した他、国立美術アカデミーにおいて講演会も実施した。
	【日本語教育】				
10	浦和研修事前オリエンテーション		クアラルンプール日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	平成18年度海外日本語教師研修および平成19年度海外日本語教師研修（春期）の参加予定者を対象に研修参加にあたって必要な知識、自分にとっての課題、問題解決などについてオリエンテーションを行った。
11	シンガポール・ブルネイ ネットワーク形成	シンガポール国立大学 シンガポール日本語教師の会	シンガポール国立大学／シンガポール日本人会	06.04.01～ 07.03.31	シンガポール国立大学主催の国際会議、シンガポール日本語教師の会主催のセミナー出席の機会をとらえて、シンガポール日本語教育事情など情報交換をおこなった。
12	小規模日本語教材寄贈	Kolej Universiti Saing Dan Teknologi Malaysia Sekolah Menengah Kebangsaan Tinggi Melaka	Kolej Universiti Saing Dan Teknologi Malaysia Sekolah Menengah Kebangsaan Tinggi Melaka	06.04.01～ 07.03.31	日本語教育を始めたばかりで、日本語国際センターの教材寄贈プログラムを待っていたのでは授業が行えないような機関を対象とした緊急立ち上げ支援事業。今年度はMela c c a High School（中等教育機関）とKolej Universiti Sains Dan Teknologi Malaysia（高等教育機関）の2校に合計60点の寄贈を行った。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
13	第3回高校生日本語弁論大会	マレーシア教育省、クアラルンプール日本人会、マレーシア日本人商工会議所、在馬日大使館	クアラルンプール日本人会	06.04.23～ 06.04.24	2004年から開始して今年で3回め。全寮制中等学校、民間などで日本語を学習している15歳から18歳までの高校生で滞日経験過去5年以内で一週間までで親のどちらかが日本語母語話者でないことなどを資格要件として実施、原稿審査を経て出場者10名が日本招聘旅行を目指してスピーチを行った。なお、この大会前日に関西国際センター主催の「高校生訪日研修」選考のため、筆記試験と面接試験を実施した。
14	第1回北部地域日本語教育キャラバン	ペナン日本語協会	ペナン日本語協会	06.06.24～ 06.06.25	マレーシア北部在住のマレーシア人および日本人日本語教師を対象に「授業に素材を取り入れる」をテーマに2日間にわたってセミナーを行った。参加者はのべ40名。
15	第1回東マレーシア日本語教育キャラバン	マレーシアサバ国立大学	マレーシアサバ大学	06.07.22～ 06.07.23	東マレーシア在住のマレーシア人および日本人日本語教師を対象に「授業に素材を取り入れる」をテーマとして2日間にわたって行った。参加者のべ20名。
16	お寿司ワークショップ	クアラルンプール日本人会、日馬和里レストラン、築地マート	クアラルンプール日本人会	06.07.30	日本語弁論大会一般の部クアラルンプール（地区大会）の審査時間を利用して行った。事前登録をしたうえで7つのグループに分かれて、巻き寿司の作り方についてワークショップを行った。当日はクアラルンプール日本人会内のレストランのシェフがデモンストレーション、指導を行い、またクアラルンプール日本人会の協力により各グループに指導助手としてのボランティア6名が参加した。
17	日本語弁論大会一般の部	クアラルンプール日本人会、マレーシア日本人商工会議所、在マレーシア日本国大使館	クアラルンプール日本人会	06.07.30～ 06.09.03	1985年から始まって今回22回めとなる。18歳以上のマレーシア人で過去5年以内で日本滞在歴3ヶ月以内の日本語学習者を対象に、原稿審査を通過した出場者10名がスピーチを行った。クアラルンプール地区大会の上位4名が全国大会に進み、ペナン地区大会、イポー地区大会からの各3名をあわせた合計10名が日本招聘旅行を目指してスピーチを行った。全国大会では優勝者と準優勝者に社団法人日本在外企業協会招聘の日本研修旅行が授与された。
18	日本語弁論大会イポー地区	ペラ馬日友好協会、在ペナン日本総領事館	Hotel Excelsior	06.08.05	今年で20回めとなる。18歳以上で過去5年以内で滞日歴3ヶ月以内のマレーシア人を対象としている。出場者9名が全国大会を目指してスピーチを行った。上位3名が全国大会の出場権を得た。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
19	日本語弁論大会 ペナン地区	ペナン日本語協会、マレーシア日本協会、在ペナン日本総領事館	Caring Society Complex	06.08.12	今年で27回めとなる。二つの部門で構成され、学習時間が100時間以内の学生部門とそれ以外で18歳以上で過去5年以内で滞日歴3ヶ月以内の一般部門でマレーシア人を対象としている。学生部門に出場者4名、一般部門に出場者14名が全国大会を目指してスピーチを行った。一般の部上位3名が全国大会の出場権を得た。共催者として賞品購入代の一部と会場代を負担した。
20	第1回東海岸・南部地域日本語教育キャラバン		クアラルンプール日本文化センター	06.08.12～ 06.08.13	東海岸地域、南部地域、クアラルンプールおよび近郊在住のマレーシア人および日本人日本語教師を対象に「授業に素材を取り入れる」をテーマとして2日間にわたって行った。参加者はのべ40名。
21	漢字ワーク ショップ	マレーシア日本語協会、大阪産業大学	マレーシア日本語協会	06.08.24～ 06.08.24	「みんなの日本語・漢字」の著者の一人である新矢 麻紀子（大阪産業大学助教授）を迎えてクアラルンプールおよび近郊の日本語教師を対象に同教材の効果的な使い方やマレーシア人学習者に漢字を会得させる知識・技術を高めるためのワークショップを行った。マレーシア日本語協会と共催。
22	日本語すしクイズ大会	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール日本人会	06.09.03	平成18年度日本語弁論大会一般の部（全国大会）の審査会議の間に実施。日頃の日本語学習の成果を楽しい経験につなげるため、日本語弁論大会の参加者・聴衆を対象に日本語・日本文化に関するクイズイベントを実施。日本人との交流もおこなえるよう、日本人とマレーシア人をミックスしたチーム編成にし、力を合わせて解答を導くよう、問題を工夫した。正解数や解答スピードに応じてランク付けされた「すし」が食べられる設定とした。
23	日本語フェスティバル	マレーシア日本語協会、在マレーシア日本国大使館、マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部	06.09.09～ 06.09.10	マレーシア日本語協会／マラヤ大学言語学部／在マレーシア大使館との共催事業。日本語および日本文化に関するレクチャー、レベル別日本語講座のほか、俳句、料理など日本文化紹介を通じて、初期日本語学習者、未学習者により日本語に対する関心を喚起させるための事業を行った。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
24	日本語弁論大会 予備教育課程の部	クアラルンプール日本人会、マレーシア日本人商工会議所、ALEPS 在マレーシア大使館、在ベナン総領事館、東方政策元留学生同窓会、マレーシア元留日学生協会	クアラルンプール日本人会	06.09.17	一般の部から独立して今年で11回めになる。マレーシアで日本の大学、高専に留学するために、予備教育を行っている機関で日本語を学習している2年生を対象に、各機関より3名ずつ、計12名の出場者がスピーチを行った。優勝者には在マレーシア日本国大使館より大使杯が授与された。
25	中等教育教材 ワークショップ (東海岸)	マレーシア教育省	Sekolah Menengah Sains Dungun	06.09.20～ 06.09.20	東マレーシア地域で近隣にある平成18年度日本語国際センター教材寄贈先機関（中等教育）の日本語教師を対象に寄贈教材の有効的な使い方についてワークショップを行った。
26	日本語教育研究 発表会・浦和研 修報告会	教育省国際言語 教員養成学院 (IPBA) 国際言語教員養成所(I P B A)	国際言語教員養成所	06.10.07～ 06.10.07	今回で3回目となるマレーシアにおける日本語教育の研究発表、海外日本語教師研修より帰国後の報告を行うセミナー。当日は実践報告1件、公募によるポスター発表3件、日本語国際センター海外日本語教師研修に参加した日本語教師からの発表などを行った。参加者約100名。
27	第2回東マレー シア日本語教育 キャラバン	クチン全寮制科 学中等学校	Sekolah Menengar Sains Kuching	06.11.11～ 06.11.12	東マレーシアに在住のマレーシア人日本語教師（ノン・ネイティブ）を対象に日本語能力のブラッシュアップを目的に行った。外部より客員講師として大和 えり子（マレーシアプトラ大学）を招いて、日本語で説明する、日本語で考えを述べるなどの活動などを行った。
28	第2回北部地域 日本語教育キャ ラバン	ベナン日本語協 会	ベナン日本語協会	07.01.20～ 07.01.21	北部地域に在住のマレーシア人日本語教師（ノン・ネイティブ）を対象に日本語能力のブラッシュアップを目的に行った。外部より客員講師として大和 えり子（マレーシアプトラ大学）を招いて、日本語で説明する、日本語で考えを述べるなどの活動などを行った。
29	第2回東海岸・ 南部地域日本語 教育キャラバン		クアラルンプール日本文化センター	07.02.10～ 07.02.11	東海岸地域、南部地域、クアラルンプールおよび近郊に在住のマレーシア人日本語教師（ノン・ネイティブ）を対象に日本語能力のブラッシュアップを目的に行った。外部より客員講師として大和 えり子（マレーシアプトラ大学）を招いて、日本語で説明する、日本語で考えを述べるなどの活動などを行った。
30	日本語教育セミ ナー	マラヤ大学予備 教育部 (PAS, AAJ) 日本留学 特別コース	マラヤ大学予備 教育部日本留学 特別コース	07.03.03～ 07.03.04	マレーシア全域の日本語教師を対象に、日本語教育セミナーを実施した。基調講演は早稲田大学院小林ミナ教授を招聘し「コミュニケーションのための日本語教育文法を考える」をテーマに基調講演、分科会を行った。2日間のべ150名参加

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
31	マンガ日本語講座		クアラルンプール日本文化センター	07.03.10～ 07.03.17	初級レベルを修了した程度の日本語学習者（日本語能力試験3級程度）を対象に、日本語で書かれたマンガを主な教材として、話し言葉や男ことば・女ことば、擬音語や擬態語をマンガを通じて学習した。初級修了レベルであっても、ある程度マンガの中の日本語がわかるようになることを目的とした。
【図書館運営】					
32	図書館用図書購入費		クアラルンプール日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	人文社会科学、文学、劇映画DVDなどを購入
33	図書館用日本語教材購入		クアラルンプール日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語教育関係研究書、教材、映像資料などを購入
34	図書教材購入（SRC）日本語教育図書教材サテライトリソースセンター	ペナン日本語協会、ペラ馬日友好協会	ペナン日本語協会 ペラ馬日友好協会	06.04.01～ 07.03.31	クアラルンプール日本文化センター図書館の分館として、ペナンとイポーに「サテライト・リソースセンター」を設置、最新教材等へのアクセスを付近の日本語教師に提供。イポーについては平成18年度前期をもって終了した。ペナンについても平成18年度をもって終了。
【出版・広報】					
35	広報誌TEMAN BARU発行			06.04.01～ 07.03.31	クアラルンプール日本文化センターのニュースレターを隔月で発行。18年度は計6号を発行した。
36	事業広報			06.04.01～ 07.03.31	事業広報の一環として、以下を実施した。古武道レクチャー・デモンストレーションにおいてTシャツを製作。平成19年度公募プログラム広報用ポスターの作成。クアラルンプール日本文化センターウェブサイトのリニューアル
37	日本語教育広報誌（ブンガラヤ）		クアラルンプール日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語教育関係者を対象としたニューズレターで年4回発行。発行部数1,000部 マレーシア国内の日本語教師、教育機関、シンガポール、ブルネイ国内の日本語教師、機関にも配布。
【教室事業】					
38	日本語講座		クアラルンプール日本文化センター	06.05.23～ 07.03.30	民間の日本語教育機関ではあまりクラスが開講されない中級・上級レベルの日本語学習者を対象にレベル別に3つのクラスを開講した。中級レベルでは文化中級日本語Ⅰ、Ⅱの教科書を使い、上級クラスでは自主作成教材を使い、学習者の読む、書く、話す、聞くの4技能がバランスよく伸びるようにクラス運営を行った。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【その他】				
39	学校・団体による事務所訪問	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	クアラルンプール日本文化センターに学校訪問を受け入れ、日本文化に関するレクチャーデモンストレーション、ワークショップなどを行った。平成18年度は9件実施。
40	センター内イベント（七夕）	クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール日本文化センター	06.07.04～ 06.07.17	センターロビーに笹を飾り、来場者の方々に短冊に自由に願い事を書いて吊るしてもらった。
41	サラワクにおける折り紙デモ	Tae中等学校	Tae中等学校	06.07.10～ 06.07.10	サラワク州のクチン近郊の町の中学校（Tae中等学校）で、折り紙のデモンストレーションを実施。
42	マラヤ大学 Foreign Language Festival	マラヤ大学言語学部日本語学科	マラヤ大学	07.03.02～ 07.03.09	マラヤ大学言語学部によって開催された”Foreign Language Festival”に対する助成。日本映画の上映会を共催した他、おにぎりワークショップ、折り紙ワークショップを助成した。
	【本部事業受入】				
43	H18日本語教育指導者養成（修士コース）	国際交流基金日本語国際センター	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター	06.05.01～ 06.09.20	日本語教育指導者養成（修士コース）に参加するロキア・パイ（サラワク大学）に事前オリエンテーションをおこない、渡航に関することや研究課題について助言を行った。
44	日本語能力試験	マレーシア日本語協会、マレーシアサバ国立大学、ペナン日本語協会、ペラ馬日友好協会	ペナン日本語協会 ペラ馬日友好協会 マレーシアサバ大学 マレーシア日本語協会	06.06.01～ 07.03.31	日本語能力試験の実施機関との連絡、広報のほか、打合せなどで出張を行った。また日本語能力試験の受験者の増加、広報について反省と今後の対策について各実施機関の実務担当者を集めて会議を行った。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
45	小規模助成事業（ファイブ・アーツ・センター）	ファイブ・アーツ・センター	06.04.07～ 06.04.09	パフォーマンス・アートの公演・シンポジウム。主催はファイブ・アーツ・センター。4/12よりシンガポールで開催されるパフォーマンス・アートのイベント、“Future of Imagination”の開催に併せ、これに参加するアーティストをマレーシアへ招へいし、公演・シンポジウムを行うもの。日本から荒井真一氏を含め、総勢16カ国より21名+マレーシアのアーティストが参加した。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
46	マレーシア工科大学国際セミナー(助成)	マレーシア工科大学	06.04.13～ 06.04.15	マレーシア工科大学主催の国際セミナー。「LSP: EXPLORING NEW FRONTIERS」をテーマとして、日本語教育をはじめ、外国語、外国語教育に関する発表が行われた。発表者の一人である仁科 喜久子(東京工業大学教授)の招聘にあたり、旅費を助成した。
47	小規模助成事業(シンガポール舞台技術者協会)	シンガポール舞台技術者協会	06.04.14～ 06.04.16	シンガポール国立大学を会場に開催された、これからのアジアの劇場建築に関するシンポジウム。最終日の報告会は、同会場にて一般公開された。日本からは、可見市文化創造センター館長の桑谷哲男氏(前世田谷パブリックシアター技術課長)が参加したほか、香港・フィリピン・インドネシア・マレーシアからも参加者を集めた。
48	小規模助成事業(いけばなインターナショナル)	いけばなインターナショナル	06.06.08～ 06.06.09	日本から小原流の生け花講師3名を招聘し、いけばなインターナショナルの会員を対象にした講習会を行った。それとあわせ、首都圏の中学校、大学等の生徒・学生を対象とした生け花ワークショップも開催。
49	日研・知的小規模助成(マレーシア社会科学学会)	マレーシア社会科学学会	06.08.08～ 06.08.10	マレーシア社会科学学会(隔年開催)で設けられたセッション「マレーシアと日本との関係。過去と未来を考える」に招へいされた二名の教授の招へい旅費を助成。
50	マルチメディア大学国際セミナー(助成)	マルチメディア大学	06.08.21～ 06.08.22	マルチメディア大学主催の国際セミナー。「Multimedia Adventure in Languages Learning」をテーマに、日本語教育をはじめ各外国語教育におけるマルチメディア活用について議論がおこなわれた。才田 いずみ(東北大学教授)、海野多枝(東京外国語大学助教授)の招聘にあたり、旅費・謝金について助成を行った。
51	日研・知的小規模助成(IKMAS, UKM)	IKMAS, UKM マレーシア国民大学	06.08.21～ 06.08.24	各国持ち回りで開催されている国際会議「International Globalization Studies Network Conference」の第3回。東京大学の池本幸生教授を招へい経費を助成。池本教授は「ツーリズムとグローバリゼーション」というテーマで発表。
52	日研・知的小規模助成(USM NaHERI)	マレーシア科学大学	06.11.07～ 06.11.11	「高等教育政策研究とマネジメントに関する国際フォーラム」にインドシナ諸国から参加する研究者の旅費を助成。
53	マレーシア科学大学国際会議(助成)	マレーシア科学大学 言語翻訳センター	06.11.23～ 06.11.25	マレーシア科学大学言語翻訳センター主催の国際会議。「Current Practices in Curriculum and Materials Development」をテーマとして、日本語教育をはじめ、各外国語教育、外国語の研究者、教師が会議を通して意見交換、情報の共有を行った。才田 いずみ(東北大学教授)の招聘にあたり、謝金および旅費について助成を行った。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
54	シンガポール国立大学語学教育センター国際会議（助成）	シンガポール国立大学語学教育センター	06.12.07～ 06.12.09	シンガポール国立大学語学教育センター主催の国際会議。「Processes and Processes-orientation in Foreign Language and Learning」をテーマに日本語教育をはじめ、外国語教育の研究者、教師がお互いに情報、意見を交換、共有する場となった。基調講演者の一人である早稲田大学大学院川口義一教授の招聘にあたり、旅費について助成を行った。
55	シンガポール日本語教師の会 日本語教育セミナー（助成）	シンガポール日本語教師の会	06.12.10～ 06.12.10	シンガポール日本語教師の会主催のセミナー。「新しい表現指導－文法もわかって言いたいことも言える」をテーマに早稲田大学大学院川口義一教授を迎えて、講演を行った。講師謝金、市内交通費について助成を行った。
56	小規模助成事業（Tourniquet Productions）	Tourniquet Productions	07.01.19～ 07.01.28	四谷怪談を原作とした演劇公演”Okiku”に対する小規模助成（会場借料に対する助成）。Kuala Lumpur Performing Arts Centre, Pentas2において9回公演を実施。
57	小規模助成事業（New Era College）	New Era College	07.01.19～ 07.01.21	日本の人形劇団ブークのメンバーを招へいし、人形劇の小公演とワークショップを実施。対象は子供、教師、演劇指導者。主催者は、舞台芸術学科を持つ中華系のNew Era Collegeで、学内に完成したばかりのブラックボックス・シアターにて実施された。
58	小規模助成事業（The Necessary Stage Ltd）	The Necessary Stage Ltd	07.02.08～ 07.02.11	今年2回目を迎える、シンガポールの舞台芸術イベント、シンガポール・フリンジフェスティバルに参加した、パフォーマンス・アーティスト高橋朋子氏招へい経費に対する助成。高橋氏は、2/8-2/11にかけて、シンガポール美術館において、”Reset Button”と題する作品を上演した。
59	小規模助成事業（Multimedia University）	マルチメディア大学マラッカキャンパス	07.03.17～ 07.03.18	マラッカにあるマルチメディア大学の学生が主催する、アニメ、マンガ、コンピュータゲームのフェスティバル。昨年に引き続き今回が2回目の開催。日本のアニメキャラクターのコスプレコンテスト、ゲーム大会、同人マンガ雑誌の展示販売、フィギュアコンテストの他、日本から著名な声優、古谷徹氏を招聘し、講演も行った。
	【その他】			
60	中等教育シラバス改訂	マレーシア教育省	06.04.01～ 07.03.31	マレーシア教育省カリキュラム開発センターの依頼を受けて中等教育新シラバスについて当センター派遣専門家がアドバイザーとして作成会議に4回にわたって参加した。また完成した中学2年生用シラバスについて日本語への翻訳作業に協力した。
61	中等教育教科書改訂	マレーシア教育省	06.04.01～ 07.03.31	マレーシア教育省カリキュラム開発センターの依頼を受けて、新教科書作成会議に当センター派遣専門家がアドバイザーとして年4回にわたって参加したほか、会議前に教科書作成にあたって必要な知識を共有するため、ワークショップを実施した。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	中等教育日本語教師養成協力 (IPBA)	マレーシア教育省、国際言語教員養成学院 (IBPA)	06.04.01～ 07.03.31	マレーシア教育省の依頼を受けて、中等教育教員養成プログラムに当センター派遣専門家がアドバイザーとして協力した。
63	プロジェクトコンサルティング	マレーシアサバ国立大学	06.04.01～ 07.03.31	マレーシアサバ国立大学言語知識促進センター (UMS) で2004年度より行っている「指導項目見直しおよび評価方法検討プロジェクト」の勉強会にUMSの依頼によりアドバイザーとして当センター派遣専門家が参加した。
64	東南アジア日本語サミット	ジャカルタ日本文化センター パジャジャラン大学	06.06.23～ 06.06.24	「東南アジアにおける日本語教育の現状と展望～日本語運用の育成に向けて」をテーマとしてジャカルタ日本文化センター・インドネシア日本語教育学会等の主催でインドネシア日本語教育学会セミナーに発表者として当センター派遣専門家、マラヤ大学言語学部スラヤ准教授、シンガポール国立大学語学教育センターウォーカー泉主任講師が招聘され、当センターは旅費を負担した。
65	中等教育レジデンシャルスクール日本文化の日	マレーシア教育省	07.02.03～ 07.02.04	ブミプトラ (マレー系と先住民) のエリート養成校である全寮制中高等学校・レジデンシャルスクールのうち、日本語が教えられている学校からそれぞれ数名の生徒と教師が集まって2年に1度実施するもの。教師や生徒が主体となって、ゆかた着付やおにぎりコンテストなど日本文化に関するブースなどが出された。JFKLでは、すし日本語クイズの出展と、日本語スケッチコンテスト (学習した内容をもとに寸劇を作り演じる) への協力をおこなった。

シドニー日本文化センター

合計額 139,637,474円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	イン・ザ・ステルネス		シドニー日本文化センター	06.04.06～ 06.04.27	メルボルン在住の繊維造形アーティスト、太田奈緒美による繊維造形作品展。RMIT(メルボルン工科大学)で博士号を取得。沖縄の島を題材とした、テキスタイルと彫刻の中間的要素を持つユニークなアート作品を展示
2	ワンダーバス展示会		シドニー日本文化センター	06.05.05～ 06.05.29	2005年に本部の先駆的事业として行われた「ワンダーバスジャパン」の様子を伝える写真展。また、ワンダーバスの紹介ビデオも上映された。写真家は、2005年と2006年にワンダーバスに参加した、香庄謙一
3	90年代の絵画展(本部巡回展)		シドニー日本文化センター	06.06.07～ 06.06.30	現在、活躍中の現代若手作家がそれぞれのジャンルにおいて、どのようにその変化を理解し、絵画に取り組み新しい芸術表現を獲得しようとしたのかを、合計55点の絵画によって考察する。出展参加者は、村上隆、会田誠、奈良美智、越前谷嘉高など9名
4	「繋がり」書道展		シドニー日本文化センター	06.08.07～ 06.08.23	東京在住のアーティスト中山雅彦による墨絵展。筆を使った従来の墨絵作品とは一風異なり、指や草木など身近な自然に生えているものや通常墨絵には使用されないものを道具として使うことで、筆使いのテクニックとは異なる作風を表現。和傘や巻物など、約50点を展示
5	百田穂積・ヘレン展示会		シドニー日本文化センター	06.10.09～ 06.10.27	オーストラリアと日本の関係における、愛、芸術、人権活動、死、創造性、文化交流などで、オーストラリアで活動した日本人芸術家 百田穂積の没後30年の記念及び日豪交流年を記念した回顧展。百田氏が残した作品に、当時起こった出来事を写真で語る展示会。タイトルは、「HOMAGE-オーストラリアの日本人アーティスト、百田穂積の人生とそれを取り巻く人々の物語」とした
6	ちぎり絵展示会 & ワークショップ		シドニー日本文化センター	06.11.22～ 06.12.01	パース在住のアーティスト 睦子・ボナルドーによる「くみ絵」の展示会。日本の伝統芸のはり絵、ちぎり絵を元に日本の伝統工芸である和紙を使い、オーストラリアのワイルドフラワーや風景画を創作した作品50点を展示。ちぎり絵と手作り香水バックのワークショップも開催

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
7	氷山ルリの大航海 展示会	シアター・オブ・イメージ、劇団影法師	シドニー日本文化センター	07.02.16～ 07.03.16	氷山ルリが北極から南極に向かって旅をする物語「氷山ルリの大航海」(高円宮妃久子・文、飛鳥童・絵)が、日本の「劇団影法師」とオーストラリアの劇団「シアターオブイメージ」によって共同舞台化された。その公演に併せて、「フロム・ページ・トゥ・ステージ」として、絵本のイメージが舞台となるまでの軌跡を絵コンテ及びビデオにて展示
8	【公演】 日豪交流年関連 (ワラタ)	在パース日本総領事館	パースロイヤルショー	06.09.30～ 06.10.02	パースで開催された日豪交流年記念事業パースロイヤルショーに、箏・サクソ・パーカッションからなるフュージョン・トリオ「Waratah」を派遣。日本パピリオンにて演奏を行った
9	【講演・シンポジウム】 日豪フォーラム	マコーリー大学、早稲田大学、在シドニー日本総領事館	シドニー日本文化センター、ブレイク・ドーン法律事務所、ルナ・パーク	06.04.01～ 06.11.30	日本とオーストラリアが、アジア大洋州地域において国際協力の分野で果たすべき役割について話し合うことを目的とした4回シリーズの公開フォーラム。毎回日豪両国から1名ずつスピーカーを招き、講演と質疑応答を行った。日本からのスピーカーは、明石康(元国連事務次長)、伊勢崎賢治(元国連東ティモール暫定政府行政官)、中村哲(ベシヤワール会医療サービス総院長)、中馬清福(信濃毎日新聞社主筆)の4名
10	戦後日本文学と井上靖	シドニー大学	シドニー日本文化センター	06.05.03～ 06.05.03	井上靖記念文化財団からシドニー大学に対する井上靖全集の寄贈、および日本研究奨励のための井上靖賞の設立を記念して、井上靖の作品に関する講演会および映画上映会を開催。講演者は曾根博義・日本大学教授、また映画は「おろしや国酔夢譚」を上映
11	【映画】 フィルムライブラリー	オーストラリア、ニュージーランド、大洋州の各都市の公館	大洋州地域各地	06.04.01～ 07.03.31	在豪大及び各州の総領事館、在フィジー大、NZ大及び総領事館など9公館に日本映画フィルムを貸し出し。貸し出し本数 年35回、のべ50本
12	水曜映画会		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	フィルムライブラリーの所蔵作品を利用して、毎週水曜日に日本映画の無料上映会を開催

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
13	巡回日本映画祭	JAL、ファーストリンクキューブ、The Lab、マッドマンなど、スポンサー14社。(シドニーのみ) 在オーストラリア公館 日豪友好協会	アレクサンダー図書館 グレーターユニオンシネマ リージェントシネマ 映像美術センター 国立図書館	06.10.23～ 06.12.22	第10回目を迎えた巡回日本映画祭。シドニーでは規模を拡大して19本を上映。巡回作品は、『スウィングガールズ』、『父と暮せば』、『砂の器』、『ガラスのうさぎ』、『チルソクの夏』。シドニーでは、このほか『Always 三丁目の夕日』、『花田少年史』、『早咲きの花』などを上映
14	日豪学生映画フォーラム	日本映画学校、シドニー工科大学、シドニー映画学校、アデレード大学など。	グレーターユニオンシネマ	06.12.04～ 06.12.04	豪州と日本の学生による卒業制作作品を上映し、若手の映画制作者の交流の場を提供。豪州側からは、豪州国立映画・テレビ&ラジオ学校、シドニー工科大学、シドニー映画学校、アデレード大学の4校が参加し、日本側からは日本映画学校及びシネビスシネマ映画祭が参加し、全部で11本を上映。今回は、第10回日本映画祭のプログラムに組み込み、無料イベントとした
	【日本語教育】				
15	日本語教育研修会支援	各州教育省、日本語教師会、私立学校協会他	日本語教師会など	06.04.01～ 07.03.31	各州で行われる日本語教師研修会等に、シドニー日本文化センターの講師が出講。平成18年度はNSW州2回、ACT1回、VIC州1回、SA州1回、WA州1回、QLD州2回、TAS州2回の合計10回の出講を実施
16	日本語教育補助教材制作	NSW州立美術館	シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	NSW州立美術館と共同で、日本の美術を題材にしたActivity Resourceを制作。初等教育段階から中等教育段階までで利用できることを目的にしている
17	ニューズレターWeb掲載費 (Dear Sensei)		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	過去にシドニー日本文化センターで制作した「Activity Resource」や当センターで発行している季刊Newsletterに載せているアイデア集を、より有効活用してもらえるように、シドニー日本文化センターのWebsiteに掲載
18	オンライン日本語講座		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるよう、オンラインによるベーシック日本語講座を開発。平成18年度は第2段階の開発に取り組む
19	高等教育支援 (共同研究)	ニュー・サウス・ウェールズ大学	各地の教育機関	06.04.01～ 07.03.31	ニューサウスウェールズ大学と連携して、オーストラリアにおける日本語教育事情と日本語教授法に関する共同研究を行う。特に初等・中等教育段階、高等教育段階間での日本語教育の連携等について調査を行う

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
20	VIC州特別支援	ビクトリア州教育省	ビクトリア州教育省ほか	06.04.01～ 07.03.31	平成17年度ビクトリア州教育訓練省付け日本語教育アドバイザーポスト打ち切り後の支援として、同州への教師研修会へのシドニー日本文化センター講師の出張派遣や関係機関との打ち合わせへの出張を行う
21	情報交流		コロンビア大学	06.08.01～ 06.08.10	オーストラリア国内だけでなく、世界の日本語教育事情についての情報収集を図るとともに、当国の日本語教育事情や当センターでの活動についての情報を発信すべく、シドニー日本文化センター講師が日本語教育世界大会（N Y コロンビア大学）に出席、発表を行う
22	NSW州日本語弁論大会	在シドニー日本総領事館、ASICS、CANON、JALPAK、KINOKUNIYA、SONY	シドニー日本文化センター	06.09.02～ 06.09.02	全豪日本語弁論大会の予選を兼ねたNSW州日本語弁論大会。Senior High School部門、Open Beginner部門、Open部門、Background Speaker部門の4部門に分かれて、総勢約60名が参加
23	日本語教育短期研修会（10月）	各州教育省、私立学校協会、カトリック系学校団体等	シドニー日本文化センター	06.10.03～ 06.10.06	全豪及びN Zの初中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語力・教授技術の向上を目的とした研修会。今回の研修では、Basicレベルの日本語運用力である日本語教師を対象とした
24	日本語発表会		シドニー日本文化センター	06.10.13～ 06.10.18	NSW州の幼児から高校生までが日頃の日本語学習の成果を、劇や歌など、それぞれ思い思いの形で発表する会。また、学習成果を絵画や工作などで表現する展示の1週間行う
25	全豪日本語弁論大会	在豪日本大使館、ASICS、CANON、JAL、JR東海、KINOKUNIYA、SONY	シドニー日本文化センター	06.10.21～ 06.10.21	各州の州予選大会を勝ち抜いた20名が4部門に分かれて競い合う全豪日本語決勝大会。今回で37回目を迎えた。多くの日本企業からのスポンサー協力を得ている
26	評価委員会	各州教育省、私立学校協会、カトリック系学校団体	シドニー日本文化センター	06.11.24～ 06.11.24	各州代表者や大学関係者を招き、それぞれの州での日本語教育の現状を聞くとともに、シドニー日本文化センターの日本語教育支援事業について評価・助言を行ってもらう場である
27	日本語教育短期研修会（1月）	各州教育省、私立学校協会、カトリック系学校団体	シドニー日本文化センター	07.01.15～ 07.01.19	オーストラリアおよびNZの中等後期課程で日本語を教えている日本語教師24名を対象にした1週間の短期集中研修。日本語運用力のブラッシュアップ、最新の日本文化事情、ITを使った教室活動などの内容を盛り込んだセッションを行う

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
28	NZ特別支援	NZ現代語教師会	NZ現代語教師会	06.07.02～ 06.07.05	NZオークランド地区の日本語教育アドバイザーポストの打ち切りに伴って、その後の継続的な支援を目的として、シドニー日本文化センターの講師を派遣。今回は、オークランドで行われたであるNZALT（NZ現代語教師会）のBiennale大会で、主任講師が2セッションを担当
	【図書館運営】				
29	図書館運営		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	図書館運営。月曜から金曜まで毎日開館。月2回週末（土曜日）開館。図書貸し出し、レファレンスサービス、Web-Opacなどのサービスを提供
	【出版・広報】				
30	イベントマーケティング		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	通年事業を通してのブローチャーなどの広報活動として支出
31	学術ジャーナル発行		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 06.12.31	若手研究者の育成とネットワーク化を目的として、新しい学術ジャーナル『NEW VOICES』を創刊。発表機会の少ない博士課程の学生や若手研究者を対象に意見交換やネットワーク化の機会を提供する
32	ニューズレター発行		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	季刊ニューズレター『OMUSUBI』を発行（年4回。各3000部）
	【教室事業】				
33	日本語講座		シドニー日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	中上級の日本語運用力を持つ一般の人を対象とした講座を3回（2006年5月～6月、9月～10月、2007年3月～4月）開いた。併せて2006年8月から、日本語初級講座を開講。
	【その他】				
34	ワンダーバスジャパン2006	各都市自治体や学校と共催。JAL、アシックス、トヨタ自動車など、スポンサー8社。	クイーンズランド州	06.05.12～ 06.05.29	日ごろ、日本文化に接する機会が少ない豪州国内の地方都市・町・村を巡回する総合的日本文化紹介キャラバン。北クイーンズランド州の6都市（ケアンズ、モスマン、タウンズビル、チャーターズタワー、ヒュエンデン、マウントアイザ）を訪れ、一芸に秀でたボランティア・パフォーマンスや地元日本語学習者、地元自治体などを中心に、和太鼓、南中ソーラン節、空手、習字、茶道など日本文化パフォーマンスを披露。また、現地の人々が一緒に参加できるワークショップや日本食（ソーメン）の試食なども行った

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
35	江戸伝統職人ワークショップ	在シドニー総領事館	シドニー日本文化センター	06.09.25～ 06.09.25	江戸すだれ、江戸べっ甲、おろし金、江戸提灯、江戸はさみ、江戸刺繍のそれぞれ6人の職人によるデモンストレーション
36	【本部事業受入】 日本語能力試験		各地の大学など	06.12.03～ 06.12.03	オーストラリア6都市で実施されている日本語能力試験を管轄。試験補助員などとして職員が出張

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
37	日本語教育セミナー助成		06.04.01～ 07.03.31	地方における研修会の拡充を図り、教師ネットワークの形成を支援するために、各州の関係機関が主催する日本語教師研修会などに、教師招聘費用及び地方在住教師の参加旅費を中心に助成を行う。1件採用
38	タスマニア・ライターズ・ワークショップ	タスマニア・ライターズ・センター	06.05.01～ 06.06.30	タスマニア・ライターズ・センターが主催するワークショップに日本からの参加者の渡航旅費の一部を助成
39	日本フェスティバル	日豪友好協会（アデレード）	06.05.02～ 06.05.09	豪日友好協会（アデレード）の主催する日本文化紹介のためのフェスティバルに対して助成
40	木村弓コンサート	エミネンス	06.07.02～ 06.07.07	ローカル助成として、2000豪ドルを支出。オーストラリア在住の若手音楽家によって結成されたアニメ・ゲームを主とするオーケストラ、エミネンスが千と千尋の神隠しの主題歌として有名な木村弓を招聘して、コンサートを開催
41	ブリスベン映画祭	ブリスベン映画祭事務局	06.08.02～ 06.08.13	ブリスベン映画祭に対して、上映権料、輸送料などの一部を助成
42	アデレード映画祭	アデレード国際映画祭事務局	07.02.22～ 07.03.04	アデレード映画祭に対して、上映権料、輸送料などの一部を助成
43	OUR Media国際会議	西シドニー大学	07.03.20～ 07.04.20	世界の市民メディアの活動と役割に関する国際会議に、日本からの参加者招へい、翻訳費などの一部を助成
	【会場提供】			
44	茶道ワークショップ	茶道裏千家・淡交会	06.04.29～ 06.04.29	茶道裏千家・淡交会による茶道のワークショップ
45	出倉秀夫の包丁式		06.06.14～ 06.06.14	シドニー在住の料理研究家 出倉秀男による、日本料理の伝統を今に伝える儀式「包丁式」

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
46	生け花デモンストレーション	生け花インターナショナル	06.09.04～ 06.09.04	日本より池坊教授を招聘して、生け花インターナショナルが展示及びデモンストレーションを開催

トロント日本文化センター

合計額 77,630,576円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	Marco Bohr 写真展		トロント日本文化センター	06.05.18～ 06.06.23	カナダで写真を学んだドイツ人写真家マルコ・ボアによる、日本の「ユニフォーム」をテーマにした写真40点を展示。同展はコンタクト・フォト・フェスティバルのパンフレットの表紙を飾った。アイコン的存在にもなった。ボア氏は、日本人の仕事や生活に関係するユニフォームとそれをまとう人々に焦点を当て、そこから見える日本の文化・生活、被写体となった人物の個性などを表現している。
2	Yumiko Katsuya 展		トロント日本文化センター	06.06.24～ 06.06.30	トロント在住の陶芸家で、茶道師範でもある勝谷 由美子の陶芸作品展。自作の茶道具を用いて、茶道のデモンストレーションも実施
3	Noriko Saito 展		トロント日本文化センター	06.07.12～ 06.08.18	1997年に続き、トロント日本文化センターにおける齊藤典子氏の二度目の展覧会、齊藤氏はアクリル等を使った抽象画の作家で、同氏は初期から「水」をテーマにして描き続けており、今回の展覧会は水の持つ普遍的な意味や水の惑星である地球に思いを巡らせる作品を展示。そのすべての作品の出発点が武満氏の音楽と言葉に因るものであり、今年が武満氏没後10年にあたるため、武満氏へのオマージュがサブタイトルとなっている。
4	Shojo Manga展		トロント日本文化センター	06.09.06～ 06.10.04	戦後から現在に至るまで日本の少女漫画界に最も貢献のあった23人の作家による200点余りの作品展。初日には、本展キュレーターの徳 雅美（カリフォルニア州立大学チーコ校準教授）による講演会も実施
5	Found in Translation 展		トロント日本文化センター	06.10.13～ 07.01.19	4人のカナダ人アーティストによる、日本の伝統的な素材（和紙、織物、染物など）を活かした作品の展示会。オープニング・レセプションでは、参加アーティストらによるパネルディスカッションと音楽の演奏も行った。
6	Masahiro Mori 展		トロント日本文化センター	07.02.01～ 07.05.05	森 正洋（陶磁器デザイナー）の陶磁器作品展。国内外で数々のデザイン賞を受賞し、生活文化をデザインする同氏の作品を展示

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
7	Toronto Storytelling Festival	語りの会、Tronto Storytelling Festival	トロント日本文化センター	07.03.24～07.04.01	3月23日～4月1日まで開催された第29回 Toronto Story Telling Festival関連事業。当地日系StorytellersのKatari（語りの会）によるパフォーマンスを当センターイベントホールにて実施。「語りの会」メンバー5名がフェスティバルテーマにそって、太鼓や笛を交えた昔話、落語や創作アイヌ民話などを英語で語った。また尺八奏者2名の演奏もプログラムに組み込まれた。
	【講演・シンポジウム】				
8	コガワ&日塔出版記念事業	Penguin Canada Groundwood Books	トロント日本文化センター	06.05.26～06.05.26	ジョイ・コガワ（カナダ首相賞受賞作家）の作品『エミリー・カトー』、日塔 富夫（グラフィックデザイナー）の絵本『The Red Rock』の出版記念行事。Penguin CanadaおよびGroundwood Booksとの共催事業
9	多和田 葉子講演会		トロント日本文化センター	06.10.24～06.10.24	多和田 葉子（芥川賞作家）を迎え、2005年に『Kyoto Journal』で発表した「Is Europe Western?」を題材にして、多和田氏自身の作品をいくつか取り上げながら講演会および朗読会を実施
	【映画】				
10	ドキュメンタリーフィルム上映会		トロント日本文化センター	06.07.13～06.11.23	7月～11月の各第2・4木曜日の夜7時よりイベントホールにて、日本文化を紹介するドキュメンタリービデオ上映会を実施。全10回。上映ビデオはすべてトロント日本文化センター図書館所蔵作品
	【日本語教育】				
11	日本語教師情報交換会		トロント日本文化センター	06.11.21～06.11.21	オンタリオ州の日本語教育関係者を中心に、1. 高校生訪日研修参加者及び中高教員グループ招聘者の訪日体験の発表、2. ヨーク大学で2006年9月から開始している遠隔地日本語教育講座についての講義を実施
	【図書館運営】				
12	図書館運営		トロント日本文化センター	06.04.01～07.03.31	蔵書方針：一般カナダ人が気軽に来館したり、インターネット検索したりできる、日本関連蔵書・資料を有する図書館を目指しており、日本に関する幅広い情報・蔵書を収集している。言語は英語及び日本語の書籍、映像・音響資料とする（一部フランス語あり）。蔵書数：約13,000点（映像・音響資料含む）。来館者数：18,937人/年。貸し出し数：19,939件/年。リファレンス数：1,176件/年。新規会員登録者数：660件/年

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【その他】				
13	トロント国際映画祭関連事業 アジア・ナイト・レセプション	UNI JAPAN、 KOFIC、 JETRO 韓国映画振興協会 日本映像国際振興協会 日本貿易振興機構	トロント日本文化センター	06.09.10～ 06.09.10	06.09.07から06.09.16に開かれたトロント国際映画祭に合わせて、4社共催にて、映画監督・配給会社等関係者、メディア関係者、日系・韓国系コミュニティの著名人らを招待し、レセプションパーティーを開催
	【本部事業受入】				
14	桂小春團治カナダ古典落語公演	在カナダ日本大使館 在カルガリー総領事館 在モンリオール総領事館	カルガリー日系人会館 トロント日本文化センター モンリオール市立植物園ヘンリ・トーシャ講堂 在カナダ日本大使館	06.12.07～ 06.12.14	桂小春團治（落語家）による上方古典落語のカナダ巡回公演。12月7日のトロントでの公演の他、オタワ（9日）、モンリオール（11日）、カルガリー（13日）でも公演を実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
15	日本語遠隔地教育	ヨーク大学、セント・マリー大学	06.04.01～ 07.03.31	ヨーク大学の主導により行われている遠隔地日本語教育への支援（ビデオ会議方式の技術を利用した日本語講座）
16	高校生弁論大会	ジャイルズ・スクール	06.04.30～ 06.04.30	日本語を第三言語としてイマージョンプログラムを行っているジャイルズスクール主催の第二回高校生日本語弁論大会の経費の一部を助成
17	日本研究・知的交流部 海外事務所企画 開発事業	「モンリオール日本月間05 2006」実行委員会	06.05.31～ 06.06.01	在モンリオール総領事館主導による「モンリオール日本月間 05 2006」事業の一環として、マギル大学で5月1日に社会問題対話シンポジウムが「Sharing Experiences On Aging Societies : A Japan-Quebec Dialogue」というテーマで開かれた。日本とシカゴから20名以上の専門家が集い、両国間で課題となっている高齢化社会問題について話し合われた。日本側キーノート・スピーカーとして、産業医科大学の神代雅晴教授が講演を行った。
18	ケベック博・日本庭園事業	「モンリオール日本月間05 2006」実行委員会 ケベック博日本館実行委員会	06.08.09～ 06.08.27	ケベック博（ケベックシティ）の日本館内に製作・展示された「日本庭園」事業の経費の一部を助成。在モンリオール総領事館主導による「モンリオール日本月間05 2006」関連事業

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
19	(多和田葉子氏講演会 会モントリオール)	モントリオール大学	06.10.19～ 06.10.23	多和田葉子（芥川賞作家）を招き、モントリオール大学とクイーンズ大学で講演・朗読会、マギル大学でシンポジウム「Yoko Tawada: Cross-Cultural Encountres」を実施
20	能公演	カナダ「能」組織委員会	06.11.09～ 06.11.15	ROMの高円宮ギャラリー開設関連行事として、カナダ「能」組織委員会が日本より観世流能楽師である河村晴久氏を招き、ロイヤル・オンタリオ博物館（トロント）とカナダ文明博物館（ガティーン）にて講演を実施。
21	長谷川祐子講演会	パワープラント	06.11.10～ 06.11.10	パワー・プラントが開催するトロント国際アートフェアにて実施された、長谷川 祐子（キュレーター）による講演会を助成
22	日本週間支援事業 (アルバータ大学)	アルバータ大学	07.02.24～ 07.03.04	アルバータ大学にて行われた日本文化紹介行事の一環として、日本舞踊西川流より4名を日本から招待し、舞踊を披露
23	日本週間支援事業 (オタワ)	Ottawa Japanese Community Association オタワ日系コミュニ ティー・アソシエー ション	07.02.27～ 07.02.27	ニューヨーク在住の竹沢 恭子（ヴァイオリニスト）をオタワに招き、日加文化交流事業として、ピアノ・バイオリンのデュオコンサートを実施

サンパウロ日本文化センター

合計額 139,034,588円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	デザイン展	サンパウロ美術館、ブラジル日本移民百周年記念協会	サンパウロ美術館	06.12.12～ 07.01.14	国際交流基金海外巡回展『現代日本デザイン100選』展は日本のプロダクト・デザインの近年の傾向や特色を取上げ、約100点のデザイン製品により、今日の日本文化の新たな側面を紹介する事業である。展示の平行事業として、サンパウロ美術館小講堂にて特別講演会を在外事業の一環として実施した。ブラジル住宅博物館館長、アデリア・ボルジェスによる同講演会は『日本デザインの伝統と革新』をテーマに、あらゆる角度から日本のデザインの特徴を紹介した。講演会後には展示ツアーも実施した
	【公演】				
2	第62回FIAF国際フィルムアーカイブ連盟国際会議 オープニングセレモニーの音楽コンサート	ブラジル・シネマテーク、ブラジル連邦政府文化教育省、サンパウロ州政府文化局他	ブラジル・シネマテーク	06.04.23～ 06.04.30	FIAF 国際フィルムアーカイブ連盟は毎年、各国で国際会議を開催する。今年の第62回目会議はサンパウロで行なわれ、ブラジル・シネマテークの設立60周年を記念する事業となった。国際交流基金サンパウロ日本文化センターは在外事業の一環として、オープニングセレモニーを飾る音楽コンサートを主催。民族音楽グループ「マワカ」のポケットコンサートで、参加国の代表的な音楽を紹介、締めくくりには日本の音楽3曲を紹介し、翌年のFIAF会議が東京で行なわれることをアナウンスした
3	土笛とギターコンサート	レストラン新鳥	レストラン新鳥	06.06.10～ 06.06.11	日本のオカリナ奏者、麻生圭子さんとブラジルのクラシックギター奏者カミロ・カハラによるジョイントコンサート。麻生氏は武蔵野音楽大学器楽科フルート科を卒業、日本の音楽文化発展を願い、1988年にNPO法人「蒼の会」を設立。老後施設や保育園、学校や病院など、非営利団体を中心とした公演活動を行う傍ら、国際交流を目的とした海外での公演も企画している
4	フルート・チェロコンサート		サンパウロ日本文化センター	06.08.08～ 06.08.09	ニューヨーク在住のブラジル人フルート奏者セリナ・シャルリエによる公演。日本現代音楽、童謡、民謡などの名曲を独自に編曲してチェロとのデュオリサイタルをサンパウロ日本文化センターで実施した。また、在ポルトアレグレ駐在官事務所の要望で、同事務所管轄内のフロリアノポリス市でも実施した
5	「狂言」公演・ミニ講座	カンピナス大学芸術交流部学部演劇学科	カンピナス大学	06.08.25～ 06.09.17	狂言をブラジル風に再読した演劇作品。国際交流基金元アーティストフェローで演劇研究者、演出家柳生アリスの新作発表

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
6	「からくりとロボット」デモンストレーション	セスキ・サンパウロ商業連盟社会サービス	セスキ・ビラ・マリアーナ	06.10.15	平成18年度文化庁派遣文化交流使に指名された演出家Ikuo三橋（むごん劇かんばにい代表）による日本の伝統からくり人形とロボットによるパフォーマンス
7	マワカ10周年記念とDVDリリース	セスキ・サンパウロ商業連盟社会サービス	セスキ・ビラ・マリアーナ	06.11.15	世界の民族を紹介する「マワカ」グループは女性ボーカル7人、演奏者6人によって編成され、今年に設立10周年を記念して、ブラジル初のハイビジョンDVDを制作することとなった。本コンサートはそのリリースを目的とするもの。日本の「ソーラン節」、「安里屋ゆんた」、「蛸来い」なども披露
8	「軌跡」複合企画公演	サンパウロ州文化局、セスキ・サンパウロ商業連盟社会サービス	セスキ・サンジョゼドス・カンボス	07.03.02～ 07.03.31	日系ダンサー及びコレオグラファーのレチシア・セキトの企画事業。公演者の内なる世界から発生する日本に対する観念と外部から指摘される要素を再読して身体表現、映像、音楽、パフォーマンスを交差する複合的な試み
9	尺八コンサート		カシヨエイラ音楽ホール	07.03.31	尺八奏者、邦楽研究者のシェン・リベイロを中心に、和楽器とジャズ・アンサンブルによる日本とブラジルのインストルメンタル音楽を紹介する事業。第1部は邦楽の名曲を紹介、第2部にはブラジル音楽（ボサノバ）を中心に紹介
【講演・シンポジウム】					
10	食文化シリーズ（味の知恵）	JBC出版社、ブラジル日本移民百周年記念協会	サンパウロ日本文化センター		サンパウロ日本文化センターではブラジル、とりわけサンパウロ市における日本食ブームを分析するとともに、日本人移民がブラジルの食卓に与えた影響、そして、ブラジル人が求めている日本食とは何か、を追求する企画を発足。アプローチは現象学、人類学などの分野を交差して、食文化評論家、学術専門家、著名なシェフなどを招いての文化講演会をシリーズで催すことにした
11	文化講座・三島由紀夫・演劇と映画の男		サンパウロ日本文化センター	06.07.10～ 06.08.01	三島由紀夫演劇美学における能楽、歌舞伎、西洋的影響を分析する講座。講師は基金元フェローとして国際日本文化研究センターで研究活動を行い、帰国後もポスト博士号取得、「映画と演劇の男・三島由紀夫」を出版（平成17年度出版協力プログラム対象案件）したダルシ・クサノ。講座は8回（各2時間半）にわたって実施、受講者は申し込み制で80人参加
12	文化講座戦後日本エロチシズムの破壊		サンパウロ日本文化センター	06.08.02～ 06.08.16	フランスの舞踏研究者、マルチアーティストであるヌーリット・マソン・セキネによる50年代から発展した日本の身体芸術の潮流を講義と映像インスタレーションによって分析する講座

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
13	文化講座20世紀末の思考革命・アートとポップの融合		サンパウロ日本文化センター	06.08.07～ 06.09.26	元国際交流基金フェローのクリスチーネ・グライナーによる1990年代日本の芸術の変遷を分析する複合的講座。身体芸術記号論を中心軸として、現代美術、ポップカルチャー、映像美学に見られる今日の日本文化を分析。サンパウロ日本文化センターにおける文化講座実施要望が高まり参加希望者が多数出たことから、2部制を導入
14	講演会「江戸時代の絵画の多様性とその意味」		サンパウロ日本文化センター	06.08.29	国際交流基金本部助成対象事業「第17回全伯日本語日本文学日本文化大学教師学会」(主催:サンパウロ大学日本文化研究所)の複合企画として実現した講演会。同学会に参加した国際日本文化研究センター早川聞多による講演
15	Valeria Melo 講演	在レシフェ日本総領事館、国際交流基金サンパウロ日本文化センター、ベルナンブコ州文化教育局	※在レシフェ日本総領事館	06.09.13	平成16年度国際交流基金フェロー、Valeria Melo (セアラ州立大学)を招いて日本の教育事情に関する文化講演会をレシフェにて実施
16	日本思想に関する第一回討論会(西洋と東洋の出会い-京都学派の遺したもの)		サンパウロ日本文化センター	06.09.28	サンパウロ・カトリック大学、カンピーナス大学で教鞭をとるZeljko Loparic教授を中心とする日本思想研究者グループによる討論会。京都の花園大学よりJeff Shore教授を招聘し、同氏・Loparic教授を含む計8名にて講演
17	能楽ワークショップ・公演(在外事業・ブラジル)	ブラジル日本大使館	※ブラジル大学	06.10.20～ 06.10.21	国際交流基金元フェローシップ、能楽研究者のアンジェラ・永井の派遣により、能楽についての講演会、ワークショップ、デモンストレーションの実施。在ブラジル大使館企画の日本月間事業の一環として協力
18	遭遇点：新たな日本研究		サンパウロ日本文化センター	06.10.20～ 06.10.20	大学院修士課程・博士課程・博士後課程の研究者達が集い、互いの研究内容発表および情報交換の場として国際交流基金サンパウロ日本文化センターを提供。講演者は計6名、専門分野も仏教・仏像から映画・アニメまで幅広い内容
19	少女漫画講演会(在米日本専門家南米派遣事業)	JBC出版社	サンパウロ日本文化センター	06.11.01	国際交流基金ニューヨーク事務所の在米日本専門家中南米派遣事業の一環として実施され、徳雅美(カリフォルニア州立大学チーコ校準教授)が派遣された。視覚文化社会における日本のマンガの影響を分析。また、サンパウロ日本文化センターでは「ブラジルにおける少女漫画の歴史」をパネル化して展示するほか、コスプレファッションショーも企画

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
20	太田恵美子先生による教育技術方法論		サンパウロ日本文化センター	07.02.14～ 07.02.14	元公立学校教師、NPO法人グローバル・ドリーム・ビジョン・インターアクション理事長の太田恵美子先生による、教育問題をテーマとした講演会
21	JUM NAKAO		サンパウロ日本文化センター	07.03.02	ブラジルのファッション界を風靡した注目の日系3世のスタイリスト、ジュン・ナカオの作品は世界的にも注目されるようになってきた。2008年にはブラジル日本移民百周年記念事業の一環として東京での講演会が準備されている。それに先駆けて、サンパウロ日本文化センターではライブ音楽を交え、映像、画像、デッサンなどの上映による複合講演会を実施し、観客から絶賛された。講演のタイトルは「ジュン・ナカオと見え隠れのファッション」
22	ジャポニズム		サンパウロ日本文化センター	07.03.05～ 07.03.28	講師にLUIZ CARLOS DA SILVA DANTAS（カンピーナス州立大学大学院課程教授）を迎え、同時にコレオグラファーのDENISE CURTOUKEによるダンス実習講座で構成したミニ講座。DANTASはエクス・マルセイユ第1大学大学院を終えた後、現職。文学理論及び文学評論について教鞭をとっている。一方CURTOUKEは日本で舞踏家田中泯の「舞塾」に参加した経験があり、ドイツ、スペイン、イギリスなどでもソロ公演を催しているダンサー及びコレオグラファーである
	【映画】				
23	日本記録映画特集	ブラジルシネマテーク	ブラジルシネマテーク／サンパウロ日本文化センター	06.08.15～ 06.08.27	日本映画研究者、英国リード大学ワールドシネマセンター所長を務めるルシア・ナジブ博士による文化講演会（テーマは「日本の記録映画の展望・原一男の世界を中心に」）。同時並行企画「日本の記録映画の展望」（国際交流基金本部主催事業）の一環として実施。講演会には「吉田喜重が語る小津さんの映画」を上映、ナジブ教授によるコメント
24	映画特集「いつもシネマ」		サンパウロ日本文化センター	06.10.03～ 07.03.29	ブラジルFL所蔵作品を定期的上映する企画を開始。「森の学校」、「阿修羅のごとく」、「アドレナリン・ドライブ」、「どら平太」、「はつ恋」、「ロボコン」など新作未公開映画を紹介。2007年に入ってから新作「ウォーター・ボーイズ」、名作の「日本の黒い夏」、「砂の器」を上映

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
25	「国境を横断する視線」記録映画		サンパウロ日本文化センター	06.11.08～ 06.11.10	生まれ育った土地から追い立てられ、離散を余儀なくされた人々の移動、そしてそれによって生じる様々な文化的交差に視線を向けて日本人移民が直面した環境と風土の違いによる摩擦、日系子弟出稼ぎ労働者が日本で発見する行き詰まり、そして在伯日系アーティストが表現で訴える世界観をテーマとした記録映画特集。短編、中篇9本によって構成
【日本語教育】					
26	大学研究会（日本語教育）		サンパウロ日本文化センター	06.04.01～ 07.03.31	ブラジル国内の日本語教師用に、ポルトガル語・日本語によるバイリンガル日本語教育マニュアルを作成
27	CEL・CELEM 教師研修（初任者）	サンパウロ州教育局、パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	06.04.26～ 06.04.28	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修（初任者レベル）を実施
28	公教育日本語支援事業（ポスターコンクール）	サンパウロ州教育局、パラナ州教育局、日本語学校等	サンパウロ日本文化センター	06.09.01～ 06.11.15	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した
29	CEL・CELEM 教師研修（上級）	サンパウロ州教育局、パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	06.09.28～ 06.09.29	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修（上級レベル）を実施
30	CEL・CELEM 学生研修	サンパウロ州教育局、パラナ州教育局	サンパウロ日本文化センター	06.11.14～ 06.11.15	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績優秀な学習者を選抜して、サンパウロで研修を実施
31	日本語スピーチコンテスト全国大会		サンパウロ日本文化センター	06.11.25	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施。一部の地区大会の支援を行なった
32	公教育日本語支援事業（全国大学生）		サンパウロ日本文化センター	07.01.08～ 07.01.19	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加させ最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
33	南米・ブラジル 日本語教育巡回 セミナー	在ボリビア大使館、在キューバ大使館、在ドミニカ大使館、在ベネズエラ大使館及び各国の日本語教師会等	ハバナ大学他	07.01.27～ 07.02.28	当該国または近隣国の日本語教師の質的向上を図るため、サンパウロ日本文化センターの専任講師が教授法などに関する教師研修を実施
34	ブラジル・カラ オケ日本語学習 キャラバン	開催各地の日本人会及び日本語学校、各地の在外公館	ブラジル日本文化協会他	07.02.03～ 07.03.11	ブラジル国内数カ所の拠点地域へ出かけて行き、ブラジルで日本語を学ぶ学習者の大多数を占める中学生・高校生および大学生の若者に対し、日本の若者の歌を通じて日本語を学ぶ楽しさを伝え、現場の先生方へは歌を通じた教授活動のデモンストレーションを行なった。あわせて現地で「ブラジルの若者による日本の歌カラオケコンテスト」及び「教授活動デモンストレーションコンテスト」を実施し、優秀者数名ずつを選抜し、サンパウロで全国大会を実施
35	【図書館運営】 図書館運営		サンパウロ日本文化センター		図書館における閲覧、貸し出し、各種照会対応サービスを行なった。年間入館者数13,485名、貸し出し冊数25,001冊（うち図書16,709冊）、所蔵図書数：和書8,096冊、洋書：5,641冊、視聴覚資料1,871部
36	【出版・広報】 ホームページ管理・電子マーケティング事業案内				ホームページ、電子マーケティングによる広報活動。サンパウロ日本文化センターのイベント紹介。各種国際交流基金プログラム、事業、イベント情報、図書館等をポルトガル語で紹介。平成18年度(年間)アクセス回数462,560、ページビュー数7,400,703
37	ニュースレター 発行費(トビラ)				サンパウロ日本文化センター事業広報季刊誌として、Aquarelaに代わり新規に出版することとしたTobiraは毎回1万部を発行、ブラジル国内在外公館をはじめ、主要文化機関及びサンパウロ日本文化センターマーケティングリストへ無料配布をしている。電子マーケティング速報と併せて、インタビュー、事後報告、向こう3ヶ月間の事業案内を中心に紹介している
38	日本研究ジャーナル発行				日本研究に関する記事の原稿執筆料

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【その他】				
39	映像記録 楠野隆夫暗黒舞踏史料収集	Vitae財団		06.05.01～ 06.07.31	2006年ブラジル・ビタエ財団文化芸術事業促進プログラムに推薦された案件に対する援助。企画者は演劇プロデューサーマツカ・ヒデキ氏。1970年代後半にブラジルに移民した日本人舞踏コレオグラファー楠野隆夫の軌跡をたどって、同氏がブラジルの舞台芸術に与えた影響をインタビューや稽古・作品のシーンを通じて紹介。楠野氏はブラジルの多くの演劇関係賞を獲得して、2001年に死去。映像史料はブラジル国内の演劇研究所、大学図書館に寄贈される
40	T P A M関係者との意見交換		サンパウロ日本文化センター		エリアーネ・パレイラス（ウジミナス製鉄所文化センター）、マルコス・マントゥアン（ブラジル銀行文化センターサンパウロ総合ディレクター）、ジョエル・ナイマイエル・パドルラ（SESCサンパウロ商業連盟社会サービス文化事業専務取締役）をブラジル代表として、東京芸術交流部見本市に派遣。出発前の事前打ち合わせ、及び意見交換を兼ねての会議

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
41	CEL・CELEM勉強会	州立学校日本語講座	06.04.01～ 07.03.31	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の州立学校日本語講座の教師に対する、日本語教育、日本語の授業やテクニクに関する勉強会を行なう会。CEL（サンパウロ州）は月に一回集まり、3ヵ月に一回サンパウロ日本文化センターの講師が指導している。CELEM（パラナ州）は、年10回行なわれ、同じく3ヵ月に一回、国際交流基金から講師を派遣
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
42	図書ビエンナーレ	在ポルトアレグレ駐在官事務所	06.10.01～ 06.10.30	ポルトアレグレ図書ビエンナーレへの日本関係図書の貸し出し及び展示
	【その他】			
43	日本祭り	ブラジル日本都道府県人会連合会	06.07.15～ 06.07.23	第9回日本祭り（サンパウロ）に参加。日本総領事館のブース内で国際交流基金サンパウロ日本文化センター事業を紹介、フェローシップなど各種プログラムの案内も実施

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
44	NOI SM	セスキ商業連盟社会サービス	07.02.08～ 07.02.09	文化庁派遣によるノイズム（金森譲監督振り付け）のサンパウロ公演に対する便宜供与として、国際交流基金サンパウロ日本文化センター職員を通訳として派遣。サンパウロで紹介された作品は「NINA-物質化する生け贄」。劇場はSESCPinheiros

マニラ事務所

合計額 34,214,634円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	廣田 緑・現代美術展『パサール・市場・タリパバ』	グリーン・パパイア・アートギャラリー	グリーン・パパイア・アートギャラリー	06.08.03～ 06.08.15	インドネシア在住の日本人美術家、廣田 緑による品物の交換をテーマにした現代美術展
	【公演】				
2	オペラ『マダム・バタフライとプッチーニの夕べ』	フィリピン文化センター、フィリピン・オペラ・カンパニー、ストーリーレーン	フィリピン文化センター	06.07.28～ 06.07.29	プッチーニのオペラ『ラ・ボエーム』、『トゥーランドット』、『トスカ』の中のアリア、『蝶々夫人』の名場面の上演。指揮：篠崎 靖男、演奏：フィリピン交響楽団
3	よさこいソーラン in レイテ	レイテ・ノーマル大学、パロ市	パロ市 レイテ・ノーマル大学	06.08.04～ 06.08.05	第2次世界大戦中、マッカーサーが再上陸したレイテ島パロ市からの招待を受け、同市主催フィエスタにて、日比の日本語教師らによる「よさこいソーラン」を披露。タクロバンでも公演
4	日比共同制作現代演劇『バケレッタ』	タンハラン・フィリピーノ、シナーグ・アート・センター	シナーグ・アート・センター、フィリピン文化センター	06.10.20～ 06.11.26	鄭 義信脚本／演出による、劇団タンハラン・フィリピーノのホラー喜劇『バケレッタ』上演
5	現代演劇『真夜中の弥次さん喜多さん』	KUDAN Project	フランシスコ・サンチャゴ・ホール	06.10.27～ 06.10.29	KUDAN Projectの『真夜中の弥次さん喜多さん』の上演。原作：しりあがり 寿、脚本・演出：天野 天街
6	日比友好歌謡公演	日本艶歌歌謡協会、マニラ会、マニラ市	フィラムライフ講堂	06.11.27～ 06.11.27	日本艶歌歌謡協会主催の津山 洋子、高樹 一郎ほか出演コンサートの共催
7	現代演劇『フィリピン・ベッドタイム・ストーリーズ』	燐光群、フィリピン文化センター、シナーグ・アーツ財団	シナーグ・アーツ・スタジオ、フィリピン文化センター	07.02.17～ 07.02.25	劇団燐光群による、ベッドをドラマの舞台とする日比俳優競演の『フィリピン・ベッド・タイム・ストーリー』の上演。芸術監督：坂手 洋二、演出：吉田 智久
	【日本語教育】				
8	日本語教育研究交流会		マニラ事務所	06.04.07～ 07.03.03	日本語教育およびその周辺領域における分野の実践/研究月例報告会。H18年度は8回開催。
9	第3回フィリピン日本語教師フォーラム		JICAフィリピン事務所	06.05.27～ 06.05.28	日本語教育の実践報告、研究発表、ネットワーキングのための日本語教師フォーラムの開催

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
10	東南アジア日本語サミット	インドネシア日本語教育学会、ジャカルタ日本文化センター、パジャジャラン大学	パジャジャラン大学	06.06.23～ 06.06.24	インドネシアで開催された「東南アジア日本語サミット」へ、星 亨(マニラ事務所日本語教育アドバイザー)、アティーナ カバズール(同日本語教育コーディネータ)、ファラ クナナン(フィリピン大学講師)を派遣
11	第4回フィリピン日本語教師フォーラム		JICAフィリピン事務所	06.11.03～ 06.11.04	日本語教育の実践報告、研究発表、ネットワーキングのための日本語教師フォーラムの開催。テーマ「自己研修型日本語教師を目指して」
12	「第5回セブ日本語弁論大会」	セブ日本人会	S Mセブシティ会議場	07.01.27～ 07.01.27	「第5回セブ日本語弁論大会」の審査員として、星 亨(マニラ事務所日本語教育アドバイザー)が参加
13	日本語フィエスタ		クラム・シェル	07.03.03～ 07.03.03	マニラ、セブ、ダバオで予選を勝ち抜いた出場者による第34回日本語弁論大会をメインとした日本文化紹介事業
【図書館運営】					
14	図書室の運営		マニラ事務所	06.04.01～ 07.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料を揃えた図書室の運営
【出版・広報】					
15	ニューズレター『SUKI』発行		マニラ事務所	06.04.01～ 07.03.31	マニラ事務所の文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数6,000部
16	ニューズレター『みりえんだ』の発行		マニラ事務所	06.04.01～ 07.03.31	日本語教育ニューズレターの発行。年1回、1,000部、2色、使用言語は日本語・英語。日本語教育事業に関する主催・助成事業の紹介、特集記事等
17	事務所サイト運営		マニラ事務所	06.04.01～ 07.03.31	マニラ事務所のイベント、グラントなどを紹介するサイト
【その他】					
18	和菓子デモンストレーション	元日本留学生フィリピン連盟	フィリピン工科大学	06.07.19～ 06.07.19	元日本留学生フィリピン連盟創設30周年記念式典にあわせ和菓子づくりのデモンストレーション実施
【本部事業受入】					
19	コンドルズ公演	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	06.06.21～ 06.06.23	コンテンポラリーダンスグループ「コンドルズ」による公演の開催。あわせて石井 達郎(舞踊批評家)の講演を実施

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
20	世界遺産写真展	イースト大学、国立中央ルソン大学、サン・カルロス大学、国立西ヴィサヤス大学、フィリピン工科大学、ユチェンコ博物館、国立科学技術大学、ケソン市公園開発財団、ライシウム大学、レイテ・ノーマル大学、イロイロ博物館、ボホール工科大学、キャピトル大学イリガン・キャピトル大学、ミンダナオ国際大学	イースト大学、イリガン・キャピトル大学、イロイロ博物館、キャピトル大学、ケソン市講演開発財団、サン・カルロス大学、フィリピン工科大学、ボホール工科大学、ミンダナオ国際大学、ライシウム大学、レイテ・ノーマル大学、国立西ヴィサヤス大学、国立中央ルソン大学	06.07.19～ 07.02.25	三好 和義撮影『世界遺産写真展』を全国16カ所で開催
21	能レクチャー・デモンストレーション	フィリピン大学国際研究センター、静岡芸術大学	VOCAS カルロス・ロムロ・ホール、フィリピン大学バギオ校、フィリピン大学ミンダナオ校、フィリピン大学ロスバニョス校、ミンダナオ国際大学	06.07.23～ 06.08.30	梅若 猶彦(フィリピン大学国際研究センター(UPCIS)客員教授)ならびに、UPCIS能シアターアンサンブルによる日比友好年記念能公演。演目『翁』、『シーサー』
22	古武道	ポーディアム、モール・オブ・アジア、バギオ大学	バギオ大学、ポーディアム、モール・オブ・アジア	06.08.19～ 06.08.21	日本柔術の源流で最古の武道といわれる竹之内流を中心に、棒術、捕縄術、居合い抜き、柔道専門家によるデモンストレーション
23	第9回アジア漫画展	EDSAシャングリラ・プラザ・モール	EDSAシャングリラ・プラザ・モール	06.09.13～ 06.10.01	「アジアのIT事情」をテーマとする日本、フィリピン、中国、韓国、インド、インドネシア、マレーシア、タイの8カ国8名の漫画家による80作品の展示
24	日本映画祭	EDSAシャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター、在セブ出張駐在官事務所	EDSAシャングリラ・プラザ・モール、アヤラセンター、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター	06.09.13～ 06.10.31	2000年以降製作の8作品(顔、どら平太、鏡の女、アカルイミライ、たそがれ清兵衛、笑う蛙、ふくろう、ナイン・ソウル)、鄭 義信脚本3作品(月はどっちに出ている、マークスの山、岸和田少年愚連隊)を上映

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
25	イスラム女性リーダー研修報告会	ピース・ウーマン・パートナーズ	EDSA シヤングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学アジアセンター、マニラホテル	06.11.27～ 06.12.06	国際交流基金の助成により訪日したイスラム女性リーダーが、その成果を報告するため「平和への巡礼」と題する写真展、フォーラムを開催
26	『Junction between Filipinos & Japanese: Transborder & Reminiscences』出版	クルトゥーラ・ウィカ社		07.03.03～ 07.03.03	アーノルド アズリン(フィリピン大学講師)、シルバノ・マフィオ(フィリピン大学准教授)ほかによる日比関係論文集の出版
27	日本語教師向けパイロット講座		マニラ事務所	06.03.11～ 07.03.29	H17年度から継続の「日本語教育研究コース」(第2～第4モジュール)ならびに、18年度から開始した「日本語教師のためのブラッシュアップコース」(第1モジュール)の日本語教師向け講座の運営

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
28	小規模助成(日本研究・知的交流):アテネオ・デ・マニラ大学	アテネオ・デ・マニラ大学	06.02.06～ 06.07.26	フォト・エッセイ・コンテスト「Shoot & Write」開催経費への助成
29	小規模助成(日本研究・知的交流):アテネオ・デ・マニラ大学	アテネオ・デ・マニラ大学	06.05.10～ 06.05.12	日本研究会議「日比関係:愛、金、環境、そして」開催経費助成
30	小規模助成(日本研究・知的交流):デラサール大学ユチェンコ・センター	デ・ラサール大学ユチェンコセンター	06.05.31～ 06.05.31	日本研究シンポジウム「フィリピンと日本 地域的、世界的文脈における新しいパートナーシップに向かって」の報告書出版経費助成
31	小規模助成(日本研究・知的交流):キャピトル大学	キャピトル大学	06.07.28～ 06.07.28	「カガヤン・デ・オロにおける日本研究レクチャー」開催経費助成
32	小規模助成(日本研究・知的交流):レイテ・ノーマル大学	レイテ・ノーマル大学	06.08.04～ 06.08.05	「日比友好50周年記念 社会科学・自然科学シンポジウム」開催経費助成

	事業名	対象機関	期間	事業内容
33	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学アジアセンター	フィリピン大学アジアセンター	06.08.16～ 06.08.16	「岐路に立つ比日関係：浮かび上がる二国間、地域的課題」に関する会議開催経費助成
34	小規模助成（文化・芸術）：世界ダンス連盟フィリピン支部	世界ダンス連盟フィリピン支部、フィリピン文化センター	06.08.17～ 06.08.20	「Wi-Fiボディ：第1回インディペンデント・コンテンポラリーダンス・フェスティバル」開催経費助成
35	小規模助成（文化・芸術）：アルマ・キント	DAWN、フィリピン大学ディリマン校、トマサ高齢者センター、教育省、フィリピン大学ミンダナオ校	06.08.18～ 06.12.31	ビジュアル・アーティストのアルマ・キントによるトラウマに焦点をあてたりサーチ、ワークショップ「ハウス・オブ・コンフォート」実施経費助成
36	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学ミンダナオ校	フィリピン大学ミンダナオ校	06.10.20～ 06.10.21	「第1回比日言語学会」開催経費助成
37	小規模助成（文化・芸術）：フィリピン大学国際研究センター	フィリピン大学国際研究センター	07.02.01～ 07.03.25	日比両国からユネスコ無形文化世界遺産に登録されている「能」と「フドゥフドゥ」に関する学会開催経費助成
38	小規模助成（文化・芸術）：フィリピン・フォト・ジャーナリズム・センター	フィリピン・フォト・ジャーナリズム・センター	07.02.01～ 07.03.25	「アジア－ヨーロッパ若手写真家会議2006」開催経費助成
39	小規模助成（文化・芸術）：ドナ・ミランダ	グリーン・パパイヤ・アートギャラリー	07.02.01～ 07.03.25	「横浜ダンスコレクションR 2007」に参加したドナ・ミランダ、ジェイ・クルスの作品『Beneath polka-dotted skies』製作経費助成。同作品は審査員賞を受賞
40	小規模助成（日本研究・知的交流）：アテネオ・デ・マニラ大学	アテネオ・デ・マニラ大学	07.02.01～ 07.02.03	アジアの文学とアイデンティティに関する国際会議開催経費への助成
41	小規模助成（文化・芸術）：アルンアルン・ダンス・サークル	アルンアルン・ダンス・サークル	07.02.16～ 07.02.28	南部フィリピンを代表するスルー諸島の舞踊「パンガーライ」の保存プロジェクト経費助成
42	小規模助成（文化・芸術）：フィリピン大学アジアセンター	フィリピン大学アジアセンター	07.02.24～ 07.02.24	南洋舞踊に関するレクチャー、リサイタル開催経費助成
43	小規模助成（文化・芸術）：イエイソン・バナル	イエイソン・バナル	07.03.09～ 07.05.09	アート・イニシアティブ・トウキョウで展覧会を行うイエイソン・バナルの作品製作経費助成

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
44	小規模助成（文化・芸術）：トゥパダ	トゥパダ	07.03.31～ 07.03.31	パフォーマンス・アートを紹介する「TAMA'07 トゥパダ・アクション&メディアアート」開催経費助成
45	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学アジアセンター	フィリピン大学アジアセンター、フィリピン大学イスラム研究所他	07.03.31～ 07.03.31	「アチェ紛争、ミンダナオ平和構築実施過程」に関する国際会議開催経費助成
46	小規模助成（日本研究・知的交流）：アテネオ・アジア研究センター	アテネオ・アジア研究センター	07.03.31～ 07.03.31	「アジアの民主主義：政治的過程、記憶、権利、伝統」に関する国際会議開催経費助成
	【後援事業】			
47	「夢=Dream」展	チャイルド・ファン ド・ジャパン	06.05.25～ 06.05.29	「夢=Dream」展～フィリピンと日本の子ども絵画展 in マニラ」への後援名義付与
48	「第5回セブ日本語 弁論大会」	セブ日本人会	07.01.27～ 07.01.27	
	【その他】			
49	日本の伝統音楽演奏 教授法、学習法に関する講演	フィリピン大学国際 研究センター	06.11.20～ 06.11.20	フィリピン大学国際研究センター主催の三味線、能楽に関する講演、デモンストレーションの共催

ニューデリー事務所

合計額 77,872,019円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
1	晃麗邦楽会公演	在インド日本大使館	シュリ・ラム・センター劇場 在インド大使館	06.11.01～ 06.11.02	平塚芳朗氏を団長とする公演団19名による琴・尺八・日本舞踊の邦楽公演。11月1日に日本大使公邸(デリー日本文化月間オープングレセプション)、11月2日にシュリ・ラム・センター劇場で公演。
2	大石真理恵パーカッション公演	Foundation for the Arts 在インド日本大使館	シュリ・ラム・センター劇場 在インド大使館	06.11.08～ 06.11.09	大石真理恵氏をはじめとする日本人打楽器奏者3名によるパーカッション公演。11月8日にシュリ・ラム・センター劇場で公演。11月9日に日本大使公邸でインド人奏者2名と競演。
3	基金ニューデリー日本文化センター開所式・大蔵流能狂言公演		デリー大学 ディーン・ダヤル・ウパディヤル・カレッジ 国際交流基金 ニューデリー日本文化センター	06.12.04～ 06.12.05	茂山千三郎師による大蔵流能狂言公演。公演団9名。12月4日の国際交流基金ニューデリー日本文化センター開所式で「三番三」「男舞」「棒縛り」を上演。12月5日は、デリー大学ディーン・ダヤル・ウパディヤル・カレッジで上演。
4	東京・大阪外大語劇公演	大阪外国語大学 ヒンディー語劇団 東京外国語大学 「ウルドゥー語劇団」	国立演劇学校	07.02.23～ 07.02.24	東京外国語大学ウルドゥー語劇団、大阪外国語大学ヒンディー語劇団による公演。基金ニューデリー日本文化センターは、2月23日、24日の国立演劇学校での上演に関し、広報面で協力した。
5	観世流能公演	在インド日本大使館	シュリ・フォート劇場	07.03.03～ 07.03.03	観世宗家による能公演。2007年日印交流年事業。3月3日にシュリ・フォート劇場で「羽衣」「清水」「葵上」を上演。
	【講演・シンポジウム】				
6	日本文学講演 (バンガロール)	バンガロール大学外国語学科 バンガロール日本語教師会	バンガロール大学外国語学部	07.02.25	バンガロールの一般市民および日本語関係者を対象に、池内輝雄デリー大学客員教授による日本文学講演会を実施。講演題目は「文学にみる日本の家庭・家族」。聴衆70名。
7	拡大フェローシップ・コンファレンス報告書ブックリリース		インディア・インターナショナル・センター	07.03.08	2005年3月に国際交流基金ニューデリー事務所で実施した拡大フェローシップ・コンファレンスの報告書「India and Japan : in search of Global Roles」(2007年刊行)についての出版記念会。来場者80名。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
8	日本研究セミナー（スリランカ）	国際民族学研究中心		07.03.30～ 07.03.31	3月30日、31日に日本研究セミナーをスリランカにて実施。セミナー題目は「日本と南アジアの協力関係に関する展望と拡大」。パネリスト7名。聴衆50名。
9	【日本語教育】 日本語教育アドバイザー事業			06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金ニューデリー事務所は、インドに常駐する日本語教育派遣専門家とともに、インド及び南アジアにおける日本語教育促進のサポートを実施。
10	【出版・広報】 ウェブサイト運営			06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金ニューデリー事務所のウェブサイトの更新及び維持管理。
11	ブレティン発行			06.04.01～ 07.03.31	国際交流基金ニューデリー事務所の広報誌の発行。
12	記者懇談会		国際交流基金 ニューデリー日 本文化センター	06.10.13	デリーのマスコミ各社の文化担当記者を対象に、国際交流基金関連行事、12月4日の国際交流基金ニューデリー日本文化センター開所式、2007年日印交流年の概要、につき広報を実施。記者数30名。
13	基金文化センター開所式		国際交流基金 ニューデリー日 本文化センター	06.12.04	国際交流基金ニューデリー事務所は、06年7月に現在の建物に事務所移転を行うとともに、06年12月に日本文化センター化した。日印両国の来賓を含め、来場者延べ200名。
14	【その他】 公募助成案件コンサルタント			06.12.01～ 07.01.31	2007年度本部知的交流会議助成プログラムに関して、申請案件の内容について、本部審査の際の参考用に、第三者の当地インド人専門家から意見コメントの聴取を実施。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
15	【助成事業】 助成(Dr.S.K.Jain、 Dr.Ajay K. Mehra)	第20回国際政治学会	06.07.09～ 07.07.13	福岡で開催された第20回国際政治学会（20th World Congress of International Political Science Association (IPSA)）に対し、インドからS.K.Jain(デリー大学教授)、Ajay K. Mehra (Centre for Public Affairs所長)が参加。
16	助成 (The Bombay Chamber Orchestra)	ボンベイ室内オーケストラ	06.09.10～ 06.09.10	ボンベイ室内オーケストラは、英国在住の日本人ピアニスト森麻衣子をソリストに迎えて、ムンバイにてコンサートを実施。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
17	助成(Japan Habba)	バンガロール大学外国語学部	06.09.24～ 06.09.24	バンガロール大学外国語学部、バンガロール日本語教師会、コーヨー日本語談話グループは共催で、日印文化紹介イベントを実施。来場者延べ1,000名。
18	助成(セミナー「Japanese Poetic Aesthetics」)	Indo-Japan Association for Literature & Culture	06.11.03～ 06.11.03	Indo-Japan Association for Literature & Cultureは、国際交流基金ニューデリー日本文化センターを会場として短歌と俳句のセミナー「Japanese Poetic Aesthetics」を実施。
19	助成(Dr. Madhusudan Ghosh)	5th International Conference of Japan Economic Policy Association	06.12.02～ 06.12.03	青山学院大学にて実施された国際会議「5th International Conference of Japan Economic Policy Association」に対し、インドから、ヴィシュヴァ・バラティ大学のMadhusudan Ghosh教授がパネリストとして参加。
20	助成 (Mr. Shafi Rhaman)	International Symposium on 「Sangaku」	06.12.08～ 06.12.09	早稲田大学にて実施された散楽に関する国際会議「International Symposium on 『Sangaku』」に対し、インドからShafi Rhaman (インディアン・エクスプレス新聞社編集委員) がパネリストとして参加。
21	助成(折り紙ワークショップ)	Akriti Creations	06.12.24～ 06.12.28	Akriti Creationsは、インディア・ハピタット・センター会場で青少年50名を対象に折り紙ワークショップを実施。
22	助成(バンガロール日本語スピーチコンテスト)	バンガロール日本語教師会	07.02.07～ 07.02.07	バンガロール日本語教師会は、バンガロール市および周辺地域の日本語学習者を対象とした日本語スピーチコンテストを実施。
23	助成(生花展覧会)	生花インターナショナル・グルガオン支部	07.02.10～ 07.02.10	生花インターナショナル・グルガオン支部は、草月・大原・池坊の合同で、生花の展覧会を実施。
24	助成(セミナー「SAARC 2015」)	ネルー大学国際関係学部	07.02.10～ 07.02.11	ネルー大学国際関係学部は、国際会議「SAARC 2015:Expanding Horizons and Forging Cooperation in a Resurgent Asia」を実施。日本から龍谷大学中村教授が参加。
25	助成(セミナー「沿岸地域の環境及び持続可能な発展」)	ネルー大学環境学部	07.02.12～ 07.02.14	ネルー大学環境学部は、国際会議「International Conference on Coastal Zone Environment & Sustainable Development」を実施。80名の研究者が参加。
26	助成(セミナー「日本の文学や文化に現れる季節感」)	ネルー大学日本&北東アジア学科	07.02.27～ 07.02.28	ネルー大学日本&北東アジア学科は、国文学資料館との共催で、日本文学セミナー「Japanese Perception of Seasons in Literature and Culture」を実施。会場は国際交流基金ニューデリー日本文化センター。日本からは、伊藤鉄也教授をはじめとする6名の研究者が参加。

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
27	助成(セミナー「contemporary art in asia」)	The Biennale Society	07.03.09～ 07.03.11	The Biennale Societyは、Rajiv Gandhi Foundationを会場として国際セミナー「elective affinities, constitutive differences: contemporary art in asia」を実施。日本から、南條史生(森美術館館長)と黒田雷児(福岡アジア美術館キュレーター)が参加。

ニューヨーク事務所

合計額 50,691,198円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	事務所写真パネル貸し出し	ティップフィン中学校、ウイスコンシン国際協会		06.04.01～ 07.03.31	ニューヨーク事務所所蔵写真パネル「日本の世界遺産」を中西部2都市で開催された世界文化フェスティバルに貸出し、展示した。
	【公演】				
2	在米日本専門家中南米派遣事業(竹中真/ジャズピアノ)	在ポルトアレグレ出張駐在官事務所、在ブラジル日本大使館		06.10.28～ 06.11.05	在ポルトアレグレ出張駐在官事務所および在ブラジル大使館からの要請に基づき、ボストンに活動拠点を置くジャズピアニスト、竹中真(パークリー音楽院助教授)を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった。
3	在米日本専門家中南米派遣事業(AUN/和太鼓)	在グアテマラ日本大使館、在コスタリカ日本大使館、在コロンビア日本大使館		06.11.01～ 06.11.14	グアテマラ、コスタリカ、コロンビアの各日本大使館からの要請に基づき、ニューヨークに活動拠点を置くAUN(双子の和太鼓ユニット)と真部裕(ヴァイオリン奏者)を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行った。
4	在米日本専門家中南米派遣事業(なら春子/ジャズピアノ)	プエルトリコ音楽院、在トリニダード・トバゴ日本大使館		07.03.26～ 07.03.31	在ニューヨーク総領事館および在トリニダード・トバゴ大使館からの要請に基づき、ニューヨークに活動拠点を置くジャズピアニスト、なら春子(コロンビア大学教育学部助教授)とカメルーン出身のヴォーカリスト、ジーノ・シトソンをプエルトリコとトリニダードに派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを行なった。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【講演・シンポジウム】				
5	北米巡回現代日本文学セミナー	アルフレッドA クノッフ社 エリオットベイ 書店 カリフォルニア 大学パークレー 校 カリフォルニア 大学ロサンゼルス 校 コロンビア大学 サンフランシスコ 紀伊国屋書店 シアトル紀伊国 屋書店 ニューヨーク紀 伊国屋書店 ワシントン大学 在シアトル総領 事館		06.04.01～ 07.03.31	日本文学作品を一般に紹介するために、北米各地の読書クラブ、大学等に対し、英訳作品を寄贈し、その後、作家を派遣し、セミナー等を実施。本年度は桐野 夏生（作家）を派遣。
6	在米日本専門家中南米派遣事業（郡 裕美／建築）	サンパウロ日本文化センター		06.09.20～ 06.10.13	第27回サンパウロ・ビエンナーレの並行事業として、在ニューヨークの日本人建築家、郡 由美による講演会をサンパウロ商業連盟社会サービス・ピニエロス文化センターで実施した。なお、郡は同センターにインスタレーションを設置し、約3か月半にわたり展示を行なった。
7	在米日本専門家中南米派遣事業（徳 雅美／少女マンガ）	在ベネズエラ日本大使館、サンパウロ日本文化センター、在アルゼンチン日本大使館		06.10.27～ 06.11.09	最近欧米を中心に注目を集めている日本のポップカルチャーに関し、日本の少女マンガをテーマにした講演会を実施した。講師は徳雅美（カリフォルニア州立大学チーコ校准教授）。講演では、日本のマンガの歴史、その特徴、ストーリー性、独特な表現方法等について、徳自作のパワーポイントによる資料を駆使しながら視覚的に展開。日本における少女マンガを第一世代～第三世代に分類して、各時代に活躍したマンガ家のプロフィール、代表的な作品の特徴や魅力等について解説した。
8	第59回全米アジア学会年次総会でのフェロー懇親会			07.03.23～ 07.03.23	07.03.22～07.03.25にボストンで開催された第59回米国アジア学会（AAS）年次総会において、基金事業の広報と日本研究関係者との人脈維持・形成を目的としてレセプションを開催。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【映画】				
9	大学巡回日本映画祭（南部）	フロリダ大学、サウス大学スワニー校、テキサス大学サンアントニオ校、デューク大学、エッカードカレッジ		07.02.01～ 07.03.19	日本文化が紹介される機会が比較的少ない地域において、地元の大学等の協力を得て実施しているニューヨーク事務所主催の巡回映画上映会。本年度は、南部の5大学（テキサス大学サンアントニオ校、フロリダ大学、エッカードカレッジ、サウス大学スワニー校、デューク大学）で実施した。
	【出版・広報】				
10	米国における日本研究関連団体活動実態調査			06.04.01～ 07.03.31	ニューヨーク事務所職員が北米日本資料調整評議会（NCC）会議など、日本研究関連の主な会議・シンポジウム・ワークショップに参加し、関係者との意見交換を通じて、米国における日本研究の現状と課題を把握するとともに、基金プログラムの広報を積極的に行なった。
11	ニューズレター発行			06.04.01～ 07.03.31	ニューヨーク事務所のニューズレター”Bridges”（年2回発行、カラー印刷、4,000部作成）を発行。米国において基金が主催または助成する各種事業を、基金事業に必ずしも馴染みのない大学・研究機関、文化・芸術団体の関係者に向けて分かりやすく広報することを主眼とした。
12	ウェブサイト運営			06.04.01～ 07.03.31	ニューヨーク事務所の概要、公募プログラムの案内、ニューズレター電子版等を掲載。使用言語は英語。電子メール（info@jfn.org）による各種照会にも対応。URLはhttp://www.jfn.org
	【その他】				
13	松風荘襖絵製作協力	松風荘友の会		07.02.01～ 07.04.30	松風荘は1954年に故・吉村 順三の設計により建築された書院造りの日本建築で、ニューヨーク近代美術館（MoMA）で一般公開された後、1958年にフィラデルフィア市フェアモント公園内に移築されたが、管理上の不備により、故・東山 魁夷画伯の描いた襖絵すべてを含む建物が全損してしまったため、1976年以降数回にわたり大規模な修復工事が実施された。千住 博画伯（京都造形芸術大学副学長）が新たな襖絵の制作に無償で取り組むにあたり、障壁画表装工事にあたる4名の経師派遣費用を支援した。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
14	越境体験：日本の部	Binghamton University	06.04.07～ 06.04.23	ニューヨーク州北部の小都ビンハムトンで開催された東アジア出身の現代美術作家によるグループ展に安部典子と奥村雄樹（いずれもフィリップ・モリス・アート・アワード受賞者でニューヨーク在住）が参加した。展覧会に並行して、出展作家によるワークショップ、パフォーマンスや公開トークが、地元の学生や芸術家を対象に行われた。
15	「投入と拡散」展	Japanese Association of Northeast Ohio	06.04.15～ 06.05.15	オハイオ州北東部の小都、ゲーツ・ミルズおよびチャグリン・フォールズで開催された在米日本人芸術家4名によるグループ展。「東洋と西洋の出会い」をテーマに開催された本展では、日本のモチーフを生かしたステンシル、急須、箸置き、墨絵の制作実演も行われた。
16	音楽、仮面、マイムによる日本のお伽噺	Susquehanna Folk Music Society	06.05.05～ 06.05.05	ペンシルヴェニア州の州都ハリスバーグ近郊で行なわれたクニコ・ヤマモト（フロリダ在住）による日本のお伽噺のパフォーマンス。本公演に先立ち、地元の児童生徒を対象とするワークショップも実施された。
17	北東部日本語教師会 (NECTJ) 主催俳句コンテスト	Northeast Council of Teachers of Japanese	06.05.13～ 06.05.13	ニューヨーク周辺の小中高校生を対象に、英語および日本語で作った俳句のコンテストを実施。各校にクラス単位での参加を呼びかけ、集まった俳句の中から優秀作品3点と奨励作品数点を選抜し、国連高校で表彰式および優秀作品の展示を行った。
18	アジアン・アーティスト&コンサーツ交響楽団国連本部公演	Asian Artists and Concerts	06.05.22～ 06.05.22	在ニューヨークのアジア系若手音楽家の活動支援を目的とする非営利団体Asian Artists & Concerts (AAC) による国連創設60周年と日本の国連加盟50周年を記念するコンサート。会場となった国連本部総会議場は約1,200人の観客で埋まり、冒頭の大島賢三国連大使の挨拶に続き、AAC代表であり、ニューヨーク・シティ・オペラ指揮者でもある山田敦が指揮するAACオーケストラの演奏に耳を傾けた。
19	堀江 慶監督『全身と小指』米国プレミア上映会	Brooklyn International Film Festival	06.06.02～ 06.06.11	第9回ブルックリン国際映画祭における日本からの招待作品として、堀江 慶監督の『全身と小指』を上映。
20	ウィーヴィング・ジャパニーズ・サウンドズ・コンサート	Fractured Atlas	06.06.18～ 06.06.18	「ジュリアード音楽院の代表的卒業生」として、同学院創立100周年記念刊行物でも取り上げられた加藤 幸子が率いるWeaving Japanese Soundsの第3回コンサート。マンハッタン内のピアノ販売店に併設されたコンサート・ルームに50名以上の観客が集まり、武満 徹をはじめとする日本の作曲家による現代音楽や、日本にインスピレーションを受けた在米作曲家による現代音楽のハイレベルな演奏を楽しんだ。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
21	能トレーニング・プロジェクト	Bloomsburg Theatre Ensemble Noh Training Project	06.07.17～ 06.08.04	シアター能楽の芸術監督であり、武蔵野女子大学教授でもあるリチャード・エマートが、主に米国人芸術家を対象とする能の研修プログラムをペンシルヴェニア州ブルームスバーグで実施。最終日に行われた一般向けの公演には約120人の観客が集まり、英語能の舞台を鑑賞した。
22	ワールド・フェストにおける日本パヴィリオン	Kentucky World Trade Center	06.09.01～ 06.09.02	ケンタッキー州ルイヴィルで開催されたワールド・フェスト会場にケンタッキー日米協会がジャパン・パヴィリオンを出展し、一般市民向けに日本文化紹介事業を行った。在ニューヨークの箏奏者、石樽雅代が率いる邦楽アンサンブルがゲスト出演した。
23	15：マッケンドリー・カレッジ日本フェスティバル	McKendree College	06.09.10～ 06.09.16	イリノイ州の小都レバノンのマッケンドリー・カレッジで開催された日本フェスティバル。同カレッジと田中育英財団、東京工学院専門学校との姉妹関係締結15周年記念事業の一環として実施された。
24	都市、アートおよび再生	Lower Manhattan Cultural Council	06.09.14～ 06.09.17	芸術を通じた都市再生に関するシンポジウム「都市、芸術、再生：その次に来るもの」に日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル（NIPAF）の実行委員長、霜田誠二が招かれ、「アジアにおけるパフォーマンス・アートと身体の使い方」をテーマに講演を行なった。
25	「日米職業交流」国際シンポジウム	The Center for Professional Exchange (CEPEX)	06.09.15～ 06.09.15	米国の大学で日本研究を専攻して卒業しても、その知識を生かした就職先が企業・財団・大学で減っているのではないか、という問題意識から、日本研究専攻の学生および若年層の卒業生を対象に就職支援を行なうために設立されたNPO団体が開催したシンポジウム。「職業交流の歴史」と「職業交流の未来」という2つのセッションが行われ、約60名が参加した。
26	伊藤さちよ50周年記念舞踊公演	Sachiyo Ito & Company	06.09.30～ 06.09.30	在ニューヨークの日本舞踊家、伊藤さちよの50周年舞踊公演会をロウワー・マンハッタンにあるペース大学内の劇場で実施。
27	ニューヨークー東京音楽祭2006	City Parks Foundation	06.09.30～ 06.09.30	日米両国の若者に人気があるものの、相手国には知られていない各3名のアーティストがニューヨークのセントラルパークの野外ステージで正味4時間に及ぶ無料コンサートを行なった。
28	杉本 博司の選ぶ日本映画特集	Modern Art Museum of Fort Worth	06.10.07～ 06.11.25	在ニューヨークの写真家、杉本 博司の写真展「時の終わり（原題” End of Time”）」がフォートワース現代美術館で開催されるのにあわせ、杉本の選んだ日本映画7作品の連続上映会を実施。7本中5本を基金本部のフィルムライブラリーから貸し出した。2005年にニューヨーク日本協会で開催した上映会のスピノフ企画。
29	日本舞踊アトランタ公演	Oglethorpe University	06.10.07～ 06.10.11	アトランタのオグルソープ大学ラプトン音楽堂において花柳 友章が日本舞踊の公演を行なったほか、学生を対象とするワークショップにも取り組んだ。アトランタで毎年開催されている大規模なジャパン・フェストの関連企画。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
30	川端 康成『雪国』 講演シリーズ	Scholars at Wright	06.10.12～ 06.11.09	川端康成の小説『雪国』を題材とした連続講演会。中西部の大学で教鞭をとる若手の日本文学研究者3名が交代で講演会を行い、シカゴ周辺の日本文学愛好家、在留邦人、高校生、大学生などが参加した。
31	「移行期の日本」国 際シンポジウム	Lawrence University	06.10.13～ 06.10.15	ウィスコンシン州アップルトンのローレンス大学で開催された国際会議で、日米関係の現状と今後について政治・経済・文化の様々な側面から議論が行われた。栗山元駐米大使が参加し、初日に「日本と米国：進化する同盟関係」（原題”Japan and the United States: the Alliance in Evolution”）と題する基調講演を行った。
32	田中正秋・智佳子二 人展	Middle Tennessee State University	06.10.16～ 06.11.03	中部テネシー州立大学付属ギャラリーにおいて版画家・画家である田中正秋・知佳子夫妻の二人展を開催。田中夫妻は本展にあわせて同大学を訪問、学生向けのワークショップに取り組んだほか、田中正秋氏の講演会には約125人の学生が集まった。
33	日本を祝う	Tiffin Middle School	06.10.26～ 06.11.19	オハイオ州北部の小都ティッフィンの国際文化センターにおいて日本文化祭を開催。邦楽コンサート、映画上映会、武道デモンストレーション、日本食試食会など充実した内容のプログラムが展開された。ニューヨーク事務所所蔵写真パネル「日本の世界遺産」も展示。
34	モビウス国際パ フォーマンス・ア ート・フェスティバル	Mobius, Inc.	06.11.01～ 06.11.05	ボストンで開催された国際パフォーマンス・アート・フェスティバルに日本からアーティスト、山岡佐紀子が参加し、パフォーマンスを披露したほか、世界各国から集まった約15名のアーティストとともにボストン美術館付属美術学校におけるシンポジウムにパネリストとして出席。
35	サンノゼ太鼓による 2006年国際フェス ティバル公演	Nationalities Council of Indiana	06.11.02～ 06.11.05	インディアナポリスのインディアナ州立博覧会場で毎年開催される国際フェスティバルにサンノゼ太鼓が招かれ、会場内のメインステージで5回公演を行なったほか、地元の高校を訪問し、インディアナポリス周辺で打楽器を演奏する高校生200人を対象にセミナーを実施。
36	箱島安「デュアリ ティII」	Danmari Ltd.	06.12.02～ 06.12.02	ニュージャージー州モンクレアに拠点を置き、40年にわたって国際的に活躍するマイムアーティスト箱島安が、ニューヨークのトライベッカ舞台芸術センターにおいて、ダ・カーポ室内楽アンサンブルとともに新作「デュアリティII」を披露した。約160名の観客が公演を楽しんだ。
37	青島 千穂「The Divine Gas」	The Institute of Contemporary Art	06.12.10～ 07.10.28	ボストンのウォーターフロント再開発計画の一環として、ディーラー・スコフィディオ+レンフロの設計によって新装オープンしたボストン現代美術館のロビー壁面に現代美術作家、青島千穂の新作「The Divine Gas」を約11ヶ月にわたり展示。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
38	ハンナの鞆	Metro Theater Company	07.01.11～ 07.01.21	ナチス・ドイツの迫害を受け、アウシュヴィッツ強制収容所で犠牲となった少女（ハンナ）の鞆をめぐる、少女の運命を日本の女性（石岡史子ホロコースト教育資料センター代表）が日・チェコ・カナダ等を探し求めた実話を下敷にした、カナダ人作家カレン・レビンの小説『Hana's Suitcase』を演劇化した作品を、在セントルイスの劇団メトロ・シアター・カンパニーが連続公演した。
39	「少女マンガのパワー」展	The Japan-America Society of Washington, DC	07.01.29～ 07.03.19	在米国大使館広報文化センター内ギャラリーにおいて、徳 雅美（カリフォルニア大学チーコ校准教授）監修による日本の少女マンガ展を開催。
40	能ワークショップ	Georgetown College	07.02.04～ 07.02.04	ケンタッキー州のジョージタウン大学で観世流能楽師3名が6日間にわたりワークショップを実施。最終日に一般向けの公演を行なった。
41	現代日本陶磁器展	Towson University	07.02.10～ 07.05.11	メリーランド州ボルチモア近郊のトーンソン大学アジア芸術文化センターで現代日本陶磁器展を開催。レクチャーやワークショップ、舞台公演などの関連企画も実施。
42	坂手洋二原作『屋根裏』	The Play Company	07.02.21～ 07.03.24	劇作家・演出家、坂手洋二作『屋根裏』の英語版が、世界各国の現代戯曲を紹介する在ニューヨークの劇団プレイ・カンパニーにより、マンハッタン中心部の59丁目劇場で連続上演された。
43	アシッド・マザーズ・テンプル公演	Swiss Institute - Contemporary Art	07.02.24～ 07.02.24	スイス出身の現代美術作家ヴィドヤー・ガスタルドンの個展がニューヨークのスイス・インスティテュートで開催されるのに合わせ、日本を代表するサイケデリックバンドとして国際的に活躍するアシッド・マザーズ・テンプルがゲスト出演した。
44	鶴沢久と能グループによるウェレズリー公演	Wellesley College	07.02.25～ 07.02.25	観世流能楽師、鶴沢久一行がボストン近郊のウェレズリー大学において公演とワークショップを実施した。
45	日本の書道の芸術	East Carolina University Foundation	07.02.27～ 07.02.27	ノースカロライナ州グリーンヴィルのイースト・カロライナ大学において、学生と地元的一般市民を対象とする書道のワークショップが行なわれた。
46	「現在の起源：コミュニティを再構築するーシカゴにおける日系アメリカ人の再定住」展	Japanese American Service Committee of Chicago	07.03.10～ 07.06.02	シカゴ日系人協会の創立60周年を記念し、「現在の起源：コミュニティを再構築するーシカゴにおける日系アメリカ人の再定住」と題する展覧会を開催した。シカゴのアップタウンにあるシカゴ日系人協会コミュニティ・センターでは、日系人が戦中・戦後に歩んできた歴史を振り返る内容のマルチメディア展示にあわせて、和太鼓、日本舞踊などの公演、教育ワークショップなどの関連企画も実施された。

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
47	カルナ・カツーム MATAフェスティ バル公演	Music At The Anthology	07.03.15～ 07.03.20	ニューヨーク・ブルックリンで開かれた実験音楽の祭典「MATAフェスティバル」に京都在住のサウンド・アーティスト、カルナ・カツーム（川本かなえ）が出演し、在ニューヨークのビデオインスタレーション作家、森家成和とともにオリジナル作品「ハイドロ・ワールド」を上演した。
48	米国議会図書館所蔵 日本関係貴重書シン ポジウム	Library of Congress	07.03.27～ 07.03.27	米国議会図書館が所蔵している日本関連資料を題材にしたシンポジウム。「貴重書一般」「貴重美術本」「浮世絵」「古地図」の4つのトピックについて日米双方の専門家による発表と参加者による質疑応答を行なった。
49	「今日の日本の音 楽」2007年国際シン ポジウム	University of Maryland, Baltimore County	07.03.30～ 07.03.31	1992年以来メリーランド大学ボルチモア校が連続開催してきたアジアの音楽に関する国際シンポジウムの最終回として、現代日本における音楽の諸相をテーマにした国際シンポジウムを実施。日本から3名の作曲家（伊藤 弘之、山本裕之、愛澤伯友）が参加し、講演を行うとともにパネルディスカッションにも参加した。

ロサンゼルス事務所

合計額 93,382,595円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
1	文化主催事業 (和紙レクチャー・デモン ストレーション)	国際交流基金ロ サンゼルス事務 所 日米文化会館、 ボイジー州立大 学、クマモトプ ラザ、デンバー 植物園等	国際交流基金ロ サンゼルス事務 所／日米文化会 館／ボイジー州 立大学／クマモ トプラザ／デン バー植物園	06.09.10～ 06.09.17	浜田 洋直と浜田 治の2人の和紙職人による日 本の伝統的な手漉き和紙を紹介するレクチャー とデモンストレーションを4都市（カリフォル ニア州ロサンゼルス、アイダホ州ボイジー、モ ンタナ州ヘレナ、コロラド州デンバー）の会場 で実施。和紙の製作工程についての講演と専門 家による紙漉きの実演が行なわれた。
2	文化芸術主催事 業(日韓アニ メーション上 映)	エジプシャンシ アター、韓国文 化センター、ア メリカン・シネ マティーク、韓 国文化コンテン ツ振興院 国際交流基金ロ サンゼルス事務 所	エジプシャン劇 場	07.03.31～ 07.03.31	米国において注目を集めるアジアのアニメー ションの中から日本の作品『時をかける少女』 (2006年日本公開・第30回日本アカデミー賞最 優秀作品賞受賞)と韓国の作品『アッチ&シパッ ク』(2006年韓国公開)を上映すると共に、上映 作品の細田 守監督とバンジン・ジョ監督、米 国のアニメーション・プロデューサーや研究者 によるパネルディスカッションを行なった。
	【講演・シンポジウム】				
3	日本語教育シン ポジウム	国際交流基金ロ サンゼルス事務 所／全米日本語 教師会連合／ ATJ(日本語・ 日本文学)／全 米日本語教師会	シェラトン・ ナッシュビル・ ダウンタウン	06.11.17～ 06.11.18	米国の日本語教育の今後の方針に関する討論。 1日目は米国の日本語教育界のリーダーを集め、 10年前に設定した課題の達成度を確認するとと もに、これからの10年に向けてどのような新た な課題を設定すべきか、ブレインストーミング を行なった。2日目は日本語教育の現状と前日 の日本語教育リーダーを集めたクロズド・ セッションの結果を報告し、一般参加者との意 見交換を行なった。意見交換の後のレセプション を開き、各地から集まった参加者の交流の場 を設けた。
	【日本語教育】				
4	米加英研修事前 事業研修	ロサンゼルス事 務所 全米日本語教師 会連合(AATJ)	ロサンゼルス事 務所	06.06.23～ 06.06.23	米国・カナダ・英国初中等日本語教師研修研修 参加者のための訪日出発前オリエンテーション 研修。研修を活かして米国の教育事情に即した 教材作りができるよう、予備知識として米国特 有の日本語教育知識（ナショナルスタンダード 等）を説明。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
5	日本語教育コンサルティング委員会開催	ロサンゼルス事務所 筒井道雄氏、ジンジャー・マーカス氏、ウィリアム・コラゾ氏	ロサンゼルス事務所	07.01.13～ 07.01.13	平成19年度対米日本語関係プログラムの予備審査過程として、米国在住日本語教育専門家3名による委員会を開催。
6	【図書館運営】		ロサンゼルス事務所	06.04.01～ 07.03.31	基本的には日本語教育専門図書館であり、主な利用者層は日本語教師。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する蔵書もそろえている。 蔵書：図書資料 7464冊、視聴覚教材 1560点 利用者数：518名 会員数：1169名。
7	【出版・広報】 ニューズレター発行『ブリーズ』	ロサンゼルス事務所		06.04.01～ 07.03.31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果を報告する情報誌の刊行。本年度からウェブマガジン化し、より柔軟な構成となった。
8	日本語ニューズレター発行『ワフー!』	ロサンゼルス事務所		06.04.01～ 07.03.31	中学・高校で日本語を学習する生徒を対象に作成した日本語学習ウェブマガジン。日本文化紹介と遊びの要素を含んだ自習用日本語練習問題から構成されている。中学・高校に加えて全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより紹介。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
9	日本語教育ミニグラント(アリゾナ日本語教師会ワークショップ)	アリゾナ州日本語教師会	06.04.07～ 06.04.07	アリゾナ州外国語教師会による「米国南西部外国語教育学会」において、片岡 裕子(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)を迎えてアドバンスト・プレースメント・プログラムの日本語に関する講演を行なった。
10	日本語教育ミニグラント(南ネバダ日本語教師会ワークショップ)	南ネバダ日本語教師会	06.05.06～ 06.05.06	中等教育レベル教師の啓蒙と資質向上および高等教育レベル教師との連携を念頭に置いたアドバンスト・プレースメント・プログラムの日本語に関する講演を片岡 裕子(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)が行なった。
11	文化・芸術ミニグラント(茶道陶器に関する講演会)〈在外公館対象〉	裏千家カリフォルニア協会	06.05.10～ 06.05.10	日本で生活し、日本の陶芸の世界に魅せられたRichard Milgrim氏を招いて、日本の茶道で使用する陶器に関する講演会と茶道の実演・陶器の展示を行った。裏千家財団サンフランシスコ事務所が企画。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
12	文化芸術ミニグラント(東松ドキュメンタリー)	サンフランシスコ現代美術館	06.05.13～ 06.08.13	戦後の日本写真界で注目された東松 照明の写真展(240作品)を開催。同時に1日数回、東松 照明のドキュメンタリー番組を上映。英語訳を製作するための費用について助成を行なった。
13	文化・芸術ミニグラント(米国相撲大会2006)	全米相撲協会(NJ)南カリフォルニア相撲協会	06.06.10～ 06.06.10	毎年日本で行われる世界選手権の米国代表選考会。全米から40名程の力士が集まり、代表権を争う公式トーナメント。毎年全米各地で行われるが今年はロサンゼルス近郊で開催された。
14	文化・芸術ミニグラント(能楽セミナー2006)	メアリー佐野スタジオ・オブ・ダンカン・ダンシング	06.07.14～ 06.07.14	大倉 正之助(能楽大鼓)と波吉 雅之(能楽宝生波吉家14代当主)を日本から招き能楽を米国人に理解してもらうためのワークショップとパフォーマンスを開催。北カリフォルニア日本協会が共催し、在米国サンフランシスコ総領事館が後援。伝統的な能楽と共に米国人ダンサーとのコラボレーションパフォーマンスも披露した。
15	日本語教育ミニグラント(カリフォルニア外国語教師会セミナー)	カリフォルニア外国語教師会	06.08.01～ 06.08.04	カリフォルニア外国語教師会主催の4日間にわたる教師研修。言語別のみならず、言語共通のセッションも設けられ、様々な外国語教師との交流が図られた。日本語向けセッションでは、ヨシコ・斎藤・アボット(カリフォルニア州立大学モンレーベイ校教授)と阿座間 ヨシハル(サリナス高校教諭)がアドバンスト・プレースメント・プログラムの日本語に関するカリキュラム作りの指導を行なった。
16	日本語教育ミニグラント(ロッキー山脈日本語教育シンポジウム)	コロラド日本語教師会	06.09.16～ 06.09.16	コロラド州および近隣の州の日本語教師(初・中・高等の全レベル)を対象に実施された日本語教育シンポジウム。片岡 裕子(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)によるレクチャーと、ラウンドテーブルという構成で同地域が抱える日本語教育の問題点の洗い出しと、その解決方法をさぐるための熱心な情報交換・議論が行なわれた。
17	文化・芸術ミニグラント(ジャパン・アーツ・デーズ)	アートコア	06.09.23～ 06.09.27	ワイオミング州キャスパーで毎年行なわれる地元アートイベントの一環として、小・中学校の生徒を対象に太鼓の演奏とワークショップを実施。
18	文化・芸術ミニグラント(チャノマ・フィルム・フェスティバル2006)	日米メディア協会	06.10.20～ 06.10.26	子供から大人まで楽しめる最近の日本映画をハリウッドにて11作品上映。話題の日本映画から心温まる作品を中心に上映。上映作品のひとつである「スクールウォーズ」主演の照英(俳優)を日本から招聘。
19	日本語教育ミニグラント(北加日本語教師会ワークショップ)	北加日本語教師会	06.10.29～ 06.10.29	北カリフォルニア地域における日本語教師の資質向上及びネットワーク形成促進を目的に、北加日本語教師会が在サンフランシスコ総領事館の協力を得て実施した日本語教師用セミナー。数多くの日本語教材を執筆している牧野 成一(プリンストン大学教授)をゲストスピーカーに招き、日本文化の捉え方、教授法についての講演を行った。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
20	日本語教育ミニグラント（ハワイ日本語教師会ワークショップ）	ハワイ日本語教師会	06.11.03～ 06.11.04	當作 康彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）および片岡 裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）を講師に招き、アドバンスト・プレースメント・プログラムの日本語に関するワークショップを行なった。中・高等教育レベルにおける日本語教育の連携の重要性、および具体的な試験対策についての講義がなされた。
21	日本語教育ミニグラント支払（デラウェアバレー日本語教師会ワークショップ）	デラウェアバレー日本語教師会	06.11.18～ 06.11.18	日本語教材『げんき』の著者である品川 恭子（カリフォルニア大学サンタバーバラ校日本語講師）をゲストスピーカーに招き、同教材の構成と利用方法について3時間にわたるレクチャーを行なった。講義の合間には参加者がグループに分かれて意見交換する場が設けられ、講義を踏まえた上で『げんき』に即したアクティビティについて活発にアイデアを出し合った。
22	文化・芸術ミニグラント（リスニング・東京・サンフランシスコ）	インターセクション・フォー・アーツ・モモライン・リスニング・東京・サンフランシスコ	06.12.06～ 06.12.16	日本と米国で行われる日米アーティストによる現代美術展。2006年7月に日本（昭和記念公園）で開催されたのに続き、本事業はサンフランシスコのアートギャラリーで行なわれた。20歳から30歳代のパフォーマンス、サウンドアート、映像アートなど時間軸を意識した芸術分野で活動する若手作家作品を中心に展示。
23	日本語教育ミニグラント（アドバンスト・プレースメント・プログラムを通じての中等・高等教育連携日本語および文化ワークショップ）	ATJ（日本語・日本文学）継承日本語分科会	06.12.10～ 06.12.16	継承日本語学校・補習校の運営者（学校長・事務局長・教師）および継承日本語話者の保護者を対象に、アドバンスト・プレースメント・プログラムの日本語試験の説明会を実施し、最新情報を提供するとともに、継承日本語話者に焦点を当てた受験のテクニックを紹介した。
24	文化・芸術ミニグラント（事始め）	日米文化会館	07.01.07～ 07.01.07	ロサンゼルスを「現代のシルクロード」になぞらえた野外パフォーマンス。日本舞踊とフラメンコダンス、弓道のコラボレーション作品。
25	文化・芸術ミニグラント（津軽三味線コンサート）	曹禅寺	07.01.10～ 07.01.10	日本から新田 昌弘（津軽三味線奏者）、地元ロサンゼルスからケビン・メッツ、マイケル・ペニーの日米共演で行われた津軽三味線のコンサート。ヒダノ 修一（和太鼓奏者）も参加した。
26	文化・芸術ミニグラント（日系移民をテーマとした演劇）	コミュニティー・アジア・シアター・オブ・シエラ	07.01.18～ 07.02.10	ベリナ・ハス・ヒューストン（南カリフォルニア大学教授、作家）が書き下ろした戦争花嫁5人の新しい土地での苦労を描いた戯曲の舞台化。アジア系米国人の女優が戦争花嫁として渡米した日本人女性を演じた。
27	文化芸術ミニグラント（ねぶた・イン・ロサンゼルス）	リトル東京ビジネスアソシエーション	07.01.30～ 07.08.18	ロサンゼルス青森ねぶた祭りで使用するねぶた製作費用の一部を支援。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
28	文化・芸術ミニグラント(少女マンガ展)	二世ウィーク基金	07.02.05～ 07.08.18	少女マンガは近年米国でも注目され日本の少女マンガ雑誌が英訳されて販売されるようになった。本展示会は手塚治虫から現代の代表的な少女マンガを作品200点と共に解説するものであり、本事業はその展示会を成功させるための広報資料制作と告知活動を支援した。
29	文化・芸術ミニグラント(鼓童アーツ・スフィア・アメリカ2007 ワークショップ)	鼓童アーツ・スフィア・アメリカ	07.02.08～ 07.02.18	鼓童のメンバー小島 千絵子とニューヨーク在住の渡辺かおるによる太鼓と日本伝統音楽のワークショップ。ハワイとロサンゼルス为学校やコミュニティ施設でワークショップを開催し、一般向けのコンサートも行なった。
30	日本語教育ミニグラント(ウイスコンシン州初・中・高等教育日本語教師ワークショップ)	ウイスコンシン大学指導教授理事会システム	07.02.10～ 07.02.10	米国中西部の日本語教師(幼稚園から大学までの全レベル)を対象とし、アニメーション・漫画をテーマに、日本語及び日本文化の教授法についてのワークショップを実施した。ゲストスピーカーとしてイトウワット(インディアナ大学教授)を招き、中上級者向けの日本語クラスでのアニメーション・漫画の活用方法について講演を行なった。
31	日本語教育ミニグラント(加州日本語学園協会年次総会)	加州日本語学園協会	07.02.10～ 07.02.10	継承日本語学校(南カリフォルニア地域)の教師を対象に実施した研修会。片岡 裕子(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)をゲストスピーカーに招き、「日本語スタンダードを取り入れた日本語教育：日本語学校の場合」についての基調講演を行なった。午後は教育レベルごとに5つのグループに分かれて、日頃抱える問題点についてそれぞれ意見交換を行なった。
32	日本語教育ミニグラント(オンライン日本語教師養成コース開講準備)	全米日本語教師会連合	07.03.01～ 07.03.31	2001年に採択されたNo Child Left Behind法の影響で教師資質が厳しく問われるようになり、正式な資格を持たない日本語教師が失職する事態が生じている。こうした状況をいち早く食い止めるため、財政難で一時停止していたオンライン日本語教師養成講座(JOINTプログラム)開発の端緒として電子メールとチャット方式によるオンライン教師養成コースが開設されることとなり、同コースへの支援を行なった。
33	文化・芸術ミニグラント(キャディ!キャディ!キャディ!)	ボディー・ウェザー・ラボラトリー	07.03.01～ 07.03.04	ポール・チャベツ(作曲家)、オグリ(舞踏ダンサー)によるコラボレーション公演。ウィリアム・フォークナー(米国作家)の作品を題材に演出された作品。
34	日本語教育ミニグラント(第19回中部日本語教師会ワークショップ)	アイオワ大学	07.03.03～ 07.03.04	これまでは高等教育レベルのみの日本語教育関係者を対象とした学会であったが、2006年はイリノイ日本語教師会(初中等レベルの日本語教師が主なメンバー)との共同企画とし、初等から高等まで、全教育レベルの交流(ネットワーク強化)を目的とした学会を実施した。アンドリュー・コーエン(ミネソタ大学教授)及び牧野 成一(プリンストン大学教授)が基調講演を行なった。

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
35	日本語教育ミニグラント(第22回南東部日本語教師年次総会)	メンフィス大学	07.03.03～ 07.03.04	米国南東部の日本語教育関係者を対象に、初・中・高等教育の連携を念頭に「日本語スタンダードと日本語教育の新しい方向」というテーマで様々な発表を行なった。基調講演では、當作 靖彦(カリフォルニア大学サンディエゴ教授)が、外国語教育スタンダード作成の経緯と内容に加え、日本語のアドバンスト・プレースメント・プログラム導入が今後の米国における日本語教育に与える影響などについての発表を行なった。当日は甲藤 岳史(在米国ニューオリンズ総領事館副領事)および渡邊 真紀(国際交流基金ロサンゼルス事務所日本語専任講師)が出席。
36	文化・芸術ミニグラント(サンフランシスコアジア美術館)	アジア美術館	07.03.08～ 07.03.27	アジア美術専門の美術館としては西海岸最大といわれるサンフランシスコのアジア美術館の図書館における日本美術専門図書、特に浮世絵から現代のマンガに関する蔵書増強を支援した。
37	日本語教育ミニグラント支払(アドバンスト・プレースメント・プログラムを通じての中等・高等教育連携勉強会)	ATJ(日本語・日本文学)教師養成分科会	07.03.17～ 07.03.17	大学の日本語プログラムにアドバンスト・プレースメント・プログラムの日本語試験の価値を認知させるため、大学レベルの日本語教育関係者(日本語プログラム運営上の決定権をもつ代表者)を対象とした、同プログラムおよびその中枢となる日本語スタンダードの勉強会を実施。

メキシコ事務所

合計額 32,459,613円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【公演】				
1	セルバンティーノ国際芸術祭舞踏家ワークショップ（笠井叡）	国立芸術センター、セルバンティーノ国際芸術祭	国立芸術センター、ローラ・リンセ・ダンススタジオ	06.09.25～ 06.10.03	第34回セルバンティーノ国際芸術祭の一環として、9月25日から28日までメキシコシティにおいて、また同29日から10月3日までグアナフアトにおいて、舞踏家笠井叡氏によるワークショップを実施。
	【講演・シンポジウム】				
2	日本料理紹介	在メキシコ日本国大使館広報文化センター、メキシコ農牧省、食肉輸出組合、日航ホテル、クラブ・ボスケ	ホテル・ニッコー・デ・メヒコ他	06.11.17～ 06.11.22	在墨日本大使館と共催で、ペルーにて活躍する日本人シェフ小西俊郎氏を招聘して、メキシコの調理関係者、食肉業者および財界人などを対象に、同氏による日本料理の調理の実演や解説を実施。
3	イベロアメリカ日本研究シンポジウム	メトロポリタン自治大学、メキシコ国立自治大学、エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メトロポリタン自治大学	07.03.27～ 07.03.28	中南米各地から20名弱の日本研究者が参加し、最新の日本事情についてのシンポジウムを開催。また、このシンポジウムを受けて、中南米スペイン語圏の日本研究者を中心に「中南米日本研究協会」の設立が合意された。
	【日本語教育】				
4	日本語運用能力ブラッシュアップ研修	メキシコ日本語教師会	国立工科大学イスタカルコ校	06.04.22～ 06.11.18	メキシコ人日本語教師の日本語運用能力の向上を目指して、4月から11月までの期間に合わせて12回のレッスンを実施。メキシコ人教師13名がこのコースに参加。
5	日本語教師夏期集中講座	メキシコ日本語教師会	日本大使館広報文化センター	06.06.29～ 06.06.30	メキシコ日本語教師会と共催で6月29、30の2日間にわたり日本語教師夏期集中講座を実施。講師としては日本からスリーエーネットワークの三輪さち子氏を迎え、「初級から中級への移行」をテーマとして講習とグループ活動を行った。本事業には全国から42名の日本語教師が参加した。
	【図書館運営】				
6	図書館運営			06.04.01～ 07.03.31	所蔵冊数：7,373冊、来館者数：1,377人。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【出版・広報】				
7	広報誌の発行		メキシコ事務所	06.04.01～ 07.03.31	メキシコにおける日本語教育に関する情報誌「El Patio」を年3回各500部発行。日本語教授法や教材に関する情報を提供し、国内で開催される日本語教育に関する催し、日本語教育機関の活動などを紹介。
8	ホームページの運営		メキシコ事務所	06.04.01～ 07.03.31	http://www.fjmex.org/、アクセス数：年間41,996件、総リクエスト数：年間80,319件。
9	推薦図書書評執筆		メキシコ事務所	06.09.01～ 07.03.31	スペイン語に翻訳出版されている日本文学図書を広報するため、エル・コレヒオ・デ・メヒコのギジェルモ・クアルトゥッチ教授に推薦図書10冊を選んでの書評執筆を依頼。推薦された図書についてはメキシコ事務所の図書館に所蔵し、書評と共に推薦図書として展示する。
10	情報発信機能強化		メキシコ事務所	06.11.01～ 07.03.31	http://www.fjmex.org/arte.japon/、日本の芸術に関する最新状況を紹介することで、日本の芸術に対する関心を高めるとともに、それぞれの分野の専門家が日本の芸術紹介事業を企画したいと考えた場合に役立つ情報を提供するため、スペイン語による日本の文化芸術関係情報の発信のためのホームページを開設。
	【本部事業受入】				
11	新藤兼人映画祭	国立シネマテーク（シネテカ・ナショナル）	国立シネマテーク	06.07.18～ 06.07.26	「原爆の子」「裸の鳥」「鬼婆」「竹山ひとり旅」「落葉樹」「三文役者」「ふくろう」と、シネマテーク所有の「藪の中の黒猫」の計8本を上映した「新藤兼人監督特集」のオープニングレセプションを国立シネマテークと共催。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
12	ショートショートフィルムフェスティバル2006	ショートショートフィルムフェスティバル・メキシコ	06.09.01～ 06.09.07	1999年から日本で開催されている米国アカデミー賞公認の短編映画祭であるショートショートフィルムフェスティバルを、中南米で初めてメキシコシティにおいて開催する。メキシコシティ内の映画館7館で、日本やアジア、ヨーロッパの作品を上映する他、スペイン語圏から作品を募集しコンペを実施する。基金は日本側フェスティバルディレクターの東野正剛氏招へいのための航空賃を助成。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
13	在墨日本文化専門家 (茶の湯/キューバ) 派遣助成	裏千家メキシコ	06.09.25～ 06.10.01	キューバのハバナ市(キューバ忍術協会会館、キューバ国立高等芸術学院、アジアの家)及びマタンサス市(パラシオ・デル・フンコ博物館)の計4会場にて実施される茶道デモンストレーションに、在メキシコの茶の湯専門家(日暮豊弘(茶道裏千家メキシコ駐在講師))を派遣する。基金は専門家の航空賃及び滞在費を助成。
14	第2回メキシコ中部 地方日本語弁論大会	グアナフアト大学語 学学校	06.10.07～ 06.10.07	メキシコ中部地方の4つの日本語教育機関の日本語学習者による日本語弁論大会をグアナフアト大学にて開催。
15	日本研究セミナー開 催(コリマ大学)	コリマ大学環太平洋 研究センター	06.10.25～ 06.10.27	日本とメキシコの関係に関するセミナーをコリマ大学にて開催。経済、政治、文化等の様々な分野の専門家がそれぞれの観点から講演を行った。
16	第4回ベラクルス州 日本語弁論大会	ベラクルス日本語教 師会	06.10.28～ 06.10.28	ベラクルス州の日本語教育機関5校が参加して、日本語学習者による日本語弁論大会をオリサバ市にて開催。
17	在墨日本文化専門家 (生花/ホンジュラ ス)派遣助成	生け花インターナ ショナル・メキシコ	06.11.12～ 06.11.17	在ホンジュラス日本大使館の要請に基づき、同館が実施する生け花のデモンストレーションの講師として、メキシコ在住の生け花専門家2名を派遣。デモンストレーションはホンジュラスの首都テグシガルパで2回、サン・ペドロスーラで1回の計3回行った。
18	砂の女	Fundacion Seki Sano	06.11.15～ 06.12.10	安部公房原作の「砂の女」の上演。日本とメキシコで活躍した演出家、劇作家である佐野碩を記念する財団が制作し、佐野碩にゆかりのあるメキシコシティのコヨアカン劇場においてメキシコ人俳優によりスペイン語で上演した。
19	建築会議	アナワック北大学、 アルキネ社(出版社)	07.03.12～ 07.03.14	世界各国から著名な建築家を集めて国立芸術院において3日間の建築会議を開催。日本から建築家の妹島和世氏を招聘するための航空賃を助成した。
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
20	日本玩具セット	アニメーション・イ・ ディフシオン・クル トゥラル ソシエダ・シビル・ エン・マルチャ テウアカン市役所 メキシコ国立自治大 学アラゴン校	06.04.01～ 07.03.31	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ(サン・ミゲル・デアジェンデ市)、メキシコ国立自治大学アラゴン校(ネツァウアルコヨトル市)、アニメーション・イ・ディフシオン・クルトゥラル(パチューカ市)、テウアカン市役所で開催された日本文化週間等のイベントに日本玩具セットを貸し出した。
21	茶道セット	アニメーション・イ・ ディフシオン・クル トゥラル コレヒオ・ナシオナ ル・シルハノス・デ ンティスタス ソシエダ・シビル・ エン・マルチャ テウアカン市役所	06.04.01～ 07.03.31	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ(サン・ミゲル・デアジェンデ市)、コレヒオ・ナシオナル・シルハノス・デンティスタ(メキシコ市)、アニメーション・イ・ディフシオン・クルトゥラル(パチューカ市)、テウアカン市役所で開催された日本文化週間等のイベントに茶道セットを貸し出した。

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
22	日本の世界遺産	クエルナバカ市役所 ソシエダ・シビル・ エン・マルチャ テウアカン市役所 国立シネマテーク (シネテカ・ナシオ ナル)	06.04.01～ 07.03.31	
23	ふろしき	ソシエダ・シビル・ エン・マルチャ テウアカン市役所	06.04.01～ 07.03.31	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ (サン・ミゲル・デ・ アジェンデ市)、テウアカン市役所で開催された日本文 化週間等のイベントにふろしきを貸し出した。
24	原田泰治画伯絵画	アニメーション・イ・ ディフシオン・クル トゥラル コリマ大学	06.04.01～ 07.03.31	コリマ大学 (コリマ市)、アニメーション・イ・ディフシオ ン・クルトゥラル (パチューカ市) で開催された日本文 化週間等のイベントに原田泰治画伯絵画を貸し出した。
25	京都写真	アニメーション・イ・ ディフシオン・クル トゥラル コリマ大学	06.04.01～ 07.03.31	コリマ大学 (コリマ市)、アニメーション・イ・ディフシオ ン・クルトゥラル (パチューカ市) で開催された日本文 化週間等のイベントに京都写真を貸し出した。

ロンドン事務所

合計額 107,806,984円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	事務所備付展示 セット運営	日本大使館、J N T O	在英大使館	06.04.01～ 07.03.31	海外事務所課から配布のあった「日本の世界遺産」写真パネルのお披露目展覧会を大使館内ギャラリーにて開催。オープニングはJ N T Oの協力により世界遺産にちなんだ観光地に関する情報提供、文化交流使・勝美巴湖氏による日本舞踊レクデモが行われ、盛大なイベントとなった。
	【講演・シンポジウム】				
2	日本研究フェ ローシップ リ ユニオン会議		カンバーラン ド・ロッジ	06.05.02～ 06.05.03	2005年に実施した英国内の基金フェローの追跡調査の結果、現状が把握できた約40名を招待して、フェロー同士の交流を図るとともに、基金との連帯感を強めることを目的に会議を実施。また野上駐英大使及び作家の池澤夏樹氏をゲストに向かえて意見交換を行った。
3	池澤夏樹講演会	ジャパン・ソサ エティ、ロンド ン大学 S O A S	ロンドン事務所	06.05.03～ 06.05.03	池澤 夏樹（作家）による講演会を実施。現代日本と国際社会におけるその役割について、自身の経験や考えを述べ、会場との質疑応答を行った。司会はAlan Cummings（ロンドン大学SOAS講師）。
4	日本研究・知的 交流関連講演 会：Rebecca Salter Book Launch	A&C Black Publishers Ltd	ロンドン事務所	06.09.20～ 06.09.20	日本の木版画に関する「Japanese Popular Prints」（18年度出版・翻訳協力プログラム対象事業）の出版を記念し、著者Rebecca Salter氏の講演会を出版社と共催で実施。
5	文化講座シリー ズ：日本の現代 美術は世界を席 捲するか		ロンドン事務所	06.10.10～ 06.10.10	小山 登美夫（小山登美夫ギャラリー代表）、さわ ひらき（美術作家）、鈴木 昌明（美術作家）、David Risley（ギャラリスト）を迎え、日本の若手作家の育成と国内での現代美術の市場形成に取り組んできた小山ギャラリーのマーケット戦略を紹介するとともに、日本の現代美術の将来について美術市場の観点から話し合うセミナーを開催。司会はGeorgina Adam（The Art Newspaper紙）。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
6	文化講座シリーズ：日本のアニメーションと山村浩二の世界	Norwich International Animation Festival	ロンドン事務所	06.10.16～ 06.10.16	日本を代表するクリエイターの山村 浩二の作品を紹介するとともに、山村氏本人をゲストとして迎え、日本のアニメ界の動向ならびにその中における山村氏の位置付けを検証。司会は Jayne Pilling (British Animation Award代表)。また、英国の日本アニメ研究の第一人者、Helen McCarthyが日本のアニメーションの歴史ならびに現況を紹介するプレゼンテーションを行った。
7	文化講座シリーズ：和紙人形の世界	在英日本国大使館	ロンドン事務所	06.11.08～ 06.11.08	岩手県を中心に活躍する和紙人形師丹野 恵美子による、和紙人形ワークショップ。実際の人形製作のほかに、和紙の歴史や和紙人形づくりの実態なども紹介された。在英日本国大使館で実施された丹野氏のグループの和紙人形展の関連事業。
8	文化講座シリーズ：Re-interpreting The Past for The Future		ロンドン事務所	06.11.22～ 06.11.22	教育と収蔵品解釈方法の観点から、英国の博物館・美術館による日本文化紹介への新しいアプローチの可能性について日英の専門家が討論。司会は、デビッド・アンダーソン(ビクトリア・アルバート博物館 教育部長)。三木 美裕(九州国立博物館学芸部企画課長)が九州国立博物館の事例、ティモシー・クラーク(大英博物館 日本部長)が新しく生まれ変わった大英博物館の日本ギャラリーの事例を紹介した。
9	横浜トリエンナーレ2008キュレーター会議		ロンドン事務所	07.02.18～ 07.02.18	出席者：Hans Ulrich Obrist (ロンドン、サーペンタインギャラリー国際プロジェクト担当ディレクター)、Daniel Birnbaum (フランクフルト市立美術大学学長)、Beatrix Ruf (クンストハーレ チューリッヒ ディレクター)、Hu Fang (インディペンデント・キュレーター)、Akiko Miyahke (CCA北九州プログラム・ディレクター)、伊東 正伸(国際交流基金芸術交流部トリエンナーレ準備室長)。
	【映画】				
10	主催映画祭	Watershed Media Centreを含む5機関	Edinburgh Filmhouse, Queens Film Theatre, Riverside Studios, Showroom, Watershed Media Centre	07.02.04～ 07.03.29	家族の模様が描かれた日本の現代映画6作品の巡回上映を、英国5都市5会場にて実施した。上映作品は、「カナリア」「笑う蛙」「空中庭園」など。(海外日本映画祭(主催)プログラム)。
11	主催映画祭			07.02.04～ 07.03.29	日本映画上映特集「Move Over, Ozu」に使用した映画フィルムにかかった通関料。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【日本語教育】				
12	日本語教育研修会・出張指導		ロンドン事務所	06.04.01～ 07.03.31	ノンネイティブの日本語教師の日本語力ブラッシュアップのためにリフレッシャー・コースを2006年7月に、日本語を導入していない学校で模擬授業を行うボランティア育成のためStep Out Netを実施、TrainingDayも開催した。2月には、日本語教育をこれから始めようと考えている学校関係者を対象にHead Start Courseを開催。初めての試みとしては、12月と1月の二回に渡り、「Talking Contemporary Japan」と題した上級者向けの日本語講座を開催、好評を博した。
13	BATJ共催セミナー	英国日本語教育学会 (BATJ)	シェフィールド大学 ブリストル大学 ロンドン事務所 他	06.04.01～ 07.03.31	B A T J との共催で毎年数回セミナー・ワークショップを開催している。毎回、内外の講師による講演が行われ、教師の相互研鑽と教師間のネットワーク強化・情報交流の活性化に貢献している。
14	アイルランド日本語教師会共催セミナー	アイルランド日本語教師会	ダブリン・シティ大学	06.04.29～ 06.04.30	アイルランド日本語教師会の要請により、会員教師の相互研鑽と情報交流を促すため、日本語センターのアドバイザーが同地を訪問して講習会を開催。
15	日本語スピーチコンテスト	Japanese Language Committee、在英大使館、英国日本語教育学会 (BATJ)	ロンドン大学 SOAS 在英大使館	06.04.01～ 07.03.31	中等レベルの日本語スピーチコンテストをJLC (Japanese Language Committee) ・日本大使館と、大学レベルの日本語スピーチコンテストをBATJ(英国日本語教育学会) と共催で実施。日系企業・英国助成団体等の協賛もあり。
16	日本語教育関連セミナー・会議参加		ウィーン大学 マンチェスター大学 ロンドン大学 SOAS ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校等	06.04.01～ 07.03.31	情報収集及び関係者とのネットワーク構築を目的とし、ALL Language World (4月)、SOAS日本語学国際学会(6月)、ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (9月)、BATJ発表大会 (9月)、Primary Language Show(3月)、E-Learning Conference(3月)へ参加したのをはじめ、各地の学校で開催されたJapan Dayなども訪問した。
17	日本語教育情報(ニューズレター) 発信			06.04.01～ 07.03.31	日本語教育に関する情報と教材を掲載したニューズレター「まど」を2回発行した。紙媒体での情報発信はこれで打ち切りとし、2007年からはウェブサイトの充実とメールマガジンの発行に着手し、情報発信の頻度を高める。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
18	日本語教育情報 (ウェブ関係) 発信			06.04.01～ 07.03.31	200名に及ぶ日本語教師が参加するメーリング リストを運営。教材・文法に関する質問や求人 など幅広いテーマで日本語教育に関するコミュ ニケーションの場として利用されている (JLE-UK)。ロンドン事務所のウェブサイトにも 日本語教育に関連する情報を掲載。中等教育 修了試験に対応した新しい教材「力」も掲載し た。 Http://www.jpfr.org.uk/language/index.php
19	海外日本語教育 機関調査			06.04.01～ 07.03.31	3年に一度実施される、海外日本語教育の機関 調査（データ等収集）。910機関を対象にアン ケートを実施。
20	日本語教育関係 展示イベント	国際観光振興機 構ロンドン事務 所		06.11.02～ 06.11.04	ロンドン・オリンピアで開催された外国語教育 に関する総合的な見本市であるLanguage Show 2006にJNTOと共同で3日間出展。
21	【図書館運営】			06.04.01～ 07.03.31	日本語教育に関連する資料(教科書・教材・参考 図書)を中心とする専門図書館を運営。図書館 の日本語教育リソースセンター化を目指して環 境を整えつつある。
22	【出版・広報】 文化情報発信			06.04.01～ 07.03.31	事務所ウェブサイトの内容更新及びメンテナ ンス及びニュースレター『Perspectives』の発 行。
23	Verdigo Magazine Launch	Vertigo Magazine		07.02.20～ 07.02.20	英国アーツカウンシルから助成金を受けて発行 される映画専門誌「Vertigo」が、に2007年1月 号に日本特集を組んだことに関連し、その出版 披露会を実施した。会では同誌の紹介の他、国 際映画祭のアジアプログラマーとして活躍する Tony Raynsをゲストに迎え、日本映画の秘話 などを聞く機会を設けた。
24	【その他】 英国日本研究機 関調査			06.04.01～ 07.03.31	英国内の高等教育機関を対象に、日本研究の実 施状況を調査。2001年に実施した調査 「Japanese Degree Courses 2001-2002」のフォ ローアップという位置づけ。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
25	文化事業協力助成： Okeanos Plus	Society for the Promotion of New Music	05.11.01～ 06.06.30	英国に在住する西洋音楽の訓練を受けた若手作曲家に、日本の伝統的楽器を取り入れた作品を創作する手法や機会を伝えるワークショップを開催すると同時に、作られた作品を国内巡回コンサートを通して紹介した。ワークショップモデレーター謝金ならびに交通費の一部を助成。
26	文化事業協力助成： A Scottish Journey	Scottish Poetry Library	06.04.23～ 06.04.27	吉増剛造氏の詩とパフォーマンスのリサイタル。プロジェクト参加者は、吉増氏の他、Marilya Corbot (歌) Jean-Francois Pauvros (ギター)。
27	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： Oxford Brooks University	オックスフォード・ ブルックス大学	06.05.05～ 06.05.06	「Fieldwork: Examining its practice among biological anthropologists and primatologists」と題するフィールドワークに関する会議を開催。霊長類学、自然人類学、社会人類学という異なる分野から専門家が参加。霊長類に関する研究が進んでいる日本からも2名が出席、発表を行った。
28	文化事業協力助成： Listening to this space	Slade Research Centre	06.05.12～ 06.05.12	日英のサウンドアーティスト交流事業に、日本より Tatusya Umeda氏、Takahiro Kawaguchi氏を招聘し、1週間のレジデンス期間中にサイトスペシフィックな作品を制作、最終日に展覧会を実施した。
29	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： Tsumiki Workshop	Yamanashi-UK Exchange Promotion Group	06.05.15～ 06.05.19	山梨県在住の家具職人で積み木を使ったユニークなワークショップを行うことで有名な萩野雅行氏を英国に招待し、ロンドン、ケント州、バークシャー州において、5つの小学校でワークショップを実施。
30	文化事業協力助成： Dance City, National Dance Agency	Dance City	06.05.19～ 06.05.20	勅使河原三郎氏が主宰するダンスカンパニーKARASと欧州ダンサーとのコラボレーション公演。
31	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： SOAS, Rethinking Embodiment	ロンドン大学SOAS	06.06.05～ 06.06.06	2005年11月に逝去した心理学者・哲学者で、大阪大、筑波大、桜美林大名誉教授の故・湯浅泰雄氏を追悼するワークショップ「Rethinking Embodiment: A Japanese Contemporary Perspective」を開催。湯浅教授の功績を振り返るとともに、現代日本における身体性や仏教と神経科学とのつながりなどについての発表と討論が行われた。
32	文化事業協力助成： Passport to Japan Exhibition	McLean Museum & Art Gallery	06.06.23～ 06.08.31	美術や工芸、映画、音楽などを通して、日本の文化を幅広く紹介しようとする事業。McLean museum & art galleryの収蔵品を使っ、大規模展覧会も同時に開催された。広告の一部に助成。

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
33	文化事業協力助成： City of London Festival 2006	City Arts Trust Ltd	06.06.26～ 06.07.13	毎年ロンドンの金融街区を拠点として開催される芸術フェスティバル。今年は日本特集年として、クラシックから伝統音楽、ジャズなどの音楽公演、またワークショップや、ミニ展覧会などが行われた。フェスティバルカタログ作成費の一部を助成。
34	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： GDPism and Risk, Bristol Univ.	ブリストル大学東ア ジア研究センター	06.07.12～ 06.07.13	グローバル化社会がもたらす急速な経済成長と持続可能な社会開発について、東アジア諸国の状況を話し合う会議「GDPism and Risk: Challenges for Social Development and Governance in East Asia」を2日間にわたって開催。
35	文化事業協力助成： iconoclasm.jp	ICONOCLASM	06.09.15～ 06.09.24	当地で活動する若手デザイナーのグループ展。ロンドンの大型デザインショー「100%Design」の時期に合わせて開催された。
36	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： 5th Anglo-Japanese Conference	ロンドン大学歴史研 究所	06.09.27～ 06.09.29	日英の歴史研究者による会議の第5回目、テーマは「Migration and Identity in British History」。日本人の英国史研究者が発表を行い、英国人研究者とともに議論を深めるという形式ですすめられた。
37	日本研究者旅行支援 プログラム：Jessica Bush		06.10.02～ 06.10.12	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Jessica Bush（Buckinghamshire Chilterns University College博士課程）、研究テーマ：Art in Retail: An Examination of the presence of Art in high-end Fashion Retail
38	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： Northumbria University	ノーザンプリア大学 日英防災研究セン ター	06.10.12～ 06.10.15	世界自然災害の日になみ、日本の災害支援NGOの代表者（海外災害援助市民センター事務局長の村井雅清氏及びレスキューストックヤード代表理事の栗田暢之氏）を招いて講演会を実施し、大学関係者、消防関係者、NGO団体等との交流を図った。
39	文化事業協力助成： Instal 06	The Arches Theatre	06.10.13～ 06.10.15	実験音楽ならびにアンダーグラウンド音楽の紹介を目的とする年次音楽フェスティバル。今回は、日本人ミュージシャンを中心としたフェスティバルを開催、Sachiko、灰野啓二など多数が参加した。参加日本人ミュージシャンの謝金の一部を助成。
40	文化事業協力助成： Norwich International Animation Festival	Norwich International Animation Festival Ltd	06.10.18～ 06.10.21	日本を代表するアニメーション作家、山村浩二氏の特集を組むと同時に、氏を本年度の映画祭の審査員に招いた。山村氏の渡航費の一部を助成。

	事業名	対象機関	期間	事業内容
41	文化事業協力助成： The Compass of Horror	Compass: Film Int. Ltd	06.11.04～ 06.11.05	世界各国のホラー映画の視点を比較検証することを目的とした映画祭。日本、カナダ、イギリス、ナイジェリアの4カ国からホラー作品を1本ずつ選んで上映するとともに、監督や映画批評家、プログラマーを招いてシンポジウムを行った。日本からは「鏡地獄」「芋虫」など4話オムニバスからなる「乱歩地獄」が上映作品として選ばれ、「芋虫」を手がけた佐藤久保監督が招聘されて討議に参加した。上映作品の上映権料の一部を助成。
42	日本研究者旅行支援 プログラム： Graham Cooper		06.11.13～ 06.11.21	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Graham Cooper（Art and Architecture代表）、研究テーマ：Project Japan - Art Media in Context
43	日本研究・知的交流 研究事業協力助成： Leicester Japan Day	レスター・ジャパ ン・ソサエティ	06.11.16～ 06.11.19	英国中部にある地方都市レスターにおいて、日本の芸術、文化、科学などを総合的に紹介するジャパン・デーの主要行事として、宇宙航空研究開発機構的の川泰宣教授を招き、講演会を実施。
44	文化事業協力助成： London Musicians Collective	London Musician's Collective Ltd	06.12.15～ 06.12.17	London Musicians Collectiveの活動30年を記念し、大友良英など日本を代表する音楽家を招聘して、特別フェスティバルを開催した。日本人音楽家の謝金の一部を助成。
45	日本研究者旅行支援 プログラム：Yew Meng Lai		07.01.25～ 07.03.25	調査・研究のため短期間の訪日を希望している研究者に対し、航空賃を助成する、ロンドン事務所独自のプログラム。対象者（所属機関）：Yew Meng Lai（ウォリック大学博士課程）、研究テーマ：The Politics of Pride?:Rising Nationalism in Contemporary Japan-China Relations
46	文化事業協力助成： A Season of Contemporary Japanese Films	University of Glasgow	07.02.16～ 07.03.09	毎年グラスゴー大学の映画施設を利用して行われている映画上映会。今年は日本の高校生をテーマに、欧州フィルムライブラリーの現代作品4本を無料上映した。
47	文化事業協力助成： Alvar Aalto展	Barbican Centre	07.02.22～ 07.05.27	フィンランドの歴史的建築家Alvar Aalto展に日本の建築家坂茂氏がキュレーターとして参加し、坂氏の目を通してAaltoを検証した。展覧会には、Aaltoに啓発された坂氏の作品（模型や作品写真）なども同時に展示された。坂氏に対する謝金の一部を助成。
48	文化事業協力助成： Momentary Momentum: Animated Drawings	Parasol unit foundation for contemporary arts	07.03.03～ 07.04.15	世界各国より短編アニメーションを20本ほど集めてギャラリーにて紹介、辻直之、東芋などの作品が展示された。辻氏の航空運賃の一部を助成。

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【会場提供】			
49	SOAS会議： Revisiting Japanese Modality	ロンドン大学SOAS	06.06.24～ 06.06.24	2006年6月24日～25日に開催された、言語学に関する国際会議「Revisiting Japanese Modality」の歓迎レセプション会場として、ロンドン事務所ホール及びスタッフのサポートを提供。
50	英国JETプログラム 20周年記念イベント	国際観光振興機構ロ ンドン事務所	07.03.22～ 07.03.22	JETプログラムの実施が20周年を向かえたことを記念して、JETAA（同窓会）のメンバーを招待してセミナー及び懇談会を実施。当事務所ホール及びスタッフのサポートを提供した。
51	大英博物館ワーク ショップ	大英博物館等4機関	07.03.22～ 07.03.23	大英博物館、ロンドン大学SOAS、セインズベリー日本芸術研究所、National Institute for the Humanitiesが共催する2日間の専門家ワークショップ「The Representation of Japan in the New Japanese Galleries at the British Museum」の会場として、ロンドン事務所ホールを提供した。

ブダペスト事務所

合計額 23,931,794円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	事務所所蔵展示 セット巡回展		ブダペストアールムヴィラーグ 財団他、計8か所		事務所所蔵の巡回展セット「日本人の日常生活」、「風・独楽」、「日本の世界遺産」、などをハンガリー各地、ブルガリアなど8か所で展示した。
	【講演・シンポジウム】				
2	講演会シリーズ 「ハンガリーから見た日本」		国際交流基金ブダペスト事務所	06.04.01～ 06.10.31	ペトラニー・ジョルト（国立現代美術館長）、マレーク・ヴェロニカ（絵本作家）などハンガリー国内で著名な人物に、自分の日本との出会い、印象等を自由に語ってもらう講演会を実施した。
3	講演会シリーズ 「本が開く日本の扉」		国際交流基金ブダペスト事務所	07.01.28～ 07.03.02	国際交流基金が翻訳出版に協力した『菊と刀』、日本語翻訳に対し協力した『北は山、南は湖、西は道、東は川』の編集者、著者による講演会を実施した
	【映画】				
4	日本映画上映	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	ハンガリー国立フィルムアーカイブ/ウルクモズゴー映画館	06.05.11～ 07.03.31	欧州フィルムライブラリー収蔵作品を用い、毎月第2、第4水曜日に日本映画を上映する。「ロボコン」「ごめん」など、12作品を上映した。
5	現地映画祭出品 (Film Heritage)	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	ハンガリー国立フィルムアーカイブ/ウルクモズゴー映画館	06.09.19～ 06.09.25	国立フィルムアーカイブが実施するフィルムヘリテージ映画祭に、今村昌平監督の2作品『にっぽん昆虫記』『楢山節考』を出品、上映した。
6	アニフェスト	シンプラー・フィルム	ウラーニア映画館	06.11.30～ 06.12.03	アニメーション映画祭であるアニフェストをシンプラー・フィルム社と協力し、コンペ部門の審査員として株式会社マッドハウス取締役の丸山正雄氏を、プレミアム上映のゲストとして細田守監督を招聘し、細田監督による『時をかける少女』、丸山氏がプロデューサーとして関わった『パブリカ』を上映した。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
7	【図書館運営】		ブダペスト事務所	06.04.01～ 07.03.31	開架式の図書館として、日本語書籍、ハンガリー語による日本関連書籍を中心に1万冊程度を所蔵し、年間約4,400人の利用者がある。日本人の利用者も多く、図書の閲覧ばかりでなく、ハンガリー人利用者と日本人利用者の交流の場ともなっている。また、図書館を会場として、講演会やレクチャー等も実施している。
8	【教室事業】 日本語講座		国際交流基金ブダペスト事務所	06.04.01～ 07.03.31	初級から中級程度までの学習者を対象に、6コース8クラスを設け日本語教育を行う。年間90分の授業を60コマ実施すると同時に、講師会での討議、フィードバックなどにより非常勤講師の教授技術の向上もはかり、事務所で所蔵する豊富な教材を活用して新たな授業展開にの可能性を見いだすための役割も果たしている。前期は約120人、後期は約90人が受講した。
9	【その他】 日本研究企画開発事業（出版協力）	エオトヴェシ・ロラード大学		07.01.01～ 07.03.31	エオトヴェシ・ロラード大学日本学科が中心に編纂される論文集「日本学の現在」の出版にかかる印刷、製本経費に協力した。
10	【本部事業受入】 第13回ブダペスト国際図書展参加	ハンガリー出版協会	ブダペスト・コンGRESSセンター	06.04.20～ 06.04.23	第13回ブダペスト国際図書展に出展し、日本図書の紹介、図書を通しての日本の紹介を実施した。
11	役者絵展覧会と座敷舞公演	ハンガリー国立工芸美術館	ハンガリー国立工芸美術館	06.09.12～ 06.11.12	役者絵の展覧会の実施と、同展覧会のオープニングに座敷舞の公演を行った。本部主催事業の事務所負担部分。
12	中東欧巡回映画祭	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	ハンガリー国立フィルムアーカイブ/ウルクモズゴ映画館	06.09.28～ 06.10.04	小津安二郎『生まれては見たけれど』、溝口健二『近松物語』などの名匠による作品7本を上映した。
13	巡回展「日本の戦後写真」		ブダペスト事務所	07.03.08～ 07.04.19	巡回展セット「日本の戦後写真」を展示する。二度の展示替えを実施し、3部構成とした。会期中に、国立現代美術館館長のペトラニー・ジョルト氏による日本写真の講演会を実施した。

(2) 助成・協力事業

	事業名	対象機関	期間	事業内容
	【助成事業】			
14	事務所助成事業「国際シンポジウム論文集印刷」	エオトヴェシュ・ロラード大学人文学部日本学科	06.06.01～ 06.07.01	平成17年2005年9月にエオトヴェシ・ロラード大学(ELTE)にて、同大学日本学科と大阪外国語大学の共催で実施されたシンポジウム「日本の目で見えたハンガリー、ハンガリーの目で見えた日本」の論文集作成に助成した。
15	事務所助成事業「Manga and Subculture」	カートゥーン・ギャラリー	06.07.01～ 06.09.21	カートゥーン・ギャラリーが研究者であるジャクリヌ・ベルントを講師として実施する講演会「マンガとサブカルチャー、アニメーション」に対して助成した。
16	事務所助成事業 Refined Colours公演	ムーシアター	06.09.12～ 06.09.13	Monochrome circusによるコンテンポラリーダンス「Refined Colors」公演に対し、公演者滞在費の一部を助成した。
17	事務所助成事業 アニメーション上映会	オデオン劇場	06.11.25～ 06.11.26	日本のアニメーションである「攻殻機動隊」のプレミアム上映に先立ち、日本のアニメーションに関する研究者の講演の実施に対し助成した。
18	事務所助成事業 スプリングフェスティバル	シューディ・アンド・カンパニー	07.03.21～	ブダペスト・スプリングフェスティバルのプログラムとして実施される、日本人のリスト音楽院留学生、ハンガリー人学生によるコンサートに対し、広報費を助成した。
19	事務所助成事業 ポーランド日本語教師会勉強会	ポーランド日本語教師会	07.03.24～ 07.03.25	ポーランド日本語教師会の勉強会実施に際し、ポーランド国内から会場であるワルシャワに赴く参加者(日本語教師)の宿泊費を助成した。

カイロ事務所

合計額 28,347,066円

(1) 主催・共催事業

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【展示】				
1	日本文化紹介 「日本の世界遺産写真展」	アレキサンドリア図書館	アレキサンドリア図書館カンファレンスセンターホール	07.02.07～ 07.02.24	エジプト第二の都市であるアレキサンドリアでの事務所所有の写真展示セット「The world Heritage in Japan」の展覧会の実施。
	【公演】				
2	琴・バイオリン演奏会	エジプト文化省国立文化センター	カイロ・オペラハウス小ホール	07.01.22～ 07.01.22	日本の伝統楽器による古典と現代音楽の両方を紹介するために、琴とバイオリンによる共演コンサート。琴奏者は日本人、バイオリン奏者はスペイン人で、両名ともにフランス在住で欧州において活躍するアーティスト。
3	日本・エジプト ジョイント室内 楽コンサート	エジプト文化省国立文化センター	カイロ・オペラハウス小ホール	07.02.22～ 07.02.22	カイロにて新作の発表演奏を希望していた日本人フルート奏者、そして日本人ピアニスト、エジプト人のバイオリンとハーブ演奏家によるジョイントコンサート。
	【講演・シンポジウム】				
4	エジプト文化講演会	カイロ・エジプト学協会 日本エジプト学協会	カイロ事務所	06.04.17～ 07.03.29	カイロ・エジプト学協会による考古学を中心とした講演会を開催。毎回、エジプトで活動する世界各国の著名な考古学者を講師に招く。本年度は、5回実施。
5	文学サロン		カイロ事務所	06.06.28～ 06.06.28	樋渡優子（文藝春秋社編集者）による「日本・エジプト両国における文学を取り巻く環境について」をテーマとしたカイロ大学講師との対談形式の講演会。日本語専攻のカイロ大学、アインシャムス大学の学生対象（3年生以上）。
6	日本研究講演会		カイロ事務所	07.01.24～ 07.01.24	カイロ大学客員教授の山田進（聖心女子大学文学部教授）による講演会。「意味から引く辞書を考える」をテーマにカイロ大学、アインシャムス大学の学生、講師を対象。
7	在欧州日本文化 専門家派遣事業 「日本研究講義」	在トルコ大使館、在イスタンブール総領事館	アンカラ大学、ボアジチ大学他	07.02.28～ 07.03.08	欧州在住の日本人専門家を中東地域に派遣する新プログラムで、日本からの派遣と比べて機動的な事業実施が期待できる。本年度はオランダ在住の蓑原俊洋（神戸大学教授）をトルコに派遣し日本研究の講義を実施。

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
	【映画】				
8	ヨルダン日本映画祭	在ヨルダン日本大使館、ロイヤルフィルムコミッション	アンマン市立フセイン文化センター	07.03.04～ 07.03.07	アラビア語字幕の電子投影を行い、『Hana-bi』『たそがれ清兵衛』『ホテルハイビスカス』『スウィングガールズ』の4本を上映。初日に、日本人映画研究者による映画解説および聴衆との質疑応答を行った。
	【日本語教育】				
9	日本語講座「ことばと文化講座」		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	今年度は、一般講座中級（春学期16名、秋学期7名）、上級（春学期8名、秋学期18名）、社会科学系大学生・院生向け日本語講座、1級準備講座を実施。
10	日本語教育アドバイザー		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	エジプト国内、近隣諸国における日本語教育関係者のネットワーク形成促進とコンサルティングの実施。カイロ事務所における日本語講座の運営。
11	中東日本語セミナー		モーヴェンピックホテル	06.09.05～ 06.09.06	中東地域の日本語教育の振興、質の向上のため、中東域内の日本語教師を対象に、日本語教育に関する集中セミナー等を実施。本年度の講師は、吉田昌平（横浜国立大学教授）、小田切由香子（横浜国立大学非常勤講師）。10カ国62名の参加があった。
12	アレキサンドリア日本語講座		ヒルトンホテル会議室	07.02.18～ 07.03.31	エジプト第二の都市、アレキサンドリアにおいては、一般市民からの日本語学習に対する要望があるものの、これまでその受け皿がなかった。日本語講座開講には、教室スペースの借料経費が予算的に大きな問題であったが、今般、民間実業家（在アレキサンドリア日本名誉総領事でもある）から、自ら経営するホテル内の施設を教室として無償提供頂けることになり、日本語講座の開講が実現した。
	【図書館運営】				
13	図書室運営		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	所蔵冊数：日本語993冊、外国語1160冊、DVD 29点、ビデオ180点、その他285点、来館者数：年間2039人（各期内訳）第一四半期387、第二四半期634、第三四半期555、第四四半期463、CD・ビデオデッキ3台およびインターネット接続のコンピューター2台を設置し、視聴覚による日本文化紹介にも注力する。
	【出版・広報】				
14	広報強化		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	アラビア語による国際交流基金の紹介パンフレットの作成。魅力ある図書室作りの一環としてインターネット接続のコンピューターの配備。

海外事務所

	事業名	共催・協力機関	場所名	期間	事業内容
15	広報誌『アムワーク』(WAVES)		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	アラビア語と英語の併用(対訳形式)による、カイロ事務所の広報誌『アムワーク』(WAVES)の発行。各号3000部発行。本年度は、第4号(2006年4月)、第5号(2006年12月)、第6号(2007年3月)の3号を発行し、エジプト及び一部は他のアラブ諸国に配布した。
16	ウェブサイト運営		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	アラビア語、英語による国際交流基金カイロ事務所の事業情報等の提供。
	【教室事業】				
17	生け花コース		カイロ事務所	06.04.01～ 07.03.31	年間初級コース2回、中級コース2回の計4回実施。1コース5レッスン。会場の都合上、1コース約20名の受講生であるが、毎回多くの受講希望者がいる状態である。
	【その他】				
18	お茶会(茶道同好会)	在エジプト大使館、茶道同好会	在エジプト大使館	07.03.01～ 07.03.01	春のお茶会として、エジプト人を約100名招待し、茶道同好会のメンバーが実際に抹茶とお菓子提供し、一般のエジプト人が茶道に触れる機会とする。
19	日本語優秀者表彰	エジプト文化省 国立文化センター	カイロオペラハウス・オープンシアター	07.03.10～ 07.03.10	日本語能力試験の結果発表(結果通知を配布)と各級の優秀者に副賞を授与することで、日本語学習者支援と日本語学習に対するモチベーションアップを図る。

文化交流施設等協力事業に必要な経費

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

文化交流施設等協力事業費

海外の公益団体等が実施する国際文化交流事業に対して寄付を計画している場合に、当基金の業務目的に合致するものに限って当基金が寄付金を受入れ、対象となる団体に援助する。

合計額 138,646,571円

	事業名	期間	事業内容
	(1) 人物交流特定寄附		
1	ロータリー国際親善奨学支援事業	05.07.01～ 09.06.30	相異なる国民間の理解と友好親善の増進に寄与することを目的とする「ロータリー国際親善奨学金」および世界8ヵ所のロータリーセンターにて平和研究を行う「世界平和フェローシップ」の支給事業を実施
2	ロータリー国際親善奨学支援事業	06.07.01～ 10.06.30	相異なる国民間の理解と友好親善の増進に寄与することを目的とする「ロータリー国際親善奨学金」および世界8ヵ所のロータリーセンターにて平和研究を行う「世界平和フェローシップ」の支給事業を実施
	(2) 日本研究特定寄附		
3	アルバータ大学高円宮殿下日本カナダ記念基金	05.04.01～ 08.03.31	「アルバータ大学エンダウメント・ファンド」基金内に「高円宮殿下日本カナダ記念基金」を創設し、運用益にてカナダと日本の相互理解促進のための褒章事業等、「高円宮殿下日本教育・研究日本センター」拡充のための事業を実施
4	ミシガン大学ロースクール日本法研究プログラム	06.07.01～ 07.06.30	ミシガン大学ロースクールにおいて、①日本法に関連する教職員の研究活動支援、②日本法に関連する蔵書の収集、③日本法研究部門の客員教授の派遣および招へいを実施
5	「パーフェクト・デザイン」クラークセンターの将来を支援するプロジェクト	06.12.01～ 09.11.30	クラーク日本美術研究センターにおいて、①日本美術研究者のためのドロッカー奨学金プログラム、②日本美術専門の学芸員志願者のためのインターンシッププログラム、③平山郁夫展覧会(07.3.27～07.5.19)、④センターの運営基盤強化のための基金の積み増しを実施
6	「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立	07.01.01～ 09.12.31	故石川吉右衛門東京大学名誉教授の功績を記念する日本研究促進のための恒久基金を設置し、その運用益にて①日本法の客員教授の招へい、②日本法の学生・研究者への資金援助、③日本法の図書等拡充、④日本の若手法学研究者の同校への留学費用助成を実施
7	長島・大野・常松法律事務所奨学金(コロンビア・ロー・スクール)	07.07.01～ 08.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法の研究を行なう学生に対する奨学金支給を実施
8	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム(シカゴ・ロー・スクール)	07.07.01～ 08.06.30	シカゴ大学ロースクールにおいて、①日本法・文化を研究する学生への奨学金給付、②学生の日本企業でのインターンシップ支援、③日本法律研究会の活動支援、④学生の日本研修旅費支援を実施
9	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム(デューク・ロー・スクール)	07.07.01～ 08.06.30	デューク・ロー・スクールにおいて、①日本法紹介コースへの日本人客員教授招へい、②日本法関連図書購入、③香港で開催する「国際法アジアアメリカ講座」への日本法専門の教授招へい及び参加学生への奨学金支給、④同校教授の日本派遣、を実施

	事業名	期間	事業内容
10	長島・大野・常松法律事務所：日本法プログラム助成金(ミシガン・ロー・スクール)	07.07.01～ 08.06.30	ミシガン大学ロースクールにおいて、①日本法・日本社会の調査・研究を行う教授に対する報酬の支援、②同校図書館の日本法関係書籍及び資料の購入を実施
11	ダートマス大学における日本学基金	06.07.01～ 07.08.31	ダートマス大学において、①学士課程での日本語教育および日本語講座の開講、②同大学付属タック・ビジネス・スクールでの日本関連講座開講、③図書館の日本語・日本関連図書及び教材の購入を実施
(3)日本語特定寄附			
12	ジャパン・リターン・プログラム 2006年日本語サミット	05.10.01～ 07.02.28	世界で日本語を学ぶ青少年16名を選抜、パネリストとして日本に招へいし、日本代表パネリスト4名を加えて日本の高校生・大学生とのディスカッションやディベートを行う「2006年『平和－国と世界』日本語サミット」(2006.7.10～2006.8.8)を福岡及び東京にて開催
13	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学金	05.04.01～ 08.03.31	新大久保駅の事故で亡くなった韓国人留学生李秀賢氏の勇気ある行動を讃え、同氏の国際交流の理念を実現するため、国内の日本語教育機関に在籍するアジアからの就学生に奨学金を支給
14	ドイツ社団法人日本語普及センターの事業資金	06.04.01～ 07.03.31	ドイツ社団法人日本語普及センターにおいて、日本語講座の開講及び日本語教材作成等の日本語普及事業、「中島宏行書道展」、作文コンクール「日本への興味を呼び起こそう！」等の日本文化紹介事業を実施
(4)催し等特定寄附			
15	秋吉敏子60周年記念チャリティーコンサート	05.12.04～ 07.01.31	ジャズピアニスト秋吉敏子氏のデビュー60周年・渡米50周年を記念し、「今、21世紀の子供達へ伝えたいこと-世界の平和」をメッセージとして掲げたチャリティーコンサートをサントリーホールにて実施(06.12.4)
16	日韓交流おまつり2006	06.04.01～ 06.12.31	2005年に実施された「日韓交流おまつり」の継続事業として、日韓両国の伝統・民俗芸能公演及びパレード、韓国側学生実行委員会企画の公演、日本の自治体紹介等を行うお祭りを、ソウル市鐘路区大学路にて実施(06.9.23～06.9.24)
17	第9回アジア太平洋地域聴覚障害問題会議・第40回全日本聾教育研究大会	06.03.01～ 07.03.31	「アジア太平洋地域聴覚障害問題会議(APCD)」の第9回会議と、「全日本聾教育研究会」の第40回大会を東京都内及び近県の7つの会場にて共同開催し、聾教育に関する講演及び研究協議分科会、聾学校見学、レセプション等を実施(06.10.9～06.10.12)
18	四天王寺ワッソ	06.05.01～ 07.04.30	古代衣装の人物行列や古代楽器の演奏で往時の東アジアの国際交流を再現する催し「四天王寺ワッソ」(06.11.5)を中心に、日韓の文化交流および青少年育成交流事業を実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	期間	事業内容
19	ミュージック・フロム・ジャパン2007年音楽祭	06.10.02～ 07.03.30	日本の優れた音楽を米国に紹介するため、「湯浅譲二の世界」と題した室内楽コンサートと、「現代に息づく伝統・琵琶」と題した、琵琶奏者・田原順子氏を中心とした室内楽コンサートをニューヨーク市にて実施後、琵琶コンサートを米国内4都市に巡回（07.2.22～07.3.5）
20	第13回ホノルル フェスティバル	06.04.01～ 07.05.31	アジア太平洋諸国とハワイの文化交流を促進するため、「太平洋の新しいきずな」をテーマとして、ホノルル市内各所にて日本および太平洋諸国とハワイの参加団体による伝統芸能、舞踏、音楽等の披露、日米友好をテーマとしたセミナー等を行うフェスティバルを実施（07.3.9～07.3.11）
21	ワールド・パートナーシップ・フォーラム in ながおか	06.04.01～ 07.03.31	在京外国大使館関係者と経済界のリーダー等を中心とし、官界及び学界からの参加も得て、「平和文化と人材教育」をテーマとした、講師による基調講演と参加者及び一般の聴衆を交えての質疑応答・討論を行うフォーラムを新潟県長岡市にて開催（06.8.3～06.8.5）
22	日タイ修好120周年記念事業	07.12.31～ 07.12.31	日タイ修好120周年記念事業として、①「パンパシフィック・オーケストラ演奏会」（07.9.26）、②「日本-タイ・フェスティバル2007」（07.12.8）、③シンポジウム「日タイ経済の未来」（07.11.1）、④「記念モニュメント寄贈事業」、⑤草の根助成、を実施
23	日印交流年実行委員会事業	07.12.31～ 07.12.31	2007年「日印交流年」を記念し、同年実行委員会企画事業として、①森山良子スペシャルコンサート（07.2.9～07.2.10）②大学生によるヒンディー語・ウルドゥー語劇公演（07.2.18～07.3.7）、③講演会「染色技術を通じた日印交流と祇園祭の起源」（07.3.23）、④草の根事業助成、を実施
24	チェコ共和国「匡左彫り展示会プロジェクト」	07.07.30～ 07.07.30	村主匡左氏による鎌倉彫の漆器作品である「匡左彫り」約130点の展示会を、チェコ共和国ビルゼン市、西ポヘミア博物館にて実施
(5)文化交流施設等特定寄附			
25	フランクフルト現代茶室建設プロジェクト	07.02.20～ 07.04.20	日本とドイツの文化交流の促進及び日本文化紹介のため、隈研吾氏設計の現代日本建築による茶室を、フランクフルト・デザイン美術館の公園内に建設
26	フランス国立人類博物館内日本民家復元事業	05.09.01～ 07.03.31	長野県木曾郡よりフランスへ移送された明治時代建築の日本民家を復元し、2007年から2009年にかけてフランス国立人類博物館にて開催される「人類の冒険」展にて展示
27	財団法人 日本民藝館「旧柳邸修復事業」	05.09.01～ 06.10.31	日本の生活文化と民藝に理解を深める題材として広く一般に公開するため、日本民藝運動創始者である柳宗悦氏が生活していた家屋の修復を実施
28	キープ国際研修交流センター整備事業	05.09.01～ 08.08.31	草の根国際交流事業の促進と友好的な国際関係の構築のため、財団法人キープ協会の清泉寮施設を、国際文化交流の拠点となる国際研修交流センターに改築、整備

	事業名	期間	事業内容
29	アジア女子大学	06.11.01～ 09.10.31	南アジア及び東南アジア各国のあらゆる文化、宗教、人種、社会的背景を持つ女性を対象に、アジアの現状理解及び国際的視野を持たせることを主眼とする教育を提供する大学をバングラデシュのチッタゴン市に設立
30	米国フィラデルフィア 和風建築・松風荘保全事業	06.10.01～ 07.11.30	日本が建設・寄贈した和風建築・松風荘のフィラデルフィア移築50周年を記念し、建物の修理工事及び工事完了報告のための交流会を実施

プログラム名索引 (50音順)

あ	アジア青年文化奨学金 (中等教育プログラム) (AC) ……39	国内公演 (主催) (中東) ……110	
	アジア地域研究センター支援 (催し等) (AC) ……244	国内公演 (助成) ……108	
	アジア・ユースフェロースhip	国内展 (企画展) ……70	
	高等教育奨学金訪日研修 ……195	国内展 (助成) ……77	
	安倍フェロースhip ……271	国内連携促進 ……294	
い	異文化理解ワークショップ ……56	さ	サンパウロ日本文化センター ……395
	異文化理解ワークショップ (AC) ……54	し	JFサポーターズクラブ ……296
	異文化理解ワークショップ (中東) ……53		事業評価 (企) ……299
	インターネットによる情報発信 ……295		指導的日本語教師の養成
う	内田奨学金フェロースhip (招へい) ……82		(海外日本語教師上級研修) ……175
え	映画・テレビ番組制作協力 ……134		指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者) ……174
	映像出版情報交流 (招へい) ……113		シドニー日本文化センター ……384
	映像出版情報交流 (文化資料) ……140		市民交流支援
	映像出版情報交流 (催し) ……126		(教育を通じた相手国理解促進・小規模助成) ……286
お	小渕フェロースhip (派遣) ……203		市民交流支援
か	海外公演 (主催) ……83		(教育を通じた相手国理解促進・助成) ……284
	海外公演 (助成) ……90		市民交流支援
	海外公演 (PAJ欧州・助成) ……106		(日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI) ……280
	海外公演 (PAJ北米・助成) ……104		市民交流支援 (日米市民交流・小規模助成) ……285
	海外展 (企画展) ……59		市民交流支援 (日米市民交流・助成) ……281
	海外展 (巡回展) ……61		市民交流支援 (日米市民交流・文化資料) ……288
	海外展 (助成) ……71		市民青少年交流 (指導者交流) (招へい) ……39
	海外日本映画祭 (主催) ……113		市民青少年交流 (指導者交流) (派遣) ……38
	海外日本映画祭 (助成) ……118		市民青少年交流 (主催) ……41
	海外日本語教育機関等調査 ……142		市民青少年交流 (主催) (中東) ……41
	海外日本語教育支援NGO助成 ……143		市民青少年交流 (助成) ……41
	海外日本語教師研修 (国別) ……178		市民青少年交流 (助成) (AC) ……45
	海外日本語教師研修 (在外邦人) ……177		市民青少年交流 (助成) (中東) ……52
	海外日本語教師研修 (短期) ……176		ジャカルタ日本文化センター ……357
	海外日本語教師研修 (長期) ……175		受託研修 ……196
	開高健記念アジア作家招へい (AC) ……40		受託研修 (日本語国際センター) ……178
	カイロ事務所 ……442		出版・翻訳協力 (一般) ……135
き	京都支部 ……304		出版・翻訳協力 (特別) ……135
く	クアラルンプール日本文化センター ……374		情報センター (JFIC) 事業 ……296
け	ケルン日本文化会館 ……314	せ	専門日本語研修 (外交官) ……187
こ	高校生等招へい事業 ……290		専門日本語研修 (研究者・大学院生) ……189
	交流拠点設置運営事業 (催し) ……291		専門日本語研修 (公務員) ……188
	国際交流顕彰事業 (基金賞・奨励賞) ……296		専門日本語研修 (司書) ……189
	国際交流顕彰事業 (地球市民賞) ……297	そ	造形美術情報交流 (招へい) ……58
	国際展 (国際展参加) ……58		造形美術情報交流 (催し) ……78
	国際展 (横浜トリエンナーレ) ……79		ソウル日本文化センター ……332
	国際図書展参加 ……139	ち	地域交流研修 ……195
	国際舞台芸術共同制作 ……107		地域交流研修 (日本語国際センター) ……179
	国内映画祭 (主催) ……123		知的交流会議
	国内映画祭 (主催) (AC) ……125		(企画企画助成) (AC) [アジア・大洋州] ……242
	国内映画祭 (主催) (中東) ……126		知的交流会議 (主催) (AC) [アジア・大洋州] ……243
	国内映画祭 (助成) ……124		知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ] ……262
	国内公演 (主催) ……108		知的交流会議 (主催) [米州] ……208

知的交流会議（助成）（ＡＣ）〔アジア・大洋州〕	236	日本研究客員教授派遣	
知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	263	（直接派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕	249
知的交流会議		日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔米州〕	200
（助成）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕	265	日本研究拠点機関助成〔アジア・大洋州〕	214
知的交流会議（助成）〔米州〕	209	日本研究拠点機関助成〔欧州・中東・アフリカ〕	251
知的交流支援（主催）	275	日本研究拠点機関助成〔米州〕	200
知的交流支援（助成）	272	日本研究スタッフ拡充助成	
知的交流フェローシップ		〔欧州・中東・アフリカ〕	251
（次世代）（ＡＣ）〔アジア・大洋州〕	233	日本研究スタッフ拡充助成〔米州〕	201
知的交流フェローシップ		日本研究組織強化支援	
（招へい）〔アジア・大洋州〕	236	（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	253
知的交流フェローシップ		日本研究組織強化支援（助成）〔米州〕	202
（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	260	日本研究調査〔アジア・大洋州〕	213
知的交流フェローシップ		日本研究調査〔欧州・中東・アフリカ〕	249
（招へい）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕	262	日本研究調査〔米州〕	200
知的交流フェローシップ		日本研究フェローシップ	
（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕	260	（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕	224
知的交流フェローシップ		日本研究フェローシップ	
（派遣）（中東）〔欧州・中東・アフリカ〕	261	（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕	254
知的交流フェローシップ（派遣）〔米州〕	208	日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕	203
知的リーダー交流		日本研究フェローシップ（社会科学院研究生院）	231
（アジアリーダー）（ＡＣ）〔アジア・大洋州〕	235	日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）	232
知的リーダー交流		日本研究フェローシップ	
（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	259	（短期）〔アジア・大洋州〕	231
知的リーダー交流		日本研究フェローシップ	
（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕	259	（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕	258
中学高校教員交流（招へい）	36	日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕	207
中学高校教員交流（派遣）	37	日本研究フェローシップ	
調査研究	299	（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕	256
て 定期刊行物	294	日本研究フェローシップ	
テレビ番組交流促進	127	（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕	229
と 東南アジア元日本留生活動支援（ＡＣ）	219	日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕	205
図書館運営（関西国際センター）	187	日本研究リサーチ・会議	
図書館運営（日本語国際センター）	185	（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	253
図書寄贈〔アジア・大洋州〕	245	日本研究リサーチ・会議	
図書寄贈（欧州・中東・アフリカ）	266	（助成）〔アジア・大洋州〕	216
図書寄贈〔企〕	198	日本研究リサーチ・会議	
図書寄贈〔米州〕	210	（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	251
トロント日本文化センター	391	日本研究リサーチ・会議（助成）〔米州〕	201
に 日米センターNPOフェローシップ	280	日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	191
日本研究ウェブサイト運営	198	日本語学習者訪日研修（高校生）	194
日本研究客員教授派遣		日本語学習者訪日研修（大学生）	192
（経費助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	250	日本語教育学会助成	158
日本研究客員教授派遣		日本語教育企画開発型事業	143
（JFボランティア）〔アジア・大洋州〕	214	日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）	159
日本研究客員教授派遣		日本語教育機関支援（専任講師給与助成）	159
（JFボランティア）〔欧州・中東・アフリカ〕	250	日本語教育協力事業	196
日本研究客員教授派遣		日本語教育情報交流	142
（自主企画）〔アジア・大洋州〕	213	日本語教育専門家派遣	
日本研究客員教授派遣		（JFボランティア・指導助手）	168
（直接派遣）〔アジア・大洋州〕	213		

日本語教育専門家派遣	
(JFボランティア・シニア客員教授) ……………	170
日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家) ……………	155
日本語教育専門家派遣 (専門家) ……………	144
日本語教育プロジェクト支援	
(ネットワーク形成助成) ……………	166
日本語教育プロジェクト支援 (弁論大会助成) ……………	161
日本語教材 (寄贈) ……………	184
日本語教材自主制作・普及……………	180
日本語教材制作支援 (助成) ……………	181
日本語教材制作支援 (日本語教育フェローシップ) ……	179
日本語能力試験実施……………	171
日本紹介のための文化人派遣 (主催) ……………	20
日本紹介のための文化人派遣 (助成) ……………	24
ニューデリー事務所……………	409
ニューヨーク事務所……………	413
ね ネットワーク整備事業 (招へい) ……………	290
ネットワーク整備事業 (文化資料) ……………	292
ネットワーク整備事業 (催し・主催) ……………	290
ネットワーク整備事業 (催し・助成) ……………	291
年次報告……………	295
は パリ日本文化会館……………	322
バンコク日本文化センター……………	366
ひ 評価開発……………	172
ふ フィルムライブラリー充実 (海外) ……………	132
フィルムライブラリー充実 (本部) ……………	130
舞台芸術情報交流 (招へい) ……………	82
舞台芸術情報交流 (派遣) ……………	81
舞台芸術情報交流 (催し) ……………	110
ブダペスト事務所……………	439
文化協力 (招へい) ……………	13
文化協力 (助成) ……………	14
文化協力 (助成) (AC) ……………	14
文化協力 (派遣) ……………	12
文化交流企画運営補助 (JFボランティア) ……………	40
文化交流施設等協力事業費……………	446
文化事情調査……………	301
文化人短期招へい……………	17
へ 北京日本学研究センター (研究協力) ……………	223
北京日本学研究センター招へい (北京外国語大学) ……	222
北京日本学研究センター招へい (北京大学) ……………	223
北京日本学研究センター派遣 (北京外国語大学) ……	220
北京日本学研究センター派遣 (北京大学) ……………	221
北京日本文化センター……………	345
ま マニラ事務所……………	403
め メキシコ事務所……………	427
ろ ローマ日本文化会館……………	309
ロサンゼルス事務所……………	421
ロンドン事務所……………	431